





図面番号	図面名(解体K)	図面番号	図面名(解体K)	図面番号	図面名(構造S)	図面番号	図面名(構造S)
K-001	解体特記仕様書	K-049	解体部分詳細図6	S-001	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)	S-047	児童クラブ棟 軸組図(3)
K-002	既存仕上表1	K-050	解体部分詳細図7	S-002	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)	S-048	児童クラブ棟 基礎リスト、地中小梁リスト
K-003	既存仕上表2	K-051	アスベスト調査表	S-003	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(3)	S-049	児童クラブ棟 地中梁リスト、地中片持ち梁リスト
K-004	既存仕上表3	K-052	アスベスト範囲表1	S-004	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(4)	S-050	児童クラブ棟 柱芯線図、柱リスト
K-005	既存仕上表4	K-053	アスベスト範囲表2	S-005	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(5)	S-051	児童クラブ棟 大梁リスト(1)片持ち梁リスト
K-006	既存仕上表5	K-054	アスベスト範囲表3	S-006	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(6)	S-052	児童クラブ棟 大梁リスト(2)、小梁リスト
K-007	既存仕上表6	K-055	アスベスト範囲表4	S-007	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(7)	S-053	児童クラブ棟 スラブ、壁リスト
K-008	解体配置図兼外構図	K-056	アスベスト範囲表5	S-008	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(8)	S-054	児童クラブ棟 階段リスト、雑配筋図、鉄骨部材リスト
K-009	解体植栽図	K-057	厨房機器撤去図	S-009	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(9)	S-055	児童クラブ棟 架構配筋図
K-010	解体平面図1	K-058	参考既存図1	S-010	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(10)	S-055A	児童クラブ棟 RC梁貫通孔補強 標準仕様書
K-011	解体平面図2	K-059	参考既存図2	S-011	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(11)	S-055B	児童クラブ棟 1階梁貫通孔スリーブ図
K-012	解体平面図3	K-060	参考既存図3	S-012	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(12)	S-055C	児童クラブ棟 2、3、4階梁貫通孔スリーブ図
K-013	解体平面図4	K-061	参考既存図4	S-013	鉄骨構造標準図(1)	S-056	リンクテラス テノコラム工法特記仕様書
K-014	解体平面図5	K-062	参考既存図5	S-014	鉄骨構造標準図(2)	S-057	リンクテラス 改良杭伏図
K-015	解体立面図1(東側・西側)	K-063	参考既存図6	S-015	鉄骨構造標準図(3)	S-058	リンクテラス 基礎・1階床梁伏図
K-016	解体立面図2(北側・南側)	K-064	参考既存図7	S-016	鉄骨構造標準図(4)	S-059	リンクテラス 屋根梁伏図
K-017	解体断面図1(A-A, B-B, C-C, D-D)	K-065	参考既存図8	S-017	土質柱状図	S-060	リンクテラス 軸組図
K-018	解体建具キープラン1	K-066	参考既存図9	S-018	本館南棟 改修後 基礎、1階床梁伏図	S-061	リンクテラス RC部材リスト(1)
K-019	解体建具キープラン2	K-067	参考既存図10	S-019	本館南棟 改修後 2、3階床梁伏図	S-062	リンクテラス RC部材リスト(2)
K-020	解体建具キープラン3	K-068	参考既存図11(耐震補強部1)	S-020	本館南棟 改修後 R、PH階床梁伏図	S-063	リンクテラス 鉄骨部材リスト(1)
K-021	解体建具キープラン4	K-069	参考既存図12(耐震補強部2)	S-021	本館南棟 改修後 軸組図(1)	S-064	リンクテラス 鉄骨部材リスト(2)
K-022	解体建具表1	K-070	参考既存図13(耐震補強部3)	S-022	本館南棟 改修後 軸組図(2)	S-065	リンクテラス 雑詳細図、鉄骨架構詳細図
K-023	解体建具表2	K-071	参考既存図14(本館北棟厨房部分仕様)	S-023	本館南棟 改修後 軸組図(3)	S-066	駐輪場伏図・軸組図
K-024	解体建具表3	K-072	屋内運動場屋根解体図1	S-024	本館南棟 改修後 軸組図(4)	S-067	駐輪場 鉄骨部材リスト
K-025	解体建具表4	K-073	屋内運動場屋根解体図2	S-025	本館南棟 改修要領図		
K-026	解体建具表5			S-026	本館南棟 SRF工法特記仕様書		
K-027	解体展開図1			S-027	本館南棟 SRCF工法特記仕様書		
K-028	解体展開図2			S-028	本館南棟 改修詳細図(1)		
K-029	解体展開図3			S-029	本館南棟 改修詳細図(2)		
K-030	解体展開図4			S-030	本館南棟 改修詳細図(3)		
K-031	解体展開図5			S-031	本館南棟 改修詳細図(4)		
K-032	解体展開図6			S-031A	鉄骨階段詳細図		
K-033	解体展開図7			S-032	本館南棟 解体 基礎、1階床梁伏図		
K-034	解体展開図8			S-033	本館南棟 解体 2、3階床梁伏図		
K-035	解体展開図9			S-034	本館南棟 解体 R、PH階床梁伏図		
K-036	解体展開図10			S-035	本館南棟 解体 軸組図(1)		
K-037	解体展開図11			S-036	本館南棟 解体 軸組図(2)		
K-038	解体展開図12			S-037	本館南棟 解体 軸組図(3)		
K-039	解体展開図13			S-038	本館南棟 解体 軸組図(4)		
K-040	解体渡り廊下図1			S-039	児童クラブ棟・リンクテラス 構造特記仕様書(1)		
K-041	解体渡り廊下図2			S-040	児童クラブ棟・リンクテラス 構造特記仕様書(2)		
K-042	屋内運動場解体図1			S-041	児童クラブ棟 杭工法特記仕様書		
K-043	屋内運動場解体図2			S-041A	児童クラブ棟 杭工法特記仕様書		
K-044	解体部分詳細図1			S-042	児童クラブ棟 杭伏図、杭リスト		
K-045	解体部分詳細図2			S-043	児童クラブ棟 ビット伏図、基礎・1階床梁伏図		
K-046	解体部分詳細図3			S-044	児童クラブ棟 2、R、PHR階床梁伏図		
K-047	解体部分詳細図4			S-045	児童クラブ棟 軸組図(1)		
K-048	解体部分詳細図5			S-046	児童クラブ棟 軸組図(2)		

備考	月日		月日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2025/03/26	設計	佐藤 信	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図面番号	A-002-2		
	月日		月日			1級建築士 佐藤 信 第362177号	校務	佐藤 信	監理		伊藤 高基	図面リスト	図面番号	-
	月日		月日			1級建築士事務所 第1-80097号						図面リスト2	図面番号	-

特記仕様書		章 項目	特記事項	章 項目	特記事項										
<p>1. 本特記仕様書は、本工事における建築関連工事に適用する。</p> <p>2. 本特記仕様書における採用事項</p> <p>① 項目欄は番号等に○印を付したものを適用する。</p> <p>② 項目欄に○印を付し特記事項欄に○印を付していない場合は標準仕様書による。</p> <p>③ 特記事項は○印を付したものを適用する。但し○印の付かない場合は※印の付した事項を採用する。</p> <p>○印と※印を付した場合は共に適用する。</p> <p>3. 本特記仕様書に記載なき事項については下記による。</p> <p>○国土交通省大臣官房長官営繕部監修 公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版</p> <p>・国土交通省大臣官房長官営繕部監修 建築物解体工事共通仕様書 令和4年版</p> <p>・国土交通省大臣官房長官営繕部監修 建築工事標準詳細図 平成28年版</p> <p>4. その他事項</p> <p>・各項目欄の番号(例：1.4 ○○○)は標準仕様書の番号(章番号を除く)に照合する</p> <p>・各項目欄の番号(例：表○.○.○、及び図○.○.○)は標準仕様書の各表、及び図番号に該当する項目とする</p> <p>・各項目欄の番号(例：1.* ○○○)は標準仕様書の番号(章番号を除く)に該当しない項目とする</p>		<p>②章 仮設工事</p> <p>③ 仮囲い</p> <p>塗装：○単色；片面SOP塗 ・模様；</p> <p>門扉（施錠付）：</p> <p>種別 ・シートゲート ○バネゲート ・</p> <p>形状：○W3.6m×H4.5m ・</p> <p>④ 落下物、飛散物による危害防止</p> <p>○工事現場からの落下物、飛散物による危害防止は下記又は同等以上の措置をする。</p> <p>○防護鉄網 ○防護シート ○防護棚 ・防音シート ・防音バツ ・その他；</p> <p>3.* 洗車設備</p> <p>・洗車ビット（幅3m×長さ5m×厚さ20cm 程度の土間コンクリート、給排水設備共）</p> <p>・洗車装置（高圧洗浄装置程度） ・</p> <p>⑤ 仮排水</p> <p>○既設排水溝や排水管、会所等の撤去時には、仮設の排水設備を設け、排水上支障のないようにする。</p>	<p>④章 地業工事</p> <p>6.2 材 料</p> <p>砂利業の種類： ・シルト ・山砂 ・川砂 ・砕砂 ・</p> <p>防湿層の材料： ※ポリエチレン t=0.15mm ・</p> <p>砂利及び砂利業の厚さ： ・図示 ※60mm ・100mm ・120mm ・150mm ・</p> <p>捨てコンクリートの厚さ： ・図示 ※50mm ・ mm ・120mm ・150mm ・</p> <p>6.3 砂利及び砂利業</p> <p>6.4 捨てコンクリート地業</p> <p>6.5 床下防湿層</p> <p>床下防湿層の適用： ・適用しない ・適用する ・図示</p> <p>床下防湿層の範囲： ・図示 ・</p>												
		<p>③章 土工</p> <p>② 埋戻し及び盛土</p> <p>材料：○搬入真砂土（砂礫等の混入のないもの） ○掘削土（良質なもの）</p> <p>種別： ○A種 ・B種 ・C種 ・D種</p> <p>③ 建設発生土の処理</p> <p>○現場説明書による ○構外搬出適切処理 ・構内指定場所堆積 ・構内指定場所敷均し</p> <p>・他現場に搬入（ ） ・</p> <p>・指定処分地（ ）</p>	<p>⑤章 鉄筋工事</p> <p>① 鉄筋工事</p> <p>○本章の事項は構造特記仕様書による</p> <p>2. 材 料</p> <p>鉄筋の種類： ・SR295 ・SD295A ・SD295B ・SD345 ・SD390 ・図示 ・</p> <p>溶接金網の寸法、径： ・φ6x150x150 ・φ6x100x100 ・φ4.5x50x50 ・図示 ・</p> <p>3. 加工及び組立</p> <p>継手の種類： ・重ね継手 ・ガス圧接継手 ・機械継手 ・溶接継手</p> <p>継手の位置： ・図示 ・</p> <p>柱主筋の重ね継手長さ： ・40d(50d) ・図示 ・</p> <p>梁主筋の重ね継手長さ： ・40d(50d) ・図示 ・</p> <p>耐力壁鉄筋の重ね継手長さ： ※40d(50d) ・図示 ・</p> <p>先組み工法等の継手の位置： ・図示 ・</p> <p>鉄筋の定着長さ： ※表5.3.4による ・図示 ・</p> <p>折曲げ定着の方法： ※図5.3.3による ・図示 ・</p> <p>機械式定着工法の適用箇所、種類： ・図示 ・</p> <p>3.4 継手及び定着</p> <p>鉄筋の最小かぶり厚さ： ※表5.3.6による ・図示 ・</p> <p>溶接金網の最小かぶり厚さ： ※表5.3.6による ・図示 ・</p> <p>土に接する柱、梁、スラブ及び壁の鉄筋のかぶり厚さ（軽量コンクリートの場合）：</p> <p>・図示 ・40mm ・50mm ・60mm ・</p> <p>塩害を受ける恐れのある部分等の鉄筋のかぶり厚さ： ・図示 ・</p> <p>3.5 鉄筋のかぶり厚さ、間隔</p> <p>各部の配筋： ・図示 ・</p> <p>4.10 圧接完了後の圧接部試験</p> <p>抜取試験の方法： ※超音波探傷試験 ・引張試験 ・</p> <p>5.3 工 法</p> <p>適用箇所： ・図示 ・</p> <p>性能・種類等： ・図示 ・</p> <p>鉄筋相互のあき： ・図示 ・</p> <p>5.5 施工完了後の継手部試験</p> <p>試験は（公社）日本鉄筋継手協会発行の鉄筋継手工事標準仕様書等に基づき検査を行う。抜取り1ロットは同一作業班の1日当たりの継手作業箇所とする。（概ね200箇所程度）</p> <p>外観検査方法： ・目視及び計測 ・図示 ・</p> <p>超音波探傷検査の対象： ・抜取り1ロット当り10箇所 ・抜き取り1ロット当り5%程度 ・</p> <p>超音波探傷検査で不合格となった場合の措置： ・全数検査を行い是正する ・図示 ・</p> <p>6.3 工 法</p> <p>適用箇所： ・図示 ・</p> <p>性能・工法等： ・図示 ・</p> <p>鉄筋相互のあき： ・図示 ・</p> <p>6.5 施工完了後の溶接部試験</p> <p>試験は（公社）日本鉄筋継手協会発行の鉄筋継手工事標準仕様書等に基づき検査を行う。抜取り1ロットは同一作業班の1日当たりの継手作業箇所とする。（概ね200箇所程度）</p> <p>外観検査方法： ・目視及び計測 ・図示 ・</p> <p>超音波探傷検査の対象： ・抜取り1ロット当り30箇所 ・抜き取り1ロット当り15%程度 ・</p> <p>超音波探傷検査で不合格となった場合の措置： ・全数検査を行い是正する ・図示 ・</p>												
		<p>④章 地業工事</p> <p>① 地業工事</p> <p>○本章の事項は構造特記仕様書による</p> <p>2. 試験及び報告書</p> <p>試験杭の位置、本数、載荷荷重： ・図示 ・</p> <p>載荷試験： ・水平試験 ・鉛直試験 ・</p> <p>試験杭の位置、本数、載荷荷重： ・図示 ・</p> <p>試験方法： ・図示 ・</p> <p>試験報告書の記載事項等： ・図示 ・</p> <p>2.2 試験杭</p> <p>載荷試験： ・平板載荷試験 ・</p> <p>試験の位置、載荷荷重： ・図示 ・</p> <p>試験方法： ・図示 ・</p> <p>試験報告書の記載事項等： ・図示 ・</p> <p>2.3 杭の載荷試験</p> <p>試験杭の位置、本数、載荷荷重： ・図示 ・</p> <p>試験方法： ・図示 ・</p> <p>試験報告書の記載事項等： ・図示 ・</p> <p>2.4 地盤の載荷試験</p> <p>載荷試験： ・平板載荷試験 ・</p> <p>試験の位置、載荷荷重： ・図示 ・</p> <p>試験方法： ・図示 ・</p> <p>試験報告書の記載事項等： ・図示 ・</p> <p>3. 既製コンクリート杭地業</p> <p>工法の適用： ・セメント杭工法 ・特定埋設杭工法</p> <p>3.1 一般事項</p> <p>材料の強度等による区分： ・</p> <p>杭の寸法、継ぎ手の箇所数、杭先端形状： ・図示 ・</p> <p>支持地盤の位置、種類： ・図示 ・</p> <p>アースオーガーの支持地盤への掘削深さ： ・図示 ・</p> <p>杭の支持地盤への根入れ深さ： ・図示 ・</p> <p>杭の水平方向の位置精度： ・図示 ・100mm以内 ・</p> <p>根固め液の管理試験： ※標準仕様書及び表4.3.11による ・</p> <p>杭周固定液の管理試験： ※標準仕様書及び表4.3.11による ・</p> <p>3.2 材 料</p> <p>杭の継手の工法： ・7-7溶接 ・無溶接継手（工法； ）</p> <p>杭頭の処理法： ・図示 ・</p> <p>3.3 材 料</p> <p>材料の種類： ・SKK400 ・SKK490 ・SHK400 ・SHK490M ・図示</p> <p>3.4 セメント杭工法</p> <p>支持地盤の位置、種類： ・図示 ・</p> <p>杭の継手の工法： ・7-7溶接 ・半自動7-7溶接 ・</p> <p>杭頭の処理法： ・図示 ・</p> <p>3.5 特定埋込杭工法</p> <p>支持地盤の位置、種類： ・図示 ・</p> <p>杭の継手の工法： ・7-7溶接 ・半自動7-7溶接 ・</p> <p>杭頭の処理法： ・図示 ・</p> <p>4. 鋼杭地業</p> <p>材料の種類： ・SKK400 ・SKK490 ・SHK400 ・SHK490M ・図示</p> <p>杭の継手の工法： ・自動7-7溶接 ・半自動7-7溶接 ・</p> <p>5. 場所打ちコンクリート杭地業</p> <p>5.1 一般事項</p> <p>帯筋の加工、組立： ・図示 ・</p> <p>鉄筋の最小かぶり厚さ： ・図示 ・60mm ・ mm</p> <p>鉄筋かごの補強： ・図示 ・</p> <p>組立鉄筋の節の継手： ※重ね継手 ・図示 ・</p> <p>セメントの種類： ・普通ポルトランドセメント ※高炉セメントB種 ・混合セメント ・図示</p> <p>コンクリートの設計基準強度： ・Fc=21N/mm2 ・Fc=24N/mm2 ・図示</p> <p>コンクリートの種類： ・A種 ・B種 ・図示</p> <p>コンクリートのスランプ： ・18cm ・15cm ・図示</p> <p>コンクリートの構造体強度補正係数(S)： ・図示 ※3N/mm ・</p> <p>鋼管部分の材料： ※図示 ・</p> <p>支持地盤の位置、種類： ・図示 ・</p> <p>5.2 材 料</p> <p>杭の継手の工法： ・自動7-7溶接 ・半自動7-7溶接 ・</p> <p>5.3 材 料</p> <p>材料の種類： ・SKK400 ・SKK490 ・SHK400 ・SHK490M ・図示</p> <p>5.4 材 料その他</p> <p>帯筋の加工、組立： ・図示 ・</p> <p>鉄筋の最小かぶり厚さ： ・図示 ・60mm ・ mm</p> <p>鉄筋かごの補強： ・図示 ・</p> <p>組立鉄筋の節の継手： ※重ね継手 ・図示 ・</p> <p>セメントの種類： ・普通ポルトランドセメント ※高炉セメントB種 ・混合セメント ・図示</p> <p>コンクリートの設計基準強度： ・Fc=21N/mm2 ・Fc=24N/mm2 ・図示</p> <p>コンクリートの種類： ・A種 ・B種 ・図示</p> <p>コンクリートのスランプ： ・18cm ・15cm ・図示</p> <p>コンクリートの構造体強度補正係数(S)： ・図示 ※3N/mm ・</p> <p>鋼管部分の材料： ※図示 ・</p> <p>支持地盤の位置、種類： ・図示 ・</p> <p>5.5 7-7溶接工法、7-7溶接工法</p> <p>支持地盤の位置、種類： ・図示 ・</p> <p>杭の継手の工法： ・自動7-7溶接 ・半自動7-7溶接 ・</p> <p>杭頭の処理法： ・図示 ・</p> <p>5.6 場所打ち鋼管コンクリート杭工法及び杭底杭工法</p> <p>杭の継手の工法： ・自動7-7溶接 ・半自動7-7溶接 ・</p> <p>杭頭の処理法： ・図示 ・</p>	<p>⑥章 コンクリート工事</p> <p>① コンクリート工事</p> <p>○本章の事項は構造特記仕様書による</p> <p>2. コンクリートの種類及び品質</p> <p>コンクリートの種類： ※I類 ・II類</p> <p>気乾単位容積質量による種類： ・軽量コンクリート(下表による) ・図示</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>設計基準強度(N/mm2)</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ルーフ部防水押え</td> <td>・18 ・21</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・屋上防水押え</td> <td>・18 ・21</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・浴室防水押え</td> <td>・18 ・21</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>コンクリートの要求性能等による種類： ・図示 ・</p> <p>コンクリートの種類： ※I類 ・II類</p>	施工部位	設計基準強度(N/mm2)	備 考	・ルーフ部防水押え	・18 ・21		・屋上防水押え	・18 ・21		・浴室防水押え	・18 ・21	
施工部位	設計基準強度(N/mm2)	備 考													
・ルーフ部防水押え	・18 ・21														
・屋上防水押え	・18 ・21														
・浴室防水押え	・18 ・21														
<p>章 項目</p> <p>特記事項</p>	<p>①章 各章共通事項</p> <p>① 工事実績情報登録</p> <p>(CORINS)への登録： ○行う ・行わない</p> <p>1.* 建築基準法の風圧</p> <p>基準風速： ・V<sub>0</sub>=3.2(m/s) 平成12年建告第1454号第2</p> <p>積雪に関する規定</p> <p>地表面粗度区分： ・I ・II ・III ・IV</p> <p>積雪区分： ・区域=(32) / α=0.0009 / β=0.00 / γ=0.21 / R=0</p> <p>平成12年建告第1445号 別表</p> <p>② 工事の記録等</p> <p>工事報告書の書式等： ○協議により決定 ・指定の書式 ・任意の書式 ・</p> <p>③ 電気保安技術者</p> <p>技術者の配置： ○配置する ○常駐 ・非常駐 ・配置しない</p> <p>④ 施工条件</p> <p>施工順序等の制約： ・無し ○有り【・現場説明書による ・図示 ○使いながら工事(仮設計画図参照)】</p> <p>工事車両の駐車場所： ・図示 ○現場説明書による ・</p> <p>資材、機材置場： ・図示 ○現場説明書による ・</p> <p>発生土仮置場： ・図示 ○現場説明書による ・</p> <p>その他の施工条件： ・図示 ○現場説明書による ・</p> <p>⑤ 1 発生材の処理等</p> <p>発注者への引渡発生材： ※金属類及びPCB含有物 ・図示</p> <p>特別管理産業廃棄物の有無： ・無し ○有り【分類；アスベスト ○図示 ・ 】</p> <p>発生材のリサイクル： ・図示 ・</p> <p>⑥ 使用材料</p> <p>○仮設材以外の全ての建築材料（仕上材、下地材、副資材）のホルムアルデヒド放散量はJIS等の材料規格において放散量が規定されている場合は原則としてF☆☆☆☆とする。但し使用予定材料にF☆☆☆☆が存在しない場合は監督員と協議のうえ決定する。</p> <p>濃度測定： ・未実施 ○実施</p> <p>化学物質濃度を下記のとおり測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し報告すること。</p> <p>測定対象物質： ○ホルムアルデヒド ○トルエン ○キシレン ○エチルベンゼン</p> <p>○ステレン ・図示 ○パラジクロロベンゼン</p> <p>測定方法： ・簡易法 ○パッシブ型採取機器 ・測定バッチ；</p> <p>測定対象室： ・図示 ○ 全室</p> <p>測定箇所数： ・図示 ○ 1箇所</p> <p>・厚生労働省の標準的測定方法による場合の測定者は、環境計量証明事業所として登録を行っている者、又は作業環境測定事業所の有機溶剤の登録を行っている者とする。</p> <p>⑦ 完成時の提出図書</p> <p>完成図： ・必要 ・不要</p> <p>保全に関する資料： ○必要 ・不要</p> <p>提出部数： ※各2部 ・部</p> <p>⑧ 完成図</p> <p>種類： ※表1.7.1 ・一般図 ○実施設計竣工図一式 ○施工承認図 ○竣工写真(※監理者に確認)</p> <p>記入内容： ※表1.7.1 ・図示 ・</p> <p>提出要領： ○データ形式【 ・CAD ・PDF ○CADデータ(DXF形式、オリジナル形式、PDF形式)</p> <p>○A 3原稿 2つ折り製本 3部</p> <p>○A 1原稿 2つ折り製本 1部</p>	<p>②章 仮設工事</p> <p>③ 監督職員事務所等</p> <p>監督職員事務所の設置： ○必要 ・不要</p> <p>◎監督職員事務所の規模、設備、備品等</p> <p>・（ ）号(会議室(15)m<sup>2</sup>を含む)</p> <p>・（ ）号に会議室（ ）m<sup>2</sup>を加えた規模</p> <p>・専用電話 ・兼用FAX ○冷暖房機 ○机 ○椅子 ○書棚 ・検査用具 ・その他；</p> <p>受注者事務所の設置： ○必要 ・不要</p> <p>◎受注者事務所の規模、設備、備品等</p> <p>・（ ）号(会議室（ ）m<sup>2</sup>を含む)</p> <p>・（ ）号に会議室（ ）m<sup>2</sup>を加えた規模</p> <p>○専用電話 ○兼用FAX ○冷暖房機 ○机 ○椅子 ○書棚 ○検査用具 ○その他：Wi-Fi</p> <p>構内既存の施設： ○利用できない ・利用できる【・有償 ・無償】</p> <p>構内既存の施設： ○利用できない ・利用できる【・有償 ・無償】</p> <p>・動力以外利用できる【・有償 ・無償】</p> <p>④ 工事用水</p> <p>⑤ 工事電力</p> <p>⑥ 仮囲い</p> <p>種別： ○仮囲い用成型鋼板；H=3.0m,t=1.2mm</p> <p>・塗装溶融亜鉛メッキ鋼板波板；H=1.8m,t=0.19mm</p> <p>・ガードフェンス；H=1.8m ・A型バリアード；H=0.8m</p>	<p>③章 仮設工事</p> <p>③ 仮囲い</p> <p>塗装：○単色；片面SOP塗 ・模様；</p> <p>門扉（施錠付）：</p> <p>種別 ・シートゲート ○バネゲート ・</p> <p>形状：○W3.6m×H4.5m ・</p> <p>④ 落下物、飛散物による危害防止</p> <p>○工事現場からの落下物、飛散物による危害防止は下記又は同等以上の措置をする。</p> <p>○防護鉄網 ○防護シート ○防護棚 ・防音シート ・防音バツ ・その他；</p> <p>3.* 洗車設備</p> <p>・洗車ビット（幅3m×長さ5m×厚さ20cm 程度の土間コンクリート、給排水設備共）</p> <p>・洗車装置（高圧洗浄装置程度） ・</p> <p>⑤ 仮排水</p> <p>○既設排水溝や排水管、会所等の撤去時には、仮設の排水設備を設け、排水上支障のないようにする。</p>	<p>④章 地業工事</p> <p>6.2 材 料</p> <p>砂利業の種類： ・シルト ・山砂 ・川砂 ・砕砂 ・</p> <p>防湿層の材料： ※ポリエチレン t=0.15mm ・</p> <p>砂利及び砂利業の厚さ： ・図示 ※60mm ・100mm ・120mm ・150mm ・</p> <p>捨てコンクリートの厚さ： ・図示 ※50mm ・ mm ・120mm ・150mm ・</p> <p>6.3 砂利及び砂利業</p> <p>6.4 捨てコンクリート地業</p> <p>6.5 床下防湿層</p> <p>床下防湿層の適用： ・適用しない ・適用する ・図示</p> <p>床下防湿層の範囲： ・図示 ・</p>											
<p>備考</p> <p>月 日</p> <p>月 日</p> <p>月 日</p>	<p>月 日</p> <p>月 日</p> <p>月 日</p>	<p>株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect &amp; Associates</p> <p>1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号</p>	<p>作成</p> <p>2025/03/26</p> <p>設計</p> <p>佐藤 信</p> <p>監理</p> <p>伊藤 高基</p>	<p>工事名称</p> <p>大東市立住道北小学校校長寿命化改良工事(建築工事)</p> <p>図面番号</p> <p>特記仕様書1</p> <p>備考</p> <p>-</p>											

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項															
⑥章 コンクリート工事	2.1 コンクリートの種類	特殊な要求性能のコンクリートの適用： ・図示 ・ 大臣認定を受けたコンクリートの適用： ・図示 ・ 気乾単位容積質量による種類： ・普通コンクリート（下表による） ・図示	⑥章 コンクリート工事	12.2 材料及び調合	12. 暑中コンクリート 構造体強度補正值(S)： ※6 N/mm ・	⑦章 鉄骨工事	6.3 溶接技能資格者	6. 溶接接合 溶接技能者の技量付加試験： ・行わない ・行う															
	2.2 コンクリートの強度	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>設計基準強度(N/mm2)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・構造躯体（基礎～ 階）</td> <td>30</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・構造躯体（ 階～ 階）</td> <td>24</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・構造躯体（ 階～ 階）</td> <td>21</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・捨てコンクリート</td> <td>・18 ・21</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> コンクリートの要求性能等による種類： ・図示 ・ スランプ： ※表6.2.2による ・図示 ・		施工部位	設計基準強度(N/mm2)		備考	・構造躯体（基礎～ 階）	30		・構造躯体（ 階～ 階）	24		・構造躯体（ 階～ 階）	21		・捨てコンクリート	・18 ・21		13.1 一般事項	13. マスコンクリート 適用箇所： ・図示 ・	6.4 溶接の準備	開先の形状： ・図示 ・
	施工部位	設計基準強度(N/mm2)		備考																			
	・構造躯体（基礎～ 階）	30																					
	・構造躯体（ 階～ 階）	24																					
	・構造躯体（ 階～ 階）	21																					
	・捨てコンクリート	・18 ・21																					
	2.4 ウォールリフト及びスランプ	打放し仕上げの種別（合板せき板を用いる場合）		13.2 材料及び調合	セメントの種類： ・中庸熱セメント・低熱セメント・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 ・混合セメント 混合セメントの混和材： ・フライアッシュ【・I種 ・II種】 ・高炉スラグ微粉末(4000) 所要スランプ： ・8cm以下 ・12cm以下 ※15cm以下 ・		6.7 溶接施工	エンドタブの切除の有無： ・無し ・有り【切除の適用箇所： ・図示 ・ 】 スカラップの形状： ・図示 ・															
	2.5 構造体コンクリートの仕上り	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>種別</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・化粧打放し部</td> <td>A種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・打放し補修下地部</td> <td>B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・基礎部</td> <td>C種</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> コンクリートの仕上りの平坦さ： ・a種 ・b種 ・c種		施工部位	種別		備考	・化粧打放し部	A種		・打放し補修下地部	B種		・基礎部	C種		14.1 一般事項	14. 無筋コンクリート コンクリートの種類： ※普通コンクリート ・ 適用箇所： ※標準仕様書による ・下表による ・図示	6.12 溶接部の試験	溶接部の外観試験： ※告示第1464号第二号による試験： ※JASS 6 附則6(付表3「溶接」)：  完全溶け込み溶接部の超音波探傷試験： ・適用する ・適用しない ◎工場溶接の場合 製作工場の社内検査： ・行わない ※行う（全数検査を行い試験結果報告書を提出） 第三者機関による検査： ※行う ・行わない A O Q L： ・2.5% ※4.0% 検査水準： ・第1水準 ・第2水準 ・第3水準 ・第4水準 ・第5水準 ※第6水準 ◎工事現場溶接の場合 第三者機関による検査： ※行う ・行わない A O Q L： ・2.5% ※4.0%			
	施工部位	種別		備考																			
・化粧打放し部	A種																						
・打放し補修下地部	B種																						
・基礎部	C種																						
3.1 コンクリートの材料	3. コンクリートの材料及び調合 セメントの種類： ※普通セメント種 ※混合セメント種 ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 高炉セメントB種の適用箇所： ・図示 ・基礎 ・地中梁 ・ フライアッシュセメントB種の適用箇所： ・図示 ・ 骨材の種類： ※JIS A 5308(付属書A)の骨材 ・規定外の骨材： 細骨材の種類： ※JIS A 5308(付属書A)の細骨材 ・規定外の細骨材： 骨材のアルカリシリカ反応性による区分： ※A ・B 混和剤： ・AE剤 ・AE減水剤 ・高性能AE減水剤 ・ 混和材： ・フライアッシュ ・高炉スラグ微粉末 ・膨張剤 ・	15.1 一般事項	15. 流動化コンクリート 流動化コンクリートの適用： ・適用する【使用箇所： ・図示 ・ 】	7.8 デッキプレートの溶接	7. スタッド溶接及びデッキプレートの溶接 デッキプレートと鉄骨の溶接方法： ・図示 ・																		
3.2 コンクリートの調合	混和材料の使用法等： ・図示 ※製造所資料に基づき承諾 コンクリートの構造体強度補正值(S)： ※表6.3.2による ・図示 ・	①鉄骨工事	◎本章の事項は構造特仕仕様書による	8.2 塗料の範囲	8. 錆止め塗装 耐火被覆材の接する面の塗装： ・行う ・行わない 耐火被覆材の接する面以外の塗装範囲： ※標準仕様書による ・図示																		
6.4 打継ぎ	6. コンクリートの工事現場内運搬、打込み及び締固め 打継ぎの位置： ※梁、スラブ、スランの中央(1/4) ※柱、壁、梁、基礎の上端 ・図示 打継ぎ目地の見付寸法： ・図示 ・25mm ・20mm ・15mm ・	1.3 鉄骨製作工場	◎本章の事項は構造特仕仕様書による	8.4 塗料種別	SRC造の鋼製スリーブ（鉄骨に溶接されたもの）の内面： ・図示 ・標準仕様書 表18.3.1【※A種 ・B種 ・C種】 ・																		
7.2 湿潤養生	7. 養生 普通エコセメントの養生期間： ・5日 ・7日 ・	2.1 鋼材	1. 共通事項 製作工場のグレードは下記同等以上で大臣認定された工場とする： ・Sグレード ・Hグレード ・Mグレード ・Rグレード ・Jグレード 施工管理技術者の配置： ・する ・しない	9.2 耐火被覆の種類等	9. 耐火被覆 種類、材料、工法： ・図示 ・ 耐火性能、品質： ・図示 ・																		
8.1 型枠一般	8. 型枠 外部に面する打放し仕上げの増打厚さ： ・25mm ・20mm ・15mm ・ ひび割れ誘発目地の位置、形状、寸法： ・下表による ・図示 ・	2.2 高力ボルト	2. 材 料 鋼材の材質： ・下表による ・図示 ・	9.3 耐火被覆の性能等	10. 工事現場施工 構造用アンカーボルトの適用： ・適用する ・適用しない 建方用アンカーボルトの適用： ・適用する ・適用しない 構造用アンカーボルトの形状及び寸法： ・図示 ・ 構造用アンカーフレームの形状及び寸法： ・図示 ・ アンカーボルトの保持及び埋込み工法の種別： ・A種 ・B種 ・C種 柱底均しモルタルの厚さ： ・図示 ・ 柱底均しモルタルの工法の種別： ※A種 ・B種																		
8.2 材 料	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>位置</th> <th>形状</th> <th>寸法(見付x深さ)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・片持ちスラブ</td> <td>・図示</td> <td>・両転び ・片転び</td> <td>20mmx15mm</td> </tr> <tr> <td>・外部開口部廻り</td> <td>・図示</td> <td>・両転び ・片転び</td> <td>15mmx12mm</td> </tr> <tr> <td>・壁タイル張り仕上面</td> <td>・図示</td> <td>・両転び ・片転び</td> <td>15mmx10mm</td> </tr> </tbody> </table> スリーブの材種等等： ・鋼管 ・VP管 ・溶融亜鉛めっき鋼板 ・つば付き鋼管 型枠の材料等： ・下表による ・図示 ・	施工部位	位置	形状	寸法(見付x深さ)	・片持ちスラブ	・図示	・両転び ・片転び	20mmx15mm	・外部開口部廻り	・図示	・両転び ・片転び	15mmx12mm	・壁タイル張り仕上面	・図示	・両転び ・片転び	15mmx10mm	2.3 普通ボルト	高力ボルトの種類： ・トヨタ型高力ボルト2種(S10T) ・JISの高力ボルト2種(F10T) ・溶融亜鉛めっき高力ボルト1種(F8T相当) 溶融亜鉛めっき高力ボルト1種(F8T相当) 高力ボルトの径： ・図示 ・ 普通ボルトの材料等： ※表7.2.3による ・ 普通ボルトの径： ・図示 ・	11.2 施 工	11. 軽量形鋼 ボルトの接合方法： ・図示 ・		
施工部位	位置	形状	寸法(見付x深さ)																				
・片持ちスラブ	・図示	・両転び ・片転び	20mmx15mm																				
・外部開口部廻り	・図示	・両転び ・片転び	15mmx12mm																				
・壁タイル張り仕上面	・図示	・両転び ・片転び	15mmx10mm																				
10.1 一般事項	鋼材の形状及び寸法： ・図示 ・ 断熱材を兼用した型枠材： ・使用する【使用箇所： ・図示 ・ 】 MCR工法： ・適用する【適用箇所： ・図示 ・ 】 スリーブ： ・硬質塩化ビニル管 ・溶融亜鉛めっき鋼管 ・鋼管 ・つば付き鋼管 ・鋼管 ・紙チューブ	2.4 アカボルト	構造用アンカーボルトの材質： ・図示 ・SNR400A ・SNR400B ・SNR490B 建方用アンカーボルトの材質： ・図示 ・SS400 ・SS490 ・SS540 ねじの種類、等級の規格及び仕上げの程度： ※表7.2.3による ・ 表7.2.4以外の溶接材料： ・図示 ・ 種類： ※建築用ナット（胴：割枠式、ボルト：羽子板ボルト） ・図示 ・ ねじの呼び等： ・図示 ・	12.5 溶融亜鉛めっき 高力ボルト接合	12. 溶融亜鉛めっき工法 摩擦面の処理： ・ブラスト処理 ・りん酸塩処理等 りん酸塩処理等の場合の摩擦面のすべり耐力等の確認方法： ・図示 ・																		
10.2 種類及び品質	10. 軽量コンクリート 土に接する軽量コンクリートの使用： ・使用する【使用箇所： ・図示 ・ 】 水に接する軽量コンクリートの使用： ・使用する【使用箇所： ・図示 ・ 】 軽量コンクリート種類： ・下表による ・図示 ・	2.5 溶接材料	構造床として使用するデッキプレートの材質、形状、寸法等： ・図示 ・ 合成スラブとして使用するデッキプレートの材質、形状、寸法等： ・図示 ・ その他のデッキプレートの材質、形状、寸法等： ・図示 ・	2.2 材 料	2. 補強コンクリートブロック造 ブロックの種類： ・空洞ブロック16 ・空洞ブロック16-W モルタルの調合： ※表8.2.11による ・ 各部の配筋： ・図示 ・																		
11.1 一般事項	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>種別・厚さ</th> <th>材質</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・合板</td> <td>※「コンクリート型枠用合板のJAS」・12mm</td> <td>※複 合</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・「コンクリート型枠用合板のJAS」・15mm</td> <td>※南洋材</td> </tr> <tr> <td>・床型枠用鋼製デッキプレート</td> <td></td> <td>・針葉材</td> </tr> </tbody> </table> 鋼材の形状及び寸法： ・図示 ・ 断熱材を兼用した型枠材： ・使用する【使用箇所： ・図示 ・ 】 MCR工法： ・適用する【適用箇所： ・図示 ・ 】 スリーブ： ・硬質塩化ビニル管 ・溶融亜鉛めっき鋼管 ・鋼管 ・つば付き鋼管 ・鋼管 ・紙チューブ	種類	種別・厚さ	材質	・合板	※「コンクリート型枠用合板のJAS」・12mm	※複 合		・「コンクリート型枠用合板のJAS」・15mm	※南洋材	・床型枠用鋼製デッキプレート		・針葉材	2.6 ナット	ねじの呼び等： ・図示 ・ 構造床として使用するデッキプレートの材質、形状、寸法等： ・図示 ・ 合成スラブとして使用するデッキプレートの材質、形状、寸法等： ・図示 ・ その他のデッキプレートの材質、形状、寸法等： ・図示 ・	2.3 モルタルの調合	開口部両側のモルタルの充填範囲： ・ブロック幅200mmまで ・ 開口部両側のコンクリートの充填範囲： ・ブロック幅200mmまで ・						
種類	種別・厚さ	材質																					
・合板	※「コンクリート型枠用合板のJAS」・12mm	※複 合																					
	・「コンクリート型枠用合板のJAS」・15mm	※南洋材																					
・床型枠用鋼製デッキプレート		・針葉材																					
11.2 材料及び調合	11. 軽量コンクリート 土に接する軽量コンクリートの使用： ・使用する【使用箇所： ・図示 ・ 】 水に接する軽量コンクリートの使用： ・使用する【使用箇所： ・図示 ・ 】 軽量コンクリート種類： ・下表による ・図示 ・	2.7 床構造用のデッキプレート	構造床として使用するデッキプレートの材質、形状、寸法等： ・図示 ・ 合成スラブとして使用するデッキプレートの材質、形状、寸法等： ・図示 ・ その他のデッキプレートの材質、形状、寸法等： ・図示 ・	2.4 鉄筋の加工及び組立	3. コンクリートブロック帳壁及び巾廊 ブロックの種類： ※表8.3.11による ・図示 ・化粧ブロック ブロックの厚さ： ・図示 ・ 各部の配筋： ・図示 ・ 鉄筋の継手： ・重ね継手 ・図示 ・ 鉄筋の定着： ・25d ・40d ・図示 ・ 鉄筋の折り曲げ形状： ・図示 ・																		
備 考	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日															

株式会社青木茂建築工房  
Shigeru Aoki Architect & Associates

1級建築士 佐藤 信 第362177号  
1級建築士事務所 第1-80097号

2025/03/26

佐藤 信

大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)

A-004

特記仕様書2

-

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項			
⑧章 コンクリートブロック・ALCパネル及び押出成形セメント板工事	④ 材料	④ ALCパネル 耐火目地材： ・セラミックファイバースラングット ・ロックウール保温板 ・メーカー仕様による 取付け工法種別： ・A種 ・B種 パネル幅の最小限度： ※300mm ・400mm 長辺の目地巾： ・図示 ・8mm ・10mm ・ 短辺の目地巾： ・図示 ・15mm ・20mm ・ 伸縮調整目地巾： ・図示 ・10mm ・15mm ・20mm 耐火目地材： ・有 ・無 ・ 取付け工法種別： ・C種 ・D種 ・E種 耐震設計用水平震度： ・K=1.0 ・K=0.6 ・K=0.4 ・図示	⑨章 防水工事	2.4 施工	◎防水層下地 下地モルタル塗り： ・適用する ・適用しない 適用箇所： 立上り部の下地： コンクリート打放し（表6.2.4【 ・A種 ※B種 ・C種 】） ・ ◎ルーフィング類の張り付け ルーフトレン廻りの断熱材の張仕舞い位置： ・製造メーカー推奨による ・図示 平場の保護コンクリートの厚さ： ※80mm（鍍仕上） ※60mm（タイル仕上等）（ ） 立上り部の保護工法： ・コンクリート押え ・モルタル押え ・乾式保護材 ・7M2水切り金物押え ・普通れんが押え（半枚積み、目地10mm） ・化粧レタ積み押え 屋上排水溝： ・適用 ・適用しない 屋内防水部分の保護層： ・設ける ・設けない	6.1 一般事項 6.3 防水層の種類及び工程 6.4 施工 ⑦ 保証年限 ⑦ 材料 ⑦ 目地寸法 ⑦ シーリング材の試験	6. ケイ酸質系塗布防水 部位 種別 施工箇所 ・背面水圧側 ・C-SUI ・C-SUP ・図示 ・地下外壁 ・地下床 ・ビッド ・水圧側 ・C-SUI ・C-SUP ・図示 ・地下外壁 ・水槽 ・ビッド 防水層壁下地： ※表6.2.4；B種 ・表6.2.4；A種 ・ 防水層天井下地： ※表6.2.4；B種 ・表6.2.4；A種 ・ ⑦ シーリング シーリング保証書： ・提出する ・提出しない ◎保証書（請負人、材料製造所、シーリング施工者連帯保証）は各2通提出すること。 ノンブリードタイプシーリング材の適用： ※使用する ・使用しない 施工箇所： ・ホリカク系シーリングで仕上げありの部位 ・ 施工箇所 シーリング材の種類 目地寸法(mm) 保証年限 ・各階打継目地 ・MS-1 ・MS-2 ・SR-1 15(W)x10(D) 3年 ・タイル伸縮目地 ・PU-1 ・PU-2 ・PS-2 15(W)x10(D) 年 ・ガラス留付け 5(W)x5(D) 年 ・サッシ廻り 20(W)x10(D) 年 目地寸法： ※標準仕様書による ・上表による ・図示 ・ 仕上の有無： ・仕上げあり【 ・ALC ・打継ぎ目地 ・誘発目地 ・ECP ・図示 】 ・仕上げなし【 ・ALC ・打継ぎ目地 ・誘発目地 ・ECP ・図示 】 ※簡易接着性試験 ・引張接着性試験				
	4.3 外壁ハ葺工法	5. 押出成形セメント板（ECP） 使用箇所： ・外壁用 表面形状： ・フラットハ葺 ・デザインハ葺 ・タイルハ葺 厚み寸法： ・50mm ・60mm ・ 使用箇所： ・間仕切壁用 表面形状： ・フラットハ葺 ・デザインハ葺 ・タイルハ葺 厚み寸法： ・50mm ・60mm ・ 取付け工法種別： ・A種 ・B種 パネル相互間目地幅： ・15mm（短辺）8mm（長辺）以上 ・メーカー仕様による 耐風圧性能： ・Fb=17.6(N/mm)以上 ・図示 ・メーカー仕様による 耐震性能： ・層間変位量1/100に対し破損、脱落がないこと ・ 耐火構造以外の目地及び隙間の処理： ※製造所仕様による 取付け工法種別： ・B種 ・C種 耐震性能： ・層間変位量1/100に対し破損、脱落がないこと ・		2.5 保護層等の施工	3.2 材料			⑦ 3 施工一般 ⑦ 1.5 清掃 ⑦ 2.1 石材			
	4.4 間仕切壁ハ葺工法	5.2 材料		3.3 防水層の種類及び工程	⑦ 2.2 取付け金物			⑩章 石工事	1. 共通事項 ※湿式工法の場合、気温2℃以下になるおそれのある場合は施工してはならない 石材の割付け： ・図示 ・ 粗面仕上げの見え隠れ部分の仕上げ： ・ひき肌 ・水磨き ・本磨き ・ ワックス材の使用： ・使用する ・使用しない 2. 材料 ◎天然石 石材の品質（床用石材）： ・1等品 ※2等品 ・ 石材の品質（壁及びその他の石材）： ※1等品 ・2等品 ・ 石材の種類、表面仕上げ等： ・図示 ・ 石材の形状、寸法等： ・図示 ※標準仕様書による ・ ◎テラゾ 種石の種類： ※大理石の類 ・花崗岩の類 ・ 種石の大きさ： ※1.5mm～12mm ・12mm以下 ・6mm以下 ・ 形状、寸法： ※図示 ・ 仕上面の区分： ・本磨き ・水磨き ・粗磨き ・ 外壁湿式工法、内壁空積工法用金物： ※標準仕様書による ・ ◎特殊部位用金物（形状、寸法は図示による） 引金物、だぼ、かすがい、受金物 ※表10.2.3による ・図示 ・ ファスナー： ・表10.2.4に準ずる ・図示 ・ 吊り金物： ※標準仕様書による ・ 化粧吊り金物： ※標準仕様書による ・ アンカー金物： ※標準仕様書による ・ その他金物： ※標準仕様書による ・ 取付けモルタル： ※専門工事業者指定品による ・ 目地用モルタル： ※専門工事業者指定品による ・ 浸透性湧水防止剤： ※専門業者指定品による ・ 石裏面処理材： ※専門工事業者指定品による ・ 裏打ち処理材： ※専門工事業者指定品による ・ ドレンパイプ： ・SUS304ハビイ ・硬質塩ビパイプ ・ 金物固定充填材： ※専門工事業者指定品による ・ 3. 外壁湿式工法 石材の厚さ： ・図示 ・25mm ・ 石裏面処理： ・行う ・行わない 裏打ち処理： ・行う ・行わない 下地ごしらえ： ※標準仕様書による ・ 目地幅： ・図示 ※6mm以上 ・ 目地の種類： ・モルタル目地 ・シーリング目地 ・ 伸縮目地位置： ・図示 ※標準仕様書による ・ 伸縮目地寸法： ・図示 ※標準仕様書による ・15mm ・20mm ・		
	5.3 外壁ハ葺工法	5.3 外壁ハ葺工法		◎屋根保護防水断熱工法の断熱材 厚さ： ・35mm ・25mm ・図示 ◎屋根露出防水断熱工法の断熱材 種類： ・図示 ・ 厚さ： ・50mm ・35mm ・図示 ◎絶縁用シート 材質（保護防水工法）： ※ポリエステルフィルム；t=0.15mm以上 ・ 材質（保護防水断熱工法）： ※フッ素樹脂系（70g/m <sup>2</sup> 程度） ・ 防水層立上り部の保護の種類： ・乾式保護 ・湿式保護【 ・図示 ・普通れんが（JIS R1250） ・タラス ・ 】	◎固定金具 材質： ※防錆処理鋼板 ※ステンレス鋼板 ※樹脂被覆鋼板 厚さ： ・0.4mm以上 ・0.8mm以上 ・メーカー仕様による ◎断熱工法の断熱材 材質： ・図示 ・ 厚さ： ・50mm ・35mm ・図示 絶縁シートの種類及び厚さ： ※標準仕様書表9.4.1及び9.4.2による ・図示 ・ ◎脱気装置 種類： ※製造所指定 ・ 設置数量： ※製造所指定 ・脱気装置箇所数㎡当たり					⑦ 2.3 その他の材料	⑪章 防水工事
	5.4 間仕切壁ハ葺工法	5.4 間仕切壁ハ葺工法		◎脱気装置 種類： ※製造所指定 ・ 設置数量： ※製造所指定 ・	⑦ 2.2 取付け金物					⑪章 防水工事	
5.5 溝掘り及び開口部の措置	5.5 溝掘り及び開口部の措置	◎脱気装置 種類： ※製造所指定 ・ 設置数量： ※製造所指定 ・	⑦ 2.2 取付け金物	⑪章 防水工事							
① 防水工事の保証書の提出、保証年限	◎保証書（請負人、材料製造所、防水施工者の連帯保証）は各2通提出すること。 ◎防水施工者は、防水材料製造所指定の施工者とし、監督員の承諾を受ける。	◎脱気装置 種類： ※製造所指定 ・ 設置数量： ※製造所指定 ・	⑦ 2.2 取付け金物		⑪章 防水工事						
2.2 材料	◎保証書提出工事	◎脱気装置 種類： ※製造所指定 ・ 設置数量： ※製造所指定 ・	⑦ 2.2 取付け金物			⑪章 防水工事					
2.3 防水層の種類及び工程	保証箇所	◎脱気装置 種類： ※製造所指定 ・ 設置数量： ※製造所指定 ・	⑦ 2.2 取付け金物				⑪章 防水工事				

備考	月日		月日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2025/03/26	設計	佐藤 信	工事名称	大東市立住道北小学校校長寿命化改良工事（建築工事）	図面番号	A-005				
	月日		月日				1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-80097号		校印		佐藤 信		監製	伊藤 高基	特記仕様書3	備考	-
	月日		月日								校印						

Table with 2 columns: Item (項目), Description (特記事項). Rows include 4. 内壁空積工法, 5. 外壁乾式工法, 6. 床及び階段の石張り, 7. 特殊部位の石張り, 7.2 笠木、甲板等の石張り, 7.3 隔て板.

Table with 2 columns: Item (項目), Description (特記事項). Rows include 1.1 伸縮目地及びひび割れ誘発目地, 1.2 見本焼、試験施工, 2.1 材料, 3.1 張付け用材料等, 3.2 施工, 3.3 材料.

Table with 2 columns: Item (項目), Description (特記事項). Rows include 3.2 材料, 3.5 施工, 1.1 木材, and tables for tile specifications (ASによる下地用製材, ASによる造作用製材, ASによる広葉樹製材, ASによる広葉樹製材).

Table with 2 columns: Item (項目), Description (特記事項). Rows include tables for tile specifications (ASによる広葉樹製材, AS以外の製材, ASによる造作用集成材, ASによる化粧ばり造作用集成材, AS以外の造作用集成材, ASによる化粧ばり造作用集成材, AS以外の造作用集成材).

Table with 2 columns: Item (項目), Description (特記事項). Rows include tables for board specifications (ASによる直交集成板, ASによる普通合板, ASによる構造用合板, ASによる化粧ばり構造用合板, ASによる天然木化粧合板, ASによる特殊加工化粧合板, パーティクルボード, ASによる構造用パネル, ASによる構造用パネル, ASによる構造用パネル, ASによる構造用パネル).

Project information table including date, contractor (株式会社青木茂建築工房), architect (佐藤 信), and project name (大東市立住道北小学校校長寿命化改良工事(建築工事)).

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																																																																																																																																														
12章 木工事	3.1 防蟻・防蟻処理	3. 防蟻・防蟻・防虫処理 ◎薬剤の加圧注入による処理	13章 屋根及び 土工事	② 材料 軒どいの材種： ・アガル被覆銅板 ○耐候性被覆銅板 縦どいの材種： ・配管用鋼管 ○硬質塩化ビニル管 ○ホーロー 掃除口： ○有 ・無 飾り樹： ○塩ビ製 ・銅板製 とい受け金物の材種： ※表13.5.2による溶融亜鉛めっき製 ○ステンレス製 とい受け金物の取付間隔： ※表13.5.2による ・図示 ルーフトレイン： ・ステンレス製 ○鑄鉄製 ・アルミニウム製 銅管製といの防露巻き： ※行う(表13.5.4による) ・行わない ・図示	15章 左官工事	3.2 材料 ⑤ 工法	既製目地の形状寸法等： ・図示 床の目地： ・設ける ・設けない 工法： ※押し目地 ・切り目地 外壁タイル下地モルタルの接着力試験： ○行う ・行わない																																																																																																																																																															
		④ 鉄筋コンクリート造等の内部間仕切軸組及び床組 間仕切軸組の木材の樹種： ※杉 ※松 土間スラブ以外の床組木材の樹種： ※杉 ※松 土間スラブ上の床組木材の樹種： ※松 ※保存処理木材					⑥ 仕上塗材仕上げ ◎薄付仕上塗材の施工箇所： ・図示 材料の防火指定： ・無 ・有 (																																																																																																																																																															
		⑤ 窓、出入口その他 吊元枠、水掛りの下枠、敷居の木材の樹種： ※松 上記以外の木材の樹種： ※杉 ※松					<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類 (呼び名)</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">・外装薄塗材 Si</td> <td>・砂壁状・ゆず肌状</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>・ゆず肌状・さざ波状</td> <td>ロー塗り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・可とう形外装薄塗材 Si</td> <td>・砂壁状・ゆず肌状</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>・ゆず肌状・さざ波状</td> <td>ロー塗り</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・外装薄塗材 E</td> <td>・砂壁状・ゆず肌状・着色骨材砂壁状</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>・平たん状・凹凸状・着色骨材砂壁状</td> <td>こて塗り</td> </tr> <tr> <td>・ゆず肌状・さざ波状</td> <td>ロー塗り</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・可とう形外装薄塗材 E</td> <td>・砂壁状・ゆず肌状</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>・平たん状・凹凸状</td> <td>こて塗り</td> </tr> <tr> <td>・ゆず肌状・さざ波状</td> <td>ロー塗り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・防水形外装薄塗材 E</td> <td>・ゆず肌状・さざ波状</td> <td>ロー塗り</td> </tr> <tr> <td>・凹凸状</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・外装薄塗材 S</td> <td>・砂壁状</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>・内装薄塗材 C</td> <td>凹凸状</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・内装薄塗材 L</td> <td>・平たん状・凹凸状</td> <td>こて塗り</td> </tr> <tr> <td>・ゆず肌状・さざ波状</td> <td>ロー塗り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・内装薄塗材 Si</td> <td>・砂壁状じゅらく・ゆず肌状</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>・内装薄塗材 E</td> <td>・平たん状・凹凸状</td> <td>こて塗り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・内装薄塗材 W</td> <td>・ゆず肌状・さざ波状</td> <td>ロー塗り</td> </tr> <tr> <td>・内装薄塗材 W (調湿形)</td> <td>・京壁状じゅらく・ゆず肌状</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>・平たん状・凹凸状</td> <td>こて塗り</td> </tr> <tr> <td colspan="3">◎厚付仕上塗材の施工箇所： ○図示 材料の防火指定： ○無 ・有 (</td> <td colspan="3"> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類 (呼び名)</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">・外装厚塗材 C</td> <td>・吹放し・凸部処理</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>・平たん状・凹凸状・ひき起し・かき落し</td> <td>こて塗り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・外装厚塗材 Si</td> <td>・吹放し・凸部処理</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>・平たん状・凹凸状・ひき起し</td> <td>こて塗り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・外装厚塗材 E</td> <td>・平たん状・凹凸状・ひき起し</td> <td>ロー塗り</td> </tr> <tr> <td>・平たん状・凹凸状・ひき起し</td> <td>こて塗り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・内装厚塗材 C</td> <td>・吹放し・凸部処理</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>・平たん状・凹凸状・ひき起し・かき落し</td> <td>こて塗り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・内装厚塗材 L</td> <td>・平たん状・凹凸状・ひき起し・かき落し</td> <td>こて塗り</td> </tr> <tr> <td>・内装厚塗材 G</td> <td>・平たん状・凹凸状・ひき起し・かき落し</td> <td>こて塗り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・内装厚塗材 Si</td> <td>・吹放し・凸部処理</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・内装厚塗材 E</td> <td>・平たん状・凹凸状・ひき起し</td> <td>こて塗り</td> </tr> <tr> <td>・平たん状・凹凸状・ひき起し</td> <td>ロー塗り</td> </tr> </tbody> </table> </td> </tr> <tr> <td colspan="3">◎複層仕上塗材の施工箇所： ・図示 材料の防火指定： ・無 ・有 (不燃認定品</td> <td colspan="3"> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類 (呼び名)</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">・複層塗材 CE</td> <td>・凸部処理・凹凸模様</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>・ゆず肌状</td> <td>ロー塗り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・複層塗材 E</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・複層塗材 RE</td> <td>・凸部処理・凹凸模様</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ゆず肌状</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・可とう形複層塗材 CE</td> <td>・凸部処理・凹凸模様</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ゆず肌状</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・複層塗材 RS</td> <td>・凸部処理・凹凸模様</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ゆず肌状</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・防水形複層塗材 CE</td> <td>・凸部処理・凹凸模様</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>○防水形複層塗材 E</td> <td>○ゆず肌状</td> <td>ロー塗り</td> </tr> <tr> <td>・防水形複層塗材 RS</td> <td>・エスケー化研クールテクト同等品</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・防水形複層塗材 RE</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3">耐候性： ○耐候形3種 上塗材溶媒： ・溶剤系 ・弱溶剤系 ○水系 上塗材樹脂： ○アクリル系 ・シリカ系 ・ポリアミン系 ・アクリルシリコン系 ・ふっ素系 上塗材外観： ○つやあり ・つやなし ・メリック 防水形の増塗材の適用： ・する ○しない</td> <td colspan="3">7. マスチック塗材塗り 種別： ・A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> <td colspan="3">7.2 材料</td> </tr> </tbody> </table> </td></tr></tbody></table>	種類 (呼び名)	仕上げの形状	工法	・外装薄塗材 Si	・砂壁状・ゆず肌状	吹付け	・ゆず肌状・さざ波状	ロー塗り	・可とう形外装薄塗材 Si	・砂壁状・ゆず肌状	吹付け	・ゆず肌状・さざ波状	ロー塗り	・外装薄塗材 E	・砂壁状・ゆず肌状・着色骨材砂壁状	吹付け	・平たん状・凹凸状・着色骨材砂壁状	こて塗り	・ゆず肌状・さざ波状	ロー塗り	・可とう形外装薄塗材 E	・砂壁状・ゆず肌状	吹付け	・平たん状・凹凸状	こて塗り	・ゆず肌状・さざ波状	ロー塗り	・防水形外装薄塗材 E	・ゆず肌状・さざ波状	ロー塗り	・凹凸状	吹付け	・外装薄塗材 S	・砂壁状	吹付け	・内装薄塗材 C	凹凸状	吹付け	・内装薄塗材 L	・平たん状・凹凸状	こて塗り	・ゆず肌状・さざ波状	ロー塗り	・内装薄塗材 Si	・砂壁状じゅらく・ゆず肌状	吹付け	・内装薄塗材 E	・平たん状・凹凸状	こて塗り	・内装薄塗材 W	・ゆず肌状・さざ波状	ロー塗り	・内装薄塗材 W (調湿形)	・京壁状じゅらく・ゆず肌状	吹付け	・平たん状・凹凸状	こて塗り	◎厚付仕上塗材の施工箇所： ○図示 材料の防火指定： ○無 ・有 (			<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類 (呼び名)</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">・外装厚塗材 C</td> <td>・吹放し・凸部処理</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>・平たん状・凹凸状・ひき起し・かき落し</td> <td>こて塗り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・外装厚塗材 Si</td> <td>・吹放し・凸部処理</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>・平たん状・凹凸状・ひき起し</td> <td>こて塗り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・外装厚塗材 E</td> <td>・平たん状・凹凸状・ひき起し</td> <td>ロー塗り</td> </tr> <tr> <td>・平たん状・凹凸状・ひき起し</td> <td>こて塗り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・内装厚塗材 C</td> <td>・吹放し・凸部処理</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>・平たん状・凹凸状・ひき起し・かき落し</td> <td>こて塗り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・内装厚塗材 L</td> <td>・平たん状・凹凸状・ひき起し・かき落し</td> <td>こて塗り</td> </tr> <tr> <td>・内装厚塗材 G</td> <td>・平たん状・凹凸状・ひき起し・かき落し</td> <td>こて塗り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・内装厚塗材 Si</td> <td>・吹放し・凸部処理</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・内装厚塗材 E</td> <td>・平たん状・凹凸状・ひき起し</td> <td>こて塗り</td> </tr> <tr> <td>・平たん状・凹凸状・ひき起し</td> <td>ロー塗り</td> </tr> </tbody> </table>			種類 (呼び名)	仕上げの形状	工法	・外装厚塗材 C	・吹放し・凸部処理	吹付け	・平たん状・凹凸状・ひき起し・かき落し	こて塗り	・外装厚塗材 Si	・吹放し・凸部処理	吹付け	・平たん状・凹凸状・ひき起し	こて塗り	・外装厚塗材 E	・平たん状・凹凸状・ひき起し	ロー塗り	・平たん状・凹凸状・ひき起し	こて塗り	・内装厚塗材 C	・吹放し・凸部処理	吹付け	・平たん状・凹凸状・ひき起し・かき落し	こて塗り	・内装厚塗材 L	・平たん状・凹凸状・ひき起し・かき落し	こて塗り	・内装厚塗材 G	・平たん状・凹凸状・ひき起し・かき落し	こて塗り	・内装厚塗材 Si	・吹放し・凸部処理	吹付け	・内装厚塗材 E	・平たん状・凹凸状・ひき起し	こて塗り	・平たん状・凹凸状・ひき起し	ロー塗り	◎複層仕上塗材の施工箇所： ・図示 材料の防火指定： ・無 ・有 (不燃認定品			<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類 (呼び名)</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">・複層塗材 CE</td> <td>・凸部処理・凹凸模様</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>・ゆず肌状</td> <td>ロー塗り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・複層塗材 E</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・複層塗材 RE</td> <td>・凸部処理・凹凸模様</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ゆず肌状</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・可とう形複層塗材 CE</td> <td>・凸部処理・凹凸模様</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ゆず肌状</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・複層塗材 RS</td> <td>・凸部処理・凹凸模様</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ゆず肌状</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・防水形複層塗材 CE</td> <td>・凸部処理・凹凸模様</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>○防水形複層塗材 E</td> <td>○ゆず肌状</td> <td>ロー塗り</td> </tr> <tr> <td>・防水形複層塗材 RS</td> <td>・エスケー化研クールテクト同等品</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・防水形複層塗材 RE</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3">耐候性： ○耐候形3種 上塗材溶媒： ・溶剤系 ・弱溶剤系 ○水系 上塗材樹脂： ○アクリル系 ・シリカ系 ・ポリアミン系 ・アクリルシリコン系 ・ふっ素系 上塗材外観： ○つやあり ・つやなし ・メリック 防水形の増塗材の適用： ・する ○しない</td> <td colspan="3">7. マスチック塗材塗り 種別： ・A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> <td colspan="3">7.2 材料</td> </tr> </tbody> </table>			種類 (呼び名)	仕上げの形状	工法	・複層塗材 CE	・凸部処理・凹凸模様	吹付け	・ゆず肌状	ロー塗り	・複層塗材 E			・複層塗材 RE	・凸部処理・凹凸模様	吹付け	・ゆず肌状			・可とう形複層塗材 CE	・凸部処理・凹凸模様	吹付け	・ゆず肌状			・複層塗材 RS	・凸部処理・凹凸模様	吹付け	・ゆず肌状			・防水形複層塗材 CE	・凸部処理・凹凸模様	吹付け	○防水形複層塗材 E	○ゆず肌状	ロー塗り	・防水形複層塗材 RS	・エスケー化研クールテクト同等品		・防水形複層塗材 RE			耐候性： ○耐候形3種 上塗材溶媒： ・溶剤系 ・弱溶剤系 ○水系 上塗材樹脂： ○アクリル系 ・シリカ系 ・ポリアミン系 ・アクリルシリコン系 ・ふっ素系 上塗材外観： ○つやあり ・つやなし ・メリック 防水形の増塗材の適用： ・する ○しない			7. マスチック塗材塗り 種別： ・A種 ・B種						7.2 材料		
		種類 (呼び名)					仕上げの形状	工法																																																																																																																																																														
		・外装薄塗材 Si					・砂壁状・ゆず肌状	吹付け																																																																																																																																																														
							・ゆず肌状・さざ波状	ロー塗り																																																																																																																																																														
		・可とう形外装薄塗材 Si					・砂壁状・ゆず肌状	吹付け																																																																																																																																																														
							・ゆず肌状・さざ波状	ロー塗り																																																																																																																																																														
		・外装薄塗材 E					・砂壁状・ゆず肌状・着色骨材砂壁状	吹付け																																																																																																																																																														
							・平たん状・凹凸状・着色骨材砂壁状	こて塗り																																																																																																																																																														
							・ゆず肌状・さざ波状	ロー塗り																																																																																																																																																														
		・可とう形外装薄塗材 E					・砂壁状・ゆず肌状	吹付け																																																																																																																																																														
							・平たん状・凹凸状	こて塗り																																																																																																																																																														
							・ゆず肌状・さざ波状	ロー塗り																																																																																																																																																														
・防水形外装薄塗材 E	・ゆず肌状・さざ波状	ロー塗り																																																																																																																																																																				
	・凹凸状	吹付け																																																																																																																																																																				
・外装薄塗材 S	・砂壁状	吹付け																																																																																																																																																																				
	・内装薄塗材 C	凹凸状	吹付け																																																																																																																																																																			
・内装薄塗材 L	・平たん状・凹凸状	こて塗り																																																																																																																																																																				
	・ゆず肌状・さざ波状	ロー塗り																																																																																																																																																																				
・内装薄塗材 Si	・砂壁状じゅらく・ゆず肌状	吹付け																																																																																																																																																																				
	・内装薄塗材 E	・平たん状・凹凸状	こて塗り																																																																																																																																																																			
・内装薄塗材 W	・ゆず肌状・さざ波状	ロー塗り																																																																																																																																																																				
	・内装薄塗材 W (調湿形)	・京壁状じゅらく・ゆず肌状	吹付け																																																																																																																																																																			
・平たん状・凹凸状	こて塗り																																																																																																																																																																					
◎厚付仕上塗材の施工箇所： ○図示 材料の防火指定： ○無 ・有 (			<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類 (呼び名)</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">・外装厚塗材 C</td> <td>・吹放し・凸部処理</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>・平たん状・凹凸状・ひき起し・かき落し</td> <td>こて塗り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・外装厚塗材 Si</td> <td>・吹放し・凸部処理</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>・平たん状・凹凸状・ひき起し</td> <td>こて塗り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・外装厚塗材 E</td> <td>・平たん状・凹凸状・ひき起し</td> <td>ロー塗り</td> </tr> <tr> <td>・平たん状・凹凸状・ひき起し</td> <td>こて塗り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・内装厚塗材 C</td> <td>・吹放し・凸部処理</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>・平たん状・凹凸状・ひき起し・かき落し</td> <td>こて塗り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・内装厚塗材 L</td> <td>・平たん状・凹凸状・ひき起し・かき落し</td> <td>こて塗り</td> </tr> <tr> <td>・内装厚塗材 G</td> <td>・平たん状・凹凸状・ひき起し・かき落し</td> <td>こて塗り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・内装厚塗材 Si</td> <td>・吹放し・凸部処理</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・内装厚塗材 E</td> <td>・平たん状・凹凸状・ひき起し</td> <td>こて塗り</td> </tr> <tr> <td>・平たん状・凹凸状・ひき起し</td> <td>ロー塗り</td> </tr> </tbody> </table>			種類 (呼び名)	仕上げの形状	工法	・外装厚塗材 C	・吹放し・凸部処理	吹付け	・平たん状・凹凸状・ひき起し・かき落し	こて塗り	・外装厚塗材 Si	・吹放し・凸部処理	吹付け	・平たん状・凹凸状・ひき起し	こて塗り	・外装厚塗材 E	・平たん状・凹凸状・ひき起し	ロー塗り	・平たん状・凹凸状・ひき起し	こて塗り	・内装厚塗材 C	・吹放し・凸部処理	吹付け	・平たん状・凹凸状・ひき起し・かき落し	こて塗り	・内装厚塗材 L	・平たん状・凹凸状・ひき起し・かき落し	こて塗り	・内装厚塗材 G	・平たん状・凹凸状・ひき起し・かき落し	こて塗り	・内装厚塗材 Si	・吹放し・凸部処理	吹付け	・内装厚塗材 E	・平たん状・凹凸状・ひき起し	こて塗り	・平たん状・凹凸状・ひき起し	ロー塗り																																																																																																																												
種類 (呼び名)	仕上げの形状	工法																																																																																																																																																																				
・外装厚塗材 C	・吹放し・凸部処理	吹付け																																																																																																																																																																				
	・平たん状・凹凸状・ひき起し・かき落し	こて塗り																																																																																																																																																																				
・外装厚塗材 Si	・吹放し・凸部処理	吹付け																																																																																																																																																																				
	・平たん状・凹凸状・ひき起し	こて塗り																																																																																																																																																																				
・外装厚塗材 E	・平たん状・凹凸状・ひき起し	ロー塗り																																																																																																																																																																				
	・平たん状・凹凸状・ひき起し	こて塗り																																																																																																																																																																				
・内装厚塗材 C	・吹放し・凸部処理	吹付け																																																																																																																																																																				
	・平たん状・凹凸状・ひき起し・かき落し	こて塗り																																																																																																																																																																				
・内装厚塗材 L	・平たん状・凹凸状・ひき起し・かき落し	こて塗り																																																																																																																																																																				
	・内装厚塗材 G	・平たん状・凹凸状・ひき起し・かき落し	こて塗り																																																																																																																																																																			
・内装厚塗材 Si	・吹放し・凸部処理	吹付け																																																																																																																																																																				
	・内装厚塗材 E	・平たん状・凹凸状・ひき起し	こて塗り																																																																																																																																																																			
・平たん状・凹凸状・ひき起し		ロー塗り																																																																																																																																																																				
◎複層仕上塗材の施工箇所： ・図示 材料の防火指定： ・無 ・有 (不燃認定品			<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類 (呼び名)</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">・複層塗材 CE</td> <td>・凸部処理・凹凸模様</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>・ゆず肌状</td> <td>ロー塗り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・複層塗材 E</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・複層塗材 RE</td> <td>・凸部処理・凹凸模様</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ゆず肌状</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・可とう形複層塗材 CE</td> <td>・凸部処理・凹凸模様</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ゆず肌状</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・複層塗材 RS</td> <td>・凸部処理・凹凸模様</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ゆず肌状</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・防水形複層塗材 CE</td> <td>・凸部処理・凹凸模様</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>○防水形複層塗材 E</td> <td>○ゆず肌状</td> <td>ロー塗り</td> </tr> <tr> <td>・防水形複層塗材 RS</td> <td>・エスケー化研クールテクト同等品</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・防水形複層塗材 RE</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3">耐候性： ○耐候形3種 上塗材溶媒： ・溶剤系 ・弱溶剤系 ○水系 上塗材樹脂： ○アクリル系 ・シリカ系 ・ポリアミン系 ・アクリルシリコン系 ・ふっ素系 上塗材外観： ○つやあり ・つやなし ・メリック 防水形の増塗材の適用： ・する ○しない</td> <td colspan="3">7. マスチック塗材塗り 種別： ・A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> <td colspan="3">7.2 材料</td> </tr> </tbody> </table>			種類 (呼び名)	仕上げの形状	工法	・複層塗材 CE	・凸部処理・凹凸模様	吹付け	・ゆず肌状	ロー塗り	・複層塗材 E			・複層塗材 RE	・凸部処理・凹凸模様	吹付け	・ゆず肌状			・可とう形複層塗材 CE	・凸部処理・凹凸模様	吹付け	・ゆず肌状			・複層塗材 RS	・凸部処理・凹凸模様	吹付け	・ゆず肌状			・防水形複層塗材 CE	・凸部処理・凹凸模様	吹付け	○防水形複層塗材 E	○ゆず肌状	ロー塗り	・防水形複層塗材 RS	・エスケー化研クールテクト同等品		・防水形複層塗材 RE			耐候性： ○耐候形3種 上塗材溶媒： ・溶剤系 ・弱溶剤系 ○水系 上塗材樹脂： ○アクリル系 ・シリカ系 ・ポリアミン系 ・アクリルシリコン系 ・ふっ素系 上塗材外観： ○つやあり ・つやなし ・メリック 防水形の増塗材の適用： ・する ○しない			7. マスチック塗材塗り 種別： ・A種 ・B種						7.2 材料																																																																																																														
種類 (呼び名)	仕上げの形状	工法																																																																																																																																																																				
・複層塗材 CE	・凸部処理・凹凸模様	吹付け																																																																																																																																																																				
	・ゆず肌状	ロー塗り																																																																																																																																																																				
・複層塗材 E																																																																																																																																																																						
	・複層塗材 RE	・凸部処理・凹凸模様	吹付け																																																																																																																																																																			
・ゆず肌状																																																																																																																																																																						
	・可とう形複層塗材 CE	・凸部処理・凹凸模様	吹付け																																																																																																																																																																			
・ゆず肌状																																																																																																																																																																						
	・複層塗材 RS	・凸部処理・凹凸模様	吹付け																																																																																																																																																																			
・ゆず肌状																																																																																																																																																																						
	・防水形複層塗材 CE	・凸部処理・凹凸模様	吹付け																																																																																																																																																																			
○防水形複層塗材 E	○ゆず肌状	ロー塗り																																																																																																																																																																				
・防水形複層塗材 RS	・エスケー化研クールテクト同等品																																																																																																																																																																					
・防水形複層塗材 RE																																																																																																																																																																						
耐候性： ○耐候形3種 上塗材溶媒： ・溶剤系 ・弱溶剤系 ○水系 上塗材樹脂： ○アクリル系 ・シリカ系 ・ポリアミン系 ・アクリルシリコン系 ・ふっ素系 上塗材外観： ○つやあり ・つやなし ・メリック 防水形の増塗材の適用： ・する ○しない			7. マスチック塗材塗り 種別： ・A種 ・B種																																																																																																																																																																			
			7.2 材料																																																																																																																																																																			

備考	月日		月日	
	月	日	月	日
	月	日	月	日

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	
13章 屋根及び 土工事	5.3 工法	⑤ ① 7&ミニウム及び7&ミニウム合金の表面処理 表面処理： ・下表による ※標準仕様書による	14章 金属工事	② 表面処理 表面処理方法 ○溶融亜鉛めっき ・A種 ・B種 ○C種 ○外部鉄部全般 ・電気亜鉛めっき ・D種 ・E種 ・F種	④ 軽量鉄骨天井地下 種類： ※表14.4.1による 屋外の野縁受け、吊りボルト、インサートの間隔： ○≧@900mm 屋外の野縁の間隔： ※標準仕様書表14.4.2による 吊りボルト間隔が900mmを超える場合の補強方法： ・図示 ○メーカー仕様による 天井ふとところ3mを超える場合の補強方法： ○図示 屋外の軒天井、ピロティータ井の補強： ○図示 ○吊りボルトは配管類及びダクト等とは絶縁して取り付ける。 ○天井内配管類及びダクト等により、野縁受けを吊れない場合には、野縁受けの断面積を大きくするか又は補強用チャンネル、アングル等を用いて十分補強を行う。(≦4.5m)	
		⑤ ② 鉄鋼の亜鉛めっき				5. 軽量鉄骨壁下地 種類： ○50形 ○65形 ・90形 ・100形 開口部の補強： ※標準仕様書による ・図示
		⑥ ③ 鉄鋼の亜鉛めっき				6. 金属成形板張り 材種： ・アルミニウム ・ガルバリウム鋼板 製法： ・押出し ・プレス ・ロール 表面処理： ・55%7&ミニウム亜鉛合金めっき処理
		⑦ ④ 鉄鋼の亜鉛めっき				7. アルミニウム製笠木 種類： ・250形 ・300形 ・350形 ・図示 表面処理： ・A-1種 ・A-2種 耐風圧、耐積雪対応固定方法： ・製造メーカー仕様による
		⑧ ⑤ 鉄鋼の亜鉛めっき				8. 金属成形板張り 材種： ・アルミニウム ・ガルバリウム鋼板 製法： ・押出し ・プレス ・ロール 表面処理： ・55%7&ミニウム亜鉛合金めっき処理
		⑨ ⑥ 鉄鋼の亜鉛めっき				9. アルミニウム製笠木 種類： ・250形 ・300形 ・350形 ・図示 表面処理： ・A-1種 ・A-2種 耐風圧、耐積雪対応固定方法： ・製造メーカー仕様による
		⑩ ⑦ 鉄鋼の亜鉛めっき				10. アルミニウム製笠木 種類： ・250形 ・300形 ・350形 ・図示 表面処理： ・A-1種 ・A-2種 耐風圧、耐積雪対応固定方法： ・製造メーカー仕様による
		⑪ ⑧ 鉄鋼の亜鉛めっき				11. アルミニウム製笠木 種類： ・250形 ・300形 ・350形 ・図示 表面処理： ・A-1種 ・A-2種 耐風圧、耐積雪対応固定方法： ・製造メーカー仕様による
		⑫ ⑨ 鉄鋼の亜鉛めっき				12. アルミニウム製笠木 種類： ・250形 ・300形 ・350形 ・図示 表面処理： ・A-1種 ・A-2種 耐風圧、耐積雪対応固定方法： ・製造メーカー仕様による
		⑬ ⑩ 鉄鋼の亜鉛めっき				13. アルミニウム製笠木 種類： ・250形 ・300形 ・350形 ・図示 表面処理： ・A-1種 ・A-2種 耐風圧、耐積雪対応固定方法： ・製造メーカー仕様による
		⑭ ⑪ 鉄鋼の亜鉛めっき				14. アルミニウム製笠木 種類： ・250形 ・300形 ・350形 ・図示 表面処理： ・A-1種 ・A-2種 耐風圧、耐積雪対応固定方法： ・製造メーカー仕様による
		⑮ ⑫ 鉄鋼の亜鉛めっき				15. アルミニウム製笠木 種類： ・250形 ・300形 ・350形 ・図示 表面処理： ・A-1種 ・A-2種 耐風圧、耐積雪対応固定方法： ・製造メーカー仕様による
		⑯ ⑬ 鉄鋼の亜鉛めっき				16. アルミニウム製笠木 種類： ・250形 ・300形 ・350形 ・図示 表面処理： ・A-1種 ・A-2種 耐風圧、耐積雪対応固定方法： ・製造メーカー仕様による
		⑰ ⑭ 鉄鋼の亜鉛めっき				17. アルミニウム製笠木 種類： ・250形 ・300形 ・350形 ・図示 表面処理： ・A-1種 ・A-2種 耐風圧、耐積雪対応固定方法： ・製造メーカー仕様による
14章 金属工事	6.2 材料	② 下地 通気工法ラス系下地の種類： ・二層下地 ・単層下地 ・図示 直張り工法ラス系下地の種類： ・アガル被覆下地 ・アインシールド下地 ・図示 ラス系下地の指定： ・耐力壁仕様 ・防火構造 ・準耐火構造 ・図示 換気口部の措置： ※「公共建築木造工事標準仕様書/11.4.3施工」による ・図示 ラスシート下地の指定： ・耐力壁 ・図示	15章 左官工事	③ モルタル塗り モルタル： ○現場調合材料 ○既調合材料 既製目地： ・適用 ○不適用		
		2.4 ラス系下地				2.5 せっこうボード その他のボード下地
		2.5 せっこうボード				2.6 こまい下地 2.7 木ずれ下地
		2.6 こまい下地				2.7 木ずれ下地
		2.7 木ずれ下地				
		2.8 木ずれ下地				
		2.9 木ずれ下地				
		2.10 木ずれ下地				
		2.11 木ずれ下地				
		2.12 木ずれ下地				
		2.13 木ずれ下地				
		2.14 木ずれ下地				
		2.15 木ずれ下地				
		2.16 木ずれ下地				
2.17 木ずれ下地						
2.18 木ずれ下地						
2.19 木ずれ下地						
2.20 木ずれ下地						
2.21 木ずれ下地						
2.22 木ずれ下地						
2.23 木ずれ下地						
2.24 木ずれ下地						
2.25 木ずれ下地						
2.26 木ずれ下地						
2.27 木ずれ下地						
2.28 木ずれ下地						
2.29 木ずれ下地						
2.30 木ずれ下地						
2.31 木ずれ下地						
2.32 木ずれ下地						
2.33 木ずれ下地						
2.34 木ずれ下地						
2.35 木ずれ下地						
2.36 木ずれ下地						
2.37 木ずれ下地						
2.38 木ずれ下地						
2.39 木ずれ下地						
2.40 木ずれ下地						
2.41 木ずれ下地						
2.42 木ずれ下地						
2.43 木ずれ下地						
2.44 木ずれ下地						
2.45 木ずれ下地						
2.46 木ずれ下地						
2.47 木ずれ下地						
2.48 木ずれ下地						
2.49 木ずれ下地						
2.50 木ずれ下地						
2.51 木ずれ下地						
2.52 木ずれ下地						
2.53 木ずれ下地						
2.54 木ずれ下地						
2.55 木ずれ下地						
2.56 木ずれ下地						
2.57 木ずれ下地						
2.58 木ずれ下地						
2.59 木ずれ下地						
2.60 木ずれ下地						
2.61 木ずれ下地						
2.62 木ずれ下地						
2.63 木ずれ下地						
2.64 木ずれ下地						
2.65 木ずれ下地						
2.66 木ずれ下地						
2.67 木ずれ下地						
2.68 木ずれ下地						
2.69 木ずれ下地						
2.70 木ずれ下地						
2.71 木ずれ下地						
2.72 木ずれ下地						
2.73 木ずれ下地						
2.74 木ずれ下地						
2.75 木ずれ下地						
2.76 木ずれ下地						
2.77 木ずれ下地						
2.78 木ずれ下地						
2.79 木ずれ下地						
2.80 木ずれ下地						
2.81 木ずれ下地						
2.82 木ずれ下地						
2.83 木ずれ下地						
2.84 木ずれ下地						
2.85 木ずれ下地						
2.86 木ずれ下地						
2.87 木ずれ下地						
2.88 木ずれ下地						
2.89 木ずれ下地						
2.90 木ずれ下地						
2.91 木ずれ下地						
2.92 木ずれ下地						
2.93 木ずれ下地						
2.94 木ずれ下地						
2.95 木ずれ下地						
2.96 木ずれ下地						
2.97 木ずれ下地						
2.98 木ずれ下地						
2.99 木ずれ下地						
3.00 木ずれ下地						
3.01 木ずれ下地						
3.02 木ずれ下地						
3.03 木ずれ下地						
3.04 木ずれ下地						
3.05 木ずれ下地						
3.06 木ずれ下地						
3.07 木ずれ下地						
3.08 木ずれ下地						
3.09 木ずれ下地						
3.10 木ずれ下地						
3.11 木ずれ下地						
3.12 木ずれ下地						
3.13 木ずれ下地						
3.14 木ずれ下地						
3.15 木ずれ下地						
3.16 木ずれ下地						
3.17 木ずれ下地						
3.18 木ずれ下地						
3.19 木ずれ下地						
3.20 木ずれ下地						
3.21 木ずれ下地						
3.22 木ずれ下地						
3.23 木ずれ下地						
3.24 木ずれ下地						
3.25 木ずれ下地						
3.26 木ずれ下地						
3.27 木ずれ下地						
3.28 木ずれ下地						
3.29 木ずれ下地						
3.30 木ずれ下地						
3.31 木ずれ下地						
3.32 木ずれ下地						
3.33 木ずれ下地						
3.34 木ずれ下地						
3.35 木ずれ下地						
3.36 木ずれ下地						
3.37 木ずれ下地						
3.38 木ずれ下地						
3.39 木ずれ下地						
3.40 木ずれ下地						
3.41 木ずれ下地						
3.42 木ずれ下地						
3.43 木ずれ下地						
3.44 木ずれ下地						
3.45 木ずれ下地						
3.46 木ずれ下地						
3.47 木ずれ下地						
3.48 木ずれ下地						
3.49 木ずれ下地						
3.50 木ずれ下地						
3.51 木ずれ下地						
3.52 木ずれ下地						
3.53 木ずれ下地						
3.54 木ずれ下地						
3.55 木ずれ下地						
3.56 木ずれ下地						
3.57 木ずれ下地						
3.58 木ずれ下地						
3.59 木ずれ下地						
3.60 木ずれ下地						
3.61 木ずれ下地						
3.62 木ずれ下地						
3.63 木ずれ下地						
3.64 木ずれ下地						
3.65 木ずれ下地						
3.66 木ずれ下地						
3.67 木ずれ下地						
3.68 木ずれ下地						
3.69 木ずれ下地						
3.70 木ずれ下地						
3.71 木ずれ下地						
3.72 木ずれ下地						
3.73 木ずれ下地						
3.74 木ずれ下地						
3.75 木ずれ下地						
3.76 木ずれ下地						
3.77 木ずれ下地						
3.78 木ずれ下地						
3.79 木ずれ下地						
3.80 木ずれ下地						
3.81 木ずれ下地						
3.82 木ずれ下地						
3.83 木ずれ下地						
3.84 木ずれ下地						
3.85 木ずれ下地						
3.86 木ずれ下地						
3.87 木ずれ下地						
3.88 木ずれ下地						
3.89 木ずれ下地						
3.90 木ずれ下地						
3.91 木ずれ下地						
3.92 木ずれ下地						
3.93 木ずれ下地						
3.94 木ずれ下地						
3.95 木ずれ下地						
3.96 木ずれ下地						
3.97 木ずれ下地						
3.98 木ずれ下地						
3.99 木ずれ下地						
4.00 木ずれ下地						
4.01 木ずれ下地						
4.02 木ずれ下地						
4.03 木ずれ下地						
4.04 木ずれ下地						
4.05 木ずれ下地						
4.06 木ずれ下地						
4.07 木ずれ下地						
4.08 木ずれ下地						
4.09 木ずれ下地						
4.10 木ずれ下地						
4.11 木ずれ下地						
4.12 木ずれ下地						
4.13 木ずれ下地						
4.14 木ずれ下地						
4.15 木ずれ下地						
4.16 木ずれ下地						
4.17 木ずれ下地						
4.18 木ずれ下地						
4.19 木ずれ下地						
4.20 木ずれ下地						
4.21 木ずれ下地						
4.22 木ずれ下地						
4.23 木ずれ下地						
4.24 木ずれ下地						
4.25 木ずれ下地						
4.26 木ずれ下地						
4.27 木ずれ下地						
4.28 木ずれ下地						
4.29 木ずれ下地						
4.30 木ずれ下地						
4.31 木ずれ下地						
4.32 木ずれ下地						
4.33 木ずれ下地						
4.34 木ずれ下地						
4.35 木ずれ下地						
4.36 木ずれ下地						
4.37 木ずれ下地						
4.38 木ずれ下地						
4.39 木ずれ下地						
4.40 木ずれ下地						
4.41 木ずれ下地						
4.42 木ずれ下地						
4.43 木ずれ下地						
4.44 木ずれ下地						
4.45 木ずれ下地						
4.46 木ずれ下地						
4.47 木ずれ下地						
4.48 木ずれ下地						
4.49 木ずれ下地						
4.50 木ずれ下地						
4.51 木ずれ下地						
4.52 木ずれ下地						
4.53 木ずれ下地						
4.54 木ずれ下地						
4.55 木ずれ下地						
4.56 木ずれ下地						
4.57 木ずれ下地						
4.58 木ずれ下地						
4.59 木ずれ下地						
4.60 木ずれ下地						
4.61 木ずれ下地						
4.62 木ずれ下地						
4.63 木ずれ下地						
4.64 木ずれ下地						
4.65 木ずれ下地						
4.66 木ずれ下地						
4.67 木ずれ下地						
4.68 木ずれ下地						
4.69 木ずれ下地						

<p>15章 左官工事</p> <p>10.1 一般事項</p> <p>10.2 材 料</p> <p>10.3 調査及び塗厚</p> <p>10.4 工 法</p> <p>11.2 材 料</p> <p>11.3 調 合</p> <p>11.4 塗 厚</p> <p>11.5 工 程</p> <p>11.7 土物仕上げ</p> <p>11.8 大津仕上げ</p> <p>12.2 材 料</p> <p>12.3 配合及び密度等</p>	<p>特記事項</p> <p>10. しっくい塗り</p> <p>しっくいの下地： ※標準仕様書15.10.11による ・図示</p> <p>しっくい： ・現場調査材料 ・既調査合材料（種類等： ）</p> <p>既調査しっくいの各層の塗厚： ※表15.10.1及び表15.10.2による ・図示</p> <p>現場調査しっくいの各層の塗厚： ※表15.10.3及び表15.10.4による ・図示</p> <p>既調査しっくいの上塗り仕上げ： ・なで切り仕上げ ・パターン仕上げ</p> <p>11. こまひ壁塗り</p> <p>土壁用のり： ・ふのり ・つものまた ・ぎんなんそう ・粉末海藻 ・図示</p> <p>大津壁用のり： ・ふのり ・つものまた ・こんにかくのり ・にかわ ・合成高分子系混和剤 ・図示</p> <p>色砂： ・天然砂 ・岩石の砕砂 ・人工着色砂 ・</p> <p>下塗りの割合： ※表15.11.2による ・図示</p> <p>塗厚： ※表15.11.8による ・図示</p> <p>工程の種類： ※A種 ・B種</p> <p>工法の種類： ・土物仕上げ工法（木ごね土物1工法 ・木ごね土物2工法） ・土物仕上げ工法（のりさし土物工法 ・のりごね土物工法） ・砂壁仕上げ工法 ・切返し仕上げ工法</p> <p>ちりじゃくり： ・図示 ・</p> <p>工法の種類： ・普通大津仕上げ工法 ・大津みがき仕上げ工法</p> <p>12. ロックウール收付け</p> <p>ロックウールの熱伝率係数： ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆ ・</p> <p>接着剤の熱伝率係数： ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆ ・</p> <p>收付け厚さ： ・図示 ・30mm ・25mm ・20mm ・</p>	<p>16章 建具工事</p> <p>② 性能及び構造</p> <p>③ 材 料</p> <p>④ 形状及び仕上げ</p> <p>⑤ 性能及び構造</p> <p>⑥ 材 料</p> <p>⑦ 材 料</p> <p>⑧ 工 法</p> <p>7.2 材 料</p> <p>7.3 形状及び仕上げ</p> <p>7.4 工 法</p> <p>⑧ 1 一般事項</p> <p>⑧ 2 材質、形状及び寸法</p> <p>⑧ 3 取付け施工</p> <p>⑧ 4 鍵</p>	<p>特記事項</p> <p>④ 鋼製建具</p> <p>性能及び構造： ※JIS規格による ・</p> <p>外部に面する鋼製建具の耐風圧性能： ①S-4 ・S-5 ・S-6 ・</p> <p>鋼板類の厚さ： ※表16.4.2による ・図示 ・</p> <p>防音ドアセット、サッシの適用： ・適用 ①適用しない ・図示</p> <p>遮音性の等級： ・T-1 ・T-2 ・T-3 ・T-4</p> <p>耐震ドアセットの適用： ・適用 ①適用しない ・図示</p> <p>面内変形追随性の等級： ・D-1 ・D-2 ・D-3</p> <p>⑤ 鋼製軽量建具</p> <p>性能及び構造： ※JIS規格による ・</p> <p>簡易気密型ドアセットの適用： ・適用 ①適用しない ・図示</p> <p>気密性： ・A-1 ・</p> <p>水密性： ・W-1 ・</p> <p>耐震ドアセットの適用： ・適用 ①適用しない ・図示</p> <p>面内変形追随性の等級： ・D-1 ・D-2 ・D-3</p> <p>鋼板の種類： ・ビニル被覆鋼板 ・カー鋼板 ・ステン鋼板 ①図示</p> <p>召合わせ、縦小口包み板等の適用： ・適用 ・適用しない ①図示</p> <p>材質： ※鋼板 ・ステン鋼板 ・7&amp;#304押し出型材 ・</p> <p>鋼板類の厚さ： ・図示 ・0.6mm ・1.5mm（ステン鋼板） ・1.6mm ・2.3mm ①メーカー仕様による</p> <p>6. ステンレス製建具</p> <p>性能及び構造： ※JIS規格による ・</p> <p>ステンレス鋼板の材質： ※SUS304, 430JIL, 430 ・SUS304 ・SUS430 ・</p> <p>表面仕上げ： ①HL ・鏡面 ・パフ（ ） ・</p> <p>曲げ加工： ①普通曲げ ・角出し曲げ</p> <p>7. 木製建具</p> <p>建具材の加工、組立て時の含水率の種類： ※A種 ・B種</p> <p>・フラッシュ戸の心材の中骨、上下横及び中横には空気穴を適正に設ける。</p> <p>合板類の適用： ・適用 ・適用しない ・図示</p> <p>種類： ・ラフ合板 ・シ合板 ・図示 ・</p> <p>かまち戸の樹種： ・桧 ・榎 ・ケヤキ ・樟 ・ソウジ</p> <p>鏡板の樹種： ・杉 ・桧 ・ケヤキ ・榎 ・ソウジ</p> <p>ふすまの上張りの種類： ・本鳥の子 ・新鳥の子 ・ビニル紙 ・</p> <p>代用樹種等を適用しない箇所： ・</p> <p>フラッシュ戸の表面板の厚さ： ※表16.7.6による ・</p> <p>かまち戸の見込寸法： ・図示 ※36mm ・</p> <p>ふすまの見込寸法： ・図示 ※19.5mm ・</p> <p>戸ぶすまの見込寸法： ・図示 ※30mm ・</p> <p>紙貼障子の見込寸法： ・図示 ※30mm ・</p> <p>ふすまの工法： ・Ⅰ型 ・Ⅱ型 ・</p> <p>ふすまの縁の仕上げ： ・図示 ・本漆塗り ・カキ塗り ①レタ塗装 ・素木 ・</p> <p>枠の材料： ・図示</p> <p>くつずりの材料： ・図示</p> <p>⑧ 建具用金物</p> <p>適用範囲： ①建具製作仕様以外の金物（ 金物の種類、材質： ※表16.8.1による ・ 軸吊りヒンジ： ①自閉装置付き ・自閉装置なし ドアクローザーのディレードアクション（遅延閉）機能の適用： ①適用 ・適用しない 戸当り： ①あおり止め（ワケ）付き ・あおり止め（ワケ）付きなし 金属製建具の丁番： ※表16.8.2による ・ 樹脂製建具の丁番： ※表16.8.3による ・ 木製建具の丁番： ※表16.8.4による ・ ドアハンドル類の取付け位置： ①FL+900 ・FL+1,000 ・図示 ・ クレセント類の取付け位置： ①窓高さの1/2高さ（高窓は協議による） ・図示 ・ マスターキー： ①製作する ・製作しない ①マスターキーの製作については施設管理者及び監督員と協議する。 マスターキーの系統： ・系統 指定建物錠の防犯性能の適用： ①する ・しない 指定建物錠とは、建物の外部出入口用に用いるシリンダー錠・シリンダー錠・サム錠が該当</p> <p>耐ビッキング性能 ・5分未満 ・5分以上 ※10分以上 耐鍵穴壊し性能 ・5分未満 ・5分以上 ※10分以上 耐サムターン回し性能 ・なし（5分未満） ※あり（5分以上） 耐カム送り解錠性能 ・なし（5分未満） ※あり（5分以上） 耐こじ破り性能 ・なし（5分未満） ※あり（5分以上）</p> <p>出荷時の子鍵本数： ※3本 ・本</p> <p>鍵箱の適用： ①必要 ・不必要</p>	<p>16章 建具工事</p> <p>9.2 性能・機構</p> <p>⑩ 性能等</p> <p>⑩ 2 形式及び機構</p> <p>⑩ 3 材 料</p> <p>12.2 形式及び機構</p> <p>12.4 形状及び仕上げ</p> <p>13.2 形式及び機構</p> <p>⑩ 2 材 料</p> <p>⑩ 3 ガラス溝の寸法、形状等</p> <p>14.5 ガラスラック積み</p>	<p>特記事項</p> <p>9. 自動ドア開閉装置</p> <p>スライディングドアの開閉方式： ・図示 ・片引き ・引分け</p> <p>スライディングドアの開閉性能： ※表16.9.1による ・SSLD-1 ・SSLD-2 ・DSL-1 ・DSL-2</p> <p>多機能トイレ出入口引き戸の開閉性能： ※表16.9.2による ・図示</p> <p>検出装置の性能： ※表16.9.3による ・図示</p> <p>戸の開閉方法： ・図示 ・</p> <p>センサーの種類： ・図示 ・マットスイッチ ・光線スイッチ ・熱線スイッチ ・音波スイッチ ・光電スイッチ ・タッチスイッチ ・押しボタンスイッチ ・ベグススイッチ ・多機能便所スイッチ</p> <p>凍結防止装置： ・有 ・無</p> <p>⑩ 1. 自閉式上吊り引戸装置</p> <p>性能： ※表16.10.1による ・</p> <p>⑩ 2. 重量シャッター</p> <p>シャッターの種類： ①図示 ・一般重量シャッター ・外壁用防火シャッター ・防煙シャッター ・屋内用防火シャッター</p> <p>外壁開口部耐風圧性能： ・80 ・120 ①メーカー仕様による</p> <p>開閉機能： ※電動式（手動併用） ・手動式 ・</p> <p>危害防止装置の設置箇所： ①図示 ・座板底面 ①メーカー仕様による</p> <p>管理用シャッターのシャッターケース： ※図示 ・設ける ・設けず</p> <p>スラット等鋼板の種類： ・塗装溶融亜鉛めっき鋼板 ・溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステン鋼板 ①メーカー仕様による</p> <p>溶融亜鉛めっきの付着量： ・Z12（F12） ①図示</p> <p>⑩ 3. 軽量シャッター</p> <p>開閉形式： ※手動式 ・電動式（手動併用） ・</p> <p>＜開閉形式＞： ※手動式 ・電動式（手動併用） ・</p> <p>耐風圧性能： ・50 ・80 ・120 ・</p> <p>スラット等鋼板の種類： ・塗装溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステン鋼板 ・塗装溶融亜鉛-5%7&amp;#304合金めっき鋼板 ・7&amp;#304押し出型材</p> <p>溶融亜鉛めっきの付着量： ・Z06（F06） ・AZ90 ・</p> <p>＜パイプの材質＞： ・ステンレス ・スチール ・</p> <p>＜パイプ径＞： ・図示 ・13mm ・16mm ・19mm ・</p> <p>＜パイプ間隔＞： ・図示 ・70mm ・</p> <p>＜格子間隔＞： ・図示 ・500mm ・</p> <p>スラットの形状： ・インターロック形 ・オーバークラック形</p> <p>13. オーバーヘッドドア</p> <p>セクション材料による區別： ・図示 ・下表による</p> <table border="1"> <tr> <th>セクション材料による區別</th> <th>開閉方式による種類</th> <th>収納形式による区分</th> <th>ガイドレールの材料</th> </tr> <tr> <td>・スチールタイプ</td> <td>・バラス式</td> <td>・スタンダード形</td> <td>・鋼製</td> </tr> <tr> <td>・7&amp;#304押し出型材タイプ</td> <td>・チェーン式</td> <td>・ハイブリッド形 ・ローヘッド形</td> <td>・ステンレス製</td> </tr> <tr> <td>・ファイバーグラスタイプ</td> <td>・電動式</td> <td>・バッチェル形</td> <td></td> </tr> </table> <p>耐風圧性能： ・50 ・75 ・100 ・125</p> <p>⑩ 4. ガラス</p> <p>ガラスの種類： ①図示 ・</p> <p>ガラス留め材</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">金属性製建具用バテはJISA5752による。</th> </tr> <tr> <th>建具の種類</th> <th>種類・材質</th> </tr> <tr> <td>・7&amp;#304合金製</td> <td>・シーリング材 ※スリット材 ・バテ材（1種 ・2種）</td> </tr> <tr> <td>・鋼 製</td> <td>※シーリング材 ・バテ材（1種 ・2種）</td> </tr> <tr> <td>・ステンレス製</td> <td>※シーリング材 ・バテ材（1種 ・2種）</td> </tr> <tr> <td>・木 製</td> <td>※シーリング材 ・バテ材（木製用 ・）</td> </tr> </table> <p>ガラス溝の大きさ： ※製造所仕様による ・図示</p> <p>表面形状： ・図示 ・ブレン ・梨地 ・加ミ ・</p> <p>寸法、厚み： ・図示 ・190x190x95 ・145x145x95 ・</p> <p>壁用金属枠： ・図示 ・7&amp;#304合金製 ・スチール製 ・ステンレス製 ・</p> <p>補強剤： ・図示 ・</p> <p>化粧目地の色： ・白 ・グレー ・黒 ・</p> <p>シーリング材： ・ホリマルフィット系 ・ケラチ系 ・シリコン系 ・</p> <p>金属製化粧力バー： ・図示 ・</p> <p>壁用金属枠の留付間隔（木造下地）： ・製造所の仕様 ・450mm ・300mm</p> <p>風圧力に対応した工法： ・</p> <p>目地幅： ※標準仕様書による ・</p> <p>伸縮調整目地の位置： ※標準仕様書による ・</p> <p>伸縮調整目地の仕上： ※標準仕様書による ・</p>	セクション材料による區別	開閉方式による種類	収納形式による区分	ガイドレールの材料	・スチールタイプ	・バラス式	・スタンダード形	・鋼製	・7&#304押し出型材タイプ	・チェーン式	・ハイブリッド形 ・ローヘッド形	・ステンレス製	・ファイバーグラスタイプ	・電動式	・バッチェル形		金属性製建具用バテはJISA5752による。		建具の種類	種類・材質	・7&#304合金製	・シーリング材 ※スリット材 ・バテ材（1種 ・2種）	・鋼 製	※シーリング材 ・バテ材（1種 ・2種）	・ステンレス製	※シーリング材 ・バテ材（1種 ・2種）	・木 製	※シーリング材 ・バテ材（木製用 ・）
セクション材料による區別	開閉方式による種類	収納形式による区分	ガイドレールの材料																														
・スチールタイプ	・バラス式	・スタンダード形	・鋼製																														
・7&#304押し出型材タイプ	・チェーン式	・ハイブリッド形 ・ローヘッド形	・ステンレス製																														
・ファイバーグラスタイプ	・電動式	・バッチェル形																															
金属性製建具用バテはJISA5752による。																																	
建具の種類	種類・材質																																
・7&#304合金製	・シーリング材 ※スリット材 ・バテ材（1種 ・2種）																																
・鋼 製	※シーリング材 ・バテ材（1種 ・2種）																																
・ステンレス製	※シーリング材 ・バテ材（1種 ・2種）																																
・木 製	※シーリング材 ・バテ材（木製用 ・）																																
備考	<p>月日</p> <p>月日</p> <p>月日</p>	<p>月日</p> <p>月日</p> <p>月日</p>	<p>株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect &amp; Associates</p> <p>1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-80097号</p>	<p>2025/03/26</p> <p>佐藤 信</p> <p>伊藤 高基</p>	<p>大東市立住道北小学校長寿命化改良工事（建築工事）</p> <p>特記仕様書6</p>	<p>A-008</p> <p>-</p>																											







改修特記仕様書		特記事項		特記事項																																																																																																																																											
<p>1. 本特記仕様書は、本工事における建築関連工事に適用する。</p> <p>2. 本特記仕様書における採用事項</p> <p>①. 項目欄は番号等に○印を付したものを適用する。</p> <p>②. 項目欄に○印を付し特記事項欄に○印を付していない場合は標準仕様書による。</p> <p>③. 特記事項は○印を付したものを適用する。但し○印の付かない場合は※印の付した事項を採用する。 ○印と※印を付した場合は共に適用する。</p> <p>3. 本特記仕様書に記載なき事項については下記による。</p> <p>○国土交通省大臣官房長官官営繕部監修 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版</p> <p>○国土交通省大臣官房長官官営繕部監修 公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版</p> <p>・国土交通省大臣官房長官官営繕部監修 建築物解体工事共通仕様書 令和4年版</p> <p>4. その他事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各項目欄の番号(例：1.4 ○○○)は標準仕様書の番号(章番号を除く)に照合する</li> <li>・各項目欄の番号(例：表○.○.○、及び図○.○.○)は標準仕様書の各表、及び図番号に該当する項目とする</li> <li>・各項目欄の番号(例：●○.○.章***、公***、●公***)は公共建築工事標準仕様書の各項目に相当する</li> <li>・各項目欄の番号(例：1.* ○○○)は標準仕様書の番号(章番号を除く)に該当しない項目とする</li> </ul>		<p>③騒音・粉じん等の対策</p> <p>騒音・粉じん等の対策： ・防音パネル ○防音シート</p> <p>防音パネル等の設置範囲： ・図示 ・</p> <p>④足場等</p> <p>内部足場の種別： ○脚立 ○足場板 ○ローリングクワ ・</p> <p>外部足場の設置、種別： ・設置しない ○設置する ○枠組足場 ・単管足場 ・】</p> <p>保護シートの設置： ○設置する ・設置しない</p> <p>材料等の運搬方法： ○A種 ○B種 ○C種 ○D種 ○E種</p> <p>既存部分養生材料： ・ビニールシート ○その他：施工者にて適材適所を選択する</p> <p>既存家具養生材料： ・ビニールシート ○その他：施工者にて適材適所を選択する</p> <p>既存フラインド、カーテンの養生方法：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指定場所に保管し再設置</li> <li>・指定場所に保管し清掃の上再設置</li> </ul> <p>仮設間仕切り： ・無し ○有り</p> <p>設置箇所： ○図示 ・</p> <p>種 別： ・A種 ・B種 ・C種</p> <p>仮設扉： ・不要 ○必要【設置箇所： ○図示 ・任意の場所 ・】</p> <p>仮設扉の種別： ・鋼製 ○木製 ・図示 ・</p> <p>監督職員事務所の設置： ○必要 ・不要</p> <p>○監督員事務所の規模、設備、備品等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・（ ）号(会議室(15)m<sup>2</sup>を含む)</li> <li>・（ ）号に会議室( )m<sup>2</sup>を加えた規模</li> <li>・専用電話 ・兼用FAX ○冷暖房機 ○机 ○椅子 ○書棚 ・検査用具 ・その他：</li> </ul> <p>受注者事務所の設置： ○必要 ・不要</p> <p>○受注者事務所の規模、設備、備品等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・（ ）号(会議室( )m<sup>2</sup>を含む)</li> <li>・（ ）号に会議室( )m<sup>2</sup>を加えた規模</li> <li>○専用電話 ○兼用FAX ○冷暖房機 ○机 ○椅子 ○書棚 ○検査用具 ○その他：Wi-Fi</li> </ul> <p>構内既存の用水施設： ○利用できない ・利用できる(・有償 ・無償)</p> <p>構内既存の電力施設： ○利用できない ・利用できる(・有償 ・無償)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・動力以外利用できる(・有償 ・無償)</li> </ul>		<p>③章 防水改修工事</p> <p>3.2 材 料</p> <p>防水押え金物： ・製造所推奨の金物 ※A1製L-30x15x2.0程度</p> <p>保護防水断熱工法の断熱材の材質： ・図示 ・製造所仕様による</p> <p>保護防水断熱工法の断熱材の厚さ： ・図示 ・50mm ・35mm ・</p> <p>露出防水断熱工法の断熱材の材質： ・図示 ・製造所仕様による</p> <p>露出防水断熱工法の断熱材の厚さ： ・図示 ・50mm ・35mm ・</p> <p>絶縁シートの材料の指定： ※標準仕様書による ・製造所仕様による</p> <p>保護コンクリートの設計基準強度： ※18N/mm<sup>2</sup> ・21N/mm<sup>2</sup> ・</p> <p>保護コンクリートのスラブ： ※18cm ・15cm ・</p> <p>防水層立上り部の保護の種類： ・乾式保護【・押出成形eps板 ・図示 ・】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・湿式保護【・モルタル ・普通れんが(JIS R 1250) ・図示 ・】</li> </ul> <p>3.3 種別及び工程</p> <p>◎屋根保護防水</p> <p>防水立上りの保護コンクリートの適用： ・適用しない ・適用する</p> <p>防水立上りの保護コンクリートの工法： ・図示 ・</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>工法／種別</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・PHR階屋上</td> <td>・PIB／・B-1 ・B-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・R階屋上</td> <td>・P1B1／・BI-1 ・BI-2</td> <td>断熱材：t=</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・T1B1／・BI-1 ・BI-2 ・BI-3</td> <td>断熱材：t=</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・P2A1／・AI-1 ・AI-2 ・AI-3</td> <td>断熱材：t=</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・P2A／・A-1 ・A-2 ・A-3</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>◎屋根露出防水</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>工法／種別</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・PHR階屋上</td> <td>・M4C／・C-1 ・C-2 ・C-3 ・C-4</td> <td>仕上塗料；</td> </tr> <tr> <td>・R階屋上</td> <td>・M3D／・D-1 ・D-2</td> <td>仕上塗料；</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・POD／・D-1 ・D-2</td> <td>仕上塗料；</td> </tr> </tbody> </table> <p>◇M3D工法及びPOD工法の脱気装置</p> <p>脱気装置の種類： ※製造所仕様による ・図示 ・</p> <p>脱気装置の設置数量： ※製造所仕様による ・図示 ・</p> <p>◎屋根露出防水絶縁断熱工法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>工法／種別</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・PHR階屋上</td> <td>・POD1／・D1-1 ・D1-2</td> <td>仕上塗料；</td> </tr> <tr> <td>・R階屋上</td> <td>・M3D1／・D1-1 ・D1-2</td> <td>仕上塗料；</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・M4D1／・D1-1 ・D1-2</td> <td>仕上塗料；</td> </tr> </tbody> </table> <p>脱気装置の種類： ※製造所仕様による ・図示 ・</p> <p>脱気装置の設置数量： ※製造所仕様による ・図示 ・</p> <p>◎屋内防水</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>工法／種別</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・浴室</td> <td>・P1E／・E-1 ・E-2</td> <td>保護層：普通コンクリート</td> </tr> <tr> <td>・機械室</td> <td>・P2E／・E-1 ・E-2</td> <td>保護層：軽量コンクリート</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保護層：モルタルt=30</td> </tr> </tbody> </table> <p>ルーフドレン廻りの断熱材の張仕舞い位置： ・製造メーカー推奨による ・図示</p> <p>保護層のコンクリートの厚さ： ・100mm ※80mm ※60mm ・図示 ・</p> <p>床面コンクリートの平坦さ： 表8.1.5【・a種 ・b種 ・c種】</p> <p>防水立上り部部の保護： ・露出 ・コンクリート ・レング押え ・乾式保護材：</p> <p>屋上排水溝： ・設置する ・設置しない</p> <p>4. 改質アスファルトシート防水</p> <p>改質アスファルトシートの種別・厚さ： ※表3.4.1~3.4.3による ・製造所仕様による</p> <p>粘着層付改質アスファルトシートの種別・厚さ： ※表3.4.1~3.4.3による ・製造所仕様による</p> <p>露出防水断熱工法の断熱材の材質： ・図示 ・製造所仕様による</p> <p>露出防水断熱工法の断熱材の厚さ： ・図示 ・50mm ・35mm ・</p> <p>◎屋根露出防水密着工法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>工法／種別</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・PHR階屋上</td> <td>・M4AS／・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-J2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・R階屋上</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>◎屋根露出防水絶縁工法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>工法／種別</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・PHR階屋上</td> <td>・M3AS1／・AS1-T1 ・AS1-J1</td> <td>防湿層：・設置 脱気装置：・設置</td> </tr> <tr> <td>・R階屋上</td> <td>・M4AS1／・AS1-T1 ・AS1-J1</td> <td>防湿層：・設置 脱気装置：・設置</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・POAS1／・AS1-T1 ・AS1-J1</td> <td>防湿層：・設置 脱気装置：・設置</td> </tr> </tbody> </table> <p>◎屋根露出防水絶縁断熱工法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>工法／種別</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・PHR階屋上</td> <td>・M3AS1／・AS1-T1 ・AS1-J1</td> <td>防湿層：・設置 脱気装置：・設置</td> </tr> <tr> <td>・R階屋上</td> <td>・M4AS1／・AS1-T1 ・AS1-J1</td> <td>防湿層：・設置 脱気装置：・設置</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・POAS1／・AS1-T1 ・AS1-J1</td> <td>防湿層：・設置 脱気装置：・設置</td> </tr> </tbody> </table>		施工部位	工法／種別	備 考	・PHR階屋上	・PIB／・B-1 ・B-2		・R階屋上	・P1B1／・BI-1 ・BI-2	断熱材：t=		・T1B1／・BI-1 ・BI-2 ・BI-3	断熱材：t=		・P2A1／・AI-1 ・AI-2 ・AI-3	断熱材：t=		・P2A／・A-1 ・A-2 ・A-3		施工部位	工法／種別	備 考	・PHR階屋上	・M4C／・C-1 ・C-2 ・C-3 ・C-4	仕上塗料；	・R階屋上	・M3D／・D-1 ・D-2	仕上塗料；		・POD／・D-1 ・D-2	仕上塗料；	施工部位	工法／種別	備 考	・PHR階屋上	・POD1／・D1-1 ・D1-2	仕上塗料；	・R階屋上	・M3D1／・D1-1 ・D1-2	仕上塗料；		・M4D1／・D1-1 ・D1-2	仕上塗料；	施工部位	工法／種別	備 考	・浴室	・P1E／・E-1 ・E-2	保護層：普通コンクリート	・機械室	・P2E／・E-1 ・E-2	保護層：軽量コンクリート			保護層：モルタルt=30	施工部位	工法／種別	備 考	・PHR階屋上	・M4AS／・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-J2		・R階屋上			施工部位	工法／種別	備 考	・PHR階屋上	・M3AS1／・AS1-T1 ・AS1-J1	防湿層：・設置 脱気装置：・設置	・R階屋上	・M4AS1／・AS1-T1 ・AS1-J1	防湿層：・設置 脱気装置：・設置		・POAS1／・AS1-T1 ・AS1-J1	防湿層：・設置 脱気装置：・設置	施工部位	工法／種別	備 考	・PHR階屋上	・M3AS1／・AS1-T1 ・AS1-J1	防湿層：・設置 脱気装置：・設置	・R階屋上	・M4AS1／・AS1-T1 ・AS1-J1	防湿層：・設置 脱気装置：・設置		・POAS1／・AS1-T1 ・AS1-J1	防湿層：・設置 脱気装置：・設置	<p>③章 防水改修工事</p> <p>①一般事項</p> <p>防水工事の保証書の提出及び保証年限</p> <p>○保証年限10年；7mm防水 ○合成高分子膜フック防水 ○塗膜防水</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保証年限5年；塗膜防水 ・その他；</li> </ul> <p>&lt;保証書(請負人、材料製造所、防水施工者の連帯保証)は各2通提出する。防水施工者は、防水材料製造所の施工者とし、監督員の承諾を受ける&gt;</p> <p>降雨等による養生方法： ※標準仕様書による ・図示 ・</p> <p>◎防水改修工法の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>工法の種類</th> <th>備 考(特記工程)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○屋上防水</td> <td>S1-M2工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>◎シーリング改修工法の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>工法の種類</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○外壁コンクリート打継目地</td> <td>シーリング充填工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・外壁コンクリート誘発目地</td> <td>シーリング再充填工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・外壁開口部建具廻り目地</td> <td>拡幅シーリング再充填工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・Eps材の取付、撤去</td> <td>アリッジ工法</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>② 既存防水層等の撤去及び既存下地の処理</p> <p>2重ドレンの設置： ○行わない ・行う(施工箇所；</p> <p>補修箇所の形状、長さ、数量等： ・下表による ・図示 ○躯体補修による</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>形状・長さ数量等</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・脆弱部の補修</td> <td>m<sup>2</sup></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・既存目地の欠損部補修</td> <td>m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・欠損部の補修</td> <td>m<sup>2</sup></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・防水層表面の仕上げ塗装の除去</td> <td>m<sup>2</sup></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>既存防水層表面の仕上げ塗装の除去： ○行わない ・行う</p> <p>立上り防水層の処置：</p> <p>○撤去する ・撤去しない【補修方法： ・標準仕様書3.2.6(4)による】 ・図示】</p> <p>設備架台等防水層取り合い部の処置： ○協議による ・図示 ・</p> <p>3. アスファルト防水</p> <p>改質アスファルトルーフィングシートの種別・厚さ：</p> <p>※表3.3.3~3.3.9による ・製造所仕様による</p> <p>部分粘着層付改質アスファルトルーフィングの種別・厚さ：</p> <p>※表3.3.3~3.3.9による ・製造所仕様による</p>		施工部位	工法の種類	備 考(特記工程)	○屋上防水	S1-M2工法											施工部位	工法の種類	備 考	○外壁コンクリート打継目地	シーリング充填工法		・外壁コンクリート誘発目地	シーリング再充填工法		・外壁開口部建具廻り目地	拡幅シーリング再充填工法		・Eps材の取付、撤去	アリッジ工法		施工部位	形状・長さ数量等	備 考	・脆弱部の補修	m <sup>2</sup>		・既存目地の欠損部補修	m		・欠損部の補修	m <sup>2</sup>		・防水層表面の仕上げ塗装の除去	m <sup>2</sup>		<p>3.2 材 料</p> <p>改質アスファルトルーフィングシートの種別・厚さ：</p> <p>※表3.3.3~3.3.9による ・製造所仕様による</p> <p>部分粘着層付改質アスファルトルーフィングの種別・厚さ：</p> <p>※表3.3.3~3.3.9による ・製造所仕様による</p>		<p>株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect &amp; Associates</p> <p>2025/03/26</p> <p>佐藤 信</p> <p>大東市立住道北小学校校長寿命化改良工事(建築工事)</p> <p>A-012</p>	
施工部位	工法／種別	備 考																																																																																																																																													
・PHR階屋上	・PIB／・B-1 ・B-2																																																																																																																																														
・R階屋上	・P1B1／・BI-1 ・BI-2	断熱材：t=																																																																																																																																													
	・T1B1／・BI-1 ・BI-2 ・BI-3	断熱材：t=																																																																																																																																													
	・P2A1／・AI-1 ・AI-2 ・AI-3	断熱材：t=																																																																																																																																													
	・P2A／・A-1 ・A-2 ・A-3																																																																																																																																														
施工部位	工法／種別	備 考																																																																																																																																													
・PHR階屋上	・M4C／・C-1 ・C-2 ・C-3 ・C-4	仕上塗料；																																																																																																																																													
・R階屋上	・M3D／・D-1 ・D-2	仕上塗料；																																																																																																																																													
	・POD／・D-1 ・D-2	仕上塗料；																																																																																																																																													
施工部位	工法／種別	備 考																																																																																																																																													
・PHR階屋上	・POD1／・D1-1 ・D1-2	仕上塗料；																																																																																																																																													
・R階屋上	・M3D1／・D1-1 ・D1-2	仕上塗料；																																																																																																																																													
	・M4D1／・D1-1 ・D1-2	仕上塗料；																																																																																																																																													
施工部位	工法／種別	備 考																																																																																																																																													
・浴室	・P1E／・E-1 ・E-2	保護層：普通コンクリート																																																																																																																																													
・機械室	・P2E／・E-1 ・E-2	保護層：軽量コンクリート																																																																																																																																													
		保護層：モルタルt=30																																																																																																																																													
施工部位	工法／種別	備 考																																																																																																																																													
・PHR階屋上	・M4AS／・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-J2																																																																																																																																														
・R階屋上																																																																																																																																															
施工部位	工法／種別	備 考																																																																																																																																													
・PHR階屋上	・M3AS1／・AS1-T1 ・AS1-J1	防湿層：・設置 脱気装置：・設置																																																																																																																																													
・R階屋上	・M4AS1／・AS1-T1 ・AS1-J1	防湿層：・設置 脱気装置：・設置																																																																																																																																													
	・POAS1／・AS1-T1 ・AS1-J1	防湿層：・設置 脱気装置：・設置																																																																																																																																													
施工部位	工法／種別	備 考																																																																																																																																													
・PHR階屋上	・M3AS1／・AS1-T1 ・AS1-J1	防湿層：・設置 脱気装置：・設置																																																																																																																																													
・R階屋上	・M4AS1／・AS1-T1 ・AS1-J1	防湿層：・設置 脱気装置：・設置																																																																																																																																													
	・POAS1／・AS1-T1 ・AS1-J1	防湿層：・設置 脱気装置：・設置																																																																																																																																													
施工部位	工法の種類	備 考(特記工程)																																																																																																																																													
○屋上防水	S1-M2工法																																																																																																																																														
施工部位	工法の種類	備 考																																																																																																																																													
○外壁コンクリート打継目地	シーリング充填工法																																																																																																																																														
・外壁コンクリート誘発目地	シーリング再充填工法																																																																																																																																														
・外壁開口部建具廻り目地	拡幅シーリング再充填工法																																																																																																																																														
・Eps材の取付、撤去	アリッジ工法																																																																																																																																														
施工部位	形状・長さ数量等	備 考																																																																																																																																													
・脆弱部の補修	m <sup>2</sup>																																																																																																																																														
・既存目地の欠損部補修	m																																																																																																																																														
・欠損部の補修	m <sup>2</sup>																																																																																																																																														
・防水層表面の仕上げ塗装の除去	m <sup>2</sup>																																																																																																																																														
備考		1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-80097号		佐藤 信		伊藤 高基		改修特記仕様書1		-																																																																																																																																					

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																																																																																
③章 防水改修工事	②材料	⑤ 合成高分子系ルーフィングシート防水 ルーフィングシートの種類・厚さ： ※表3.5.1～3.5.3による 絶縁用シート： ※発泡ポリエチレンシート・図示 固定金具の材質： ・スチール・亜鉛めっき鋼板・図示 機械固定工法の断熱材の材質： ・図示 機械固定工法の断熱材の厚さ： ・50mm・35mm 接着工法の断熱材の材質： ・図示 接着工法の断熱材の厚さ： ・50mm・35mm	②材料	縦どいの材種： ・配管用鋼管・塩化ビニル管・UPVC・VP・UPVC-VU 掃除口： ・有・無 飾り掛： ・塩ビ製・銅板製 とい受け金物及び足金物の材質： ※表3.8.2 軒樋の取付間隔： ※表3.8.2 軒樋の取付間隔： ※表3.8.2 ルーフトレイン： ・スチール製・鋳鉄製・7Mニウム製 既存といの撤去及び降雨時の養生： ・仮設のといを設置する 鋼管製といの防露巻き： ・行方・行わない 施工箇所： ※表3.8.4による ルーフトレインの取替え： ・行わない・行方	④章 外壁改修工事	①材料	③ モルタル塗り仕上げ外壁の改修 モルタル塗替え工法用材料： ・現場調査モルタル・既調査モルタル アンカーピンニング（注入口付アンカーピンニング）注入工法用材料： ポリマーセメントスラリー： ・図示 アンカーピンの材質： ※スチール鋼(SUS304・φ4mm・全衫)・図示 注入口付アンカーピンの材質： ※スチール鋼(SUS304・φ6mm)・図示 ④自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 注入間隔： ※200～300mm・300～400mm 注入量： ・約 cc/m ⑤手動式エポキシ樹脂注入工法 注入間隔： ・200～300mm・300～400mm ⑥機械式エポキシ樹脂注入工法 注入間隔： ・200～300mm・300～400mm コア抜き検査： ・行わない・行方【個数： ※1個/500m】 コア抜き取り部の補修方法： ・モルタル樹脂モルタル充填・ポリマーセメントモルタル充填 ⑦充填 充填材： ・シーリング用材充填・シーリング材の上にポリマーセメント充填 ・可とう性モルタル樹脂充填 塗り厚が25mmを超える場合： ・図示 ⑧アンカーピンニング工法																																																																																																	
	③種類及び工程	<table border="1"> <thead> <tr> <th>工法種別</th> <th>種類/種別</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>S-M2(S1-M2)</td> <td>・エポキシ樹脂系/均質シート</td> <td>・1.2 ※1.5・2.0</td> </tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr> <th>施工部位</th> <th>工法/種別</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・屋根</td> <td>・S3S・S3SI / ・S-F1・S1-F1 ・M4S・M4SI / ・S-M1・S1-M1 ・S-M2 / S1-M2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・屋根(屋内運動場)</td> <td>・アルミカバー工法 JIS G 3321</td> <td></td> </tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>	工法種別	種類/種別	厚さ(mm)	S-M2(S1-M2)	・エポキシ樹脂系/均質シート	・1.2 ※1.5・2.0																施工部位	工法/種別	備考	・屋根	・S3S・S3SI / ・S-F1・S1-F1 ・M4S・M4SI / ・S-M1・S1-M1 ・S-M2 / S1-M2		・屋根(屋内運動場)	・アルミカバー工法 JIS G 3321														8.3工法	9. アルミニウム製笠木 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>工法/種別</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2Fバルコニー</td> <td>・250形・300形・350形</td> <td>折曲げ形状は図示</td> </tr> <tr> <td>RFバルコニー</td> <td>・オープン形式・シール形式</td> <td>折曲げ形状は図示</td> </tr> </tbody> </table>	施工部位	工法/種別	備考	2Fバルコニー	・250形・300形・350形	折曲げ形状は図示	RFバルコニー	・オープン形式・シール形式	折曲げ形状は図示	④章 外壁改修工事	⑦ウカットシール材充填工法	⑩モルタル塗替え工法 3.11～3.16 アンカーピンニング***工法 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">工法名称</th> <th colspan="2">アンカーピン(本/m)</th> <th colspan="2">注入孔数(箇所/m)</th> <th rowspan="2">1箇所当り 充填量(cc)</th> </tr> <tr> <th>一般部分</th> <th>指定部分</th> <th>一般部分</th> <th>指定部分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・アンカーピンニング部分モルタル樹脂注入工法</td> <td>16</td> <td>25</td> <td>16</td> <td>25</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング全面モルタル樹脂注入工法</td> <td>13</td> <td>20</td> <td>12</td> <td>20</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー樹脂注入工法</td> <td>13</td> <td>20</td> <td>12</td> <td>20</td> <td>※50</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング部分モルタル樹脂注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>9</td> <td>16</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング全面モルタル樹脂注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー樹脂注入工法</td> <td>9</td> <td>16</td> <td>9</td> <td>16</td> <td>※50</td> </tr> </tbody> </table>	工法名称	アンカーピン(本/m)		注入孔数(箇所/m)		1箇所当り 充填量(cc)	一般部分	指定部分	一般部分	指定部分	・アンカーピンニング部分モルタル樹脂注入工法	16	25	16	25	※25	・アンカーピンニング全面モルタル樹脂注入工法	13	20	12	20	※25	・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー樹脂注入工法	13	20	12	20	※50	・注入口付アンカーピンニング部分モルタル樹脂注入工法	※9	※16	9	16	※25	・注入口付アンカーピンニング全面モルタル樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25	・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー樹脂注入工法	9	16	9	16	※50
工法種別	種類/種別	厚さ(mm)																																																																																																						
S-M2(S1-M2)	・エポキシ樹脂系/均質シート	・1.2 ※1.5・2.0																																																																																																						
施工部位	工法/種別	備考																																																																																																						
・屋根	・S3S・S3SI / ・S-F1・S1-F1 ・M4S・M4SI / ・S-M1・S1-M1 ・S-M2 / S1-M2																																																																																																							
・屋根(屋内運動場)	・アルミカバー工法 JIS G 3321																																																																																																							
施工部位	工法/種別	備考																																																																																																						
2Fバルコニー	・250形・300形・350形	折曲げ形状は図示																																																																																																						
RFバルコニー	・オープン形式・シール形式	折曲げ形状は図示																																																																																																						
工法名称	アンカーピン(本/m)		注入孔数(箇所/m)		1箇所当り 充填量(cc)																																																																																																			
	一般部分	指定部分	一般部分	指定部分																																																																																																				
・アンカーピンニング部分モルタル樹脂注入工法	16	25	16	25	※25																																																																																																			
・アンカーピンニング全面モルタル樹脂注入工法	13	20	12	20	※25																																																																																																			
・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー樹脂注入工法	13	20	12	20	※50																																																																																																			
・注入口付アンカーピンニング部分モルタル樹脂注入工法	※9	※16	9	16	※25																																																																																																			
・注入口付アンカーピンニング全面モルタル樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25																																																																																																			
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー樹脂注入工法	9	16	9	16	※50																																																																																																			
	④施工	脱気装置： ・設置 断熱材の種類： ・押出法ポリスチレンフォーム3種B(スチ付)・図示 断熱工法の断熱材の厚さ： ・25mm・35mm・50mm 目地処理（防水種別S-C1の場合）： PCコンクリート下地の場合： ・図示 ALCパネル下地の場合： ・図示 入隅部の増張り（防水種別S-C1の場合）： PCコンクリート下地の場合： ・図示 ALCパネル下地の場合： ・図示 機械的固定工法の場合の風圧力に対応した工法： ・製造所仕様による 保護層の施工（防水種別S-C1の場合）： 平場のモルタル床塗り厚さ： ・30mm 平場のコンクリートの厚さ： ・60mm・80mm 立上りのモルタル塗りの厚さ： ※7mm以下	④改修工法の種類	① 共通事項 ②コンクリート打放し仕上げ外壁 ひび割れ部改修工法の種類： ・樹脂注入工法・ウカットシール材充填工法・シール工法 欠損部改修工法の種類： ※充填工法 ③モルタル塗り仕上げ外壁 ひび割れ部改修工法の種類： ・樹脂注入工法・ウカットシール材充填工法・シール工法 欠損部改修工法の種類： ・充填工法・モルタル塗替え工法 浮き部改修工法の種類： ・アンカーピンニング部分モルタル樹脂注入工法・アンカーピンニング全面モルタル樹脂注入工法 ・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー樹脂注入工法 ・注入口付アンカーピンニング部分モルタル樹脂注入工法 ・注入口付アンカーピンニング全面モルタル樹脂注入工法 ・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー樹脂注入工法 ・充填工法・モルタル塗替え工法 ④タイル張り仕上げ外壁 欠損部改修工法の種類： ・タイル部分張替え工法・タイル貼り替え工法 浮き部改修工法の種類： ・アンカーピンニング部分モルタル樹脂注入工法・アンカーピンニング全面モルタル樹脂注入工法 ・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー樹脂注入工法 ・注入口付アンカーピンニング部分モルタル樹脂注入工法 ・注入口付アンカーピンニング全面モルタル樹脂注入工法 ・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー樹脂注入工法 目地改修工法の種類： ・目地ひび割れ部改修工法・伸縮目地改修工法 ⑤塗り仕上げ外壁 新規仕上の種類： ・薄付け仕上塗材塗り・厚付け仕上塗材塗り・複層仕上塗材塗り ・可とう形改修用仕上塗材塗り・各種塗料塗り・マッシュ塗材塗り 2. コンクリート打放し仕上げ外壁の改修 樹脂注入工法のエポキシ樹脂： ・低粘度形・中粘度形 ウカットシール材充填工法用材料： ・シーリング材【※1成分系シリコン系 ※2成分系シリコン系・可とう性モルタル樹脂 ・可とう性モルタル樹脂・ポリマーセメントモルタル シール工法用材料： ・パテ状モルタル樹脂・可とう性モルタル樹脂 充填工法用材料： ・モルタル樹脂モルタル・ポリマーセメントモルタル 注入工法の種類： ※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法・手動式モルタル樹脂注入工法 ・機械式モルタル樹脂注入工法 ⑥自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 注入間隔： ※200～300mm・300～400mm 注入量： ・約 cc/m ⑦手動式エポキシ樹脂注入工法 注入間隔： ・200～300mm・300～400mm ⑧機械式エポキシ樹脂注入工法 注入間隔： ・200～300mm・300～400mm コア抜き検査： ・行わない・行方【個数： ※1個/500m】 コア抜き取り部の補修方法： ・モルタル樹脂モルタル充填・ポリマーセメントモルタル充填 ⑨充填 充填材： ・シーリング用材充填・シーリング材の上にポリマーセメント充填・可とう性モルタル樹脂充填	④章 外壁改修工事	⑧アンカーピンニング***工法	④材料	4.5材料 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">形式・形状寸法 (mm)</th> <th rowspan="2">用途による区分</th> <th colspan="2">耐凍害性</th> <th colspan="2">色</th> <th colspan="2">粘着</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>有</th> <th>無</th> <th>標準</th> <th>特注</th> <th>施粘</th> <th>無粘</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・役物</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・役物</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・役物</td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	形式・形状寸法 (mm)	用途による区分	耐凍害性		色		粘着		備考	有	無	標準	特注	施粘	無粘				・	・	・	・	・	・	・役物				・	・	・	・	・	・	・役物				・	・	・	・	・	・	・役物																																																		
施工箇所	形式・形状寸法 (mm)	用途による区分	耐凍害性		色		粘着					備考																																																																																												
			有	無	標準	特注	施粘	無粘																																																																																																
			・	・	・	・	・	・	・役物																																																																																															
			・	・	・	・	・	・	・役物																																																																																															
			・	・	・	・	・	・	・役物																																																																																															
	③種類及び工程	⑥ 塗膜防水 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>工法/種別</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①屋根</td> <td>・L4X / X-1 ・X-2 ・X-1H ・X-2H</td> <td>脱気装置： ・設置</td> </tr> <tr> <td> </td> <td>・PIY / Y-2 ・PY / Y-2</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 仕上塗装の種類： ・製造所仕様による 仕上塗装の使用量： ◎脱気装置 種類： ※製造所指定 設置数量： ※製造所指定 保護層： ・設置する・設置しない	施工部位	工法/種別	備考	①屋根	・L4X / X-1 ・X-2 ・X-1H ・X-2H	脱気装置： ・設置		・PIY / Y-2 ・PY / Y-2		⑤改修後の塗仕上げの種類	⑧材料	⑧アンカーピンニング***工法	④材料	4.6樹脂注入工法 タイル張付けモルタル： ・現場調査モルタル・既調査モルタル シーリング材： ※標準仕様書に準ずる 注入工法の種類： ・自動式低圧モルタル樹脂注入工法・手動式モルタル樹脂注入工法 注入工法の種類： ※自動式低圧モルタル樹脂注入工法・手動式モルタル樹脂注入工法 ・機械式モルタル樹脂注入工法 ◎自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 注入間隔： ※200～300mm・300～400mm 注入量： ・約 cc/m ◎手動式エポキシ樹脂注入工法 注入間隔： ・200～300mm・300～400mm ◎機械式エポキシ樹脂注入工法 注入間隔： ・200～300mm・300～400mm コア抜き検査： ・行わない・行方【個数： ※1個/500m】 部分張替え面積の程度： ※0.25㎡程度以下・0.30㎡程度以下 伸縮調整目地の位置： ※表4.4.2による 誘発目地の位置： ※表4.4.2による タイルの見本焼き： ・行わない・行方 タイルの試験張り： ・行わない・行方 ◎セメントモルタルによるタイル張り 下地モルタル塗りコンクリート素地面処理： ・素肌・目荒し工法 タイル下地モルタルの接着力試験： ・行方・行わない <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>工法</th> <th>接着力試験</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td>・密着張り ・改良圧着張り</td> <td>・行方・行わない</td> </tr> <tr> <td> </td> <td>・マッシュ張り ・モルタルモルタル張り</td> <td></td> </tr> <tr> <td> </td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施工部位	工法	接着力試験		・密着張り ・改良圧着張り	・行方・行わない		・マッシュ張り ・モルタルモルタル張り																																																																																
施工部位	工法/種別	備考																																																																																																						
①屋根	・L4X / X-1 ・X-2 ・X-1H ・X-2H	脱気装置： ・設置																																																																																																						
	・PIY / Y-2 ・PY / Y-2																																																																																																							
施工部位	工法	接着力試験																																																																																																						
	・密着張り ・改良圧着張り	・行方・行わない																																																																																																						
	・マッシュ張り ・モルタルモルタル張り																																																																																																							
	⑦材料	⑦ シーリング 種類及び施工箇所： ・種類は表3.7.1により施工箇所は下表による ノンブリードタイプシーリング材の適用： ※使用する・使用しない 施工箇所： ・シリコン系シーリングで仕上げありの部位 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>シーリング材の種類</th> <th>目地寸法(mm)</th> <th>保証年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①各階打継部分</td> <td>※表3.7.1による</td> <td>15(W)x10(D)</td> <td>3年</td> </tr> <tr> <td>②タイル伸縮目地</td> <td></td> <td>15(W)x10(D)</td> <td>年</td> </tr> <tr> <td>③ガラス止め付け</td> <td></td> <td>5(W)x5(D)</td> <td>年</td> </tr> <tr> <td>④カシ廻り</td> <td></td> <td>20(W)x10(D)</td> <td>年</td> </tr> <tr> <td>⑤ALC廻り</td> <td></td> <td></td> <td>年</td> </tr> </tbody> </table>	施工部位	シーリング材の種類	目地寸法(mm)	保証年	①各階打継部分	※表3.7.1による	15(W)x10(D)	3年	②タイル伸縮目地		15(W)x10(D)	年	③ガラス止め付け		5(W)x5(D)	年	④カシ廻り		20(W)x10(D)	年	⑤ALC廻り			年	⑤樹脂注入工法	⑧アンカーピンニング***工法	④材料	⑧アンカーピンニング***工法	④材料	4.7タイル部分張替え工法 4.8タイル張替え工法																																																																								
施工部位	シーリング材の種類	目地寸法(mm)	保証年																																																																																																					
①各階打継部分	※表3.7.1による	15(W)x10(D)	3年																																																																																																					
②タイル伸縮目地		15(W)x10(D)	年																																																																																																					
③ガラス止め付け		5(W)x5(D)	年																																																																																																					
④カシ廻り		20(W)x10(D)	年																																																																																																					
⑤ALC廻り			年																																																																																																					
	⑧材料	⑧ 軒どい 軒どいの材種： ・アスファルト被覆鋼板・耐候性被覆鋼板	⑥ウカットシール材充填工法	⑧アンカーピンニング***工法	⑧アンカーピンニング***工法	⑧アンカーピンニング***工法	⑧アンカーピンニング***工法	⑧アンカーピンニング***工法																																																																																																
備考	月日	月日	月日	月日	株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2025/03/26	設計	佐藤 信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図面番	A-013																																																																																											
	月日	月日	月日	月日	1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	概算	佐藤 信	監理	伊藤 高基	図面名称	改修特記仕様書2	備考	-																																																																																											



章	項目	特記事項	
⑤章 建具改修工事	10.③ 性能等	1① 自閉式上吊り引戸装置 自閉式上吊り引き戸装置の性能： ※表5.10.1による ・	
	1①形式及び機構	① 重量シャッター シャッターの種類： ○図示 ・管理用シャッター ・外壁用防火シャッター ・屋内用防火シャッター ・防煙シャッター ・ 耐風圧性能： ・50 ・80 ・120 ○メーカー仕様による 開閉機能： ※電動式（手動併用） ・手動式 ・ シャッターケース： ・図示 ※設ける ・設けない 保護装置の設置： ・図示 ○メーカー仕様による 障害物感知装置の設置： ・図示 ○メーカー仕様による 危害防止機構の種類： ・自動閉鎖型 ・可動座金式 ・図示 ○メーカー仕様による 管理用シャッターのシャッターケース： ※図示 ・設ける ・設けない	
	12.2形式及び機構	1 2. 軽量シャッター 開閉形式： ※手動式 ・電動式（手動併用） ・ 〈開閉形式〉： ※手動式 ・電動式（手動併用） ・ 耐風圧性能： ・50 ・80 ・120 ・	
	12.3材 料	スラットの材質： ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板 ※塗装溶融亜鉛-5%ZnNiCu合金めっき鋼板 ・7Mz押出型材	
	12.4形状及び仕上げ	〈パイプの材質〉： ・ステンレス ・スチール ・ 〈パイプ径〉： ・図示 ・13mm ・16mm ・19mm ・ 〈パイプ間隔〉： ・図示 ・70mm ・ 〈格子間隔〉： ・図示 ・500mm ・ スラットの形状： ・インナーロック形 ・オーバーラッピング形	
	13.2形式及び機構	1 3. オーバーヘッドドア セクション材料による区別： ・図示 ・下表による	
	13.3材 料	セクション材料による区別	
	13.3材 料	耐風圧性能： ・50 ・75 ・100 ・125 ガイドレールの材質： ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板	
	④材 料	④. ガラス ガラスの種類： ○図示 ・ ガラス留め材 金属性製建具用パテはJISA5752による。	
	④材 料	建具の種類 種類・材質	
	④材 料	ガラス溝の寸法、形状等	
	④材 料	14.5ガラスの取組み	
	⑥章 内装改修工事	① 共通事項	既存間仕切り壁撤去に伴う天井、壁及び床の改修範囲： ※壁厚程度 ○図示 天井内の既存壁の撤去に伴う取り合い天井改修範囲： ※両側600mm程度 ○図示 天井の撤去に伴う取り合い壁の改修範囲： ※既存のまま ○図示 既存部分の撤去工法： ・適用する【・標準仕様書6.2 ・標準仕様書6.3 ・標準仕様書6.4】 ○図示 新設下地の工法： ・適用する【・標準仕様書6.5 ・標準仕様書6.6 ・標準仕様書6.7】 ○図示 仕上げの工法： ※該当の有無により適用する ・図示

章	項目	特記事項
⑥章 内装改修工事	②工 法	② 既存床の撤去並びに下地補修 合成樹脂塗リ床材の除去： ○機械的除去工法 ・ 目荒工法 ・ 改装後の床の清掃範囲： ○影響範囲全て ・図示
	②工 法	③ 既存壁の撤去並びに下地補修 コンクリート間仕切壁等の撤去に伴う構造体の補修： ※行う ・既存のまま ・モルタル塗り（改修標準仕様書4.4.9による） ○図示 ・
	②木 材	⑤ 木下地等 ◎一般事項 木材の含水率： ※A種 ・B種 材料のホルムアルデヒド放散料： ※F☆☆☆☆ ・図示 ◎製材 ◇JASによる下地用製材： ○下表による（寸法は図示） ・図示 ・
	②木 材	使用部位 樹種 区分等級 含水率 仕上げ 防腐防蟻処理 備考
	②木 材	全般 桧 ○1級 SD15 サグー ・有 ○無 杉 ※2級 SD20 サグー ・有 ○無 D15 プレーナー ・有 ・無 D20 プレーナー ・有 ・無
	②木 材	◇JASによる造作用製材： ○下表による（寸法は図示） ・図示 ・
	②木 材	使用部位 樹種 化粧等級 含水率 仕上げ 防腐防蟻処理 備考
	②木 材	窓枠 スプレー 無節 SD15 サグー ・有 ○無 杉 ※上小節 SD18 サグー ・有 ○無 桧 ※小節 D15 プレーナー ・有 ○無 並 D18 プレーナー ・有 ○無
	②木 材	◇JASによる広葉樹製材： ・下表による（寸法は図示） ・図示 ・
	②木 材	使用部位 樹種 区分等級 含水率 仕上げ 防腐防蟻処理 備考
	②木 材	全般 柾目 特等 D10 サグー ・有 ・無 行 ※1等 D13 サグー ・有 ・無 ワラ 2等 プレーナー ・有 ・無 防腐処理： K1
	②木 材	◇JAS以外の製材： ・下表による（寸法は図示） ・図示 ・
	②木 材	使用部位 樹種 材面の品質 含水率 寸法 防腐防蟻処理 備考
	②木 材	桧 ※A種 15% 図示 杉 B種 18% 図示 松 20%
②木 材	代用樹種を使用する場合は、協議のうえ決定する。 代用樹種を適用しない箇所： ・図示 ・ ◎造作用集成材 接着剤のホルムアルデヒド放散量： ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆ ・ ◇JASによる造作用集成材： ・下表による（寸法は図示） ・図示 ・	
②木 材	使用部位 仕上げ 樹種 見付材 区分等級 備考	
②木 材	仕上有 1面 ※1等 1等 未仕上 4面 2等 2等 塗装	
②木 材	◇JASによる化粧ばり造作用集成材： ・下表による（寸法は図示） ・図示 ・	
②木 材	使用部位 仕上げ 樹種 見付材 区分等級 備考	
②木 材	仕上有 1面 ※1等 1等 ※15% 未仕上 4面 2等 2等 塗装	
②木 材	◇JAS以外の造作用集成材： ・下表による（寸法は図示） ・図示 ・	
②木 材	使用部位 仕上げ 樹種 見付材 区分等級 備考	
②木 材	仕上有 1面 ※1等 1等 未仕上 4面 2等 2等 塗装	
②木 材	◇JAS以外の化粧ばり造作用集成材： ・下表による（寸法は図示） ・図示 ・	
②木 材	使用部位 仕上げ 樹種 見付材 区分等級 備考	
②木 材	仕上有 1面 ※1等 1等 ※15% 未仕上 4面 2等 2等 塗装	

章	項目	特記事項
⑥章 内装改修工事	◎造作用単板積層材	接着剤のホルムアルデヒド放散量： ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆ ・ ◇JASによる造作用単板積層材： ・下表による（寸法は図示） ・図示 ・
	◎造作用単板積層材	使用部位 仕上げ 表面の品質 防腐防蟻処理 含水率 備考
	◎造作用単板積層材	仕上有 1等 ・有 ・無 ※14% 天然木化粧加工 仕上有 2等 ・有 ・無 塗装加工 未仕上 3等 ・有 ・無
	◎造作用単板積層材	◇JAS以外の造作用単板積層材： ・下表による（寸法は図示） ・図示 ・
	◎造作用単板積層材	使用部位 仕上げ 表面の品質 防腐防蟻処理 含水率 備考
	◎造作用単板積層材	仕上有 1等 ・有 ・無 ※14% 天然木化粧加工 仕上有 2等 ・有 ・無 塗装加工 未仕上 3等 ・有 ・無
	◎直交集成板	◇JASによる直交集成板
	◎直交集成板	使用部位 曲げ強度 種別 接着性能 樹種区分 備考
	◎直交集成板	Mx120-3-3 A種構成 使用環境A S1 Mx 60-9-9 B種構成 使用環境B S2 S120-3-3 使用環境C S3 S 30-9-9 S4
	◎直交集成板	◎床張り用合板等
	◎直交集成板	◇JASによる普通合板
	◎直交集成板	使用部位 表板樹種名 厚さ(mm) 接着の程度 板面の品質 等級・処理・寸法等
	◎直交集成板	内装壁下地捨て張り ヲン ※5.5 ※1類 ※2等 ○図示 汁 9 2類 1等 12 ※C-D
	◎直交集成板	◇JASによる構造用合板
◎直交集成板	使用部位 表板樹種名 等級 接着の程度 板面の品質 備考	
◎直交集成板	各室床下地捨て張り 針葉樹 1級 特類 A-B F☆☆☆☆/防虫処理材 汁 2級 1類 B-C 行 1類 D-D	
◎直交集成板	◇JASによる化粧ばり構造用合板	
◎直交集成板	使用部位 品 名 厚さ(mm) 表板樹種名 接着の程度 備考	
◎直交集成板	9 特類 F☆☆☆☆/防虫処理材 12 1類 F☆☆☆☆/防虫未処理	
◎直交集成板	◇JASによる天然木化粧合板	
◎直交集成板	使用部位 品 名 厚さ(mm) 単板樹種名 接着の程度 備考	
◎直交集成板	12 1類 F☆☆☆☆/防虫処理材 15 2類 F☆☆☆☆/防虫未処理	
◎直交集成板	◇JASによる特殊加工化粧合板	
◎直交集成板	使用部位 品 名 厚さ(mm) 表面性能タイプ 接着の程度 備考	
◎直交集成板	12 ・F ・FW 1類 オーバーレイ/防虫処理材 15 ・W ・SW 2類 プリント/防虫未処理	
◎直交集成板	◇パーティクルボード	
◎直交集成板	使用部位 厚さ(mm) 曲げの区分 接着の区分 難燃性区分 備考	
◎直交集成板	※15 ※13P/M	
◎直交集成板	◇JASによる構造用パネル	
◎直交集成板	使用部位 品 名 厚さ(mm) 曲げ等級 備考	
◎直交集成板	図示 ・1級 ・2級 オーバーレイ/防虫処理材 25 ・3級 ・4級 ・プリント ・塗装/防虫未処理	
◎直交集成板	◇ミディアムデンシティファイバーボード(MDF)	
◎直交集成板	使用部位 厚さ(mm) 表面状態区分 曲げの区分 接着の区分 難燃性区分 備考	
◎直交集成板	・RN ・RS ・30 ・25 U 難燃2 ・DV ・DO ・DC ・15 ・5 M 難燃3 P	
5.3 接合具等	造作材化粧面の釘打ち工法： ※隠し釘打ち ・ 釘頭埋め木 ・ つぶし頭釘打ち ・ 釘頭現し 接着剤のホルムアルデヒド放散量： ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆ ・	
5.4 木れんが	接着剤のホルムアルデヒド放散量： ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆ ・	
5.5 防蟻・防蟻・防虫処理	◎薬剤の加圧注入による防蟻・防蟻処理	
5.5 防蟻・防蟻・防虫処理	処理木材（部位） 性能区分 備考	
5.5 防蟻・防蟻・防虫処理	製材 ・K2 ・K3 ・K4 合板 ・K2 ・K3 ・K4 集成材	
5.5 防蟻・防蟻・防虫処理	加圧注入用木材のサイジング： ・適用する ・摘要しない	

備考	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日

株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2025/03/26	設計	佐藤 信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図面番	A-015
1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	監修	佐藤 信	監製	伊藤 高基	図面名称	改修特記仕様書4	備考	-







章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	部 位	メーカー・品名・品種・品番	備 考	
⑧章 耐震改修工事	公6.4 捨てコンクリート地盤 公6.5 床下防湿層	捨てコンクリートの厚さ： ・図示 ※50mm ・ mm ・120mm ・150mm ・ 床下防湿層の適用： ・適用しない ・適用する ・図示 床下防湿層の範囲： ・図示 ・	⑨章 環境配慮改修工事	5.3 路 床	路床安定処理の適用： ・適用しない ・適用する 路床安定処理の方法： ・添加材料による処理 ・図示 ・ 処理内容：【厚さ： ・300mm ・ 【目標CBR： ・5以上 ・ 盛土の種類： ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 フィルター層の材料： ・砂 ・図示 ・ 砂の品質： ・75μmふるい通過量10%以下 ・ 路床安定処理用添加材料： ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 ・フライッシュセメント ・生石灰【・特号 ・1号】 ・消石灰【・特号 ・1号】 路床土のCBR試験： ・行わない ・行う【・乱した土 ・乱さない土】 路床締固め度試験： ・行う ・行わない 車道部の路盤の厚さ： ・図示 ・150mm ・ 歩道部の路盤の厚さ： ・図示 ・100mm ・ 路盤の材料： ※砕石【※クラッシュラン ・粒度調整砕石】 ※再生材【※クラッシュラン ※クラッシュラン鉄鋼スラグ ・粒度調整砕石】 舗装の厚さ(mm)：車道部【・50mm ・ mm】 歩道部【・30mm ・ mm】 舗装の平坦性： ※著しい不陸のない程度 ・水の滞留がない平滑性 アスファルトの種類(車道部)： ・図示 ※ポリマー改質アスファルトⅠ型 ・ポリマー改質アスファルトⅡ型 ・ アスファルトの種類(歩道部)： ・図示 ※ストレートアスファルト アスファルトの抽出試験： ・行う ・行わない	指定メーカー等リスト			
	①一般事項 ③石綿含有吹付け材の除去 ④石綿含有保温材等の除去 ⑤石綿含有成形板等の除去 ⑥石綿含有仕上塗材の除去	① 石綿含有建材の除去工事 石綿粉じん濃度測定： ①行う ・行わない 石綿粉じん濃度測定箇所： 図示 ①監督員と協議 石綿粉じん測定方法： ①空気中の繊維状粒子測定方法(JIS K 3850-1) ・ 除去工法： ※標準仕様書による ・図示 ・ 石綿含有吹付け材の飛散防止措置： ※湿潤化 ・固形化 石綿含有吹付け材等の処分： ①埋立処分 ・無害化処理 石綿含有保温材等の除去： ①破壊除去 ・原形手ばらし除去 ・図示 石綿含有せっこうボード以外の石綿含有成形板の処分： ①埋立処分 ・中間処理 養生シートによる作業場の養生： ・行う ①協議による ・行わない 除去方法： ①集じん装置併用工法【 ①手工具ケレン ・高圧水洗 ・ディスクグラインダーケレン 】 ①剥離剤併用工法【 ①手工具ケレン ・高圧水洗 ・超音波ケレン 】 ・超音波ケレン工法(HAPAフィルター掃除機併用) 2. 外断熱改修工事 断熱材の種類及び厚さ： ・図示 ・ 外装材の種類及び防火性能： ・図示 ・ 既存外壁仕上げ材の撤去： ・図示 ・全面撤去 ・部分撤去 ・ 既存外壁下地面の清掃： ・図示 ・ 既存外壁下地欠損部の改修方法： ・図示 ・ 風圧力に対応した工法： ・製造所仕様による ・図示 ・ 下地調整： ・製造所仕様による ・図示 ・ 断熱材の施工方法： ・製造所仕様による ・図示 ・ 外装材の施工： ・製造所仕様による ・図示 ・ 外装材の取付： ・あと施工アーカー ・接着剤 ・図示 ・ 通気層： ・有り(厚み： mm) ・無し ③ 断熱・防露改修工事 種 類 種 別 厚さ(mm) ・ビーズ法ポリスチレンフォーム ・ ・ 25 ・ ・押出法ポリスチレンフォーム ・3種：土間コンクリート下端 ・ 25 ・50 ・硬質ウレタンフォーム ・A種 ・ ・ ・フェノールフォーム ・ ・ ・ 接着剤の総量放散量： ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆☆ ・ 材料： ①吹付け硬質ウレタンフォーム ・ 種類： ①A種1 ・ 難燃材： ①1級 ・2級 ・3級 吹付け厚さ(mm) ①図示 ・25 ・30 ・20 種 類 種 別 厚さ(mm) ・ビーズ法ポリスチレンフォーム ・ ・ 25 ・ ・押出法ポリスチレンフォーム ・3種：土間コンクリート下端 ・ 25 ・50 ・硬質ウレタンフォーム ・A種 ・ ・ ・フェノールフォーム ・ ・ ・ 接着剤の総量放散量： ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆☆ ・ 4. 屋上緑化改修工事 芝の種類： ・コライシバ ・シバ ・ 地被類の樹種／芽立数／コンテナ径／コンテナ数： ・図示 ・ 縁材、舗装材、水抜き管、マルチング材等： ・図示 ・ 建設省告示第1458号に対応した工法： ・ 灌水装置の設置／種類： ・設置しない ・設置する【種類： ・図示 ・ 既存保護層等の撤去： ・撤去しない ・撤去する 新植芝、地被類の枯保証期間： ・1年 ・半年 ・ 5. 透水性アスファルト舗装改修工事 既存舗装の撤去： ・撤去しない ・撤去する【範囲等： ・図示 ・改修部分全面】 既存舗装の再利用： ・再利用しない ・再利用する【範囲等： ・図示 ・改修部分全面】 凍上抑制層の適用： ・適用しない ・適用する 厚さ： ・車道部 mm ・歩道部 mm 透水性舗装のフィルター層の適用： ・適用しない ・適用する 厚さ： 車道部【・150mm ・ mm】 歩道部【・50mm ・ mm】		5.4 路 盤 5.5 舗装の構成及び仕上げ 5.9 試 験					
⑨章 環境配慮改修工事	2.2 材 料 2.3 既存外壁の処置 2.4 工 法					指定工事／業者等リスト	項 目	業者名・連絡先	備 考
	3.2 断熱材打込み工法 3.3 断熱材現場発泡工法 3.4 断熱材後張り工法						施工支給品リスト	項 目	摘 要
備 考	月 日 月 日 月 日		月 日 月 日 月 日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates 1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	作成 2025/03/26 設計 佐藤 信 監 伊藤 高基		工事名称 大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事) 図面名称 改修特記仕様書8	図 A-019 備 -

工事区分表

工事の施工は●の区分に適用する。※ただし一括発注のため臨機応変に対応すること

工事区分略号の凡例

A

建築工事

E

電気設備工事

P

給排水設備工事

AC

空調設備工事

Main table with columns for project items (項目), classification codes (A, E, P, AC), and descriptions (備考). It is divided into sections: 躯体関係 (Structural), 仕上関係 (Finishing), 屋外排水設備・外構 (Outdoor Drainage/Structure), and 電気配線配管 (Electrical Wiring/Piping).

Summary table with columns for dates (月日), company name (株式会社青木茂建築工房), project name (大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)), and drawing number (A-020).

既存躯体補修工事仕様書（1）		6 補修要領																																																																																				
1 共通事項	<p>1) 既存躯体の補修は、以下の部位に対して行うものとし、補修箇所の選別は監理者との協議による。</p> <p>A) 柱、梁、壁、床におけるコンクリートのジャンカ、その他の躯体欠損部（躯体打込み設備配管の不良施工等も含む）</p> <p>B) コンクリートかぶり厚不足による、鉄筋の浮きさび発生部</p> <p>C) ひび割れ発生部</p> <p>D) 不良躯体スリーブ</p> <p>2) 施工に従事するものは、補修材料について十分な知識を持ち、訓練された施工技術をもつ者とする。</p> <p>3) 本仕様書に示されていない事項については、「建築改修工事監理指針（令和4年版）」（建築安全センター）による。</p> <p>4) 本仕様書以外の補修工法を採用する場合は、本仕様書によるものと同等以上の性能を有するものとし、採用にあたっては監理者の承諾を得ること。</p> <p>5) 施工に先立ち、本仕様書にもとづき補修方法を検討して「既存躯体補修要領書」を作成し、監理者に提出すること。</p> <p>6) ジャンカ、豆板等の不良コンクリートは完全に除去すること。柱、梁などでこれにより部材の断面欠損が大きくなる場合には、周辺にサポートなどを設置して、適切に仮設補強を行うこと。なお、鉄筋内部部まで不良部分が深く続いてハツリが困難な場合は、監理者の指示により除去すること。</p> <p>7) コンクリートからハツリ出した鉄筋は、手れけん、または高圧洗浄などにより十分にさび落としを行うこと。</p> <p>8) ハツリ面は、原則としてプライマー塗布処理を行う。</p> <p>9) 注入工法で用いる型枠は、はらみ出しによりコンクリートと修復材との間に浮きが生じないよう、強固なものとする。</p>	種類	適用																																																																																			
		種類	適用																																																																																			
		種類	適用																																																																																			
		種類	適用																																																																																			
2 材料	<p>1) 補修材料の選定条件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材料強度は構造特記仕様書5.11に示す値以上とする。</li> <li>・補修部分コンクリートとの長期接着性がよいもの</li> <li>・耐久性があるもの</li> <li>・収縮によるひび割れが生じにくいもの</li> </ul> <p>（乾燥収縮や硬化等による長さ変化が小さいもの）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プライマーは既存コンクリートとの接着性を向上し、急激な水分の吸収を防止するもの</li> <li>・ポリマーセメントモルタルは、躯体断面修復・補修用とする。</li> </ul> <p>2) 下記の材料については躯体工事特記仕様書による。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンクリート</li> <li>・鉄筋</li> </ul> <p>3) 各種補修材料は、監理者の承諾を受けた製品を用いること。</p> <p>4) 各種補修材料の品質は特記なき場合、「建築改修工事監理指針（令和4年版）」（建築安全センター）に準拠するものとする。</p> <p>5) 各種補修材料の取り扱い方法については、製造業者の指定によること。</p>	種類	適用																																																																																			
		種類	適用																																																																																			
		種類	適用																																																																																			
		種類	適用																																																																																			
3 施工環境	<p>1) 外気温5℃、壁面温度3℃、及び施工後3時間以内に0℃以下になるような時は、補修工事を中止するか、適当な保温措置を行って施工すること。</p> <p>2) 屋外の施工で急激な乾燥の恐れがある場合にはシート等で養生を行って施工すること。</p>	種類	適用																																																																																			
		種類	適用																																																																																			
		種類	適用																																																																																			
		種類	適用																																																																																			
4 その他	<p>1) 補修箇所は事前に施工者による調査を行い、躯体の不良部位について、不良の種類、位置、写真等を記録すること。</p> <p>2) 補修対象部位が過度に多くなった場合には、施主、監理者、施工者で協議を行う。</p>	種類	適用																																																																																			
		種類	適用																																																																																			
		種類	適用																																																																																			
		種類	適用																																																																																			
5 躯体補修施工手順	<p>1) 躯体補修施工要領書を作成し監理者の承認を受ける。</p> <p>2) 内装仕上げ材（壁・床・天井）を撤去し、既存躯体を目視可能な状態とする。</p> <p>3) 施工者により補修箇所の調査を行い、下記記載の英字をスプレーでマーキングを行う。</p> <p>4) 補修数量を算出し、コストを算出する。</p> <p>5) 監理者に現場にて補修箇所について確認をとり、補修内容の承認を得る。</p> <p>6) 躯体補修を行い、必ず補修前後の写真を記録する。</p> <p>7) 躯体補修後に監理者の検査を受け承認を得る。</p> <p>8) 躯体補修施工結果をまとめて監理者に提出する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>マーキング凡例【内部】</th> <th>M</th> <th>埋設物（□100以下）</th> <th>K</th> <th>欠損補修（□300未満）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>C 0.4</td> <td>ひび割れ0.4mm以上</td> <td>M</td> <td>埋設物（□150以上）</td> <td>K</td> <td>欠損補修（□300以上）</td> </tr> <tr> <td>C 1.0</td> <td>ひび割れ1.0mm以上</td> <td>W</td> <td>木レンガ（木片・異物）</td> <td>B</td> <td>爆裂補修（□300未満）</td> </tr> <tr> <td>K</td> <td>欠損補修（□300未満）</td> <td>R</td> <td>露筋補修</td> <td>B</td> <td>爆裂補修（□300以上）</td> </tr> <tr> <td>K</td> <td>欠損補修（□300以上）</td> <td>CJ</td> <td>コールドジョイント補修</td> <td>J</td> <td>ジャンカ補修</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>爆裂補修（□300未満）</td> <td>U</td> <td>モルタル浮き</td> <td>S</td> <td>スリーブ（100φ以下）</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>爆裂補修（□300以上）</td> <td>UK</td> <td>浮き欠損（浮き研り補修）</td> <td>SF</td> <td>スリーブ（100φ以下）異物除去有り</td> </tr> <tr> <td>J</td> <td>ジャンカ補修</td> <td>SE</td> <td>セパレーター</td> <td>U</td> <td>モルタル浮き</td> </tr> <tr> <td>S</td> <td>スリーブ（100φ以下）</td> <td>I</td> <td>インサート</td> <td>M</td> <td>埋設物（□300以下）</td> </tr> <tr> <td>SF</td> <td>スリーブ（100φ以下）異物除去有り</td> <td>A</td> <td>アンカー</td> <td>M</td> <td>埋設物（□300以上）</td> </tr> <tr> <td>S</td> <td>スリーブ（200φ以下）</td> <td>T</td> <td>塗膜浮き</td> <td>U</td> <td>モルタル浮き</td> </tr> <tr> <td>SF</td> <td>スリーブ（200φ以下）異物除去有り</td> <td>UK</td> <td>マーキング凡例【外部】</td> <td>U</td> <td>浮き欠損（浮き研り補修）</td> </tr> <tr> <td>SF</td> <td>スリーブ（200φ以下）異物除去有り</td> <td>C 0.1</td> <td>ひび割れ0.2mm未満</td> <td>A</td> <td>アンカー</td> </tr> <tr> <td>SF</td> <td>スリーブ（200φ以下）異物除去有り</td> <td>C 0.2</td> <td>ひび割れ0.2mm以上</td> <td>T</td> <td>塗膜浮き</td> </tr> </tbody> </table>	マーキング凡例【内部】	M	埋設物（□100以下）	K	欠損補修（□300未満）	C 0.4	ひび割れ0.4mm以上	M	埋設物（□150以上）	K	欠損補修（□300以上）	C 1.0	ひび割れ1.0mm以上	W	木レンガ（木片・異物）	B	爆裂補修（□300未満）	K	欠損補修（□300未満）	R	露筋補修	B	爆裂補修（□300以上）	K	欠損補修（□300以上）	CJ	コールドジョイント補修	J	ジャンカ補修	B	爆裂補修（□300未満）	U	モルタル浮き	S	スリーブ（100φ以下）	B	爆裂補修（□300以上）	UK	浮き欠損（浮き研り補修）	SF	スリーブ（100φ以下）異物除去有り	J	ジャンカ補修	SE	セパレーター	U	モルタル浮き	S	スリーブ（100φ以下）	I	インサート	M	埋設物（□300以下）	SF	スリーブ（100φ以下）異物除去有り	A	アンカー	M	埋設物（□300以上）	S	スリーブ（200φ以下）	T	塗膜浮き	U	モルタル浮き	SF	スリーブ（200φ以下）異物除去有り	UK	マーキング凡例【外部】	U	浮き欠損（浮き研り補修）	SF	スリーブ（200φ以下）異物除去有り	C 0.1	ひび割れ0.2mm未満	A	アンカー	SF	スリーブ（200φ以下）異物除去有り	C 0.2	ひび割れ0.2mm以上	T	塗膜浮き	種類	適用
		マーキング凡例【内部】	M	埋設物（□100以下）	K	欠損補修（□300未満）																																																																																
		C 0.4	ひび割れ0.4mm以上	M	埋設物（□150以上）	K	欠損補修（□300以上）																																																																															
		C 1.0	ひび割れ1.0mm以上	W	木レンガ（木片・異物）	B	爆裂補修（□300未満）																																																																															
K	欠損補修（□300未満）	R	露筋補修	B	爆裂補修（□300以上）																																																																																	
K	欠損補修（□300以上）	CJ	コールドジョイント補修	J	ジャンカ補修																																																																																	
B	爆裂補修（□300未満）	U	モルタル浮き	S	スリーブ（100φ以下）																																																																																	
B	爆裂補修（□300以上）	UK	浮き欠損（浮き研り補修）	SF	スリーブ（100φ以下）異物除去有り																																																																																	
J	ジャンカ補修	SE	セパレーター	U	モルタル浮き																																																																																	
S	スリーブ（100φ以下）	I	インサート	M	埋設物（□300以下）																																																																																	
SF	スリーブ（100φ以下）異物除去有り	A	アンカー	M	埋設物（□300以上）																																																																																	
S	スリーブ（200φ以下）	T	塗膜浮き	U	モルタル浮き																																																																																	
SF	スリーブ（200φ以下）異物除去有り	UK	マーキング凡例【外部】	U	浮き欠損（浮き研り補修）																																																																																	
SF	スリーブ（200φ以下）異物除去有り	C 0.1	ひび割れ0.2mm未満	A	アンカー																																																																																	
SF	スリーブ（200φ以下）異物除去有り	C 0.2	ひび割れ0.2mm以上	T	塗膜浮き																																																																																	
種類	適用																																																																																					
種類	適用																																																																																					
種類	適用																																																																																					
7 設備スリーブ開口手順	<p>現場での作業・施工</p> <p>※1 具体例 ・スリーブ可否 ・開口補強筋納まり ・PS、フカン追加 ・設備ルート可否 ・衛生機器/ダクト/配管選定</p> <p>※2 欠損断面積以上の断面積をもつ鉄筋を添え筋とし、錆発生部分から20mm以上離して、添え筋径の10倍以上の長さをつレア溶接する。</p>	種類	適用																																																																																			
		種類	適用																																																																																			
		種類	適用																																																																																			
		種類	適用																																																																																			

6		補修要領				7		設備スリーブ開口要領																																																																																																					
種類		露筋もしくは鉄筋のかぶり不足		ひび割れ		新設躯体		既存躯体																																																																																																					
適用		躯体表面より鉄筋跡がわかるが露筋はしていないもの		幅0.3mm以上1.0mm未満のひび割れ		幅1.0mm以上のひび割れ		※新設スリーブは原則、地中梁以外の既存梁には行わない ※必要に応じて構造図記載の補強を行えば地中梁以外のスリーブも可 ※地中梁にスリーブをあける場合は下記条件を満たしたうえで、構造監理者にて真通の可否判断を行う																																																																																																					
柱・梁	BC-1			BC-2			CC-1	CC-2	<p>※構造図記載の補強方法により適切に補強を行う。</p> <p>スリーブ利用可否について ※既設スリーブは原則、補修(孔埋め)とする ※下記条件を満たしたうえで必要なスリーブ選別後、構造監理者にて利用の可否判断を行う</p> <p>スリーブ間距離 3d以上 柱面から梁せい0×1.5 大梁: 利用不可 小梁: 利用可 利用不可 大梁: 利用可能性あり 小梁: 利用可</p> <table border="1"> <tr> <th>スリーブサイズ</th> <th>柱面からの距離</th> <th>梁の上下の制約</th> <th>スリーブ間の距離</th> </tr> <tr> <td>125φ以下</td> <td>梁せいの1.5倍以上(小梁は制約なし)</td> <td>主筋を避ける(上図参照)</td> <td>3d(径平均の3倍)以上(芯々)</td> </tr> <tr> <td>125φを超える</td> <td>梁せいの1.5倍以上(小梁は制約なし)</td> <td>主筋を避ける(上図参照)</td> <td>3d(径平均の3倍)以上(芯々)</td> </tr> </table> <p>角開口 利用不可</p>				スリーブサイズ	柱面からの距離	梁の上下の制約	スリーブ間の距離	125φ以下	梁せいの1.5倍以上(小梁は制約なし)	主筋を避ける(上図参照)	3d(径平均の3倍)以上(芯々)	125φを超える	梁せいの1.5倍以上(小梁は制約なし)	主筋を避ける(上図参照)	3d(径平均の3倍)以上(芯々)																																																																																					
	スリーブサイズ	柱面からの距離	梁の上下の制約	スリーブ間の距離																																																																																																									
125φ以下	梁せいの1.5倍以上(小梁は制約なし)	主筋を避ける(上図参照)	3d(径平均の3倍)以上(芯々)																																																																																																										
125φを超える	梁せいの1.5倍以上(小梁は制約なし)	主筋を避ける(上図参照)	3d(径平均の3倍)以上(芯々)																																																																																																										
補修手順	1) 下地清掃後、下地処理剤(プライマー塗布) 2) ポリマーセメントモルタル30mm厚コテ塗り		1) コンクリートハツリにより、かぶりコンクリート撤去 2) 鉄筋さび落とし、防錆塗料塗布 3) 錆による鉄筋断面欠損がある場合は補強筋を溶接(※1) 4) 下地地均し・洗浄後、下地処理剤(プライマー塗布) 5) 断面修復(かぶり厚が30mmになるようポリマーセメントモルタル注入) 6) 補修境界部に幅300でポリマーセメントペーストを塗布		1) 補修材注入(エポキシ樹脂)		※幅1mmを超えるひび割れがある場合には監理者と協議により、対応を決定する。																																																																																																						
壁	BW-1			BW-2			CW-1	CW-2	<p>※最終的な配置は構造判断 ※上下2列となるような配置は個別判断</p> <p>梁 柱</p> <p>スリーブが2列となる場合は個別判断</p> <p>※1 3dまたは鉄筋間の中心(例: 鉄筋ピッチ200の場合400)</p> <table border="1"> <tr> <th>スリーブサイズ</th> <th>柱面・梁面からの距離</th> <th>スリーブ・開口間の距離</th> <th>補強</th> </tr> <tr> <td>125φ以下</td> <td>指定なし</td> <td>3d(径平均の3倍)以上(芯々)</td> <td>不要</td> </tr> <tr> <td>125φを超える</td> <td>指定なし</td> <td>3d(径平均の3倍)以上(芯々)かつ炭素繊維補強幅</td> <td>要</td> </tr> </table> <p>角開口 ※補強軸組図に記載あり</p> <p>角開口 設置不可</p> <p>角開口 ※補強軸組図に記載なし</p> <p>※1 確保できない場合は構造確認可</p>				スリーブサイズ	柱面・梁面からの距離	スリーブ・開口間の距離	補強	125φ以下	指定なし	3d(径平均の3倍)以上(芯々)	不要	125φを超える	指定なし	3d(径平均の3倍)以上(芯々)かつ炭素繊維補強幅	要																																																																																					
	スリーブサイズ	柱面・梁面からの距離	スリーブ・開口間の距離	補強																																																																																																									
125φ以下	指定なし	3d(径平均の3倍)以上(芯々)	不要																																																																																																										
125φを超える	指定なし	3d(径平均の3倍)以上(芯々)かつ炭素繊維補強幅	要																																																																																																										
補修手順	1) 下地清掃後、下地処理剤(プライマー塗布) 2) ポリマーセメントモルタル30mm厚コテ塗り		1) コンクリートハツリにより、かぶりコンクリート撤去 2) 鉄筋さび落とし、防錆塗料塗布 3) 錆による鉄筋断面欠損がある場合は補強筋を溶接(※1) 4) 下地地均し・洗浄後、下地処理剤(プライマー塗布) 5) ポリマーセメントモルタルをかぶり厚30mmになるようコテ塗り 6) 補修境界部に幅300でポリマーセメントペーストを塗布		1) 補修材注入(エポキシ樹脂)		1) ひび割れ部Uカット、バックアップ材設置 2) 補修材注入(シール材)																																																																																																						
スラブ	BS-1			BS-2			CS-1	CS-2	<p>※最終的な配置は構造判断 ※125φ以下スリーブは鉄筋を切断しないこと ※125φ~250φスリーブは炭素繊維補強が必要 ※250φより大きいスリーブ・角開口は、個別判断・炭素繊維補強とする</p> <p>φd(125φ以下)</p> <p>3d</p> <p>※構造図記載の補強方法により適切に補強を行う。</p> <table border="1"> <tr> <th>スリーブサイズ</th> <th>柱面・梁面からの距離</th> <th>スリーブ・開口間の距離</th> <th>補強</th> </tr> <tr> <td>125φ以下</td> <td>指定なし</td> <td>3d(径平均の3倍)以上(芯々)</td> <td>不要</td> </tr> <tr> <td>125φを超える</td> <td>指定なし</td> <td>3d(径平均の3倍)以上(芯々)かつ炭素繊維補強幅</td> <td>要</td> </tr> </table> <p>角開口 指定なし</p> <p>炭素繊維補強幅</p>				スリーブサイズ	柱面・梁面からの距離	スリーブ・開口間の距離	補強	125φ以下	指定なし	3d(径平均の3倍)以上(芯々)	不要	125φを超える	指定なし	3d(径平均の3倍)以上(芯々)かつ炭素繊維補強幅	要																																																																																					
	スリーブサイズ	柱面・梁面からの距離	スリーブ・開口間の距離	補強																																																																																																									
125φ以下	指定なし	3d(径平均の3倍)以上(芯々)	不要																																																																																																										
125φを超える	指定なし	3d(径平均の3倍)以上(芯々)かつ炭素繊維補強幅	要																																																																																																										
補修手順	1) 下地清掃後、浸透性アルカリ性付与剤塗布 2) 防錆ペースト塗布(2mm厚以上)		1) 鉄筋さび落とし 2) 下地地均し・洗浄後、浸透性アルカリ性付与剤 3) ポリマーセメントモルタルをかぶり厚20mmになるようコテ塗り		1) 補修材注入(エポキシ樹脂)		※幅1mmを超えるひび割れがある場合には監理者と協議により、対応を決定する。																																																																																																						
8 躯体補修推定数量 ※本推定数量は設計時の想定数量のため、解体完了後に施工者が数量を調査/集計し、監理者承認後に施工すること								9 スリーブ開口数量																																																																																																					
No.1 躯体調査		No.2 内部躯体補修工事		No.3 外部躯体補修工事		No.4 その他		<table border="1"> <tr> <th>スリーブ径</th> <th>125φ以下</th> <th>125φを超える</th> <th>角開口</th> </tr> <tr> <td>梁(新設躯体)</td> <td>箇所</td> <td>箇所</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td>梁(既存躯体)</td> <td>箇所</td> <td>箇所</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td>壁(新設躯体)</td> <td>箇所</td> <td>箇所</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td>壁(既存躯体)</td> <td>箇所</td> <td>箇所</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td>床(新設躯体)</td> <td>箇所</td> <td>箇所</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td>床(既存躯体)</td> <td>箇所</td> <td>箇所</td> <td>箇所</td> </tr> </table> <p>※設備図、構造図記載のスリーブ径、箇所数による</p>				スリーブ径	125φ以下	125φを超える	角開口	梁(新設躯体)	箇所	箇所	箇所	梁(既存躯体)	箇所	箇所	箇所	壁(新設躯体)	箇所	箇所	箇所	壁(既存躯体)	箇所	箇所	箇所	床(新設躯体)	箇所	箇所	箇所	床(既存躯体)	箇所	箇所	箇所																																																																						
スリーブ径	125φ以下	125φを超える	角開口																																																																																																										
梁(新設躯体)	箇所	箇所	箇所																																																																																																										
梁(既存躯体)	箇所	箇所	箇所																																																																																																										
壁(新設躯体)	箇所	箇所	箇所																																																																																																										
壁(既存躯体)	箇所	箇所	箇所																																																																																																										
床(新設躯体)	箇所	箇所	箇所																																																																																																										
床(既存躯体)	箇所	箇所	箇所																																																																																																										
<table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>数量</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>天井躯体調査(梁調査含む) 目視、打診、マーキング、写真撮影、手書き数、量表作成</td> <td>1200</td> <td>m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>床躯体調査(屋上含む) 目視、打診、マーキング、写真撮影、手書き数、量表作成</td> <td>2150</td> <td>m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>外壁調査 目視、打診、マーキング、写真撮影、手書き数、量表作成</td> <td>2660</td> <td>m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>調査報告書作成 写真台紙、図面位置図作成</td> <td>6010</td> <td>m<sup>2</sup></td> </tr> </table>		項目	数量	単位	天井躯体調査(梁調査含む) 目視、打診、マーキング、写真撮影、手書き数、量表作成	1200	m <sup>2</sup>	床躯体調査(屋上含む) 目視、打診、マーキング、写真撮影、手書き数、量表作成	2150	m <sup>2</sup>	外壁調査 目視、打診、マーキング、写真撮影、手書き数、量表作成	2660	m <sup>2</sup>	調査報告書作成 写真台紙、図面位置図作成	6010	m <sup>2</sup>	<table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>数量</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ひび割れ補修(0.4mm以上) 穿孔、エポキシ樹脂注入</td> <td>200</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>ひび割れ補修(1.0mm以上) 穿孔、エポキシ樹脂注入、SUS全ネジピン後填(5穴/m)</td> <td>300</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>浮き補修 穿孔、エポキシ樹脂注入、ピンニング(16穴/m<sup>2</sup>)</td> <td>100</td> <td>m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>欠損補修(■100未満) 不具合部撤去、清掃、樹脂モルタル充填・成型 ※露筋している場合は防錆処理</td> <td>300</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td>欠損補修(■100以上~300未満) 不具合部撤去、清掃、樹脂モルタル充填・成型 ※露筋している場合は防錆処理</td> <td>300</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td>欠損補修(■300以上) 不具合部撤去、清掃、樹脂モルタル充填・成型 ※露筋している場合は防錆処理</td> <td>100</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td>爆裂補修(■100以上~300未満) 不具合部撤去、ケレン、防錆処理、樹脂モルタル充填・成型</td> <td>150</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td>爆裂補修(■300以上) 不具合部撤去、ケレン、防錆処理</td> <td>100</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td>ジャンカ補修 不具合部撤去、樹脂モルタル充填・成型</td> <td>170</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td>スリーブ補修(100φ以下) 不具合部撤去、樹脂モルタル充填・成型</td> <td>300</td> <td>箇所</td> </tr> </table>		項目	数量	単位	ひび割れ補修(0.4mm以上) 穿孔、エポキシ樹脂注入	200	m	ひび割れ補修(1.0mm以上) 穿孔、エポキシ樹脂注入、SUS全ネジピン後填(5穴/m)	300	m	浮き補修 穿孔、エポキシ樹脂注入、ピンニング(16穴/m <sup>2</sup> )	100	m <sup>2</sup>	欠損補修(■100未満) 不具合部撤去、清掃、樹脂モルタル充填・成型 ※露筋している場合は防錆処理	300	箇所	欠損補修(■100以上~300未満) 不具合部撤去、清掃、樹脂モルタル充填・成型 ※露筋している場合は防錆処理	300	箇所	欠損補修(■300以上) 不具合部撤去、清掃、樹脂モルタル充填・成型 ※露筋している場合は防錆処理	100	箇所	爆裂補修(■100以上~300未満) 不具合部撤去、ケレン、防錆処理、樹脂モルタル充填・成型	150	箇所	爆裂補修(■300以上) 不具合部撤去、ケレン、防錆処理	100	箇所	ジャンカ補修 不具合部撤去、樹脂モルタル充填・成型	170	箇所	スリーブ補修(100φ以下) 不具合部撤去、樹脂モルタル充填・成型	300	箇所	<table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>数量</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>スリーブ補修(200φ以下) 穿孔、エポキシ樹脂注入</td> <td>300</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>埋設物補修(電気BOX、パイプ等) 埋設物撤去、樹脂モルタル充填・成型</td> <td>300</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td>浮き補修 4×70 穿孔、エポキシ樹脂注入、ピンニング(16穴/m<sup>2</sup>)</td> <td>1500</td> <td>m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>欠損補修(■100未満) 不具合部撤去、清掃、樹脂モルタル充填・成型 ※露筋している場合は防錆処理</td> <td>300</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td>欠損補修(■100以上~300未満) 不具合部撤去、清掃、樹脂モルタル充填・成型 ※露筋している場合は防錆処理</td> <td>150</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td>欠損補修(■300以上) 不具合部撤去、清掃、樹脂モルタル充填・成型 ※露筋している場合は防錆処理</td> <td>50</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td>爆裂補修(■100以上~300未満) 不具合部撤去、ケレン、防錆処理 ※露筋している場合は防錆処理</td> <td>100</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td>ジャンカ補修 不具合部撤去、樹脂モルタル充填・成型</td> <td>100</td> <td>m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>スリーブ補修(100φ以下) 不具合部撤去、樹脂モルタル充填・成型</td> <td>50</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td>埋設物補修(電気BOX、パイプ等) 埋設物撤去、樹脂モルタル充填・成型</td> <td>150</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td>露筋補修 錆ケレン、防錆処理、樹脂モルタル充填・成型 ※部分的にかぶり厚確保(30mm以上)</td> <td>200</td> <td>箇所</td> </tr> </table>		項目	数量	単位	スリーブ補修(200φ以下) 穿孔、エポキシ樹脂注入	300	m	埋設物補修(電気BOX、パイプ等) 埋設物撤去、樹脂モルタル充填・成型	300	箇所	浮き補修 4×70 穿孔、エポキシ樹脂注入、ピンニング(16穴/m <sup>2</sup> )	1500	m <sup>2</sup>	欠損補修(■100未満) 不具合部撤去、清掃、樹脂モルタル充填・成型 ※露筋している場合は防錆処理	300	箇所	欠損補修(■100以上~300未満) 不具合部撤去、清掃、樹脂モルタル充填・成型 ※露筋している場合は防錆処理	150	箇所	欠損補修(■300以上) 不具合部撤去、清掃、樹脂モルタル充填・成型 ※露筋している場合は防錆処理	50	箇所	爆裂補修(■100以上~300未満) 不具合部撤去、ケレン、防錆処理 ※露筋している場合は防錆処理	100	箇所	ジャンカ補修 不具合部撤去、樹脂モルタル充填・成型	100	m <sup>2</sup>	スリーブ補修(100φ以下) 不具合部撤去、樹脂モルタル充填・成型	50	箇所	埋設物補修(電気BOX、パイプ等) 埋設物撤去、樹脂モルタル充填・成型	150	箇所	露筋補修 錆ケレン、防錆処理、樹脂モルタル充填・成型 ※部分的にかぶり厚確保(30mm以上)	200	箇所	<table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>数量</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>現場管理 巡回管理程度</td> <td>1</td> <td>式</td> </tr> <tr> <td>機械損料 電動工具、副資材</td> <td>1</td> <td>式</td> </tr> <tr> <td>運搬料 材料運送料</td> <td>6010</td> <td>m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>場内小運搬料 人力、研りガラ、材料等</td> <td>6010</td> <td>m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>補修履歴作成 現地写真撮影料(補修履歴用) 施工写真、プロット写真、集計表、印刷台、事務消費品費</td> <td>6010</td> <td>m<sup>2</sup></td> </tr> </table>		項目	数量	単位	現場管理 巡回管理程度	1	式	機械損料 電動工具、副資材	1	式	運搬料 材料運送料	6010	m <sup>2</sup>	場内小運搬料 人力、研りガラ、材料等	6010	m <sup>2</sup>	補修履歴作成 現地写真撮影料(補修履歴用) 施工写真、プロット写真、集計表、印刷台、事務消費品費	6010	m <sup>2</sup>
項目	数量	単位																																																																																																											
天井躯体調査(梁調査含む) 目視、打診、マーキング、写真撮影、手書き数、量表作成	1200	m <sup>2</sup>																																																																																																											
床躯体調査(屋上含む) 目視、打診、マーキング、写真撮影、手書き数、量表作成	2150	m <sup>2</sup>																																																																																																											
外壁調査 目視、打診、マーキング、写真撮影、手書き数、量表作成	2660	m <sup>2</sup>																																																																																																											
調査報告書作成 写真台紙、図面位置図作成	6010	m <sup>2</sup>																																																																																																											
項目	数量	単位																																																																																																											
ひび割れ補修(0.4mm以上) 穿孔、エポキシ樹脂注入	200	m																																																																																																											
ひび割れ補修(1.0mm以上) 穿孔、エポキシ樹脂注入、SUS全ネジピン後填(5穴/m)	300	m																																																																																																											
浮き補修 穿孔、エポキシ樹脂注入、ピンニング(16穴/m <sup>2</sup> )	100	m <sup>2</sup>																																																																																																											
欠損補修(■100未満) 不具合部撤去、清掃、樹脂モルタル充填・成型 ※露筋している場合は防錆処理	300	箇所																																																																																																											
欠損補修(■100以上~300未満) 不具合部撤去、清掃、樹脂モルタル充填・成型 ※露筋している場合は防錆処理	300	箇所																																																																																																											
欠損補修(■300以上) 不具合部撤去、清掃、樹脂モルタル充填・成型 ※露筋している場合は防錆処理	100	箇所																																																																																																											
爆裂補修(■100以上~300未満) 不具合部撤去、ケレン、防錆処理、樹脂モルタル充填・成型	150	箇所																																																																																																											
爆裂補修(■300以上) 不具合部撤去、ケレン、防錆処理	100	箇所																																																																																																											
ジャンカ補修 不具合部撤去、樹脂モルタル充填・成型	170	箇所																																																																																																											
スリーブ補修(100φ以下) 不具合部撤去、樹脂モルタル充填・成型	300	箇所																																																																																																											
項目	数量	単位																																																																																																											
スリーブ補修(200φ以下) 穿孔、エポキシ樹脂注入	300	m																																																																																																											
埋設物補修(電気BOX、パイプ等) 埋設物撤去、樹脂モルタル充填・成型	300	箇所																																																																																																											
浮き補修 4×70 穿孔、エポキシ樹脂注入、ピンニング(16穴/m <sup>2</sup> )	1500	m <sup>2</sup>																																																																																																											
欠損補修(■100未満) 不具合部撤去、清掃、樹脂モルタル充填・成型 ※露筋している場合は防錆処理	300	箇所																																																																																																											
欠損補修(■100以上~300未満) 不具合部撤去、清掃、樹脂モルタル充填・成型 ※露筋している場合は防錆処理	150	箇所																																																																																																											
欠損補修(■300以上) 不具合部撤去、清掃、樹脂モルタル充填・成型 ※露筋している場合は防錆処理	50	箇所																																																																																																											
爆裂補修(■100以上~300未満) 不具合部撤去、ケレン、防錆処理 ※露筋している場合は防錆処理	100	箇所																																																																																																											
ジャンカ補修 不具合部撤去、樹脂モルタル充填・成型	100	m <sup>2</sup>																																																																																																											
スリーブ補修(100φ以下) 不具合部撤去、樹脂モルタル充填・成型	50	箇所																																																																																																											
埋設物補修(電気BOX、パイプ等) 埋設物撤去、樹脂モルタル充填・成型	150	箇所																																																																																																											
露筋補修 錆ケレン、防錆処理、樹脂モルタル充填・成型 ※部分的にかぶり厚確保(30mm以上)	200	箇所																																																																																																											
項目	数量	単位																																																																																																											
現場管理 巡回管理程度	1	式																																																																																																											
機械損料 電動工具、副資材	1	式																																																																																																											
運搬料 材料運送料	6010	m <sup>2</sup>																																																																																																											
場内小運搬料 人力、研りガラ、材料等	6010	m <sup>2</sup>																																																																																																											
補修履歴作成 現地写真撮影料(補修履歴用) 施工写真、プロット写真、集計表、印刷台、事務消費品費	6010	m <sup>2</sup>																																																																																																											
<table border="1"> <tr> <th>月日</th> <th>内容</th> <th>月日</th> <th>内容</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>								月日	内容	月日	内容					<table border="1"> <tr> <td>株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect &amp; Associates</td> <td>2025/03/26</td> <td>設計</td> <td>佐藤 信</td> </tr> <tr> <td>1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号</td> <td>佐藤 信</td> <td>監理</td> <td>伊藤 高基</td> </tr> </table>				株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	2025/03/26	設計	佐藤 信	1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	佐藤 信	監理	伊藤 高基																																																																																		
月日	内容	月日	内容																																																																																																										
株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	2025/03/26	設計	佐藤 信																																																																																																										
1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	佐藤 信	監理	伊藤 高基																																																																																																										
大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)								A-022																																																																																																					
既存躯体補修工事仕様書2																																																																																																													

＜建築概要＞							
工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事	工事種別	増築、一部耐震補強を含む大規模改修工事	前面道路	南側:42条2項道路1.86m、西側:42条1項1号道路5.50m、東側:42条1項1号道路6.57m	構造/規模	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造/地上4階
地名地番	大阪府大東市浜町23番地 (地番表示) 大阪府大東市浜町2番12号 (住所表示)	高度地区	指定なし	水道	公共水道	耐火建築物	耐火建築物
都市計画区域	市街化区域	敷地面積	8814.01㎡(第一種住居:7042.08㎡、近隣商業:1771.93㎡)	放流先(便所の種類)	公共下水(水洗) 合流式	建物の用途	小学校(用途記号08080)
用途地域	近隣商業地域、第一種住居地域	建築面積	3354.24㎡	最高高さ	16,650mm(本館北棟)	駐車場・駐輪場付置義務	なし
防火指定	準防火地域(近隣商業地域範囲に限る)、法22条区域	延べ面積	6560.14㎡	軒高	15,350mm(本館北棟)	内装制限	なし

＜外部仕上表＞							
屋根1 (本館北棟、本館南棟) ※押えコンクリート撤去	既存改質アスファルト防水、押えコンクリート50mm、アスファルト防水層撤去/ 下地勾配及び勾配調整/硬質ウレタンフォーム1種t=35/シート防水外断熱工法S1-M2(機械固定)	外壁1	既存外壁高圧洗浄/下地調整/弾性複層塗料E吹付	外構	アスファルト舗装、植栽、手洗い(配置図・外構図・平面図参照)、 新正門:アスファルト舗装、花壇:緑石ブロック		
屋根2 (増築棟)	硬質ウレタンフォームt=35/シート防水外断熱工法S1-M2(機械固定)	外壁2	C-60×30×20×2.3@455/耐水コンパネt=12/アスファルトルーフィング940 /カラーGL鋼板 t=0.4 横平葺き	フェンス	ステンレスメッシュフェンスH=1800 (西面のみやりかえ)		
屋根3 (リンクテラス)	C-100x60x20x2.3/耐火野地板t=18/アスファルトルーフィング940/ カラー鋼板t=0.4縦ハゼ葺き	外壁3	鉄骨下地/ALC板t=100/下地調整/吹付タイル ※ALC板:耐火認定番号 平成12年建設省告示第1399号 複合耐火 梁 認定番号:FP060BM-9356 (吹付けロックウール t=25) 梁のみに接合	サイン	サイン図参照		
屋根4 (屋内運動場)	既存長尺カラー折半瓦葺きの上、 硬質ウレタンフォームt50/合成高分子系ルーフィングシート防水(同等品) (断熱・高反射高耐久塗料仕上げ)	外壁4	鉄骨下地/押出成形セメント板t=50(アスロックNeo カラーフロン同等品) ※押出成形セメント板 複合耐火 梁 認定番号:FP030NE-9168 (吹付けロックウール t=25) 梁のみに接合	駐車場	なし		
笠木1 (屋根1)	C-20x20x2.6/耐水合板t=12/ /アスファルトルーフィング940/GL鋼板t=0.4曲げ加工	バルコニー床 (増築棟)	シンダーコンクリートt120/シート防水外断熱工法S1-M2(機械固定)	駐輪場	外構詳細図参照		
笠木2 (屋根2)	C-20x20x2.6/耐水合板t=12//アスファルトルーフィング940/GL鋼板t=0.4曲げ加工/ RCパラペット部分ウレタン塗膜防水(X-2)	バルコニー軒天 (増築棟・新館)	建築用鋼製下地材(JIS A 6517)/ケイカル板t=0.6/リシン吹付	視覚障害者用点字紙	サイン図参照		
		リンクテラス 床	RC/タイル下地モルタル/タイル貼り	家具	家具図参照		
		リンクテラス 軒天	建築用鋼製下地材(JIS A 6517)/ケイカル板t=0.6/リシン吹付	キュービクル置場	部分詳細図参照		
		昇降口	床:タイル下地モルタル/タイル貼り、スロープ:タイル下地モルタル/タイル貼り	バルク置場	コンクリート基礎、収納庫:LPガス容器収納庫ボンベック連棟BN42D同等品、ルーバー		
		職員玄関	床:タイル下地モルタル/タイル貼り、スロープ:タイル下地モルタル/タイル貼り				
縦樋	カラーVP管φ100、SUS304受け金物/VP塗装	通用口	床:タイル下地モルタル/タイル貼り、スロープ:タイル下地モルタル/タイル貼り				
ルーフトレイン	全てやりかえ/鋳鉄製縦型	建具	建具表参照(アルミサッシ他)				
EXP. J.C	部分詳細図参照	ガラス	建具表参照(透明網入りガラス、強化複層ガラス他)				
庇	弾性吹付タイル(軒天共)	消火器	ABC消火器:36個 消火器ボックス:36個				
		躯体補修	内外仕上補修:モルタル浮き・クラック補修(平成29年度版 東京都建築工事標準仕様書) 内外躯体補修:ジャンカ・燻裂・クラック・スリーブ・鉄筋腐食他躯体欠損補修 (既存躯体補修工事仕様書) ※補修数量は解体工事後に数量調査を行い外壁・各階ごとに補修内容・方法を監理者に確認すること。				
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>消火器は建築工事を含むこと。</li> <li>仕上げについては、それに対応した下地及び補強を施すものとする。</li> <li>特記なき屋外鉄部は溶融亜鉛メッキ処理すること。</li> <li>特記なき内部鉄部はサビ止めとすること。</li> <li>特記なき建材等は全てF☆☆☆☆とすること。</li> <li>特記なき木部はOL塗りとすること。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>鉄骨下地メンバー・ビッチは構造図及び詳細図を確認すること。</li> <li>内部床は不陸があるためセルフレベリングを施工すること。階段、屋外部分は除く。</li> <li>プール、体育倉庫、グラウンド、南・東・北面フェンスは改修対象外とする。</li> <li>硬質ウレタンフォーム1種、吹付ウレタンフォームA種1とする。</li> </ul>				

＜耐火・防火・不燃認定番号＞			
吹付けロックウール被覆/梁t=25(1時間耐火) 認定番号:FP060BM-9408	PBt=9.5(準不燃) 認定番号:QM-9828	掲示クロス(準不燃) 認定番号:QM-0824	EP-G塗装(不燃) 認定番号:NM-8585
※ALC板:耐火認定番号 平成12年建設省告示第1399号 複合耐火 梁 認定番号:FP060BM-9356(吹付けロックウール t=25)梁のみに接合	PBt=12.5(不燃) 認定番号:NM-8619	化粧石膏ボードt=9.5(不燃) 認定番号:NM-1864(GB-NC)	化粧吸音石膏ボードt=9.5(準不燃) 認定番号:QM-9822
	耐水PBt=9.5(準不燃) 認定番号:QM-9826	ケイカル板t=6(不燃) 認定番号:NM-8576	不燃木杉板 認定番号:NM-1704
耐火野地板/屋根(30分耐火) 認定番号:FP030RF-1763-2(1)	耐水PBt=12.5(不燃) 認定番号:QM-9639	タイル・モルタル石(不燃) 告示1400号	リシン吹付(不燃)(ジョリパット) 認定番号:NM-8572
exp.j(耐火仕様) 耐火帯12.5mm:EAJ-防災-3013	クロス張り(不燃) 認定番号:NM-0326		
※押出成形セメント板:耐火認定番号 平成14年国住指第4735号複合耐火 梁 認定番号:FP030NE-9168(吹付けロックウール t=25)梁のみに接合			

備考	月日		月日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2025/03/26	設計	佐藤 信	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	監修	A-023		
	月日		月日			1級建築士 佐藤 信 第362177号	監修	佐藤 信	監修		伊藤 高基	外部仕上表	備考	-
	月日		月日			1級建築士事務所 第1-60097号								

棟・階数	居室: ○ 非居室: -	室名	床		FL高さ	巾木	巾木高さ	壁		天井		CH	備考	
			下地	仕上表				下地	仕上げ	下地	仕上げ			
1階														
本館北棟	-	倉庫	既存スラブ/床不陸調整 (セルフレベリング材t=10)	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	既存モルタル下地調整		EP-G塗装	階段裏下地調整	EP-G塗装	2500	-
	-	階段3	既存スラブ/床不陸調整 (セルフレベリング材t=10)	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	既存モルタル下地調整		EP-G塗装	階段裏下地調整	EP-G塗装	-	手すり、ノンスリップ、掲示板
	-	昇降口1	既存スラブ/床不陸調整 (セルフレベリング材t=10)	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき		EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧石膏ボードt=9.5(不燃)	3100	下足箱、掲示板、傘立て、総合案内板、 (AED・消火器収納)
			下地モルタル	コンクリート 金コテ押え	-20	SUS巾木	60	軽鉄下地/PB12.5+9.5/寒冷紗パテしごき		EP-G塗装				
	○	保健室	既存スラブ/床不陸調整 (セルフレベリング材t=10)	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき		EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧石膏ボードt=9.5(不燃)	3100	洗濯機パン、戸棚、収納棚、流し台、キュービクルカーテン (レール共)、カーテンボックス、ベッド、カーテン、カーテンレール
								軽鉄下地/PB12.5+9.5/寒冷紗パテしごき		EP-G塗装				
	-	職員更衣室(男)(女)	既存スラブ/床不陸調整 (セルフレベリング材t=10)	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき		EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧石膏ボードt=9.5(不燃)	3100	カーテンボックス、ロッカー、カーテン、カーテンレール
								軽鉄下地/PB12.5+9.5/寒冷紗パテしごき		EP-G塗装				
-	廊下1-2	既存スラブ/床不陸調整 (セルフレベリング材t=10)	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき		EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ/ ケイカル板t=6/	リシン吹付	2700	-	
本館南棟	○	職員室	既存スラブ/床不陸調整/OAフロアH=50 (セルフレベリング材t=10)	タイルカーペット	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき		EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧吸音石膏ボードt=9.5 (準不燃)	3100	カウンター、カーテン、カーテンレール、 ミニキッチン(L1470)、曲面黒板、机、椅子、棚
			新設土間コンクリート/床不陸調整/ OAフロアH=50					軽鉄下地/PB12.5+9.5/寒冷紗パテしごき		EP-G塗装				
	○	校長室	新設土間コンクリート/床不陸調整	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき		EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧吸音石膏ボードt=9.5 (準不燃)	3100	手洗い、鏡(W500×H600)、カーテン、カーテンレール
								軽鉄下地/PB12.5+9.5/寒冷紗パテしごき		EP-G塗装				
	-	職員用トイレ(女)	新設土間コンクリート/床不陸調整	耐汚性長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ケイカル板t=6		EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧石膏ボードt=9.5(不燃)	2500	トイレブース、洗面器、小便器、大便器、手すり、鏡、 掃除用流し、洗面カウンター
								硬質ウレタンボードt=30/耐水PBt=12.5/ケイカル板t=6		EP-G塗装				
	-	職員用トイレ(男)	既存スラブ/床不陸調整 (セルフレベリング材t=10)	耐汚性長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ケイカル板t=6		EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧石膏ボードt=9.5(不燃)	2500	トイレブース、洗面器、小便器、大便器、手すり、鏡、 掃除用流し、洗面カウンター
								硬質ウレタンボードt=30/耐水PBt=12.5/ケイカル板t=6		EP-G塗装				
	○	図書館・ メディアスペース	新設土間コンクリート/床不陸調整/	フローリングt=12直張	±0	木巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき		EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ /PBt=9.5	化粧石膏ボードt=9.5(不燃)	3100	書架、カウンター、造作カウンター、カーテン、 カーテンレール、机、椅子
								軽鉄下地/PB12.5+9.5/寒冷紗パテしごき		EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ /下地合板t=9	天然木突板t=6(不燃)		
	○	調理室(本館南棟)	新設土間コンクリート/床不陸調整/ 鋼鉄製上床H450	防滑性長尺塩ビシート	±0	床同材立上	60	軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ケイカル板t=6		EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧石膏ボードt=9.5(不燃)	2500	調理機器、手洗い
								硬質ウレタンボードt=30/耐水PBt=12.5/ケイカル板t=6		EP-G塗装				
	○	調理室(増築棟)	RCスラブ/床不陸調整	防滑性長尺塩ビシート	±0	床同材立上	60	硬質ウレタンボードt=30/耐水PBt=12.5/ケイカル板t=6		EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧石膏ボードt=9.5(不燃)	2500	調理機器、手洗い
								軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/耐水PBt=12.5/ケイカル板t=6		EP-G塗装				
	-	配膳室	新設土間コンクリート/床不陸調整/ 鋼鉄製上床H450	防滑性長尺塩ビシート	±0	床同材立上	60	軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ケイカル板t=6		EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧石膏ボードt=9.5(不燃)	2500	調理機器
								硬質ウレタンボードt=30/耐水PBt=12.5/ケイカル板t=6		EP-G塗装				
-	前室	新設土間コンクリート/床不陸調整/ 鋼鉄製上床H450	防滑性長尺塩ビシート	±0	床同材立上	60	軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ケイカル板t=6		EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧石膏ボードt=9.5(不燃)	2500	手洗い	
							硬質ウレタンボードt=30/耐水PBt=12.5/ケイカル板t=6		EP-G塗装					
-	下膳コーナー	新設土間コンクリート/床不陸調整/ 鋼鉄製上床H450	防滑性長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ケイカル板t=6		EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧石膏ボードt=9.5(不燃)	2500	手洗い	
							硬質ウレタンボードt=30/耐水PBt=12.5/ケイカル板t=6		EP-G塗装					
-	廊下1-1	既存スラブ/床不陸調整 (セルフレベリング材t=10)	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき		EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ/ ケイカル板t=6/	リシン吹付	2700	-	
増築棟	-	体育倉庫	RCスラブ/床不陸調整	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき		EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧石膏ボードt=9.5(不燃)	2500	-
	-	収納庫	RCスラブ/床不陸調整	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき		EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧石膏ボードt=9.5(不燃)	2500	洗濯機パン
	○	児童クラブ1	RCスラブ/床不陸調整	床クッションフロア	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき		EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧吸音石膏ボードt=9.5 (準不燃)	3100	掃除道具入れ、児童用ロッカー、曲面黒板、 カーテン、カーテンレール、手洗い
								軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/PB12.5+9.5/寒冷紗パテしごき		EP-G塗装				
	○	児童クラブ2	RCスラブ/床不陸調整	床クッションフロア	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき		EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧吸音石膏ボードt=9.5 (準不燃)	3100	掃除道具入れ、児童用ロッカー、ホワイトボード、 カーテン、カーテンレール、手洗い
								軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/PB12.5+9.5/寒冷紗パテしごき		EP-G塗装				
	-	トイレ(児童クラブ)	RCスラブ/床不陸調整	耐汚性長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30/耐水PBt=12.5/ケイカル板t=6		EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧石膏ボードt=9.5(不燃)	2500	大便器
								軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/耐水PBt=12.5/ケイカル板t=6		EP-G塗装				
-	多目的トイレ	RCスラブ/床不陸調整	耐汚性長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30/耐水PBt=12.5/ケイカル板t=6		EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧石膏ボードt=9.5(不燃)	2500	-	
							軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/耐水PBt=12.5/ケイカル板t=6		EP-G塗装					

備考	月日		月日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2025/03/26	設計	佐藤 信	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図面	A-024		
	月日		月日			1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	校務	佐藤 信	監理		伊藤 高基	内部仕上表-1	備考	-
	月日		月日											

棟・階数	居室: ○ 非居室:○	室名	床		FL高さ	巾木	巾木高さ	壁		天井		CH	備考
			下地	仕上表				下地	仕上げ	下地	仕上げ		
-		下処理室	RCスラブ/床不陸調整	防滑性長尺塩ビシート	±0	床同材立上	60	硬質ウレタンボードt=30/耐水PBt=12.5/ケイカル板t=6	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧石膏ボードt=9.5(不燃)	2500	調理機器、手洗い
								軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/耐水PBt=12.5/ケイカル板t=6	EP-G塗装				
-		食品庫	RCスラブ/床不陸調整	防滑性長尺塩ビシート	±0	床同材立上	60	硬質ウレタンボードt=30/耐水PBt=12.5/ケイカル板t=6	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧石膏ボードt=9.5(不燃)	2500	調理機器、手洗い
								軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/耐水PBt=12.5/ケイカル板t=6	EP-G塗装				
-		検収室	RCスラブ/床不陸調整	防滑性長尺塩ビシート	±0	床同材立上	60	硬質ウレタンボードt=30/耐水PBt=12.5/ケイカル板t=6	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧石膏ボードt=9.5(不燃)	2500	調理機器、手洗い
								軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/耐水PBt=12.5/ケイカル板t=6	EP-G塗装				
-		パン・牛乳仕分室	RCスラブ/床不陸調整	防滑性長尺塩ビシート	±0	床同材立上	60	硬質ウレタンボードt=30/耐水PBt=12.5/ケイカル板t=6	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧石膏ボードt=9.5(不燃)	2500	調理機器、手洗い
								軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/耐水PBt=12.5/ケイカル板t=6	EP-G塗装				
-		前室	RCスラブ/床不陸調整	防滑性長尺塩ビシート	±0	床同材立上	60	硬質ウレタンボードt=30/耐水PBt=12.5/ケイカル板t=6	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧石膏ボードt=9.5(不燃)	2500	-
								軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/耐水PBt=12.5/ケイカル板t=6	EP-G塗装				
-		給食員用トイレ	RCスラブ/床不陸調整	耐汚性長尺塩ビシート	±0	床同材立上	60	硬質ウレタンボードt=30/耐水PBt=12.5/ケイカル板t=6	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧石膏ボードt=9.5(不燃)	2500	大便器、手洗い
								軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/耐水PBt=12.5/ケイカル板t=6	EP-G塗装				
-		更衣・休憩室	RCスラブ/床不陸調整	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧石膏ボードt=9.5(不燃)	2500	ロッカー
								軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/PB12.5+9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装				
-		階段1	RCスラブ/床不陸調整	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	階段裏下地調整	EP-G塗装	-	手すり、ノンスリップ、掲示板
								軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/PB12.5+9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装				

2階

本館北棟	-	階段3	既存スラブ/床不陸調整 (セルフレベリング材t=10)	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	階段裏下地調整	EP-G塗装	-	手すり、ノンスリップ、掲示板
								軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/PB12.5+9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装				
○		普通教室1	既存スラブ/床不陸調整 (セルフレベリング材t=10)	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧吸音石膏ボードt=9.5 (準不燃)	3100	掃除道具入れ、児童用ロッカー、曲面黑板、カーテン、カーテンレール
								軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/PB12.5+9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装				
○		普通教室2	既存スラブ/床不陸調整 (セルフレベリング材t=10)	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧吸音石膏ボードt=9.5 (準不燃)	3100	掃除道具入れ、児童用ロッカー、曲面黑板、カーテン、カーテンレール
								軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/PB12.5+9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装				
○		オープンスペース1	既存スラブ/床不陸調整 (セルフレベリング材t=10)	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧吸音石膏ボードt=9.5 (準不燃)	3100	掃除道具入れ、児童用ロッカー、ホワイトボード、カーテン、カーテンレール
								軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/PB12.5+9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装				
○		普通教室3	既存スラブ/床不陸調整 (セルフレベリング材t=10)	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧吸音石膏ボードt=9.5 (準不燃)	3100	掃除道具入れ、児童用ロッカー、曲面黑板、カーテン、カーテンレール
								軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/PB12.5+9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装				
○		普通教室4	既存スラブ/床不陸調整 (セルフレベリング材t=10)	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧吸音石膏ボードt=9.5 (準不燃)	3100	掃除道具入れ、児童用ロッカー、曲面黑板、カーテン、カーテンレール
								軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/PB12.5+9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装				
-		オープンスペース2	既存スラブ/床不陸調整 (セルフレベリング材t=10)	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ/ ケイカル板t=6/	リシン吹付	2850	カウンター、棚、手洗い
								軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/PB12.5+9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装				
-		階段2	既存スラブ/床不陸調整 (セルフレベリング材t=10)	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30/耐水PBt=12.5/ケイカル板t=6	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ/ ケイカル板t=6/	リシン吹付	2850	手すり、ノンスリップ、掲示板
								軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/耐水PBt=12.5/ケイカル板t=6	EP-G塗装				
-		児童トイレ(男)	既存スラブ/床不陸調整 (セルフレベリング材t=10)	耐汚性長尺塩ビシート	±0	床同材立上	60	硬質ウレタンボードt=30/耐水PBt=12.5/ケイカル板t=6	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧石膏ボードt=9.5(不燃)	2500	トイレブース、洗面器、小便器、大便器、手すり、鏡、掃除用流し、洗面カウンター
								軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/耐水PBt=12.5/ケイカル板t=6	EP-G塗装				

備考	月日		月日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2025/03/26	設計	佐藤 信	大東市立住道北小学校校長寿命化改良工事(建築工事)	図審	A-025		
	月日		月日			1級建築士 佐藤 信 第362177号	監修	佐藤 信	監製		伊藤 高基	内部仕上表-2	備考	-
	月日		月日			1級建築士事務所 第1-60097号								

棟・階数	居室: ○ 非居室: -	室名	床		FL高さ	巾木	巾木高さ	壁		天井		CH	備考	
			下地	仕上表				下地	仕上げ	下地	仕上げ			
増築棟	-	児童トイレ(女)	既存スラブ/床不陸調整 (セルフレベリング材t=10)	耐汚性長尺塩ビシート	±0	床同材立上	60	硬質ウレタンボードt=30/耐水PBt=12.5/ケイカル板t=6	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧石膏ボードt=9.5(不燃)	2500	トイレブース、洗面器、小便器、大便器、手すり、鏡、掃除用流し、洗面カウンター	
								軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/耐水PBt=12.5/ケイカル板t=6	EP-G塗装					
	-	児童更衣室1	既存スラブ/床不陸調整 (セルフレベリング材t=10)	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧石膏ボードt=9.5(不燃)	2850	カーテン、カーテンレール、ロッカー	
								軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/PB12.5+9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装					
	-	児童更衣室2	既存スラブ/床不陸調整 (セルフレベリング材t=10)	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧石膏ボードt=9.5(不燃)	2850	カーテン、カーテンレール、ロッカー	
								軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/PB12.5+9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装					
	○	特別支援教室1	既存スラブ/床不陸調整 (セルフレベリング材t=10)	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧石膏ボードt=9.5 (準不燃)	3100	掃除道具入れ、児童用ロッカー、曲面黑板、カーテン、カーテンレール	
								軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/PB12.5+9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装					
								軽鉄下地/ラワン合板t=9	掲示クロス					
	○	特別支援教室2	既存スラブ/床不陸調整 (セルフレベリング材t=10)	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧石膏ボードt=9.5 (準不燃)	3100	掃除道具入れ、児童用ロッカー、曲面黑板、カーテン、カーテンレール	
								軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/PB12.5+9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装					
								軽鉄下地/ラワン合板t=9	掲示クロス					
-	廊下2-2	既存スラブ/床不陸調整 (セルフレベリング材t=10)	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ/ ケイカル板t=6/	リシン吹付	2850	手洗い、荷物掛けバー、ワイヤーレール		
-	倉庫	RCスラブ/床不陸調整	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	軽鉄下地/PB12.5+9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧石膏ボードt=9.5(不燃)	3100	-		
-	倉庫1	RCスラブ/床不陸調整	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	軽鉄下地/PB12.5+9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧石膏ボードt=9.5(不燃)	3100	-		
○	オープンスペース3	RCスラブ/床不陸調整	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧石膏ボードt=9.5 (準不燃)	3100	掃除道具入れ、児童用ロッカー、ホワイトボード、カーテン、カーテンレール		
							軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/PB12.5+9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装						
							軽鉄下地/ラワン合板t=9	掲示クロス						
○	集会室	RCスラブ/床不陸調整	タイルカーペット	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧石膏ボードt=9.5 (準不燃)	3100	ホワイトボード(SKY工事)		
							軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/PB12.5+9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装						
							軽鉄下地/PB12.5+9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装						
-	階段1	RCスラブ/床不陸調整	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	階段裏下地調整	EP-G塗装	-	-	手すり、ノンスリップ	
							軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/PB12.5+9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装						
-	廊下2-1	RCスラブ/床不陸調整	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ/ ケイカル板t=6/	リシン吹付	2850			
3階														
本館北棟	-	階段3	既存スラブ/床不陸調整 (セルフレベリング材t=10)	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	階段裏下地調整	EP-G塗装	-	-	手すり、ノンスリップ、掲示板
								軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/PB12.5+9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装					
	○	普通教室5	既存スラブ/床不陸調整 (セルフレベリング材t=10)	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧石膏ボードt=9.5 (準不燃)	3100	掃除道具入れ、児童用ロッカー、曲面黑板、カーテン、カーテンレール	
								軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/PB12.5+9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装					
								軽鉄下地/ラワン合板t=9	掲示クロス					
	○	普通教室6	既存スラブ/床不陸調整 (セルフレベリング材t=10)	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧石膏ボードt=9.5 (準不燃)	3100	掃除道具入れ、児童用ロッカー、曲面黑板、カーテン、カーテンレール	
							軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/PB12.5+9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装						
							軽鉄下地/ラワン合板t=9	掲示クロス						
本館南棟	○	オープンスペース4	既存スラブ/床不陸調整 (セルフレベリング材t=10)	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧石膏ボードt=9.5 (準不燃)	3100	掃除道具入れ、児童用ロッカー、ホワイトボード、カーテン、カーテンレール	
								軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/PB12.5+9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装					
								軽鉄下地/ラワン合板t=9	掲示クロス					
	○	普通教室7	既存スラブ/床不陸調整 (セルフレベリング材t=10)	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧石膏ボードt=9.5 (準不燃)	3100	掃除道具入れ、児童用ロッカー、曲面黑板、カーテン、カーテンレール	
								軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/PB12.5+9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装					
								軽鉄下地/ラワン合板t=9	掲示クロス					
○	普通教室8	既存スラブ/床不陸調整 (セルフレベリング材t=10)	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧石膏ボードt=9.5 (準不燃)	3100	掃除道具入れ、児童用ロッカー、曲面黑板、カーテン、カーテンレール		
							軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/PB12.5+9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装						
							軽鉄下地/ラワン合板t=9	掲示クロス						

備考	月日		月日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2025/03/26	設計	佐藤 信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A-026								
	月日		月日										1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	監修	佐藤 信	監製	伊藤 高基	図面名称	内部仕上表-3	備考	-
	月日		月日																		

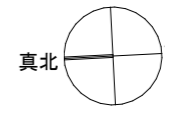
棟・階数	居室: ○ 居室 ● 非居室	室名	床		FL高さ	巾木	巾木高さ	壁		天井		CH	備考
			下地	仕上表				下地	仕上げ	下地	仕上げ		
-	-	オープンスペース5	既存スラブ/床不陸調整 (セルフレベリング材t=10)	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ/ ケイカル板t=6/	リシン吹付	2850	カウンター、棚、手洗い
								軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/PB12.5+9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装				
-	-	階段2	既存スラブ/床不陸調整 (セルフレベリング材t=10)	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	階段裏下地調整	EP-G塗装	-	手すり、ノンスリップ、掲示板
								軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/PB12.5+9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装				
-	-	児童トイレ(男)	既存スラブ/床不陸調整 (セルフレベリング材t=10)	耐汚性長尺塩ビシート	±0	床同材立上	60	軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ケイカル板t=6	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧石膏ボードt=9.5(不燃)	2500	トイレブース、洗面器、小便器、大便器、手すり、 鏡、掃除用流し、洗面カウンター
								硬質ウレタンボードt=30/耐水PBt=12.5/ケイカル板t=6	EP-G塗装				
-	-	児童トイレ(女)	既存スラブ/床不陸調整 (セルフレベリング材t=10)	耐汚性長尺塩ビシート	±0	床同材立上	60	軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ケイカル板t=6	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧石膏ボードt=9.5(不燃)	2500	トイレブース、洗面器、小便器、大便器、手すり、 鏡、掃除用流し、洗面カウンター
								硬質ウレタンボードt=30/耐水PBt=12.5/ケイカル板t=6	EP-G塗装				
-	-	児童更衣室3	既存スラブ/床不陸調整 (セルフレベリング材t=10)	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧石膏ボードt=9.5(不燃)	2850	カーテン、カーテンレール、ロッカー
								軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/PB12.5+9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装				
-	-	児童更衣室4	既存スラブ/床不陸調整 (セルフレベリング材t=10)	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧石膏ボードt=9.5(不燃)	2850	カーテン、カーテンレール、ロッカー
								軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/PB12.5+9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装				
○	-	少人数教室1	既存スラブ/床不陸調整 (セルフレベリング材t=10)	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧吸音石膏ボードt=9.5 (準不燃)	3100	掃除道具入れ、児童用ロッカー、曲面黒板、 カーテン、カーテンレール
								軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/PB12.5+9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装				
								軽鉄下地/ラワン合板t=9	掲示クロス				
○	-	少人数教室2	既存スラブ/床不陸調整 (セルフレベリング材t=10)	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧吸音石膏ボードt=9.5 (準不燃)	3100	掃除道具入れ、児童用ロッカー、曲面黒板、 カーテン、カーテンレール
								軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/PB12.5+9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装				
								軽鉄下地/ラワン合板t=9	掲示クロス				
-	-	廊下3-1	既存スラブ/床不陸調整 (セルフレベリング材t=10)	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ/ ケイカル板t=6/	リシン吹付	2850	手洗い、荷物掛けバー、ワイヤーレール
増築棟	-	倉庫3	RCスラブ/床不陸調整	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧石膏ボードt=9.5(不燃)	3100	-
								軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/PB12.5+9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装				
								階段裏下地調整	EP-G塗装				
-	-	階段1	RCスラブ/床不陸調整	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	階段裏下地調整	EP-G塗装	-	手すり、ノンスリップ、掲示板
-	-							軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/PB12.5+9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装				

4階

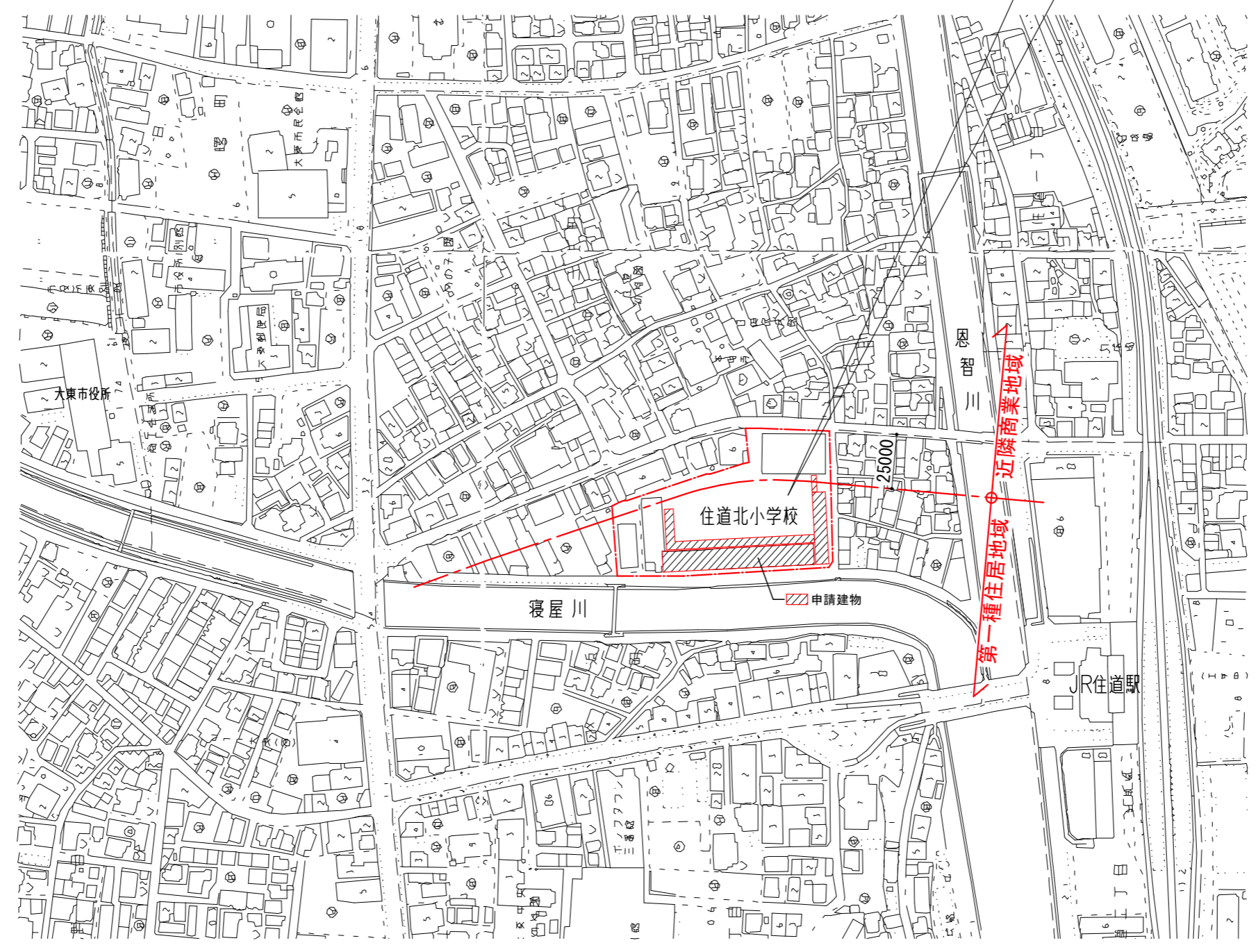
本館北棟	-	階段3	既存スラブ/床不陸調整 (セルフレベリング材t=10)	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	階段裏下地調整	EP-G塗装	-	手すり、ノンスリップ、掲示板
								軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/PB12.5+9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装				
	○	学習室	既存スラブ/床不陸調整 (セルフレベリング材t=10)	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧吸音石膏ボードt=9.5 (準不燃)	3100	掃除道具入れ、児童用ロッカー、曲面黒板、 カーテン、カーテンレール
								軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/PB12.5+9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装				
	○	児童会室	既存スラブ/床不陸調整 (セルフレベリング材t=10)	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ	化粧吸音石膏ボードt=9.5 (準不燃)	3100	掃除道具入れ、児童用ロッカー、曲面黒板、 カーテン、カーテンレール
								軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/PB12.5+9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装				
-	-	廊下4-1	既存スラブ/床不陸調整 (セルフレベリング材t=10)	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ/ ケイカル板t=6/	リシン吹付	2850	手洗い、荷物掛けバー、ワイヤーレール
本館南棟	-	階段2	既存スラブ/床不陸調整 (セルフレベリング材t=10)	長尺塩ビシート	±0	ソフト巾木	60	硬質ウレタンボードt=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装	階段裏下地調整	EP-G塗装	-	手すり、ノンスリップ、掲示板
								軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/PB12.5+9.5/寒冷紗パテしごき	EP-G塗装				



計画地 地番表示：大阪府大東市浜町16番8、22番2、22番3、23番、24番1、26番1、26番2、26番3、27番1、27番2、27番3、27番4、28番1、28番2、684番1  
 住所表示：大阪府大東市浜町2番12号



※方位根拠は  
 国土地理院基盤地図情報に依る

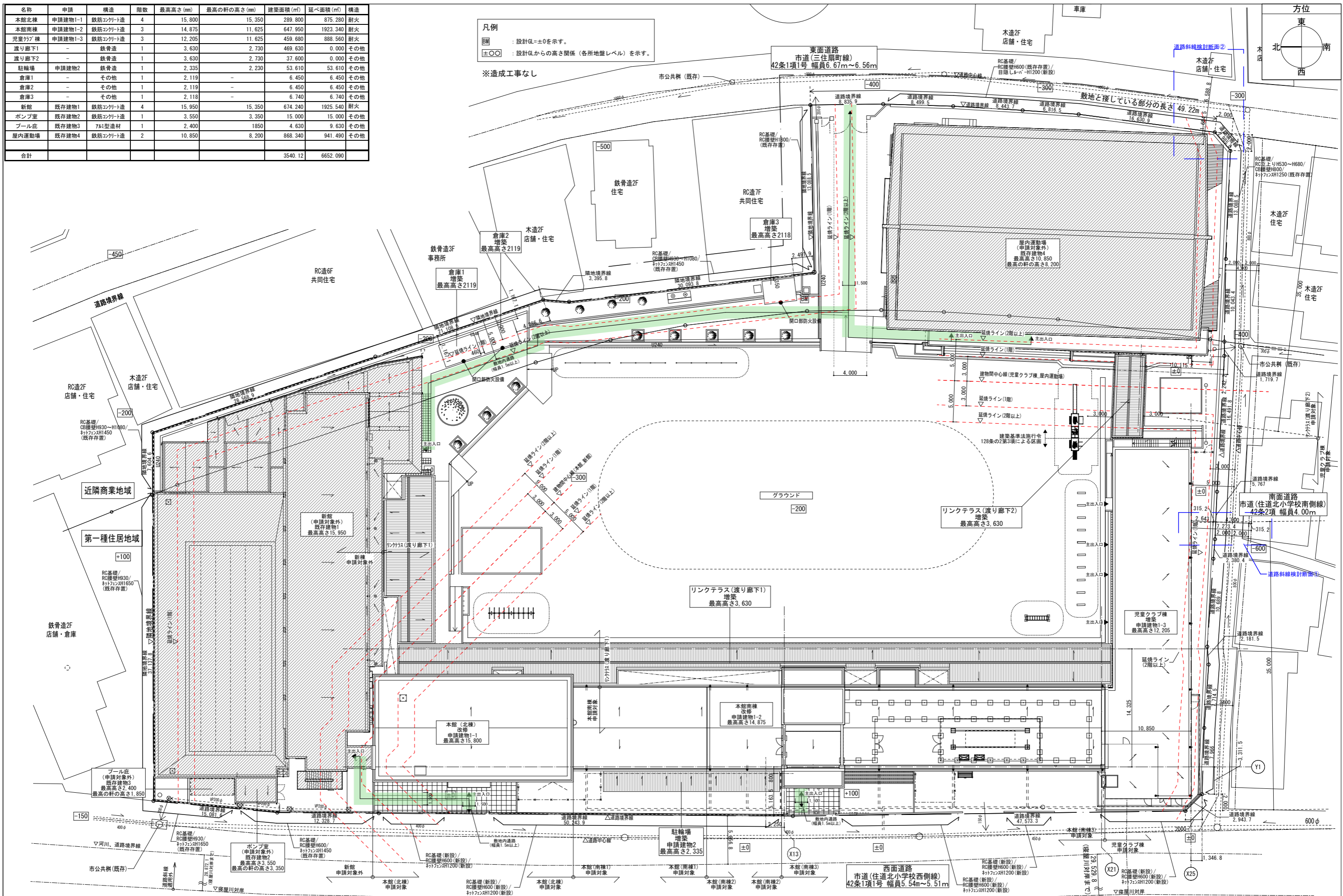


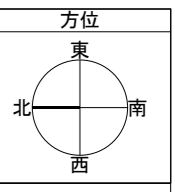
附近見取図 S=1/3000 (A3)

備考	月日	月日	月日	株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2025/03/26	設計	佐藤 信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A-028
	月日	月日	月日	1級建築士 佐藤 信 第362177号	作成	佐藤 信	設計	伊藤 高基	図面名称	敷地案内図	縮尺	1/1500(A1) 1/3000(A3)
	月日	月日	月日	1級建築士事務所 第1-60097号								

名称	申請	構造	階数	最高高さ(mm)	最高の軒の高さ(mm)	建築面積(m <sup>2</sup> )	延べ面積(m <sup>2</sup> )	構造
本館北棟	申請建物1-1	鉄筋コンクリート造	4	15,800	15,350	289,800	875,280	耐火
本館南棟	申請建物1-2	鉄筋コンクリート造	3	14,875	11,625	647,950	1923,340	耐火
児童クラブ棟	申請建物1-3	鉄筋コンクリート造	3	12,205	11,625	459,680	888,560	耐火
渡り廊下1	-	鉄骨造	1	3,630	2,730	469,630	0,000	その他
渡り廊下2	-	鉄骨造	1	3,630	2,730	37,600	0,000	その他
駐輪場	申請建物2	鉄骨造	1	2,335	2,230	53,610	53,610	その他
倉庫1	-	その他	1	2,119	-	6,450	6,450	その他
倉庫2	-	その他	1	2,119	-	6,450	6,450	その他
倉庫3	-	その他	1	2,118	-	6,740	6,740	その他
新館	既存建物1	鉄筋コンクリート造	4	15,950	15,350	674,240	1925,540	耐火
ポンプ室	既存建物2	鉄筋コンクリート造	1	3,550	3,350	15,000	15,000	その他
プール底	既存建物3	7M型造材	1	2,400	1850	4,630	9,630	その他
屋内運動場	既存建物4	鉄筋コンクリート造	2	10,850	8,200	868,340	941,490	その他
合計						3540.12	6652.090	

凡例  
 BM : 設計GL=±0を示す。  
 ±○○ : 設計GLからの高さ関係(各所地盤レベル)を示す。  
 ※造成工事なし





□敷地面積求積表  
敷地求積図(近隣商業地域)

番号	X(m)	Y(m)	N	A(m <sup>2</sup> )
A	7.6046	2.9930	2	11.3802839000
B	28.6360	6.9836	2	99.9911848000
C	45.9694	6.9620	2	160.0194814000
D	21.1086	6.9371	2	73.2162345300
E	8.2154	3.1087	2	12.7696069900
F	8.2154	6.6834	2	27.4534021800
G	14.5021	3.4448	2	24.9784170400
H	30.0938	4.4079	2	66.3252305100
I	16.8640	3.9190	2	33.0450080000
J	9.2890	4.4240	2	20.5472680000
K	26.3353	6.2443	2	82.2227568950
L	26.3353	8.3878	2	110.4476146700
M	28.2346	8.0995	2	108.2435713500
N	28.2346	7.2419	2	94.9941748700
O	26.2764	8.0336	2	105.5470435200
P	26.2764	13.2104	2	173.5608772800
Q	25.7240	6.6247	2	85.2068914000
R	32.7644	15.5337	2	254.4761801400
S	32.7644	5.5621	2	91.1194346200
T	25.0278	10.0162	2	125.3417251800
U	15.4408	1.6896	2	13.0443878400
合計(m <sup>2</sup> )				1,771.9307751150
少数点切捨(m <sup>2</sup> )				1,771.930

□合計敷地面積

近隣商業地域敷地面積(m <sup>2</sup> )	1,771.930
第一種住居地域敷地面積(m <sup>2</sup> )	7,042.080
合計敷地面積(m <sup>2</sup> )	8,814.010

□容積率計算

用途地域	敷地面積	容積率
近隣商業地域	1,771.930	300
第一種住居地域	7,042.080	200
敷地内容積率計算		2.201035624
計算結果(%)		220.10

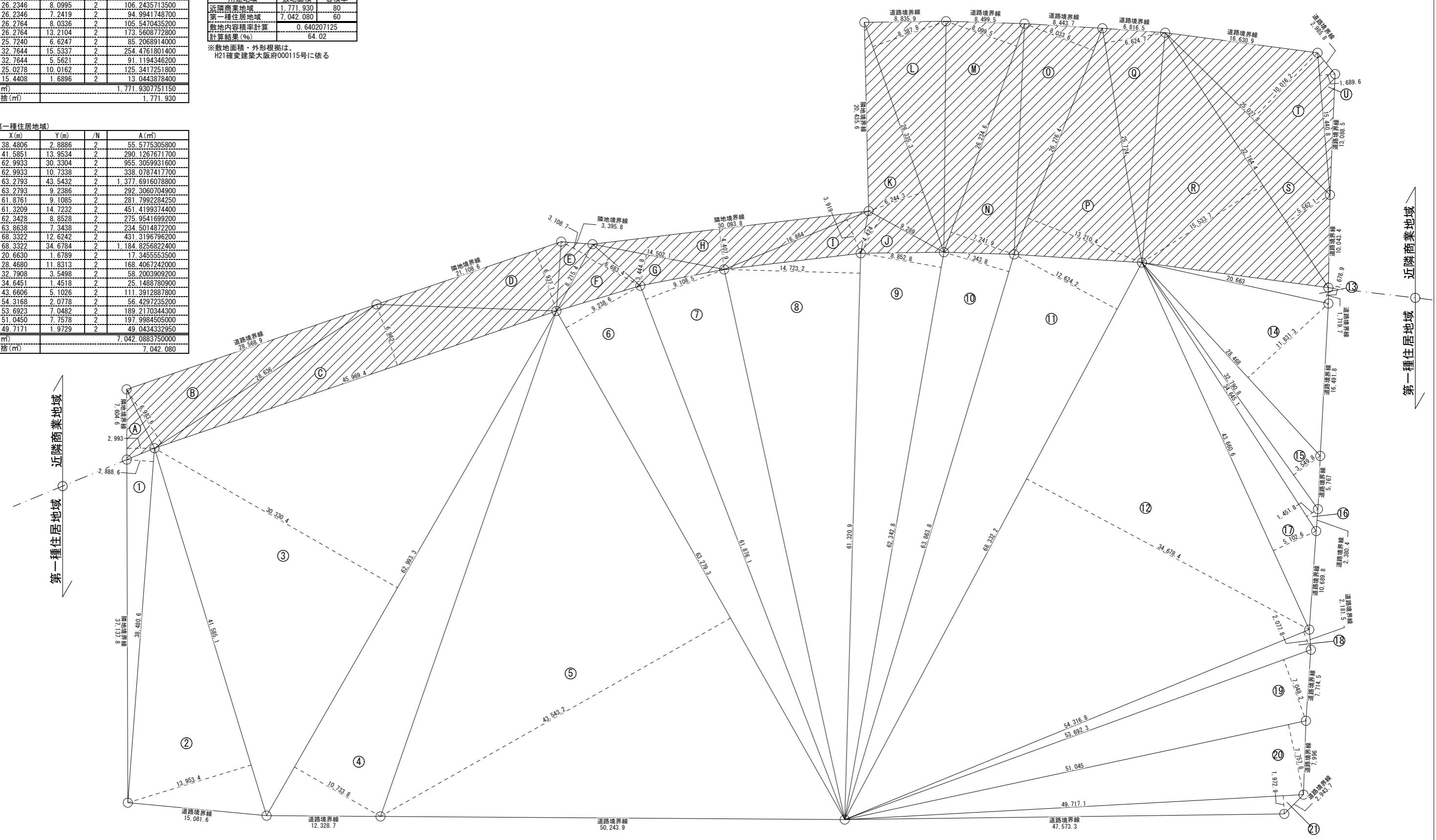
□建蔽率計算

用途地域	敷地面積	容積率
近隣商業地域	1,771.930	80
第一種住居地域	7,042.080	60
敷地内容積率計算		0.640207125
計算結果(%)		64.02

※敷地面積・外形根拠は、  
H21確変建築大版府000115号に依る

敷地求積図(第一種住居地域)

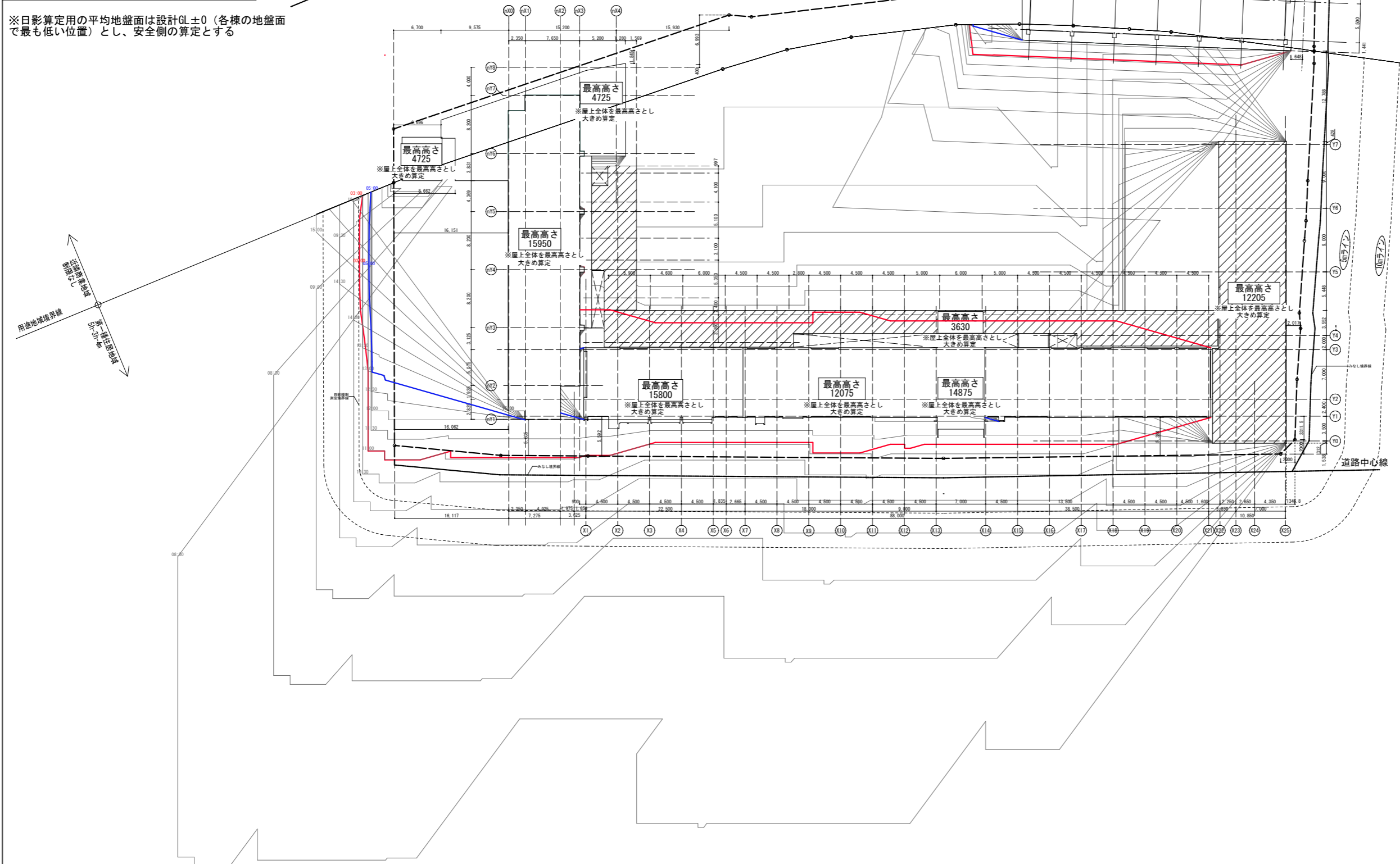
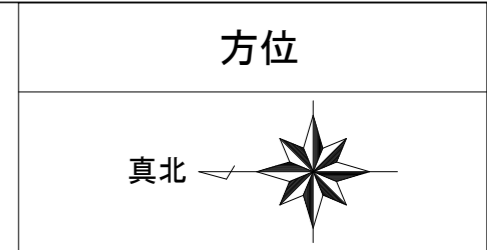
番号	X(m)	Y(m)	N	A(m <sup>2</sup> )
1	38.4806	2.8886	2	55.5775305800
2	41.5851	13.9534	2	290.1267671700
3	62.9933	30.3304	2	958.3069931600
4	62.9933	10.7538	2	338.0787417700
5	63.2793	43.5432	2	1,377.6916078800
6	63.2793	9.2386	2	292.3060704900
7	61.8761	9.1085	2	281.7992284250
8	61.3209	14.7232	2	451.4199374400
9	62.3428	8.8528	2	275.9541699200
10	63.8638	7.3438	2	234.5014872200
11	68.3322	12.6242	2	431.3196796200
12	68.3322	34.6784	2	1,184.8256822400
13	20.6630	1.6789	2	17.3455553500
14	28.4680	11.8313	2	168.4067242000
15	32.7908	3.5498	2	58.2003909200
16	34.6451	1.4518	2	25.1488780900
17	43.6606	5.1026	2	111.3912887800
18	54.3168	2.0778	2	56.4297235200
19	53.6923	7.0482	2	189.2170344300
20	51.0450	7.7578	2	197.9984505000
21	49.7171	1.9729	2	49.0434332850
合計(m <sup>2</sup> )				7,042.0883750000
小数点切捨(m <sup>2</sup> )				7,042.080



備考	月日	月日	月日	月日	株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作	2024/11/11	設計	佐藤 信	工事	大東市立住道北小学校校長寿命化改良工事(建築工事)	図	A-030
	月日	月日	月日	月日	1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	監	佐藤 信	監	伊藤 高基	図	敷地求積図	縮	1/200 (A1) 1/400 (A3)

**■用途地域：**  
 近隣商業地域 制限なし  
 第一種住居地域 5h-3h-4m  
 平均地盤面：GL±0m  
 真北の測定方法：  
**■国土地理院基盤地図情報参照**  
 緯度：34度42分30秒  
 経度：135度37分21秒  
 〰〰〰 新規増築部分

※日影算定用の平均地盤面は設計GL±0（各棟の地盤面で最も低い位置）とし、安全側の算定とする



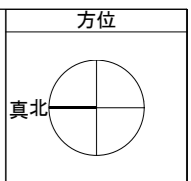
倍率表  
(大阪府統一基準・12月22日頃)

真太陽時	太陽方位角	倍率
8:00	-53° 27'	6.706
8:30	-48° 24'	4.246
9:00	-42° 54'	3.144
9:30	-36° 55'	2.527
10:00	-30° 24'	2.145
10:30	-23° 23'	1.899
11:00	-15° 53'	1.743
11:30	- 8° 02'	1.657
12:00	- 0° 00'	1.629
12:30	8° 02'	1.657
13:00	15° 53'	1.743
13:30	23° 23'	1.899
14:00	30° 24'	2.145
14:30	36° 55'	2.527
15:00	42° 54'	3.144
15:30	48° 24'	4.246
16:00	53° 27'	6.706

※北緯 35° 0' 東経 135° 30'  
 ※中央標準時 12時 0分 0秒  
 真太陽時 11時 56分 15秒

特記：倍率表の緯度・経度は大阪府指定により上記一覧を採用とする。  
 (冬至日の太陽方位角と影の倍率 大阪府統一基準)

備考	月日	月日	月日	月日	株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作	2025/03/26	設計	佐藤 信	工事	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図	A-031
					1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	監	佐藤 信	監	岩田 博登	図	日影図	縮	1/300 (A1) 1/600 (A3)

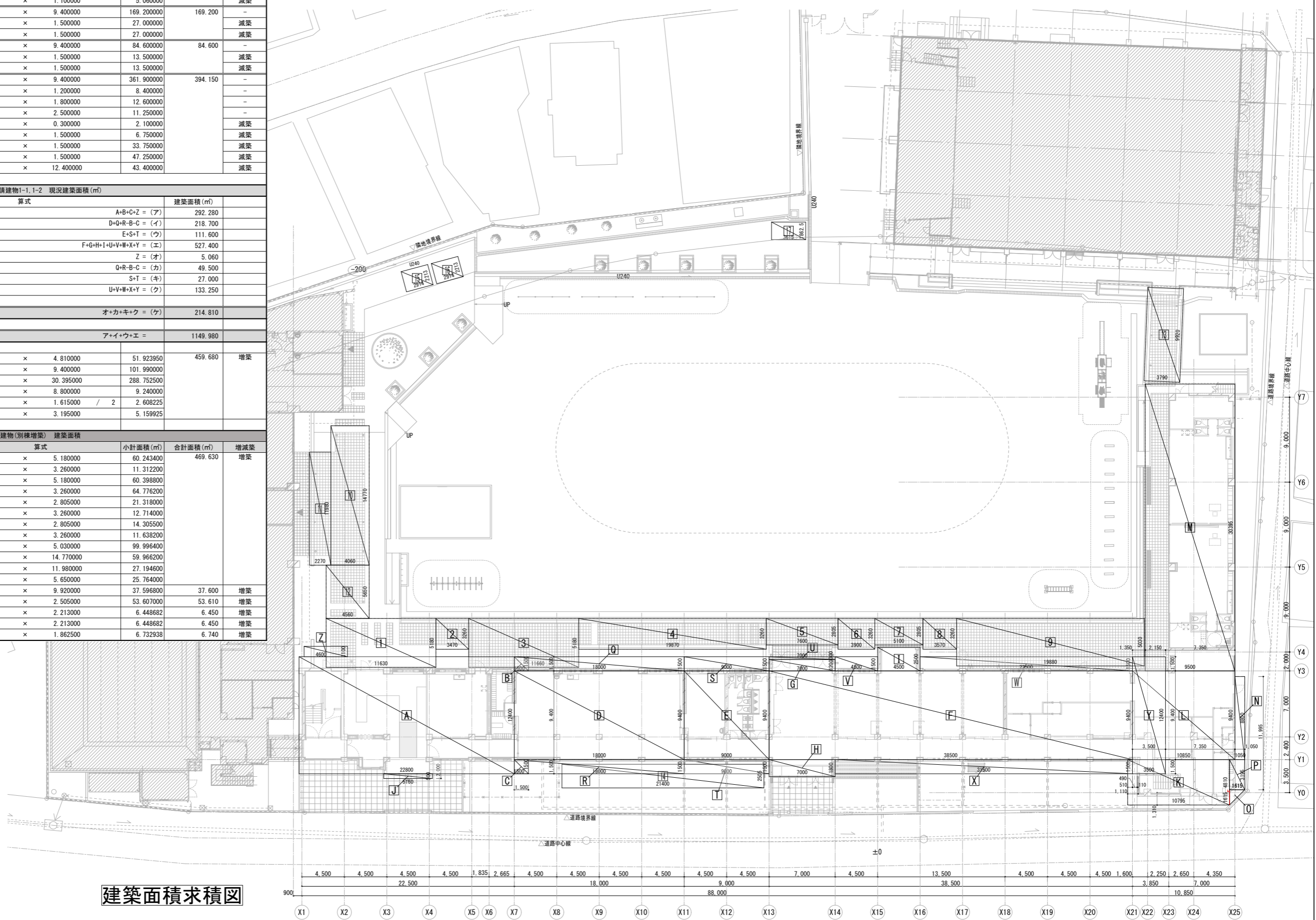


申請建物 建築面積								
申請番号	棟名	名称	記号	算式	小計面積 (㎡)	申請合計面積 (㎡)	増減築	
1	本館棟 (申請建物1-1)	A	22.800000	×	12.400000	282.720000	289.800	-
		B	1.500000	×	1.500000	2.250000		-
		C	1.500000	×	1.500000	2.250000		-
		J	5.160000	×	0.500000	2.580000		増築
		Z	4.600000	×	1.100000	5.060000		減築
	本館棟 (申請建物1-2)	D	18.000000	×	9.400000	169.200000	169.200	-
		Q	18.000000	×	1.500000	27.000000		減築
		R	18.000000	×	1.500000	27.000000		減築
	本館棟 (申請建物1-2)	E	9.000000	×	9.400000	84.600000	84.600	-
		S	9.000000	×	1.500000	13.500000		減築
		T	9.000000	×	1.500000	13.500000		減築
	本館棟 (申請建物1-2)	F	38.500000	×	9.400000	361.900000	394.150	-
		G	7.000000	×	1.200000	8.400000		-
		H	7.000000	×	1.800000	12.600000		-
		I	4.500000	×	2.500000	11.250000		-
		U	7.000000	×	0.300000	2.100000		減築
		V	4.500000	×	1.500000	6.750000		減築
W		22.500000	×	1.500000	33.750000	減築		
X		31.500000	×	1.500000	47.250000	減築		
Y	3.500000	×	12.400000	43.400000	減築			

本館棟 申請建物1-1, 1-2 現況建築面積 (㎡)		
算式	建築面積 (㎡)	
現況本館(北棟) A+B+C+Z = (ア)	292.280	
現況本館(南棟1) D+Q+R-B-C = (イ)	218.700	
現況本館(南棟2) E+S+T = (ウ)	111.600	
現況本館(南棟3) F+G+H+I+U+V+W+X+Y = (エ)	527.400	
本館棟(北棟)減築部分 Z = (オ)	5.060	
本館棟(南棟1)減築部分 Q+R-B-C = (カ)	49.500	
本館棟(南棟2)減築部分 E+S+T = (キ)	27.000	
本館棟(南棟3)減築部分 U+V+W+X+Y = (ク)	133.250	
本館棟減築部分合計 オ+カ+キ+ク = (ケ)	214.810	
本館棟 現況建築面積 ア+イ+ウ+エ =	1149.980	

1	本館棟 児童クラブ棟 (申請建物1-3)	K	10.795000	×	4.810000	51.923950	459.680	増築
		L	10.850000	×	9.400000	101.990000		
		M	9.500000	×	30.395000	288.752500		
		N	1.050000	×	8.800000	9.240000		
		O	1.615000	×	1.615000 / 2	2.608225		
		P	1.615000	×	3.195000	5.159925		

申請建物(別棟増築) 建築面積								
申請番号	棟名	名称	記号	算式	小計面積 (㎡)	合計面積 (㎡)	増減築	
2	渡り廊下1	□1	11.630000	×	5.180000	60.243400	469.630	増築
		□2	3.470000	×	3.260000	11.312200		
		□3	11.660000	×	5.180000	60.398800		
		□4	19.870000	×	3.260000	64.776200		
		□5	7.600000	×	2.805000	21.318000		
		□6	3.900000	×	3.260000	12.714000		
		□7	5.100000	×	2.805000	14.305500		
		□8	3.570000	×	3.260000	11.638200		
		□9	19.880000	×	5.030000	99.996400		
		□10	4.060000	×	14.770000	59.966200		
		□11	2.270000	×	11.980000	27.194600		
		□12	4.560000	×	5.650000	25.764000		
3	渡り廊下2	□13	3.790000	×	9.920000	37.600000	増築	
4	駐輪場(申請建物2)	□14	21.400000	×	2.505000	53.607000	増築	
5	倉庫1	□15	2.914000	×	2.213000	6.448682	増築	
6	倉庫2	□16	2.914000	×	2.213000	6.448682	増築	
7	倉庫3	□17	3.615000	×	1.862500	6.732938	増築	



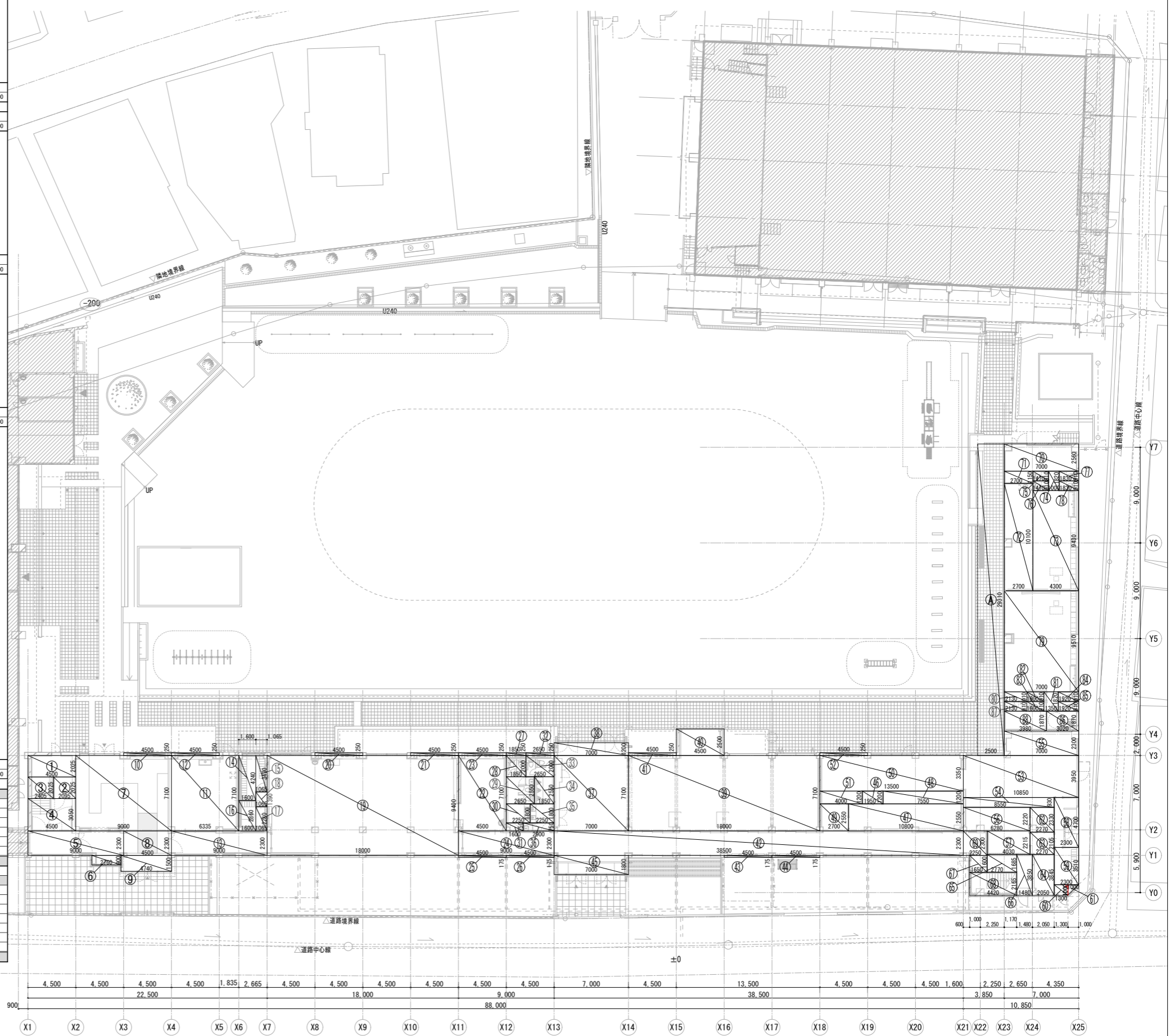
建築面積求積図

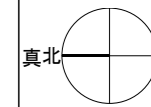
備考	月日	月日	株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2025/03/26	設計	佐藤 信	工事名称	大東市立住道北小学校校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A-032
	月日	月日	1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	校	佐藤 信	校	松浦 尚亮	面積表	面積表-1	校	1/200 (A1) 1/400 (A3)

申請建物 1階延べ面積															
棟名	室名	記号	算式	小計面積 (㎡)	合計面積 (㎡)	面積区分	増減築	種別	改修後面積小計 (㎡)						
本館(北棟) (申請建物1-1)	倉庫1	1	4.50000 × 2.02500	9.112500	13.354875	-	-	-	-						
		2	2.09500 × 2.02500	4.242375											
		3	2.40500 × 2.02500	4.870125											
		4	4.50000 × 3.05000	13.725000											
		5	9.00000 × 2.30000	20.700000											
		6	2.76000 × 0.90000	2.484000											
		7	9.00000 × 7.10000	63.900000											
		8	4.50000 × 2.30000	10.350000											
		9	4.74000 × 1.50000	7.110000											
		10	4.50000 × 0.25000	1.125000											
		11	6.33500 × 7.10000	44.978500											
		12	4.50000 × 0.25000	1.125000											
		13	9.00000 × 2.30000	20.700000											
		14	1.60000 × 4.24000	6.784000											
		15	1.05500 × 3.43000	3.629550											
		16	1.60000 × 2.86000	4.576000											
		17	1.05500 × 2.28000	2.428200											
		18	1.05500 × 1.39000	1.483350											
	小計A			223.344000											
本館(南棟1) (申請建物1-2)	職員室	19	18.00000 × 9.40000	169.200000	171.450000	A	増築	-	-						
		20	4.50000 × 0.25000	1.125000											
		21	4.50000 × 0.25000	1.125000											
本館(南棟2) (申請建物1-2)	校長室	22	4.50000 × 7.10000	31.950000	33.075000	A	増築	-	-						
		23	4.50000 × 0.25000	1.125000											
		24	9.00000 × 2.30000	20.700000											
		25	4.50000 × 0.17500	0.787500											
		26	4.50000 × 0.17500	0.787500											
		27	1.85000 × 0.25000	0.462500											
		28	1.85000 × 2.00000	3.700000											
		29	2.65000 × 2.55000	6.757500											
		30	2.25000 × 1.80000	4.050000											
		31	1.60000 × 0.75000	1.200000											
		32	2.65000 × 0.25000	0.662500											
		33	2.65000 × 2.00000	5.300000											
	34	1.85000 × 2.55000	4.717500												
	35	2.25000 × 1.80000	4.050000												
	36	2.90000 × 0.75000	2.175000												
	小計B			88.425000											
本館(南棟3) (申請建物1-2)	階段2	37	7.00000 × 7.10000	49.700000	58.100000	-	-	-	-						
		38	7.00000 × 1.20000	8.400000											
		39	18.00000 × 7.10000	127.800000											
		40	4.50000 × 2.50000	11.250000											
		41	4.50000 × 0.25000	1.125000											
		42	38.50000 × 2.30000	88.550000											
		43	4.50000 × 0.17500	0.787500											
		44	4.50000 × 0.17500	0.787500											
		45	7.00000 × 1.80000	12.600000											
		46	1.95000 × 1.20000	2.340000											
		47	10.80000 × 2.55000	27.540000											
		48	7.55000 × 1.20000	9.060000											
		49	2.70000 × 2.55000	6.885000											
		50	13.50000 × 3.35000	45.225000											
		51	4.00000 × 1.20000	4.800000											
		52	4.50000 × 0.25000	1.125000											
		小計C								397.975000					
	児童クラブ棟 (申請建物1-3)	調理室(児童クラブ棟)	53	10.85000 × 3.95000						42.857500	66.900000	A	増築	-	-
		54	8.55000 × 0.93000	7.951500											
		55	7.00000 × 2.30000	16.100000											
		56	6.28000 × 2.22000	13.941600											
		57	4.03000 × 2.21500	8.926450											
		58	2.30000 × 4.70000	10.810000											
		59	2.30000 × 3.51000	8.073000											
		60	1.30000 × 1.00000	1.300000											
		61	1.00000 × 1.00000	0.500000											
		62	2.27000 × 2.33000	5.289100											
		63	2.27000 × 2.10500	4.778350											
		64	2.05000 × 3.84500	7.882250											
		65	2.77000 × 1.68500	4.667450											
		66	1.48000 × 3.85000	5.698000											
		67	1.65000 × 1.60000	2.640000											
		68	4.42000 × 2.16500	9.569300											
		69	2.25000 × 2.30000	5.175000											
		70	7.00000 × 2.56000	17.920000											
		71	2.70000 × 1.15000	3.105000											
		72	2.70000 × 10.10000	27.270000											
		73	4.30000 × 9.43000	40.549000											
		74	1.00000 × 1.82000	1.820000											
		75	1.47000 × 0.91000	1.337700											
		76	1.47000 × 0.91000	1.337700											
		77	1.83000 × 0.91000	1.665300											
		78	1.83000 × 0.91000	1.665300											
		79	7.00000 × 9.51000	66.570000											
	80	2.13000 × 0.91000	1.938300												
	81	1.35000 × 1.82000	2.457000												
	82	1.60000 × 0.91000	1.456000												
	83	1.60000 × 0.91000	1.456000												
	84	1.92000 × 0.91000	1.747200												
	85	1.92000 × 0.91000	1.747200												
	86	3.02000 × 1.87000	5.647400												
	87	2.13000 × 0.91000	1.938300												
	88	3.98000 × 1.87000	7.442600												
	バルコニー下	A	29.310000 ×	73.275000											
	小計E			418.504500											

本館棟(申請建物1)1階 現況延べ面積 (㎡)			
算式		現況面積	記号
本館(北棟)(申請建物1-1)	(小計A) -9-10-12 =	213.990	f
本館(南棟1)(申請建物1-2)	(小計B) -20-21 =	169.200	g
本館(南棟2)(申請建物1-2)	(小計C) -23-25-26-27-32 =	84.600	h
本館(南棟3)(申請建物1-2)	(小計D) -41-43-44-48 =	394.150	i
本館棟1階 現況延べ面積	f+g+h+i =	661.940	
本館棟(申請建物1)1階 増築延べ面積 (㎡)			
算式		増築面積	記号
本館(北棟)(申請建物1-1)	9-10-12 =	9.360	f
本館(南棟1)(申請建物1-2)	20-21 =	2.250	g
本館(南棟2)(申請建物1-2)	23-25+26+27-32 =	3.830	h
本館(南棟3)(申請建物1-2)	41-43+44-48 =	3.830	h
児童クラブ棟(申請建物1-3)	53-88 + A =	418.510	h
本館棟1階 増築延べ面積	f+g+h+h+h =	437.780	

1階求積図





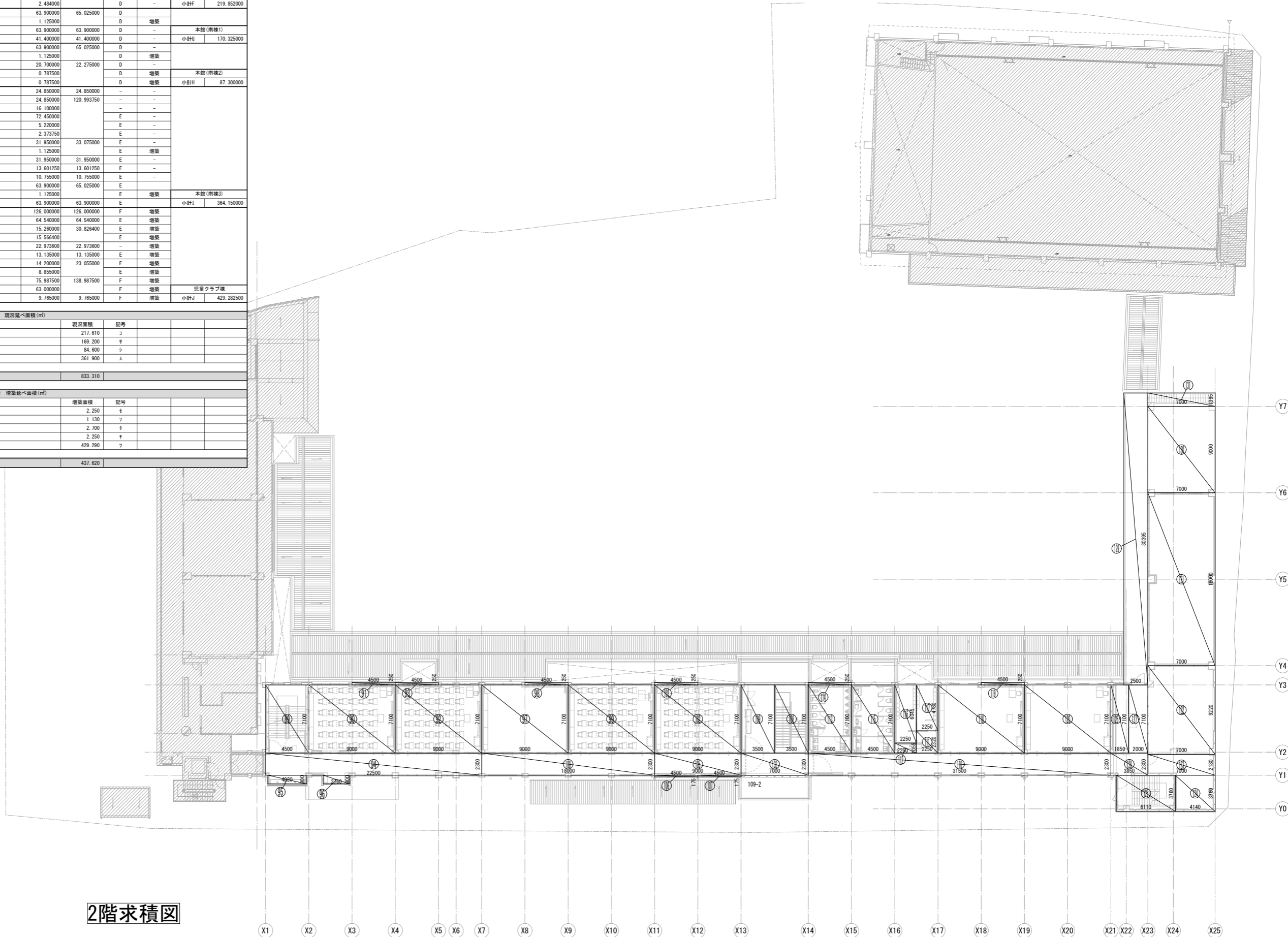
申請建物 2階延べ面積										
棟名	室名	記号	算式	小計面積 (㎡)	合計面積 (㎡)	面積区分	増減築	種別	改修後面積小計 (㎡)	
本館(北棟) (申請建物1-1)	階段3	89	4.50000 × 7.10000	31.95000	31.95000	-	-	-	-	
	普通教室1	90	9.00000 × 7.10000	63.90000	65.02500	D	-	-		
	普通教室2	91	4.50000 × 0.25000	1.12500	66.15000	D	増築	-		
	普通教室3	92	9.00000 × 7.10000	63.90000	65.02500	D	-	-		
	普通教室4	93	4.50000 × 0.25000	1.12500	66.15000	D	増築	-		
	廊下2-1	94	22.50000 × 2.30000	51.75000	57.85000	D	-	-		
本館(南棟1) (申請建物1-2)	廊下2-1	95	4.02000 × 0.90000	3.61800	59.46800	D	-	-	本館(北棟) 小計 219.85200	
	廊下2-1	96	2.76000 × 0.90000	2.48400	61.95200	D	-	-		
	オープンスペース1	97	9.00000 × 7.10000	63.90000	65.02500	D	-	-		
	普通教室3	98	4.50000 × 0.25000	1.12500	66.15000	D	増築	-		
	普通教室4	99	9.00000 × 7.10000	63.90000	63.90000	D	-	-		
	廊下2-1	100	18.00000 × 2.30000	41.40000	41.40000	D	-	-		
本館(南棟2) (申請建物1-2)	普通教室4	102	9.00000 × 7.10000	63.90000	65.02500	D	-	-	本館(南棟1) 小計 170.32500	
	廊下2-1	103	4.50000 × 0.25000	1.12500	66.15000	D	増築	-		
	廊下2-1	105	9.00000 × 2.30000	20.70000	22.27500	D	-	-		
	廊下2-1	106	4.50000 × 0.17500	0.78750	23.06250	D	増築	-		
	廊下2-1	107	4.50000 × 0.17500	0.78750	23.85000	D	増築	-		
	階段2	108	3.50000 × 7.10000	24.85000	24.85000	-	-	-		
本館(南棟3) (申請建物1-2)	廊下2-1	109	3.50000 × 7.10000	24.85000	120.99375	-	-	-	本館(南棟2) 小計 87.30000	
	廊下2-1	109-2	7.00000 × 2.30000	16.10000	137.09375	-	-	-		
	廊下2-1	110	31.50000 × 2.30000	72.45000	209.54375	E	-	-		
	廊下2-1	111	2.25000 × 2.32000	5.22000	214.76375	E	-	-		
	廊下2-1	112	2.25000 × 1.05500	2.37375	217.13750	E	-	-		
	児童トイレ(男)1	113	4.50000 × 7.10000	31.95000	248.08750	E	-	-		
	児童トイレ(女)1	114	4.50000 × 0.25000	1.12500	249.21250	E	増築	-		
	児童更衣室1	115	4.50000 × 7.10000	31.95000	281.16250	E	-	-		
	児童更衣室2	116	2.25000 × 6.04500	13.60125	294.76375	E	-	-		
	児童更衣室3	117	2.25000 × 4.78000	10.75500	305.51875	E	-	-		
	特別支援教室1	118	9.00000 × 7.10000	63.90000	369.41875	E	-	-		
	特別支援教室2	119	4.50000 × 0.25000	1.12500	370.54375	E	増築	-		
	特別支援教室3	120	9.00000 × 7.10000	63.90000	434.44375	E	-	-		
	児童クラブ棟 (申請建物1-3)	集会室	121	7.00000 × 18.00000	126.00000	560.44375	F	増築		-
	オープンスペース3	122	7.00000 × 9.22000	64.54000	624.98375	E	増築	-		
	倉庫3	123	7.00000 × 2.18000	15.26000	640.24375	E	増築	-		
	倉庫4	124	4.14000 × 3.78000	15.56840	655.81215	E	増築	-		
	階段1	125	6.11000 × 3.78000	22.97380	678.78595	-	-	-		
倉庫5	126	1.85000 × 7.10000	13.13500	691.92095	E	増築	-			
廊下2-1	127	2.00000 × 7.10000	14.20000	706.12095	E	増築	-			
廊下2-1	128	3.85000 × 2.30000	8.85500	714.97595	E	増築	-			
バルコニー	129	2.50000 × 30.39500	75.98750	790.96345	F	増築	-			
廊下2-1	130	7.00000 × 9.00000	63.00000	853.96345	F	増築	-			
屋外階段	131	7.00000 × 1.39500	9.76500	863.72845	F	増築	-			
児童クラブ棟 小計 429.28250										

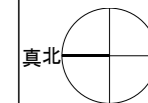
本館棟(申請建物)2階 現況延べ面積 (㎡)			
算式		現況面積	記号
本館(北棟)(申請建物1-1)	(小計) 91-93 =	217.610	α
本館(南棟1)(申請建物1-2)	(小計) 98 =	169.200	β
本館(南棟2)(申請建物1-2)	(小計) 103-106-107 =	84.600	γ
本館(南棟3)(申請建物1-2)	(小計) 114-119 =	361.900	λ
本館棟2階 現況延べ面積	α+β+γ+λ =	833.310	

本館棟(申請建物)2階 増築延べ面積 (㎡)			
算式		増築面積	記号
本館(北棟)(申請建物1-1)	91-93 =	2.250	ε
本館(南棟1)(申請建物1-2)	98 =	1.130	ζ
本館(南棟2)(申請建物1-2)	103+106+107 =	2.700	η
本館(南棟3)(申請建物1-2)	114+119 =	2.250	θ
児童クラブ棟(申請建物1-3)	121-131 =	429.290	ψ
本館棟2階 増築延べ面積	ε+ζ+η+θ+ψ =	437.620	

2階求積図



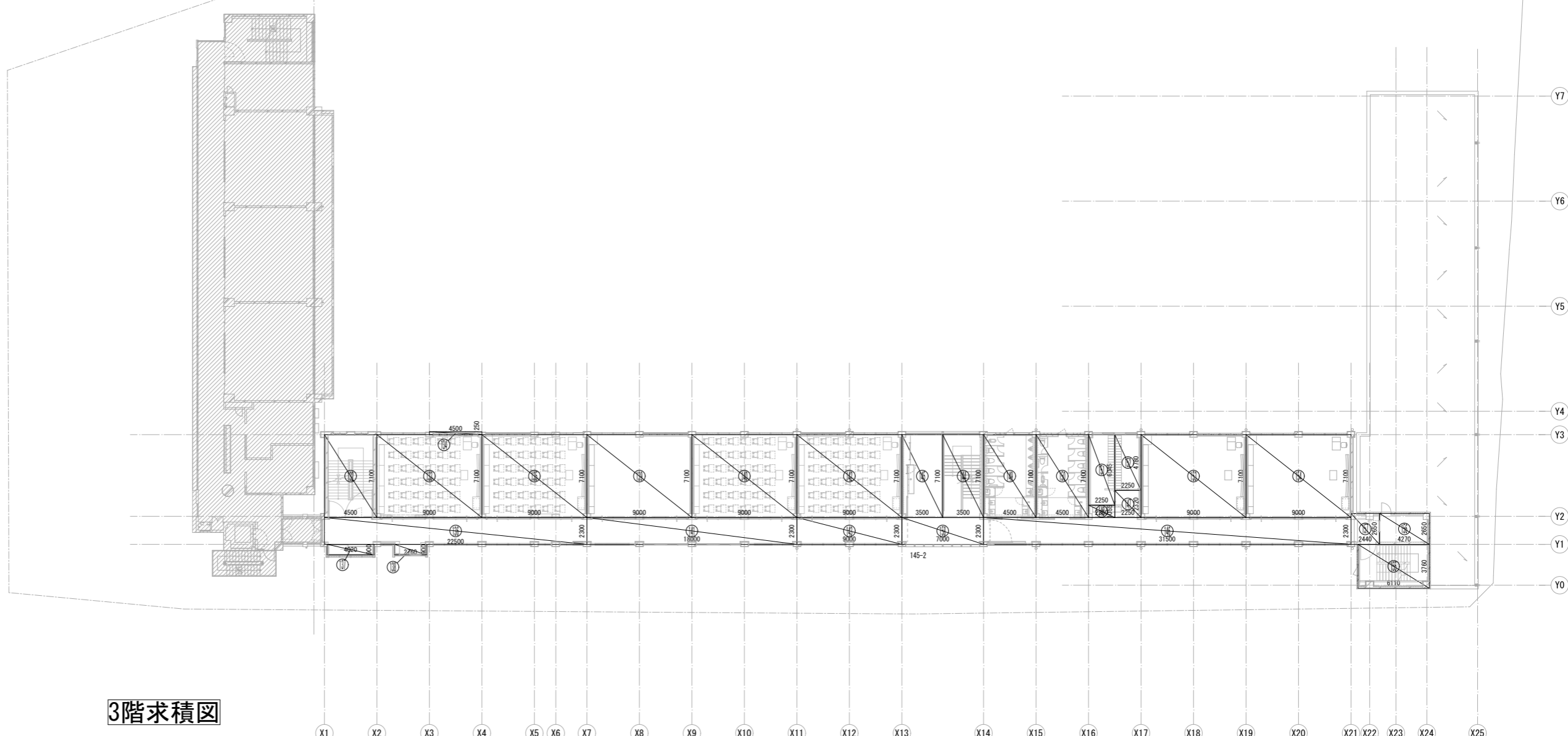
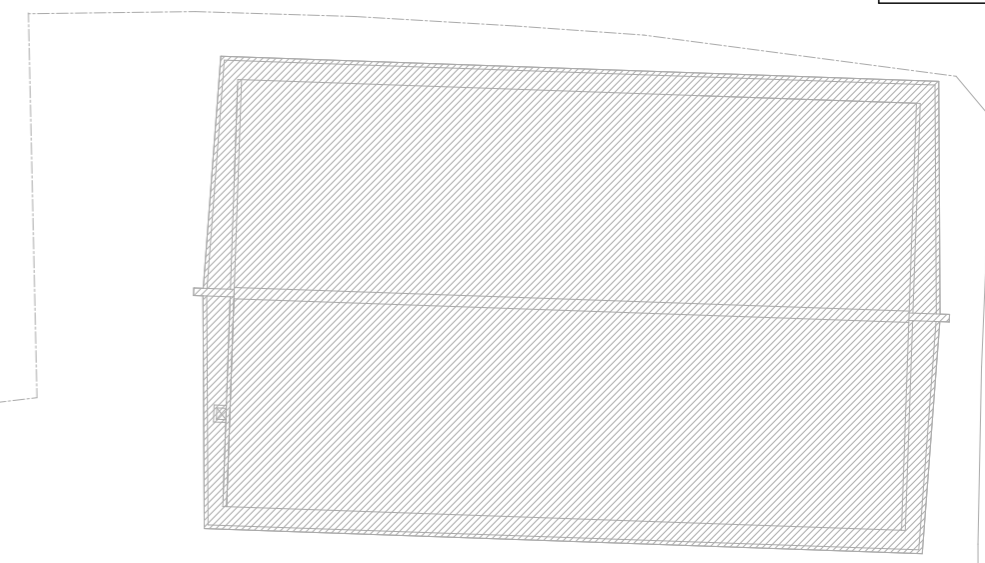


申請建物 3階延べ面積										
棟名	室名	記号	算式	小計面積 (㎡)	合計面積 (㎡)	面積区画	増減築	種別	改修後面積小計 (㎡)	
本館(北棟) (申請建物1-1)	階段3	122	4.50000 × 7.10000	31.95000	31.95000	-	-			
	普通教室5	123	9.00000 × 7.10000	63.90000	65.02500	0	-			
		134	4.50000 × 0.25000	1.12500		0	増築			
	普通教室6	125	9.00000 × 7.10000	63.90000	63.90000	0	-			
	廊下3-1	126	22.50000 × 2.30000	51.75000	57.85000	0	-			
	137	4.02000 × 0.80000	3.21600		0	-		本館(北棟)		
	138	2.76000 × 0.80000	2.20800		0	-		小計	218.72700	
本館(南棟1) (申請建物1-2)	オープンスペース4	139	9.00000 × 7.10000	63.90000	63.90000	0	-			
	普通教室7	140	9.00000 × 7.10000	63.90000	63.90000	0	-		本館(南棟1)	
	廊下3-1	141	18.00000 × 2.30000	41.40000	41.40000	0	-		小計	169.20000
本館(南棟2) (申請建物1-2)	普通教室8	142	9.00000 × 7.10000	63.90000	63.90000	0	-		本館(南棟2)	
	廊下3-1	143	9.00000 × 2.30000	20.70000	20.70000	0	-		小計	84.60000
本館(南棟3) (申請建物1-2)	階段2	144	3.50000 × 7.10000	24.85000	24.85000	-	-			
	廊下3-1	145	3.50000 × 7.10000	24.85000	120.993750	-	-			
		145-2	7.00000 × 2.30000	16.10000		-	-			
		146	31.50000 × 2.30000	72.45000		H	-			
		147	2.25000 × 2.32000	5.22000		H	-			
		148	2.25000 × 1.05500	2.373750		H	-			
	児童用トイレ(男)2	149	4.50000 × 7.10000	31.95000	31.95000	H	-			
	児童用トイレ(女)2	150	4.50000 × 7.10000	31.95000	31.95000	H	-			
	児童用更衣室3	151	2.25000 × 6.04500	13.601250	13.601250	H	-			
	児童用更衣室4	152	2.25000 × 4.78000	10.755000	10.755000	H	-			
	少人数教室1	153	9.00000 × 7.10000	63.90000	63.90000	H	-		本館(南棟3)	
	少人数教室2	154	9.00000 × 7.10000	63.90000	63.90000	H	-		小計	361.90000
	児童クラブ棟 (申請建物1-3)	階段1	155	6.11000 × 3.78000	22.973800	22.973800	-	増築		
倉庫5		156	4.27000 × 2.65000	11.315500	11.315500	H	増築		児童クラブ棟	
廊下3-1		157	2.44000 × 2.65000	6.466000	6.466000	H	増築		小計	40.755100

本館棟(申請建物)3階 現況延べ面積 (㎡)				
算式	現況面積	記号		
本館(北棟)(申請建物1-1) (小計)	-134 =	≠	217.610	≠
本館(南棟1)(申請建物1-2) (小計)	=	≠	169.200	≠
本館(南棟2)(申請建物1-2) (小計)	=	≠	84.600	≠
本館(南棟3)(申請建物1-2) (小計)	=	≠	361.900	≠
本館棟3階 現況延べ面積	≠+≠+≠+≠ =		833.310	

本館棟(申請建物)3階 増築延べ面積 (㎡)				
算式	増築面積	記号		
本館(北棟)	134 =	x	1.130	x
児童クラブ棟	155-157 =	≠	40.760	≠
本館棟3階 増築延べ面積	x+≠ =		41.890	



3階求積図

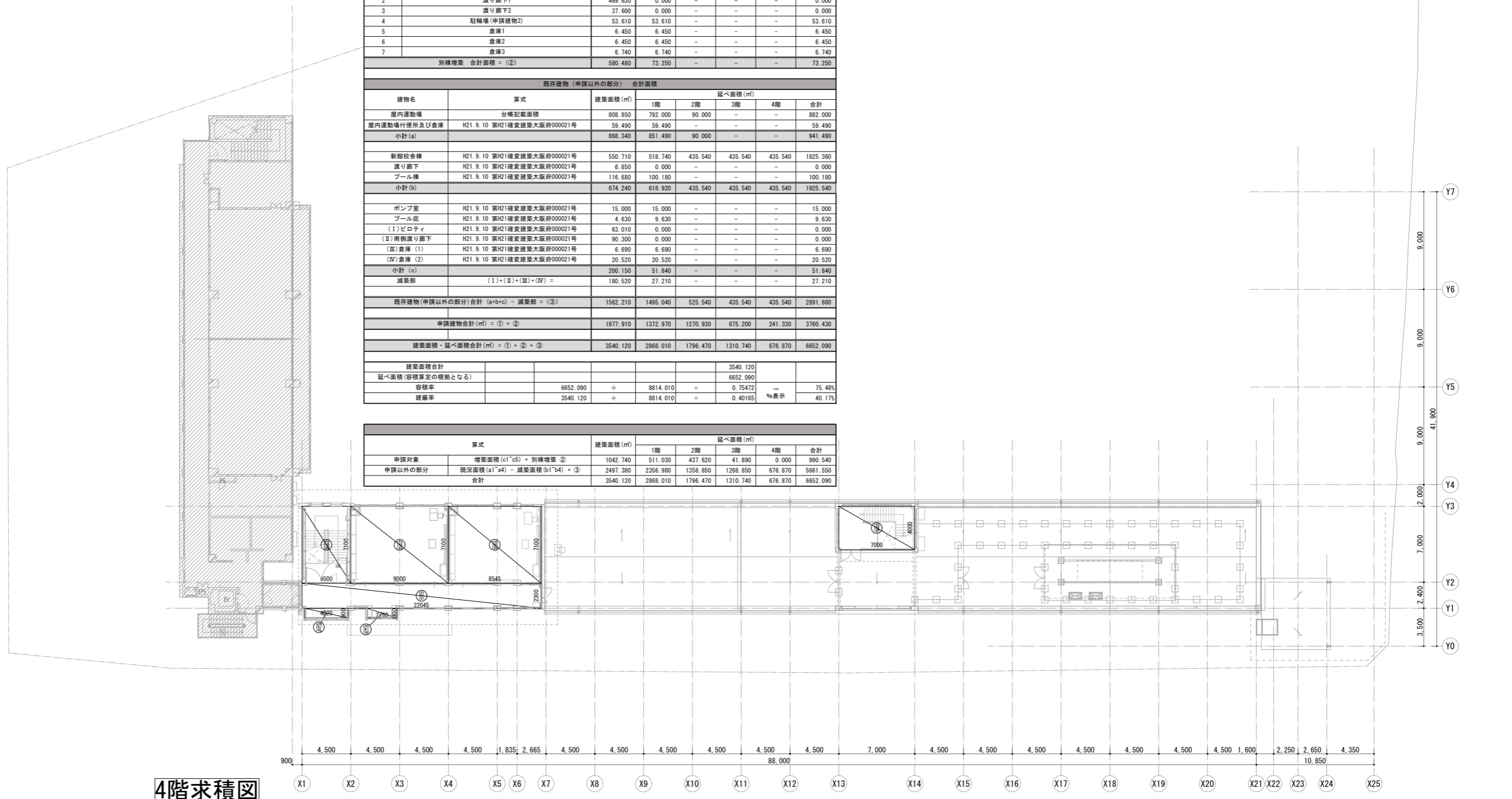
申請建物 4階延べ面積									
棟名	室名	記号	算式	小計面積 (㎡)	合計面積 (㎡)	面積区分	増減築	種別	改修後面積小計 (㎡)
本館(北棟) (申請建物1-1)	階段3	159	4.50000 × 7.10000	31.95000	31.95000	-	-	-	-
	学習室	159	9.00000 × 7.10000	63.90000	63.90000	I	-	-	-
	児童会室	160	8.54500 × 7.10000	60.66950	60.66950	I	-	-	-
	廊下4-1	161	22.04500 × 2.30000	50.70250	56.80500	I	-	-	-
		162	4.02000 × 0.90000	3.61800	-	I	-	-	-
	163	2.76000 × 0.90000	2.48400	-	I	-	-	-	
	164	7.00000 × 4.00000	28.00000	28.00000	-	-	-	-	
本館(南棟) (申請建物1-2)	階段2	164	7.00000 × 4.00000	28.00000	28.00000	-	-	-	-
本館棟(申請建物)4階 現況延べ面積 (㎡)									
算式					現況面積	記号			
本館(北棟)(申請建物1-1) (小計F)				=	213.330	/			
本館(南棟)(申請建物1-2) (小計G)				=	28.000	n			
本館棟4階 現況延べ面積				F+n =	241.330				

申請建物 合計面積									
棟名	申請番号	建築面積 (㎡)	延べ面積 (㎡)					小計	
			1階	2階	3階	4階			
本館棟 (申請建物1)	北棟 (申請建物1-1)	現況面積 (a1)	292.280	213.990	217.610	213.330	862.540		
		減築面積 (b1)	5.060	0.000	0.000	0.000	0.000		
		増築面積 (c1)	2.580	9.360	2.250	1.130	12.740		
		小計1 (a-b+c)	(A1)	289.800	223.350	219.860	218.740	875.280	
		小計2 (a-b+c)	(B1)	169.200	171.450	170.330	169.200	510.980	
	南棟1 (申請建物1-2)	現況面積 (a2)	218.700	169.200	169.200	169.200	507.600		
		減築面積 (b2)	49.500	0.000	0.000	0.000	0.000		
		増築面積 (c2)	0.000	2.250	1.130	0.000	3.380		
		小計2 (a-b+c)	(B1)	169.200	171.450	170.330	169.200	510.980	
		小計3 (a-b+c)	(B2)	84.600	88.430	87.300	84.600	260.330	
	南棟2 (申請建物1-2)	現況面積 (a3)	111.600	84.600	84.600	84.600	253.800		
		減築面積 (b3)	27.000	0.000	0.000	0.000	0.000		
		増築面積 (c3)	0.000	3.830	2.700	0.000	6.530		
		小計3 (a-b+c)	(B2)	84.600	88.430	87.300	84.600	260.330	
		小計4 (a-b+c)	(B3)	394.150	397.980	364.150	361.900	1152.030	
	南棟3 (申請建物1-2)	現況面積 (a4)	527.400	394.150	361.900	361.900	1145.350		
		減築面積 (b4)	133.250	0.000	0.000	0.000	0.000		
		増築面積 (c4)	0.000	3.830	2.250	0.000	6.080		
		小計4 (a-b+c)	(B3)	394.150	397.980	364.150	361.900	1152.030	
小計5 (a-b+c)		(A1+B1+B2+B3)	937.750	881.210	841.640	834.440	2798.620		
児童クラブ棟(増築) (申請建物1-3)	増築面積 (c5)	459.680	418.510	429.290	40.760	888.560			
	小計5 (c)	(C1)	459.680	418.510	429.290	40.760	888.560		
	現況面積 (a1+a4)	1149.980	861.940	833.310	833.310	2769.890			
	減築面積 (b1+b4)	214.810	0.000	0.000	0.000	0.000			
	増築面積 (c1+c5)	462.260	437.780	437.620	41.890	917.290			
合計	(A1+B1+B2+B3+C1)	1397.430	1299.720	1270.930	875.200	241.330	3687.180		
校舎 (小計1~5) 合計面積 = (①)		1397.430	1299.720	1270.930	875.200	241.330	3687.180		

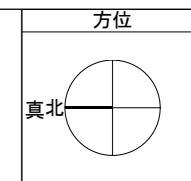
別棟増築 合計面積									
申請番号	棟名	建築面積 (㎡)	延べ面積 (㎡)					小計	
			1階	2階	3階	4階			
2	渡り廊下1	469.630	0.000	-	-	-	0.000		
3	渡り廊下2	37.600	0.000	-	-	-	0.000		
4	駐輪場(申請建物2)	53.610	53.610	-	-	-	53.610		
5	倉庫1	6.450	6.450	-	-	-	6.450		
6	倉庫2	6.450	6.450	-	-	-	6.450		
7	倉庫3	6.740	6.740	-	-	-	6.740		
別棟増築 合計面積 = (②)		580.480	73.250	-	-	-	73.250		

既存建物 (申請以外の部分) 合計面積									
建物名	算式	建築面積 (㎡)	延べ面積 (㎡)					合計	
			1階	2階	3階	4階			
屋内運動場	台帳記載面積	808.850	792.000	90.000	-	-	882.000		
屋内運動場付便所及び倉庫	H21.9.10 第H21種変建築大阪府000021号	59.490	59.490	-	-	-	59.490		
小計(a)		868.340	851.490	90.000	-	-	941.490		
新館校舎棟	H21.9.10 第H21種変建築大阪府000021号	550.710	518.740	435.540	435.540	435.540	1825.360		
渡り廊下	H21.9.10 第H21種変建築大阪府000021号	6.850	0.000	-	-	-	0.000		
プール棟	H21.9.10 第H21種変建築大阪府000021号	116.680	100.180	-	-	-	100.180		
小計(b)		674.240	618.920	435.540	435.540	435.540	1925.540		
ポンプ室	H21.9.10 第H21種変建築大阪府000021号	15.000	15.000	-	-	-	15.000		
プール庇	H21.9.10 第H21種変建築大阪府000021号	4.630	9.630	-	-	-	9.630		
(I)ピロティ	H21.9.10 第H21種変建築大阪府000021号	63.010	0.000	-	-	-	0.000		
(II)南側渡り廊下	H21.9.10 第H21種変建築大阪府000021号	90.300	0.000	-	-	-	0.000		
(III)倉庫(1)	H21.9.10 第H21種変建築大阪府000021号	6.690	6.690	-	-	-	6.690		
(IV)倉庫(2)	H21.9.10 第H21種変建築大阪府000021号	20.520	20.520	-	-	-	20.520		
小計(c)		200.150	51.840	-	-	-	51.840		
減築部	(I)+(II)+(III)+(IV) =	180.520	27.210	-	-	-	27.210		
既存建物(申請以外の部分)合計	(a+b+c) - 減築部 = (③)	1562.210	1495.040	525.540	435.540	435.540	2891.660		
申請建物合計 (㎡) = (①) + (②)		1977.910	1372.970	1270.930	875.200	241.330	3760.430		
建築面積・延べ面積合計 (㎡) = (①) + (②) + (③)		3540.120	2868.010	1796.470	1310.740	676.870	6652.090		
建築面積合計		3540.120					3540.120		
延べ面積(容積算定の根拠となる)		6652.090					6652.090		
容積率	6652.090 ÷ 8814.010						0.75472		
建築率	3540.120 ÷ 8814.010						0.40165 %表示		

算式									
申請対象	算式	建築面積 (㎡)	延べ面積 (㎡)						
			1階	2階	3階	4階	合計		
申請対象	増築面積 (c1+c5) + 別棟増築 (②)	1042.740	511.030	437.620	41.890	0.000	990.540		
申請以外の部分	現況面積 (a1+a4) - 減築面積 (b1+b4) + (③)	2497.380	2356.980	1358.850	1268.850	676.870	5661.550		
合計		3540.120	2868.010	1796.470	1310.740	676.870	6652.090		



4階求積図







採光・換気・排煙計算表		採光 小数点3以下の数値について、室面積、hは切上げ、d、A、窓面積計算、Wは切下げること、安全側の算定とする。											換気					排煙 (一)：建設省告示第1436号第4号二(一)により緩和 (二)：建設省告示第1436号第4号二(二)により緩和 (三)：建設省告示第1436号第4号二(三)により緩和 (四)：建設省告示第1436号第4号二(四)により緩和				
棟	室名 ○：居室 -：非居室	室面積 (㎡)	必要採光面積 (㎡)	建具 記号	補正係数 $A=d/h \times \alpha - \beta$ ( $\alpha=6$ $\beta=1.4$ )		有効採光面積計算				有効採光 面積合計	判定	必要換気面積 面積 × 1/20	建具 記号	開放面積計算	開放面積 合計	判定	必要排煙面積 面積 × 1/50	有効排煙面積計算		有効排煙 面積合計	判定
					d(m)	h(m)	$\alpha$	$-\beta$	=	A									(max=3)	窓面積計算		
1階																						
本館北棟	- 倉庫1	13.354875	非居室のため採光不要																			
	- 階段3	18.596125	非居室のため採光不要																			
	- 廊下1-3	23.184000	非居室のため採光不要																			
	- 昇降口	82.485000	非居室のため採光不要																			
	○ 保健室	46.103500	/ 5 = 9.22	AW2	40.00 / 16.00 × 6 - 1.4 = 13.60	3.00	1.37 × 1.20 = 1.64	× 3.00	× 2 =	9.84	9.84	OK	機械換気									
	- 廊下1-2	20.700000	非居室のため採光不要																			
	- 更衣室1	10.436950	非居室のため採光不要																			
	- 更衣室2	7.004200	非居室のため採光不要																			
本館南棟	○ 職員室	172.930350	/ 5 = 34.59	AW1	40.00 / 16.00 × 6 - 1.4 = 13.60	3.00	1.83 × 1.20 = 2.19	× 3.00	× 2 =	13.14	45.96	OK	機械換気									
				AW2	40.00 / 16.00 × 6 - 1.4 = 13.60	3.00	1.37 × 1.20 = 1.64	× 3.00	× 4 =	19.68												
				AW3	40.00 / 16.00 × 6 - 1.4 = 13.60	3.00	1.83 × 1.20 = 2.19	× 3.00	× 2 =	13.14												
	○ 校長室	33.075000	/ 5 = 6.62	AW2	40.00 / 16.00 × 6 - 1.4 = 13.60	3.00	1.37 × 1.20 = 1.64	× 3.00	× 2 =	9.84	9.84	OK	機械換気									
	- 廊下1-1	22.275000	非居室のため採光不要																			
	- 職員用WC(女)	16.170000	非居室のため採光不要																			
	- 職員用WC(男)	16.905000	非居室のため採光不要																			
	- 階段2	58.100000	非居室のため採光不要																			
	○ 図書館・メディアスペース	140.175000	/ 5 = 28.04	AW1	40.00 / 16.00 × 6 - 1.4 = 13.60	3.00	1.83 × 1.20 = 2.19	× 3.00	× 2 =	13.14	69.96	OK	機械換気									
				AW2-2	40.00 / 16.00 × 6 - 1.4 = 13.60	3.00	1.37 × 1.20 = 1.64	× 3.00	× 2 =	9.84												
				AW4	40.00 / 16.00 × 6 - 1.4 = 13.60	3.00	3.73 × 2.10 = 7.83	× 3.00	× 1 =	23.49												
				AW4-2	40.00 / 16.00 × 6 - 1.4 = 13.60	3.00	3.73 × 2.10 = 7.83	× 3.00	× 1 =	23.49												
	- 廊下1-1	90.125000	非居室のため採光不要																			
	- 職員・来賓玄関	12.600000	非居室のため採光不要																			
	- 前室1	2.340000	非居室のため採光不要																			
	- 配膳室	36.600000	非居室のため採光不要																			
	- 下膳室	6.885000	非居室のため採光不要																			
児童クラブ棟	- 下処理室	22.868050	非居室のため採光不要																			
	- 前室2	10.810000	非居室のため採光不要																			
	○ 休憩室	9.873000	無窓居室 非常用照明設置(内装不燃(天井：化粧石膏ボード=9.5(不燃)、壁：耐火板t=6/EP-G塗装(不燃))																			
	- 食品庫	5.289100	非居室のため採光不要																			
	- 検収室	12.660600	非居室のため採光不要																			
	- パン・牛乳仕分室	10.365450	非居室のため採光不要																			
	- 階段1	12.209300	非居室のため採光不要																			
	- 廊下1-1	5.175000	非居室のため採光不要																			
	- 体育倉庫	21.025000	非居室のため採光不要																			
	○ 児童クラブ1	70.965300	/ 20 = 3.55	AW10	4.50 / 13.00 × 6 - 1.4 = 0.67	1.00	1.01 × 0.80 = 0.81	× 1.00	× 4 =	3.24	6.28	OK	機械換気									
				AW11	4.50 / 13.00 × 6 - 1.4 = 0.67	1.00	0.96 × 0.80 = 0.76	× 1.00	× 4 =	3.04												
	- 児童用トイレ(児童クラブ1)	1.337700	非居室のため採光不要																			
	- 児童用トイレ(児童クラブ2)	1.337700	非居室のため採光不要																			
	- 児童用トイレ(児童クラブ3)	1.665300	非居室のため採光不要																			
	- 児童用トイレ(児童クラブ4)	1.665300	非居室のため採光不要																			
	○ 児童クラブ2	69.639000	/ 20 = 3.48	AW11	4.50 / 13.00 × 6 - 1.4 = 0.67	1.00	0.96 × 0.80 = 0.76	× 1.00	× 4 =	3.04	6.44	OK	機械換気									
				AW12	4.50 / 13.00 × 6 - 1.4 = 0.67	1.00	1.07 × 0.80 = 0.85	× 1.00	× 4 =	3.40												
	- 児童用トイレ(児童クラブ2)	1.456000	非居室のため採光不要																			
	- 児童用トイレ2(児童クラブ2)	1.456000	非居室のため採光不要																			
	- 児童用トイレ3(児童クラブ2)	1.747200	非居室のため採光不要																			
	- 児童用トイレ4(児童クラブ2)	1.747200	非居室のため採光不要																			
	- 多目的トイレ	5.647400	非居室のため採光不要																			
	- 収納庫	9.380900	非居室のため採光不要																			
本館・増築	○ 調理室	118.059000	/ 5 = 23.61	AW2	40.00 / 16.00 × 6 - 1.4 = 13.60	3.00	1.37 × 1.20 = 1.64	× 3.00	× 2 =	9.84	39.42	OK	機械換気									
				AW5	40.00 / 16.00 × 6 - 1.4 = 13.60	3.00	1.83 × 1.20 = 2.19	× 3.00	× 2 =	13.14												
				AW6	40.00 / 16.00 × 6 - 1.4 = 13.60	3.00	1.37 × 2.00 = 2.74	× 3.00	× 2 =	16.44												
2階																						
本館北棟	- 階段3	31.950000	非居室のため採光不要																			
	○ 普通教室1	65.025000	/ 5 = 13.01	AW18-2	20.00 / 12.50 × 6 - 1.4 = 8.20	3.00	1.57 × 1.20 = 1.88	× 3.00	× 2 =	11.28	22.56	OK	機械換気									
				AW19	20.00 / 12.50 × 6 - 1.4 = 8.20	3.00	1.57 × 1.20 = 1.88	× 3.00	× 2 =	11.28												
	○ 普通教室2	65.025000	/ 5 = 13.01	AW14	20.00 / 12.50 × 6 - 1.4 = 8.20	3.00	1.065 × 1.20 = 1.27	× 3.00	× 2 =	7.62	17.46	OK	機械換気									
				AW19	20.00 / 12.50 × 6 - 1.4 = 8.20	3.00	1.37 × 1.20 = 1.64	× 3.00	× 2 =	9.84												
	- 廊下2-1	57.852000	非居室のため採光不要																			
本館南棟	○ オープンスペース1	65.025000	/ 5 = 13.01	AW18	20.00 / 12.50 × 6 - 1.4 = 8.20	3.00	1.57 × 1.20 = 1.88	× 3.00	× 2 =	11.28	21.12	OK	機械換気									
				AW19	20.00 / 12.50 × 6 - 1.4 = 8.20	3.00	1.37 × 1.20 = 1.64	× 3.00	× 2 =	9.84												
	○ 普通教室3	63.900000	/ 5 = 12.78	AW18	20.00 / 12.50 × 6 - 1.4 = 8.20	3.00	1.57 × 1.20 = 1.88	× 3.00	× 2 =	11.28	24.42	OK	機械換気									
				AW18-3	20.00 / 12.50 × 6 - 1.4 = 8.20	3.00	1.83 × 1.20 = 2.19	× 3.00	× 2 =	13.14												
	- 廊下2-1	41.400000	非居室のため採光不要																			
	○ 普通教室4	65.025000	/ 5 = 13.01	AW19	20.00 / 12.50 × 6 - 1.4 = 8.20	3.00	1.37 × 1.20 = 1.64	× 3.00	× 2 =	9.84	21.12	OK	機械換気									
				AW18-4	20.00 / 12.50 × 6 - 1.4 = 8.20	3.00	1.57 × 1.20 = 1.88	× 3.00	× 2 =	11.28												
	- 廊下2-1	22.275000	非居室のため採光不要																			
	- 階段2	24.850000	非居室のため採光不要																			
	- 廊下2-1	120.993750	非居室のため採光不要																			
	- 児童トイレ(男)1	33.075000	非居室のため採光不要																			

**凡例**

- 縦穴区画：1時間耐火構造
- 面積区画：1時間耐火構造
- 114条区画(防火上主要な間仕切り壁は小屋裏又は天井裏に達せしめる)
- 防煙区画壁：垂れ壁H500 もしくは垂れ壁H300+常閉不燃戸
- 防煙垂れ壁
- 大阪府建築基準法施工令第11条出入口
- ※建築基準法施工令第126条の2第1項2号により学校(学校法に基づく学校の場合)部分は排煙免除

自然排煙  
機械排煙  
令126条の2第1項第1号により排煙設備不要(耐火構造又は防火設備で区画された部分で、100㎡以内のもの)  
令126条の2第1項第3号により排煙設備不要(階段の部分、昇降路の部分)  
H12告示1436-4-二(1) (仕上げを準不燃とし、かつ居室、避難用に供する部分に面する開口部を防火設備とし、それ以外に戸を設けたもの)  
H12告示1436-4-二(2) (100㎡以下で防煙壁により区画)  
H12告示1436-4-二(3) (仕上げを準不燃とし、100㎡で防火区画)  
H12告示1436-4-二(4) (100㎡以下の室で下地仕上げとも不燃)

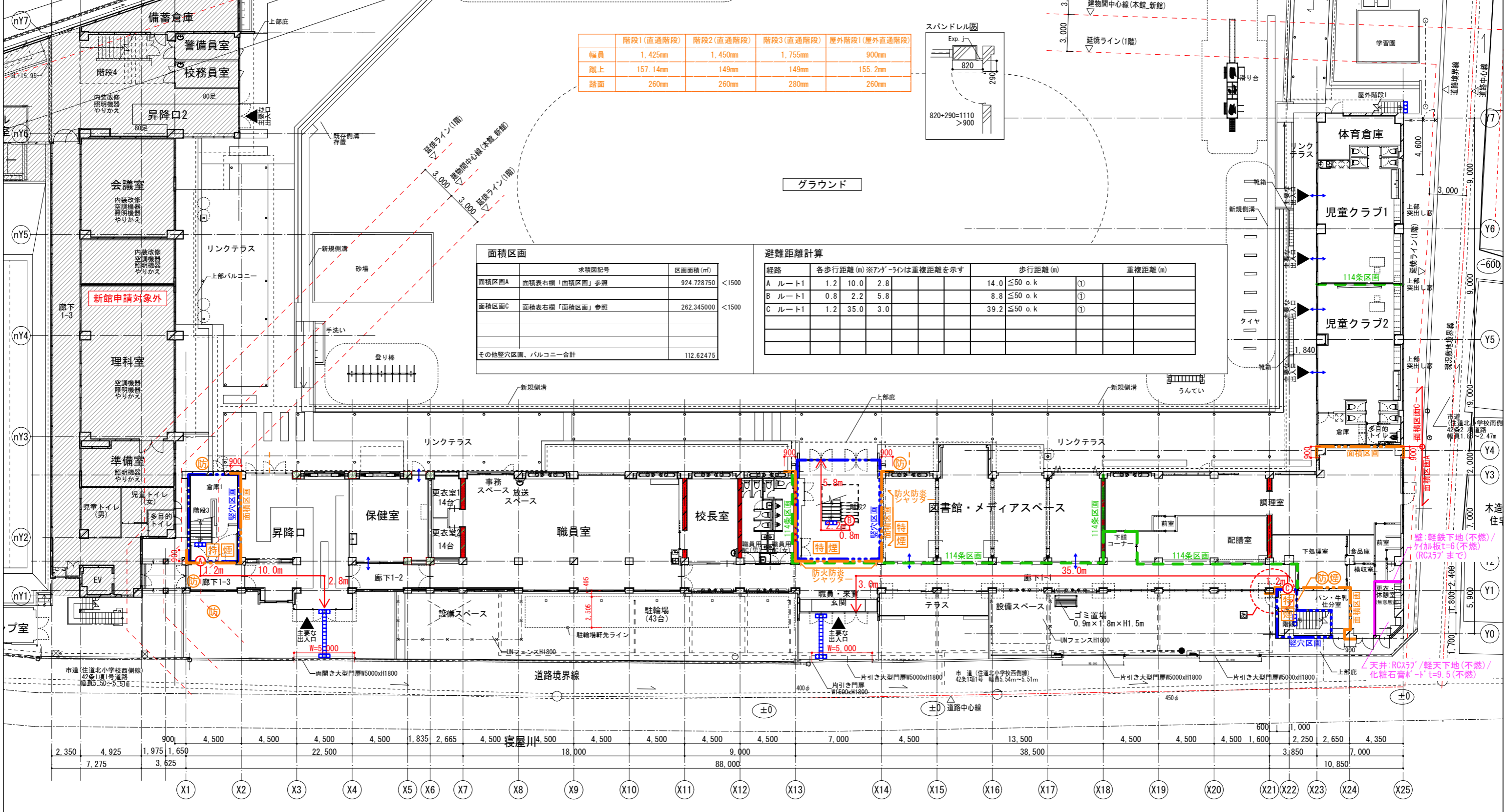
**特防**  
特定防火設備における随時閉鎖式防火戸(煙感連動)  
防火設備における随時閉鎖式防火戸(煙感連動)  
特定防火設備における常時閉鎖式防火戸  
防火設備における常時閉鎖式防火戸  
特定防火設備(耐熱ガラス)  
防火設備(網入りガラスまたは耐熱ガラス)  
常時閉鎖式不燃扉  
遮炎性能を有する特定防火設備  
遮煙性能を有する特定防火設備  
遮煙性能を有する防火設備

①令125条  
避難階における直通階段から屋外への出入口に至る歩行距離算定経路  
②令125条  
避難階における居室から屋外への出入口に至る歩行距離算定経路  
③令121条3項による重複区間部分  
④令121条3項による重複区間ではない部分

代替出入口(令126条の6第二項)  
屋外への出口(令125条)

※階段1, 2, 3, D・Cは縦穴区画と面積区画を兼ねる。  
※EPS・PSはRCスラブにて水平区画  
※各階外壁面断面方向の層間についてはRC壁900mm以上のスパンドレルで区画

**方位**  
真北



	階段1(直通階段)	階段2(直通階段)	階段3(直通階段)	屋外階段1(屋外直通階段)
幅員	1,425mm	1,450mm	1,755mm	900mm
蹴上	157.14mm	149mm	149mm	155.2mm
踏面	260mm	260mm	280mm	260mm

**面積区画**

面積区画	面積表右欄「面積区画」参照	区画面積 (㎡)	
面積区画A	面積表右欄「面積区画」参照	924.728750	<1500
面積区画C	面積表右欄「面積区画」参照	262.345000	<1500
その他縦穴区画、バルコニー合計		112.62475	

**避難距離計算**

経路	各歩行距離 (m) ※アングラーは重複距離を示す	歩行距離 (m)	重複距離 (m)
A ルート1	1.2 10.0 2.8	14.0	≤50 o.k ①
B ルート1	0.8 2.2 5.8	8.8	≤50 o.k ①
C ルート1	1.2 35.0 3.0	39.2	≤50 o.k ①

**凡例**

- 堅穴区画：1時間耐火構造
- 面積区画：1時間耐火構造
- 114条区画(防火上主要な間仕切り壁は小屋裏又は天井裏に達せしめる)
- 防煙区画壁：垂れ壁H500 もしくは垂れ壁H300+常閉不燃戸
- 防煙垂れ壁
- 大阪府建築基準法施工令第11条出入口  
※建築基準法施工令第126条の2第1項二号により  
学校(学校法に基づく学校の場合)部分は排煙免除

自然排煙  
機械排煙  
：令126条の2第1項第一号により排煙設備不要  
(耐火構造又は防火設備で区画された部分で、100㎡以内のもの)  
：令126条の2第1項第三号により排煙設備不要  
(階段の部分、昇降路の部分)  
：H12告示1436-4-二(1) (仕上げを準不燃とし、かつ居室、避難用に  
供する部分に面する開口部を防火設備とし、それ以外に戸を設けたもの)  
：H12告示1436-4-二(2) (100㎡以下で防煙壁により区画)  
：H12告示1436-4-二(3) (仕上げを準不燃とし、100㎡で防火区画)  
：H12告示1436-4-二(4) (100㎡以下の室で下地仕上げとも不燃)

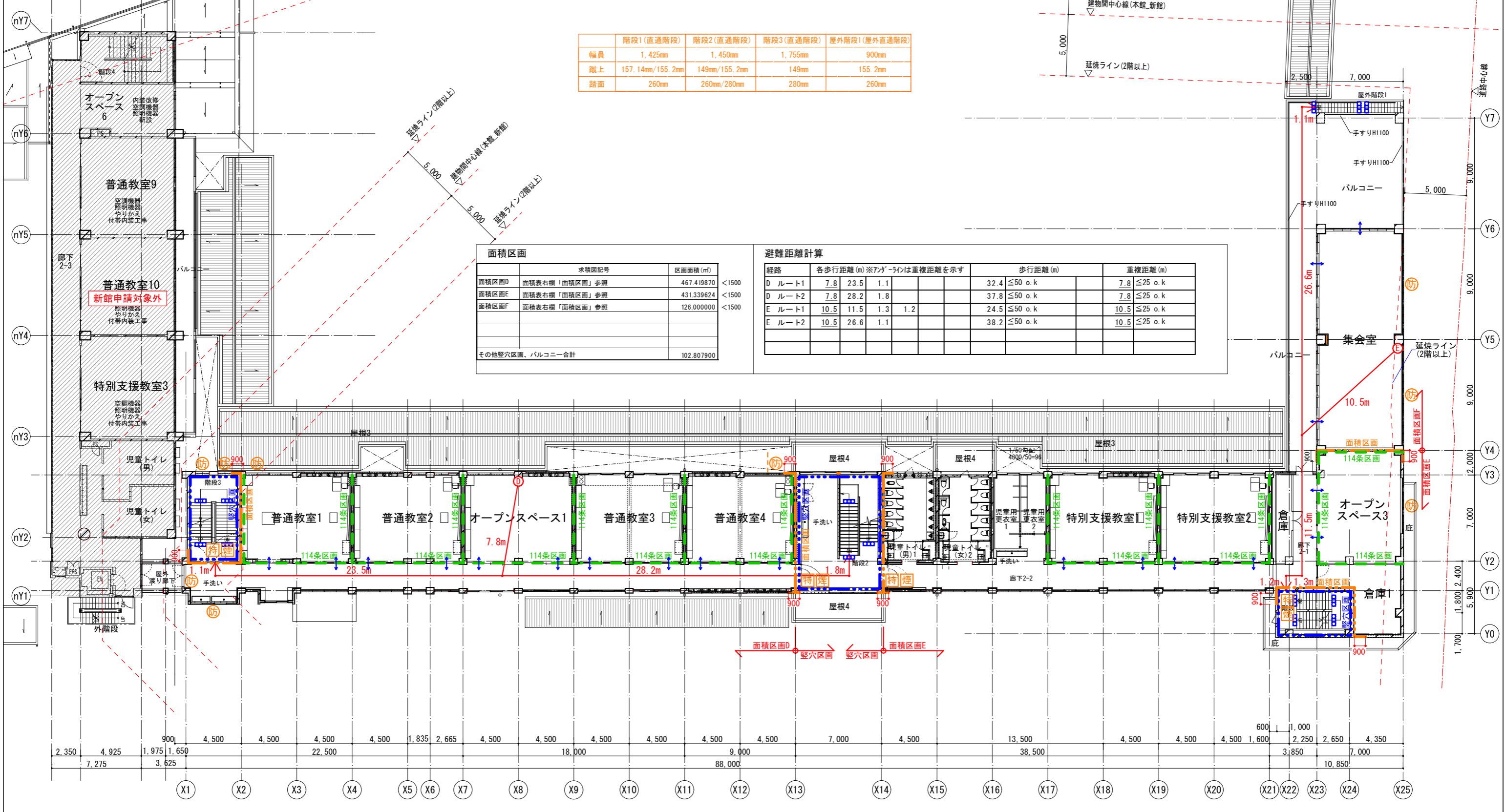
**特防**  
特定防火設備における随時閉鎖式防火戸(煙感連動)  
防火設備における随時閉鎖式防火戸(煙感連動)  
特定防火設備における常時閉鎖式防火戸  
防火設備における常時閉鎖式防火戸  
特定防火設備(耐熱ガラス)  
防火設備(網入りガラスまたは耐熱ガラス)  
常時閉鎖式不燃扉  
遮炎性能を有する特定防火設備  
遮煙性能を有する特定防火設備  
遮煙性能を有する防火設備

①令125条  
避難階における直通階段から屋外への出入口に至る歩行距離算定経路  
②令125条  
避難階における居室から屋外への出入口に至る歩行距離算定経路  
③令121条3項による重複区画部分  
④令121条3項による重複区画間ではない部分

※階段1, 2, 3, D・Cは堅穴区画と面積区画を兼ねる。  
※EPS・PSIはRCスラブにて水平区画  
※各階外壁面断面方向の層間についてはRC壁900mm以上のスパンドレルで区画

代替出入口(令126条の6第二項)  
屋外への出口(令125条)

**方位**  
真北



	階段1(直通階段)	階段2(直通階段)	階段3(直通階段)	屋外階段1(屋外直通階段)
幅員	1,425mm	1,450mm	1,755mm	900mm
蹴上	157.14mm/155.2mm	149mm/155.2mm	149mm	155.2mm
踏面	260mm	260mm/280mm	280mm	260mm

**面積区画**

面積区画	求積図記号	区画面積 (㎡)	備考
面積区画D	面積表右欄「面積区画」参照	467.419870	<1500
面積区画E	面積表右欄「面積区画」参照	431.339624	<1500
面積区画F	面積表右欄「面積区画」参照	126.000000	<1500
その他堅穴区画、バルコニー合計		102.807900	

**避難距離計算**

経路	各歩行距離 (m) ※アングラーは重複距離を示す				歩行距離 (m)		重複距離 (m)	
	1	2	3	4	歩行距離	重複距離	重複距離	重複距離
D ルート1	7.8	23.5	1.1		32.4	≤50 o.k	7.8	≤25 o.k
D ルート2	7.8	28.2	1.8		37.8	≤50 o.k	7.8	≤25 o.k
E ルート1	10.5	11.5	1.3	1.2	24.5	≤50 o.k	10.5	≤25 o.k
E ルート2	10.5	26.6	1.1		38.2	≤50 o.k	10.5	≤25 o.k

**凡例**

- 堅穴区画：1時間耐火構造
- 面積区画：1時間耐火構造
- 114条区画(防火上主要な間仕切り壁は小屋裏又は天井裏に達せしめる)
- 防煙区画壁：垂れ壁H500 もしくは垂れ壁H300+常閉不燃戸
- 防煙垂れ壁
- 大阪府建築基準法施工令第11条出入口  
※建築基準法施工令第126条の2第1項二号により  
学校(学校法に基づく学校の場合)部分は排煙免除

自然排煙  
機械排煙  
： 令126条の2第1項第一号により排煙設備不要  
(耐火構造又は防火設備で区画された部分で、100㎡以内のもの)  
： 令126条の2第1項第三号により排煙設備不要  
(階段の部分、昇降路の部分)  
： H12告示1436-4-二(1) (仕上げを準不燃とし、かつ居室、避難用に  
供する部分)に面する開口部を防火設備とし、それ以外に戸を設けたもの)  
： H12告示1436-4-二(2) (100㎡以下で防煙壁により区画)  
： H12告示1436-4-二(3) (仕上げを準不燃とし、100㎡で防火区画)  
： H12告示1436-4-二(4) (100㎡以下の室で下地仕上げとも不燃)

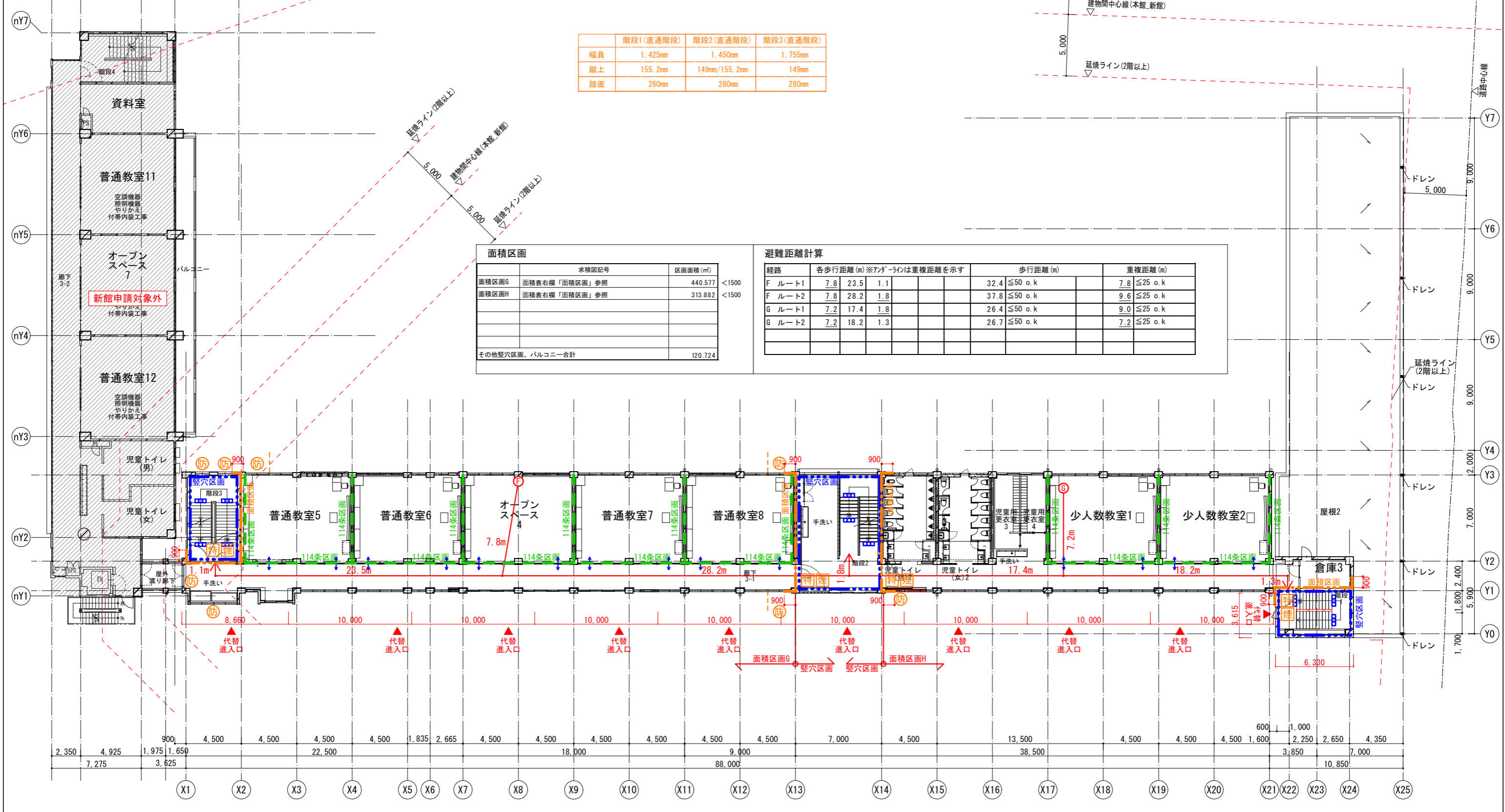
**特防**  
 特定防火設備における随時閉鎖式防火戸(煙感連動)  
 防火設備における随時閉鎖式防火戸(煙感連動)  
 特定防火設備における常時閉鎖式防火戸  
 防火設備における常時閉鎖式防火戸  
 特定防火設備(耐熱ガラス)  
 防火設備(網入りガラスまたは耐熱ガラス)  
 常時閉鎖式不燃扉  
 遮炎性能を有する特定防火設備  
 遮煙性能を有する特定防火設備  
 遮煙性能を有する防火設備

① 令125条  
 避難階における直通階段から屋外への出入口に至る歩行距離算定経路  
 ② 令125条  
 避難階における居室から屋外への出入口に至る歩行距離算定経路  
 ③ 令121条3項による重複区間部分  
 ④ 令121条3項による重複区間ではない部分

代替出入口(令126条の6第二項)  
 屋外への出口(令125条)

※階段1, 2, 3, D・Cは堅穴区画と面積区画を兼ねる。  
 ※EPS・PSはRCスラブにて水平区画  
 ※各階外壁面断面方向の層間についてはRC壁900mm以上のスパンドレルで区画

**方位**  
 真北



	階段1(直通階段)	階段2(直通階段)	階段3(直通階段)
幅員	1,425mm	1,450mm	1,755mm
蹴上	155.2mm	149mm/155.2mm	149mm
踏面	260mm	280mm	280mm

**面積区画**

面積区画	面積表右欄「面積区画」参照	区画面積 (㎡)	
面積区画G	面積表右欄「面積区画」参照	440.577	<1500
面積区画H	面積表右欄「面積区画」参照	313.882	<1500
その他堅穴区画、バルコニー合計			120.724

**避難距離計算**

経路	各歩行距離 (m) ※アングラーは重複距離を示す			歩行距離 (m)		重複距離 (m)	
	1	2	3	1	2	1	2
F ルート1	7.8	23.5	1.1	32.4	≤50 o.k	7.8	≤25 o.k
F ルート2	7.8	28.2	1.8	37.8	≤50 o.k	9.6	≤25 o.k
G ルート1	7.2	17.4	1.8	26.4	≤50 o.k	9.0	≤25 o.k
G ルート2	7.2	18.2	1.3	26.7	≤50 o.k	7.2	≤25 o.k

**凡例**

- 堅穴区画：1時間耐火構造
- 面積区画：1時間耐火構造
- 114条区画(防火上主要な間仕切り壁は小屋裏又は天井裏に達せしめる)
- 防煙区画壁：垂れ壁H500 もしくは垂れ壁H300+常閉不燃戸
- 防煙垂れ壁
- 大阪府建築基準法施工令第11条出入口  
※建築基準法施工令第126条の2第1項二号により学校(学校法に基づく学校の場合)部分は排煙免除

- 自然排煙
- 機械排煙
- : 令126条の2第1項第一号により排煙設備不要(耐火構造又は防火設備で区画された部分で、100㎡以内のもの)
- : 令126条の2第1項第三号により排煙設備不要(階段の部分、昇降路の部分)
- : H12告示1436-4-二(1) (仕上げを準不燃とし、かつ居室、避難用に供する部分に面する開口部を防火設備とし、それ以外に戸を設けたもの)
- : H12告示1436-4-二(2) (100㎡以下で防煙壁により区画)
- : H12告示1436-4-二(3) (仕上げを準不燃とし、100㎡で防火区画)
- : H12告示1436-4-二(4) (100㎡以下の室で下地仕上げとも不燃)

**特防**

- 特定防火設備における随時閉鎖式防火戸(煙感連動)
- 防火設備における随時閉鎖式防火戸(煙感連動)
- 特定防火設備における常時閉鎖式防火戸
- 防火設備における常時閉鎖式防火戸
- 特定防火設備(耐熱ガラス)

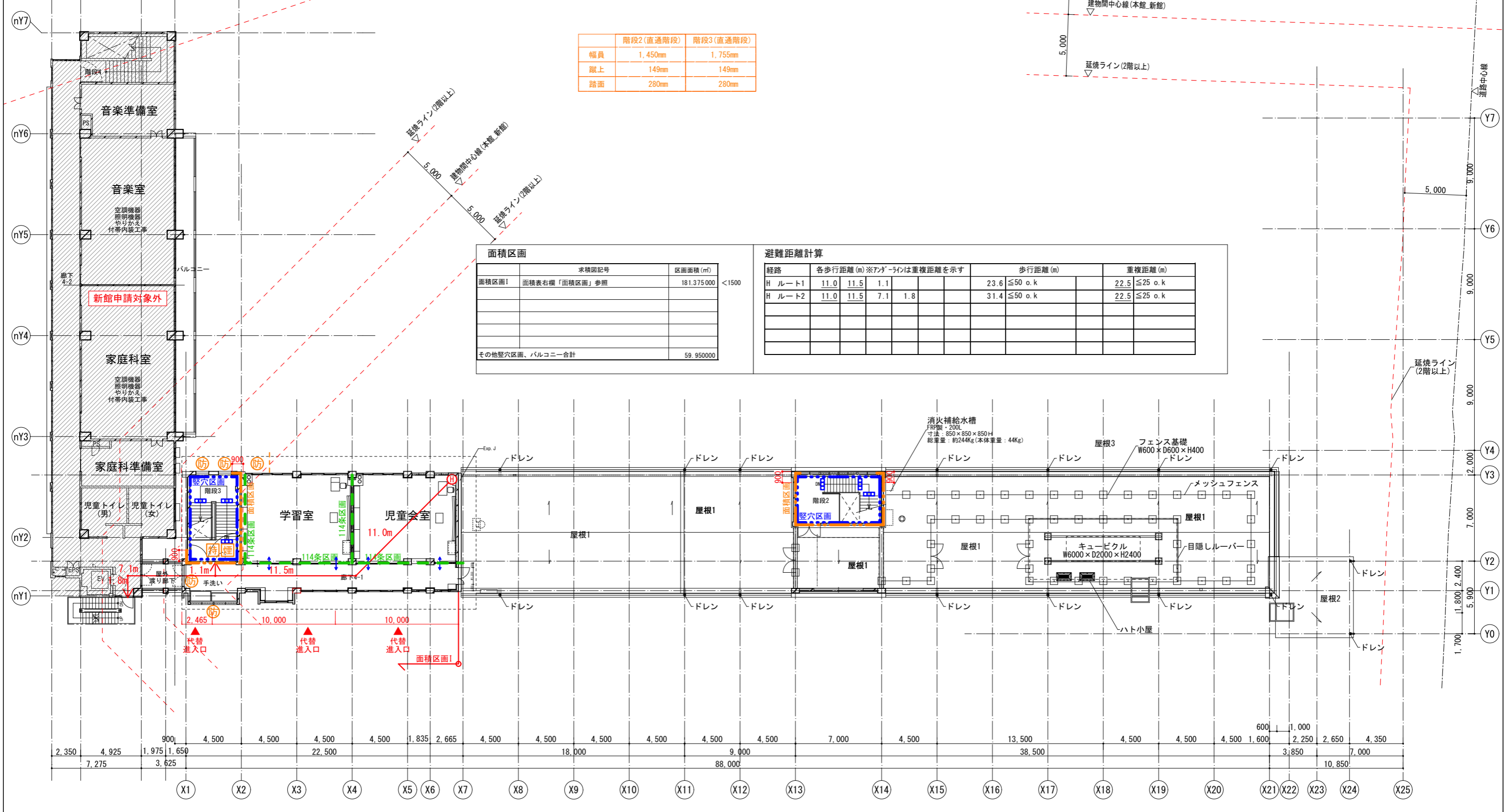
**網不炎煙煙**

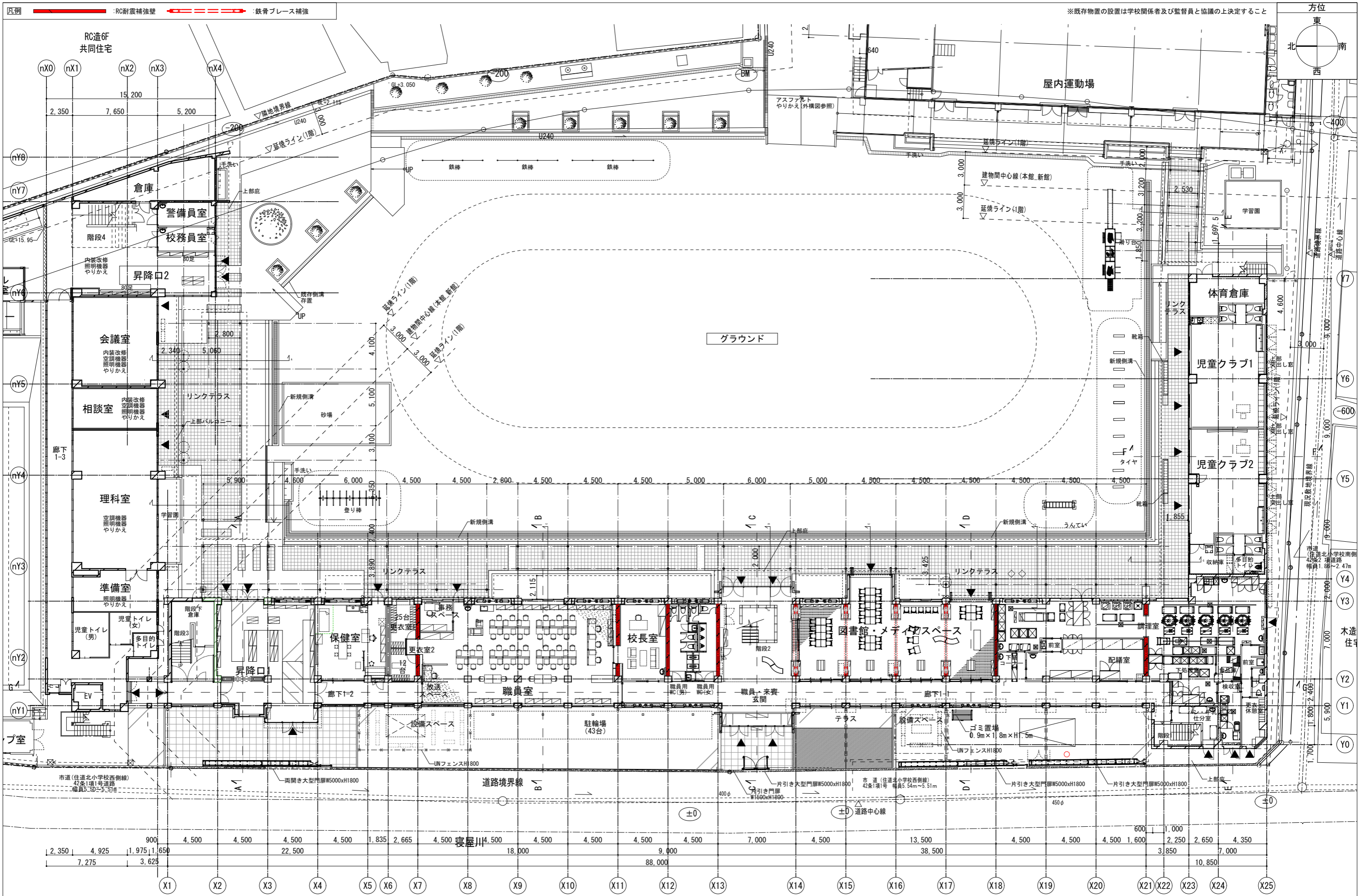
- 防火設備(網入りガラスまたは耐熱ガラス)
- 常時閉鎖式不燃扉
- 遮炎性能を有する特定防火設備
- 遮煙性能を有する特定防火設備
- 遮煙性能を有する防火設備

- ①令125条  
避難階における直通階段から屋外への出入口に至る歩行距離算定経路
- ②令125条  
避難階における居室から屋外への出入口に至る歩行距離算定経路
- ③令121条3項による重複区画部分
- ③令121条3項による重複区画ではない部分

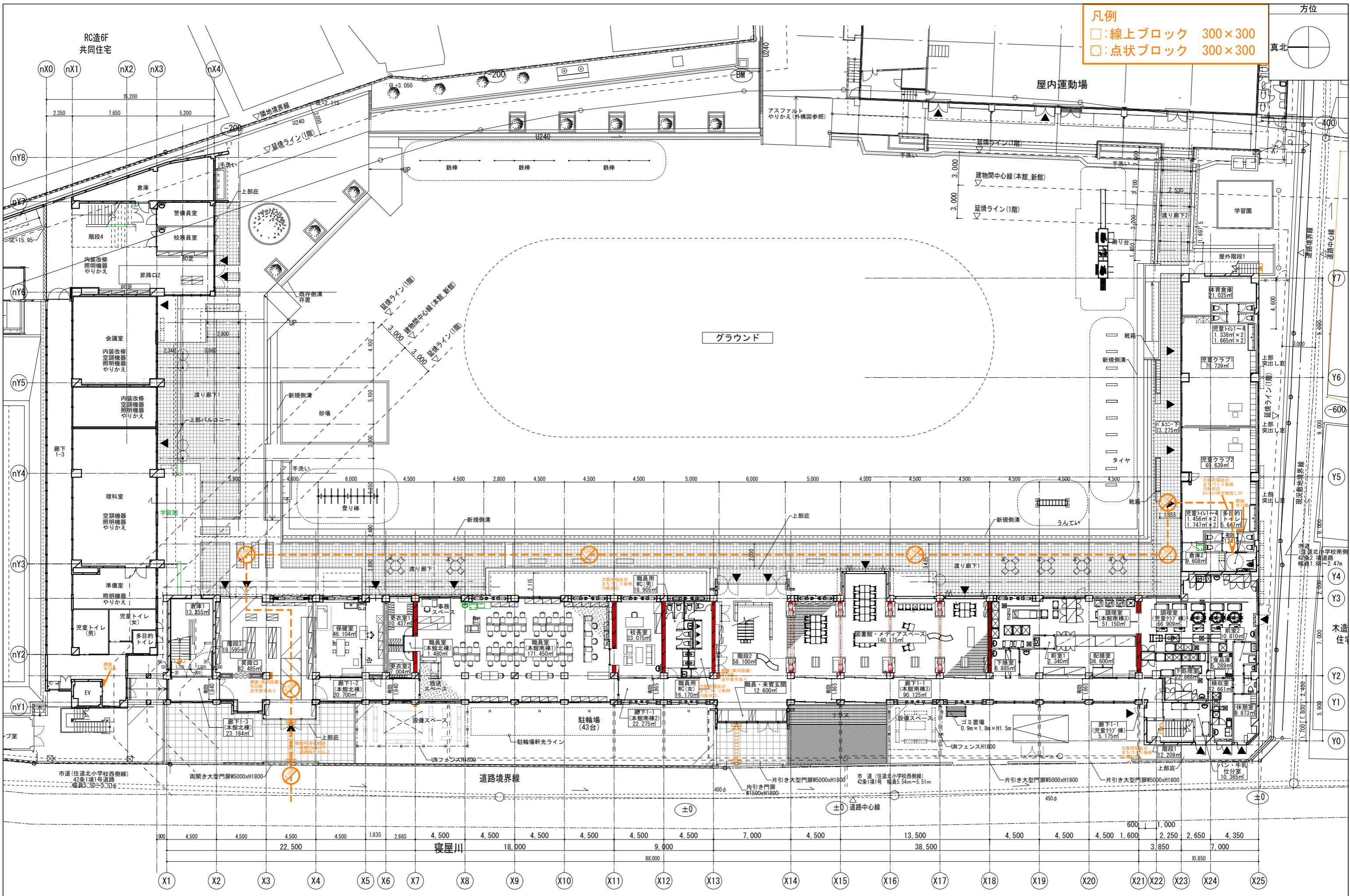
※階段1, 2, 3, D・Cは堅穴区画と面積区画を兼ねる。  
※EPS・PSはRCスラブにて水平区画  
※各階外壁面断面方向の層間についてはRC壁900mm以上のスパンドレルで区画

**方位**

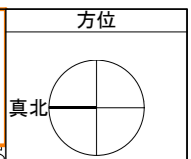




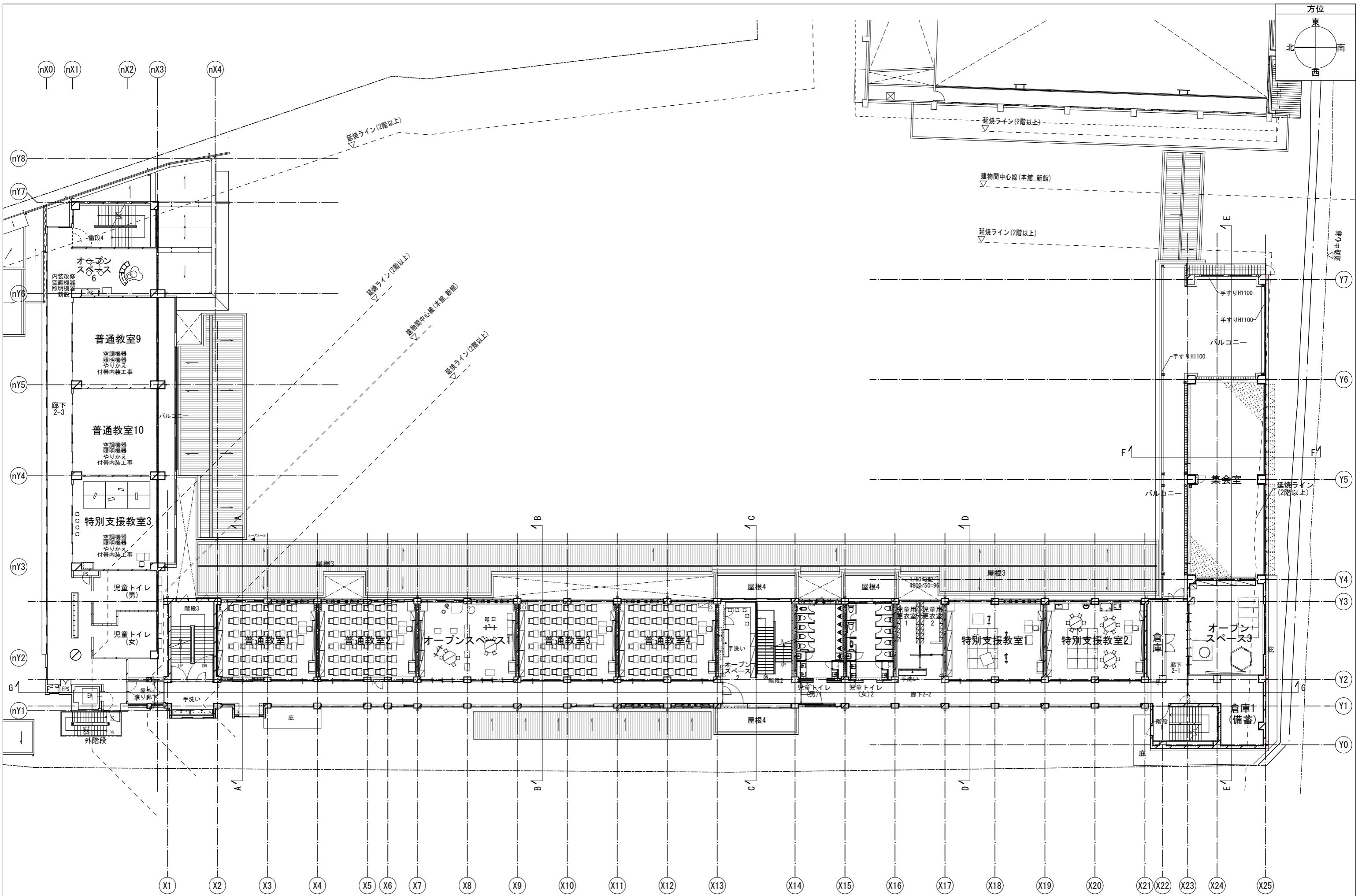
備考 月日 月日 月日	月日 月日 月日	株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates 1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-80097号	作成 2025/03/26 設計 佐藤 信 監理 伊藤 高基	大東市立住道北小学校校長寿命化改良工事(建築工事) 1階平面図	A-042 1/150 (A1) 1/300 (A3)
----------------------	----------------	---	--------------------------------------	------------------------------------	-----------------------------------



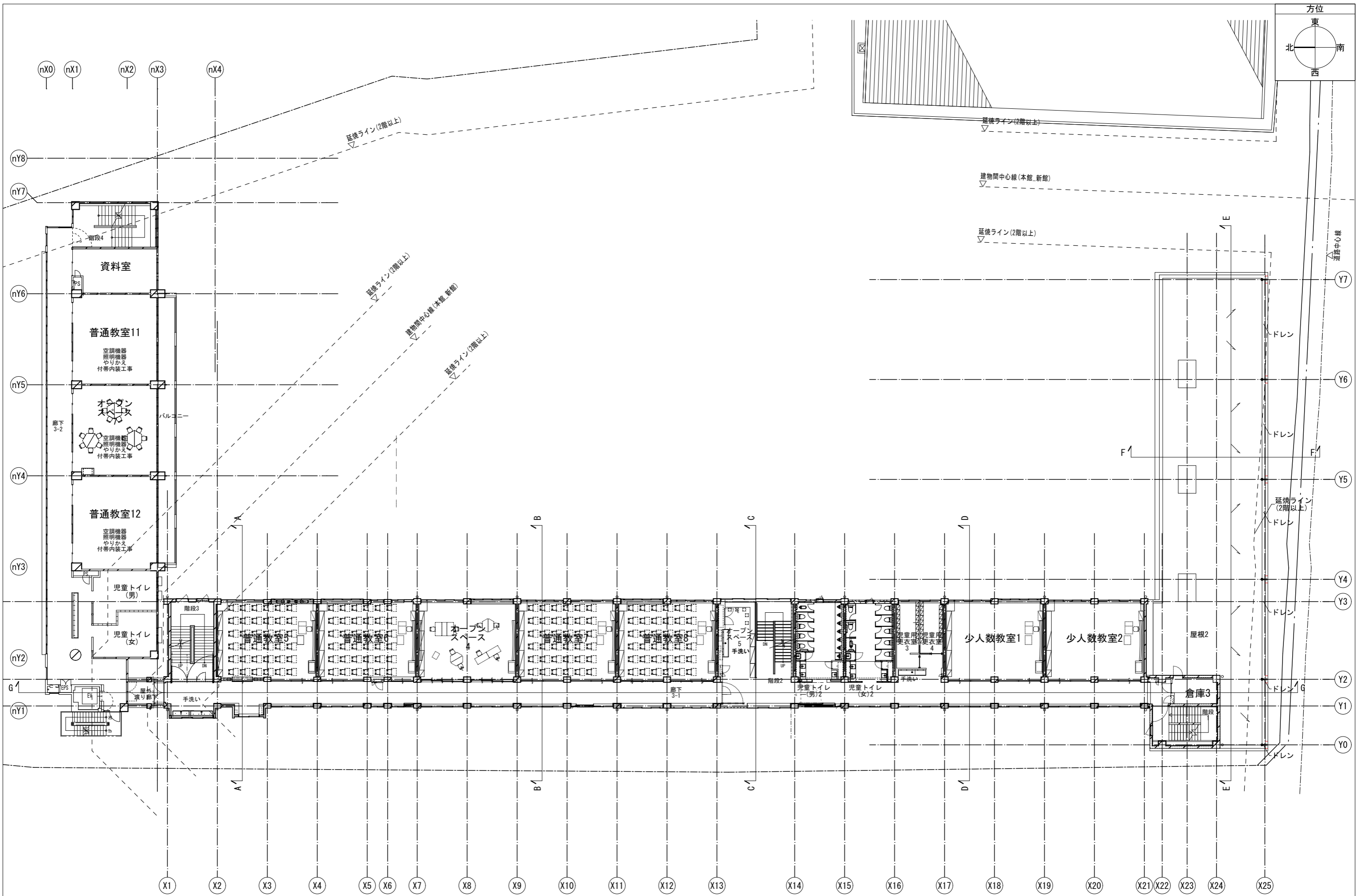
凡例  
 □: 線上ブロック 300×300  
 ○: 点状ブロック 300×300



日 月 年	日 月 年	株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates 1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	2025/03/26 佐藤 信	大東市立住道北小学校校長寿命化改良工事(建築工事) 1階平面図(バリアフリー)	A-042-2
-------------	-------------	---	--------------------	--	---------

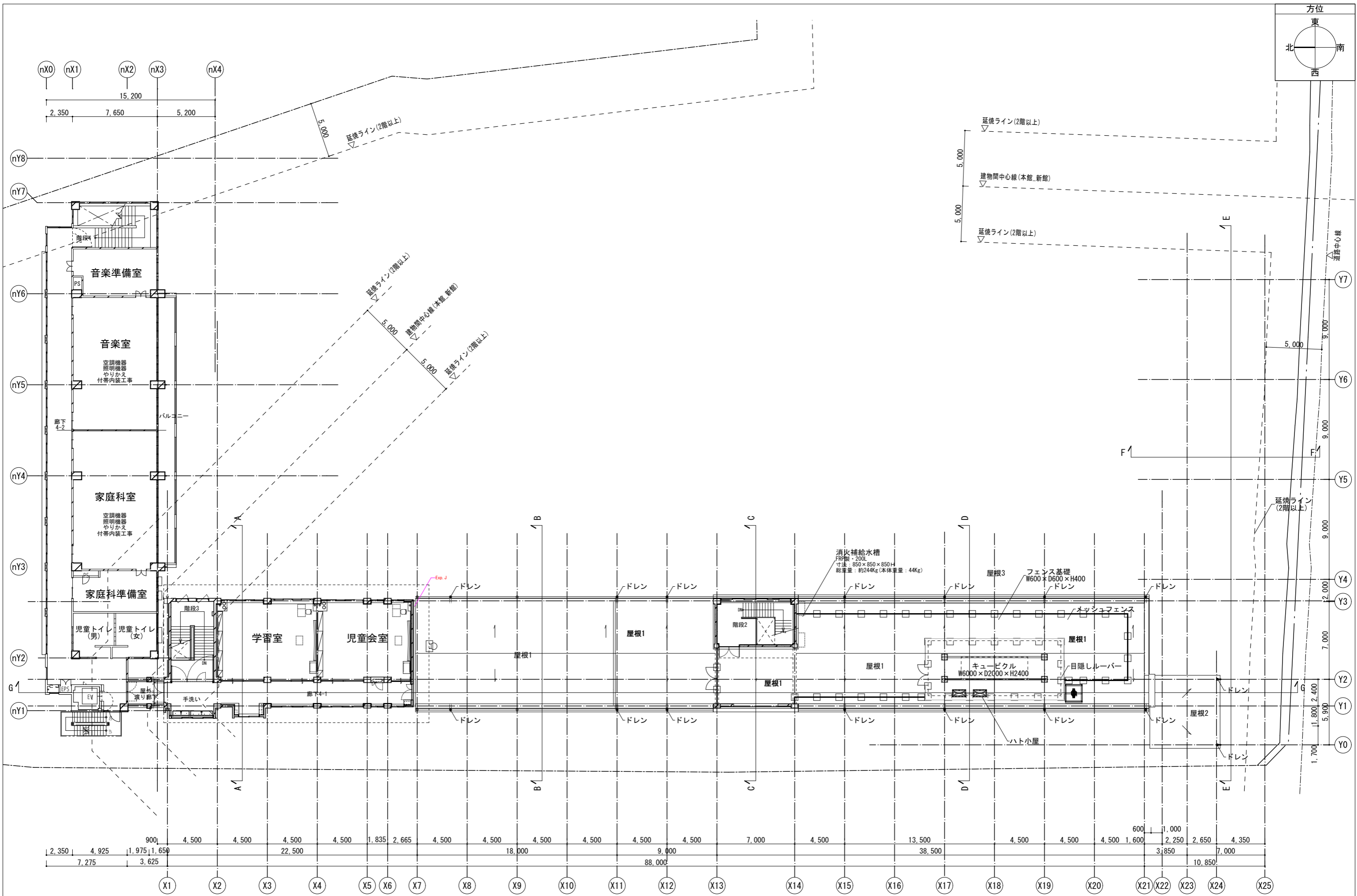


備考	月日	月日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作	2025/03/26	設計	佐藤 信	工事名	大東市立住道北小学校長寿化改良工事(建築工事)	図	A-043
	月日	月日		1級建築士 佐藤 信 第362177号	作	佐藤 信	監	伊藤 高基	図	2階平面図	縮	1/150 (A1) 1/300 (A3)
	月日	月日		1級建築士事務所 第1-60097号								

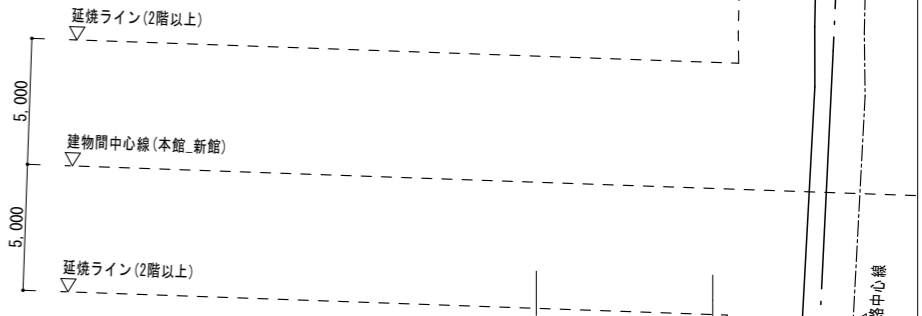
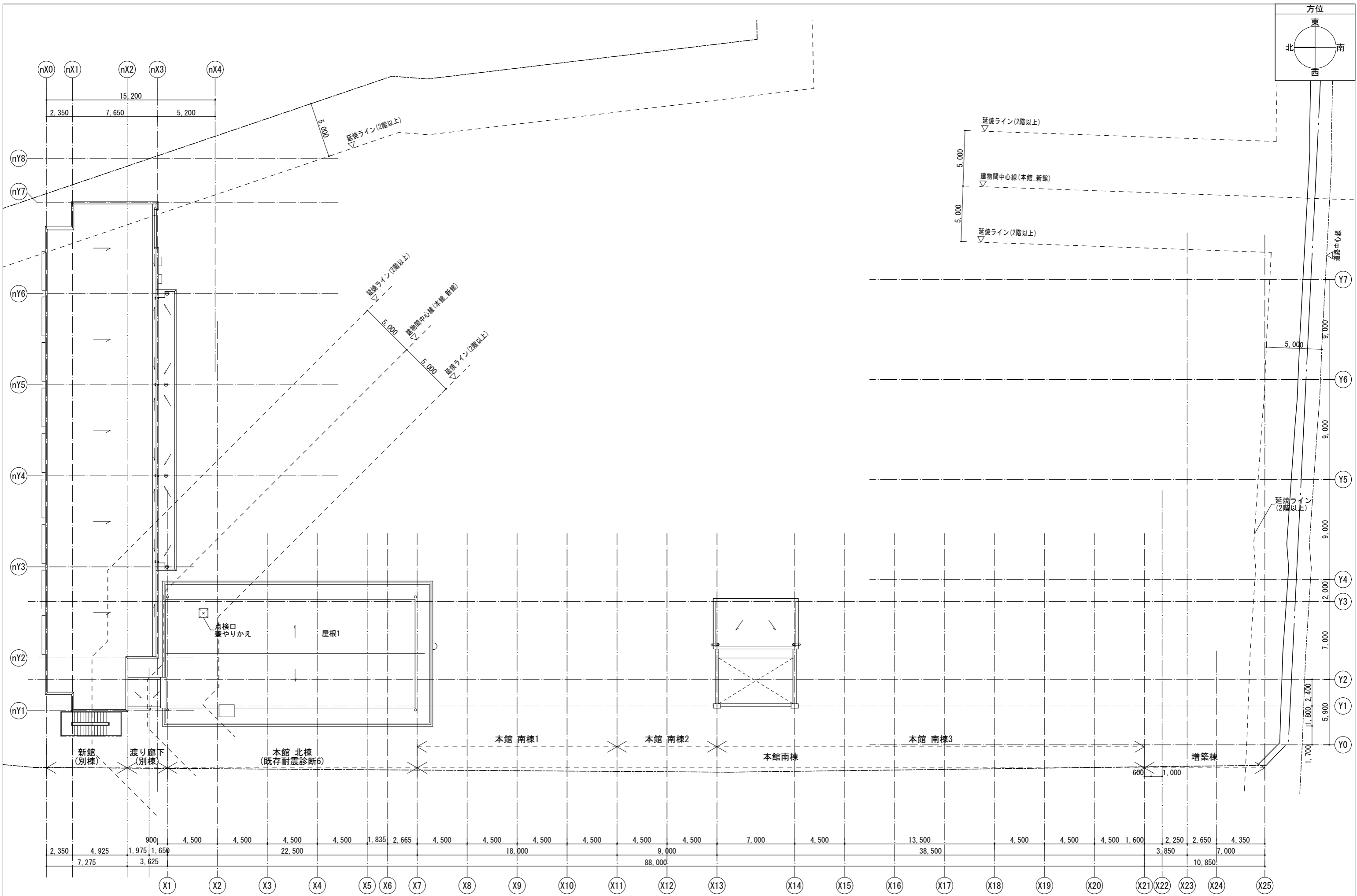
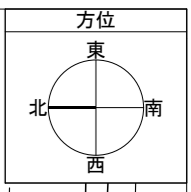


備考	月日		月日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作	2025/03/26	設計	佐藤 信	大東市立住道北小学校校長寿命化改良工事(建築工事)	図	A-044	
	月日		月日			1級建築士 佐藤 信 第362177号	監	佐藤 信	監		伊藤 高基	縮	1/150 (A1)
	月日		月日			1級建築士事務所 第1-60097号						縮	1/300 (A3)

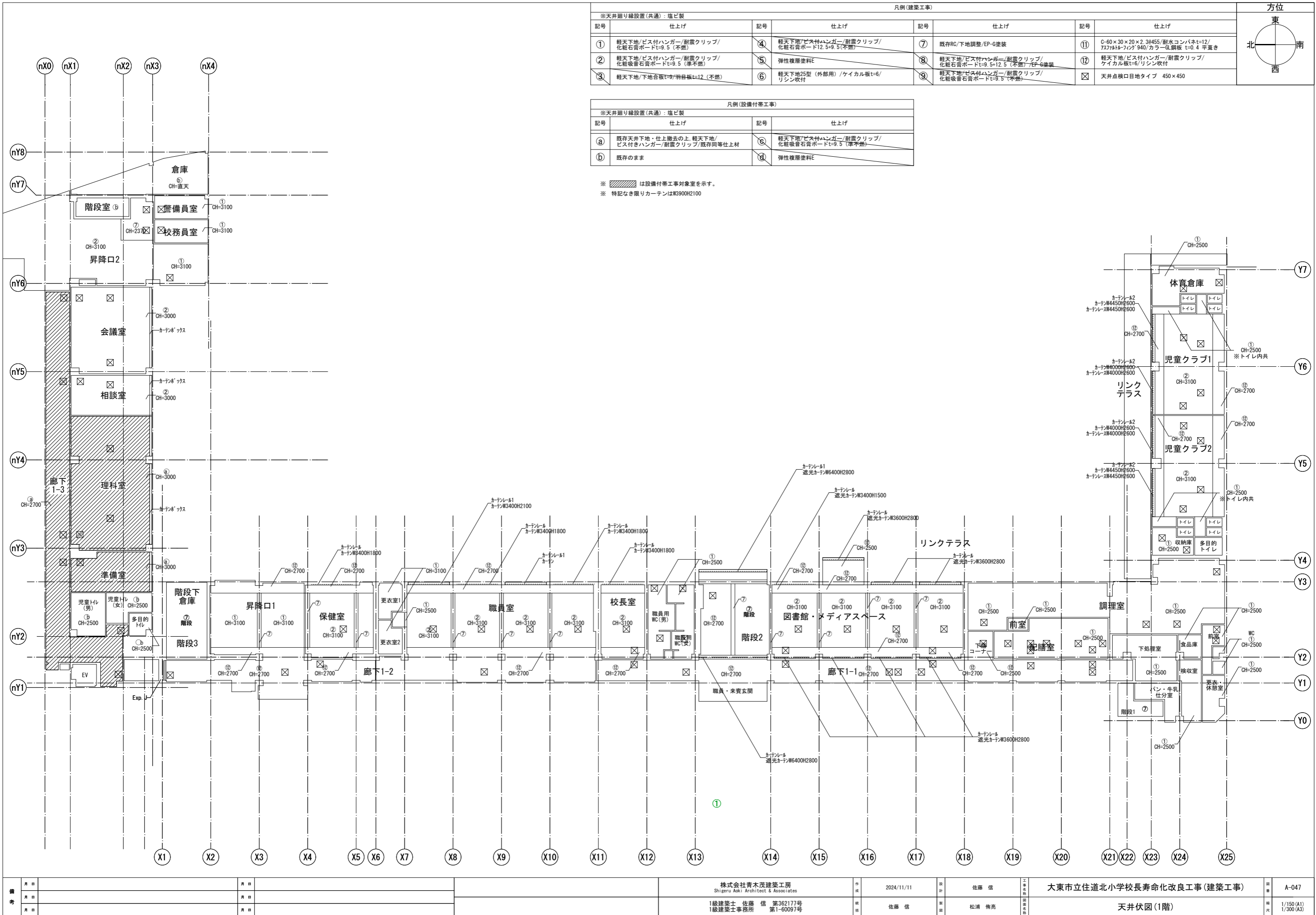
3階平面図



備考	月日		月日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2025/03/26	設計	佐藤 信	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A-045	
	月日		月日			1級建築士 佐藤 信 第362177号	監製	佐藤 信	監製		伊藤 高基	縮尺	1/150 (A1) 1/300 (A3)
	月日		月日			1級建築士事務所 第1-60097号							
4階平面図													



備考	月日	月日	月日	月日	株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2025/03/26	設計	佐藤 信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事 (建築工事)	図番	A-046
	月日	月日	月日	月日	1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	校	佐藤 信	監	伊藤 高基	図面内容	R階平面図	縮尺	1/150 (A1) 1/300 (A3)

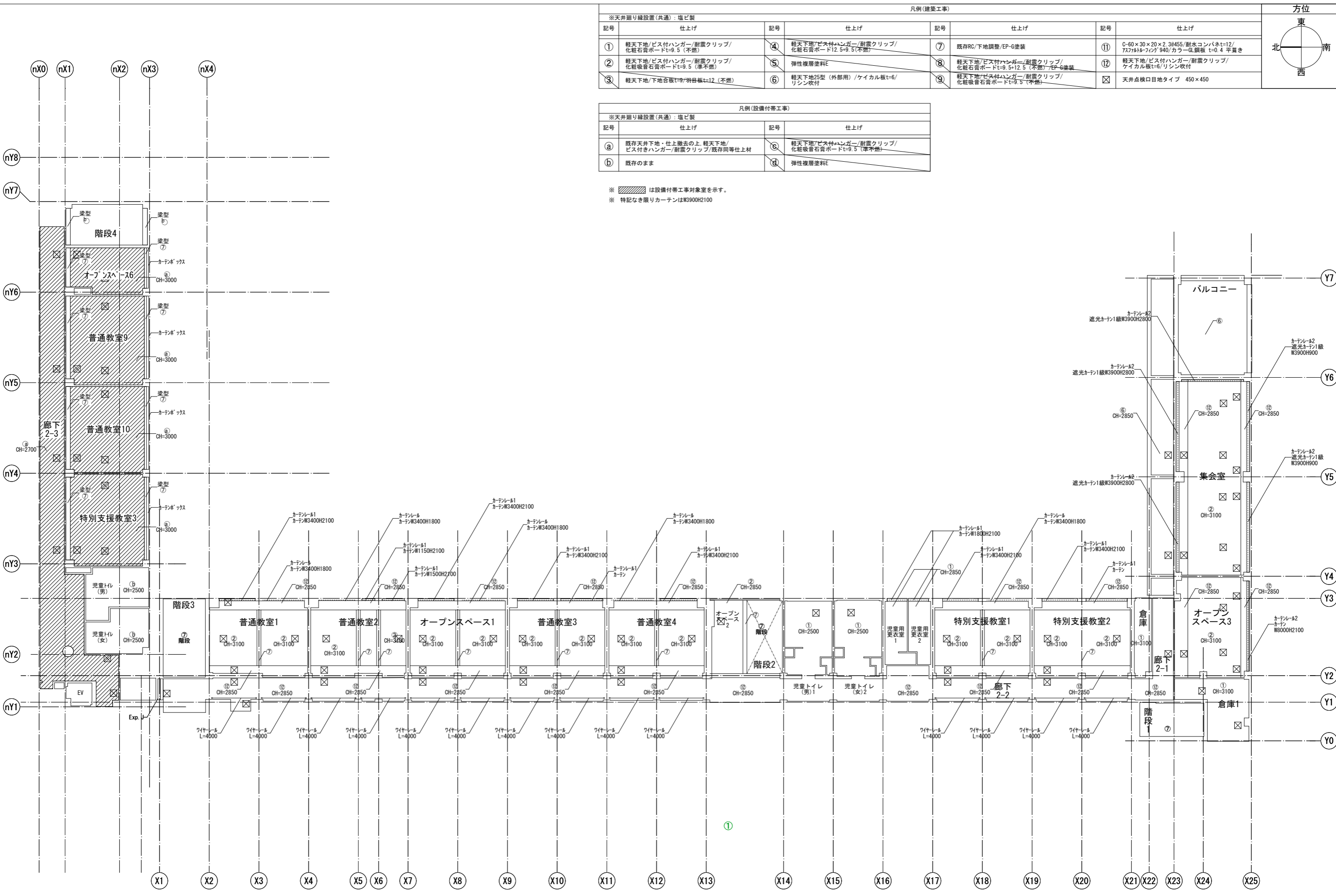


凡例(建築工事)							
※天井廻り縁設置(共通): 塩ビ製							
記号	仕上げ	記号	仕上げ	記号	仕上げ	記号	仕上げ
①	軽天地下/ビス付ハンガー/耐震クリップ/化粧石膏ボードt=9.5(不燃)	④	軽天地下/ビス付ハンガー/耐震クリップ/化粧石膏ボードt=9.5(不燃)	⑦	既存RC/下地調整/EP-G塗装	⑪	C-60×30×20×2.3#455/耐水コンパネt=12/7x7x#16-フック 940/カラーG鋼板 t=0.4 平置き
②	軽天地下/ビス付ハンガー/耐震クリップ/化粧石膏ボードt=9.5(準不燃)	⑤	弾性複層塗料E	⑧	軽天地下/ビス付ハンガー/耐震クリップ/化粧石膏ボードt=9.5+12.5(不燃)/EP-G塗装	⑫	軽天地下/ビス付ハンガー/耐震クリップ/ケイカル板t=6/リシン吹付
③	軽天地下/下地合板t=9/羽目板t=12(不燃)	⑥	軽天地下25型(外部用)/ケイカル板t=6/リシン吹付	⑨	軽天地下/ビス付ハンガー/耐震クリップ/化粧石膏ボードt=9.5(不燃)	☒	天井点検口目地タイプ 450×450

凡例(設備付帯工事)			
※天井廻り縁設置(共通): 塩ビ製			
記号	仕上げ	記号	仕上げ
㉑	既存天井地下・仕上撤去の上、軽天地下/ビス付ハンガー/耐震クリップ/既存同等仕上材	㉒	軽天地下/ビス付ハンガー/耐震クリップ/化粧石膏ボードt=9.5(準不燃)
㉓	既存のまま	㉔	弾性複層塗料E

※ は設備付帯工事対象室を示す。  
 ※ 特記なき限りカーテンはW3900H2100

<table border="1"> <tr><td>月日</td><td></td><td>月日</td><td></td></tr> <tr><td>備考</td><td></td><td>備考</td><td></td></tr> </table>	月日		月日		備考		備考		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates 1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	作成 2024/11/11 松浦 尚亮	設計 佐藤 信 天井伏図(1階)	大東市立住道北小学校校長寿命化改良工事(建築工事) A-047 1/150 (A1) 1/300 (A3)
月日		月日										
備考		備考										

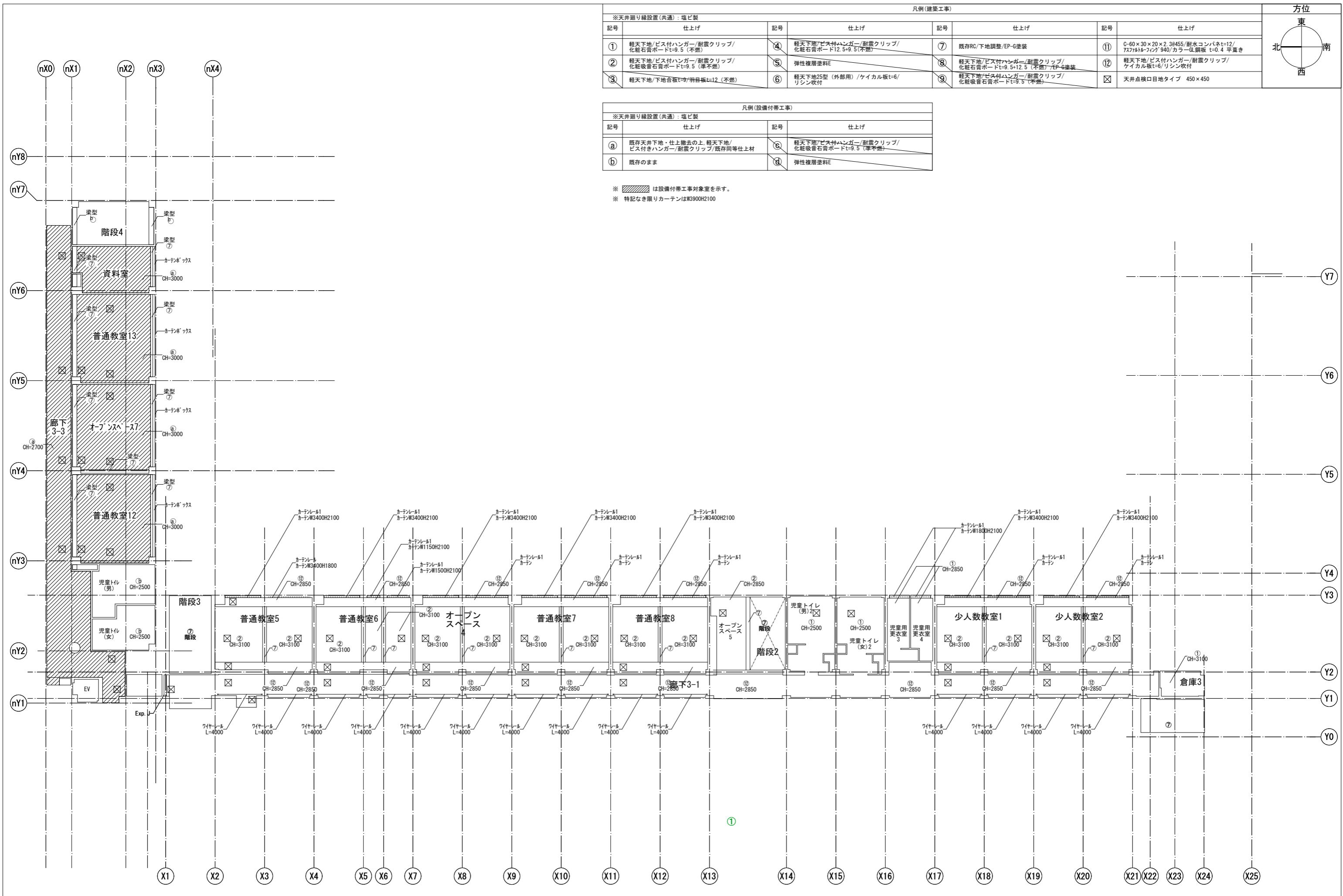


凡例(建築工事)								方位 東 北 南 西
※天井廻り縁設置(共通): 塩ビ製								
記号	仕上げ	記号	仕上げ	記号	仕上げ	記号	仕上げ	
①	軽天地下/ビス付ハンガー/耐震クリップ/化粧石膏ボードt=9.5(不燃)	④	軽天地下/ビス付ハンガー/耐震クリップ/化粧石膏ボードt=12.5+9.5(不燃)	⑦	既存RC/下地調整/EP-G塗装	⑪	C-60×30×20×2.3#45/耐水コンパネt=12/7#7#1#1-フック 940/カラーG鋼板 t=0.4 平置き	
②	軽天地下/ビス付ハンガー/耐震クリップ/化粧石膏ボードt=9.5(準不燃)	⑤	弾性複層塗料E	⑧	軽天地下/ビス付ハンガー/耐震クリップ/化粧石膏ボードt=9.5+12.5(不燃)/EP-G塗装	⑫	軽天地下/ビス付ハンガー/耐震クリップ/ケイカル板t=6/リシン吹付	
③	軽天地下/下地合板t=9/羽目板t=12(不燃)	⑥	軽天地下25型(外部用)/ケイカル板t=6/リシン吹付	⑨	軽天地下/ビス付ハンガー/耐震クリップ/化粧石膏ボードt=9.5(不燃)	☒	天井点検口目地タイプ 450×450	

凡例(設備付帯工事)			
※天井廻り縁設置(共通): 塩ビ製			
記号	仕上げ	記号	仕上げ
㊸	既存天井地下・仕上撤去の上、軽天地下/ビス付ハンガー/耐震クリップ/既存同等仕上材	㊹	軽天地下/ビス付ハンガー/耐震クリップ/化粧石膏ボードt=9.5(準不燃)
㊺	既存のまま	㊻	弾性複層塗料E

※ は設備付帯工事対象室を示す。  
 ※ 特記なき限りカーテンはW3900H2100

備考	月日	月日	株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作	2024/11/11	設計	佐藤 信	工事名称	大東市立住道北小学校校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A-048
	月日	月日	1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	監	佐藤 信	監	松浦 尚亮	図面内容	天井伏図(2階)	縮尺	1/150 (A1) 1/300 (A3)

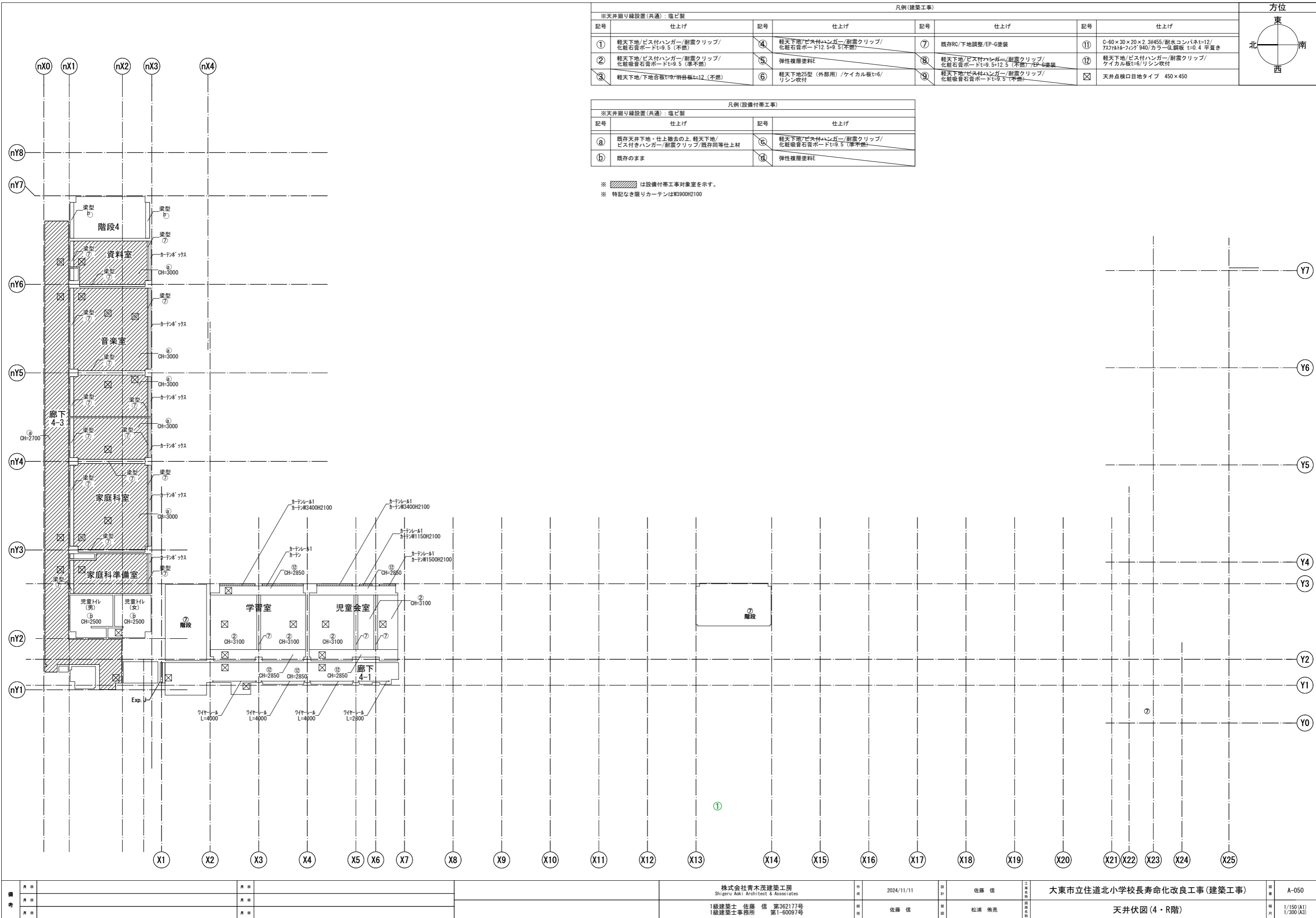


凡例(建築工事)								方位
※天井廻り縁設置(共通): 塩ビ製								
記号	仕上げ	記号	仕上げ	記号	仕上げ	記号	仕上げ	
①	軽天地下/ビス付ハンガー/耐震クリップ/化粧石膏ボードt=9.5(不燃)	④	軽天地下/ビス付ハンガー/耐震クリップ/化粧石膏ボードt=12.5+9.5(不燃)	⑦	既存RC/下地調整/EP-G塗装	⑪	C-60×30×20×2.3#455/耐水コンパネt=12/757#455-フック 940/カラーG鋼板 t=0.4 平置き	
②	軽天地下/ビス付ハンガー/耐震クリップ/化粧吸音石膏ボードt=9.5(準不燃)	⑤	弾性複層塗料E	⑧	軽天地下/ビス付ハンガー/耐震クリップ/化粧石膏ボードt=9.5+12.5(不燃)/EP-G塗装	⑫	軽天地下/ビス付ハンガー/耐震クリップ/ケイカル板t=6/リシン吹付	
③	軽天地下/下地合板t=9/羽目板t=12(不燃)	⑥	軽天地下25型(外部用)/ケイカル板t=6/リシン吹付	⑨	軽天地下/ビス付ハンガー/耐震クリップ/化粧吸音石膏ボードt=9.5(不燃)	☒	天井点検口目地タイプ 450×450	

凡例(設備付帯工事)			
※天井廻り縁設置(共通): 塩ビ製			
記号	仕上げ	記号	仕上げ
Ⓐ	既存天井地下・仕上撤去の上、軽天地下/ビス付きハンガー/耐震クリップ/既存同等仕上材	Ⓒ	軽天地下/ビス付ハンガー/耐震クリップ/化粧吸音石膏ボードt=9.5(準不燃)
Ⓑ	既存のまま	Ⓓ	弾性複層塗料E

※ は設備付帯工事対象室を示す。  
 ※ 特記なき限りカーテンはW3900H2100

<table border="1"> <tr><td>月日</td><td></td><td>月日</td><td></td></tr> <tr><td>月日</td><td></td><td>月日</td><td></td></tr> <tr><td>月日</td><td></td><td>月日</td><td></td></tr> </table>	月日		月日		月日		月日		月日		月日		<table border="1"> <tr><td>月日</td><td></td><td>月日</td><td></td></tr> <tr><td>月日</td><td></td><td>月日</td><td></td></tr> <tr><td>月日</td><td></td><td>月日</td><td></td></tr> </table>	月日		月日		月日		月日		月日		月日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates 1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	2024/11/11 佐藤 信	佐藤 信 松浦 尚亮	大東市立住道北小学校校長寿命化改良工事(建築工事) 天井伏図(3階)	A-049 1/150 (A1) 1/300 (A3)
月日		月日																												
月日		月日																												
月日		月日																												
月日		月日																												
月日		月日																												
月日		月日																												



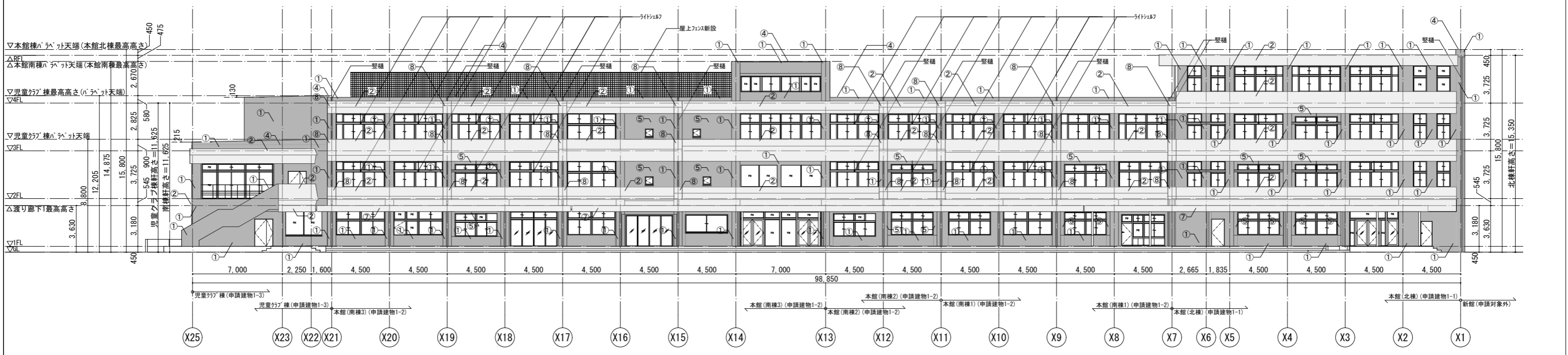
凡例(建築工事)							
※天井廻り縁設置(共通): 塩ビ製							
記号	仕上げ	記号	仕上げ	記号	仕上げ	記号	仕上げ
①	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ/化粧石膏ボードt=9.5(不燃)	④	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ/化粧石膏ボードt=9.5(不燃)	⑦	既存RC/下地調整/EP-G塗装	⑪	C-60×30×20×2.3@455/耐水コンパネt=12/7ｽﾌﾟﾗｲﾄﾞｰﾌﾗﾝｸﾞ 940/カラーG鋼板 t=0.4 平置き
②	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ/化粧吸音石膏ボードt=9.5(準不燃)	⑤	弾性複層塗料E	⑧	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ/化粧石膏ボードt=9.5+12.5(不燃)/EP-G塗装	⑫	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ/ケイカル板t=6/リシン吹付
③	軽天下地/下地合板t=9/羽目板t=12(不燃)	⑥	軽天下地25型(外部用)/ケイカル板t=6/リシン吹付	⑨	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ/化粧吸音石膏ボードt=9.5(不燃)	☒	天井点検口目地タイプ 450×450

凡例(設備付帯工事)			
※天井廻り縁設置(共通): 塩ビ製			
記号	仕上げ	記号	仕上げ
㉑	既存天井下地・仕上撤去の上、軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ/化粧石膏ボードt=9.5(準不燃)	㉒	軽天下地/ビス付ハンガー/耐震クリップ/化粧吸音石膏ボードt=9.5(準不燃)
㉓	既存のまま	㉔	弾性複層塗料E

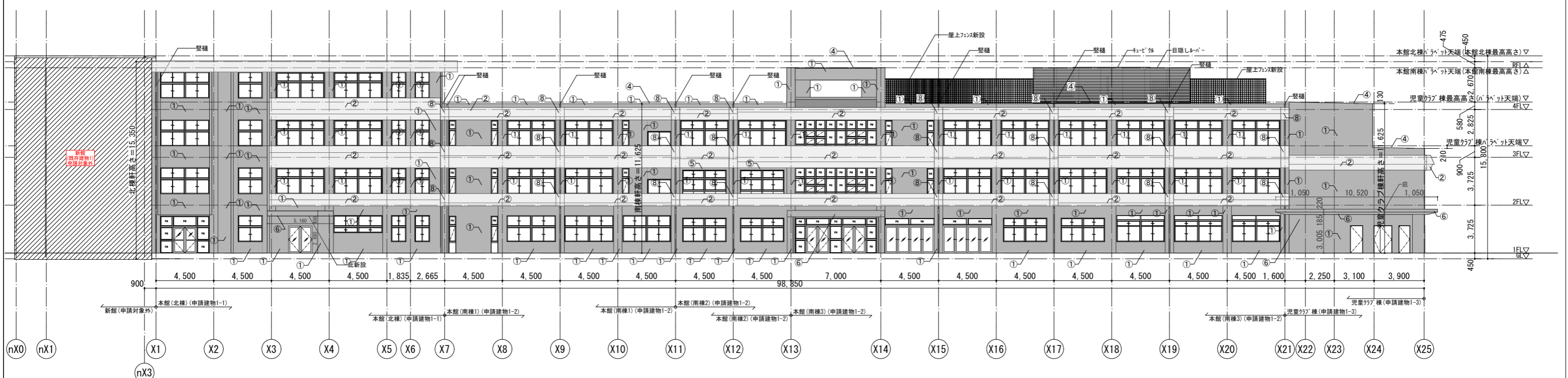
※ は設備付帯工事対象室を示す。  
 ※ 特記なき限りカーテンはW3900H2100

備考	月日	月日	株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤 信	工事名称	大東市立住道北小学校校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A-050
	月日	月日	1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	校舎	佐藤 信	廊下	松浦 尚亮	天井伏図(4・R階)		縮尺	1/150 (A1) 1/300 (A3)

外部仕上表			
①	外壁1: 既存外壁高圧洗浄/下地調整/弾性複層塗材E吹付	⑤	外壁3: 鉄骨下地/押出成形セメント板t=50(アスロックNeo・カラーフロン同等品)
②	外装2: L-40×40×3@455/防水コンパネt=12/アスファルトルーフィング940/カラーGL鋼板 t=0.4 横平葺き	⑥	庇: 弾性複層塗材E吹付
③	外壁2: 鉄骨下地/ALC板t=100/下地調整/弾性複層E吹付 ※ALC板: 耐火認定番号 平成12年建設省告示第1399号	⑦	屋根3: C-100×60×20×2.3@455/耐火野地板t=18(30分耐火)/アスファルトルーフィング940/カラーGL鋼板 t=0.4 縦ハゼ葺き
④	笠木1: 既存防水モルタル補修/ウレタン塗膜防水(X-2)	⑧	屋根隠し: 鉄骨下地/アルミパネルt=2.0



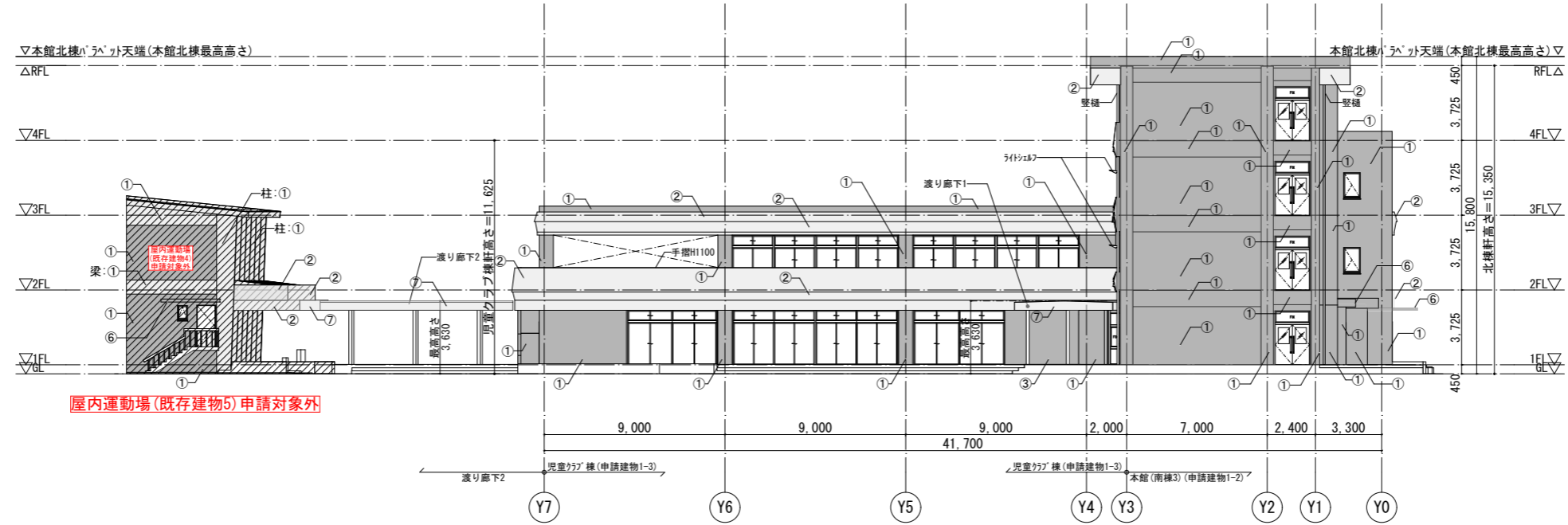
東側立面図



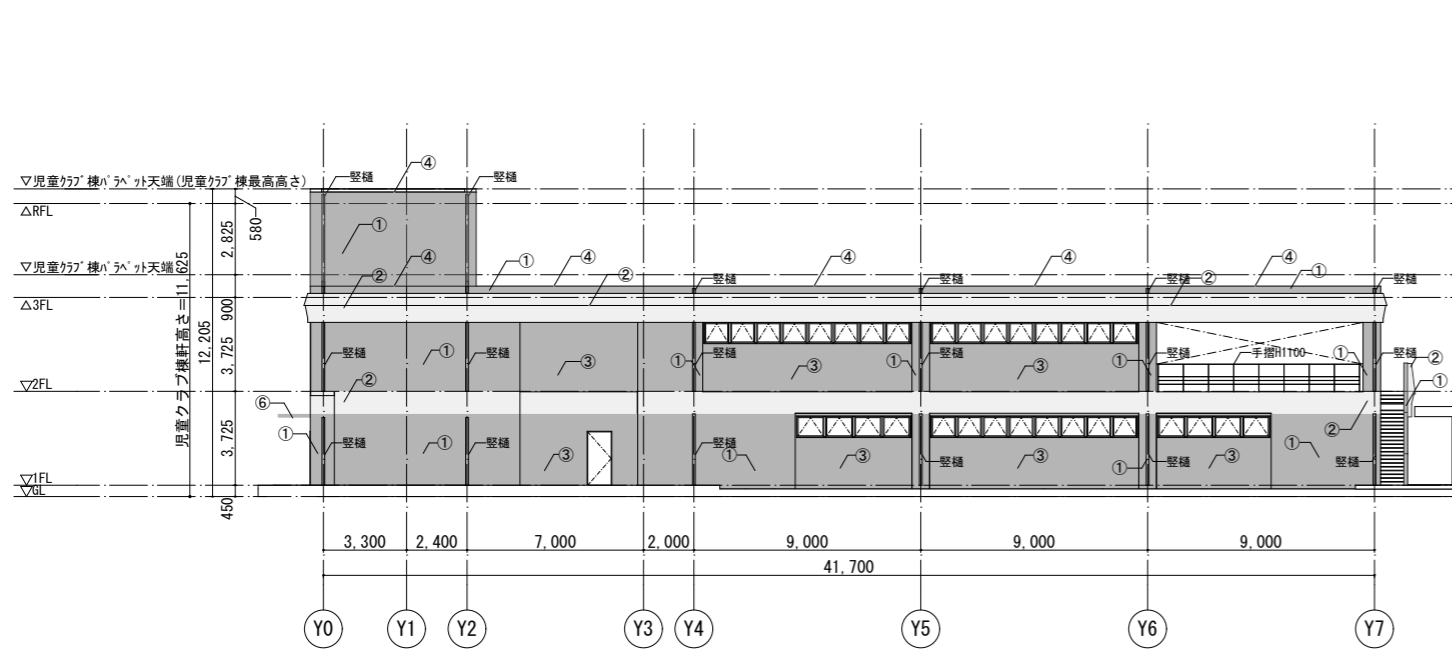
西側立面図

備考	月日	月日	株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2025/03/26	設計	佐藤 信	工事名称	大東市立住道北小学校校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A-051
	月日	月日	1級建築士 佐藤 信 第362177号	校	佐藤 信	監	松浦 尚亮	図面		縮尺	1/150 (A1) 1/300 (A3)
	月日	月日	1級建築士事務所 第1-60097号	校		監		図面			

外部仕上表	
①	外壁1：既存外壁高圧洗浄/下地調整/弾性複層塗材E吹付
②	外装1：L-40×40×3@455/耐水コンパネt=12/アスファルトルーフィング940/カラーGL鋼板 t=0.4 横平葺き
③	外壁2：鉄骨下地/ALC板t=100/下地調整/弾性複層E吹付 ※ALC板：耐火認定番号 平成12年建設省告示第1399号
④	笠木1：既存防水モルタル補修/ウレタン塗膜防水(X-2)
⑤	外壁3：鉄骨下地/押出成形セメント板t=50(アスロックNeo・カラーフロン同等品)
⑥	庇：弾性複層塗材E吹付
⑦	屋根3：C-100×60×20×2.3@455/耐火野地板t=18(30分耐火)/アスファルトルーフィング940/カラーGL鋼板 t=0.4 縦ハゼ葺き
⑧	壁隠し：鉄骨下地/アルミパネルt=2.0



本館棟(申請建物1)・児童クラブ棟(申請建物1-3)・屋内運動場(既存建物5)北側立面図



児童クラブ棟(申請建物1-3)南側立面図

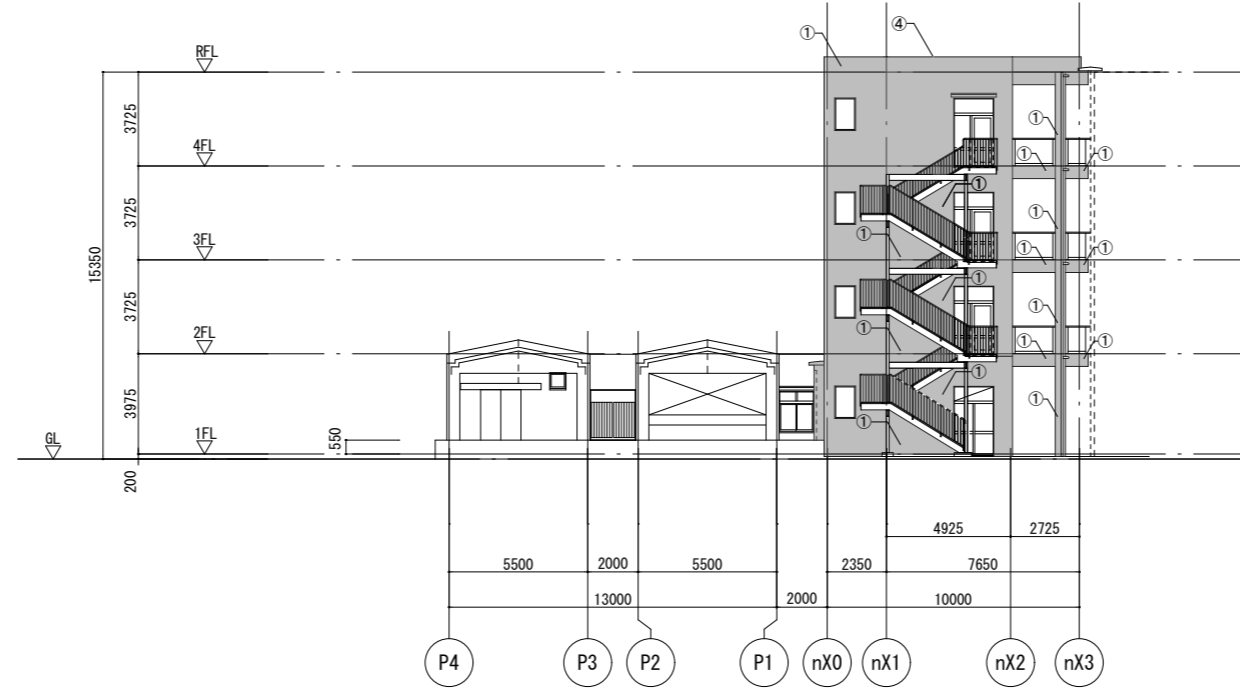


新館(既存建物1)南側立面図

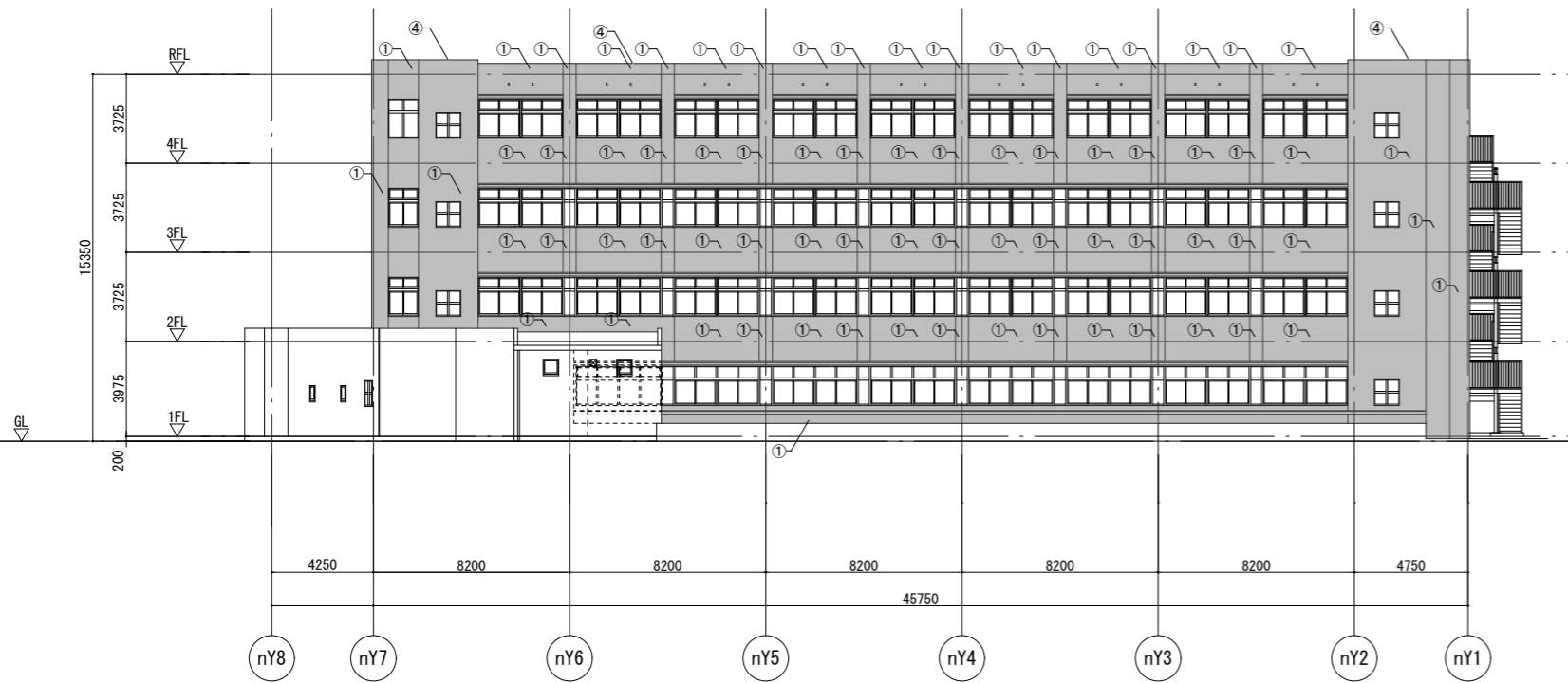
新館(既存建物1)申請対象外

備考	月日	月日	株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2025/03/26	設計	佐藤 信	工事内容	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A-052
	月日	月日	1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	校	佐藤 信	監	松浦 尚亮	図面		縮尺	1/150 (A1) 1/300 (A3)
	月日	月日							立面図-2		

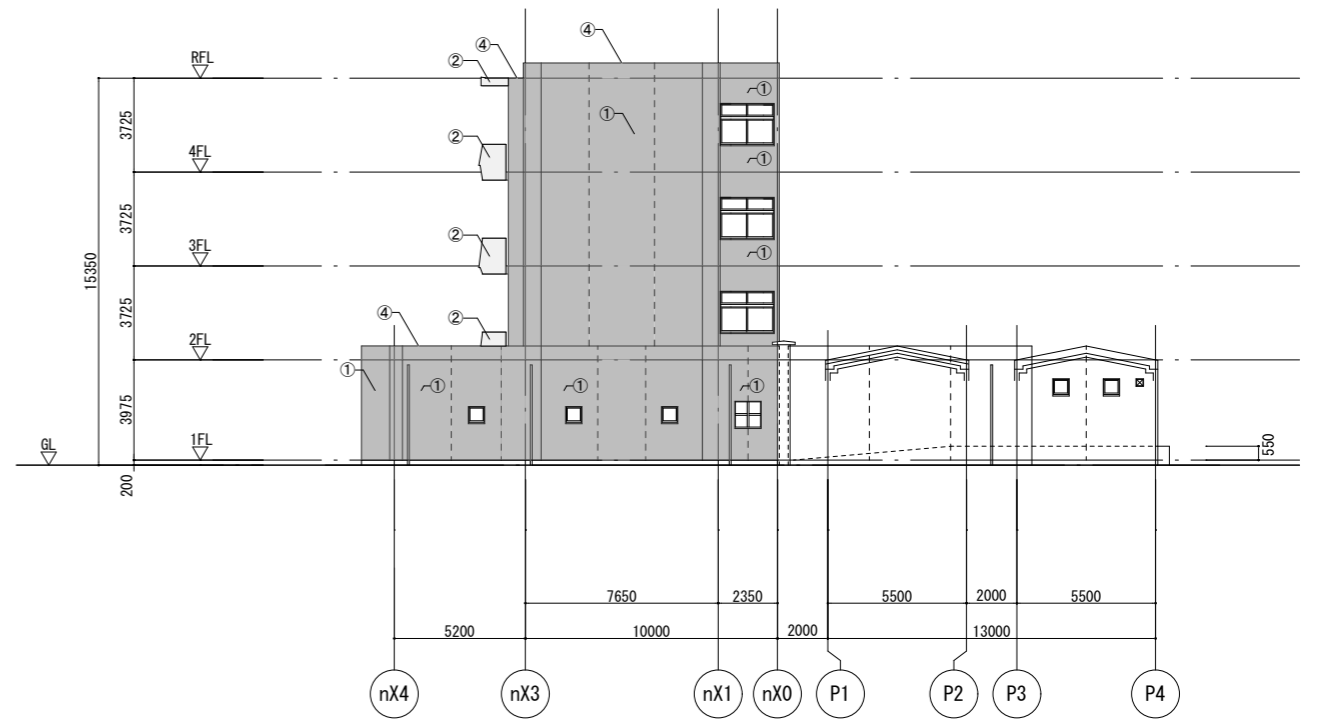
外部仕上表			
①	外壁1：既存外壁高圧洗浄/下地調整/弾性複層塗材E吹付	⑤	外壁3：鉄骨下地/押出成形セメント板t=50(アスロックNeo・カラーフロン同等品)
②	外装1：L-40×40×3@455/防水コンパネt=12/アスファルトルーフィング940/カラーGL鋼板 t=0.4 横平葺き	⑥	庇：弾性複層塗材E吹付
③	外壁2：鉄骨下地/ALC板t=100/下地調整/弾性複層塗材E吹付 ※ALC板：耐火認定番号 平成12年建設省告示第1399号	⑦	屋根3：C-100×60×20×2.3@455/耐火野地板t=18(30分耐火)/アスファルトルーフィング940/カラーGL鋼板 t=0.4 縦ハゼ葺き
④	笠木1：既存防水モルタル補修/ウレタン塗膜防水(X-2)	⑧	縦樋隠し：鉄骨下地/アルミパネルt=2.0
記号なし	着色部分以外外壁：既存のまま		



新館(既存建物1)西側立面図



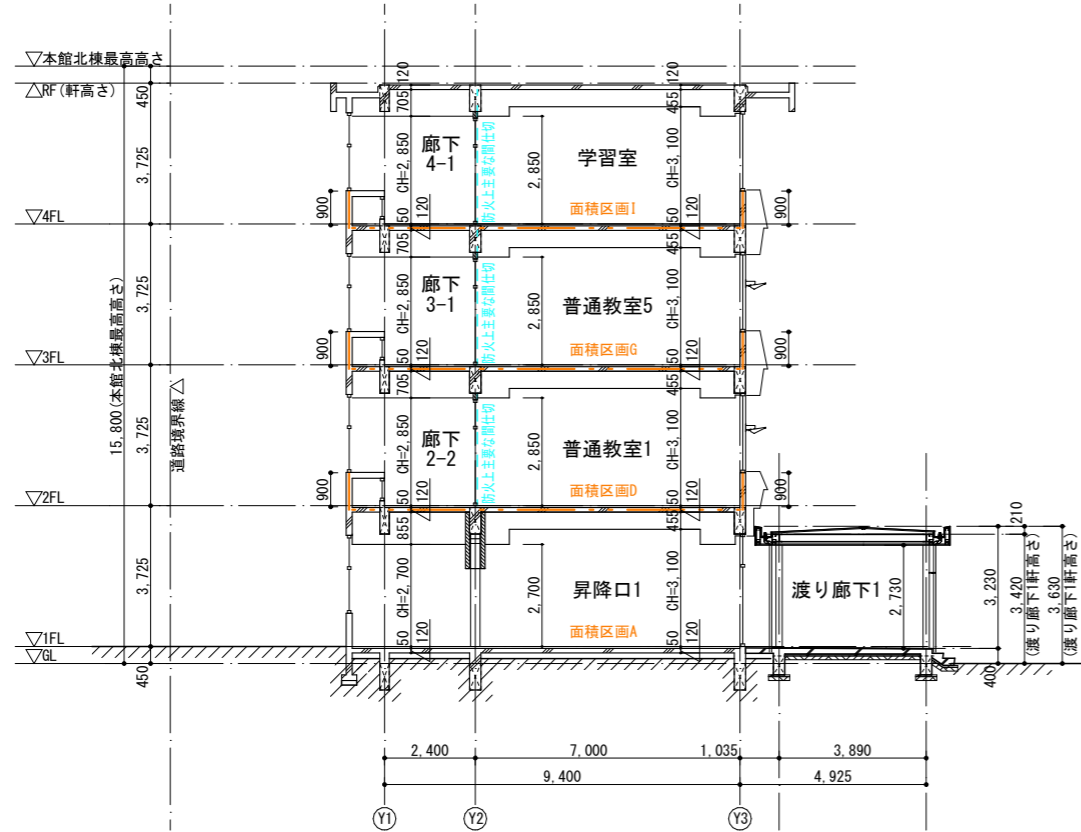
新館(既存建物1)北側立面図



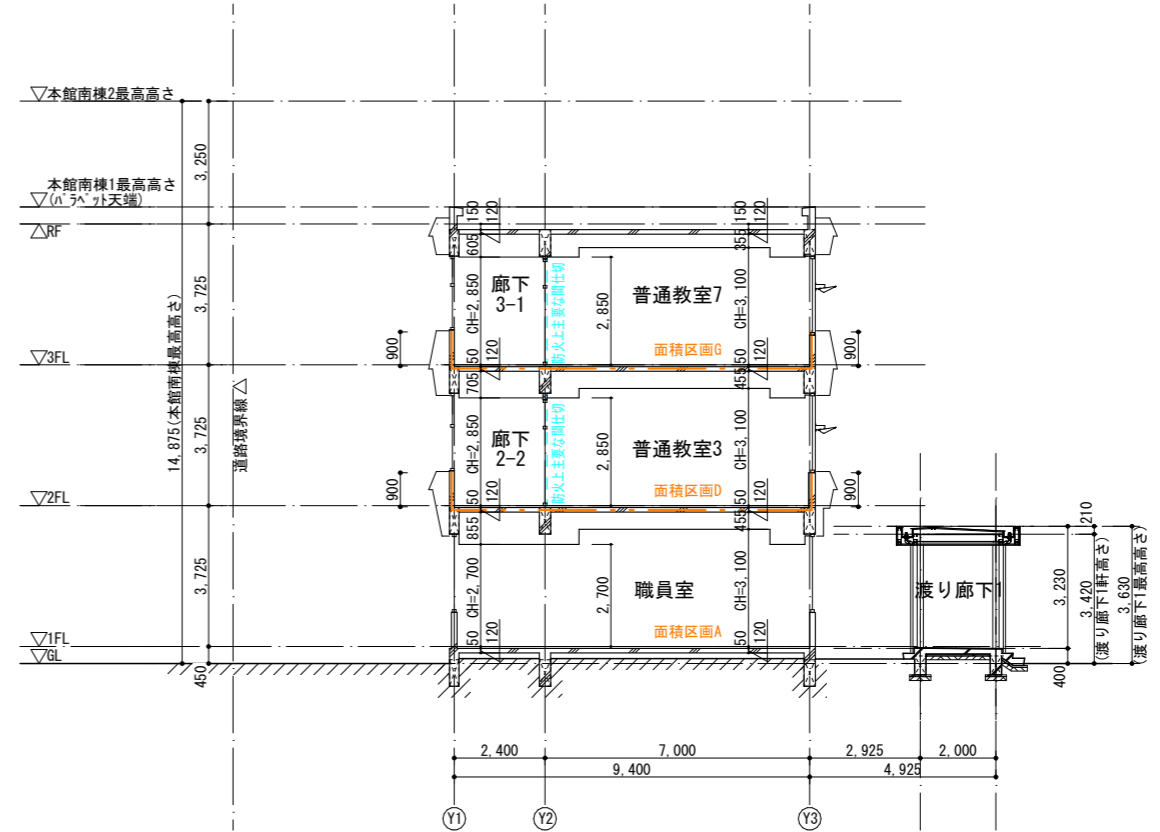
新館(既存建物1)東側立面図

備考	月日	月日	株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2025/03/26	設計	佐藤 信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A-053
	月日	月日	1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	校	佐藤 信	監	松浦 尚亮			図	1/150 (A1) 1/300 (A3)
	月日	月日								表	立面図-3

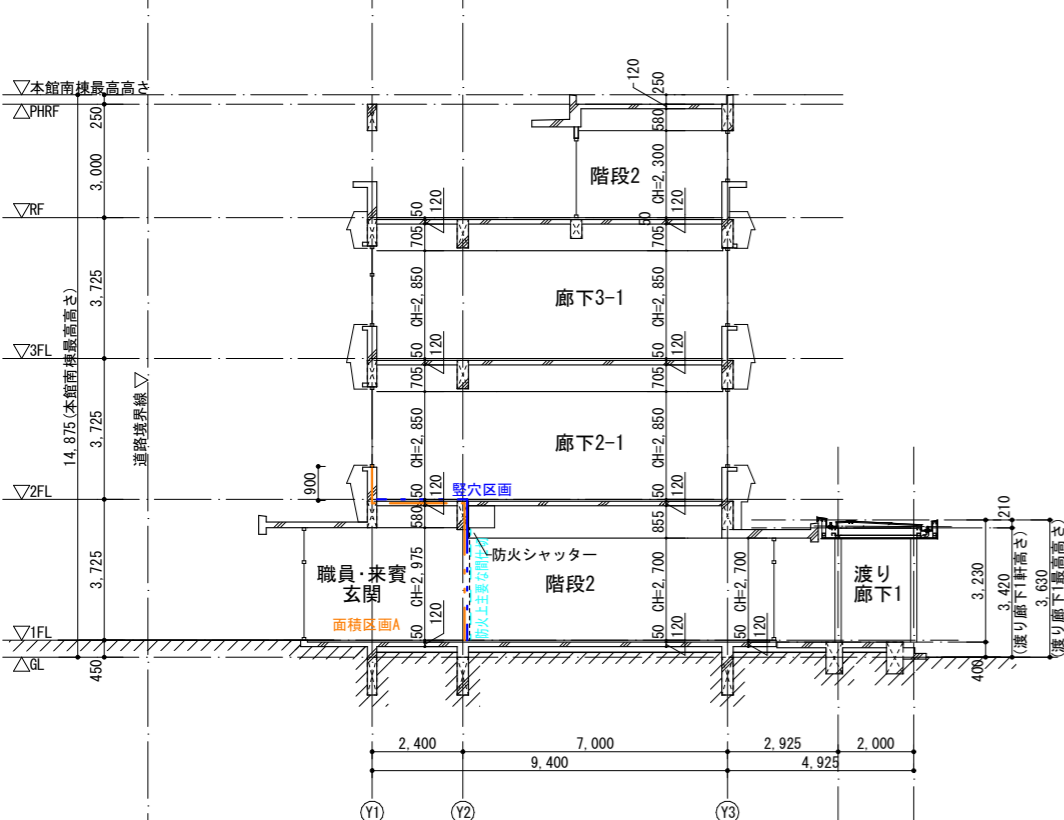
凡例  
 - - - 面積区画  
 - - - 堅穴区画  
 - - - 防火上主要な間仕切り



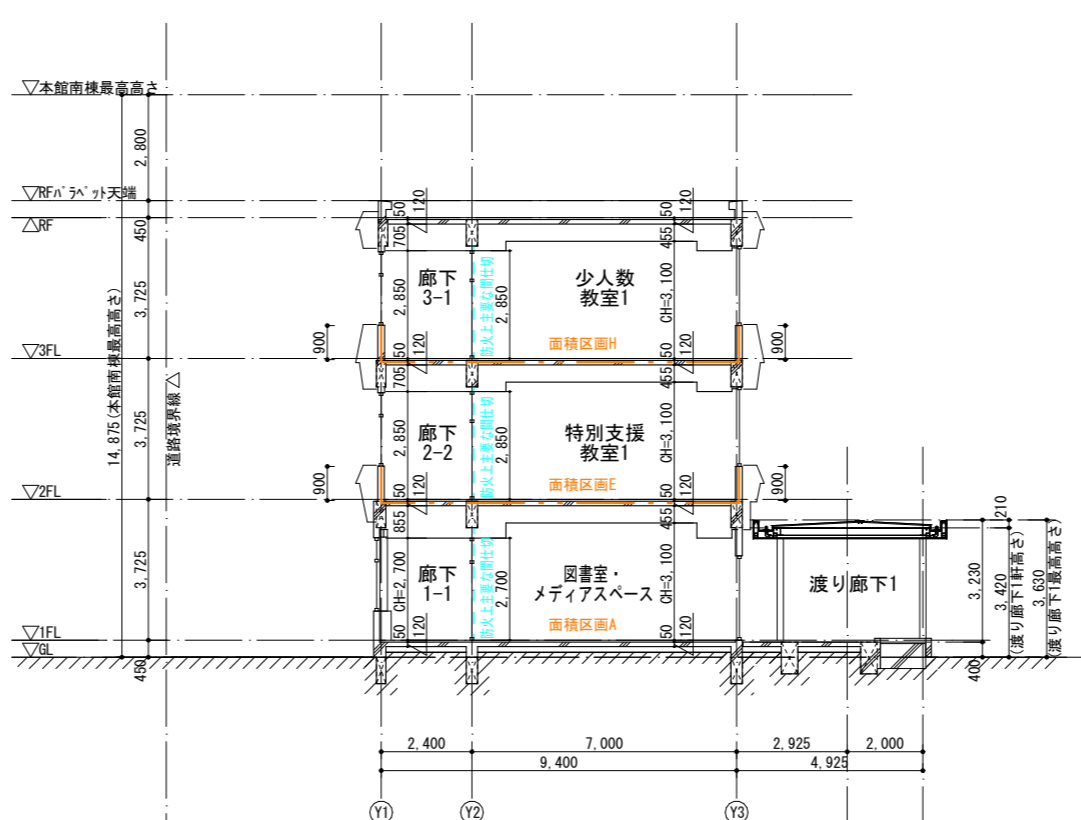
A 断面図 S=1:200



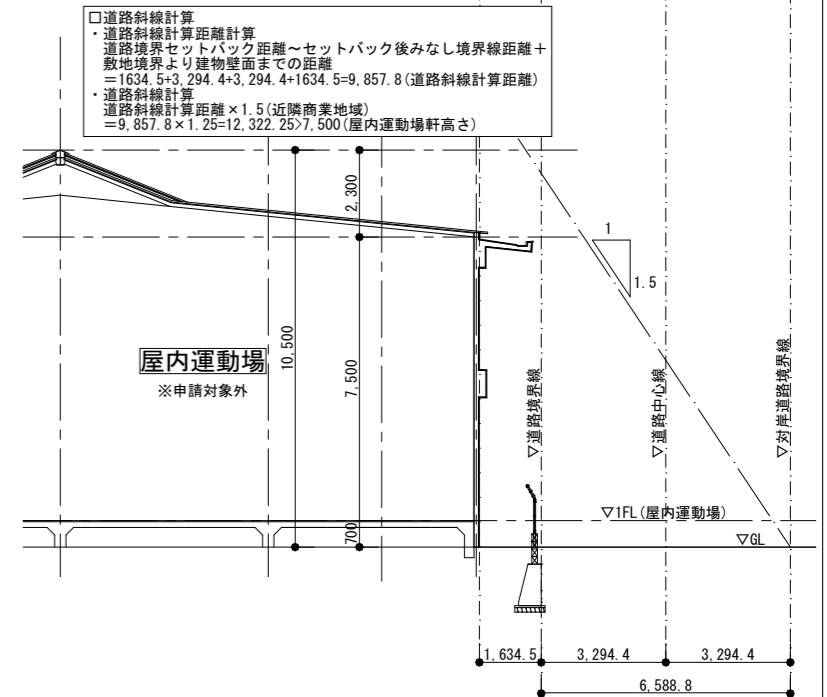
B 断面図 S=1:200



C 断面図 S=1:200



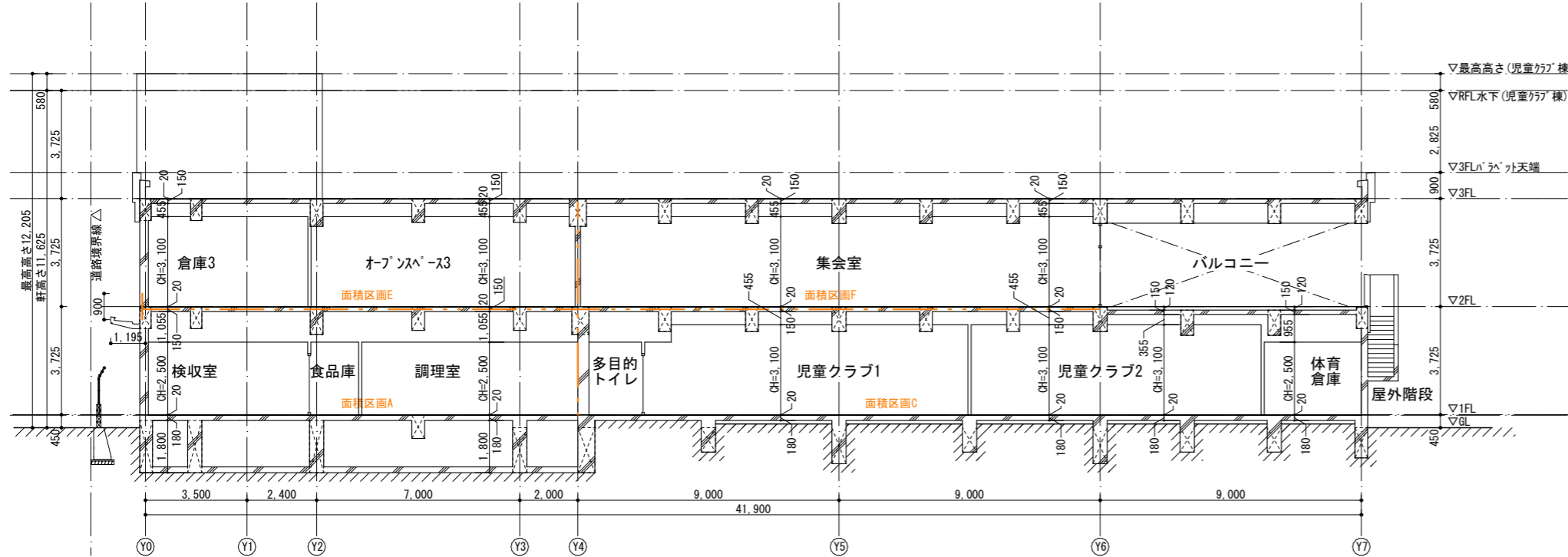
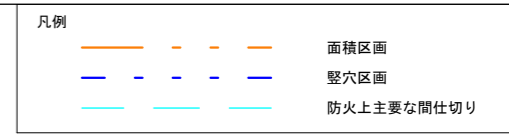
D 断面図 S=1:200



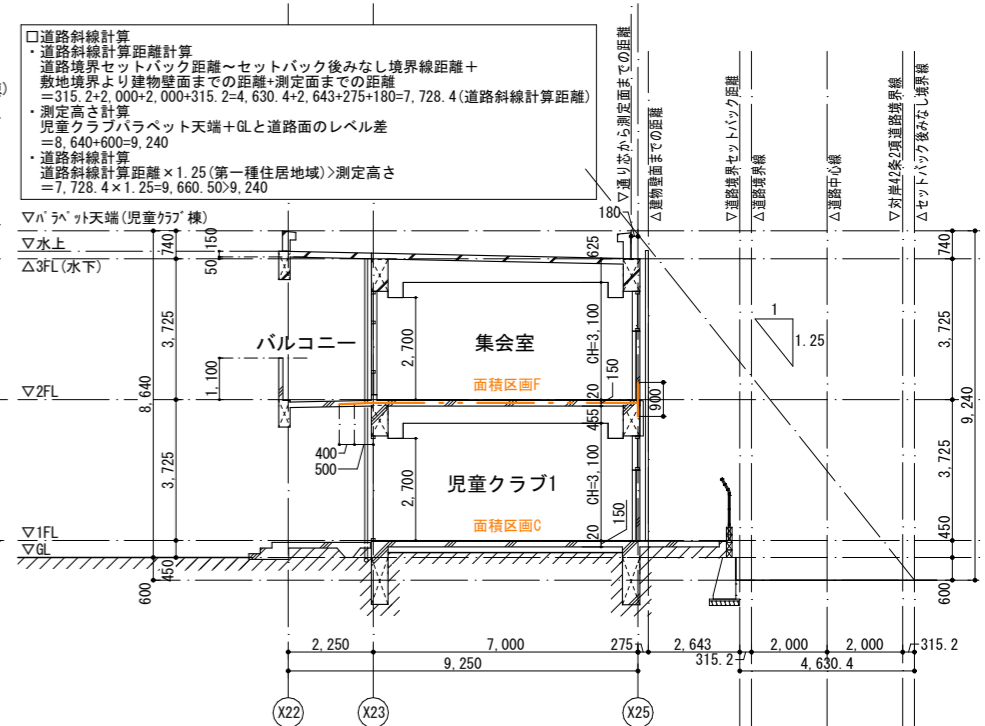
屋内運動場斜線検証断面図 S=1:200

□道路斜線計算  
 ・道路斜線計算距離計算  
 道路境界セットバック距離～セットバック後みなし境界線距離+敷地境界より建物壁面までの距離  
 =1634.5+3,294.4+3,294.4+1634.5=9,857.8(道路斜線計算距離)  
 ・道路斜線計算  
 道路斜線計算距離×1.5(近隣商業地域)  
 =9,857.8×1.25=12,322.25>7,500(屋内運動場軒高さ)

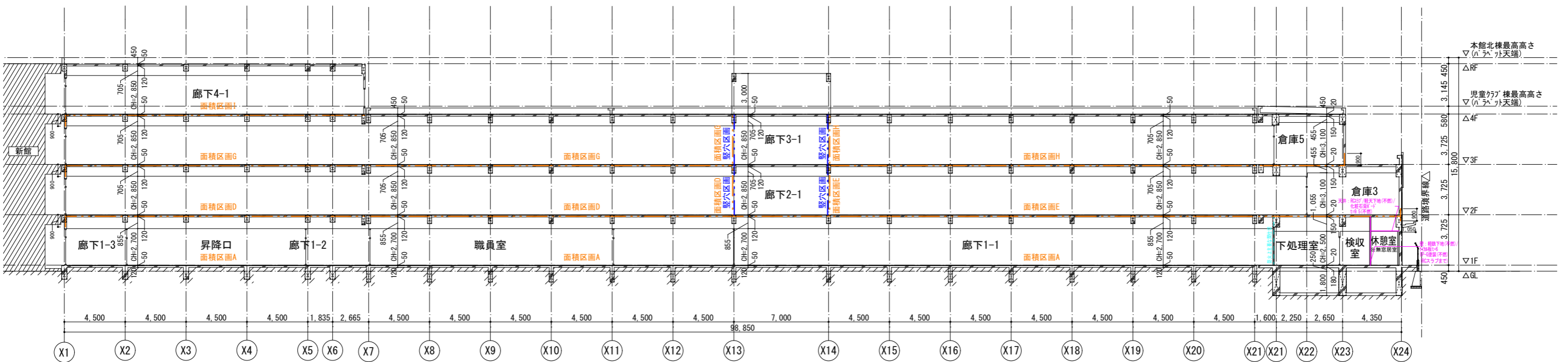
備考	月日	月日	株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2025/03/26	設計	佐藤 信	工事内容	大東市立住道北小学校校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A-054
	月日	月日	1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	校閲	佐藤 信	校閲	伊藤 高基	図面内容	断面図-1	縮尺	1/100(A1) 1/200(A3)



E 断面図 S=1:200



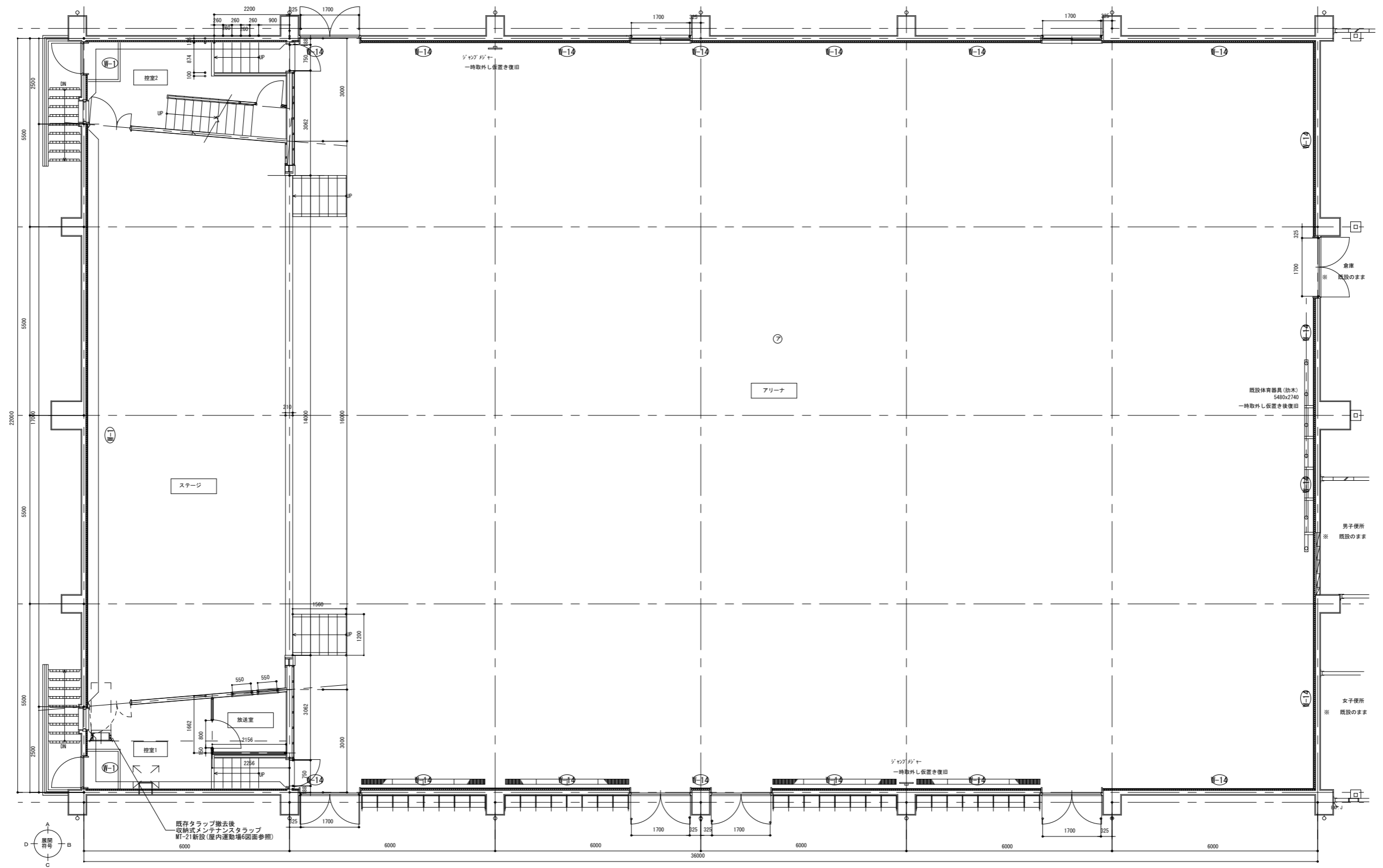
F 断面図 S=1:200



G 断面図 S=1:300

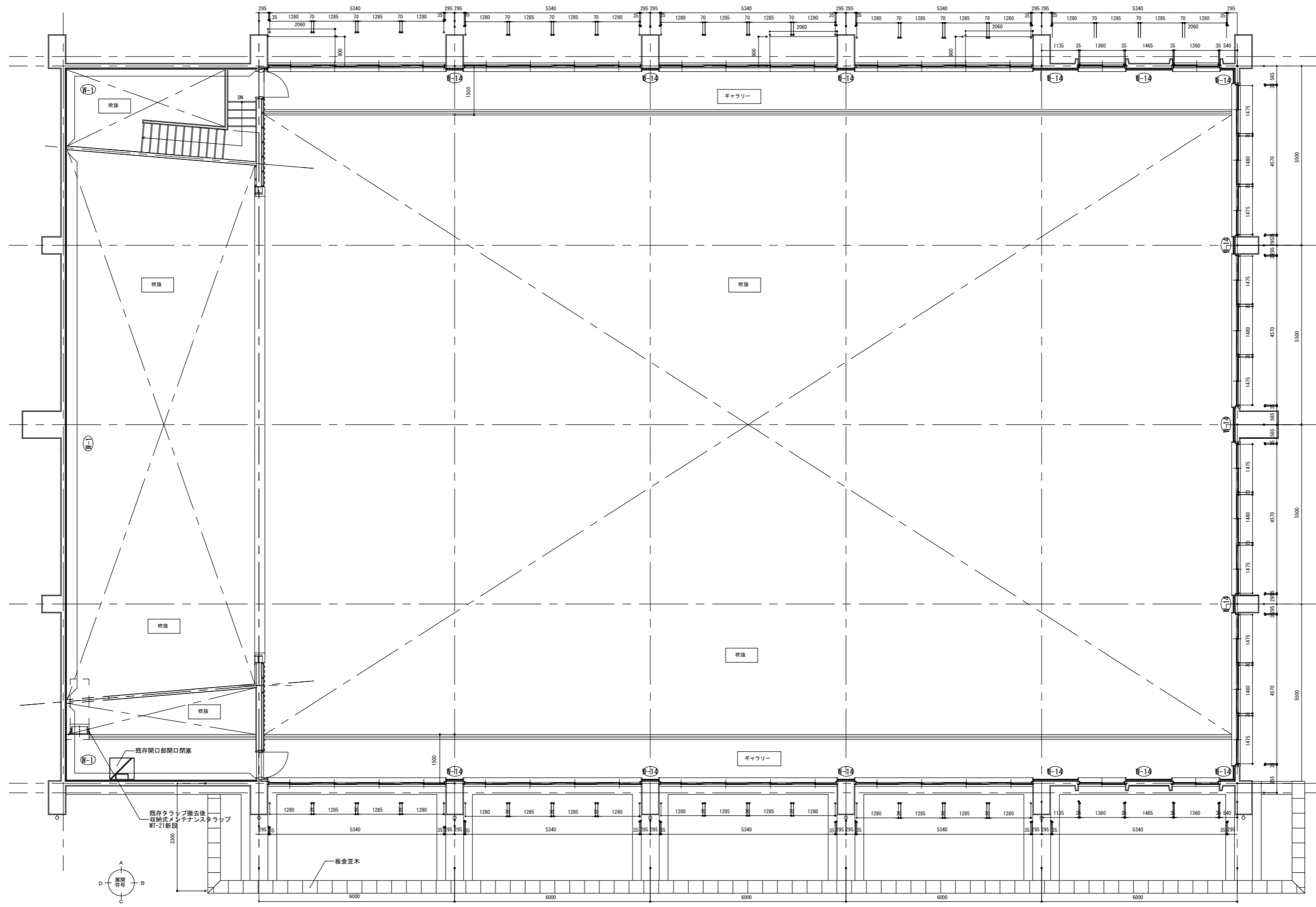
備考	日付	2025/03/26	設計	佐藤 信	大東市立住道北小学校校長寿命化改良工事 (建築工事)	図番	A-055
	日付		作図	伊藤 高基			
設計	株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	概算	伊藤 高基	断面図-2	縮尺	1/150 (A1) 1/300 (A3)

凡例	壁 (W-1)	仕上げ EP-G塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタンボード t=30+PBt=9.5/寒冷紗/	壁 (W-4)	仕上げ EP-G塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタンボード t=30+耐水PBt=12.5/ 7/4酸加シム板 t=6.0/	壁 (W-7)	仕上げ EP-G塗装 下地 珪砂下地調整	壁 (W-10)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/ 寒冷紗パテしごき	壁 (W-13)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/珪砂下地吹付t=30/耐水PBt=12.5/ 7/4酸加シム板 t=6.0	壁 (W-16)	仕上げ 揭示カス 下地 軽鉄下地/珪砂下地吹付t=30/珪砂合板 t=9.0/	方位 東 北 南 西
	壁 (W-2)	仕上げ EP-G塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタンボード t=30+PBt=12.5/ 寒冷紗パテしごき	壁 (W-5)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/珪砂下地吹付t=30/耐水PBt=12.5/ 7/4酸加シム板 t=6.0/	壁 (W-8)	仕上げ 揭示カス 下地 軽鉄下地/珪砂合板 t=9.0/	壁 (W-11)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/耐水PBt=12.5/7/4酸加シム板 t=6.0	壁 (W-14)	仕上げ 化粧有効合板 t=9 (珪砂合板) 目透かし張り (シナーブ) 下地 既存珪砂下地調整/炭酸カルシウム板 t=30+PBt=12.5/ 木崩れ+ガラスウール充填 t=21/	壁 (W-15)	仕上げ 既存のまま 下地 既存のまま	
	壁 (W-3)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地 (50型) /珪砂下地吹付t=30/ PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき/	壁 (W-6)	仕上げ EP-G塗装 下地 既存珪砂下地調整	壁 (W-9)	仕上げ 揭示カス 下地 GL工法/珪砂合板 t=9.0/	壁 (W-12)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/耐水PBt=21+21/寒冷紗パテしごき					



備考	月日	月日	月日	月日	株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2025/03/26	設計	佐藤 信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A-056
	月日	月日	月日	月日	1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	校務	佐藤 信	監理	松浦 尚亮	図面内容	屋内運動場1	縮尺	1/60 (A1) 1/120 (A3)

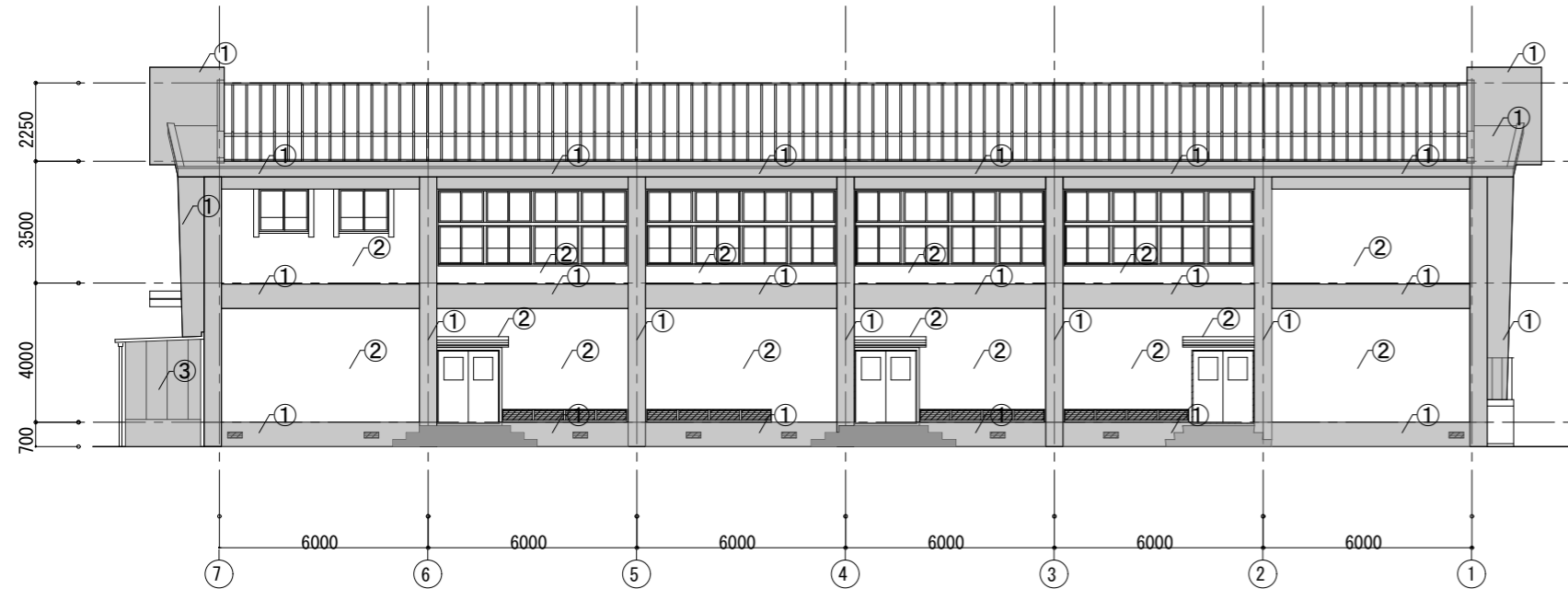
凡例	壁 (W-1)	仕上げ EP-G塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -D <sup>®</sup> t=30+PBt=9.5/寒冷紗/	壁 (W-4)	仕上げ EP-G塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -D <sup>®</sup> t=30+耐水PBt=12.5/ /イ酸カルシウム板t=6.0/	壁 (W-7)	仕上げ EP-G塗装 下地 珪砂下地調整	壁 (W-10)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/ 寒冷紗パテしごき	壁 (W-13)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/リクソフォーム吹付t=30/耐水PBt=12.5/ /イ酸カルシウム板t=6.0	壁 (W-16)	仕上げ 掲示カラス 下地 軽鉄下地/リクソフォーム吹付t=30/珪砂合板t=9.0/	方位 東 北 南 西
	壁 (W-2)	仕上げ EP-G塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -D <sup>®</sup> t=30+PBt=12.5/ 寒冷紗パテしごき	壁 (W-5)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/リクソフォーム吹付t=30/耐水PBt=12.5/ /イ酸カルシウム板t=6.0/	壁 (W-8)	仕上げ 掲示カラス 下地 軽鉄下地/珪砂合板t=9.0/	壁 (W-11)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/耐水PBt=12.5/イ酸カルシウム板t=6.0	壁 (W-14)	仕上げ 化粧有効合板t=9(シ合板)目透かし張り(シナーブ) 下地 既存珪砂下地調整/炭酸カルシウム板t=30+PBt=12.5/ 木屑練+グラスウール充填t=21/	壁 (W-15)	仕上げ 既存のまま 下地 既存のまま	
	壁 (W-3)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地(50型)/リクソフォーム吹付t=30/ PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき/	壁 (W-6)	仕上げ EP-G塗装 下地 既存珪砂下地調整	壁 (W-9)	仕上げ 掲示カラス 下地 GL工法/珪砂合板t=9.0/	壁 (W-12)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/耐水PBt=21+21/寒冷紗パテしごき					



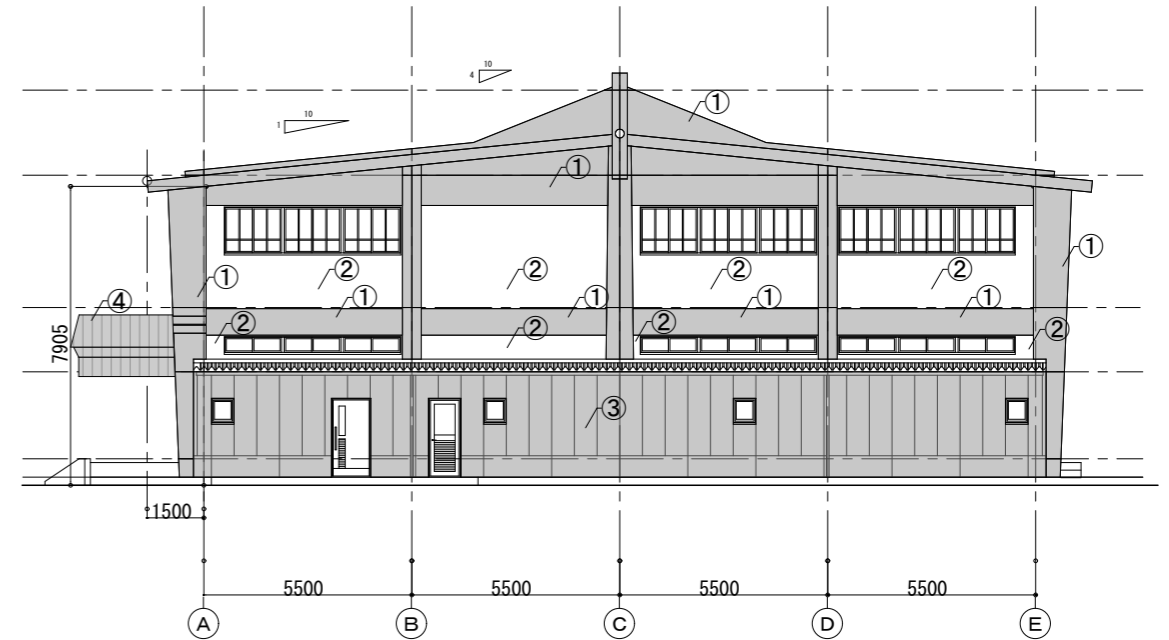
備考	月日	月日	株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates 1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	作成	2025/03/26	設計	佐藤 信	大東市立住道北小学校校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A-056-2
	月日	月日		校舎	佐藤 信	監理	松浦 尚亮		縮尺	1/ 60 (A1) 1/120 (A3)
	月日	月日								屋内運動場2

凡例

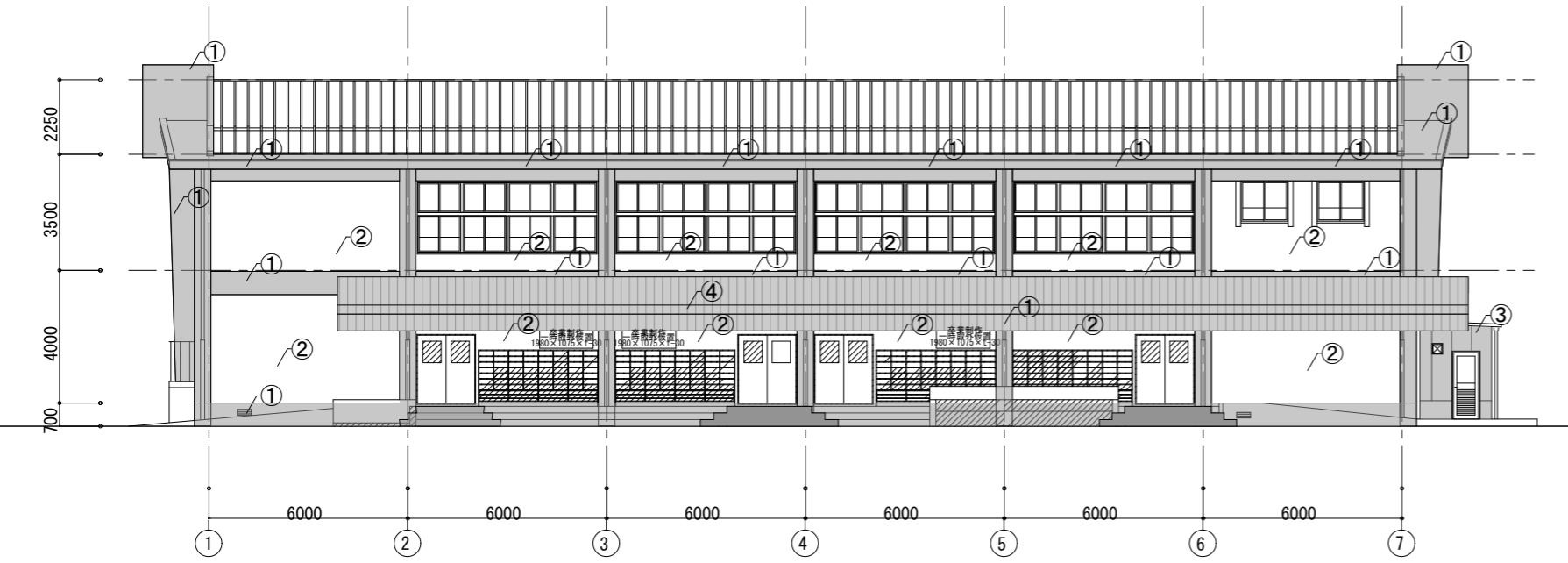
- ① 外壁: 既存外壁高圧洗浄/下地調整/弾性複層塗材E吹付(※マンセル値: N4前後)
- ② 外壁: 既存外壁高圧洗浄/下地調整/弾性複層塗材E吹付(※マンセル値: N9前後)
- ③ 外壁: 既存ALC高圧洗浄/下地調整/弾性複層塗材E吹付(※マンセル値: N4前後)
- ④ 外壁: L-40×40×3@455/耐水コンパネt=12/アスファルトルーフィング940/カラーGL鋼板t=0.4平葺き(※マンセル値: 5Y7/1前後)



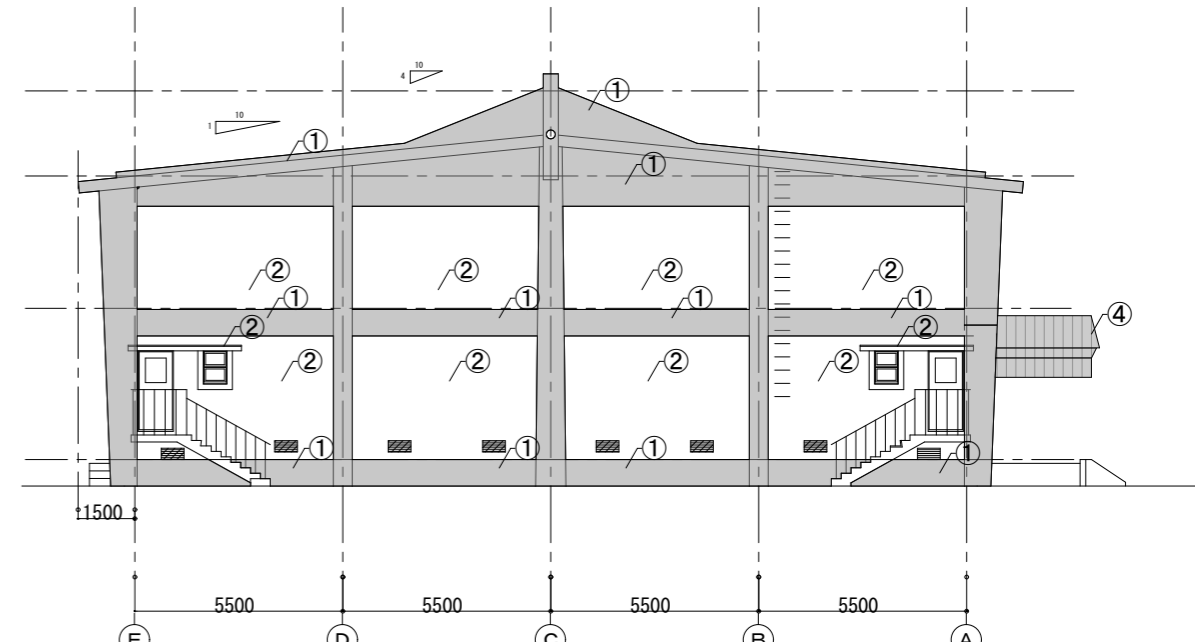
東立面図 1:200



南立面図 1:200

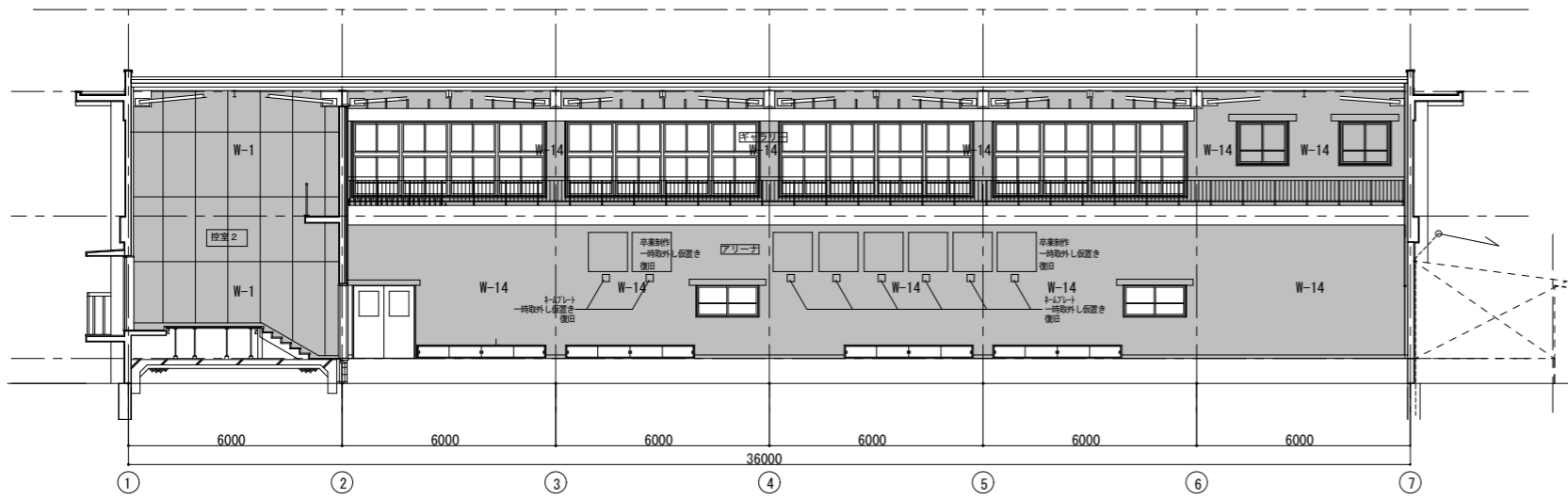


西立面図 1:200

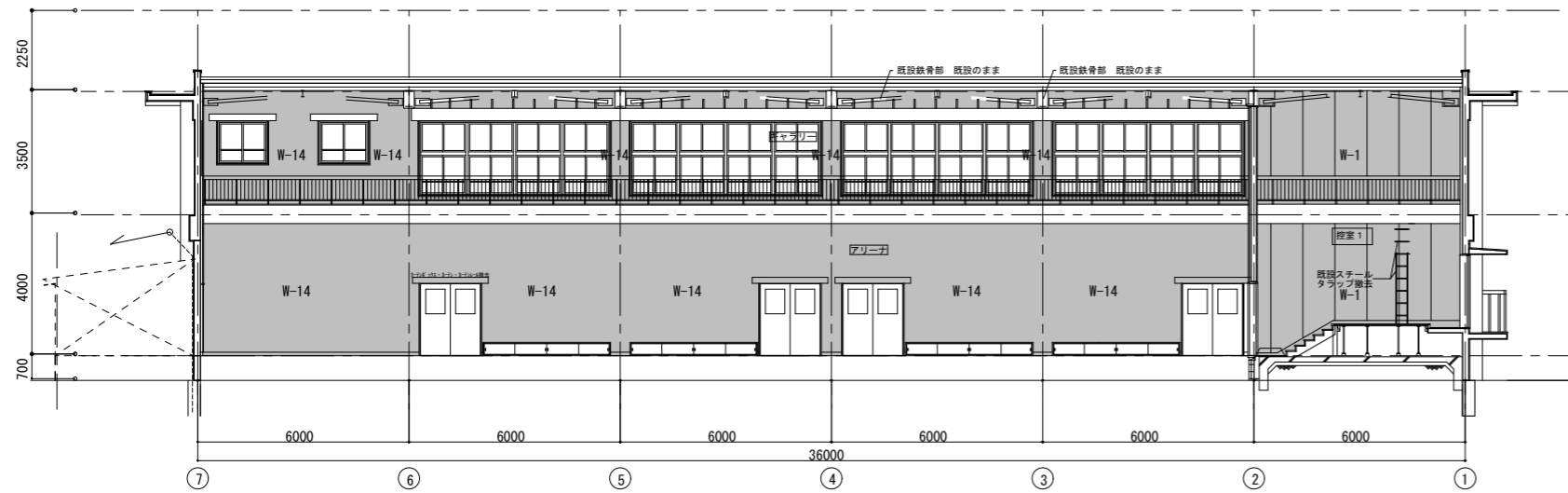


北立面図 1:200

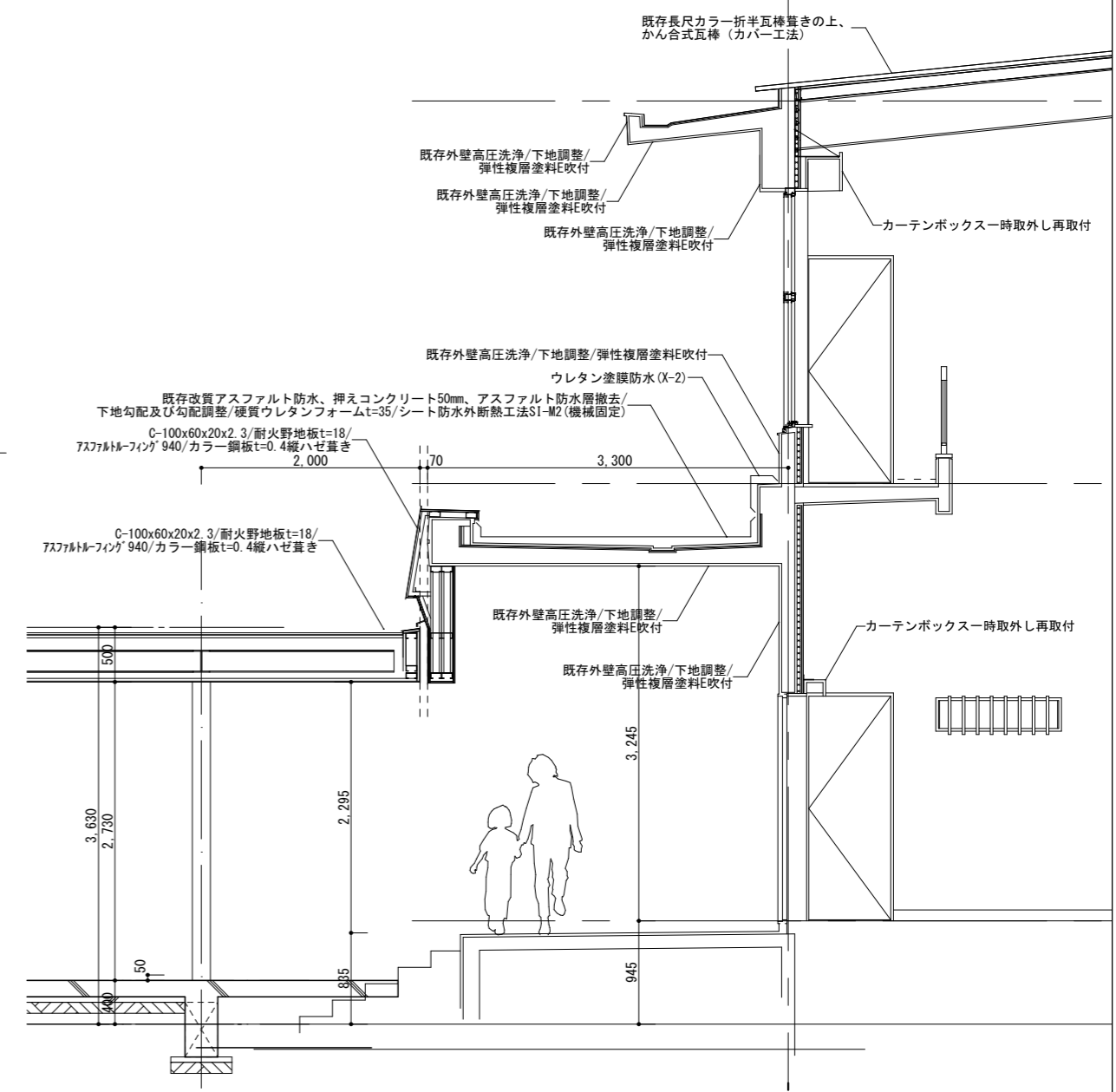
備考	月日	月日	株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2025/03/26	設計	佐藤 信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A-056-3
	月日	月日	1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	校舎	佐藤 信	建築	松浦 尚亮	図面内容	屋内運動場3	備考	-



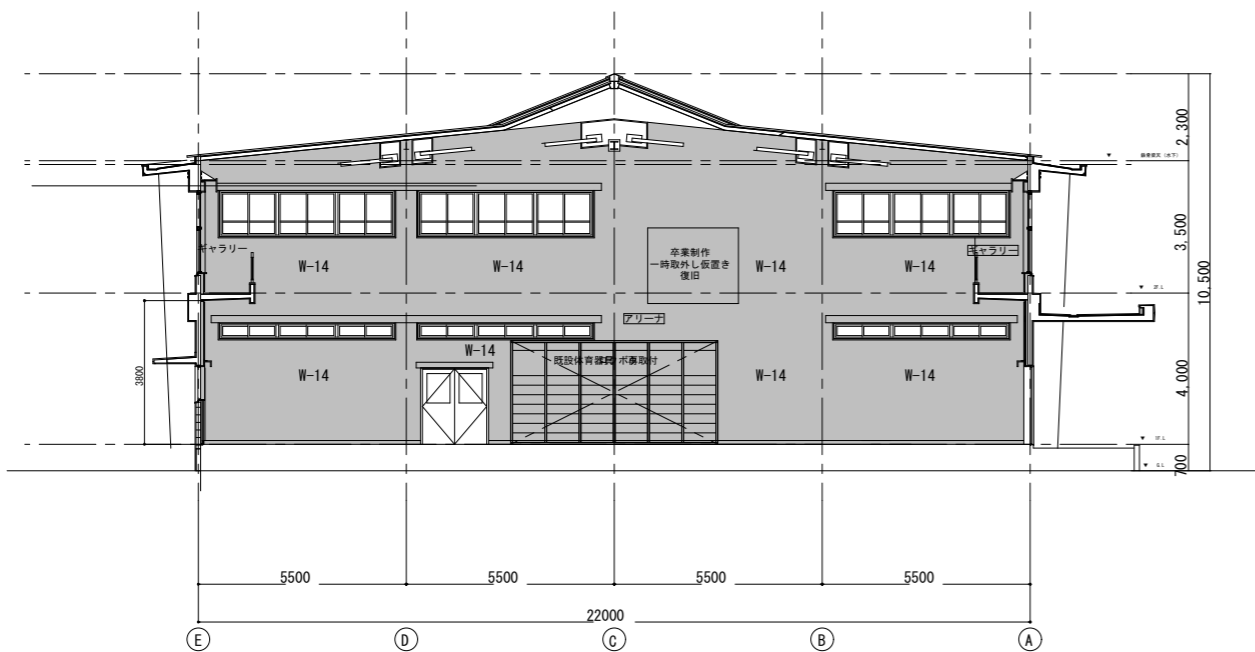
A面 1:200



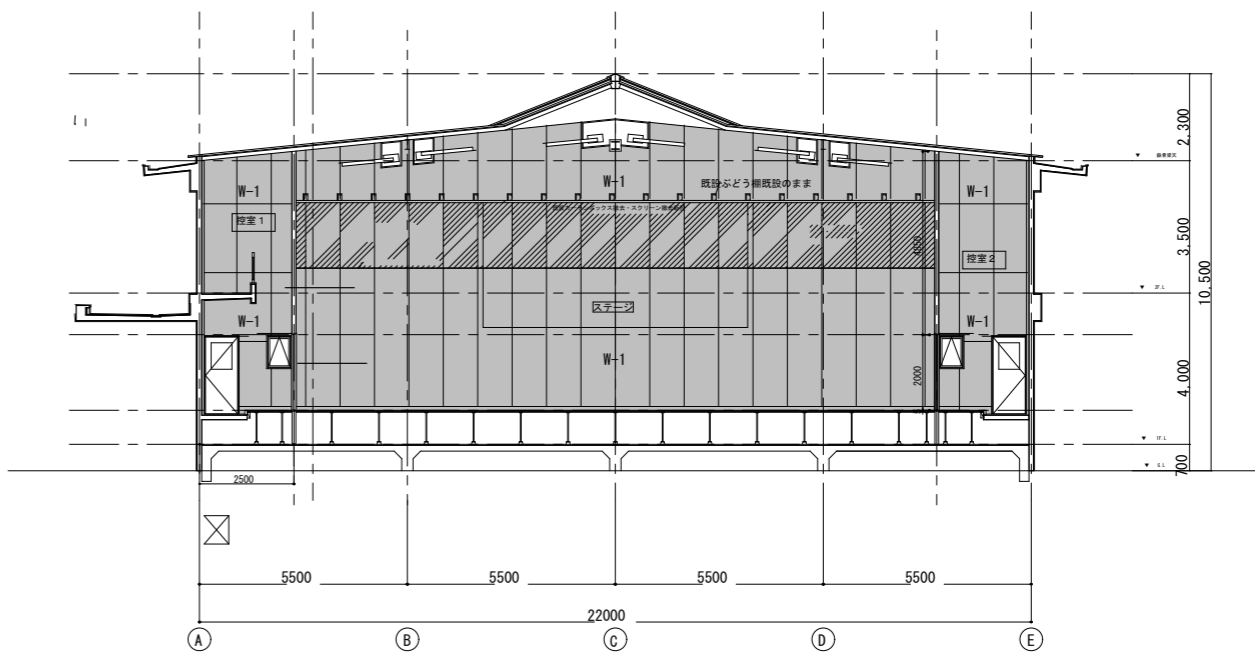
C面 1:200



屋内運動場断面詳細図 1:60 (A3)

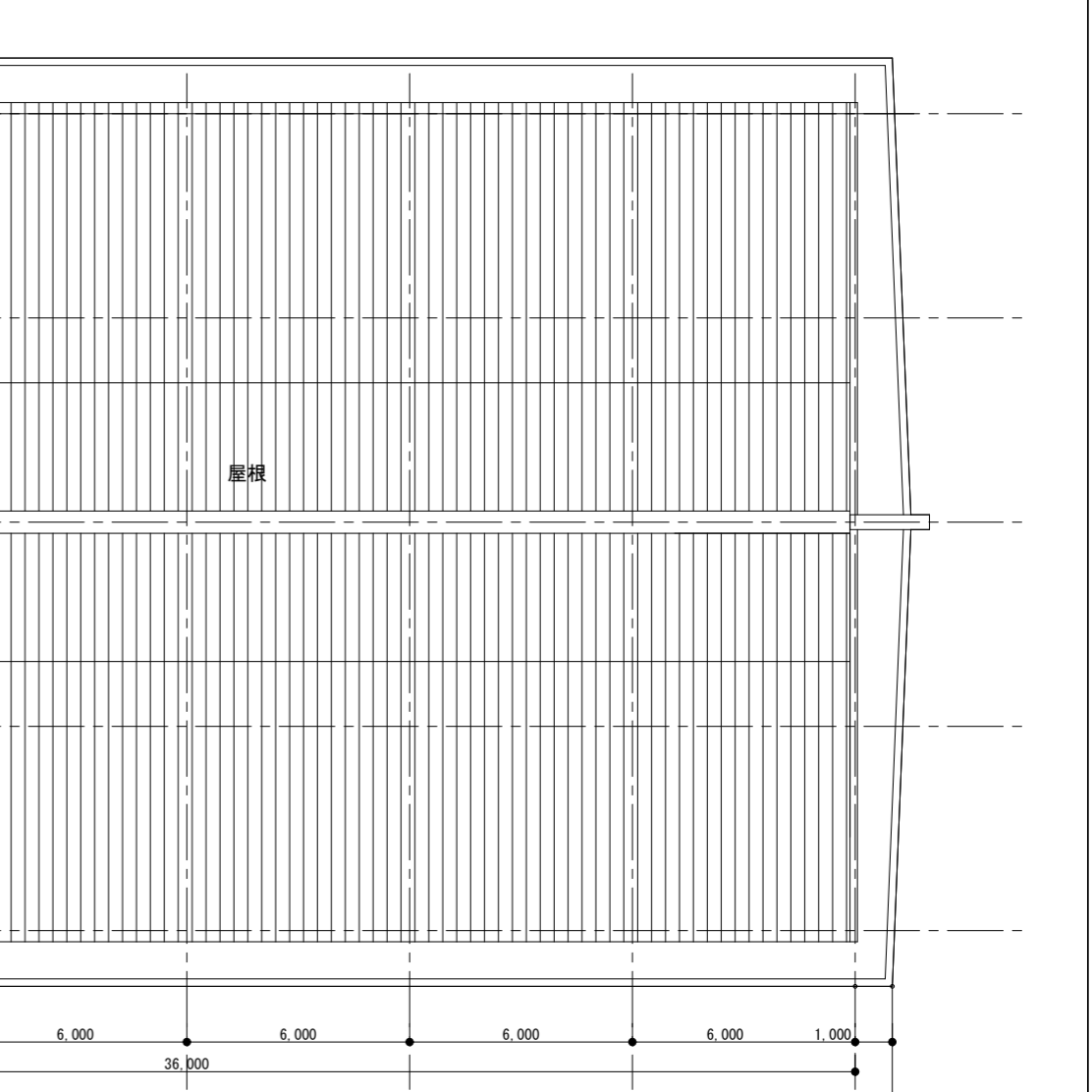
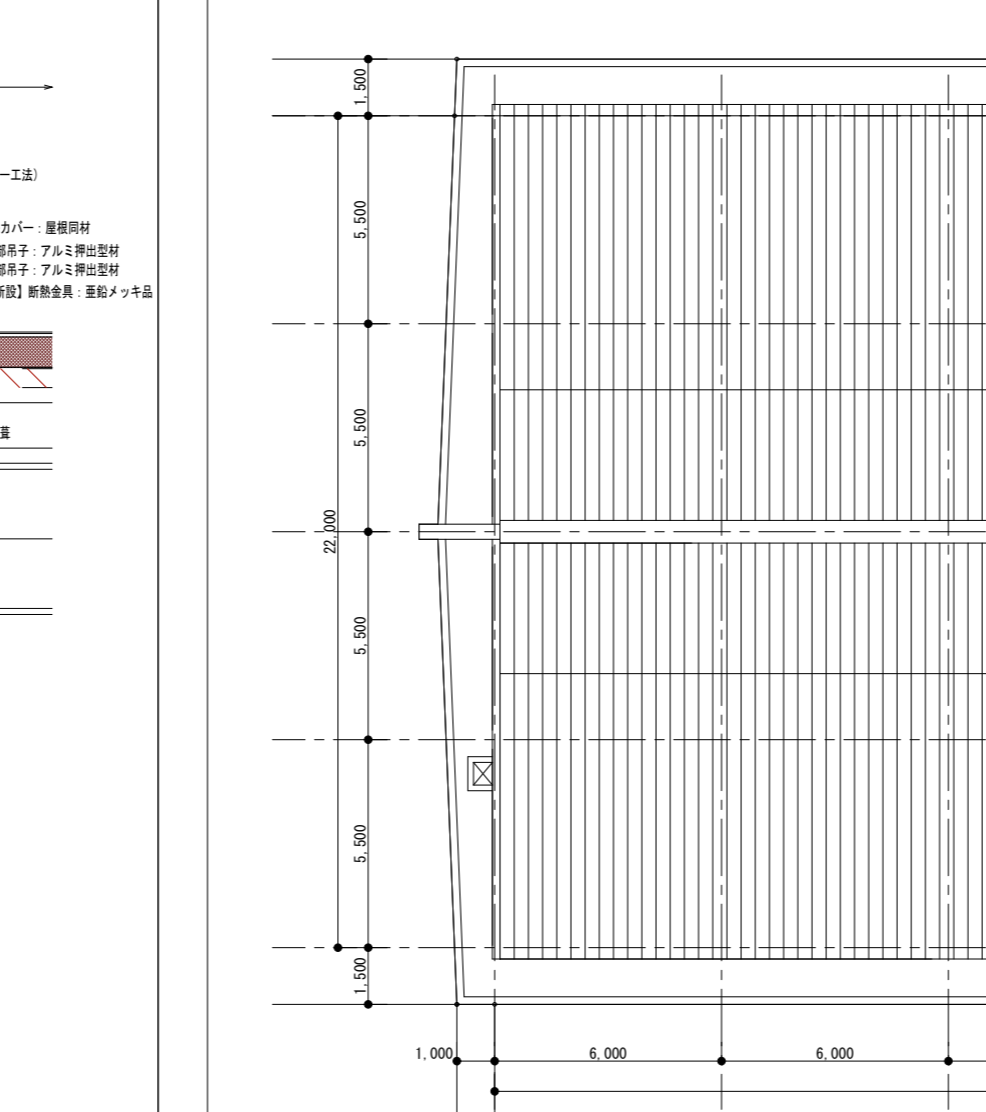
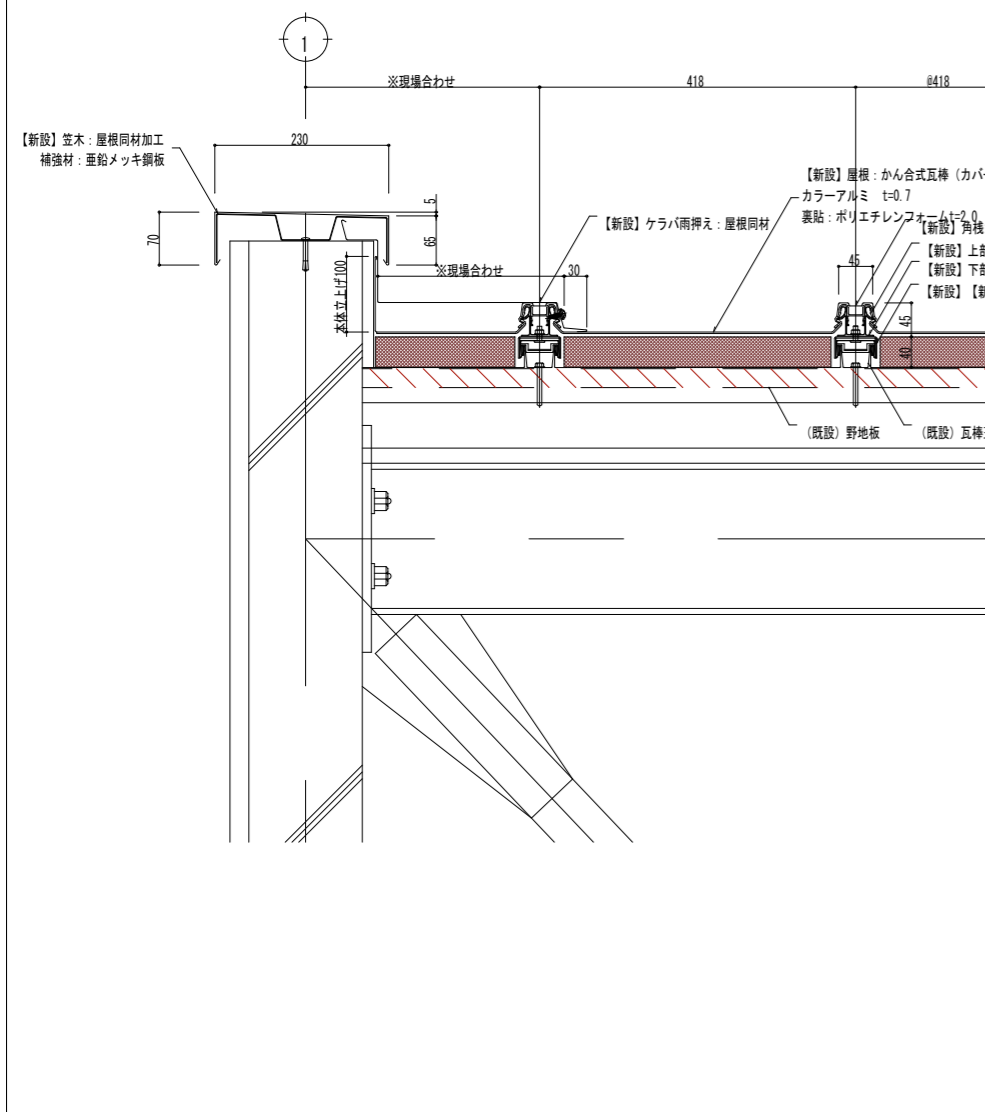
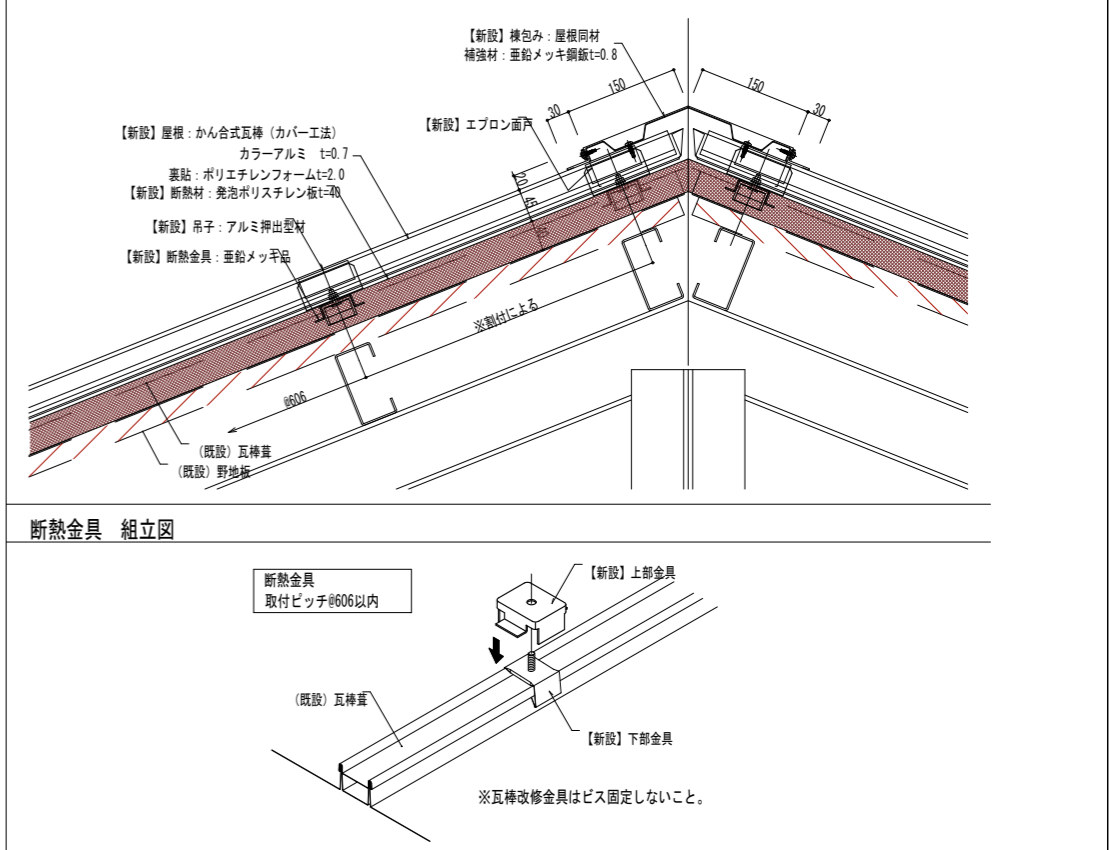
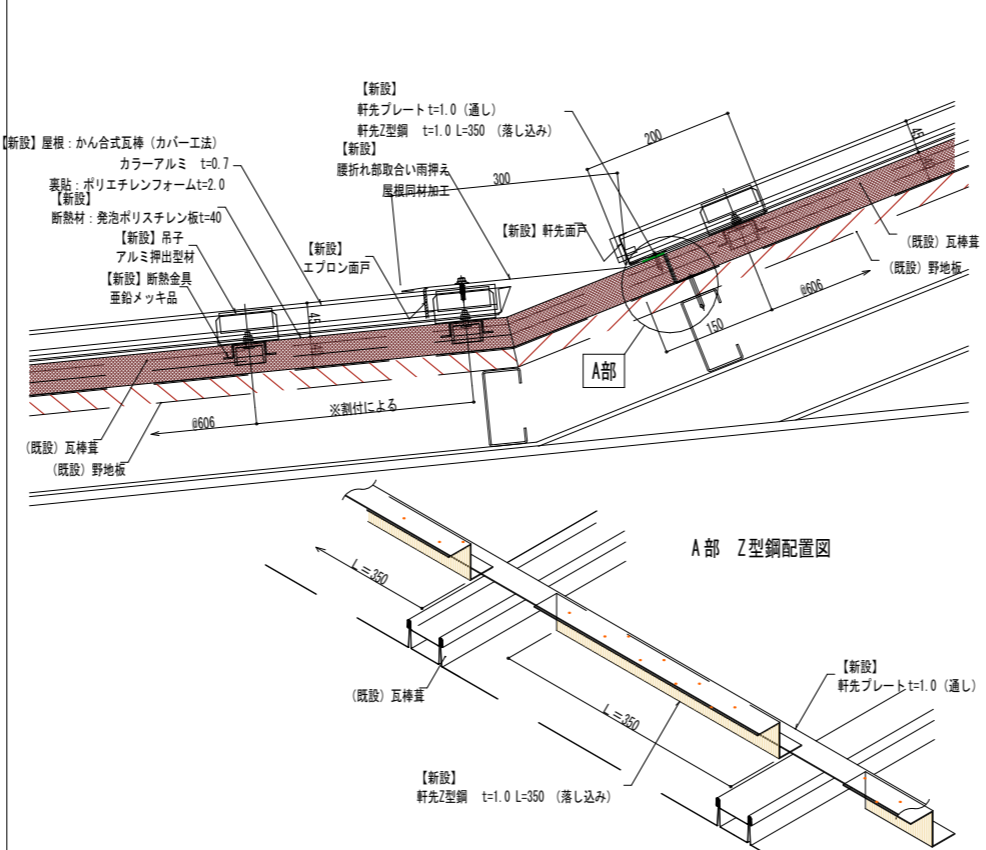
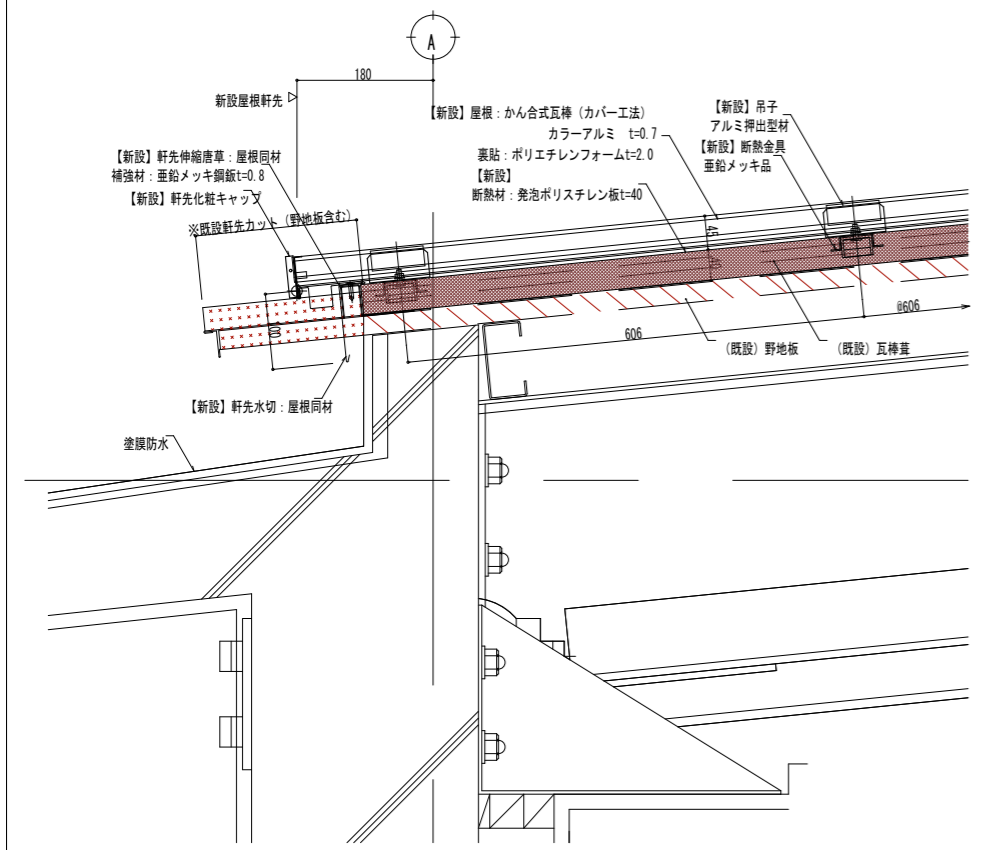


B面 1:200

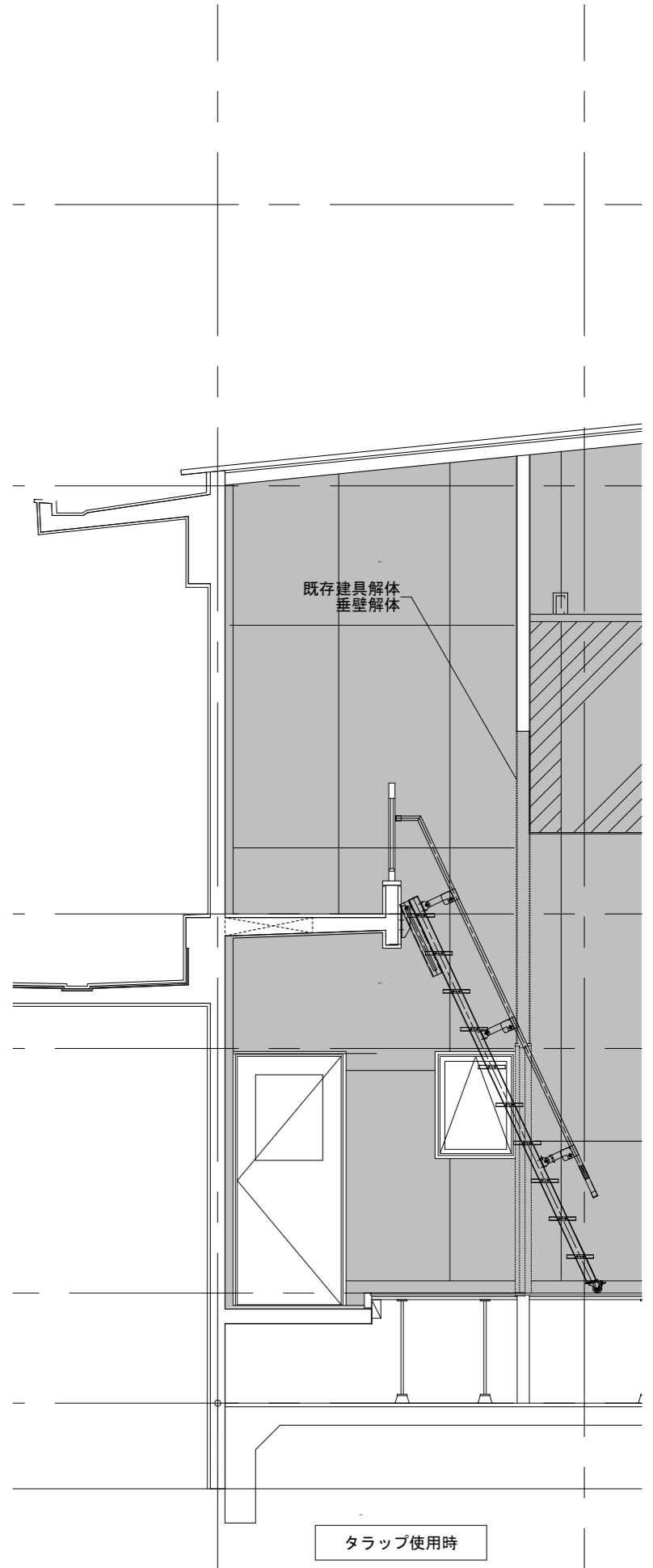
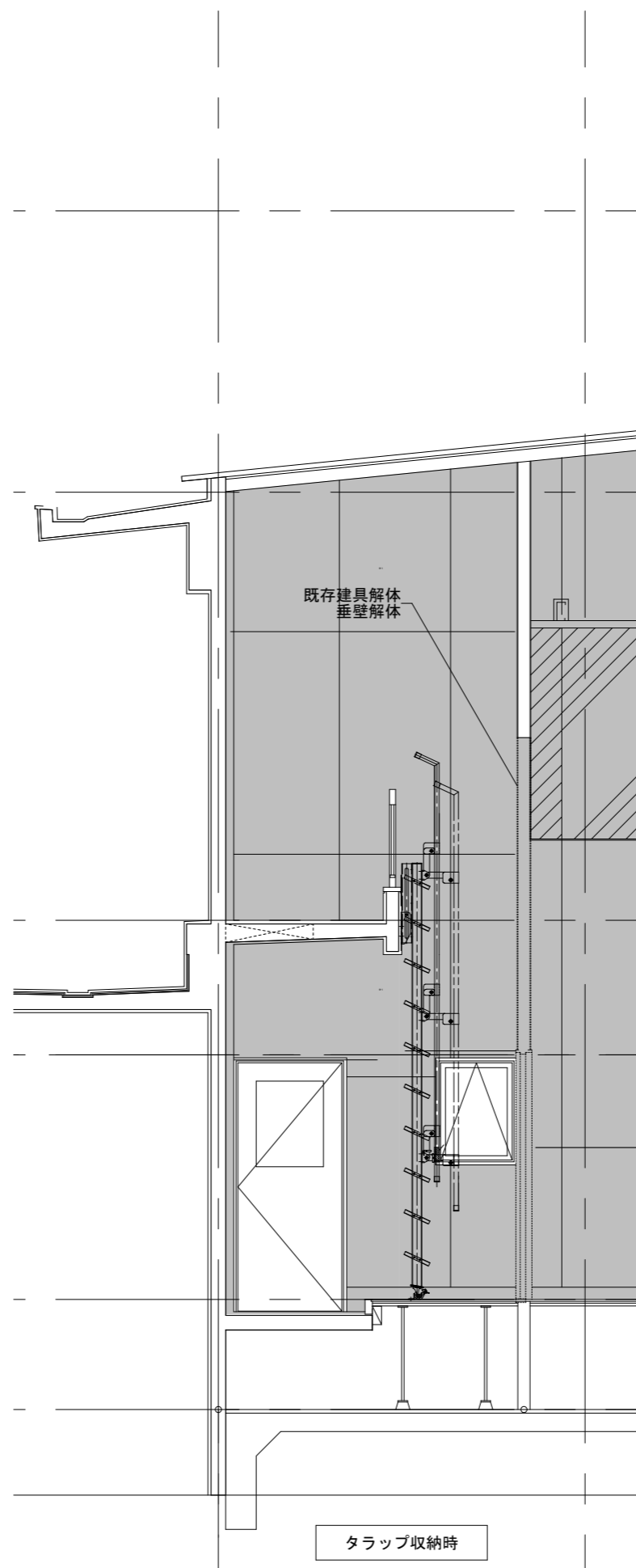
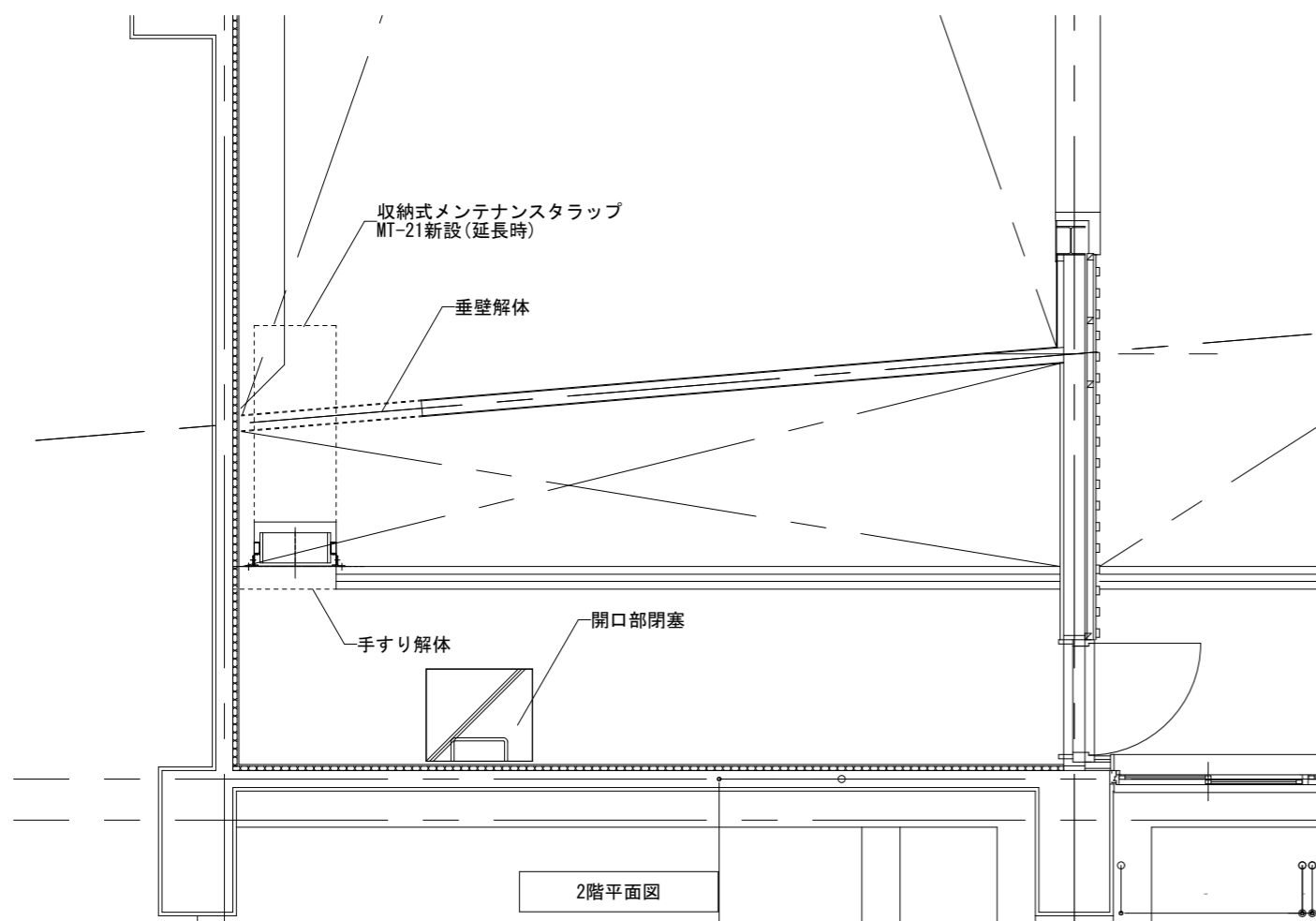
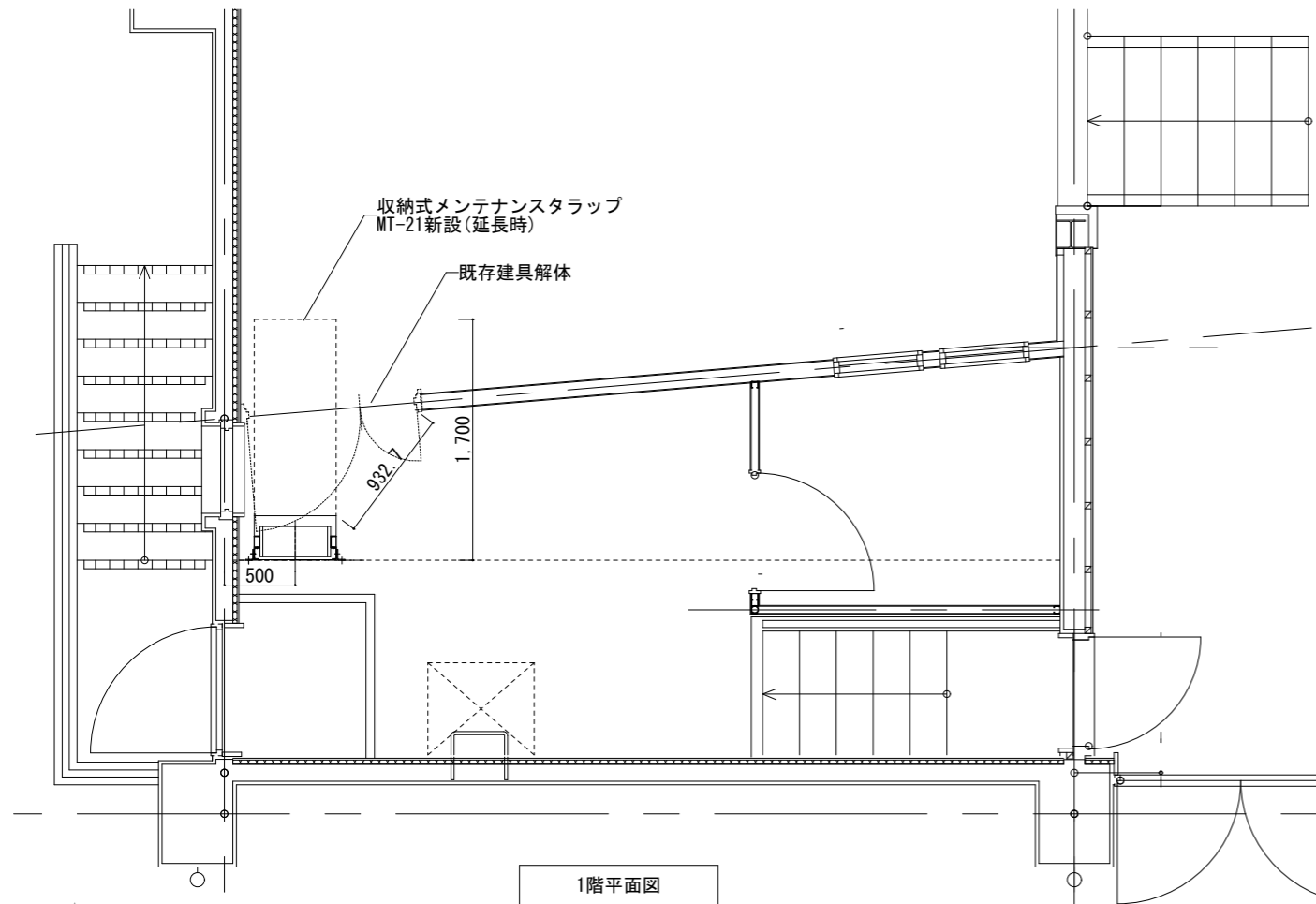


D面 1:200

備考	月日		月日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作	2025/03/26	設計	佐藤 信	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図	A-056-4	
	月日		月日			1級建築士 佐藤 信 第362177号	監	佐藤 信	監		松浦 尚亮	屋	屋内運動場4
	月日		月日			1級建築士事務所 第1-60097号							

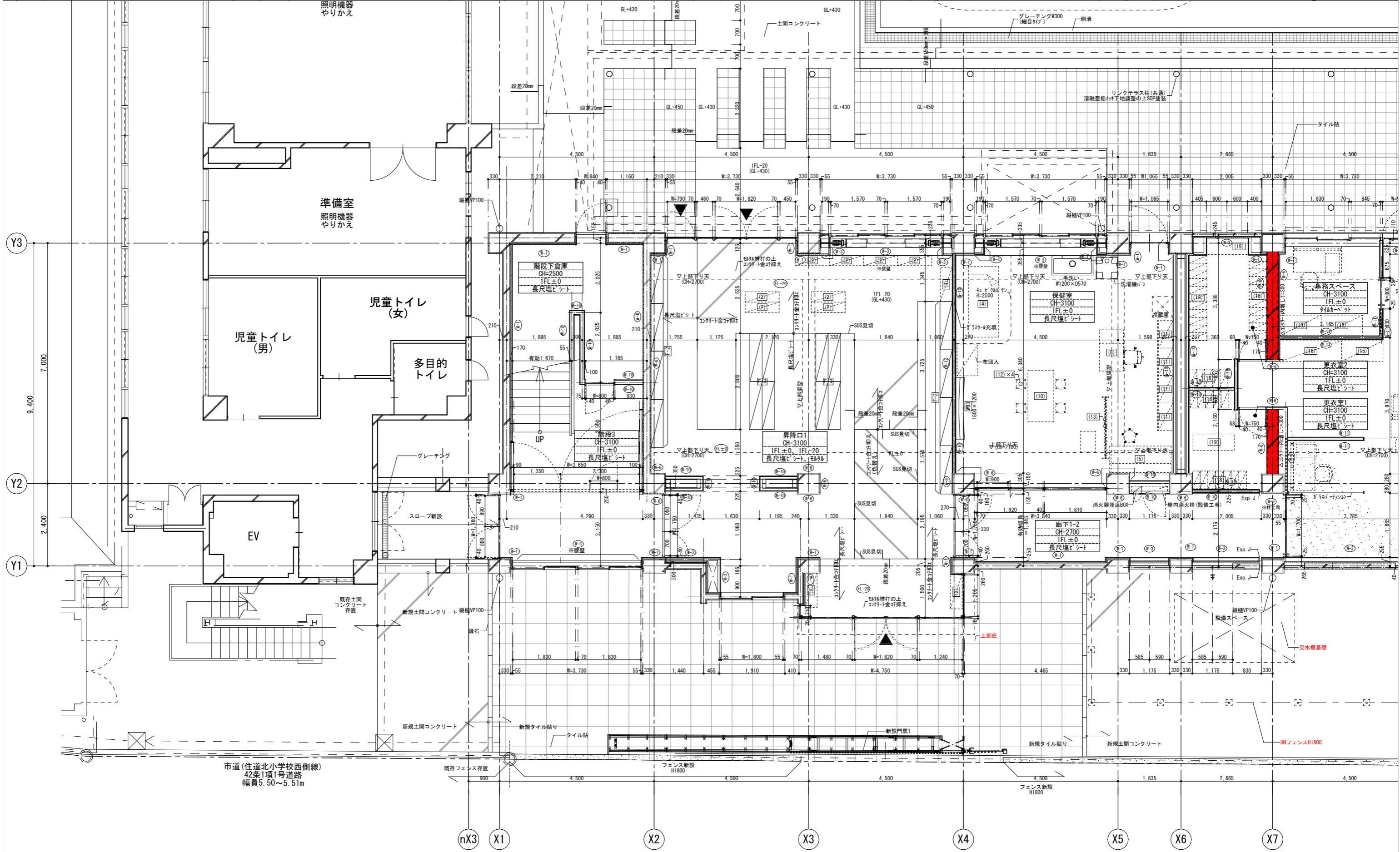


月日 月日 月日	月日 月日 月日	株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates 1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	作成 2025/03/26 校核 佐藤 信 設計 佐藤 信 監理 松浦 尚亮	大東市立住道北小学校校長寿命化改良工事 (建築工事) 屋内運動場5	図番 A-056-5 備考 -
----------------	----------------	---	---	--------------------------------------	--------------------



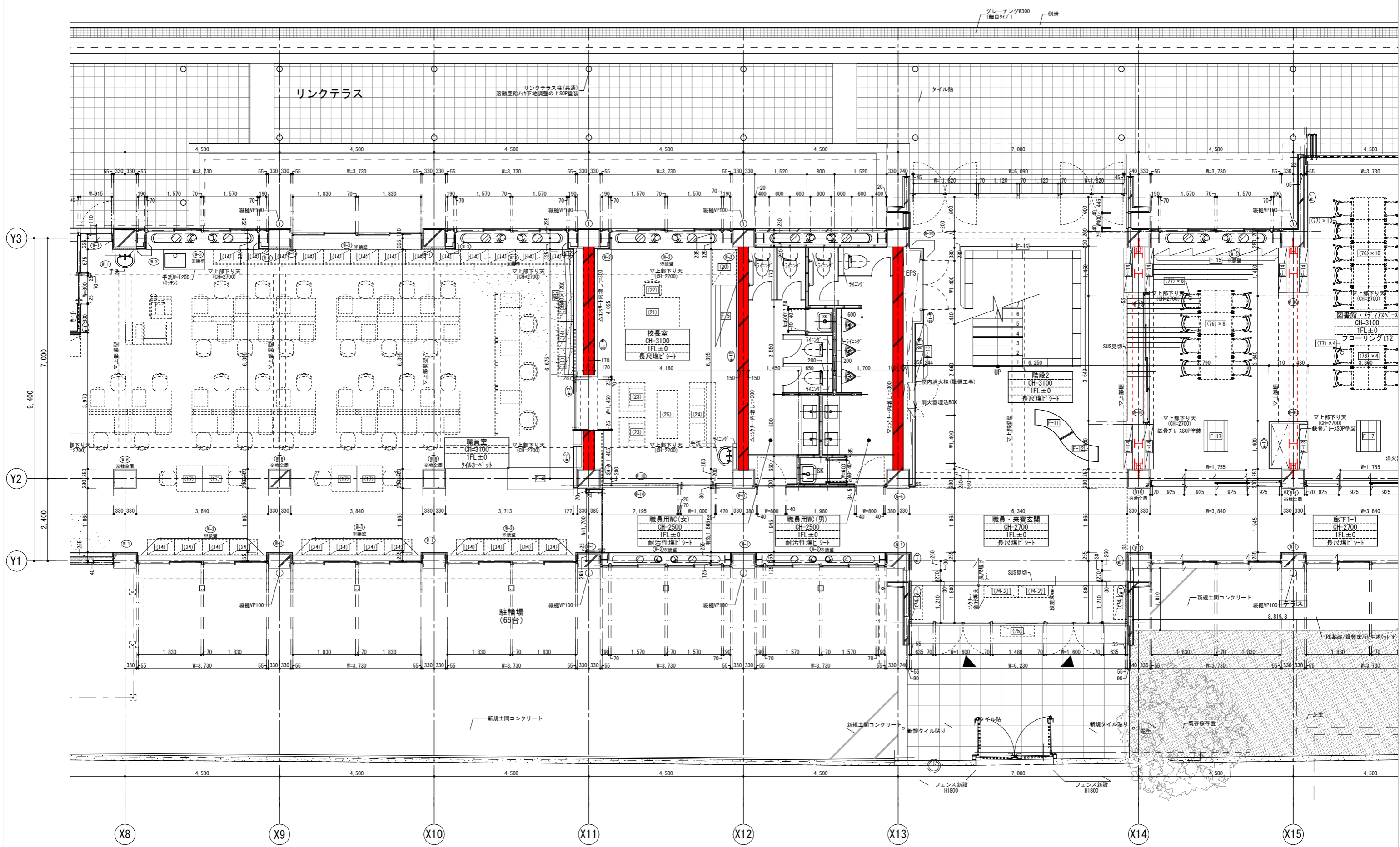
月日		月日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2025/03/26	設計	佐藤 信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A-056-6
備考		月日		1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	校舎	佐藤 信	監理	松浦 尚亮	図面内容	屋内運動場6	縮尺	1/25 (A1) 1/50 (A3)

凡例	壁 (W-1)	仕上げ EP-G塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -t' t=30+PBt=9.5/寒冷紗/	壁 (W-4)	仕上げ EP-G塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -t' t=30+耐水PBt=12.5/ 7/酸加シム板t=6.0/	壁 (W-7)	仕上げ EP-G塗装 下地 珪砂下地調整	壁 (W-10)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/ 寒冷紗パテしごき	壁 (W-13)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/珪砂下地調整/耐水PBt=12.5/ 7/酸加シム板t=6.0	壁 (W-16)	仕上げ 提示カス 下地 軽鉄下地/珪砂下地調整/吹付t=30/珪砂合板t=9.0/	方位 東 北 南 西
	壁 (W-2)	仕上げ EP-G塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -t' t=30+PBt=12.5/ 寒冷紗パテしごき	壁 (W-5)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/珪砂下地調整/吹付t=30/耐水PBt=12.5/ 7/酸加シム板t=6.0/	壁 (W-8)	仕上げ 提示カス 下地 軽鉄下地/珪砂合板t=9.0/	壁 (W-11)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/耐水PBt=12.5/7/酸加シム板t=6.0	壁 (W-14)	仕上げ 化粧有効合板t=9 (珪砂合板) 目透かし張り (シチナー) 下地 既存珪砂下地調整/炭酸カルシウム板t=30+PBt=12.5/ 木崩れ+7/アスルト充填t=21/	壁 (W-15)	仕上げ 提示カス 下地 既存のまま	
	壁 (W-3)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地 (50型) /珪砂下地調整/吹付t=30/ PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき/	壁 (W-6)	仕上げ EP-G塗装 下地 既存珪砂下地調整	壁 (W-9)	仕上げ 提示カス 下地 GL工法/珪砂合板t=9.0/	壁 (W-12)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/耐水PBt=21+21/寒冷紗パテしごき	壁 (W-15)	仕上げ 提示カス 下地 既存のまま			



備考	月日	月日	月日	月日	株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤 信	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事 (建築工事)	図番	A 057
					1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	校舎		校舎	中元 翔一	平面詳細図1 (1階)	縮尺	1/50 (A1) 1/100 (A3)

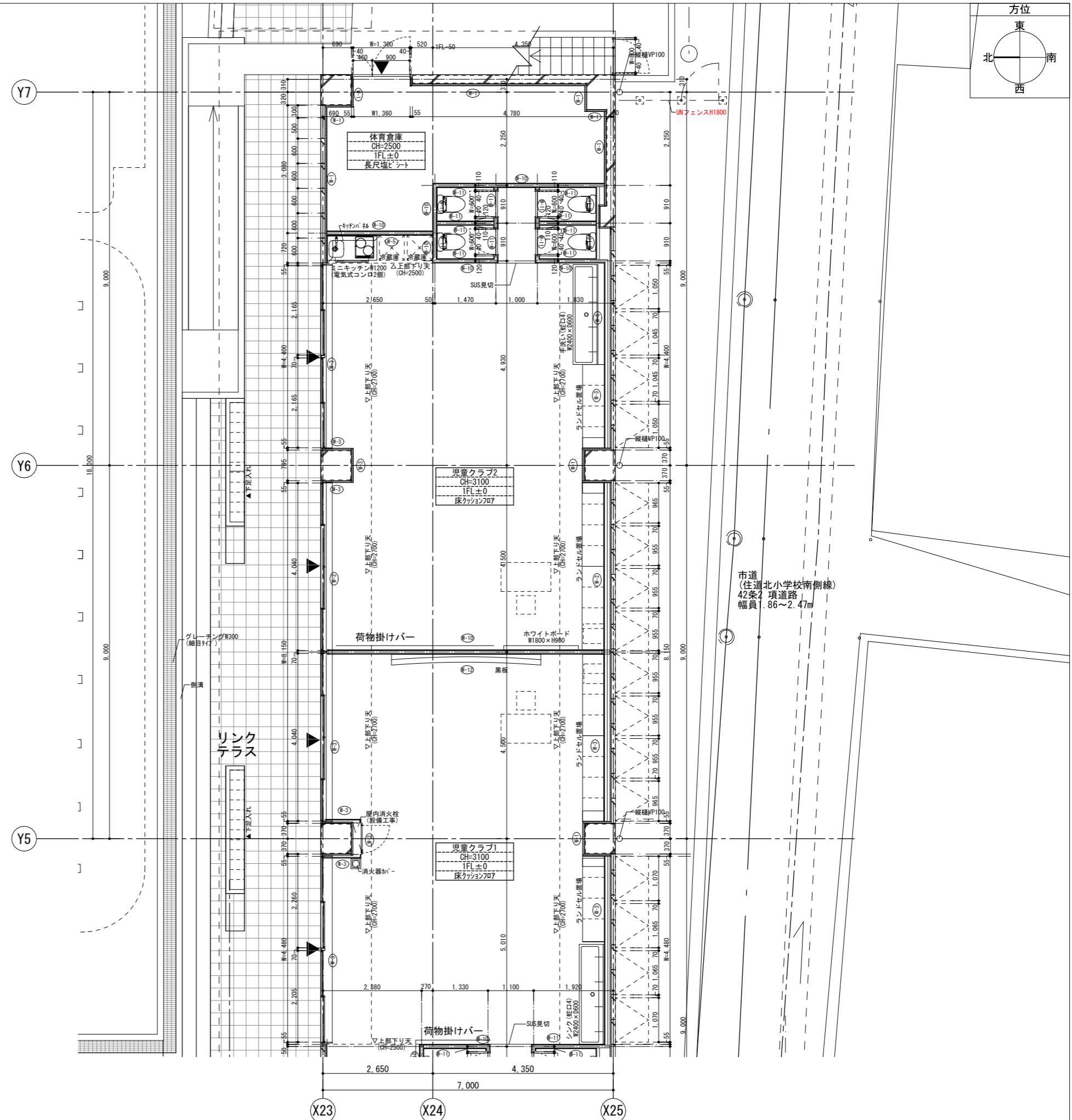
凡例	壁 (W-1)	仕上げ EP-G塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタンボード t=30+PBt=9.5/寒冷紗/	壁 (W-4)	仕上げ EP-G塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタンボード t=30+耐水PBt=12.5/ナイロンメッシュ/	壁 (W-7)	仕上げ EP-G塗装 下地 珪砂下地調整	壁 (W-10)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗/	壁 (W-13)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/リタフォーム吹付t=30/耐水PBt=12.5/ナイロンメッシュ/	壁 (W-16)	仕上げ 揭示カス 下地 軽鉄下地/リタフォーム吹付t=30/リタ合板t=9.0/	方位 東 北 南 西
	壁 (W-2)	仕上げ EP-G塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタンボード t=30+PBt=12.5/寒冷紗/	壁 (W-5)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/リタフォーム吹付t=30/耐水PBt=12.5/ナイロンメッシュ/	壁 (W-8)	仕上げ 揭示カス 下地 軽鉄下地/リタ合板t=9.0/	壁 (W-11)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ナイロンメッシュ/	壁 (W-14)	仕上げ 化粧有効合板t=9(リタ合板)目透かし張り(リタ合板) 下地 既存珪砂下地調整/炭酸カルシウム板t=30+PBt=12.5/木屑練+ウレタン充填t=21/	壁 (W-15)	仕上げ 既存のまま 下地 既存のまま	
	壁 (W-3)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地(50型)/リタフォーム吹付t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷紗/	壁 (W-6)	仕上げ EP-G塗装 下地 既存珪砂下地調整	壁 (W-9)	仕上げ 揭示カス 下地 GL工法/リタ合板t=9.0/	壁 (W-12)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/耐水PBt=21+21/寒冷紗/	壁 (W-15)	仕上げ 既存のまま 下地 既存のまま			



備考	月日	月日	月日	月日	株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	2024/11/11	設計 佐藤 信	工事内容	大東市立住道北小学校校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A 058
					1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	佐藤 信	中元 翔一		平面詳細図2 (1階)	縮尺	1/50 (A1) 1/100 (A3)

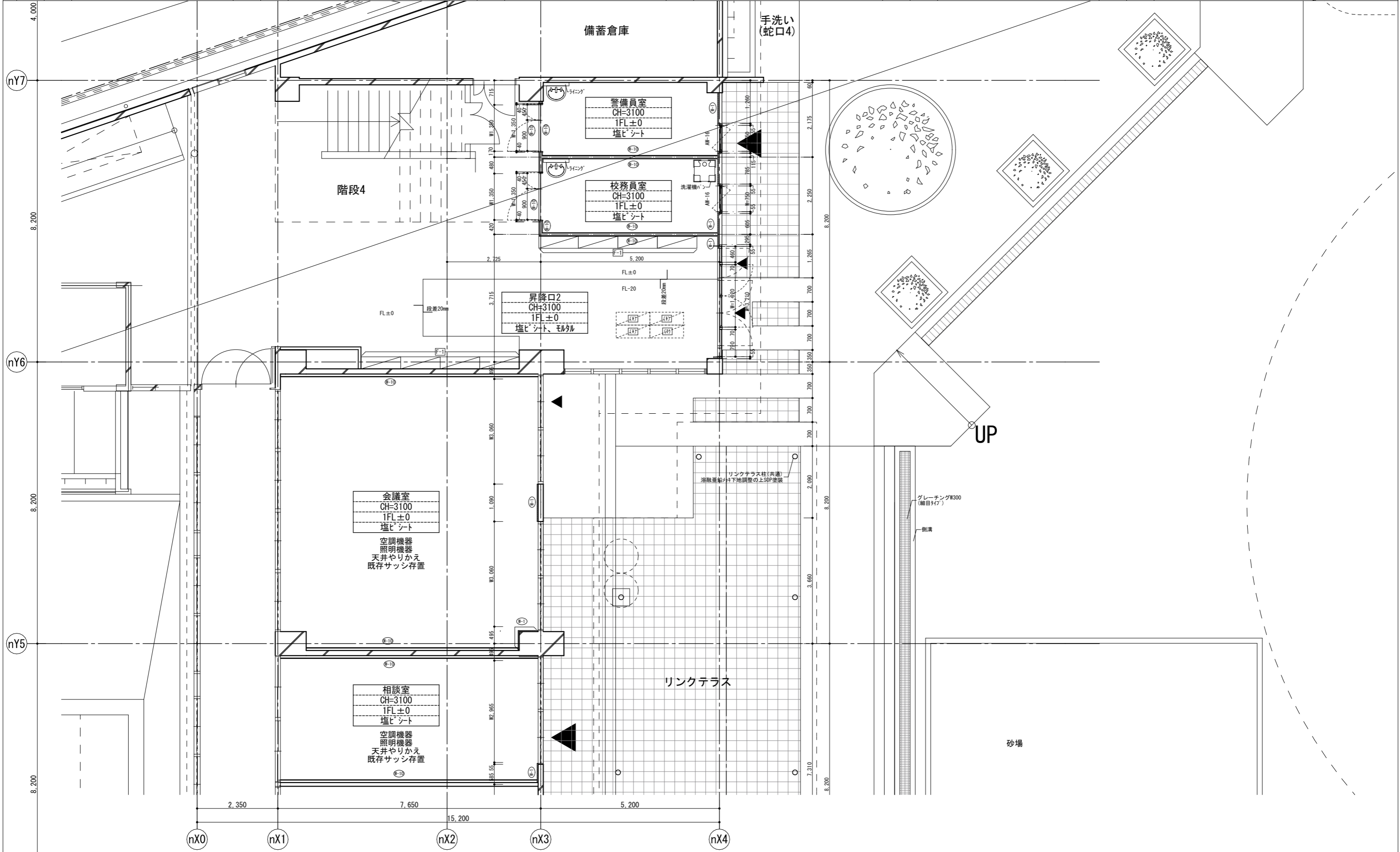


凡例	壁 (W-1)	仕上げ EP-G塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタンフォーム t=30+PBt=9.5/寒冷紗/	壁 (W-4)	仕上げ EP-G塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタンフォーム t=30+耐水PBt=12.5/ 7/4酸加シウム板 t=6.0/
	壁 (W-2)	仕上げ EP-G塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタンフォーム t=30+PBt=12.5/ 寒冷紗パテしごき	壁 (W-5)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付 t=30/耐水PBt=12.5/ 7/4酸加シウム板 t=6.0/
	壁 (W-3)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地 (50型)/ウレタンフォーム吹付 t=30/ PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき/	壁 (W-6)	仕上げ EP-G塗装 下地 既存E&R下地調整
	壁 (W-7)	仕上げ EP-G塗装 下地 E&R下地調整	壁 (W-10)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/ 寒冷紗パテしごき
	壁 (W-8)	仕上げ 揭示加2 下地 軽鉄下地/7/4合板 t=9.0/	壁 (W-11)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/耐水PBt=12.5/7/4酸加シウム板 t=6.0
	壁 (W-9)	仕上げ 揭示加2 下地 GL工法/7/4合板 t=9.0/	壁 (W-12)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/耐水PBt=21+21/寒冷紗パテしごき
	壁 (W-13)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付 t=30/耐水PBt=12.5/ 7/4酸加シウム板 t=6.0	壁 (W-16)	仕上げ 揭示加2 下地 軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付 t=30/7/4合板 t=9.0/
	壁 (W-14)	仕上げ 化粧有効合板 t=9 (分合板) 目透かし張り (ナテブ) 下地 既存E&R下地調整/炭酸カルシウム板 t=30+PBt=12.5/ 木銅線+ウレタン充填 t=21/		
	壁 (W-15)	仕上げ 既存のまま 下地 既存のまま		



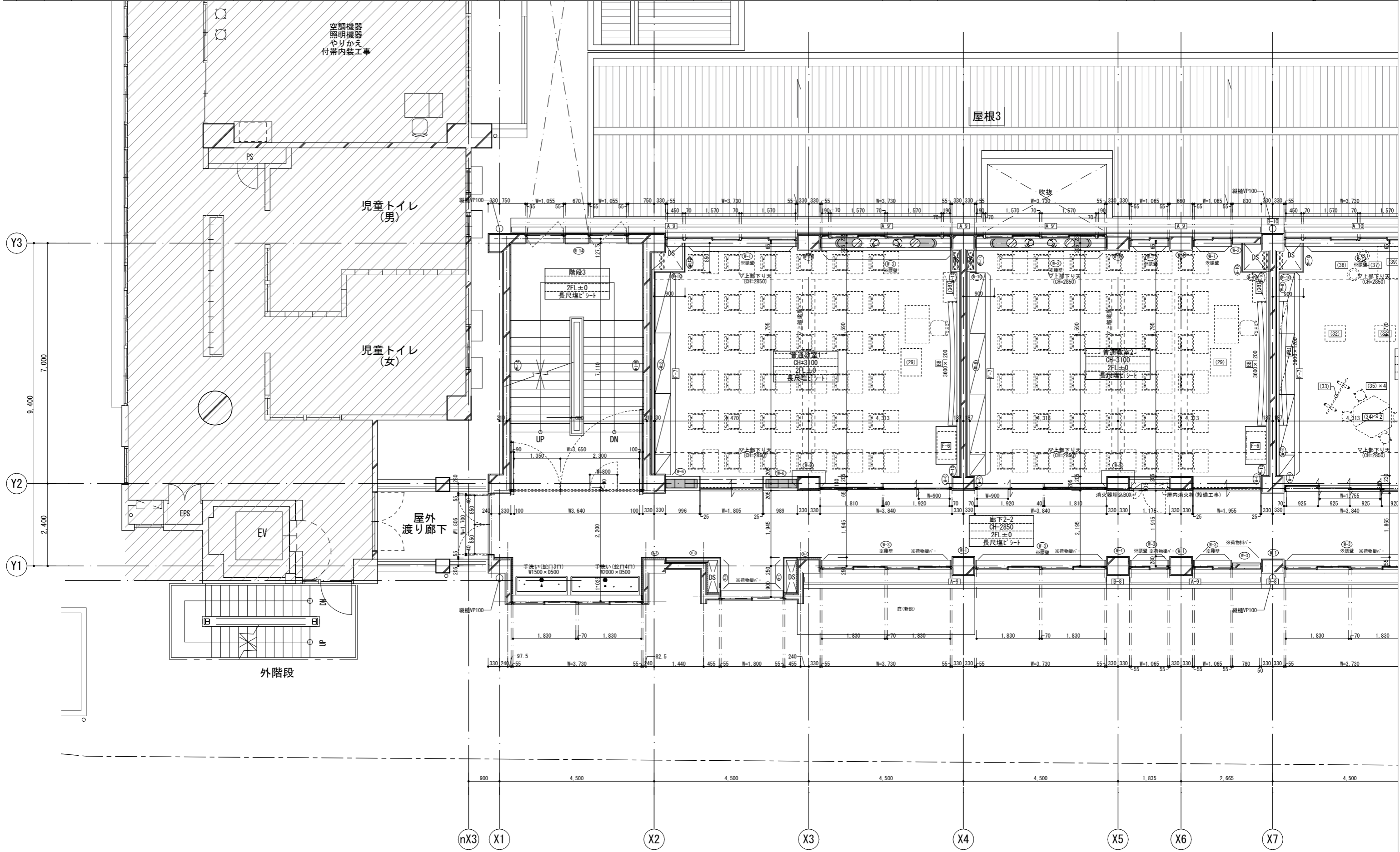
備考	月日		月日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤 信	工事	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A	060
	月日		月日		1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	監修	佐藤 信	監修	中元 翔一	図尺	1/50 (A1) 1/100 (A3)			
	月日		月日								平面詳細図4 (1階)			

凡例	壁 (W-1)	仕上げ EP-G塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -t' t=30+PBt=9.5/寒冷紗/	壁 (W-4)	仕上げ EP-G塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -t' t=30+耐水PBt=12.5/ 7/4酸加シム板t=6.0/	壁 (W-7)	仕上げ EP-G塗装 下地 珪砂下地調整	壁 (W-10)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/ 寒冷紗ハテシごき	壁 (W-13)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/珪砂下地吹付t=30/耐水PBt=12.5/ 7/4酸加シム板t=6.0	壁 (W-16)	仕上げ 揭示カス 下地 軽鉄下地/珪砂下地吹付t=30/珪砂合板t=9.0/	方位 東 北 南 西
	壁 (W-2)	仕上げ EP-G塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -t' t=30+PBt=12.5/ 寒冷紗ハテシごき	壁 (W-5)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/珪砂下地吹付t=30/耐水PBt=12.5/ 7/4酸加シム板t=6.0/	壁 (W-8)	仕上げ 揭示カス 下地 軽鉄下地/珪砂合板t=9.0/	壁 (W-11)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/耐水PBt=12.5/7/4酸加シム板t=6.0	壁 (W-14)	仕上げ 化粧有効合板t=9 (珪砂合板) 目透かし張り (シチーブ) 下地 既存珪砂下地調整/炭酸カルシウム板t=30+PBt=12.5/ 木崩れ+ガラス丸充填t=21/	壁 (W-15)	仕上げ 既存のまま 下地 既存のまま	
	壁 (W-3)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地 (50型) /珪砂下地吹付t=30/ PBt=12.5+9.5/寒冷紗ハテシごき/	壁 (W-6)	仕上げ EP-G塗装 下地 既存珪砂下地調整	壁 (W-9)	仕上げ 揭示カス 下地 GL工法/珪砂合板t=9.0/	壁 (W-12)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/耐水PBt=21+21/寒冷紗ハテシごき	壁 (W-15)	仕上げ 既存のまま 下地 既存のまま			



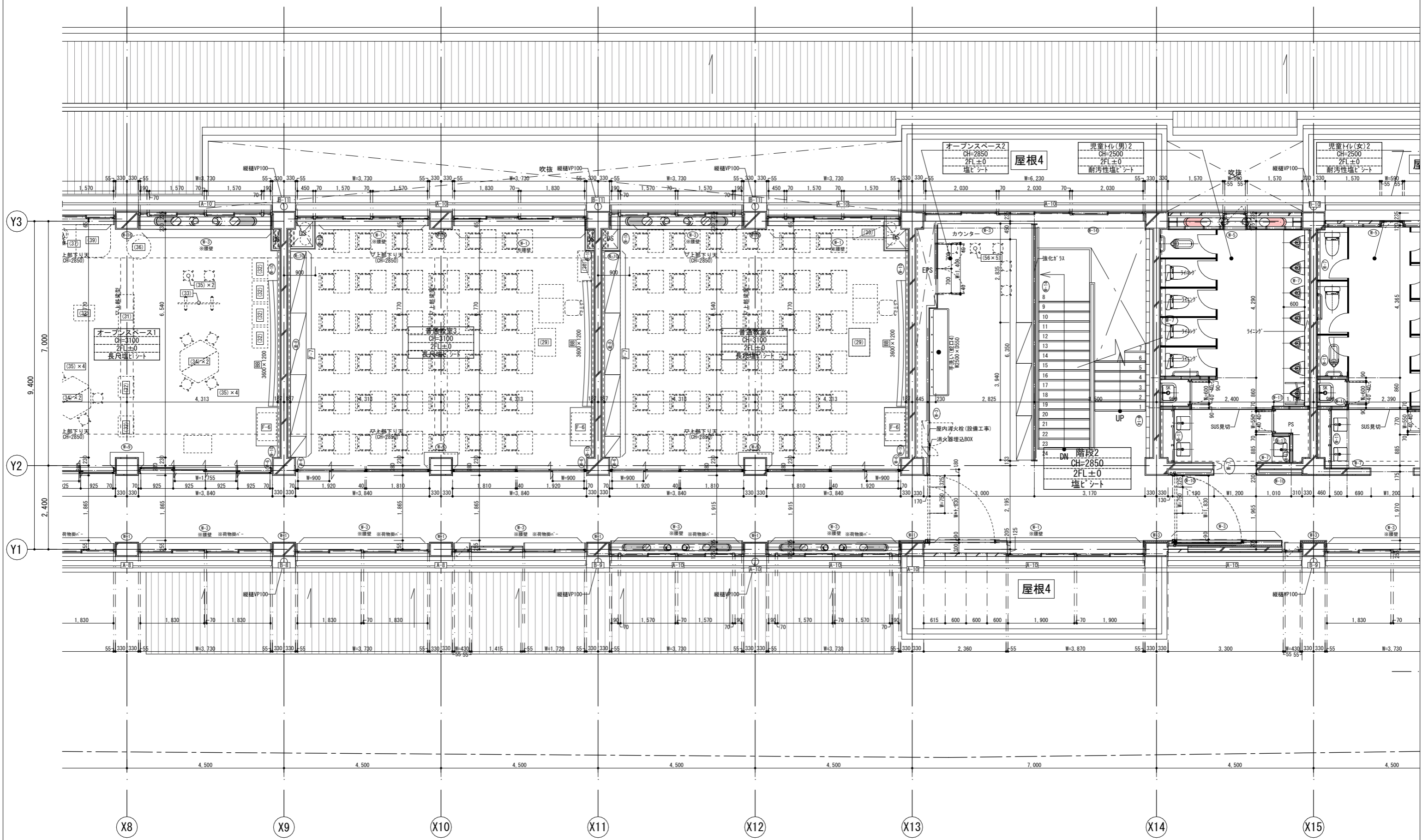
備考	月日	月日	月日	株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤 信	工事名称	大東市立住道北小学校校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A 061
	月日	月日	月日	1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	校務	佐藤 信	監理	中元 翔一	図面内容	平面詳細図5 (1階)	縮尺	1/50 (A1) 1/100 (A3)

凡例	壁 (W-1)	仕上げ EP-G塗装	壁 (W-4)	仕上げ EP-G塗装	壁 (W-7)	仕上げ EP-G塗装	壁 (W-10)	仕上げ EP-G塗装	壁 (W-13)	仕上げ EP-G塗装	壁 (W-16)	仕上げ 揭示なし	方位 東 北 南 西	
		下地 RC壁下地調整/硬質ウレタンボード t=30+PBt=9.5/寒冷紗/		下地 RC壁下地調整/硬質ウレタンボード t=30+耐水PBt=12.5/7/酸カルシウム板 t=6.0/		下地 珪砂下地調整		下地 珪砂下地調整		下地 珪砂下地/リムフォーム吹付 t=30/耐水PBt=12.5/7/酸カルシウム板 t=6.0		下地 珪砂下地/リムフォーム吹付 t=30/リム合板 t=9.0/		
	壁 (W-2)	仕上げ EP-G塗装	壁 (W-5)	仕上げ EP-G塗装	壁 (W-8)	仕上げ 揭示なし	壁 (W-11)	仕上げ EP-G塗装	壁 (W-14)	仕上げ 化粧有効合板 t=9 (リム合板) 目透かし張り (リム合板)				
壁 (W-3)	仕上げ EP-G塗装	下地 珪砂下地 (50型) /リムフォーム吹付 t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷紗/リシゴキ	壁 (W-6)	仕上げ EP-G塗装	壁 (W-9)	仕上げ 揭示なし	壁 (W-12)	仕上げ EP-G塗装	壁 (W-15)	仕上げ 既存のまま				
	下地 珪砂下地調整/硬質ウレタンボード t=30+PBt=9.5/寒冷紗/		下地 既存珪砂下地調整		下地 GL工法/リム合板 t=9.0/		下地 珪砂下地/耐水PBt=21+21/寒冷紗/リシゴキ		下地 既存のまま					



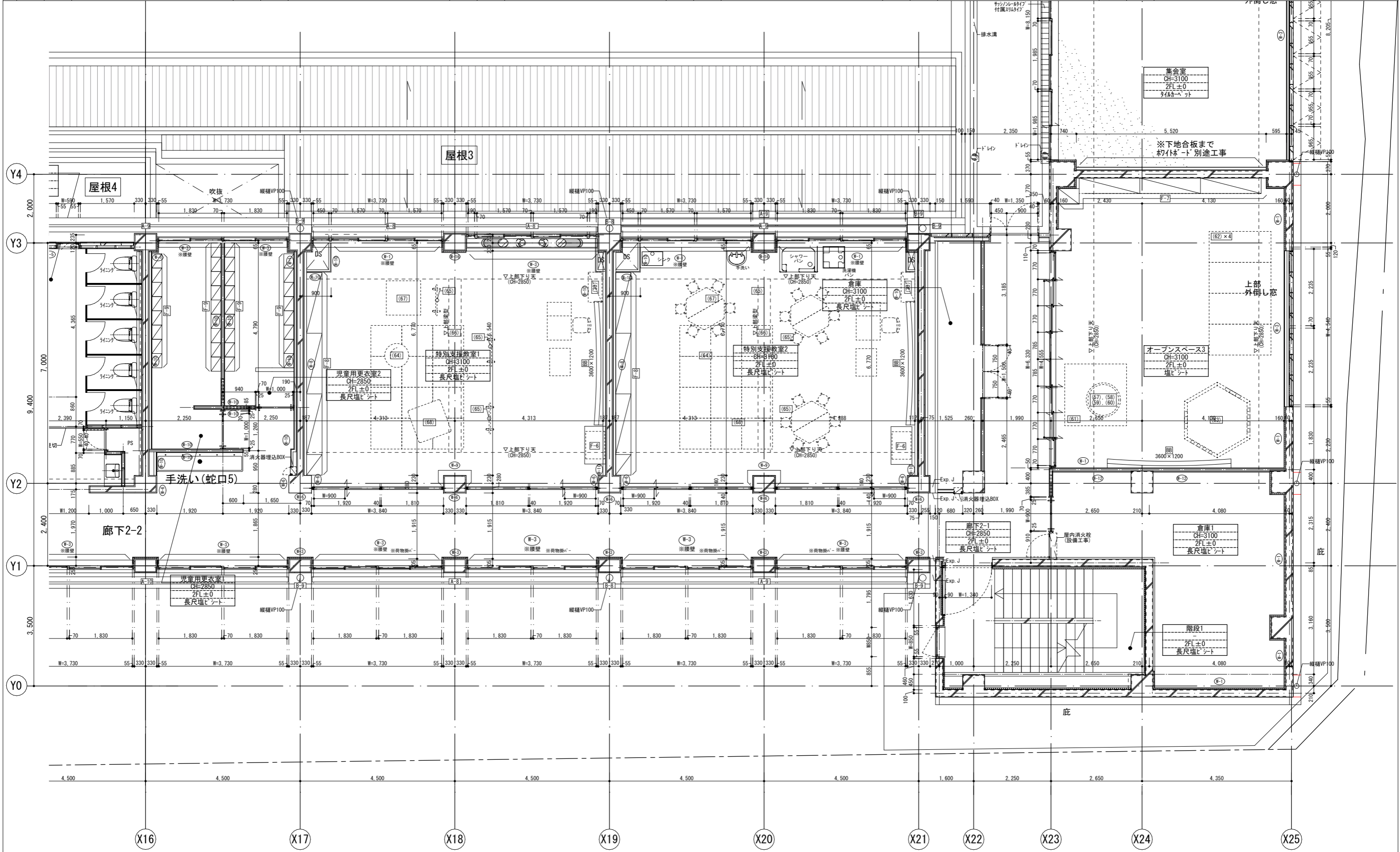
備考	月日 月日 月日	月日 月日 月日	株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates 1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-80097号	作成 2024/11/11 校 佐藤 信 校 中元 翔一	設計 佐藤 信 監 中元 翔一	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事 (建築工事) 平面詳細図6 (2階)	図番 A 062 縮尺 1/50 (A1) 1/100 (A3)
----	----------------	----------------	---	------------------------------------	--------------------	--	--

凡例	壁 (W-1)	仕上げ EP-G塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタンボンド t=30+PBt=9.5/寒冷紗/	壁 (W-4)	仕上げ EP-G塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタンボンド t=30+耐水PBt=12.5/ ナイロンメッシュ t=6.0/	壁 (W-7)	仕上げ EP-G塗装 下地 珪砂下地調整	壁 (W-10)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/ 寒冷紗パテしごき	壁 (W-13)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/リクワフォーム吹付t=30/耐水PBt=12.5/ ナイロンメッシュ t=6.0/	壁 (W-16)	仕上げ 揭示カマ 下地 軽鉄下地/リクワフォーム吹付t=30/珪砂合板t=9.0/	方位 東 北 南 西
	壁 (W-2)	仕上げ EP-G塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタンボンド t=30+PBt=12.5/ 寒冷紗パテしごき	壁 (W-5)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/リクワフォーム吹付t=30/耐水PBt=12.5/ ナイロンメッシュ t=6.0/	壁 (W-8)	仕上げ 揭示カマ 下地 軽鉄下地/珪砂合板t=9.0/	壁 (W-11)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ナイロンメッシュ t=6.0	壁 (W-14)	仕上げ 化粧有効合板t=9 (珪砂合板)目透かし張り (シチーブ) 下地 既存珪砂下地調整/炭酸カルシウム板t=30+PBt=12.5/ 木屑練ケラスール充填t=21/	壁 (W-15)	仕上げ 既存のまま 下地 既存のまま	
	壁 (W-3)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地 (50型) /リクワフォーム吹付t=30/ PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき/	壁 (W-6)	仕上げ EP-G塗装 下地 既存珪砂下地調整	壁 (W-9)	仕上げ 揭示カマ 下地 GL工法/珪砂合板t=9.0/	壁 (W-12)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/耐水PBt=21+21/寒冷紗パテしごき					



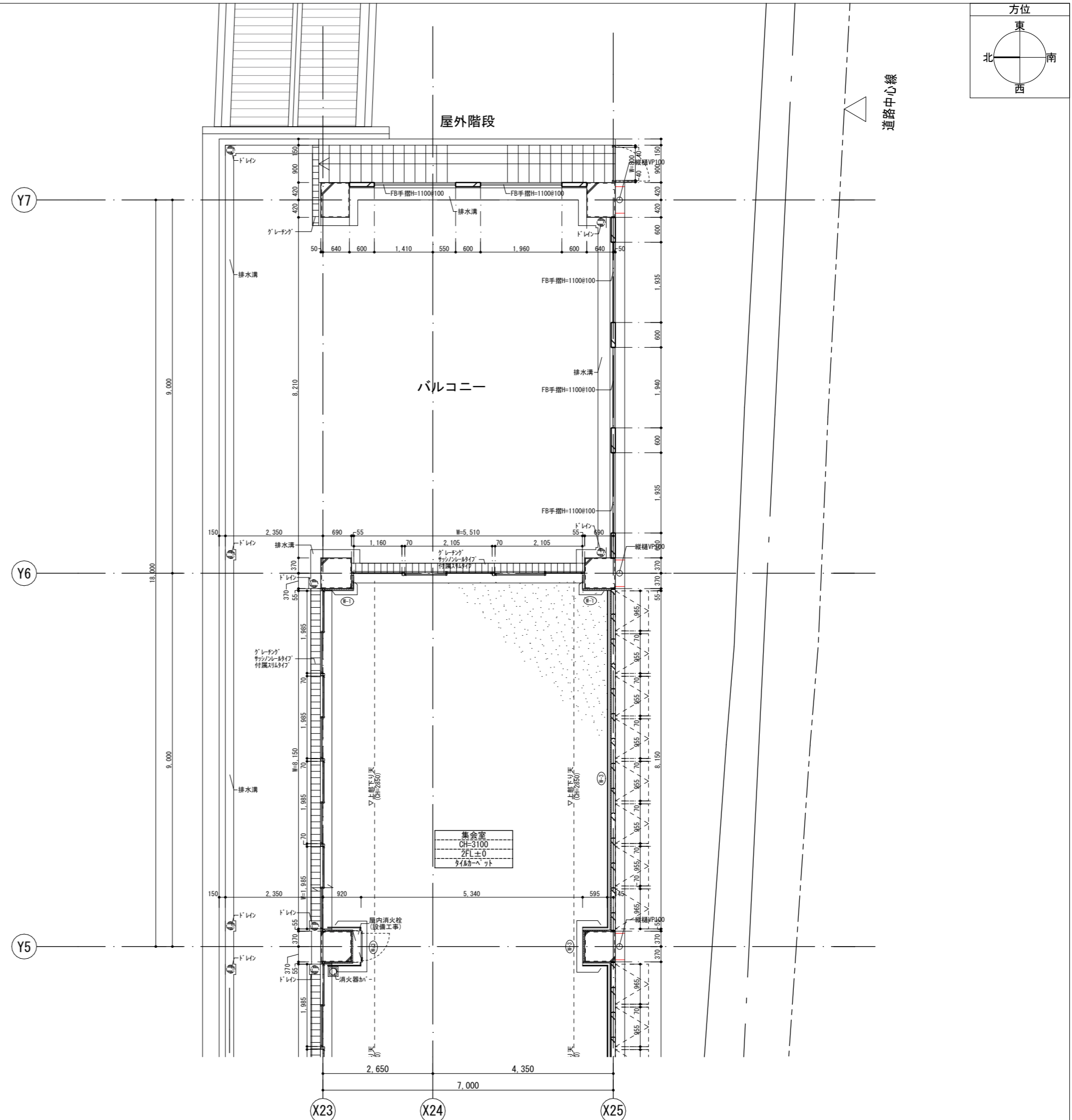
備考	月日	月日	月日	月日	株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤 信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿化改良工事 (建築工事)	図番	A 063
					1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	校舎	佐藤 信	階段	中元 翔一	図面内容	平面詳細図7 (2階)	縮尺	1/50 (A1) 1/100 (A3)

凡例	壁 (W-1)	仕上げ EP-G塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -D' t=30+PBt=9.5/寒冷紗/	壁 (W-4)	仕上げ EP-G塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -D' t=30+耐水PBt=12.5/ 7/イ酸カルシウム板t=6.0/	壁 (W-7)	仕上げ EP-G塗装 下地 珪砂下地調整	壁 (W-10)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/ 寒冷紗パテしごき	壁 (W-13)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/リタフォーム吹付t=30/耐水PBt=12.5/ 7/イ酸カルシウム板t=6.0/	壁 (W-16)	仕上げ 揭示カヌ 下地 軽鉄下地/リタフォーム吹付t=30/7/イ酸カルシウム板t=9.0/	方位 東 北 南 西
	壁 (W-2)	仕上げ EP-G塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -D' t=30+PBt=12.5/ 寒冷紗パテしごき	壁 (W-5)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/リタフォーム吹付t=30/耐水PBt=12.5/ 7/イ酸カルシウム板t=6.0/	壁 (W-8)	仕上げ 揭示カヌ 下地 軽鉄下地/7/イ酸カルシウム板t=9.0/	壁 (W-11)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/耐水PBt=12.5/7/イ酸カルシウム板t=6.0	壁 (W-14)	仕上げ EP-G塗装 下地 既存珪砂下地調整/炭酸カルシウム板t=30+PBt=12.5/ 木崩れケラスクール充填t=21/	壁 (W-15)	仕上げ 既存のまま 下地 既存のまま	
	壁 (W-3)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地(50型)/リタフォーム吹付t=30/ PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき/	壁 (W-6)	仕上げ EP-G塗装 下地 既存珪砂下地調整	壁 (W-9)	仕上げ 揭示カヌ 下地 GL工法/7/イ酸カルシウム板t=9.0/	壁 (W-12)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/耐火PBt=21+21/寒冷紗パテしごき	壁 (W-15)	仕上げ 既存のまま 下地 既存のまま			



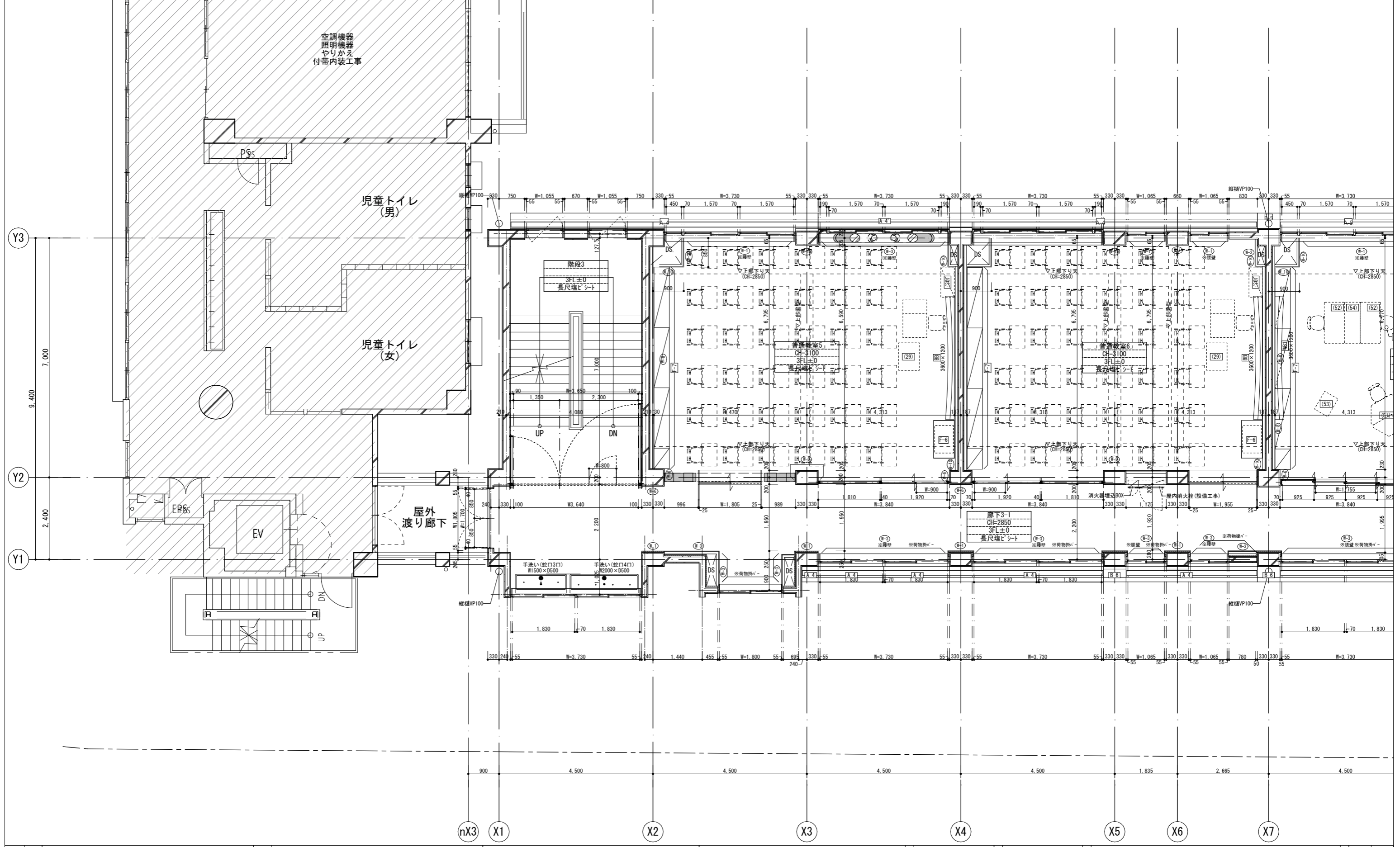
備考	月日	月日	月日	月日	株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	2024/11/11	設計 佐藤 信	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番 A 064
					1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	佐藤 信	中元 翔一	平面詳細図8 (2階)	1/50 (A1) 1/100 (A3)

凡例	壁 (W-1)	仕上げ EP-G塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタンフォーム t=30+PBt=9.5/寒冷紗/	壁 (W-4)	仕上げ EP-G塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタンフォーム t=30+耐水PBt=12.5/ナイロンメッシュ/
	壁 (W-2)	仕上げ EP-G塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタンフォーム t=30+PBt=12.5/寒冷紗/	壁 (W-5)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付 t=30/耐水PBt=12.5/ナイロンメッシュ/
	壁 (W-3)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地 (50型)/ウレタンフォーム吹付 t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷紗/	壁 (W-6)	仕上げ EP-G塗装 下地 既存モルタル下地調整
	壁 (W-7)	仕上げ EP-G塗装 下地 モルタル下地調整	壁 (W-10)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗/
	壁 (W-8)	仕上げ 提示加 下地 軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付 t=9.0/	壁 (W-11)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ナイロンメッシュ/
	壁 (W-9)	仕上げ 提示加 下地 GL工法/ウレタンフォーム吹付 t=9.0/	壁 (W-12)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/耐水PBt=21+21/寒冷紗/
	壁 (W-13)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付 t=30/耐水PBt=12.5/ナイロンメッシュ/	壁 (W-16)	仕上げ 提示加 下地 軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付 t=30/ウレタンフォーム吹付 t=9.0/
	壁 (W-14)	仕上げ 化粧有効合板 t=9 (分合板) 目透かし張り (ナテブ) 下地 既存モルタル下地調整/炭酸カルシウム板 t=30+PBt=12.5/木脚縁+ウレタンフォーム t=21/		
	壁 (W-15)	仕上げ 既存のまま 下地 既存のまま		



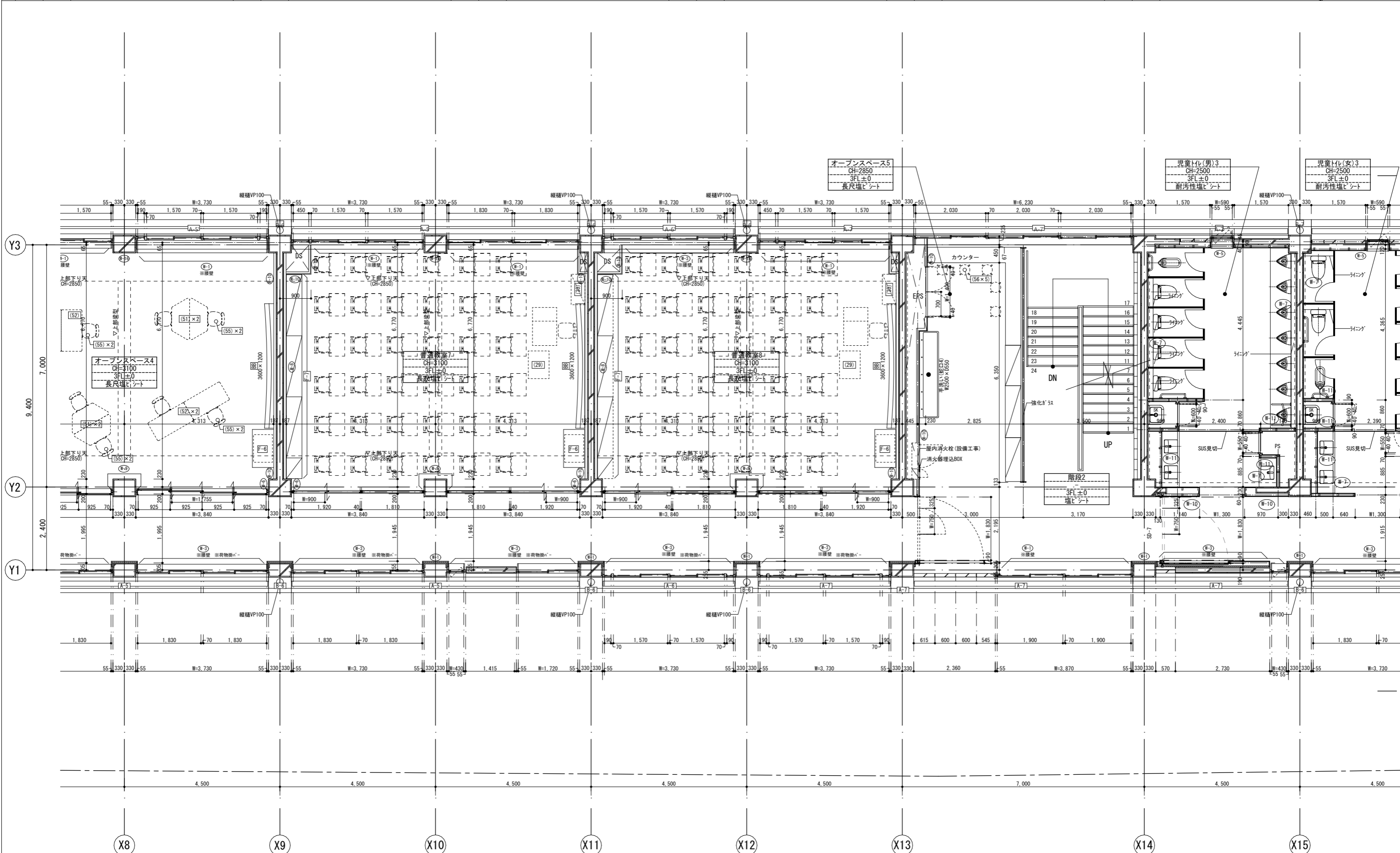
備考	月日		月日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤 信	工事名	大東市立住道北小学校長寿化改良工事 (建築工事)	図番	A	065
	月日		月日		1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	校舎	佐藤 信	監理	中元 翔一	縮尺	1/50 (A1) 1/100 (A3)			
	月日		月日								平面詳細図9 (2階)			

凡例	壁 (W-1)	仕上げ EP-G塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタンパ-ド' t=30+PBt=9.5/寒冷紗/	壁 (W-4)	仕上げ EP-G塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタンパ-ド' t=30+耐水PBt=12.5/ 7/4酸加減板t=6.0/	壁 (W-7)	仕上げ EP-G塗装 下地 珪藻土下地調整	壁 (W-10)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/ 寒冷紗パテしごき	壁 (W-13)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/珪藻土吹付t=30/耐水PBt=12.5/ 7/4酸加減板t=6.0	壁 (W-16)	仕上げ 揭示カヌ 下地 軽鉄下地/珪藻土吹付t=30/珪藻土合板t=9.0/	方位 東 北 南 西
	壁 (W-2)	仕上げ EP-G塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタンパ-ド' t=30+PBt=12.5/ 寒冷紗パテしごき	壁 (W-5)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/珪藻土吹付t=30/耐水PBt=12.5/ 7/4酸加減板t=6.0/	壁 (W-8)	仕上げ 揭示カヌ 下地 軽鉄下地/珪藻土合板t=9.0/	壁 (W-11)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/耐水PBt=12.5/珪藻土合板t=6.0	壁 (W-14)	仕上げ 化粧有効合板t=9 (珪藻土合板)目透かし張り (シナーブ) 下地 既存珪藻土下地調整/珪藻土吹付t=30+PBt=12.5/ 木脚線+7/4酸加減板t=21/			
	壁 (W-3)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地 (50型)/珪藻土吹付t=30/ PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき/	壁 (W-6)	仕上げ EP-G塗装 下地 既存珪藻土下地調整	壁 (W-9)	仕上げ 揭示カヌ 下地 GL工法/珪藻土合板t=9.0/	壁 (W-12)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/耐水PBt=21+21/寒冷紗パテしごき	壁 (W-15)	仕上げ 既存のまま 下地 既存のまま			



備考	月日		月日	株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤 信	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事 (建築工事)		図番	A	066
	月日		月日	1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	校	佐藤 信	監	中元 翔一	平面詳細図10 (3階)		縮尺	1/50 (A1) 1/100 (A3)	

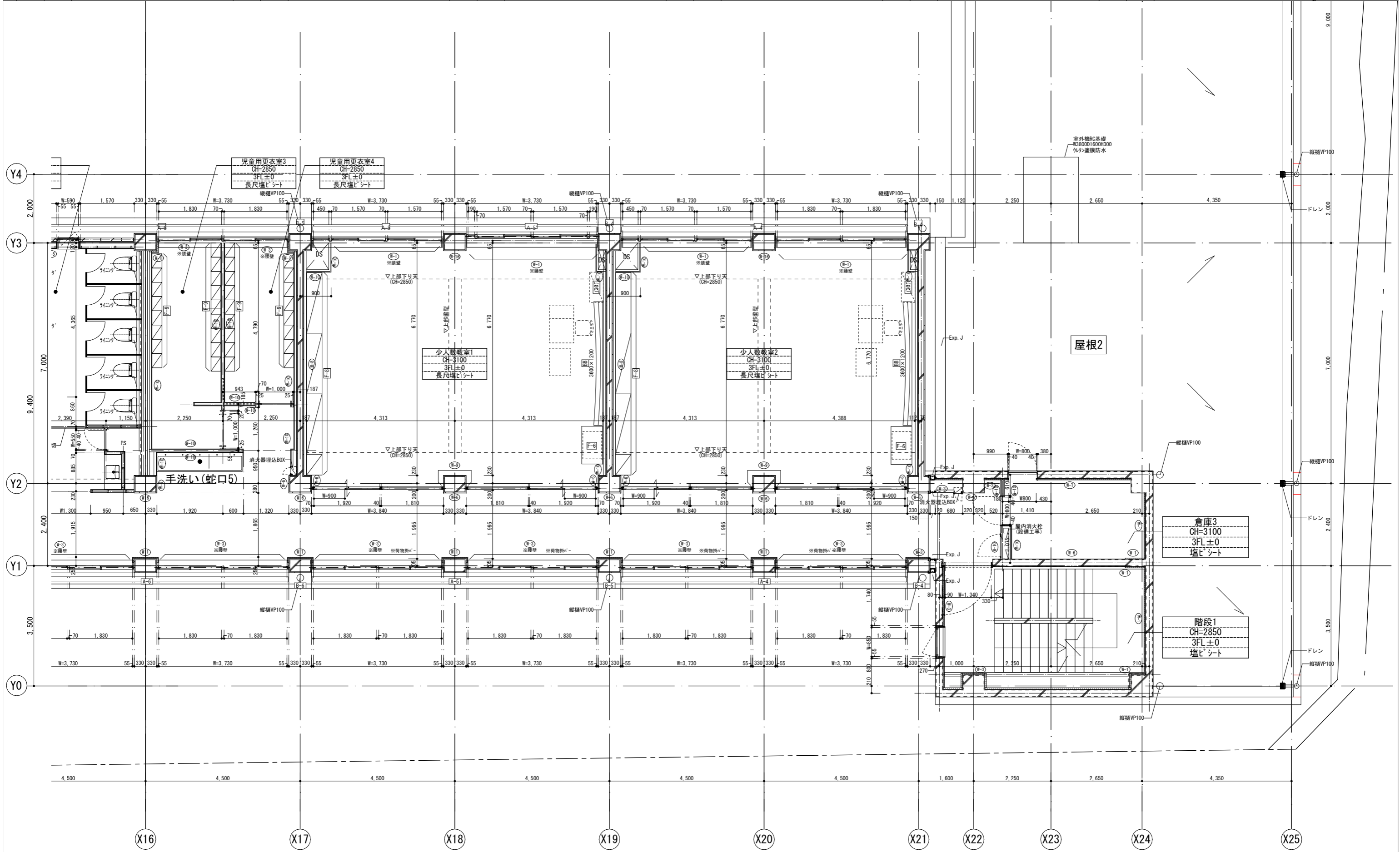
凡例	仕上り	EP-G塗装	仕上り	EP-G塗装	仕上り	EP-G塗装	仕上り	EP-G塗装	仕上り	EP-G塗装	仕上り	EP-G塗装	仕上り	EP-G塗装	仕上り	EP-G塗装	仕上り	EP-G塗装	方位
壁 (W-1)	下地	RC壁下地調整/硬質ウレタン® t=30+PBt=9.5/寒冷紗/	壁 (W-4)	下地	RC壁下地調整/硬質ウレタン® t=30+耐水PBt=12.5/ヶイ酸ｶﾞﾙﾌﾏ板t=6.0/	壁 (W-7)	下地	珪砂下地調整	壁 (W-10)	下地	珪砂下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗ﾊﾞﾃｼｺﾞｷ	壁 (W-13)	下地	珪砂下地/ｸﾞﾗﾝﾌﾞﾗｰｰﾙ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ヶイ酸ｶﾞﾙﾌﾏ板t=6.0	壁 (W-16)	下地	珪砂下地/ｸﾞﾗﾝﾌﾞﾗｰｰﾙ吹付t=30/ｸﾞﾗﾝﾌﾞﾗｰｰﾙ合板t=9.0/		
壁 (W-2)	仕上り	EP-G塗装	壁 (W-5)	仕上り	EP-G塗装	壁 (W-8)	仕上り	珪砂下地	壁 (W-11)	仕上り	EP-G塗装	壁 (W-14)	仕上り	珪砂下地/耐水PBt=12.5/ヶイ酸ｶﾞﾙﾌﾏ板t=6.0	壁 (W-15)	仕上り	EP-G塗装		
壁 (W-3)	下地	RC壁下地調整/硬質ウレタン® t=30+PBt=12.5/寒冷紗ﾊﾞﾃｼｺﾞｷ	壁 (W-6)	下地	珪砂下地/ｸﾞﾗﾝﾌﾞﾗｰｰﾙ吹付t=30/耐水PBt=12.5/ヶイ酸ｶﾞﾙﾌﾏ板t=6.0/	壁 (W-9)	下地	珪砂下地	壁 (W-12)	下地	珪砂下地/耐水PBt=21+21/寒冷紗ﾊﾞﾃｼｺﾞｷ	壁 (W-15)	下地	既存のまま					



備考	月日	内容	月日	内容	月日	内容	月日	内容	月日	内容

設計	2024/11/11	設計	佐藤 信	監理	大東市立住道北小学校校長寿命化改良工事 (建築工事)	図番	A 067
1級建築士	佐藤 信 第362177号	1級建築士事務所	第1-60097号	2024/11/11	佐藤 信	中元 翔一	1/50 (A1) 1/100 (A3)

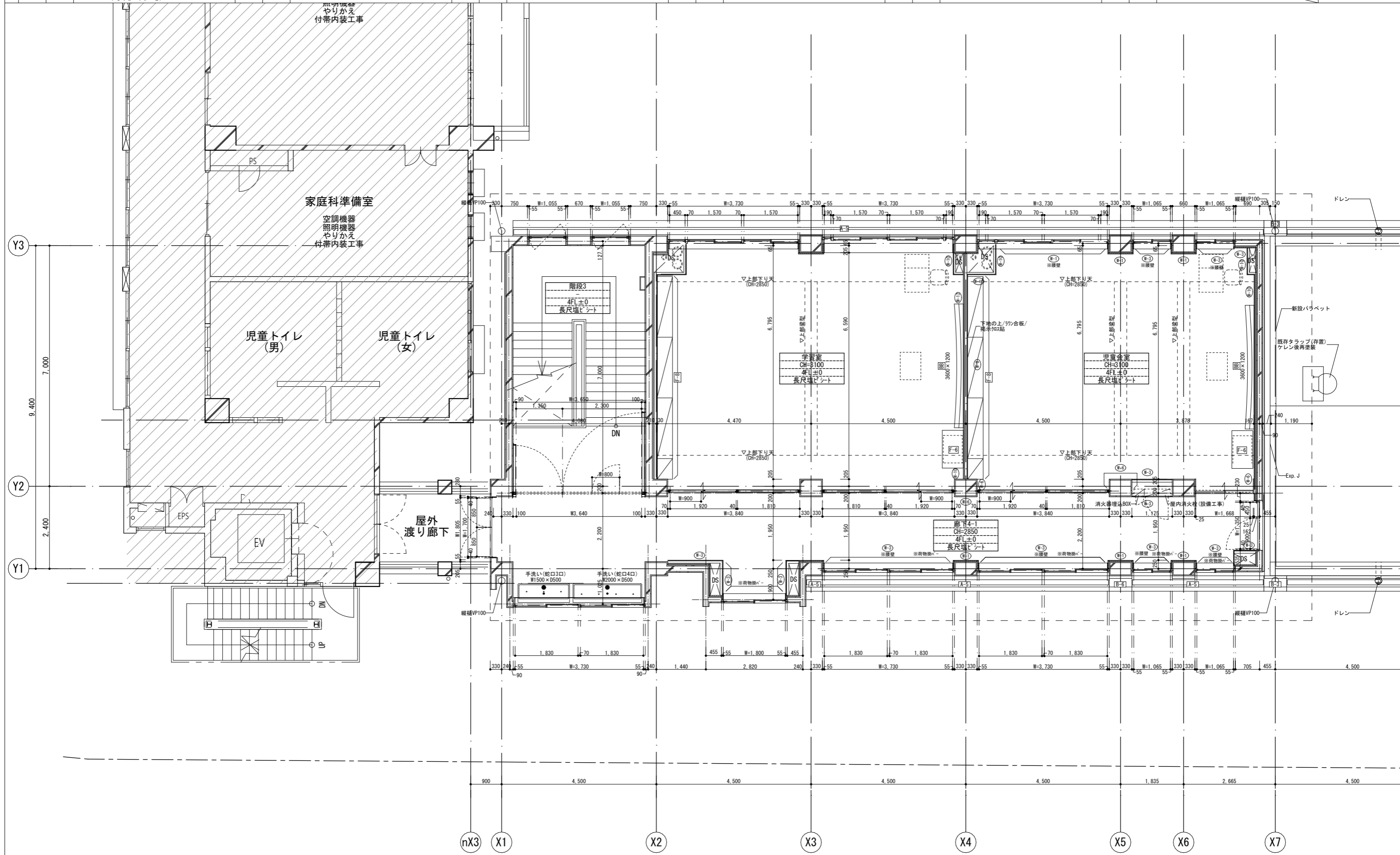
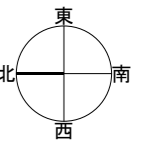
凡例	壁 (W-1)	仕上げ EP-G塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -D' t=30+PBt=9.5/寒冷紗/	壁 (W-4)	仕上げ EP-G塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -D' t=30+耐水PBt=12.5/ 7/4酸加シム板t=6.0/	壁 (W-7)	仕上げ EP-G塗装 下地 珪砂下地調整	壁 (W-10)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/ 寒冷紗ハテシごき	壁 (W-13)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/リクソフォーム吹付t=30/耐水PBt=12.5/ 7/4酸加シム板t=6.0	壁 (W-16)	仕上げ 揭示カマ 下地 軽鉄下地/リクソフォーム吹付t=30/7/4合板t=9.0/	方位 東 北 南 西
	壁 (W-2)	仕上げ EP-G塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -D' t=30+PBt=12.5/ 寒冷紗ハテシごき	壁 (W-5)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/リクソフォーム吹付t=30/耐水PBt=12.5/ 7/4酸加シム板t=6.0/	壁 (W-8)	仕上げ 揭示カマ 下地 軽鉄下地/7/4合板t=9.0/	壁 (W-11)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/耐水PBt=12.5/7/4酸加シム板t=6.0	壁 (W-14)	仕上げ 化粧有効合板t=9(7/4合板)目透かし張り(リクソ) 下地 既存珪砂下地調整/炭酸カルシウム板t=30+PBt=12.5/ 木崩れ+7/4合板充填t=21/	壁 (W-15)	仕上げ 既存のまま 下地 既存のまま	
	壁 (W-3)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地(50型)/リクソフォーム吹付t=30/ PBt=12.5+9.5/寒冷紗ハテシごき/	壁 (W-6)	仕上げ EP-G塗装 下地 既存珪砂下地調整	壁 (W-9)	仕上げ 揭示カマ 下地 GL工法/7/4合板t=9.0/	壁 (W-12)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/耐水PBt=21+21/寒冷紗ハテシごき					



備考	月日	月日	月日	月日	株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	2024/11/11	設計 佐藤 信	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番 A 068
					1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	佐藤 信	中元 翔一	平面詳細図12 (3階)	1/50 (A1) 1/100 (A3)

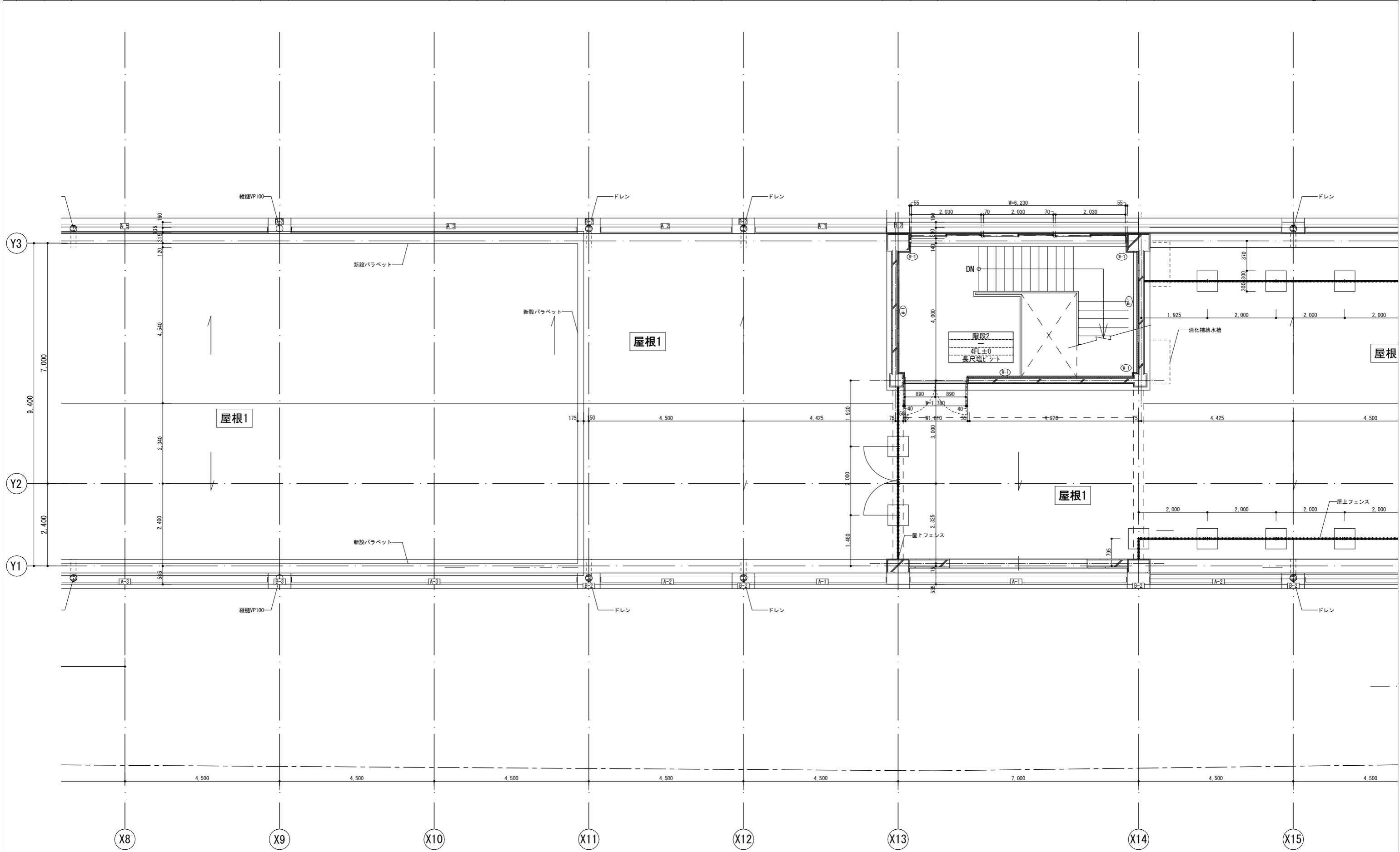


凡例	壁 (W-1)	仕上り 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタンボード t=30+PBt=9.5/寒冷紗/	壁 (W-4)	仕上り 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタンボード t=30+耐水PBt=12.5/ ナイロンシム板 t=6.0/	壁 (W-7)	仕上り 下地 珪藻土下地調整	壁 (W-10)	仕上り 下地 珪藻土下地/耐水PBt=12.5/5+9.5/ 寒冷紗ハテシゴキ	壁 (W-13)	仕上り 下地 珪藻土下地/1/2巾ファン吹付 t=30/耐水PBt=12.5/ ナイロンシム板 t=6.0	壁 (W-16)	仕上り 下地 珪藻土下地/1/2巾ファン吹付 t=30/耐水PBt=12.5/ ナイロンシム板 t=6.0	方位										
														壁 (W-2)	仕上り 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタンボード t=30+PBt=12.5/ 寒冷紗ハテシゴキ	壁 (W-5)	仕上り 下地 珪藻土下地/1/2巾ファン吹付 t=30/耐水PBt=12.5/ ナイロンシム板 t=6.0/	壁 (W-8)	仕上り 下地 珪藻土下地/珪藻土合板 t=9.0/	壁 (W-11)	仕上り 下地 珪藻土下地/耐水PBt=12.5/ナイロンシム板 t=6.0	壁 (W-14)	仕上り 下地 珪藻土下地調整/炭酸カルシウム板 t=30+PBt=12.5/ 木崩線+7mmスチール充填 t=2/



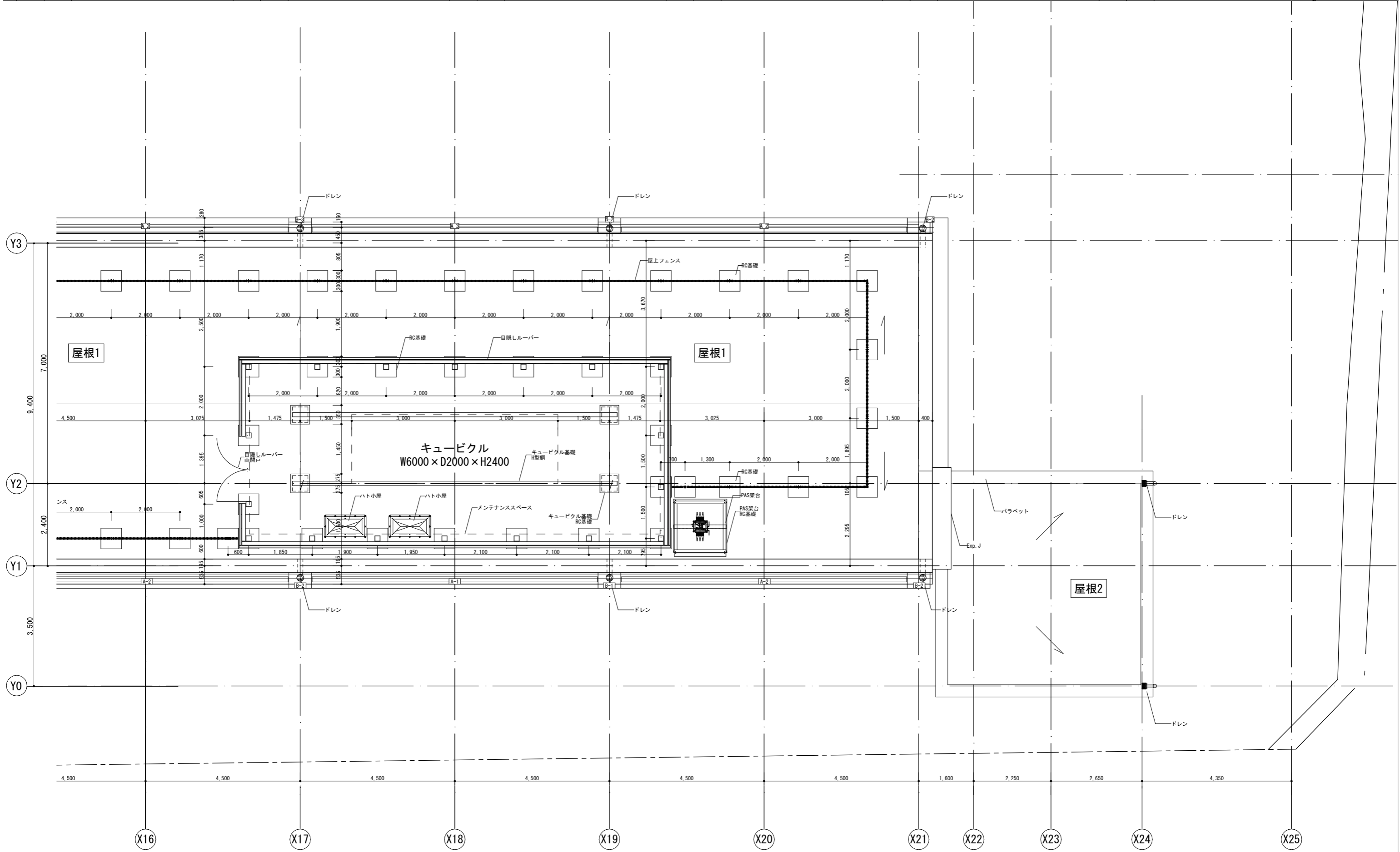
備考	月日	月日	株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	2024/11/11	設計 佐藤 信	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事 (建築工事)	図番 A 070
	月日	月日					
	月日	月日					
	月日	月日					
			1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	作成 佐藤 信	監理 中元 翔一	平面詳細図 14 (4階)	縮尺 1/50 (A1) 1/100 (A3)

凡例	壁 (W-1)	仕上げ EP-G塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -D' t=30+PBt=9.5/寒冷紗/	壁 (W-4)	仕上げ EP-G塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -D' t=30+耐水PBt=12.5/ 7/4酸加シウム板t=6.0/	壁 (W-7)	仕上げ EP-G塗装 下地 珪砂下地調整	壁 (W-10)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/ 寒冷紗パテしごき	壁 (W-13)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/珪砂下地吹付t=30/耐水PBt=12.5/ 7/4酸加シウム板t=6.0	壁 (W-16)	仕上げ 揭示カマ 下地 軽鉄下地/珪砂下地吹付t=30/珪砂合板t=9.0/	方位 東 北 南 西
	壁 (W-2)	仕上げ EP-G塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -D' t=30+PBt=12.5/ 寒冷紗パテしごき	壁 (W-5)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/珪砂下地吹付t=30/耐水PBt=12.5/ 7/4酸加シウム板t=6.0/	壁 (W-8)	仕上げ 揭示カマ 下地 軽鉄下地/珪砂合板t=9.0/	壁 (W-11)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/耐水PBt=12.5/7/4酸加シウム板t=6.0	壁 (W-14)	仕上げ 化粧有効合板t=9 (珪砂合板)目透かし張り (シナーブ) 下地 既存珪砂下地調整/炭酸カルシウム板t=30+PBt=12.5/ 木崩れ+ガスケット充填t=2/			
	壁 (W-3)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地 (50型)/珪砂下地吹付t=30/ PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき/	壁 (W-6)	仕上げ EP-G塗装 下地 既存珪砂下地調整	壁 (W-9)	仕上げ 揭示カマ 下地 GL工法/珪砂合板t=9.0/	壁 (W-12)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/耐水PBt=21+21/寒冷紗パテしごき	壁 (W-15)	仕上げ 既存のまま 下地 既存のまま			



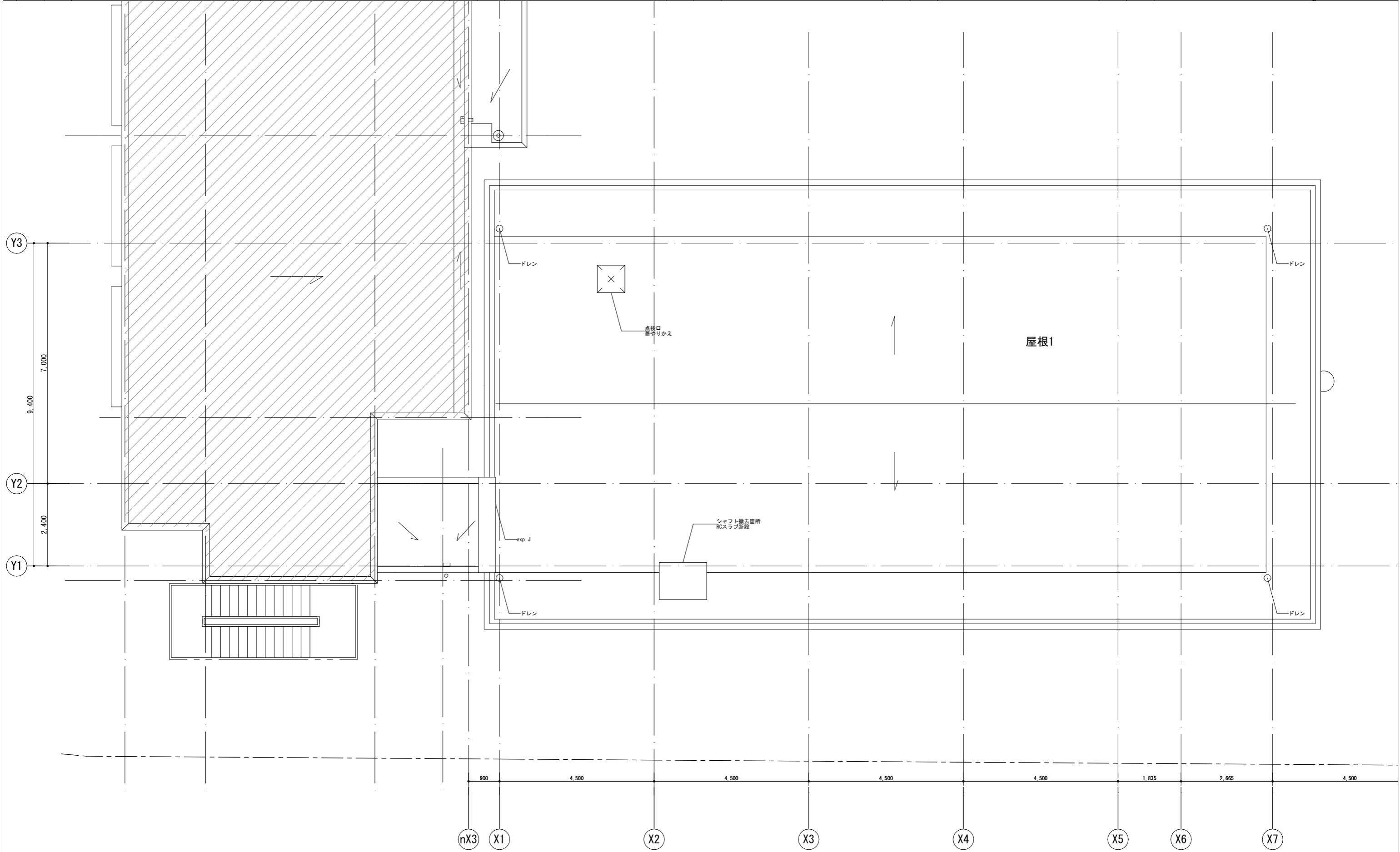
備考	月日	月日	月日	月日	株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤 信	工事名	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事 (建築工事)	図番	A 071
					1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	校	佐藤 信	監	中元 翔一		平面詳細図15 (4階)	縮尺	1/50 (A1) 1/100 (A3)

凡例	壁 (W-1)	仕上げ EP-G塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -D' t=30+PBt=9.5/寒冷紗/	壁 (W-4)	仕上げ EP-G塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -D' t=30+耐水PBt=12.5/ 4/イ酸カルシウム板t=6.0/	壁 (W-7)	仕上げ EP-G塗装 下地 珪砂下地調整	壁 (W-10)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/ 寒冷紗パテしごき	壁 (W-13)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/1/1ウレタン <sup>®</sup> 吹付t=30/耐水PBt=12.5/ 4/イ酸カルシウム板t=6.0	壁 (W-16)	仕上げ 揭示カマ 下地 軽鉄下地/1/1ウレタン <sup>®</sup> 吹付t=30/珪砂合板t=9.0/	方位 東 北 南 西
	壁 (W-2)	仕上げ EP-G塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -D' t=30+PBt=12.5/ 寒冷紗パテしごき	壁 (W-5)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/1/1ウレタン <sup>®</sup> 吹付t=30/耐水PBt=12.5/ 4/イ酸カルシウム板t=6.0/	壁 (W-8)	仕上げ 揭示カマ 下地 軽鉄下地/珪砂合板t=9.0/	壁 (W-11)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/耐水PBt=12.5/4/イ酸カルシウム板t=6.0	壁 (W-14)	仕上げ 化粧有効合板t=9 (珪砂合板)目透かし張り (シチーブ) 下地 既存珪砂下地調整/炭酸カルシウム板t=30+PBt=12.5/ 木崩れ+ガラスウール充填t=21/			
	壁 (W-3)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地 (50型)/1/1ウレタン <sup>®</sup> 吹付t=30/ PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき/	壁 (W-6)	仕上げ EP-G塗装 下地 既存珪砂下地調整	壁 (W-9)	仕上げ 揭示カマ 下地 GL工法/珪砂合板t=9.0/	壁 (W-12)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/耐水PBt=21+21/寒冷紗パテしごき	壁 (W-15)	仕上げ 既存のまま 下地 既存のまま			



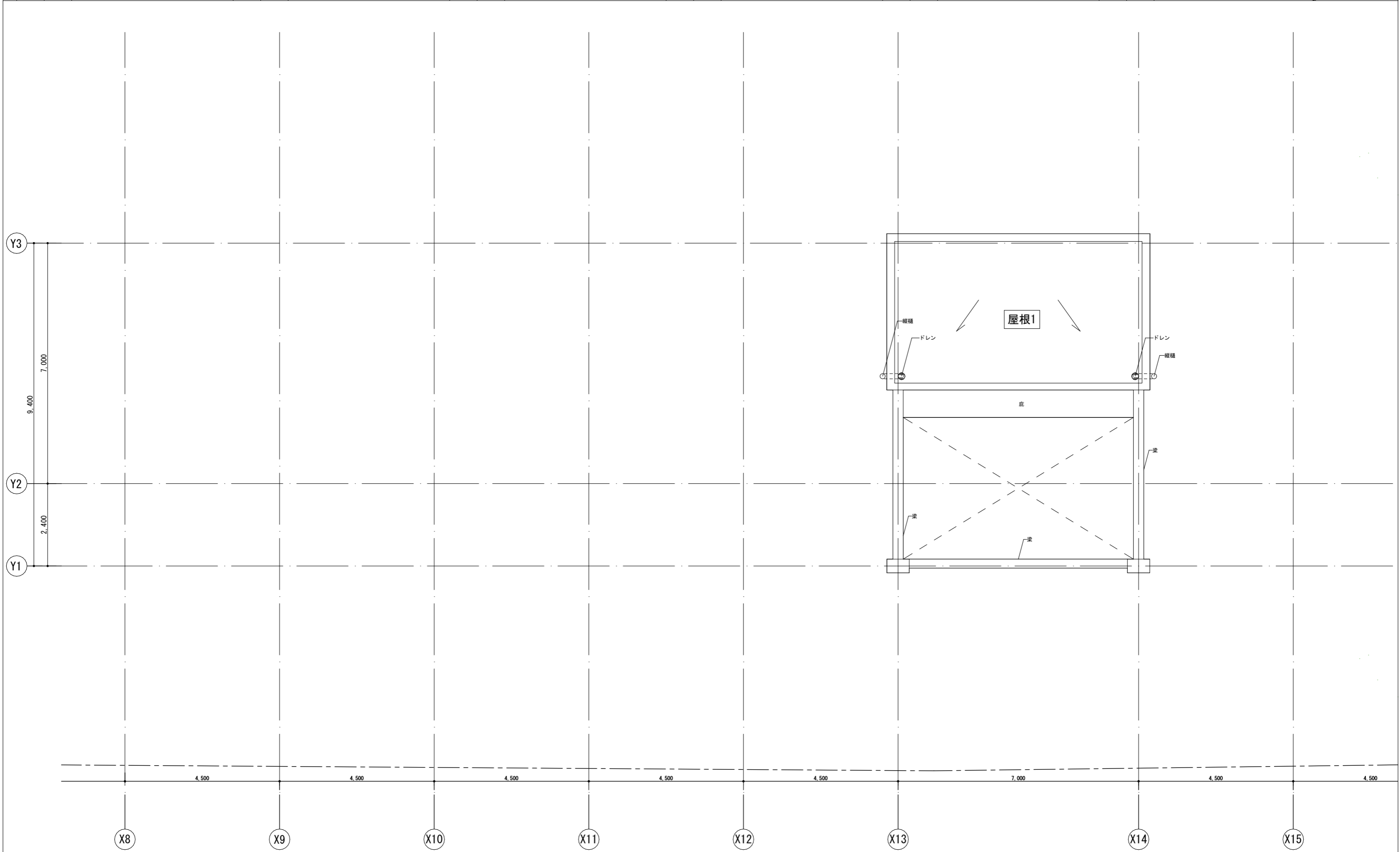
備考	月日	月日	月日	月日	株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤 信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事 (建築工事)	図番	A 072
	月日	月日	月日	月日	1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	校舎	佐藤 信	建築	中元 翔一	図面	平面詳細図16 (4階)	縮尺	1/50 (A1) 1/100 (A3)

凡例	壁 (W-1)	仕上げ EP-G塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタンフォーム t=30+PBt=9.5/寒冷紗/	壁 (W-4)	仕上げ EP-G塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタンフォーム t=30+耐水PBt=12.5/ /4/酸加シム板 t=6.0/	壁 (W-7)	仕上げ EP-G塗装 下地 珪砂下地調整	壁 (W-10)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/ 寒冷紗パテしごき	壁 (W-13)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付 t=30/耐水PBt=12.5/ /4/酸加シム板 t=6.0	壁 (W-16)	仕上げ 揭示カス 下地 軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付 t=30/珪砂合板 t=9.0/	方位 東 北 南 西
	壁 (W-2)	仕上げ EP-G塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタンフォーム t=30+PBt=12.5/ 寒冷紗パテしごき	壁 (W-5)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付 t=30/耐水PBt=12.5/ /4/酸加シム板 t=6.0/	壁 (W-8)	仕上げ 揭示カス 下地 軽鉄下地/珪砂合板 t=9.0/	壁 (W-11)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/耐水PBt=12.5/4/酸加シム板 t=6.0	壁 (W-14)	仕上げ 化粧有効合板 t=9 (珪砂合板) 目透かし張り (シチーブ) 下地 既存珪砂下地調整/炭酸カルシウム板 t=30+PBt=12.5/ 木崩れ+ガラスウール充填 t=21/	壁 (W-15)	仕上げ 既存のまま 下地 既存のまま	
	壁 (W-3)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地 (50型) /ウレタンフォーム吹付 t=30/ PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき/	壁 (W-6)	仕上げ EP-G塗装 下地 既存珪砂下地調整	壁 (W-9)	仕上げ 揭示カス 下地 GL工法/珪砂合板 t=9.0/	壁 (W-12)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/耐水PBt=21+21/寒冷紗パテしごき	壁 (W-15)	仕上げ 既存のまま 下地 既存のまま			

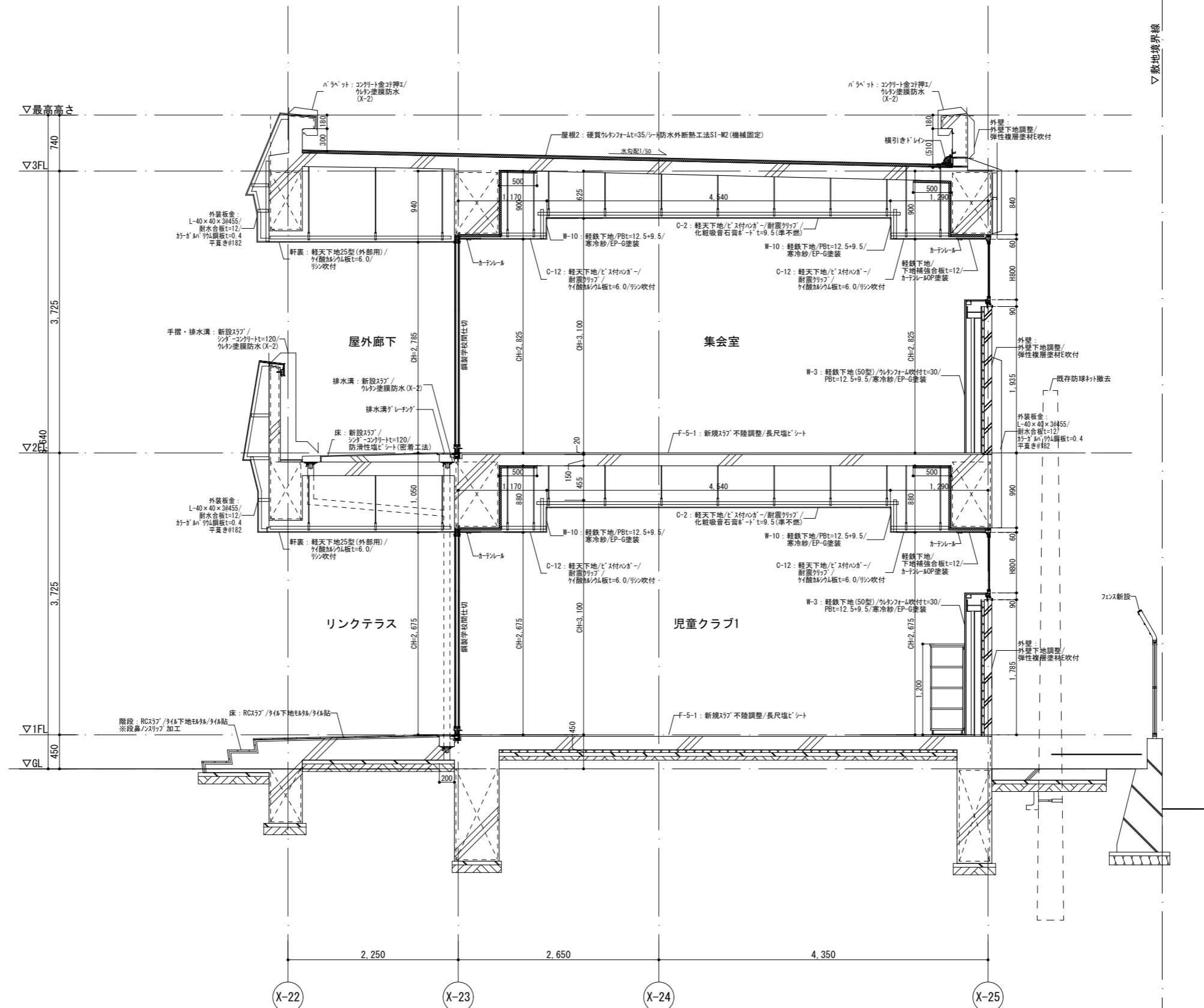


備考	月日	月日	月日	月日	株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤 信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A	073
	月日	月日	月日	月日	1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	校	佐藤 信	策	中元 翔一	図面名称	平面詳細図17 (R階)	縮尺	1/50 (A1) 1/100 (A3)	

凡例	壁 (W-1)	仕上げ EP-G塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -D' t=30+PBt=9.5/寒冷紗/	壁 (W-4)	仕上げ EP-G塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -D' t=30+耐水PBt=12.5/ 4/酸加シウム板t=6.0/	壁 (W-7)	仕上げ EP-G塗装 下地 珪砂下地調整	壁 (W-10)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/ 寒冷紗パテしごき	壁 (W-13)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/珪砂下地調整/吹付t=30/耐水PBt=12.5/ 4/酸加シウム板t=6.0	壁 (W-16)	仕上げ 揭示カマ 下地 軽鉄下地/珪砂下地調整/吹付t=30/珪砂合板t=9.0/	方位 東 北 南 西
	壁 (W-2)	仕上げ EP-G塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -D' t=30+PBt=12.5/ 寒冷紗パテしごき	壁 (W-5)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/珪砂下地調整/吹付t=30/耐水PBt=12.5/ 4/酸加シウム板t=6.0/	壁 (W-8)	仕上げ 揭示カマ 下地 軽鉄下地/珪砂合板t=9.0/	壁 (W-11)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/耐水PBt=12.5/4/酸加シウム板t=6.0	壁 (W-14)	仕上げ 化粧有効合板t=9 (珪砂合板)目透かし張り (シチーブ) 下地 既存珪砂下地調整/炭酸加シウム板t=30+PBt=12.5/ 木崩れ+ガラス充填t=21/			
	壁 (W-3)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地 (50型)/珪砂下地調整/吹付t=30/ PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき/	壁 (W-6)	仕上げ EP-G塗装 下地 既存珪砂下地調整	壁 (W-9)	仕上げ 揭示カマ 下地 GL工法/珪砂合板t=9.0/	壁 (W-12)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/耐火PBt=21+21/寒冷紗パテしごき	壁 (W-15)	仕上げ 既存のまま 下地 既存のまま			



備考	月日		月日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤 信	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事 (建築工事)	図番	A 074	
	月日		月日			1級建築士 佐藤 信 第362177号	監修	佐藤 信	監修		中元 翔一	縮尺	1/50 (A1) 1/100 (A3)
	月日		月日			1級建築士事務所 第1-60097号						平面詳細図18 (R階)	

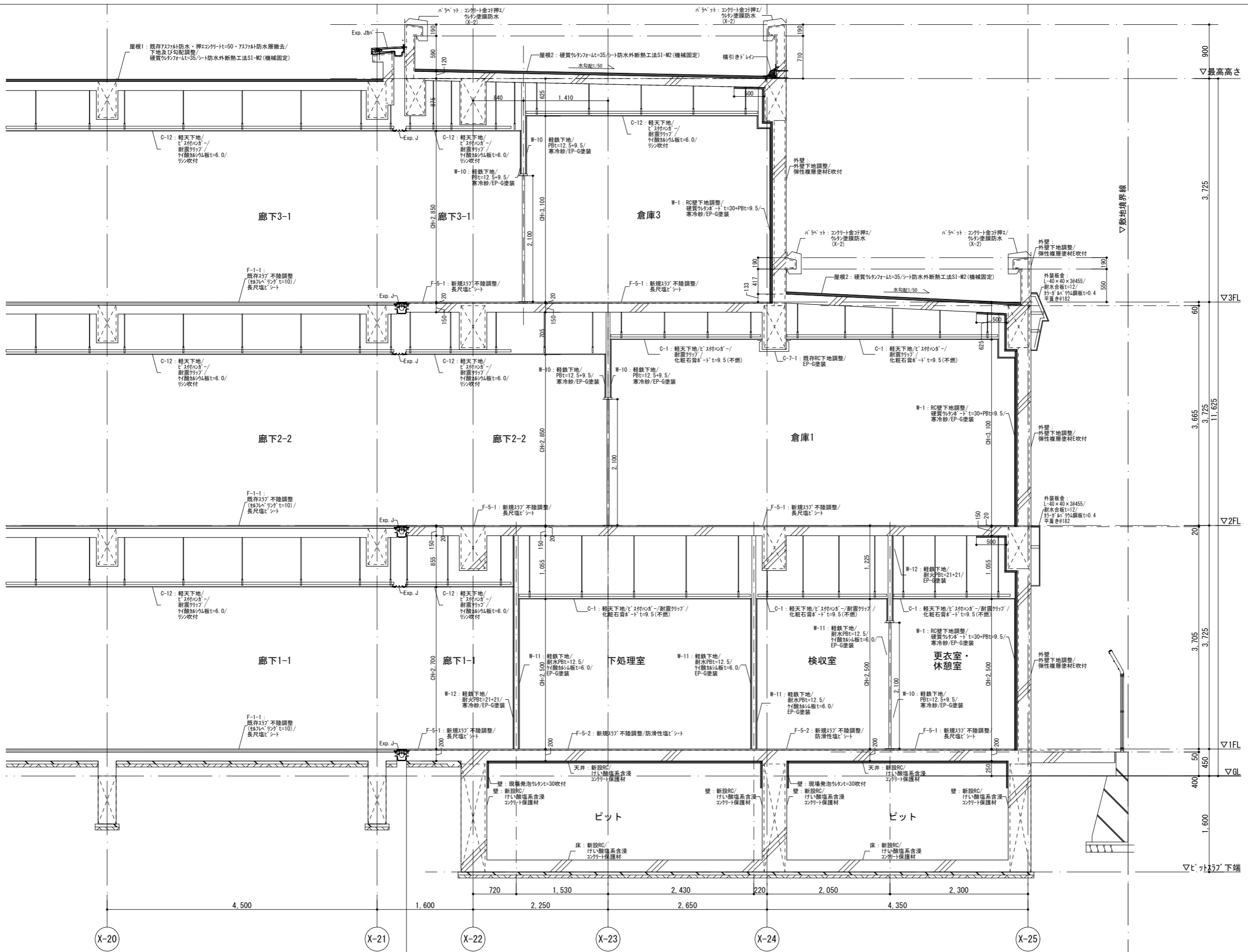


増築棟短手断面詳細図-1 S=1:60

※外装板金詳細は部分詳細図1~5参照

備考	月日		月日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤 信	大東市立住道北小学校校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A-075	
	月日		月日			1級建築士 佐藤 信 第362177号	校	佐藤 信	監		中元 翔一	縮尺	1/30 (A1)
	月日		月日			1級建築士事務所 第1-60097号	校		監			縮尺	1/60 (A3)

断面詳細図1



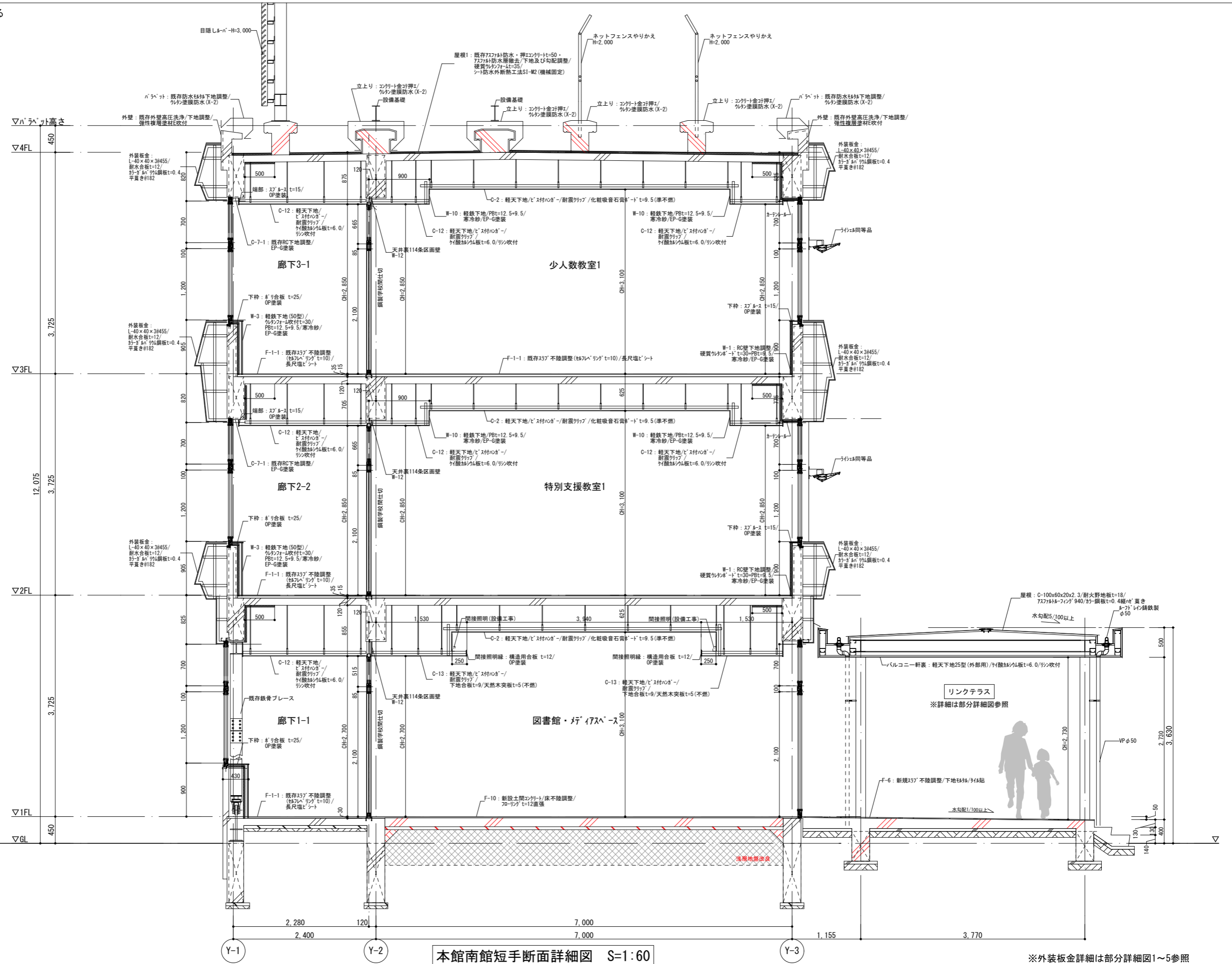
増築棟短手断面詳細図-2 S=1:60

※外装板金詳細は部分詳細図1~5参照

備考	月日		月日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作	2024/11/11	設計	佐藤 信	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事 (建築工事)	図	A-075-2	
	月日		月日			1級建築士 佐藤 信 第362177号	監	佐藤 信	監		中元 翔一	縮	1/30 (A1)
	月日		月日			1級建築士事務所 第1-60097号	監	佐藤 信	監		中元 翔一	縮	1/60 (A3)

断面詳細図2

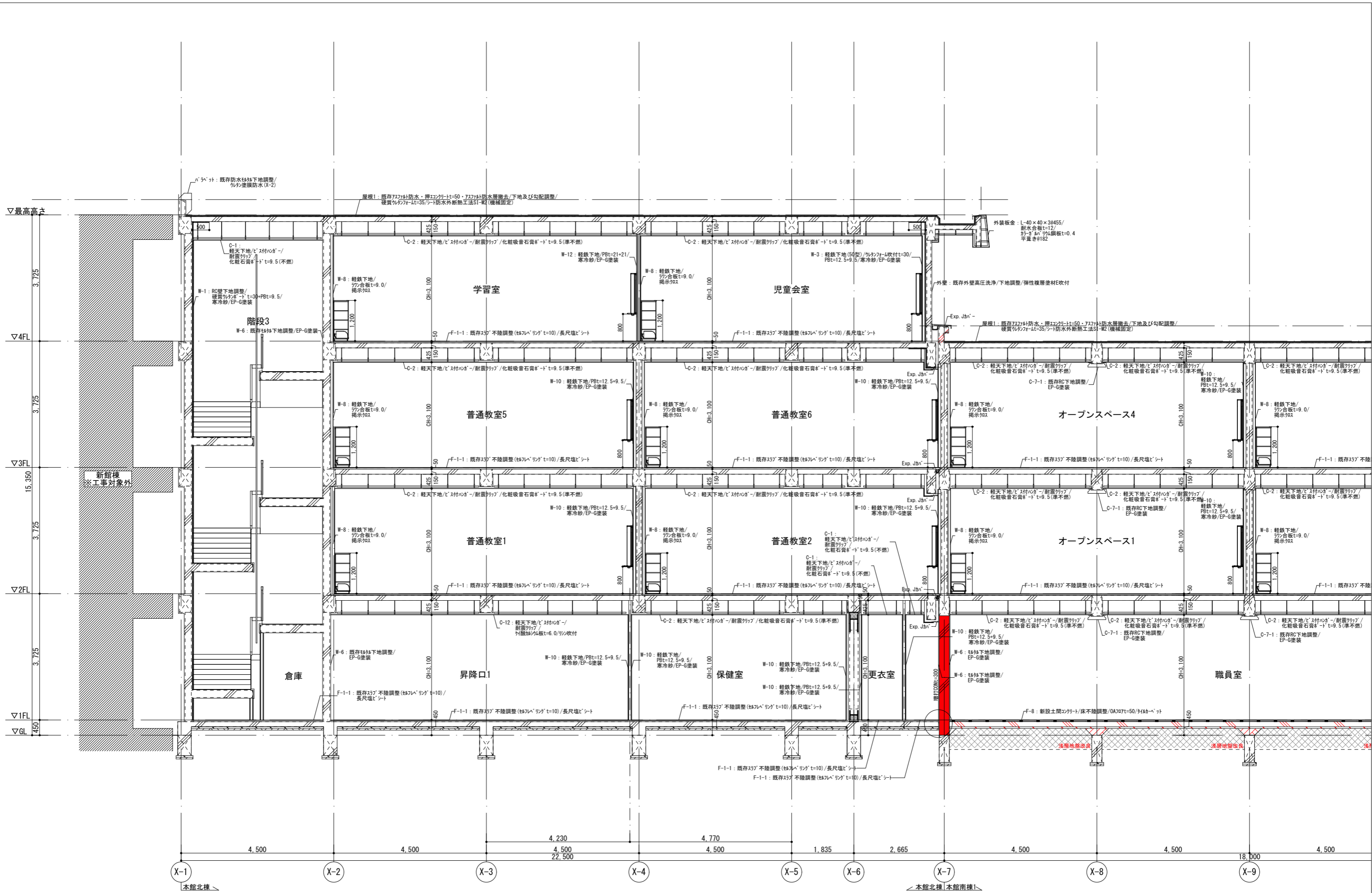
※外装板金部材詳細は部分詳細図に準ずる



本館南館短手断面詳細図 S=1:60

※外装板金詳細は部分詳細図1~5参照

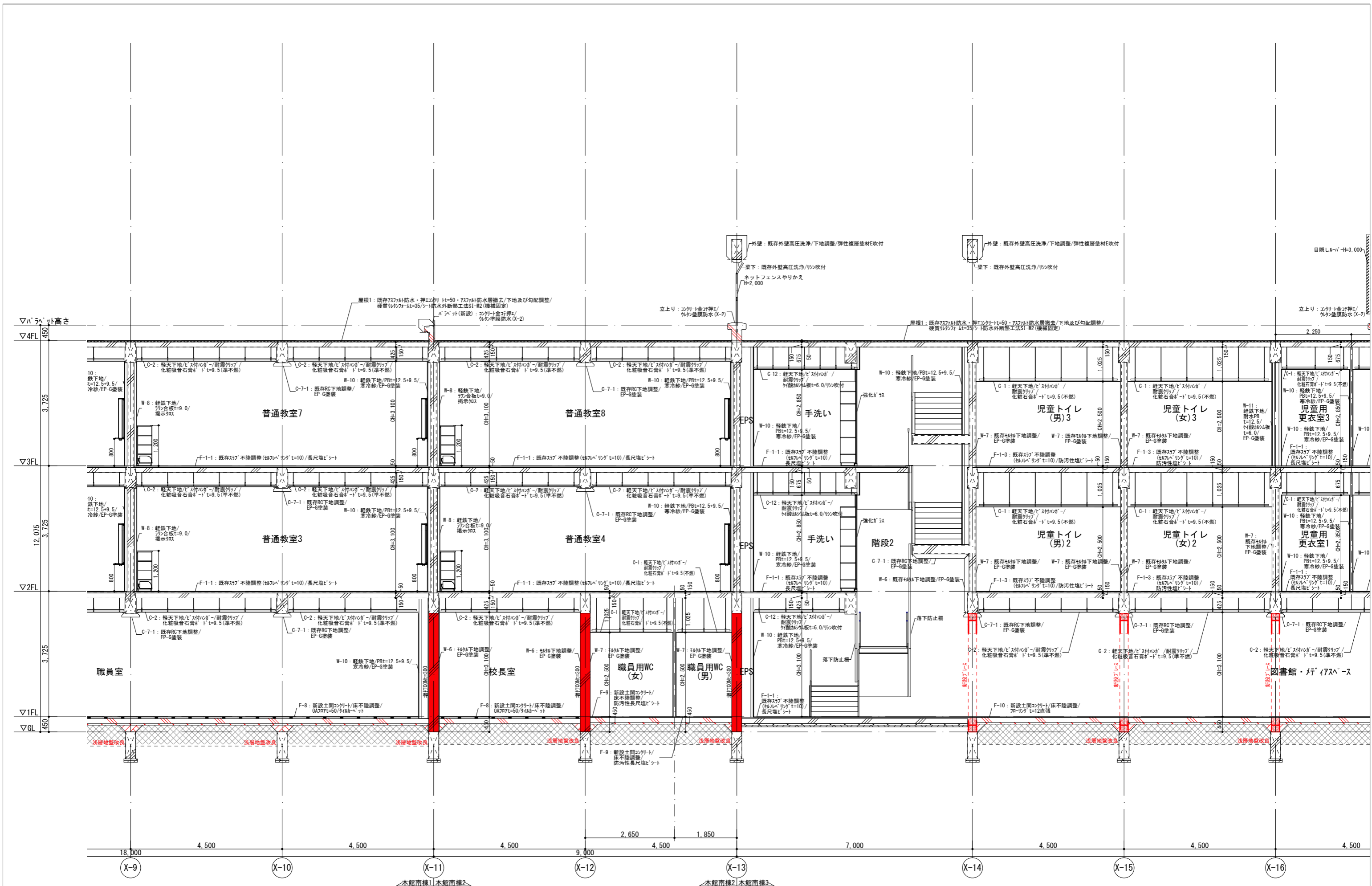
備考	月日		月日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤 信	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A-075-3	
	月日		月日			1級建築士 佐藤 信 第362177号	監修	佐藤 信	監修		中元 翔一	縮尺	1/30(A1) 1/60(A3)
	月日		月日			1級建築士事務所 第1-60097号						断面詳細図3	
	月日		月日										



長手断面詳細図-1 S=1:100

※外装板金詳細は部分詳細図1~5参照

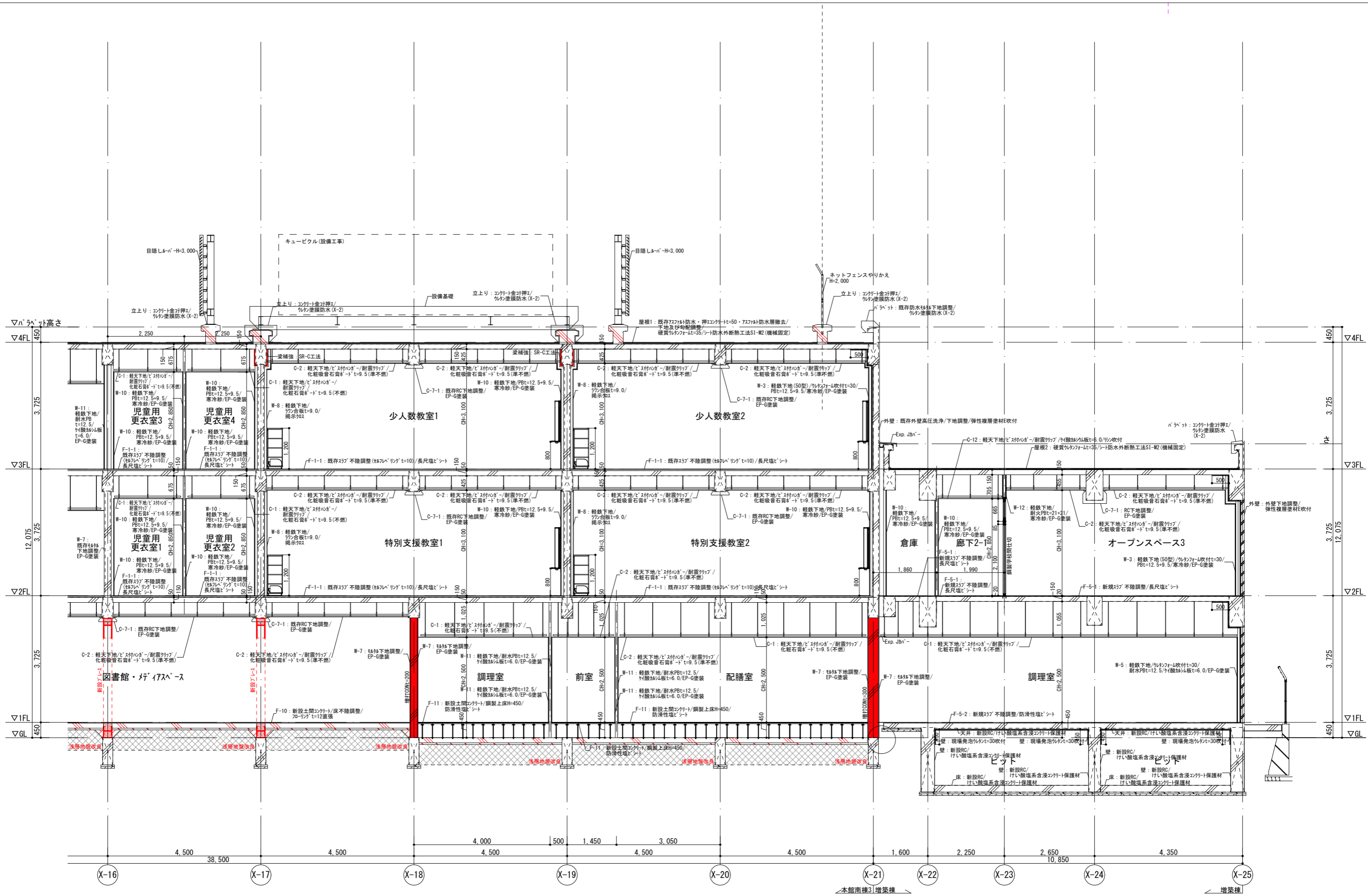
備考	月日	月日	株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作	2024/11/11	設計	佐藤 信	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A-075-4
	月日	月日	1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-80097号	校	佐藤 信	監	中元 翔一			断面詳細図4



長手断面詳細図-2 S=1:100

※外装板金詳細は部分詳細図1~5参照

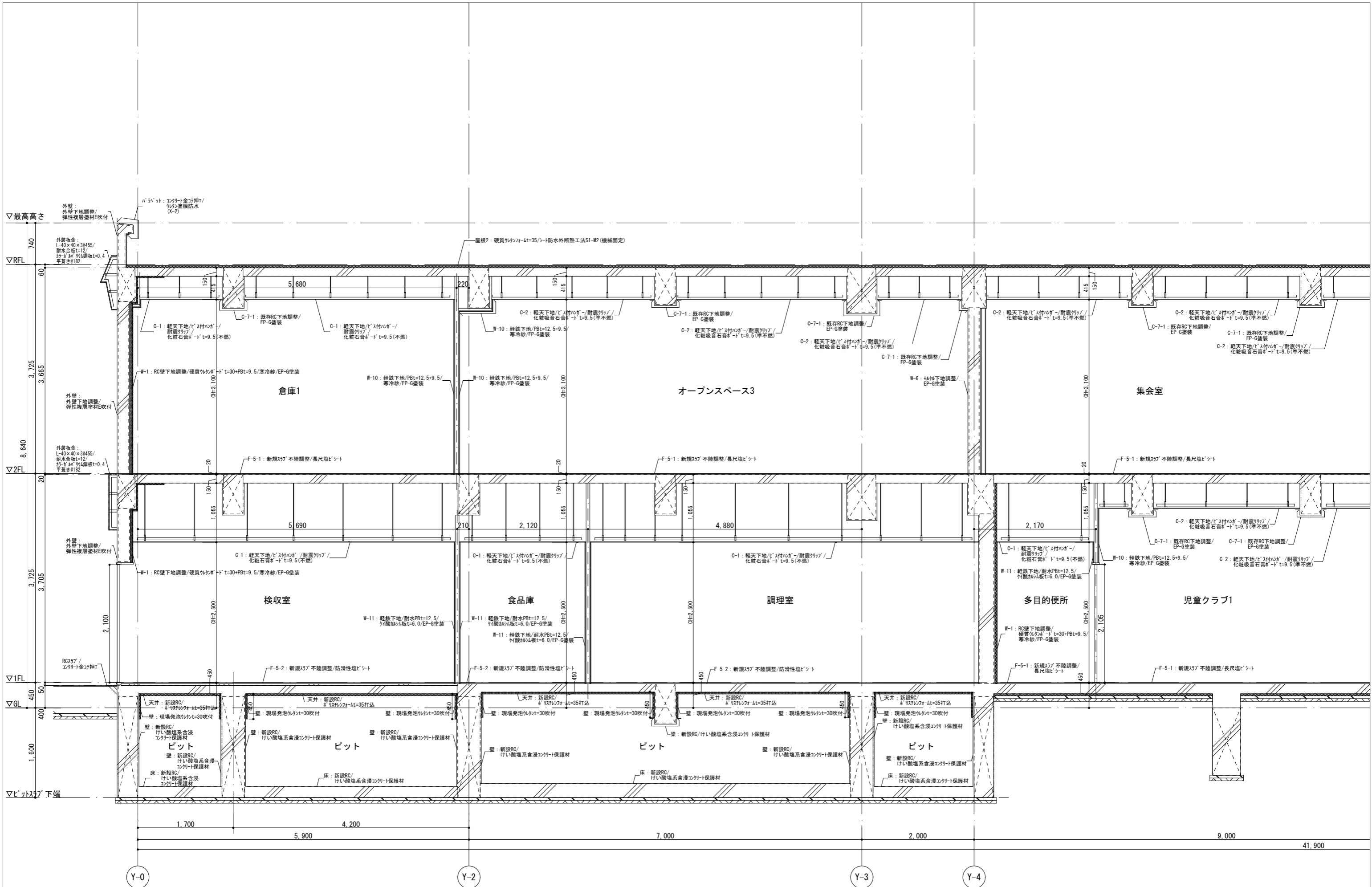
備考	日付		日付		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤 信	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A-075-5
	日付		日付		1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-80097号	確認		監理	中元 翔一			断面詳細図5



長手断面詳細図-3 S=1:100

※外装板金詳細は部分詳細図1~5参照

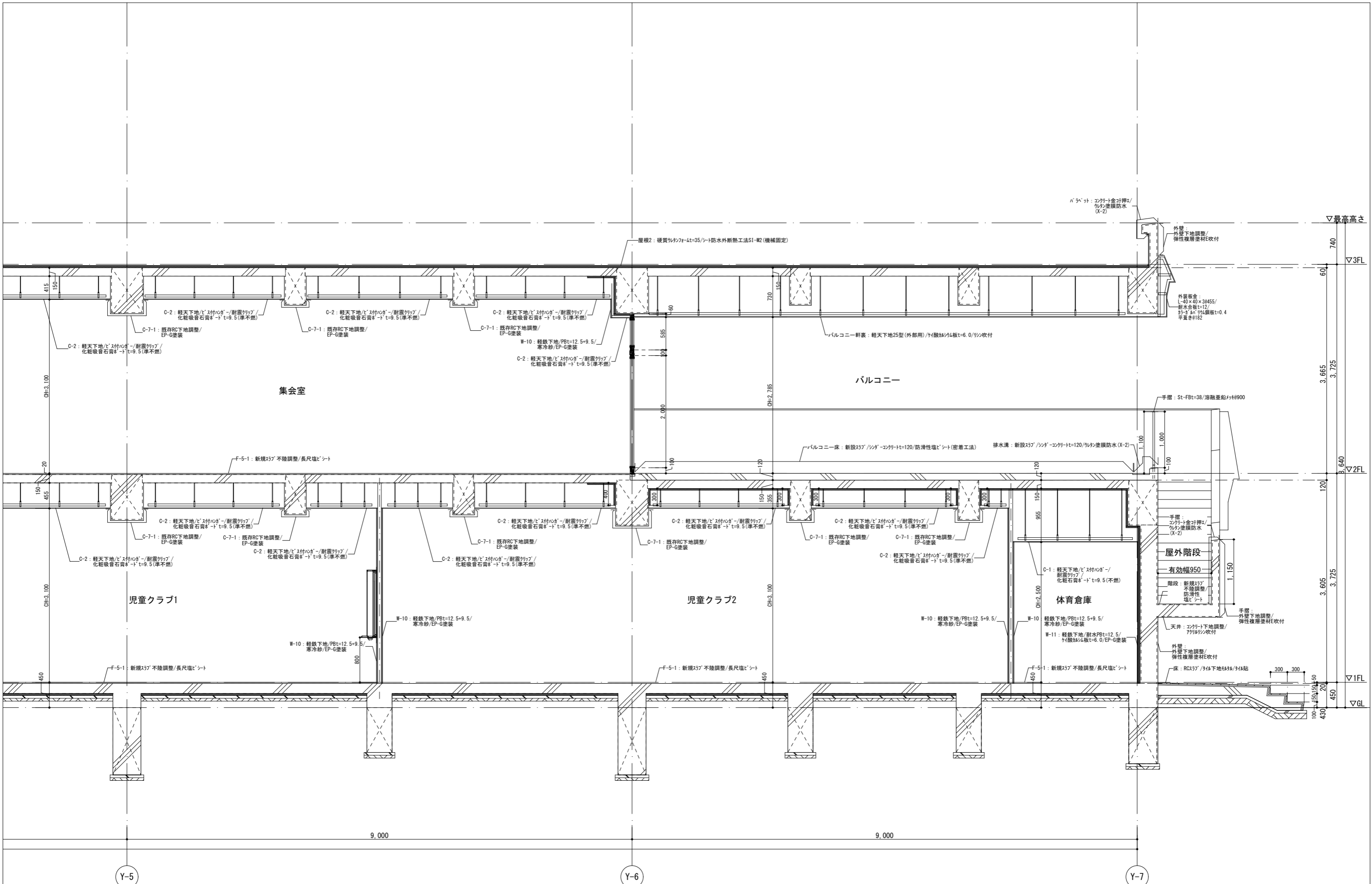
<table border="1"> <tr><td>日付</td><td></td><td>日付</td><td></td></tr> <tr><td>年月日</td><td></td><td>年月日</td><td></td></tr> <tr><td>年月日</td><td></td><td>年月日</td><td></td></tr> </table>	日付		日付		年月日		年月日		年月日		年月日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates 1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	作成 2024/11/11 設計 佐藤 信 監修 佐藤 信 中元 翔一	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事) 断面詳細図6	図番 A-075-6 縮尺 1/50(A1) 1/100(A3)
日付		日付														
年月日		年月日														
年月日		年月日														



増築棟長手断面詳細図-1 S=1:60

※外装板金詳細は部分詳細図1~5参照

備考 日付 日付 日付	日付 日付 日付	株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates 1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	作成 2024/11/11 設計 佐藤 信 校核 佐藤 信 監理 中元 翔一	工事名 大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事) 断面詳細図7	図番 A-075-7 縮尺 1/30 (A1) 1/60 (A3)
----------------------	----------------	---	---	---	---



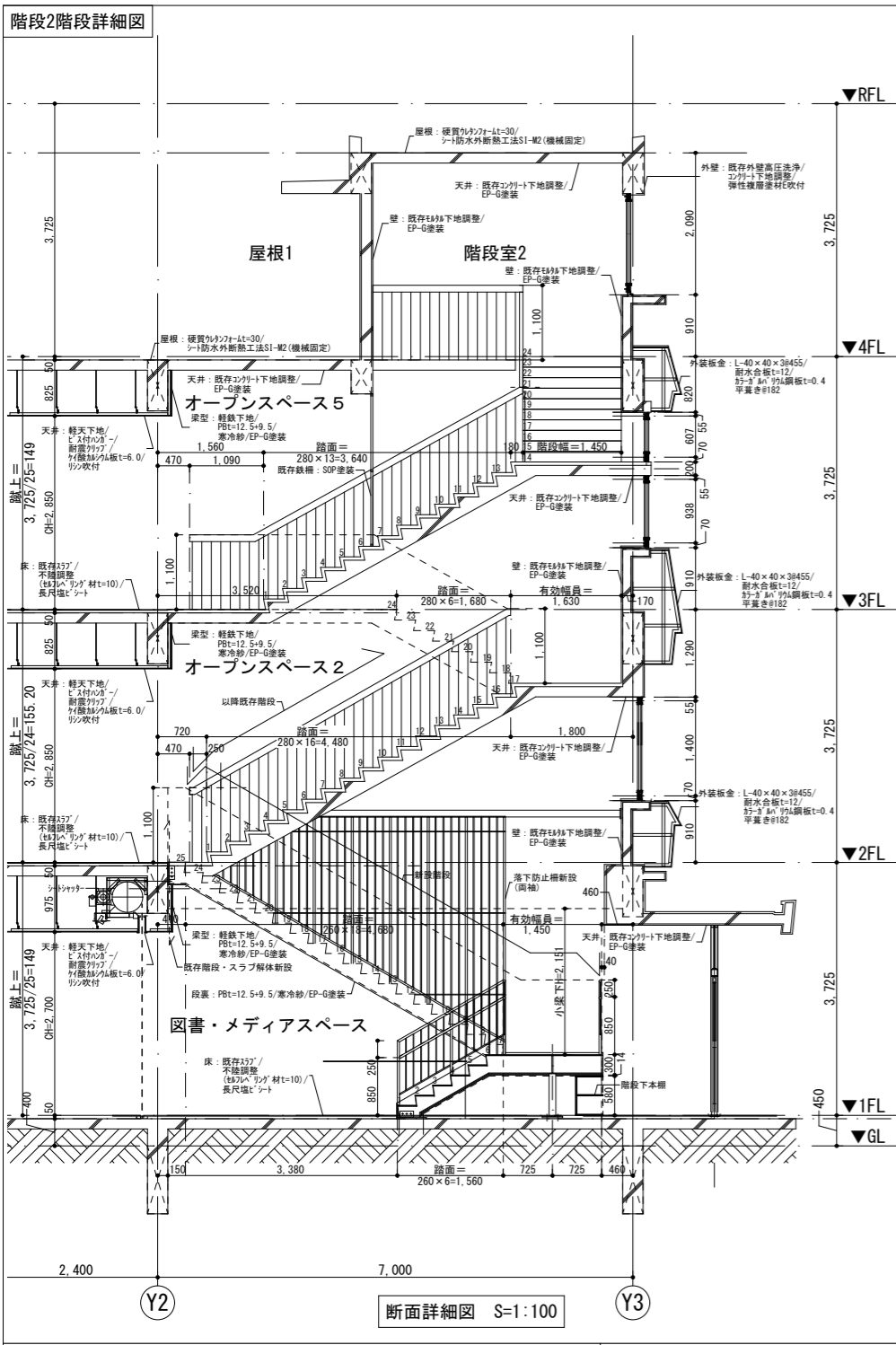
増築棟長手断面詳細図-2 S=1:60

※外装板金詳細は部分詳細図1~5参照

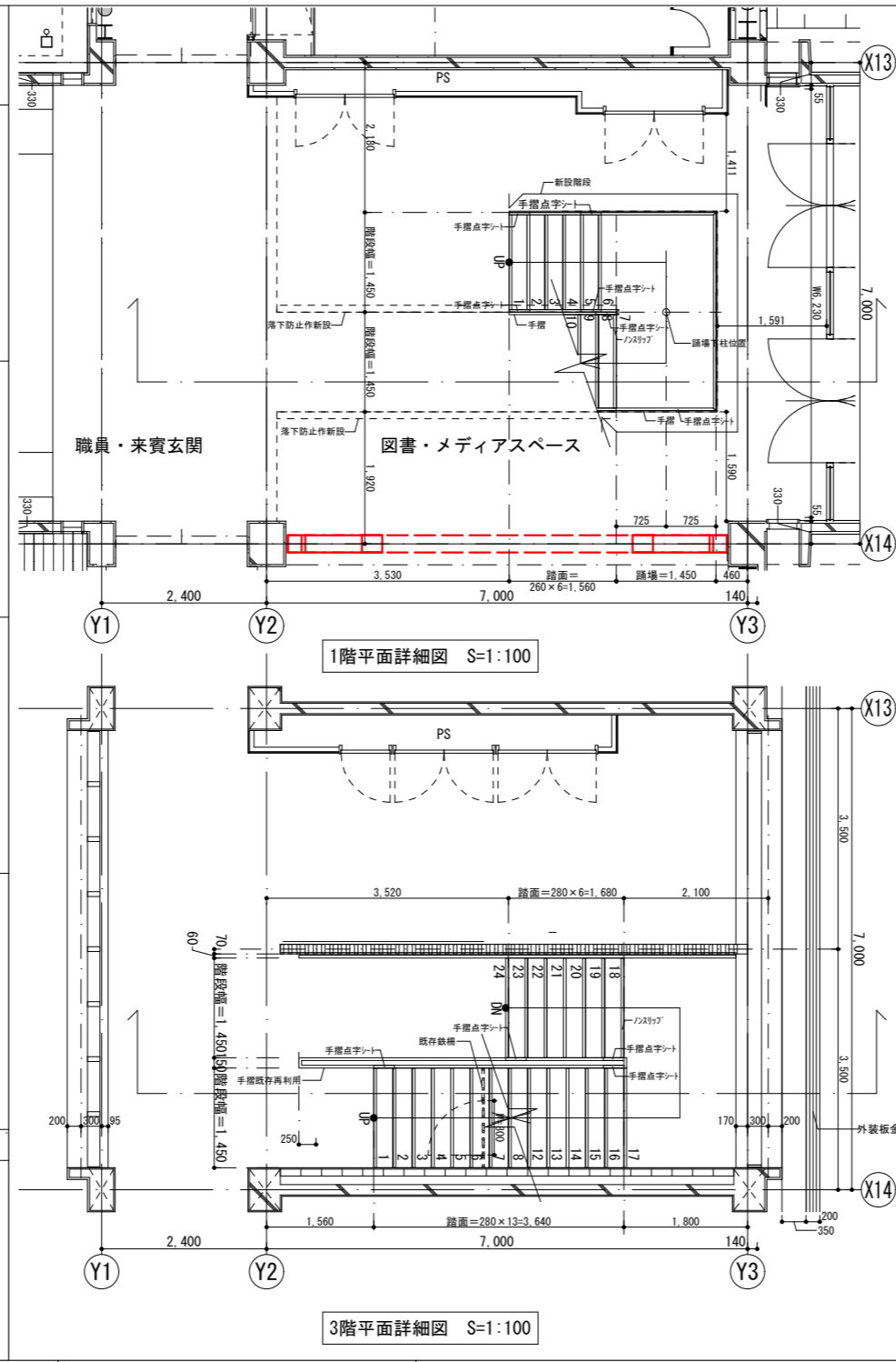
備考	月日	月日	株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作	2024/11/11	設計	佐藤 信	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図	A-075-8		
	月日	月日			1級建築士 佐藤 信 第362177号		監			佐藤 信	図	1/30 (A1)
	月日	月日			1級建築士事務所 第1-60097号		監			佐藤 信	監	中元 翔一

断面詳細図8

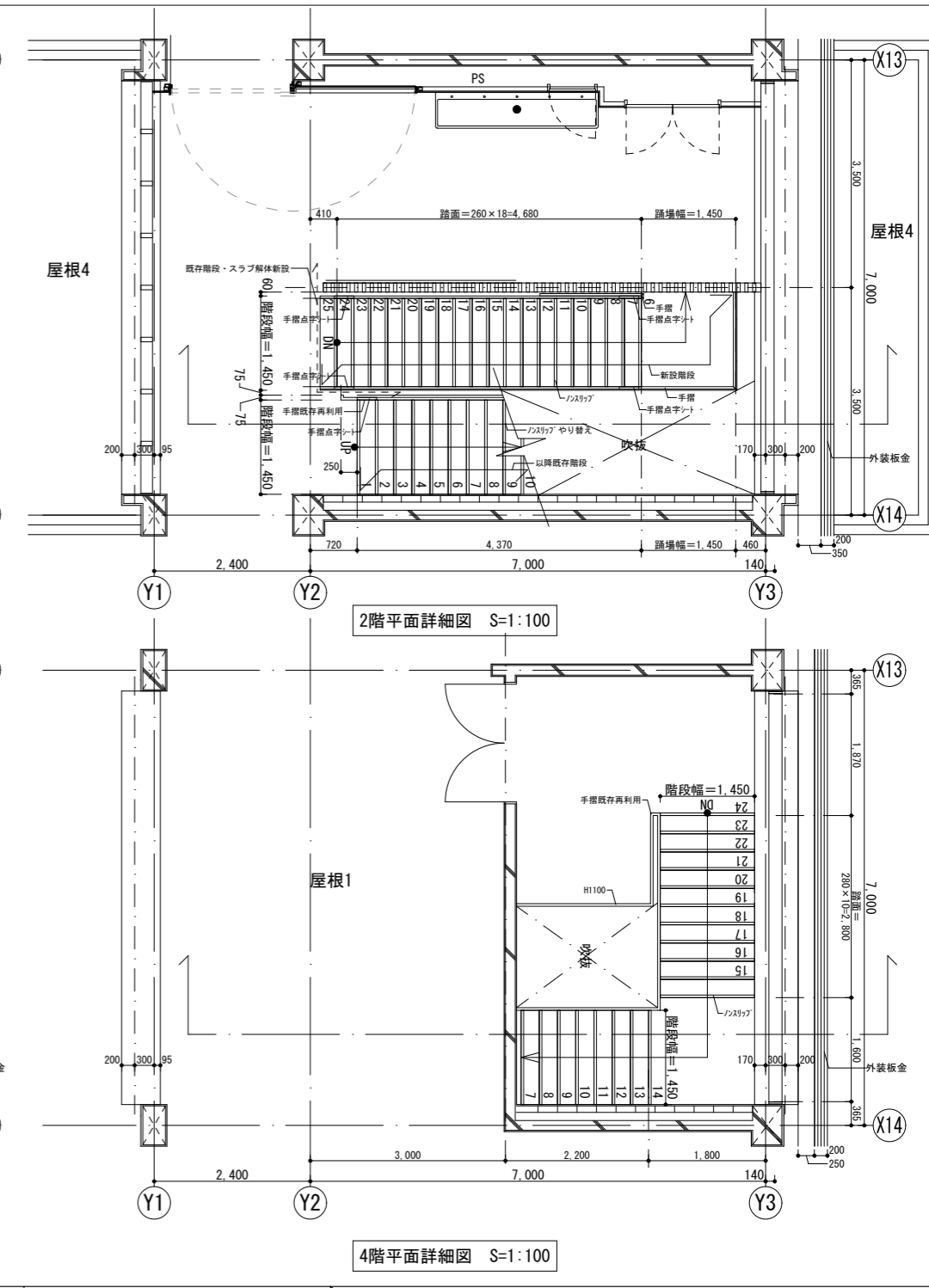




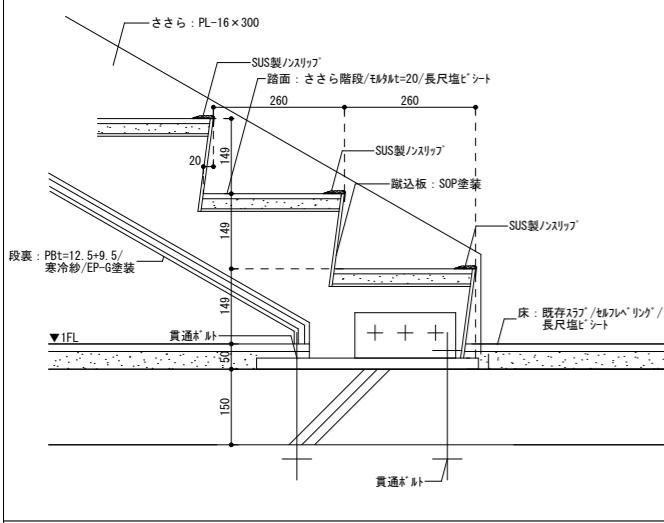
断面詳細図 S=1:100



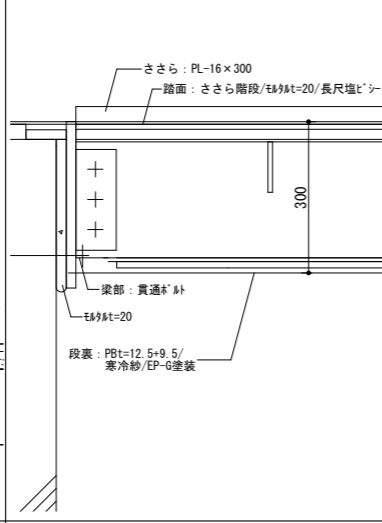
1階平面詳細図 S=1:100



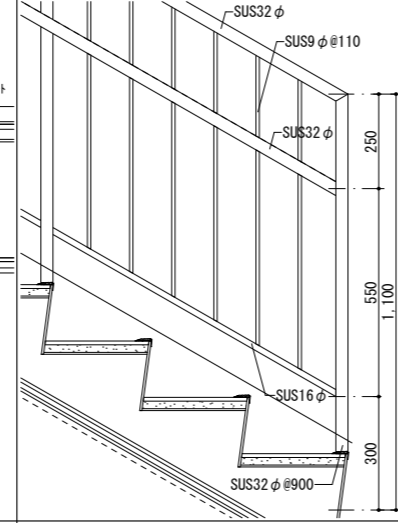
2階平面詳細図 S=1:100



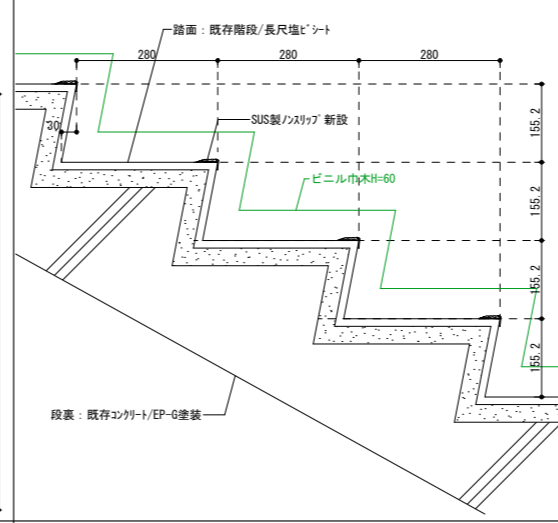
新設鉄骨階段部分詳細図1 S=1:15



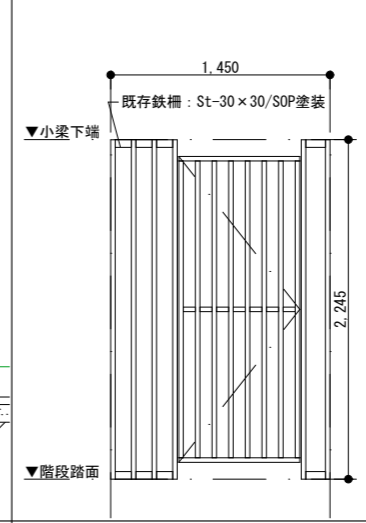
新設鉄骨階段部分詳細図2 S=1:15



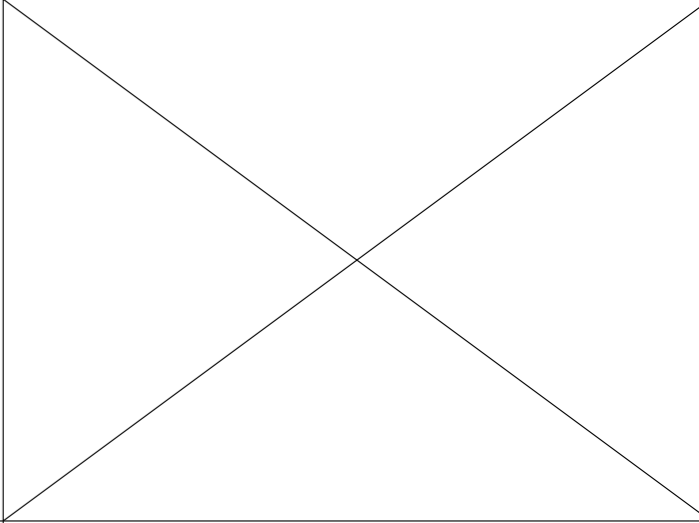
新設鉄骨階段部分詳細図3 S=1:20



既存階段部分詳細図1 S=1:15

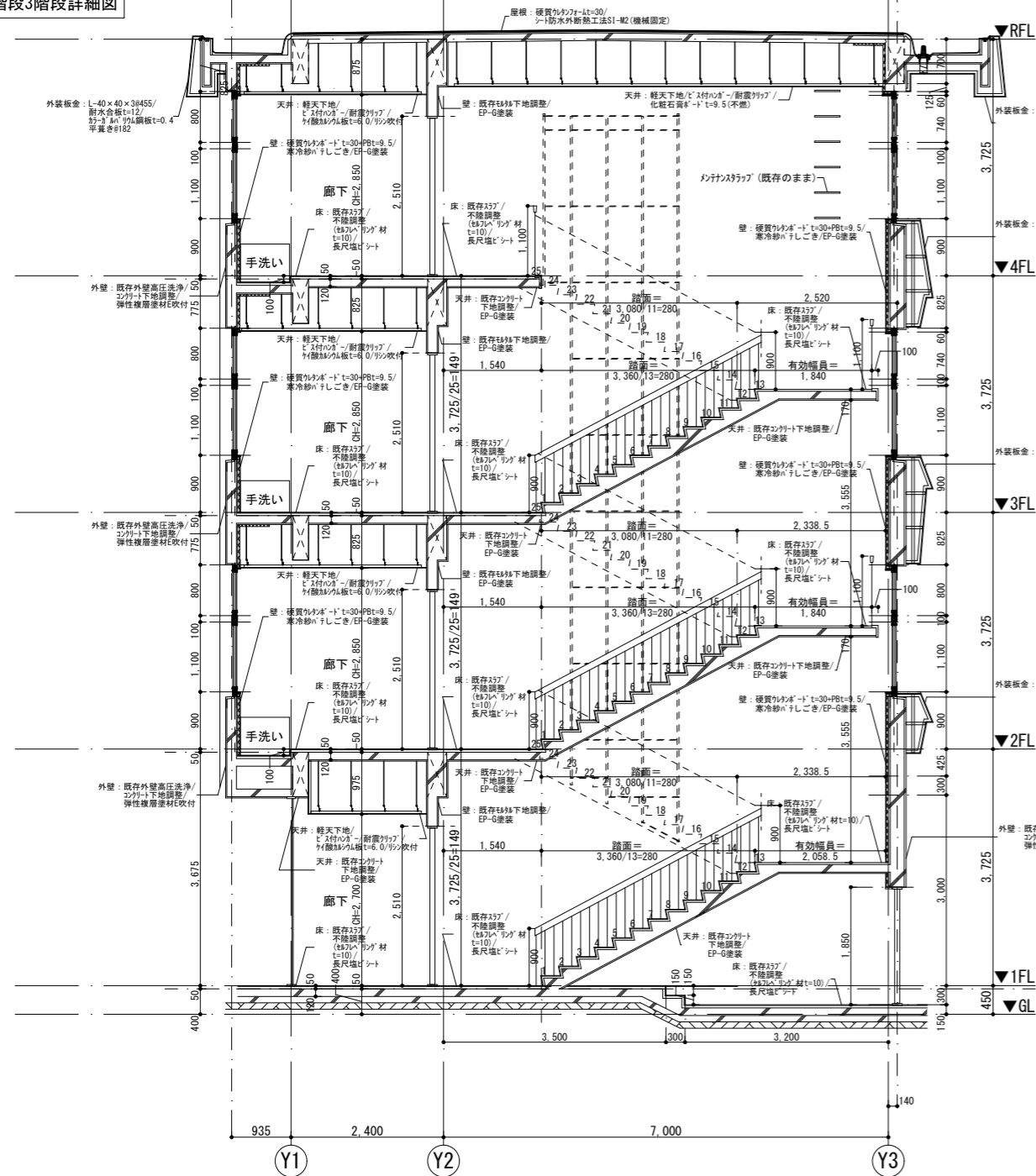


既存鉄柵詳細図 S=1:50

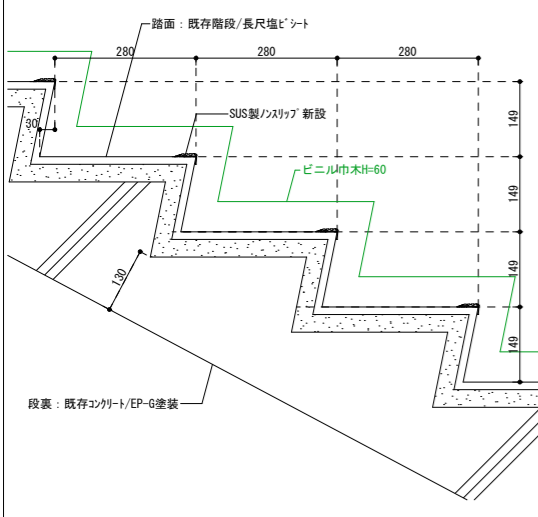


<p>株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect &amp; Associates</p> <p>1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号</p>	<p>2024/11/11</p> <p>設計 佐藤 信 中元 翔一</p>	<p>大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)</p> <p>階段詳細図2(階段2詳細図)</p>	<p>A-077</p>
--	--	---	--------------

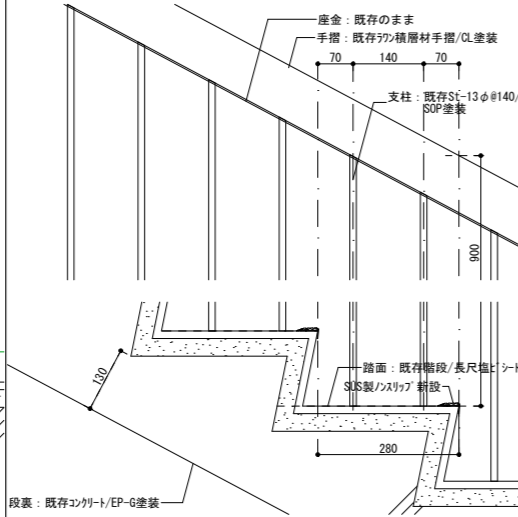
階段3階段詳細図



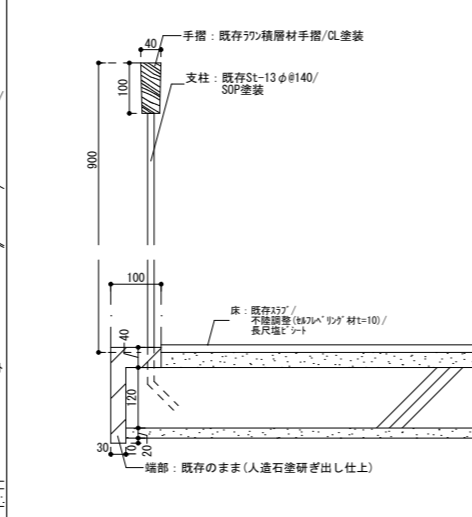
断面詳細図 S=1:100



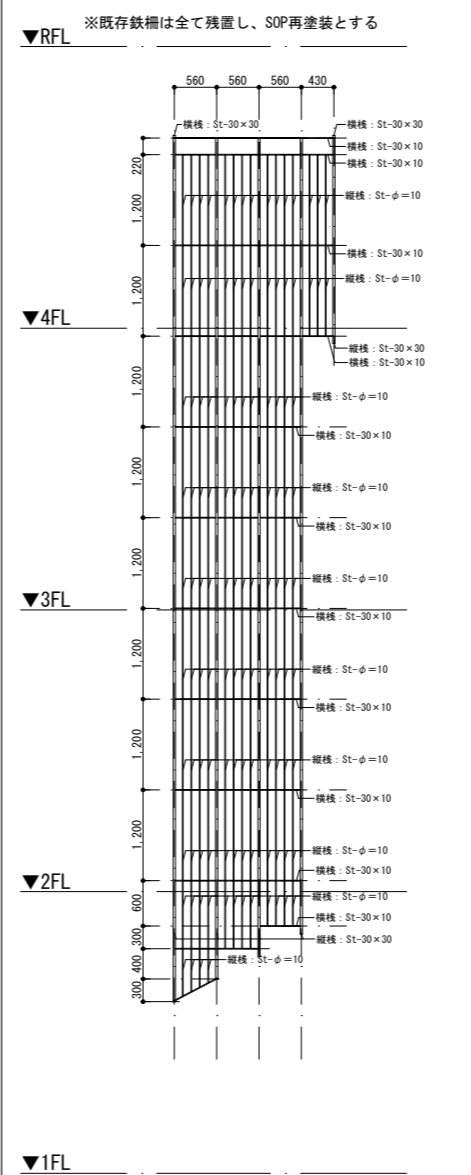
既存階段部分詳細図1 S=1:15



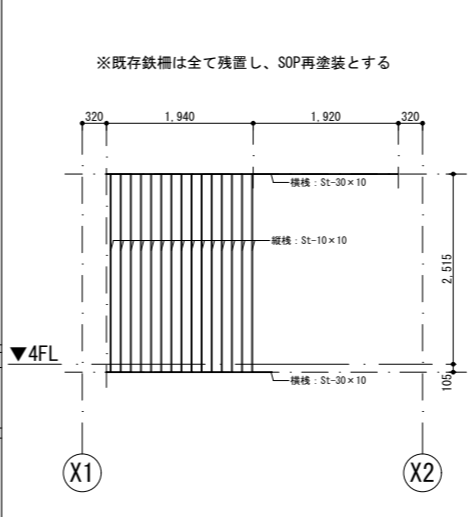
既存階段部分詳細図2 S=1:15



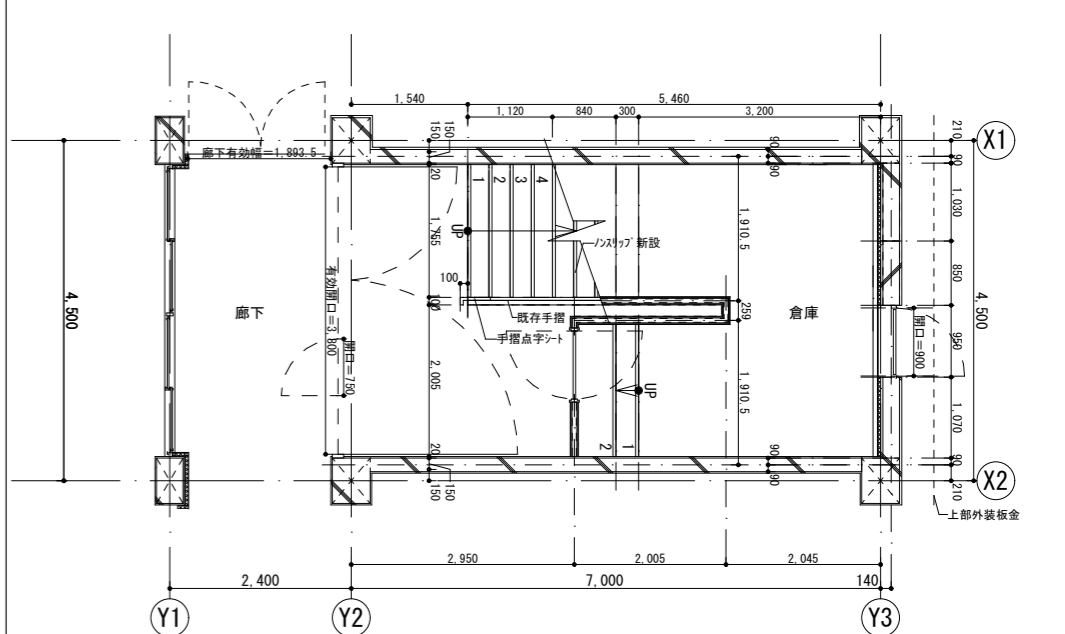
既存階段部分詳細図3 S=1:15



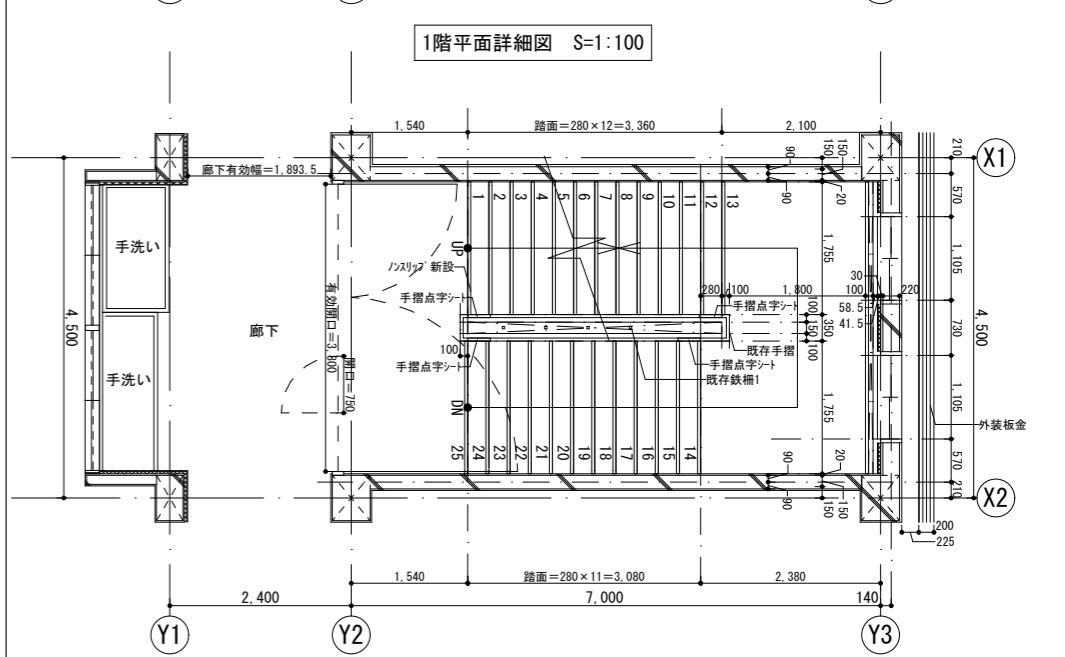
既存鉄柵詳細図1 S=1:100



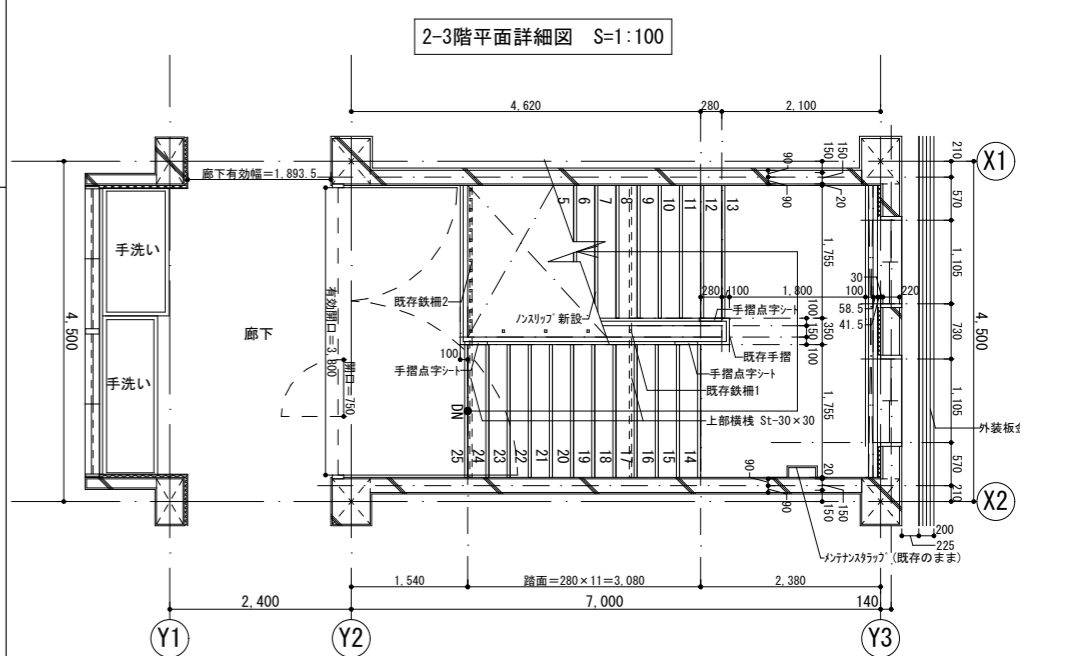
既存鉄柵詳細図2 S=1:100



1階平面詳細図 S=1:100



2-3階平面詳細図 S=1:100

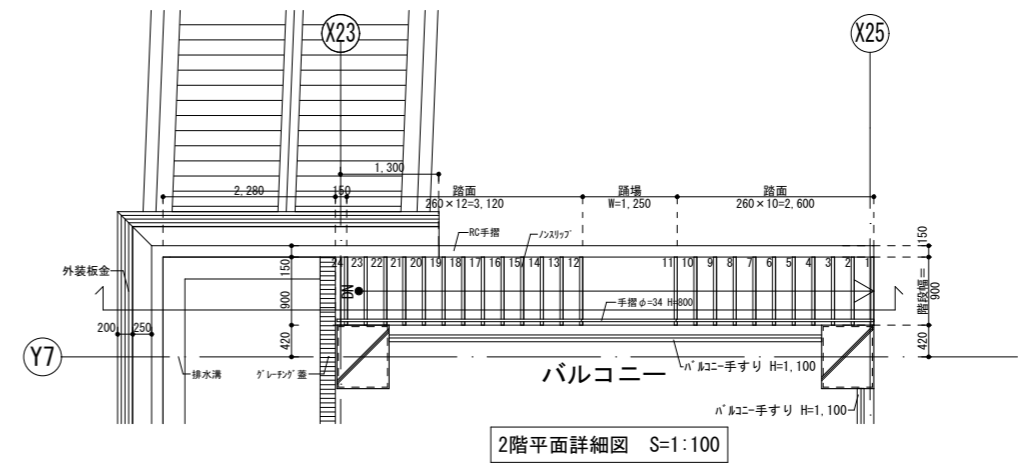
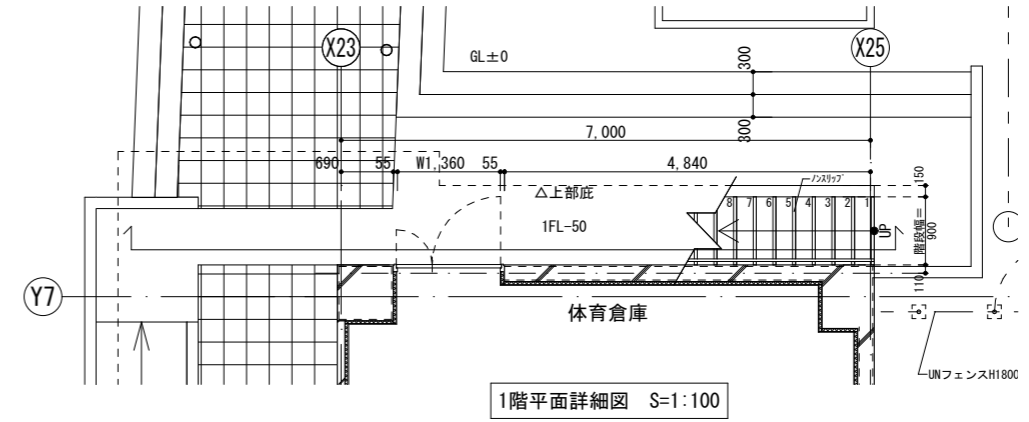
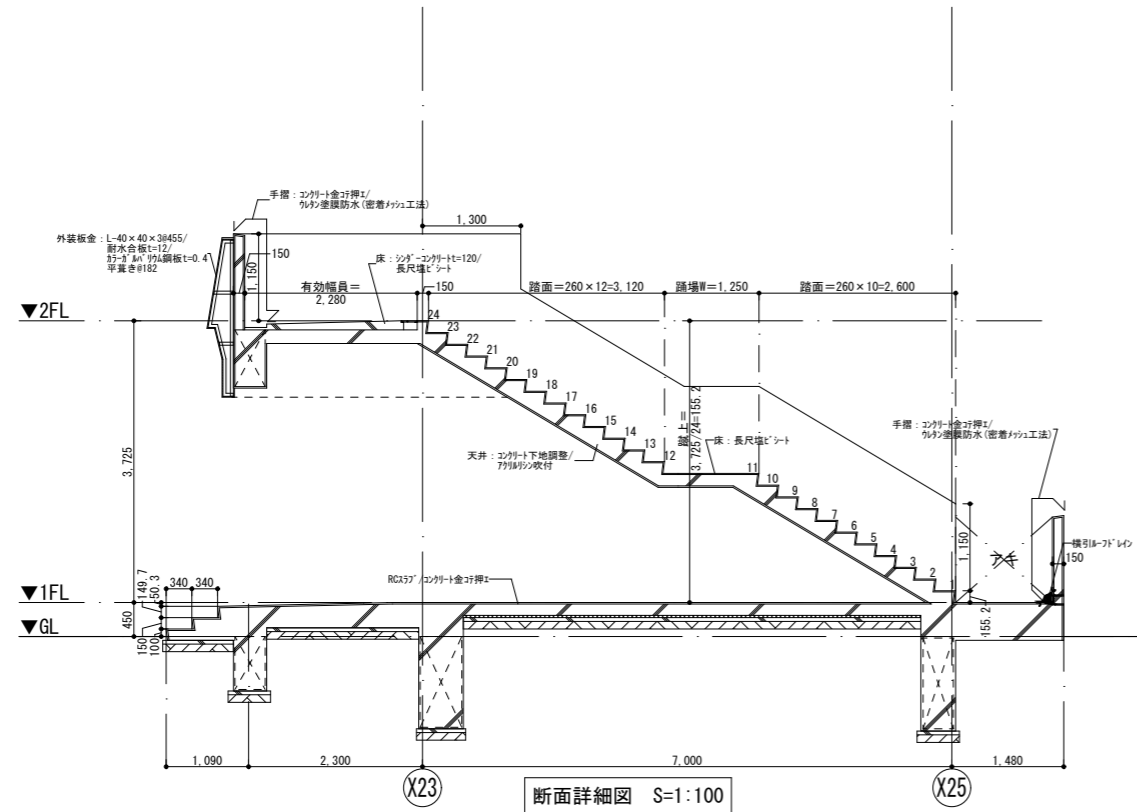


4階平面詳細図 S=1:100

※外装板金詳細は部分詳細図1~5参照

<p>株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect &amp; Associates</p> <p>1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号</p>	<p>2024/11/11</p> <p>設計 佐藤 信 監理 中元 翔一</p>	<p>大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)</p> <p>階段詳細図3(階段3詳細図)</p>	<p>A-078</p>
--	---	---	--------------

屋外階段1階段詳細図

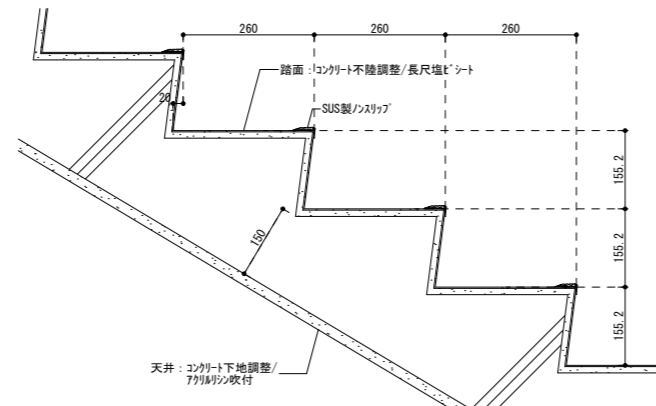
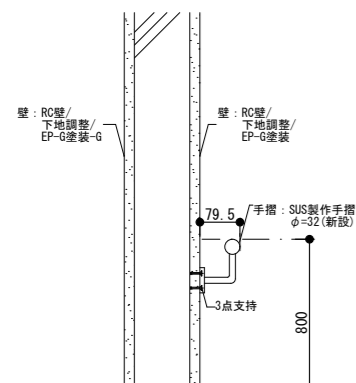


屋外階段1部分詳細図1

S=1:15

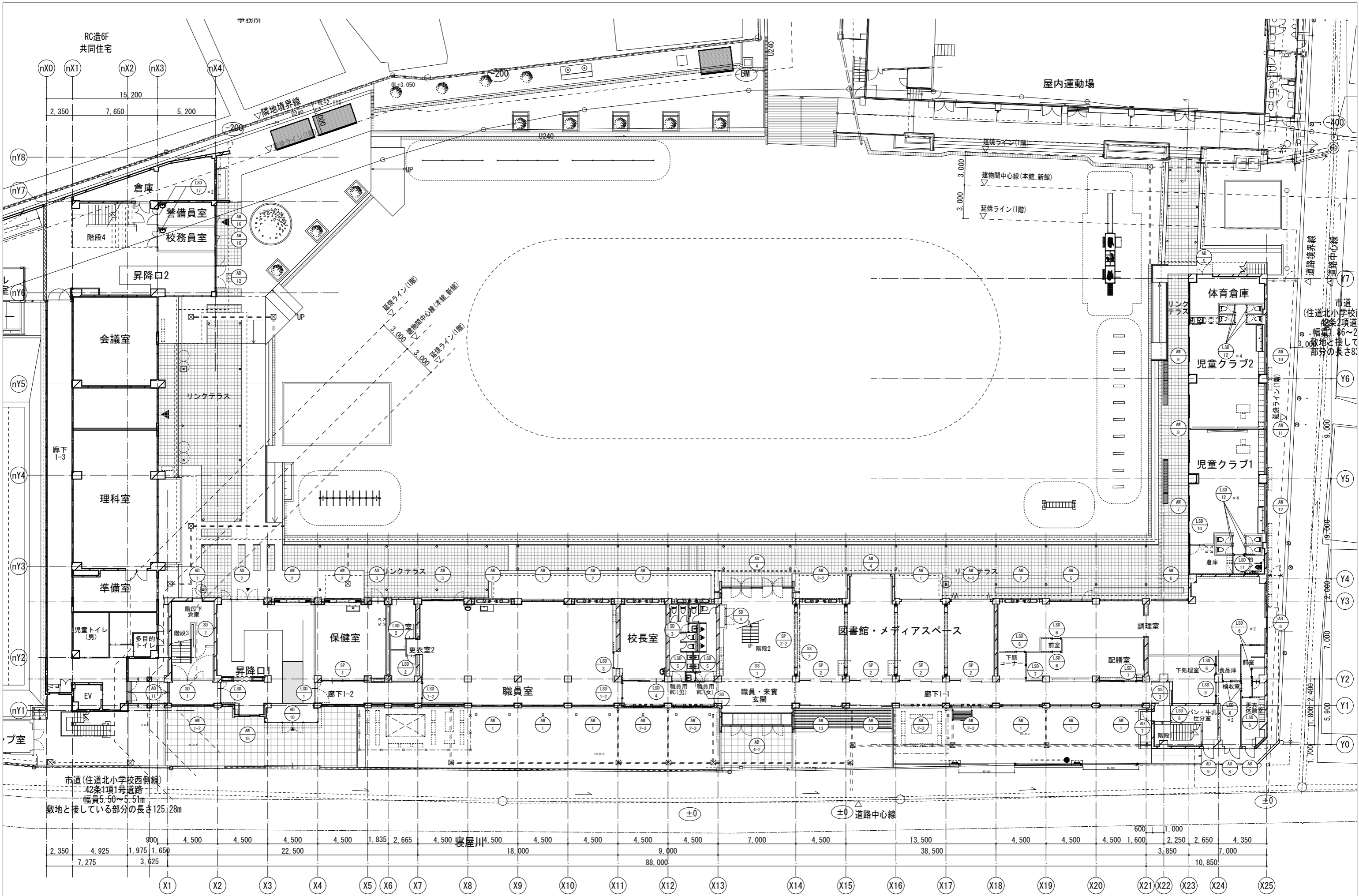
屋外階段1部分詳細図2

S=1:15

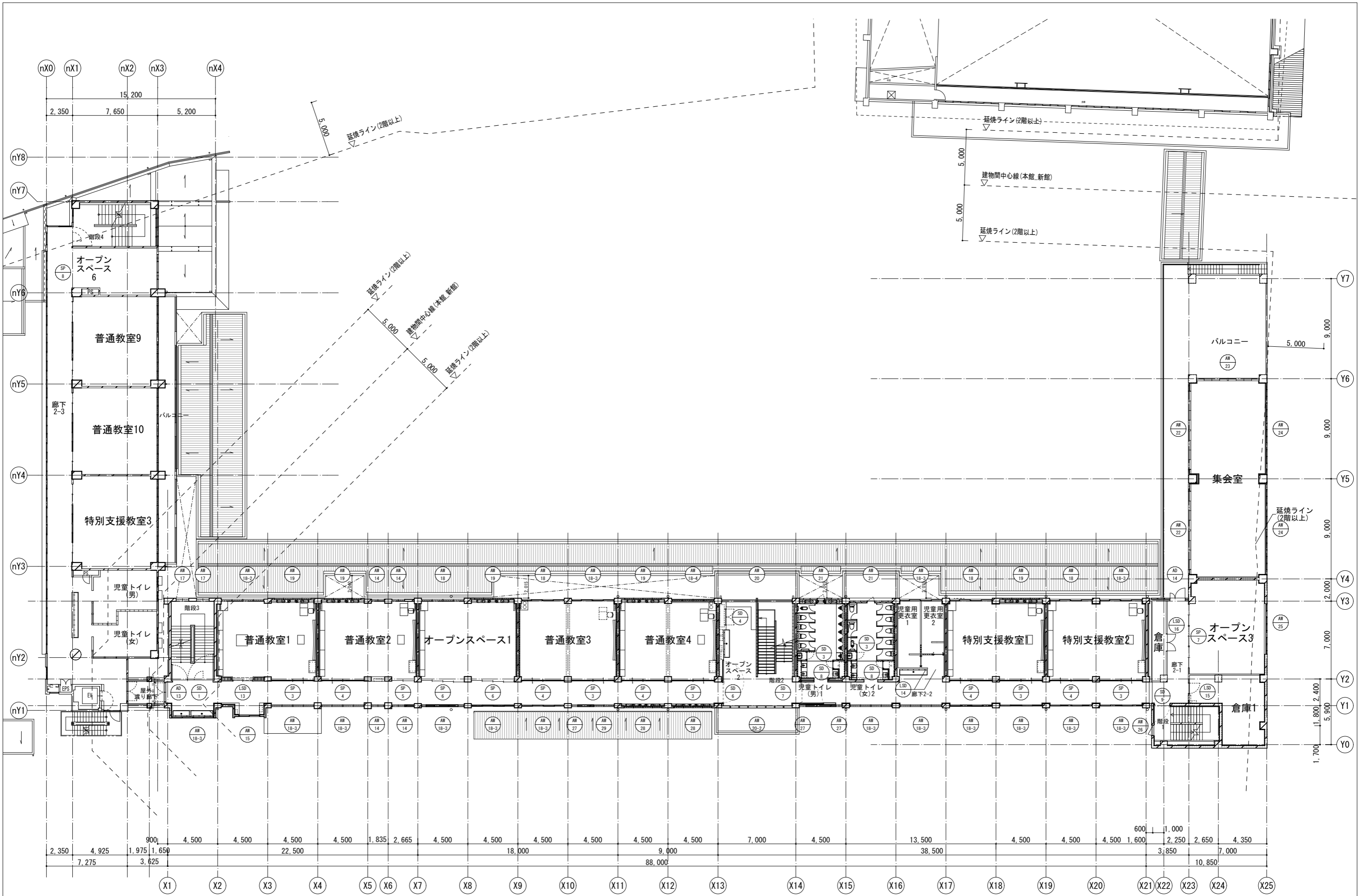


※外装板金詳細は部分詳細図1~5参照

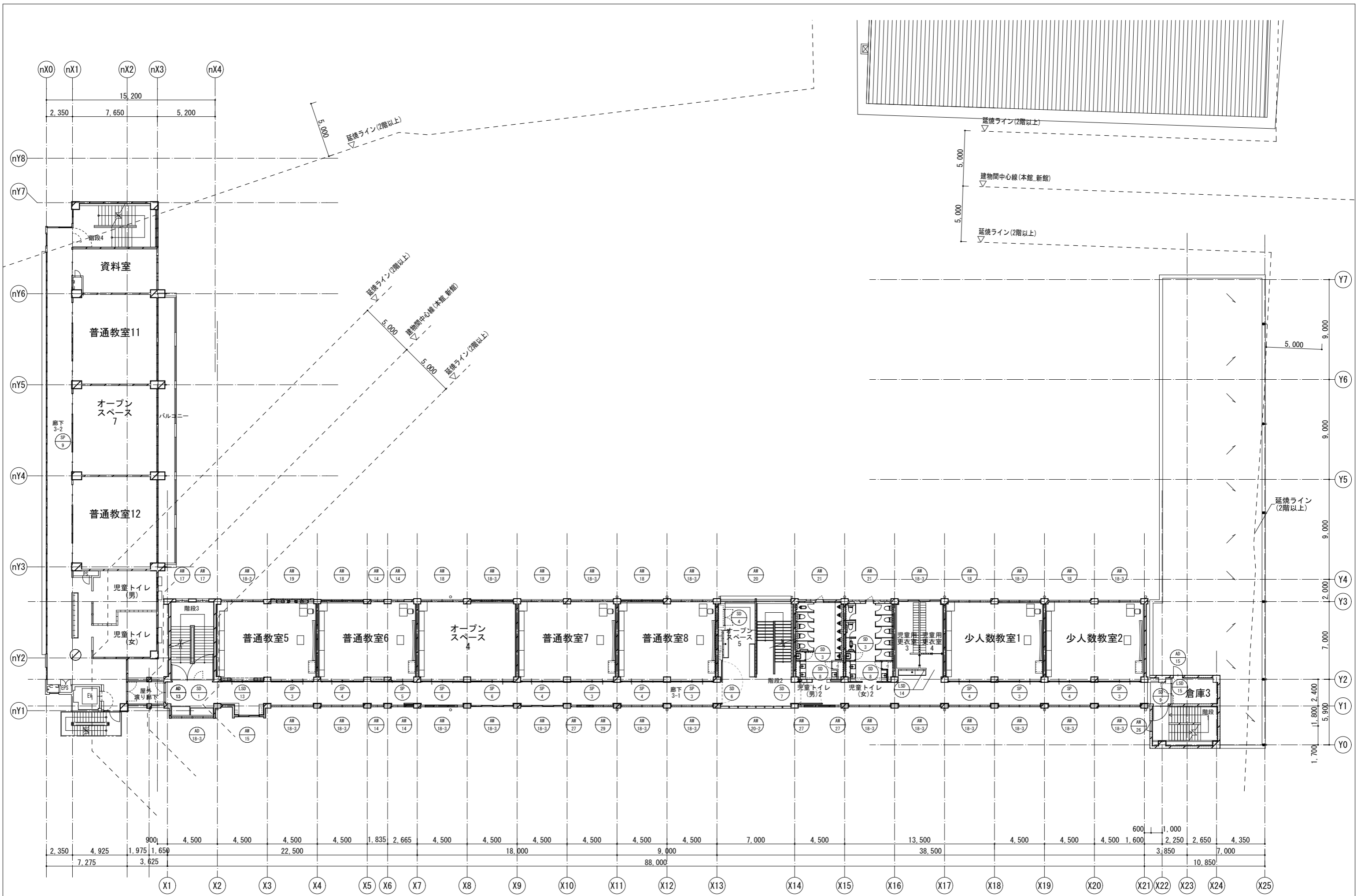
<p>株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect &amp; Associates</p> <p>1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号</p>	<p>2024/11/11</p> <p>佐藤 信</p>	<p>設計 佐藤 信</p> <p>中元 翔一</p>	<p>大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)</p> <p>階段詳細図4(屋外階段1)</p>	<p>A-078-2</p>
--	-------------------------------	-----------------------------	--	----------------



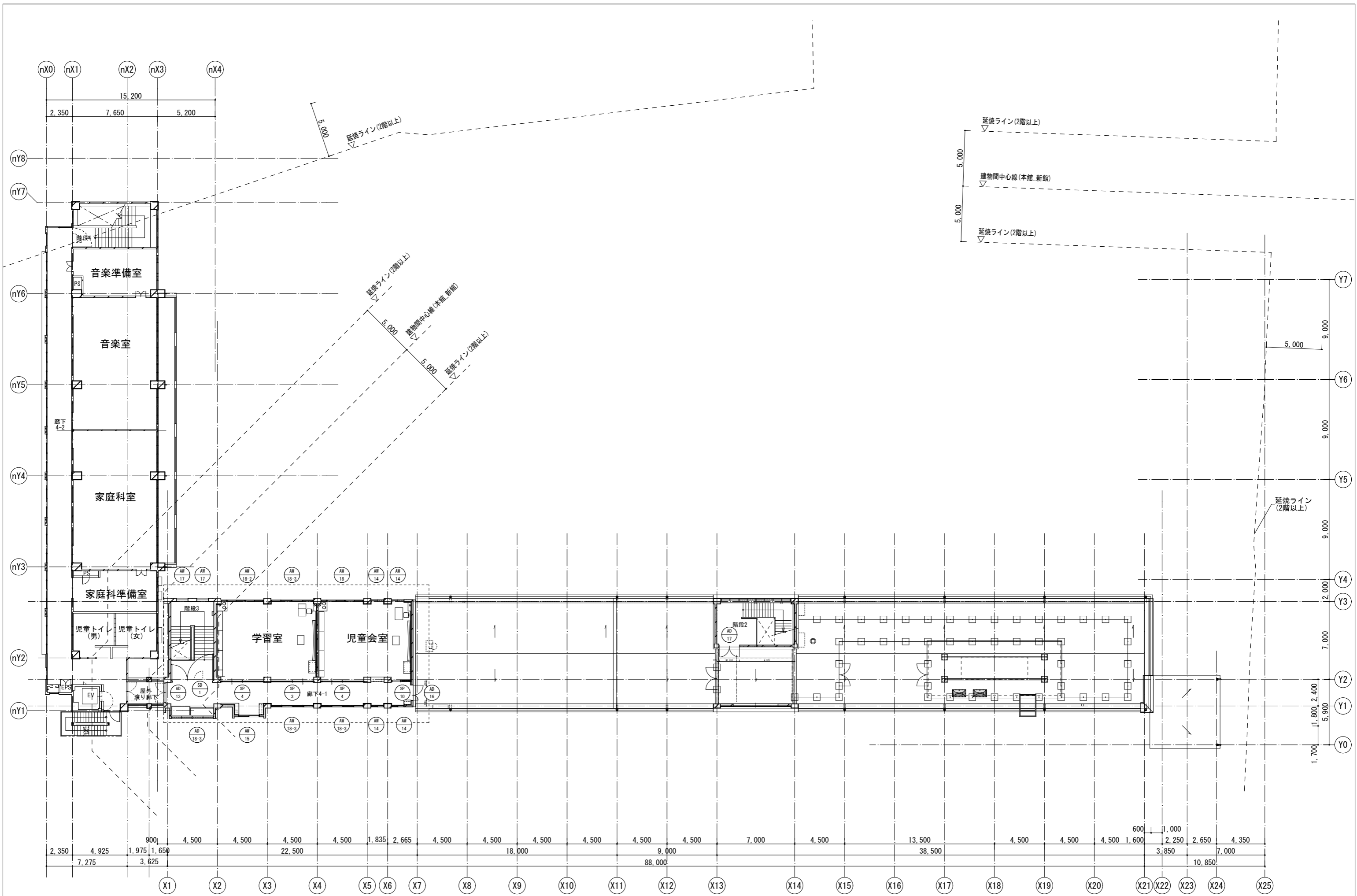
日付 備考 日付 日付	日付 日付 日付	株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates 1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	作成 2025/03/26 設計 佐藤 信	工事名 大東市立住道北小学校校長寿命化改良工事(建築工事) 建具キープラン-1	図面番号 A-079
----------------------	----------------	---	--------------------------------	---	---------------



備考 月日 月日 月日	月日 月日 月日	株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates 1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	作 2025/03/26 佐藤 信	設 佐藤 信	工 大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事) 建具キープラン-2	図 A-080
----------------------	----------------	---	-------------------------	-----------	--	------------



月日 月日 月日	月日 月日 月日	株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates 1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	作 2025/03/26 監 佐藤 信	設計 佐藤 信 工事名 大東市立住道北小学校校長寿命化改良工事(建築工事) 建具キープラン-3	図 A-081
----------------	----------------	---	------------------------------	---	------------



備考	月日	月日	株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2025/03/26	設計	佐藤 信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A-082
	月日	月日	1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	校務	佐藤 信	監理		図名	建具キープラン-4	備考	

記号	取付場所/箇所	AW 1	1階/職員室(4)、図書館・メディアスペース(1)、廊下1-1(3)	8	AW 1-2	1階/廊下1-2	1	AW 2	1階/昇降口1、保健室、職員室(2)、校長室、調理室	6	AW 2-2	1階/図書館・メディアスペース	1	AW 2-3	1階/廊下1-1	4	AW 3	1階/職員室	1
形状・寸法																			
型式	2連2段 引違い窓		2連2段 引違い窓		2連2段 引違い窓		2連2段 引違い窓		2連2段 引違い窓		2連2段 引違い窓+片開き戸								
材料・仕上げ	アルミ・アルミ電解着色(枠共)		アルミ・アルミ電解着色(枠共)		アルミ・アルミ電解着色(枠共)		アルミ・アルミ電解着色(枠共)		アルミ・アルミ電解着色(枠共)		アルミ・アルミ電解着色(枠共)								
見込	70		70		70		70		70		70								
ガラス	透明フロート複層ガラス(TG5+A6+FL5)		Low-E、耐熱強化複層ガラス(Low-E5+A6+FR6.8)		透明フロート複層ガラス(TG5+A6+FL5)		透明フロート複層ガラス(TG5+A6+FL5)		透明フロート複層ガラス(TG5+A6+FL5)、防火設備範囲網入りガラス(PW6.8)		透明フロート複層ガラス(TG5+A6+FL5)								
取手	—		—		—		—		—		—								
鍵	クレセント		クレセント		クレセント		クレセント		クレセント		クレセント								
防火	—		—		—		—		—		—								
網戸	なし		なし		なし		なし		なし		なし								
電気錠	なし		なし		なし		なし		なし		なし								
金物備考	水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、衝突防止シール		水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、衝突防止シール		水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、衝突防止シール		水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、衝突防止シール		水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、衝突防止シール		水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、衝突防止シール								
記号	取付場所/箇所	AW 4	1階/図書館・メディアスペース	1	AW 4-2	1階/図書館・メディアスペース	1	AW 5	1階/調理室	1	AW 6	1階/調理室	1	AW 7	1階/児童クラブ2	1	X		
形状・寸法																			
型式	2連2段 引違い窓+イスターカーテン		2連2段 引違い窓+イスターカーテン		2連2段 引違い窓+両開き扉		2連 FIX窓		2連2段 引違い窓										
材料・仕上げ	アルミ・アルミ電解着色(枠共)		アルミ・アルミ電解着色(枠共)		アルミ・アルミ電解着色(枠共)		アルミ・アルミ電解着色(枠共)		アルミ・アルミ電解着色(枠共)										
見込	70		70		70		70		70										
ガラス	透明フロート複層ガラス(TG5+A6+FL5)		透明フロート複層ガラス(TG5+A6+FL5)		透明フロート複層ガラス(TG5+A6+FL5)		透明フロート複層ガラス(TG5+A6+FL5)		透明フロート複層ガラス(TG5+A6+FL5)										
取手	—		—		—		—		—										
鍵	クレセント		クレセント		クレセント		クレセント		クレセント										
防火	—		—		—		—		—										
網戸	なし		なし		なし		なし		なし										
電気錠	なし		なし		なし		なし		なし										
金物備考	水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、衝突防止シール		水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、衝突防止シール		水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、衝突防止シール		水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、衝突防止シール		水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、衝突防止シール										
記号	取付場所/箇所	AW 8	1階/児童クラブ1・2		1	AW 9	1階/児童クラブ1	1	AW 10	1階/児童クラブ1	1	AW 11	1階/児童クラブ1・2		1				
形状・寸法																			
型式	2連2段 引違い窓		2連2段 引違い窓		2連2段 引違い窓		4連 外倒し窓		8連 外倒し窓										
材料・仕上げ	アルミ・アルミ電解着色(枠共)		アルミ・アルミ電解着色(枠共)		アルミ・アルミ電解着色(枠共)		アルミ・アルミ電解着色(枠共)		アルミ・アルミ電解着色(枠共)										
見込	70		70		70		70		70										
ガラス	透明フロート複層ガラス(TG5+A6+FL5)		透明フロート複層ガラス(TG5+A6+FL5)		透明フロート複層ガラス(TG5+A6+FL5)		透明フロート複層ガラス(TG5+A6+FL5)		透明フロート複層ガラス(TG5+A6+FL5)										
取手	—		—		—		—		—										
鍵	クレセント		クレセント		クレセント		クレセント		クレセント										
防火	—		—		—		—		—										
網戸	なし		なし		なし		あり		あり										
電気錠	なし		なし		なし		なし		なし										
金物備考	水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、衝突防止シール		水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、衝突防止シール		水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、衝突防止シール		水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式		水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式										

記号	取付場所/箇所	AW12	1階/児童クラブ2	1	AW13	1階/廊下1-1	2	AW14	2階/普通教室2、廊下2-2 3階/普通教室6、廊下3-2 4階/児童会室、廊下4-1	12	AW15	1階/昇降口1 2階/廊下2-2 3階/廊下3-1 4階/廊下4-1	4	AW16	1階/警備員室、校務員室	2	AW17	2~4階/階段3	6
形状・寸法																			
型式	4連 外倒し窓		2連2段 引違い窓		2段 引違い窓		2段 引違い窓		縦滑り出し窓		縦滑り出し窓								
材料・仕上げ	アルミ・アルミ電解着色(枠共)		アルミ・アルミ電解着色(枠共)		アルミ・アルミ電解着色(枠共)		アルミ・アルミ電解着色(枠共)		アルミ・アルミ電解着色(枠共)		アルミ・アルミ電解着色(枠共)								
見込	70		70		70		70		70		70								
ガラス	透明フロート複層ガラス(TG5+A6+FL5)		透明フロート複層ガラス(TG5+A6+FL5)		透明フロート複層ガラス(TG5+A6+FL5)		透明フロート複層ガラス(TG5+A6+FL5)		透明フロート複層ガラス(TG5+A6+FL5)		Low-E、耐熱強化複層ガラス(Low-E5+A6+FR6.8)								
取手	—		—		—		—		—		—								
鍵	クレセント		クレセント		クレセント		クレセント		カムラッチハンドル		カムラッチハンドル								
防火	—		—		—		—		—		—								
電気錠	あり		なし		なし		なし		なし		なし								
金物備考	水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式		水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、衝突防止シール		水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、開放制限		水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、開放制限		水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式		水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、開放制限								
記号	取付場所/箇所	AW18	2階/オープンスペース1、普通教室3、特別支援教室1・2 3階/普通教室6~8、オープンスペース4、少人数教室1・2 4階/児童会室	11	AW18-2	2階/普通教室1 3階/普通教室5 4階/学習室	3	AW18-3	2階/普通教室3、児童用更衣室1・2、特別支援教室2、廊下2-2(12) 3階/オープンスペース4、普通教室7・8、児童用更衣室3・4、 少人数教室1・2、廊下3-1(14) 4階/学習室、廊下4-1(3)	39	AW18-4	2階/普通教室4	1	AW19	2階/普通教室1・2・4、オープンスペース1、 特別支援教室1 3階/普通教室5	6			
形状・寸法																			
型式	2連2段 引違い窓		2連2段 引違い窓		2連2段 引違い窓		2連2段 引違い窓		2連2段 引違い窓										
材料・仕上げ	アルミ・アルミ電解着色(枠共)		アルミ・アルミ電解着色(枠共)		アルミ・アルミ電解着色(枠共)		アルミ・アルミ電解着色(枠共)		アルミ・アルミ電解着色(枠共)										
見込	70		70		70		70		70										
ガラス	透明フロート複層ガラス(TG5+A6+FL5)		Low-E、耐熱強化複層ガラス(Low-E5+A6+FR6.8)		透明フロート複層ガラス(TG5+A6+FL5)、防火設備範囲網入りガラス(PW6.8)		透明フロート複層ガラス(TG5+A6+FL5)、防火設備範囲網入りガラス(PW6.8)		透明フロート複層ガラス(TG5+A6+FL5)										
取手	—		—		—		—		—										
鍵	クレセント		クレセント		クレセント		クレセント		クレセント										
防火	—		防火設備		—		—		—										
電気錠	なし		なし		なし		なし		なし										
金物備考	水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、開放制限		水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、開放制限		水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、開放制限		水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、開放制限		水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、開放制限										
記号	取付場所/箇所	AW20	2階/階段2、オープンスペース2 3階/階段2、オープンスペース5	2	AW20-2	2階/廊下2-2 3階/廊下3-1	2	AW21	2階/児童トイレ(男)1(女)1 3階/児童トイレ(男)2(女)2	4									
形状・寸法																			
型式	3連2段 引違い窓		3連2段 引違い窓		縦滑り出し窓														
材料・仕上げ	アルミ・アルミ電解着色(枠共)		アルミ・アルミ電解着色(枠共)		アルミ・アルミ電解着色(枠共)														
見込	70		70		70														
ガラス	透明フロート複層ガラス(TG5+A6+FL5)		透明フロート複層ガラス(TG5+A6+FL5)		透明フロート複層ガラス(TG5+A6+FL5)														
取手	—		—		—														
鍵	クレセント		クレセント		カムラッチハンドル														
防火	—		—		—														
電気錠	なし		なし		なし														
金物備考	水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、開放制限		水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、開放制限		水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、開放制限														

記号	取付場所/箇所	AW 22	2階/集会室	2	AW 23	2階/集会室	1	AW 24	2階/集会室	2									
形状・寸法																			
型式	4連2段 引違い窓		3連2段 引違い窓+FIX窓		8連 外倒し窓		2連2段 引違い窓		縦滑り出し窓		2段 縦滑り出し窓+FIX窓		2段 縦滑り出し窓+FIX窓		2連2段 引違い窓		2段 引違い窓		
材料・仕上げ	アルミ・アルミ電解着色(枠共)		アルミ・アルミ電解着色(枠共)		アルミ・アルミ電解着色(枠共)		アルミ・アルミ電解着色(枠共)		アルミ・アルミ電解着色(枠共)		アルミ・アルミ電解着色(枠共)		アルミ・アルミ電解着色(枠共)		アルミ・アルミ電解着色(枠共)		アルミ・アルミ電解着色(枠共)		
見込	70		70		70		70		70		70		70		70		70		
ガラス	透明フロート複層ガラス(TG5+A6+FL5)		透明フロート複層ガラス(TG5+A6+FL5)		Low-E、耐熱強化複層ガラス(Low-E5+A6+FR6.8)		透明フロート複層ガラス(TG5+A6+FL5)		Low-E、耐熱強化複層ガラス(Low-E5+A6+FR6.8)		透明フロート複層ガラス(TG5+A6+FL5)、防火設備範囲網入りガラス(PW6.8)		透明フロート・網入り複層ガラス(TG5+A6+PW6.8)		透明フロート複層ガラス(TG5+A6+FL5)		透明フロート複層ガラス(TG5+A6+FL5)		
取手	—		—		—		—		—		—		—		—		—		
鍵	クレセント		クレセント		クレセント		クレセント		クレセント		クレセント		クレセント		クレセント		クレセント		
防火	—		—		—		—		—		—		—		—		—		
網戸	なし		なし		なし		なし		あり		なし		なし		なし		なし		
電気錠	なし		なし		なし		なし		あり		なし		なし		なし		なし		
金物備考	水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、開放制限、衝突防止シール		水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、開放制限、衝突防止シール		水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、開放制限		水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、開放制限		水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、開放制限		水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、開放制限		水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、開放制限		水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、開放制限		水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、開放制限		
記号	取付場所/箇所	AW 25	2階/オープンスペース3	1	AW 26	2~3階/階段1	2	AW 27	2階/廊下2-2 3階/廊下3-1	6	AW 27-2	2階/廊下2-2 3階/廊下3-1	2	AW 28	2階/廊下2-2	2	AW 29	2階/廊下2-2 3階/廊下3-1	2
形状・寸法																			
型式	2連2段 引違い窓		縦滑り出し窓		2段 縦滑り出し窓+FIX窓		2段 縦滑り出し窓+FIX窓		2連2段 引違い窓		2段 引違い窓								
材料・仕上げ	アルミ・アルミ電解着色(枠共)		アルミ・アルミ電解着色(枠共)		アルミ・アルミ電解着色(枠共)		アルミ・アルミ電解着色(枠共)		アルミ・アルミ電解着色(枠共)		アルミ・アルミ電解着色(枠共)								
見込	70		70		70		70		70		70								
ガラス	Low-E、耐熱強化複層ガラス(Low-E5+A6+FR6.8)		Low-E、耐熱強化複層ガラス(Low-E5+A6+FR6.8)		透明フロート複層ガラス(TG5+A6+FL5)、防火設備範囲網入りガラス(PW6.8)		透明フロート・網入り複層ガラス(TG5+A6+PW6.8)		透明フロート複層ガラス(TG5+A6+FL5)		透明フロート複層ガラス(TG5+A6+FL5)								
取手	—		—		—		—		—		—								
鍵	クレセント		カムラッチハンドル		カムラッチハンドル		クレセント		クレセント		クレセント								
防火	—		—		—		—		—		—								
網戸	あり		なし		なし		あり		なし		なし								
電気錠	なし		なし		なし		なし		なし		なし								
金物備考	水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、開放制限		水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、開放制限		水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、開放制限		水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、開放制限		水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、開放制限		水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、開放制限								
記号	取付場所/箇所																		
形状・寸法																			
型式																			
材料・仕上げ																			
見込																			
ガラス																			
取手																			
鍵																			
防火																			
網戸																			
電気錠																			
金物備考																			
備考	月日		月日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2025/03/26	設計	佐藤 信	工事名称	大東市立住道北小学校校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A-085						
	月日		月日		1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	校	佐藤 信	校	伊藤 高基	図面	建具表-3	校	1/50(A1) 1/100(A3)						

記号	取付場所/箇所	AD-1	1階/階段下倉庫	1	AD-2	1階/昇降口1	1	AD-3	1階/保健室	1	AD-4	1階/階段2	1			
形状・寸法																
型式	片開きフラッシュ戸		4連2段 片開き戸+両開き扉+FIX窓		2連2段 引違い窓+FIX窓		4連2段 両開き窓+FIX窓									
材料・仕上げ	アルミ・アルミ電解着色(枠共)		アルミ・アルミ電解着色(枠共)		アルミ・アルミ電解着色(枠共)		アルミ・アルミ電解着色(枠共)									
見込	70		70		70		70									
ガラス	—		透明フロート複層ガラス(TG5+A6+FL5)		透明フロート複層ガラス(TG5+A6+FL5)		透明フロート複層ガラス(TG5+A6+FL5)									
取手	レバーハンドル		レバーハンドル		レバーハンドル		レバーハンドル									
鍵	—		—		—		—									
防火	—		—		—		—									
網戸	—		—		—		—									
電気錠	—		—		—		—									
金物備考	ドアチェック、戸当り、蝶番、付属金物一式		水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、ドアチェック、戸当たり、蝶番、衝突防止シール		水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、ドアチェック、戸当たり、蝶番、衝突防止シール		水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、ドアチェック、戸当たり、蝶番、衝突防止シール									
記号	取付場所/箇所	AD-4-2	1階/図書館・メディアスペース	1	AD-5	1階/体育倉庫	1	AD-6	1階/調理室	1	AD-7	1階/更衣・休憩室、階段1	2	AD-8	1階/検収室	1
形状・寸法																
型式	5連2段 引違い窓+FIX窓		親子扉		片開き戸		片開き戸		親子扉							
材料・仕上げ	アルミ・アルミ電解着色(枠共)		アルミ・アルミ電解着色(枠共)		アルミ・アルミ電解着色(枠共)		アルミ・アルミ電解着色(枠共)		アルミ・アルミ電解着色(枠共)							
見込	70		70		70		70		70							
ガラス	透明フロート複層ガラス(TG5+A6+FL5)		—		—		—		—							
取手	レバーハンドル		レバーハンドル		—		—		—							
鍵	—		—		—		—		—							
防火	—		—		—		—		—							
網戸	—		—		—		—		—							
電気錠	—		—		—		—		—							
金物備考	水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、ドアチェック、戸当たり、蝶番、衝突防止シール		水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、ドアチェック、戸当たり、蝶番		水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、ドアチェック、戸当たり、蝶番		水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、ドアチェック、戸当たり、蝶番		水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、ドアチェック、戸当たり、蝶番							
記号	取付場所/箇所	AD-9	1階/パン・牛乳仕分け室	1	AD-10	1階/昇降口1	1	AD-11	1階/廊下1-2	1	AD-12	1階/昇降口2	1	AD-13	2階/廊下2-2 3階/廊下3-1 4階/廊下4-1	3
形状・寸法																
型式	片開き戸		5連2段 両開き扉+FIX窓		両開き戸		3連2段 片開き戸+両開き扉+FIX窓		両開き扉							
材料・仕上げ	アルミ・アルミ電解着色(枠共)		アルミ・アルミ電解着色(枠共)		アルミ・アルミ電解着色(枠共)		アルミ・アルミ電解着色(枠共)		アルミ・アルミ電解着色(枠共)							
見込	70		70		70		70		70							
ガラス	—		透明フロート複層ガラス(TG5+A6+FL5)		網入りガラス(PW6.8)		網入りガラス(PW6.8)		網入りガラス(PW6.8)							
取手	レバーハンドル		レバーハンドル		レバーハンドル		レバーハンドル		レバーハンドル							
鍵	—		—		—		—		—							
防火	—		—		—		—		—							
網戸	—		—		—		—		—							
電気錠	—		—		—		—		—							
金物備考	水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、ドアチェック、戸当たり、蝶番		水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、ドアチェック、戸当たり、蝶番、衝突防止シール		水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、ドアチェック、戸当たり、蝶番		水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、ドアチェック、戸当たり、蝶番		水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、ドアチェック、戸当たり、蝶番、衝突防止シール							

記号	取付場所/箇所	AD 14	2階/廊下2-1	1	AD 15	3階/倉庫3	1	AD 16	4階/廊下4-1	1	AD 17	4階/階段2	1						
形状・寸法																			
型式	親子扉		片開き戸		親子扉		親子扉												
材料・仕上げ	アルミ・アルミ電着着色(枠共)		アルミ・アルミ電着着色(枠共)		アルミ・アルミ電着着色(枠共)		アルミ・アルミ電着着色(枠共)												
見込	70		70		70		70												
ガラス	—		—		—		—												
取手	レバーハンドル		レバーハンドル		レバーハンドル		レバーハンドル												
鍵	—		—		—		—												
防火	—		—		—		—												
網戸	—		—		—		—												
電気錠	—		—		—		—												
金物備考	水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、ドアチェック、戸当たり、蝶番		水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、開放制限、ドアチェック、戸当たり、蝶番		水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、ドアチェック、戸当たり、蝶番		水切り、アングル、結露排水弁、その他付属金物一式、ドアチェック、戸当たり、蝶番												
記号	取付場所/箇所	SD 1	1~4階/階段3	4	SD 2	1階/階段下倉庫	1	SD 3	1階/職員用WC(男)(女) 2階/児童トイレ(男)1(女)1 3階/児童トイレ(男)2(女)2	6	SD 4	1~3階/EPS	3	SD 5	1階/階段1	1	SD 6	2階/廊下2-2 3階/廊下3-1	2
形状・寸法	<p>※鉄扉既存利用 レリーズ金物配線一式やりかえ SOP再塗装</p>																		
型式	両開きスチール防火戸 戸袋、くぐり戸付き		片開き戸		片開き戸		両開き扉		両開きスチール防火戸 戸袋、くぐり戸付き		両開きスチール防火戸 戸袋、くぐり戸付き								
材料・仕上げ	スチールフラッシュ・SOP塗装		スチールフラッシュ・SOP塗装		スチールフラッシュ・SOP塗装		スチールフラッシュ・SOP塗装		スチールフラッシュ・SOP塗装		スチールフラッシュ・SOP塗装								
見込	80		80		80		80		80		80								
ガラス	—		—		—		—		—		—								
取手	平面ハンドル		レバーハンドル		ケースハンドル		ケースハンドル		平面ハンドル		平面ハンドル								
鍵	—		—		—		—		—		—								
防火	遮煙性能付特定防火設備(随閉)		遮煙性能付特定防火設備(常閉)		—		—		遮煙性能付特定防火設備(随閉)		遮煙性能付特定防火設備(随閉)								
網戸	—		—		—		—		—		—								
電気錠	—		—		—		—		—		—								
金物備考	煙感知器連動、付属金物一式		ドアチェック、戸当たり、蝶番、付属金物一式		ドアチェック、戸当たり、蝶番、付属金物一式		ドアチェック、戸当たり、蝶番、付属金物一式		煙感知器連動、付属金物一式		煙感知器連動、付属金物一式								
記号	取付場所/箇所	SD 7	2階/廊下2-2 3階/廊下3-1	2	SD 8	2階/児童トイレ(男)1(女)1 3階/児童トイレ(男)2(女)2	4	SD 9	2~3階/階段1	2									
形状・寸法																			
型式	両開きスチール防火戸 戸袋、くぐり戸付き		片開き戸		両開きスチール防火戸 戸袋付き														
材料・仕上げ	スチールフラッシュ・SOP塗装		スチールフラッシュ・SOP塗装		スチールフラッシュ・SOP塗装														
見込	80		80		80														
ガラス	—		—		—														
取手	平面ハンドル		ケースハンドル		平面ハンドル														
鍵	—		—		—														
防火	遮煙性能付特定防火設備(随閉)		—		遮煙性能付特定防火設備(随閉)														
網戸	—		—		—														
電気錠	—		—		—														
金物備考	煙感知器連動、付属金物一式		ドアチェック、戸当たり、蝶番、付属金物一式		煙感知器連動、付属金物一式														

記号	取付場所/箇所	1階/昇降口1(2)	2	1階/更衣室1、2	2	1階/校長室	1	1階/校長室	1	1階/職員用WC(男)(女)	2	1階/調理室、前室、食品庫、検収室、更衣・休憩室	9		
形状・寸法															
型式	親子扉		片開き戸		引き込み戸		引き込み戸		片開き戸		片開き戸				
材料・仕上げ	スチールフラッシュ・粉体焼付塗装		スチールフラッシュ・粉体焼付塗装		スチールフラッシュ・粉体焼付塗装		スチールフラッシュ・粉体焼付塗装		スチールフラッシュ・粉体焼付塗装		スチールフラッシュ・粉体焼付塗装				
見込	80		80		80		80		80		80				
ガラス	強化すりガラス(TSG5)		強化すりガラス(TSG5)		強化すりガラス(TSG5)		強化すりガラス(TSG5)		強化すりガラス(TSG5)		強化すりガラス(TSG5)				
取手	レバーハンドル	シリンダー錠、サムターン	レバーハンドル	シリンダー錠、サムターン	押し棒h=600	シリンダー錠、サムターン	押し棒h=600	シリンダー錠、サムターン	レバーハンドル	シリンダー錠、サムターン	レバーハンドル	シリンダー錠、サムターン			
防火	—		—		—		—		—		—				
網戸	電気錠	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし			
金物備考	ドアチェック、戸当たり、蝶番、付属金物一式 常開壁収納		ドアチェック、戸当たり、蝶番、付属金物一式		上部レール、上吊りハンガー金物、戸当りゴム、 下部ガイドピン、付属金物一式		上部レール、上吊りハンガー金物、戸当りゴム、 下部ガイドピン、付属金物一式		ドアチェック、戸当たり、蝶番、付属金物一式		上部レール、上吊りハンガー金物、戸当りゴム、 下部ガイドピン、付属金物一式				
記号	取付場所/箇所	1階/配膳室	2	1階/パン・牛乳仕分室	1	1階/下処理室	1	1階/倉庫(児童クラブ)	1	1階/バリアフリートイレ	1	1階/トイレ(児童クラブ)	8		
形状・寸法															
型式	引き込み戸		引き込み戸		引き込み戸		親子戸		引き込み戸		片開き戸				
材料・仕上げ	スチールフラッシュ・粉体焼付塗装		スチールフラッシュ・粉体焼付塗装		スチールフラッシュ・焼付塗装		スチールフラッシュ・粉体焼付塗装		スチールフラッシュ・粉体焼付塗装		スチールフラッシュ・粉体焼付塗装				
見込	80		80		80		80		80		80				
ガラス	—		—		—		強化すりガラス(TSG5)		—		強化すりガラス(TSG5)				
取手	押し棒h=600	なし	押し棒h=600	なし	押し棒h=600	なし	レバーハンドル	シリンダー錠、サムターン	押し棒h=600	なし	レバーハンドル	シリンダー錠、サムターン			
防火	—		—		—		—		—		—				
網戸	電気錠	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし			
金物備考	上部レール、上吊りハンガー金物、戸当りゴム、 下部ガイドピン、付属金物一式		上部レール、上吊りハンガー金物、戸当りゴム、 下部ガイドピン、付属金物一式		上部レール、上吊りハンガー金物、戸当りゴム、 下部ガイドピン、付属金物一式		ドアチェック、戸当たり、蝶番、付属金物一式		上部レール、上吊りハンガー金物、戸当りゴム、 下部ガイドピン、付属金物一式		ドアチェック、戸当たり、蝶番、付属金物一式				
記号	取付場所/箇所	2階/普通教室1 3階/普通教室5	2	2階/児童用更衣室1・2 3階/児童用更衣室3・4	4	2階/倉庫1 3階/倉庫3	2	2階/倉庫	1	1階/警備員室・校務員室	2	1階/職員室	2		
形状・寸法															
型式	引き違い戸		片引き戸		片開き戸		両開き扉		親子戸		引き込み戸				
材料・仕上げ	スチールフラッシュ・粉体焼付塗装		スチールフラッシュ・粉体焼付塗装		スチールフラッシュ・粉体焼付塗装		スチールフラッシュ・粉体焼付塗装		スチールフラッシュ・粉体焼付塗装		スチールフラッシュ・粉体焼付塗装				
見込	80		80		80		80		80		80				
ガラス	強化すりガラス(TSG5)		強化すりガラス(TSG5)		強化すりガラス(TSG5)		強化すりガラス(TSG5)		強化すりガラス(TSG5)		強化ガラス(TG5)				
取手	押し棒h=600	なし	押し棒h=600	シリンダー錠、サムターン	レバーハンドル	シリンダー錠、サムターン	レバーハンドル	シリンダー錠、サムターン	レバーハンドル	シリンダー錠、サムターン	押し棒h=600	なし			
防火	—		—		—		—		—		—				
網戸	電気錠	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし			
金物備考	上部レール、上吊りハンガー金物、戸当りゴム、 下部ガイドピン、付属金物一式		上部レール、上吊りハンガー金物、戸当りゴム、 下部ガイドピン、付属金物一式		ドアチェック、戸当たり、蝶番、付属金物一式		ドアチェック、戸当たり、蝶番、付属金物一式		ドアチェック、戸当たり、蝶番、付属金物一式		上部レール、上吊りハンガー金物、戸当りゴム、 下部ガイドピン、付属金物一式				
備考	月日	月日		月日		株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates		作成	2025/03/26	設計	佐藤 信	大東市立住道北小学校校長寿命化改良工事(建築工事)		図番	A-088
	月日	月日		月日		1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号		校務	佐藤 信	監理	伊藤 高基	建具表-6		縮尺	1/50(A1) 1/100(A3)

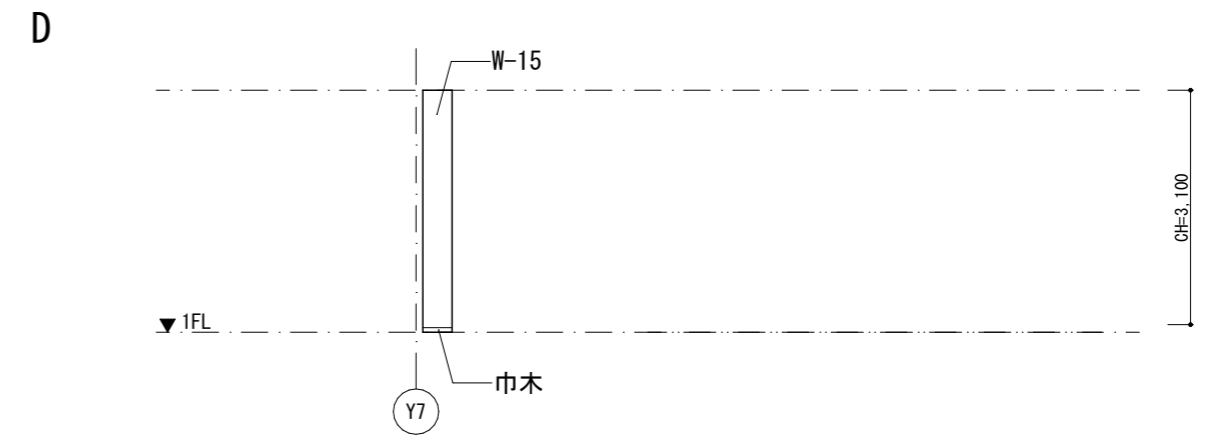
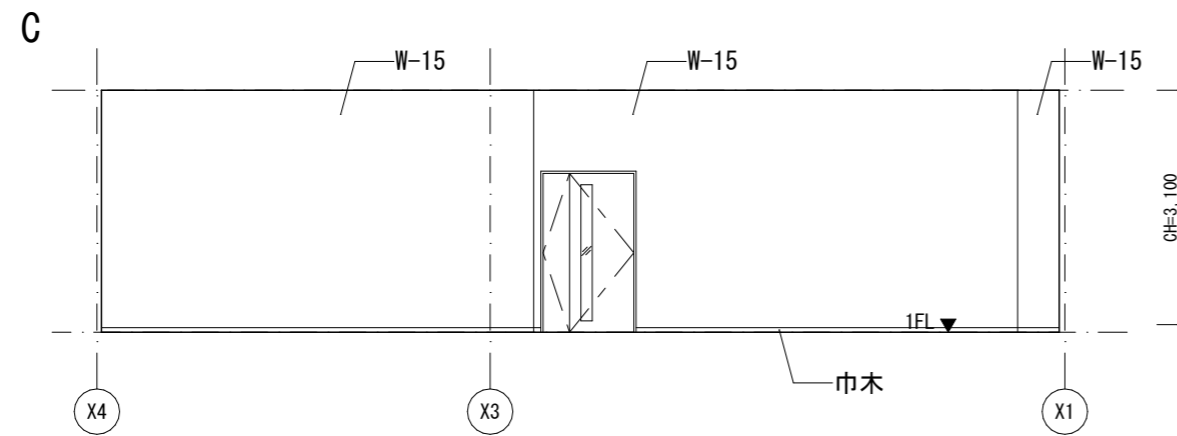
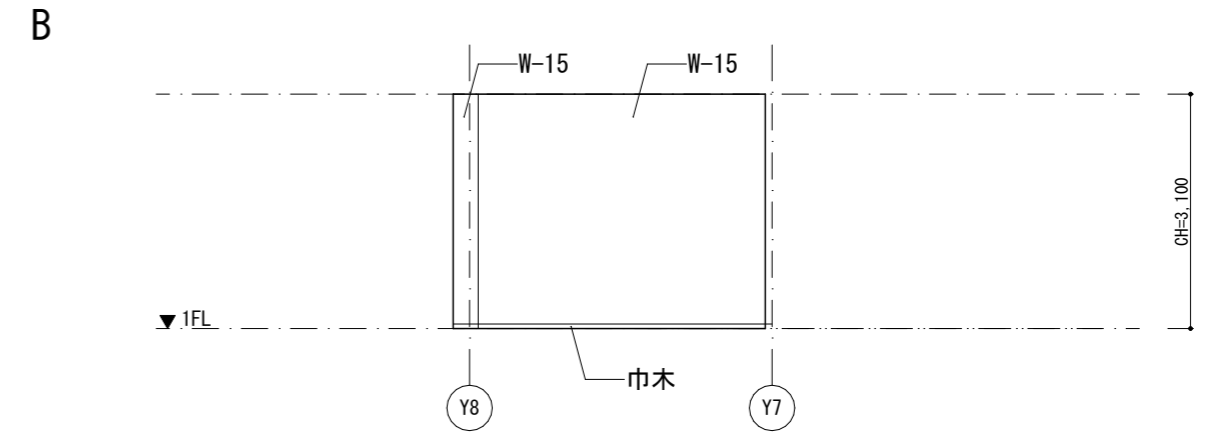
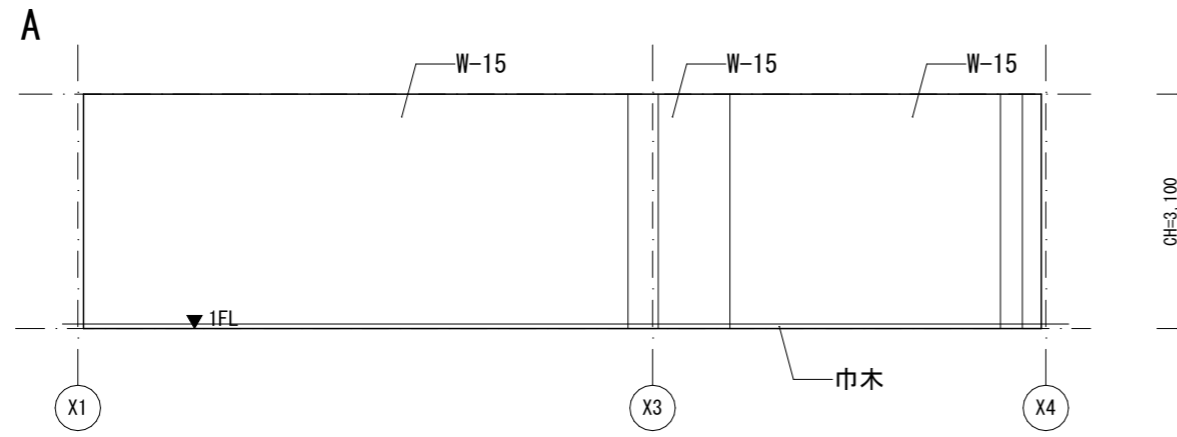
記号	取付場所/箇所	1階/保健室	1	SP 1	1階/図書館・メディアスペース	4	SP 2	1階/図書館・メディアスペース	1	SP 2-2	2階/普通教室1・3~4、特別支援教室1・2 3階/普通教室5・7・8、少人数教室1・2 4階/学習室	11	SP 3	2階/普通教室2~4、特別支援教室1・2 3階/普通教室6~8、少人数教室1・2 4階/学習室、児童会室	12	SP 4	2階/普通教室2 3階/普通教室6 4階/普通教室6	2	SP 5															
形状・寸法																																		
型式	スチール製学校間仕切り		スチール製学校間仕切り		スチール製学校間仕切り		スチール製学校間仕切り		スチール製学校間仕切り		スチール製学校間仕切り		スチール製学校間仕切り		スチール製学校間仕切り		スチール製学校間仕切り		スチール製学校間仕切り															
材料・仕上げ	スチールフラッシュ・粉体焼付塗装		スチールフラッシュ・粉体焼付塗装		スチールフラッシュ・粉体焼付塗装		スチールフラッシュ・粉体焼付塗装		スチールフラッシュ・粉体焼付塗装		スチールフラッシュ・粉体焼付塗装		スチールフラッシュ・粉体焼付塗装		スチールフラッシュ・粉体焼付塗装		スチールフラッシュ・粉体焼付塗装		スチールフラッシュ・粉体焼付塗装															
見込	90		90		90		90		90		90		90		90		90		90															
ガラス	強化透明ガラス(TG5)、強化すりガラス(TSG5)		強化透明ガラス(TG5)、強化すりガラス(TSG5)		強化透明ガラス(TG5)、強化すりガラス(TSG5)		強化透明ガラス(TG5)、強化すりガラス(TSG5)		強化透明ガラス(TG5)、強化すりガラス(TSG5)		強化透明ガラス(TG5)、強化すりガラス(TSG5)		強化透明ガラス(TG5)、強化すりガラス(TSG5)		強化透明ガラス(TG5)、強化すりガラス(TSG5)		強化透明ガラス(TG5)、強化すりガラス(TSG5)		強化透明ガラス(TG5)、強化すりガラス(TSG5)															
取手	鍵	掘込引手	掘込引手	掘込引手	掘込引手	掘込引手	掘込引手	掘込引手	掘込引手	掘込引手	掘込引手	掘込引手	掘込引手	掘込引手	掘込引手	掘込引手	掘込引手	掘込引手	掘込引手	掘込引手														
防火	鍵	掘込引手	掘込引手	掘込引手	掘込引手	掘込引手	掘込引手	掘込引手	掘込引手	掘込引手	掘込引手	掘込引手	掘込引手	掘込引手	掘込引手	掘込引手	掘込引手	掘込引手	掘込引手	掘込引手														
網戸	電気錠	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし														
金物備考	高さ調整式戸車、振れ止め兼外れ止め、引き残し戸当り、YKSスローリークローザー、クレセント、障子戸当り、指挟み防止戸先ゴム、U型ステンレール(ステンレス)、付属金物一式		高さ調整式戸車、振れ止め兼外れ止め、引き残し戸当り、YKSスローリークローザー、クレセント、障子戸当り、指挟み防止戸先ゴム、U型ステンレール(ステンレス)、付属金物一式		高さ調整式戸車、振れ止め兼外れ止め、引き残し戸当り、YKSスローリークローザー、クレセント、障子戸当り、指挟み防止戸先ゴム、U型ステンレール(ステンレス)、付属金物一式		高さ調整式戸車、振れ止め兼外れ止め、引き残し戸当り、YKSスローリークローザー、クレセント、障子戸当り、指挟み防止戸先ゴム、U型ステンレール(ステンレス)、付属金物一式		高さ調整式戸車、振れ止め兼外れ止め、引き残し戸当り、YKSスローリークローザー、クレセント、障子戸当り、指挟み防止戸先ゴム、U型ステンレール(ステンレス)、付属金物一式		高さ調整式戸車、振れ止め兼外れ止め、引き残し戸当り、YKSスローリークローザー、クレセント、障子戸当り、指挟み防止戸先ゴム、U型ステンレール(ステンレス)、付属金物一式		高さ調整式戸車、振れ止め兼外れ止め、引き残し戸当り、YKSスローリークローザー、クレセント、障子戸当り、指挟み防止戸先ゴム、U型ステンレール(ステンレス)、付属金物一式		高さ調整式戸車、振れ止め兼外れ止め、引き残し戸当り、YKSスローリークローザー、クレセント、障子戸当り、指挟み防止戸先ゴム、U型ステンレール(ステンレス)、付属金物一式		高さ調整式戸車、振れ止め兼外れ止め、引き残し戸当り、YKSスローリークローザー、クレセント、障子戸当り、指挟み防止戸先ゴム、U型ステンレール(ステンレス)、付属金物一式		高さ調整式戸車、振れ止め兼外れ止め、引き残し戸当り、YKSスローリークローザー、クレセント、障子戸当り、指挟み防止戸先ゴム、U型ステンレール(ステンレス)、付属金物一式															
記号	取付場所/箇所	2階/オープンスペース1・4	4	SP 6	2階/オープンスペース3	1	SP 7	2階/オープンスペース6	1	SP 8	3階/オープンスペース7	1	SP 9																					
形状・寸法																																		
型式	スチール製学校間仕切り		スチール製学校間仕切り		スチール製学校間仕切り		スチール製学校間仕切り																											
材料・仕上げ	スチールフラッシュ・粉体焼付塗装		スチールフラッシュ・粉体焼付塗装		スチールフラッシュ・粉体焼付塗装		スチールフラッシュ・粉体焼付塗装																											
見込	90		90		90		90																											
ガラス	強化透明ガラス(TG5)、強化すりガラス(TSG5)		強化透明ガラス(TG5)、強化すりガラス(TSG5)		強化透明ガラス(TG5)、強化すりガラス(TSG5)		強化透明ガラス(TG5)、強化すりガラス(TSG5)																											
取手	鍵	掘込引手	掘込引手	掘込引手	掘込引手	掘込引手	掘込引手																											
防火	鍵	掘込引手	掘込引手	掘込引手	掘込引手	掘込引手	掘込引手																											
網戸	電気錠	なし	なし	なし	なし	なし	なし																											
金物備考	高さ調整式戸車、振れ止め兼外れ止め、引き残し戸当り、YKSスローリークローザー、クレセント、障子戸当り、指挟み防止戸先ゴム、U型ステンレール(ステンレス)、付属金物一式		高さ調整式戸車、振れ止め兼外れ止め、引き残し戸当り、YKSスローリークローザー、クレセント、障子戸当り、指挟み防止戸先ゴム、U型ステンレール(ステンレス)、付属金物一式		高さ調整式戸車、振れ止め兼外れ止め、引き残し戸当り、YKSスローリークローザー、クレセント、障子戸当り、指挟み防止戸先ゴム、U型ステンレール(ステンレス)、付属金物一式		高さ調整式戸車、振れ止め兼外れ止め、引き残し戸当り、YKSスローリークローザー、クレセント、障子戸当り、指挟み防止戸先ゴム、U型ステンレール(ステンレス)、付属金物一式																											
記号	取付場所/箇所	4階/児童会室	1	SP 10																														
形状・寸法																																		
型式	スチール製学校間仕切り																																	
材料・仕上げ	スチールフラッシュ・粉体焼付塗装																																	
見込	90																																	
ガラス	強化透明ガラス(TG5)、強化すりガラス(TSG5)																																	
取手	鍵	掘込引手																																
防火	鍵	掘込引手																																
網戸	電気錠	なし																																
金物備考	高さ調整式戸車、振れ止め兼外れ止め、引き残し戸当り、YKSスローリークローザー、クレセント、障子戸当り、指挟み防止戸先ゴム、U型ステンレール(ステンレス)、付属金物一式																																	
備考	<table border="1"> <tr> <td>月日</td> <td>月日</td> <td>月日</td> <td>月日</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				月日	月日	月日	月日					<table border="1"> <tr> <td>株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect &amp; Associates</td> <td>作成</td> <td>2025/03/26</td> <td>設計</td> <td>佐藤 信</td> <td>工事名称</td> <td>大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)</td> <td>図番</td> <td>A-089</td> </tr> <tr> <td>1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号</td> <td>監修</td> <td>佐藤 信</td> <td>監修</td> <td>伊藤 高基</td> <td>図面名称</td> <td>建具表-7</td> <td>縮尺</td> <td>1/50(A1) 1/100(A3)</td> </tr> </table>				株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2025/03/26	設計	佐藤 信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A-089	1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	監修	佐藤 信	監修	伊藤 高基	図面名称	建具表-7	縮尺	1/50(A1) 1/100(A3)
月日	月日	月日	月日																															
株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2025/03/26	設計	佐藤 信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A-089																										
1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	監修	佐藤 信	監修	伊藤 高基	図面名称	建具表-7	縮尺	1/50(A1) 1/100(A3)																										

記号	取付場所/箇所	SS 1	1階/階段2	1	SS 2	1階/図書館・メディアスペース	1	SS 3	1階/階段	1	SS 4	1階/職員・来賓玄関	1
形状・寸法													
型式	防火シャッター		防火シャッター		防火シャッター		防火シャッター						
材料・仕上げ	スチール・SOP		スチール・SOP		スチール・SOP		スチール・SOP						
見込	70		70		70		70						
ガラス	—		—		—		—						
取手	—		—		—		—						
鍵	—		—		—		—						
防火	特定防火設備(常時解放式、煙感知器連動閉鎖)		特定防火設備(常時解放式、煙感知器連動閉鎖)		特定防火設備(常時解放式、煙感知器連動閉鎖)		特定防火設備(常時解放式、煙感知器連動閉鎖)						
網戸	—		—		—		—						
電気錠	なし		なし		なし		なし						
金物備考	シャッターレール、電動式手動開閉装置埋込型、自動閉鎖装置、煙感知器連動、危害防止装置、付属金物一式		シャッターレール、電動式手動開閉装置埋込型、自動閉鎖装置、煙感知器連動、危害防止装置、付属金物一式		シャッターレール、電動式手動開閉装置埋込型、自動閉鎖装置、煙感知器連動、危害防止装置、付属金物一式		シャッターレール、電動式手動開閉装置埋込型、自動閉鎖装置、煙感知器連動、危害防止装置、付属金物一式						
記号	取付場所/箇所												
形状・寸法													
型式													
材料・仕上げ													
見込													
ガラス													
取手													
鍵													
防火													
網戸													
電気錠													
金物備考													
記号	取付場所/箇所												
形状・寸法													
型式													
材料・仕上げ													
見込													
ガラス													
取手													
鍵													
防火													
網戸													
電気錠													
金物備考													

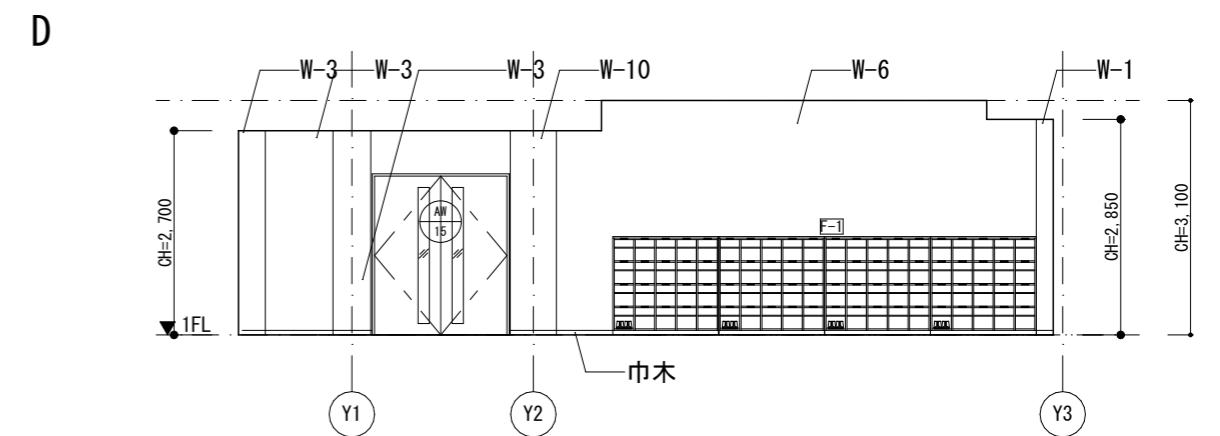
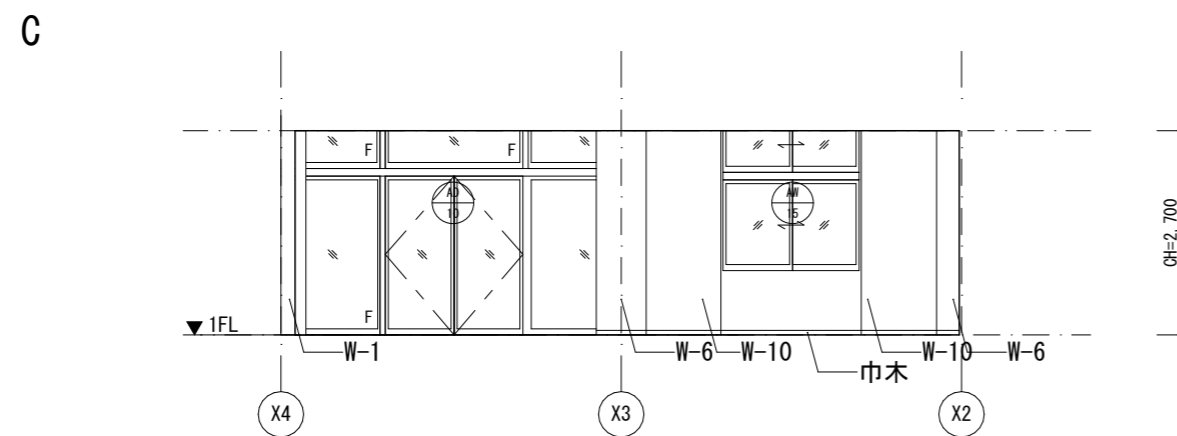
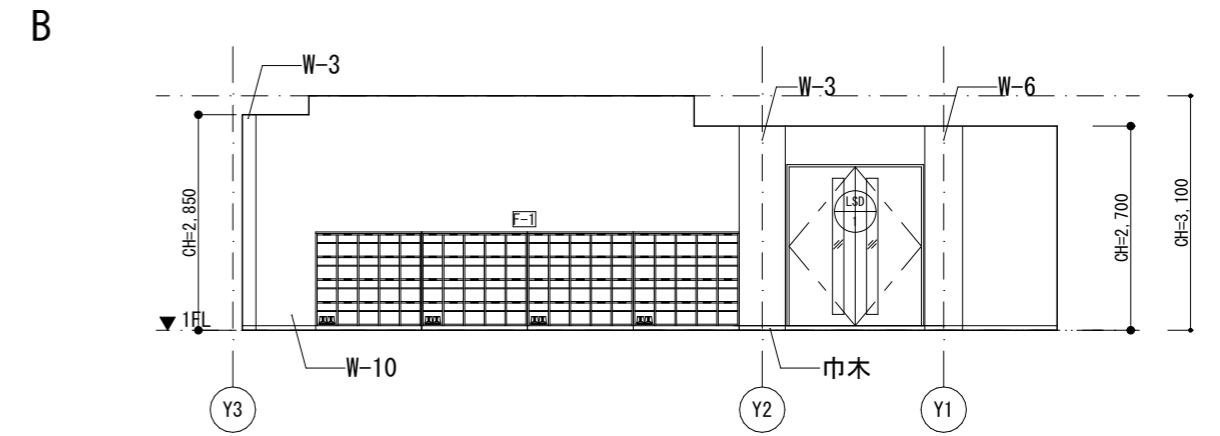
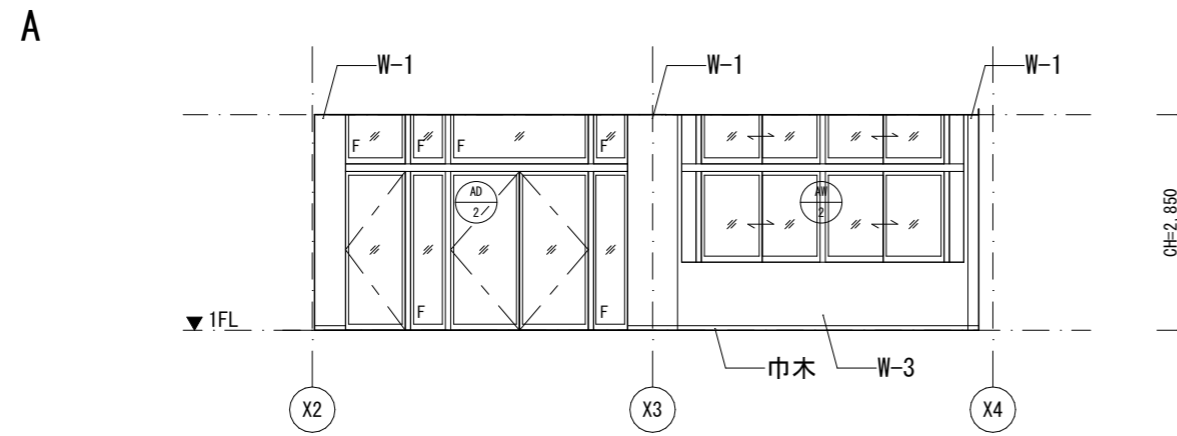


凡例	
壁 (W-1)	仕上げ EP塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタンフォーム t=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき
壁 (W-2)	仕上げ EP塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタンフォーム t=30+PBt=12.5/寒冷紗パテしごき
壁 (W-3)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地 (S0型)/ウレタンフォーム吹付 t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき
壁 (W-4)	仕上げ EP-G塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタンフォーム t=30+耐水PBt=12.5/ケイ酸カルシウム板 t=6.0
壁 (W-5)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付 t=30/耐水PBt=12.5/ケイ酸カルシウム板 t=6.0
壁 (W-6)	仕上げ EP塗装
壁 (W-7)	仕上げ EP-G塗装 下地 モルタル下地調整
壁 (W-8)	仕上げ 掲示のみ 下地 軽鉄下地/37%合板 t=9.0/
壁 (W-9)	仕上げ 下地
壁 (W-10)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき
壁 (W-11)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ケイ酸カルシウム板 t=6.0
壁 (W-12)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地/耐水PBt=12.5+12.5/寒冷紗パテしごき
壁 (W-13)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付 t=30/耐水PBt=12.5/ケイ酸カルシウム板 t=6.0
壁 (W-14)	仕上げ 既存のまま 下地 既存のまま
壁 (W-15)	仕上げ 既存のまま 下地 既存のまま

倉庫



昇降口

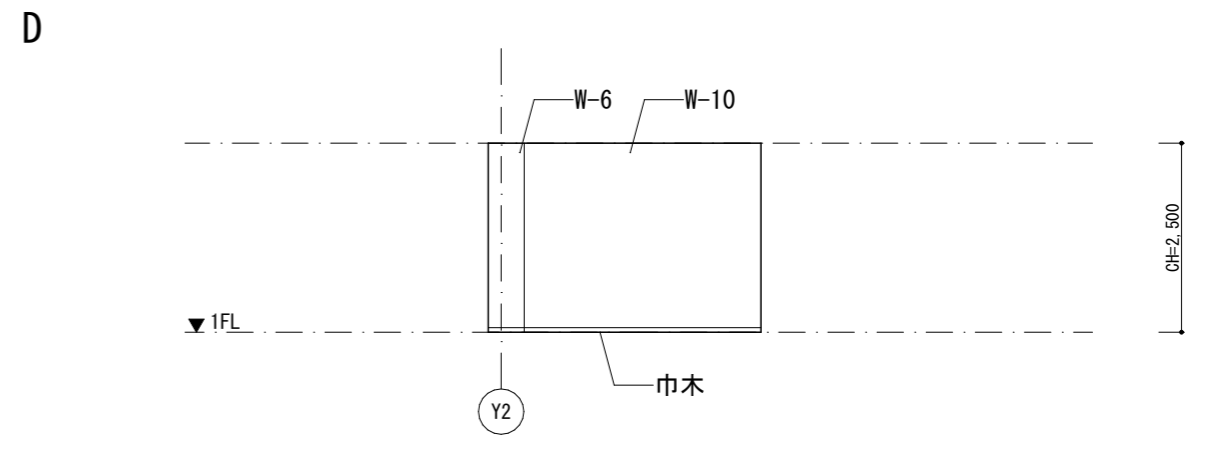
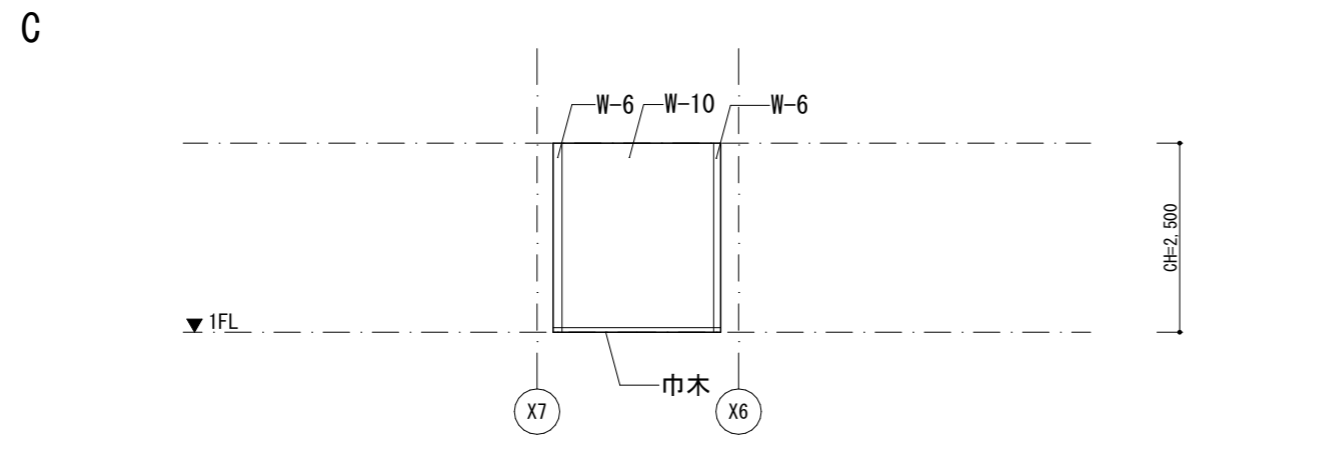
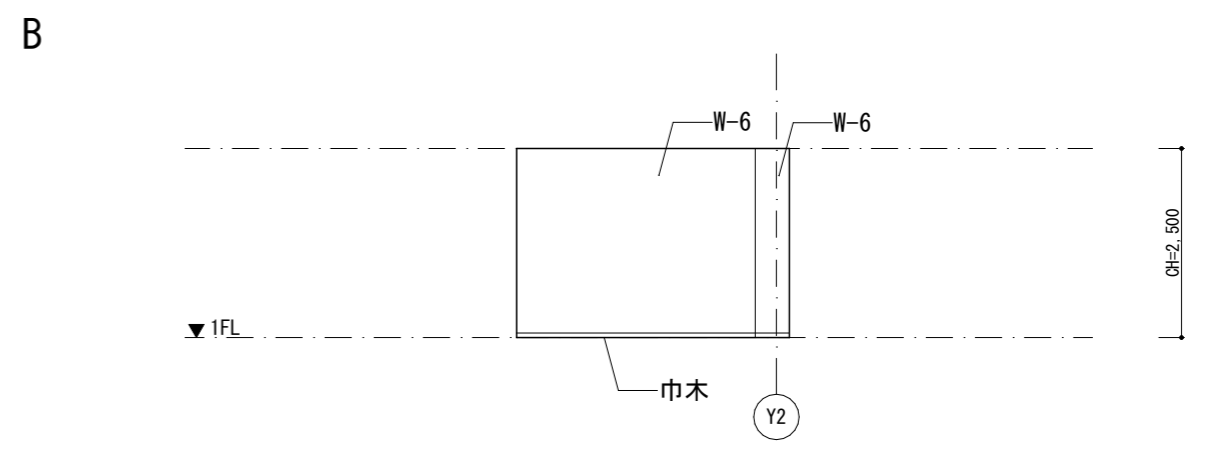
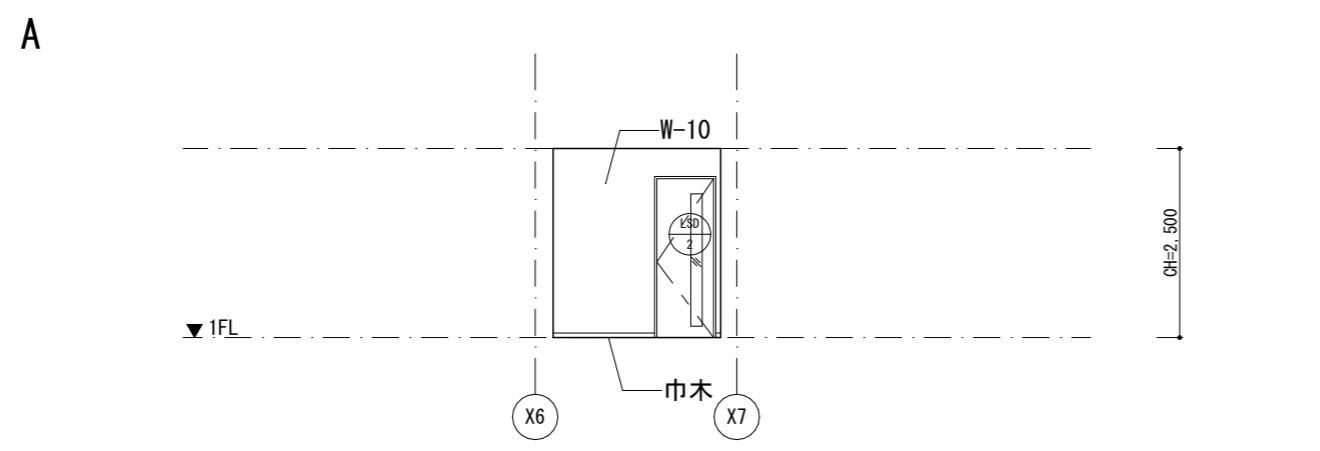


備考	月日	月日	月日	月日	株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤 信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事 (建築工事)	図番	A	A-091
	月日	月日	月日	月日	1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	校	佐藤 信	監	松浦 尚亮	図		展開図1	縮尺	1/50 (A1) 1/100 (A3)

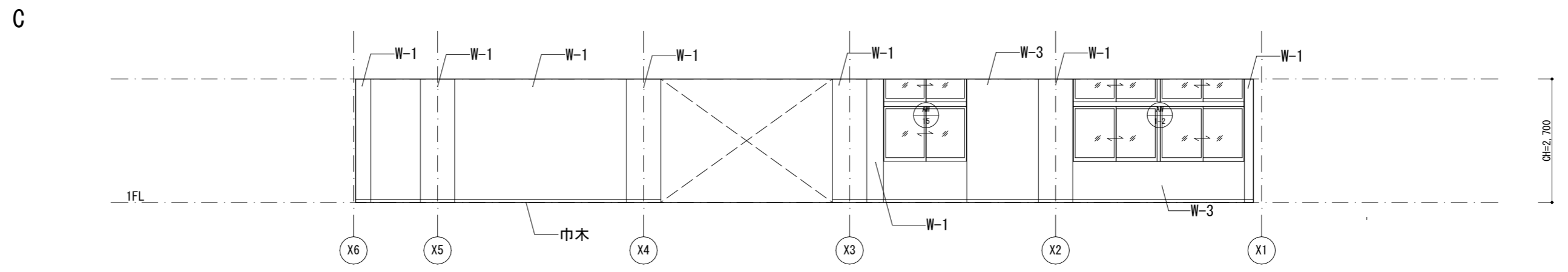
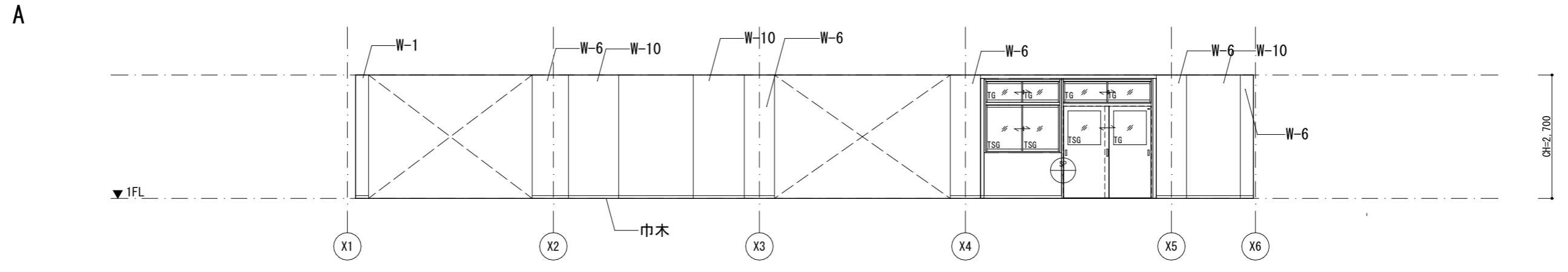


凡例	
壁 (W-1)	仕上げ EP塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -t' t=30+PBt=9.5/寒冷紗/
壁 (W-2)	仕上げ EP塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -t' t=30+PBt=12.5/寒冷紗/なしごき
壁 (W-3)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地 (S0型)/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷紗/なしごき/
壁 (W-4)	仕上げ EP-G塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -t' t=30+耐水PBt=12.5/ウレタン <sup>®</sup> -L板t=6.0
壁 (W-5)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=30/耐水PBt=12.5/ウレタン <sup>®</sup> -L板t=6.0
壁 (W-6)	仕上げ EP塗装 下地 既存モルタル下地調整
壁 (W-7)	仕上げ EP-G塗装 下地 モルタル下地調整
壁 (W-8)	仕上げ 掲示クロス 下地 軽鉄下地/ウレタン <sup>®</sup> -L板t=9.0/
壁 (W-9)	仕上げ 下地
壁 (W-10)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗/なしごき
壁 (W-11)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ウレタン <sup>®</sup> -L板t=6.0
壁 (W-12)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地/耐水PBt=12.5+12.5/寒冷紗/なしごき
壁 (W-13)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=30/耐水PBt=12.5/ウレタン <sup>®</sup> -L板t=6.0
壁 (W-14)	仕上げ 既存モルタル下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -t' t=30+PBt=12.5/木屑 <sup>®</sup> -L充填t=21/化粧有孔合板t=9
壁 (W-15)	仕上げ 既存のまま 下地 既存のまま
壁	仕上げ
壁	下地
壁	仕上げ
壁	下地

更衣室 (女)

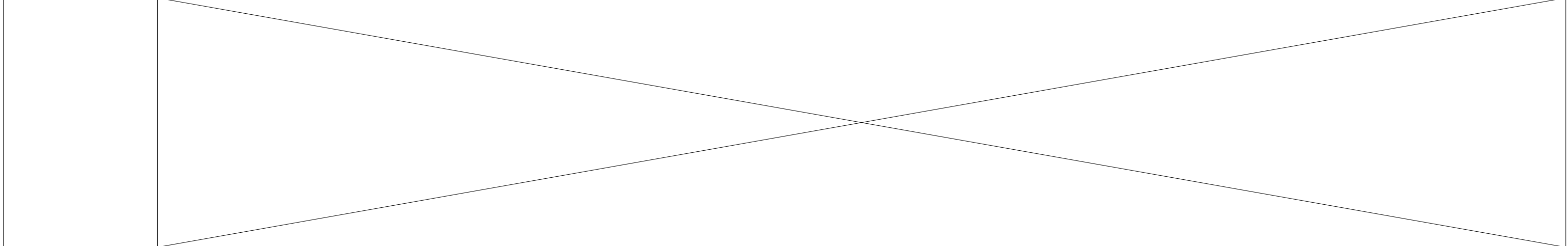
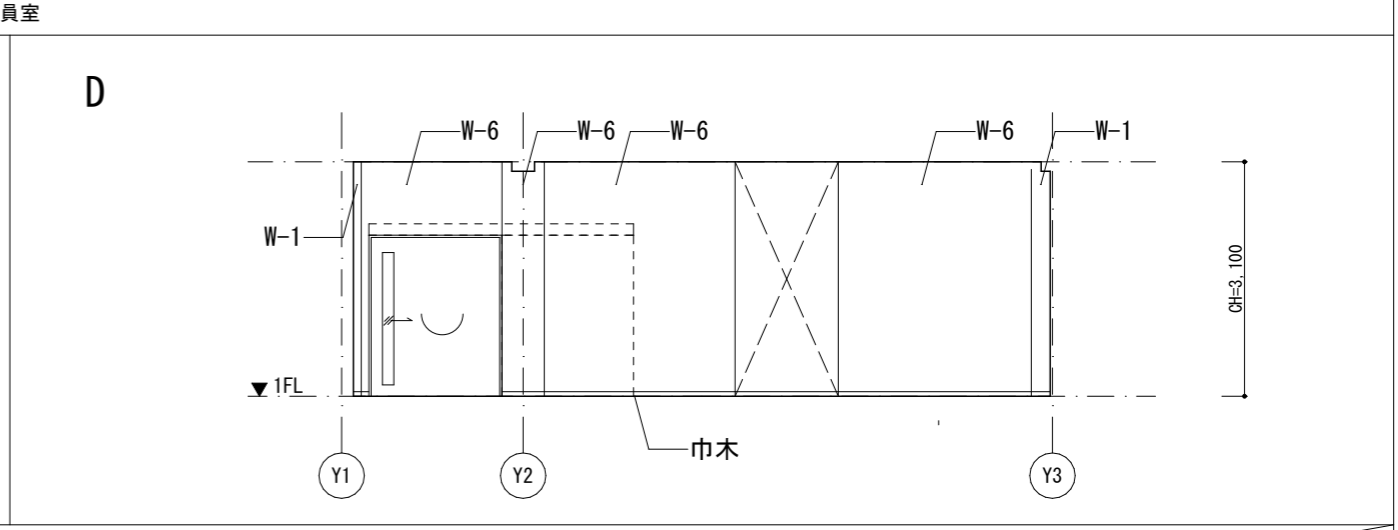
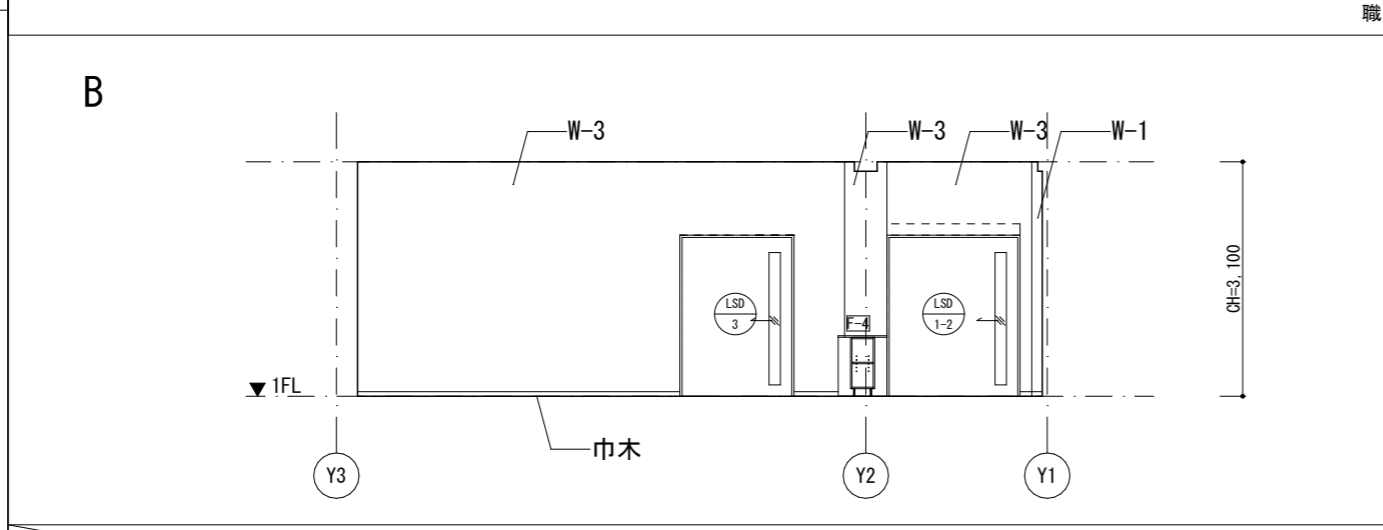
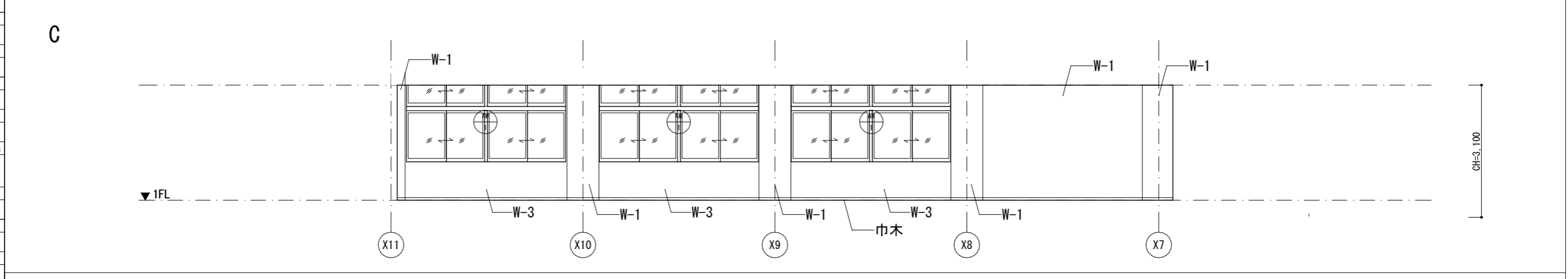
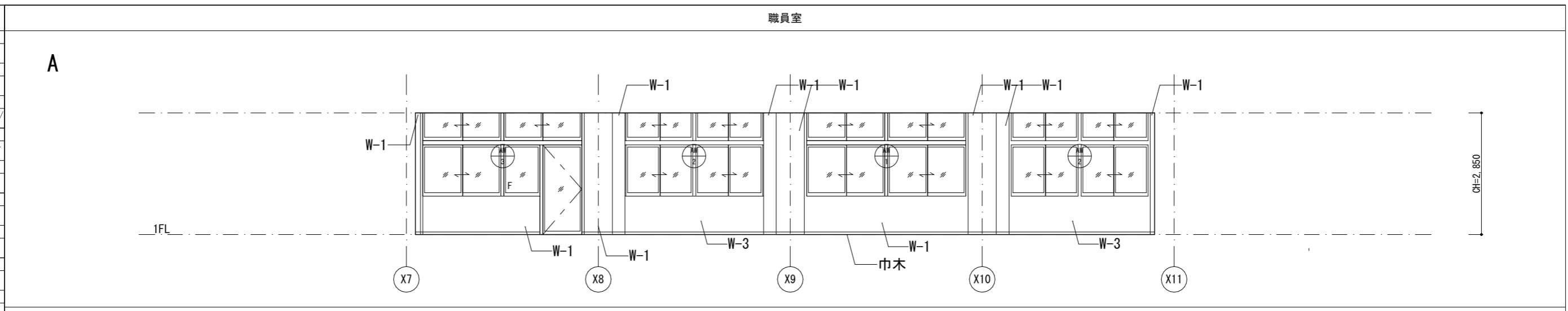


廊下 1-3



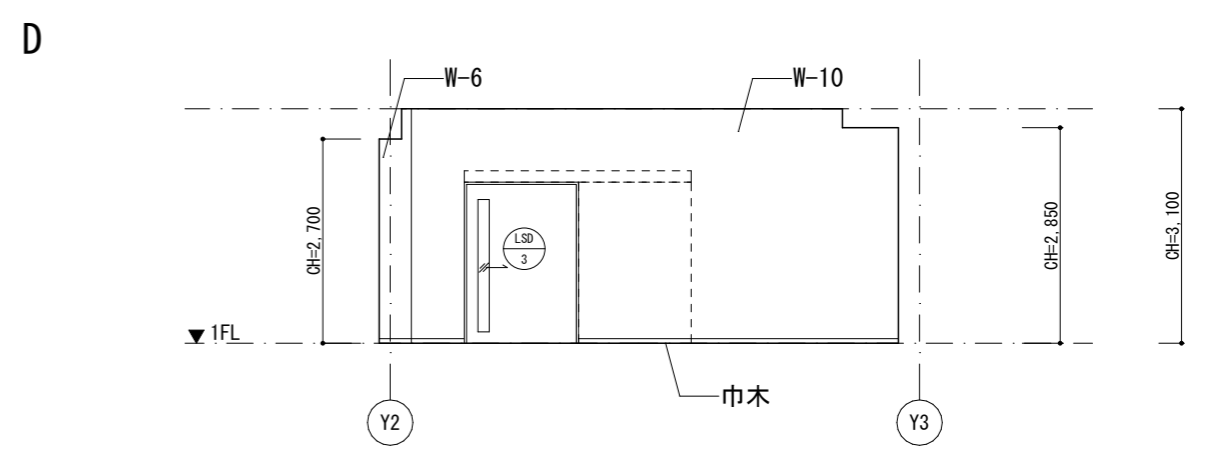
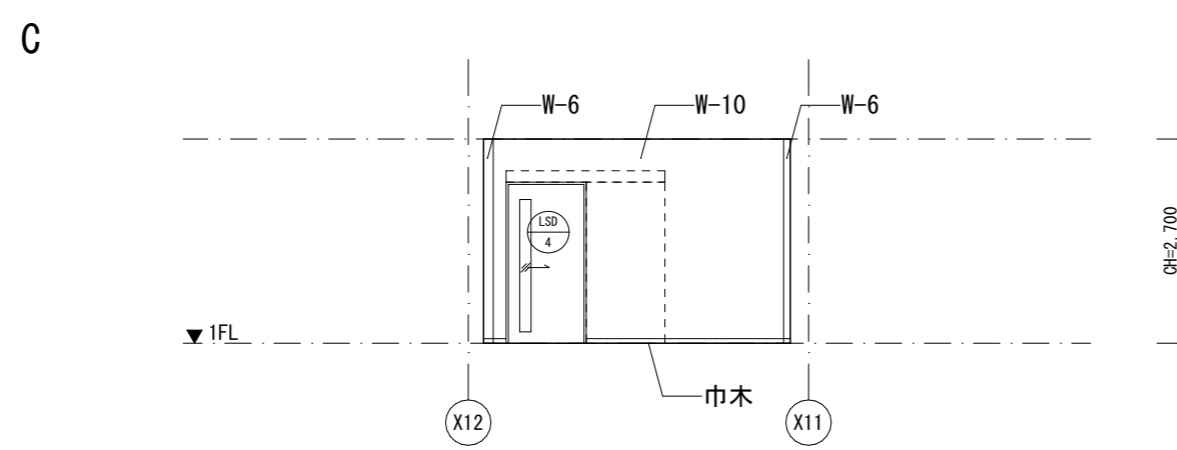
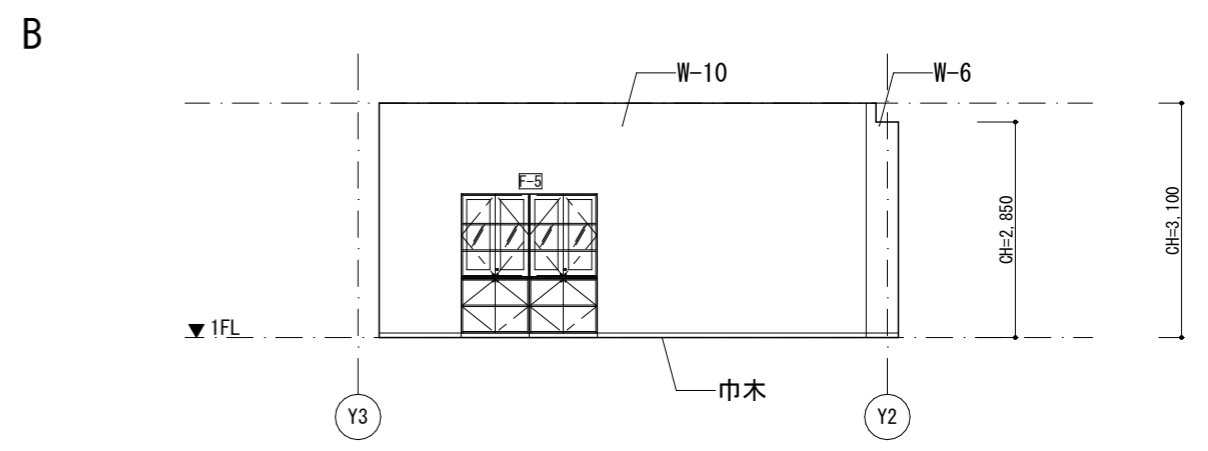
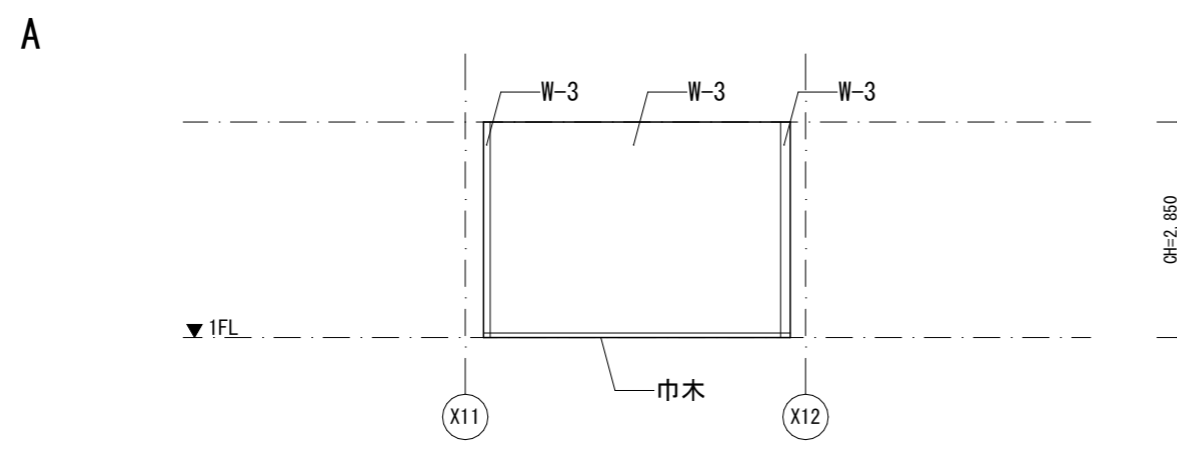
備考	月日	月日	月日	月日	株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作	2024/11/11	設計	佐藤 信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事 (建築工事)	図番	A	A-093
	月日	月日	月日	月日	1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	監	佐藤 信	監	松浦 尚亮	図面	展開図3	縮尺	1/50 (A1) 1/100 (A3)	

凡例	
壁 (W-1)	仕上げ EP塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -t' t=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき
壁 (W-2)	仕上げ EP塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -t' t=30+PBt=12.5/寒冷紗パテしごき
壁 (W-3)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地 (S0型)/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき
壁 (W-4)	仕上げ EP-G塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -t' t=30+耐水PBt=12.5/ケイ酸加アル板t=6.0
壁 (W-5)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=30/耐水PBt=12.5/ケイ酸加アル板t=6.0
壁 (W-6)	仕上げ EP塗装
壁 (W-7)	仕上げ EP-G塗装 下地 モルタル下地調整
壁 (W-8)	仕上げ 掲示クロス 下地 軽鉄下地/37%合板t=9.0/
壁 (W-9)	仕上げ 下地
壁 (W-10)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき
壁 (W-11)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ケイ酸加アル板t=6.0
壁 (W-12)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地/耐火PBt=12.5+12.5/寒冷紗パテしごき
壁 (W-13)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=30/耐水PBt=12.5/ケイ酸加アル板t=6.0
壁 (W-14)	仕上げ 既存モルタル下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -t' t=30+PBt=12.5/木屑+グラス繊維充填t=21/化粧有孔合板t=9
壁 (W-15)	仕上げ 既存のまま 下地 既存のまま

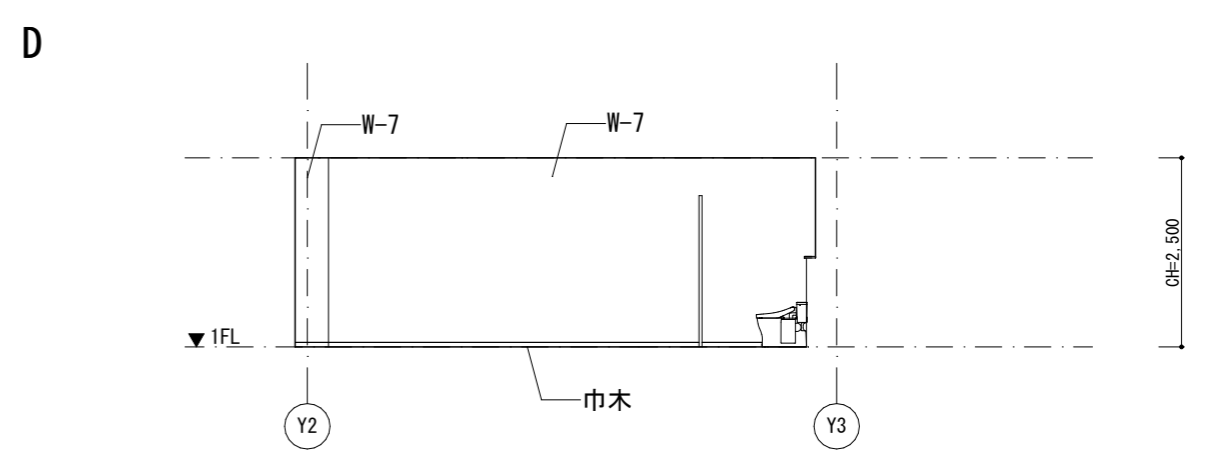
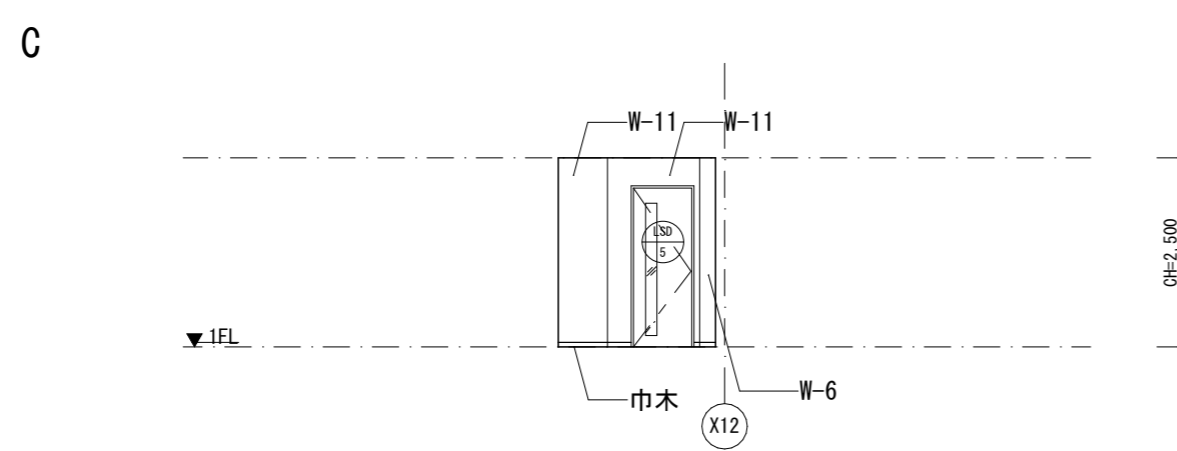
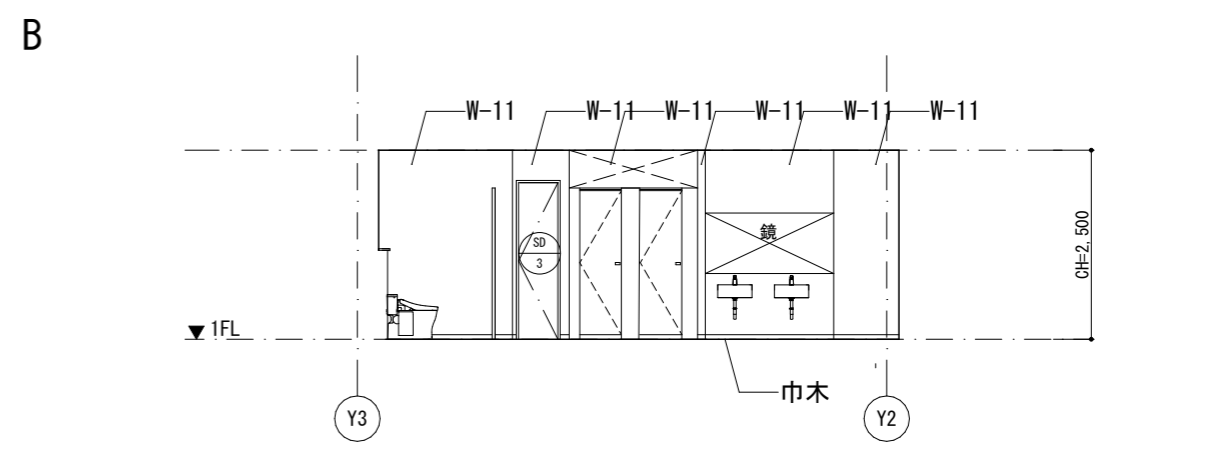
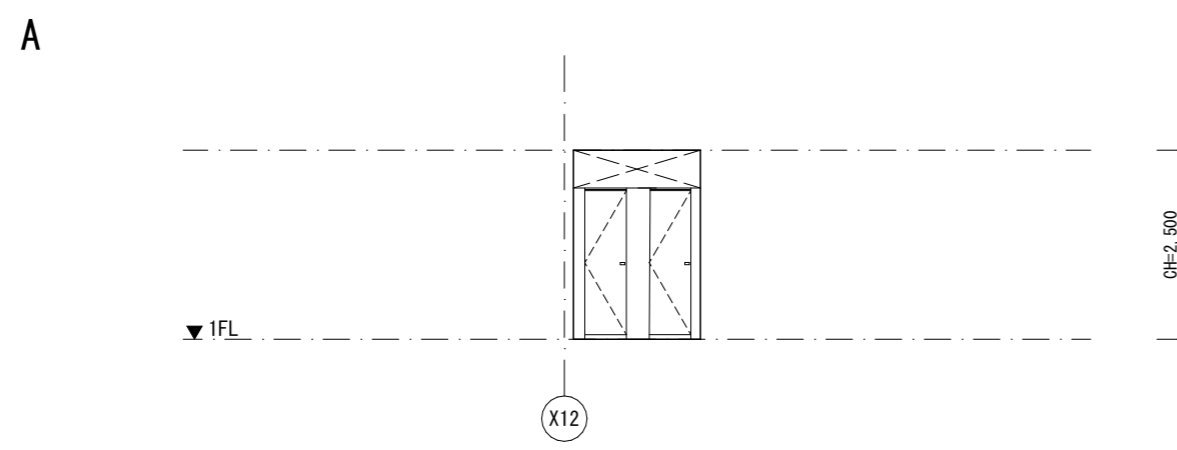


凡例	
壁 (W-1)	仕上げ EP塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -t' t=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき
壁 (W-2)	仕上げ EP塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -t' t=30+PBt=12.5/寒冷紗パテしごき
壁 (W-3)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地 (S0型)/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき
壁 (W-4)	仕上げ EP-G塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -t' t=30+耐水PBt=12.5/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=6.0
壁 (W-5)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=30/耐水PBt=12.5/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=6.0
壁 (W-6)	仕上げ EP塗装
壁 (W-7)	仕上げ EP-G塗装 下地 モルタル下地調整
壁 (W-8)	仕上げ 掲示のみ 下地 軽鉄下地/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=9.0/
壁 (W-9)	仕上げ 下地
壁 (W-10)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき
壁 (W-11)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=6.0
壁 (W-12)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地/耐水PBt=12.5+12.5/寒冷紗パテしごき
壁 (W-13)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=30/耐水PBt=12.5/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=6.0
壁 (W-14)	仕上げ 既存のまま 下地 既存のまま
壁 (W-15)	仕上げ 既存のまま 下地 既存のまま

校長室

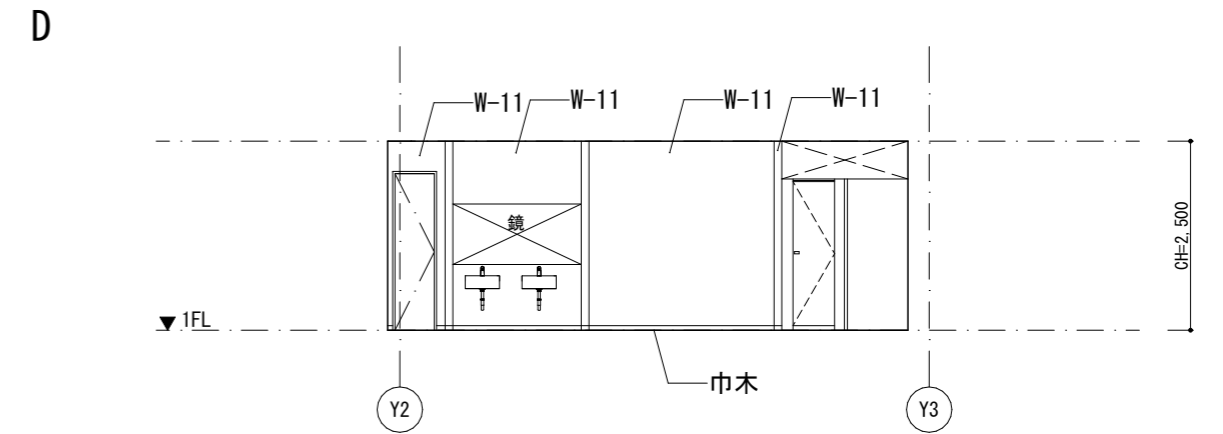
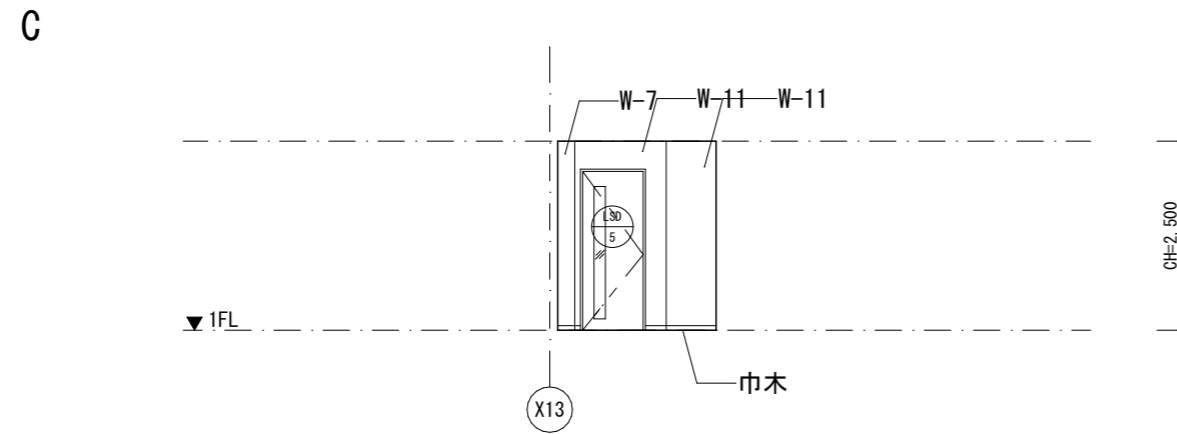
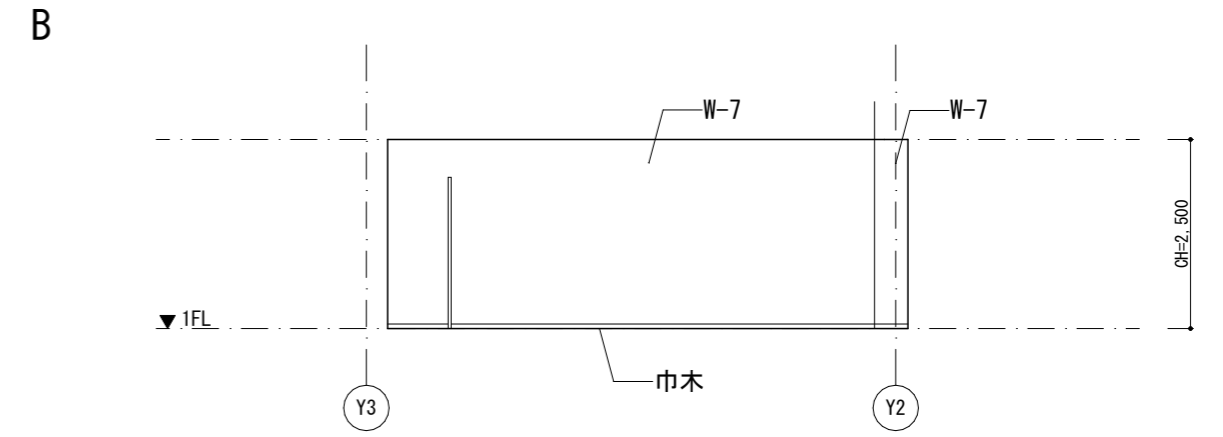
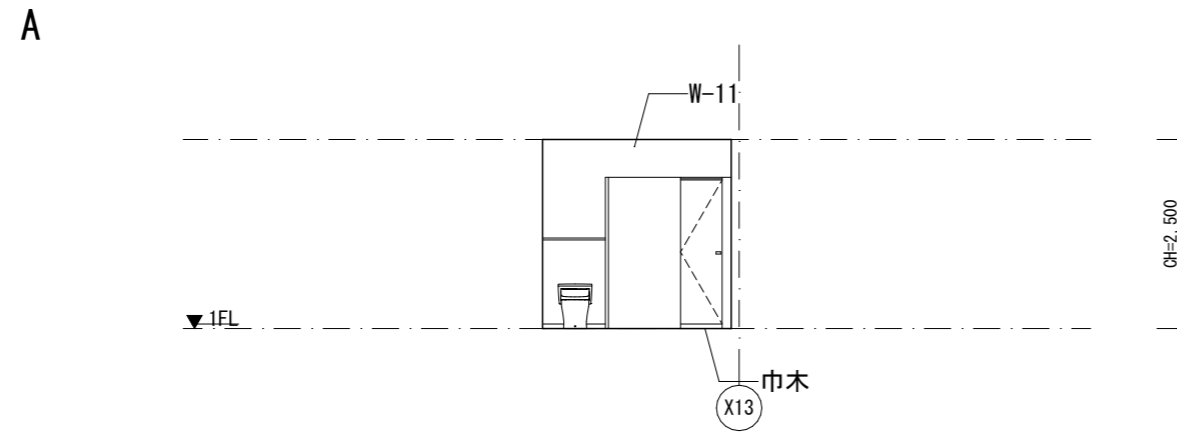


職員トイレ (女)



凡例	
壁 (W-1)	仕上げ EP塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタンボード t=30 +PBt=9.5/寒冷紗/
壁 (W-2)	仕上げ EP塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタンボード t=30+PBt=12.5/寒冷紗ハテシゴキ
壁 (W-3)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地(S0型)/ウレタンフォーム吹付t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷紗ハテシゴキ/
壁 (W-4)	仕上げ EP-G塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタンボード t=30+耐水PBt=12.5/ウレタンフォーム吹付t=6.0
壁 (W-5)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/耐水PBt=12.5/ウレタンフォーム吹付t=6.0
壁 (W-6)	仕上げ EP塗装 下地 既存モルタル下地調整
壁 (W-7)	仕上げ EP-G塗装 下地 モルタル下地調整
壁 (W-8)	仕上げ 掲示クロス 下地 軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=9.0/
壁 (W-9)	仕上げ 下地
壁 (W-10)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗ハテシゴキ
壁 (W-11)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ウレタンフォーム吹付t=6.0
壁 (W-12)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地/耐火PBt=12.5+12.5/寒冷紗ハテシゴキ
壁 (W-13)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/耐水PBt=12.5/ウレタンフォーム吹付t=6.0
壁 (W-14)	仕上げ 既存のまま 下地 既存のまま
壁 (W-15)	仕上げ 既存のまま 下地 既存のまま

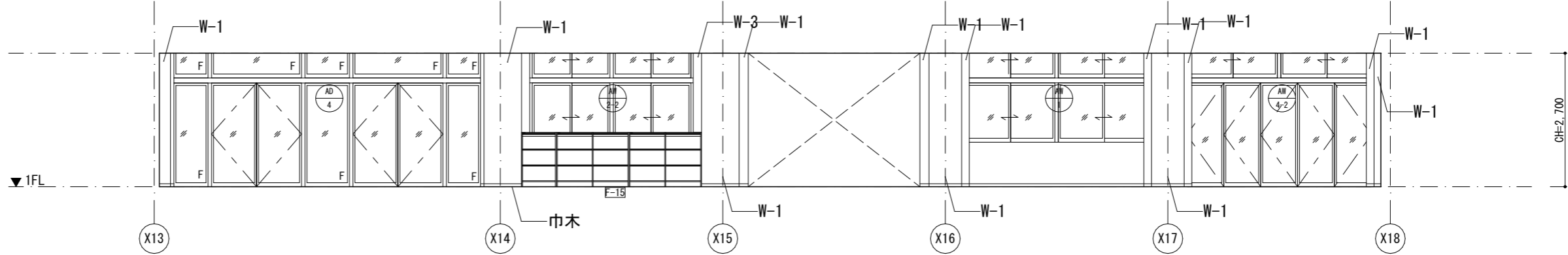
職員トイレ (男)



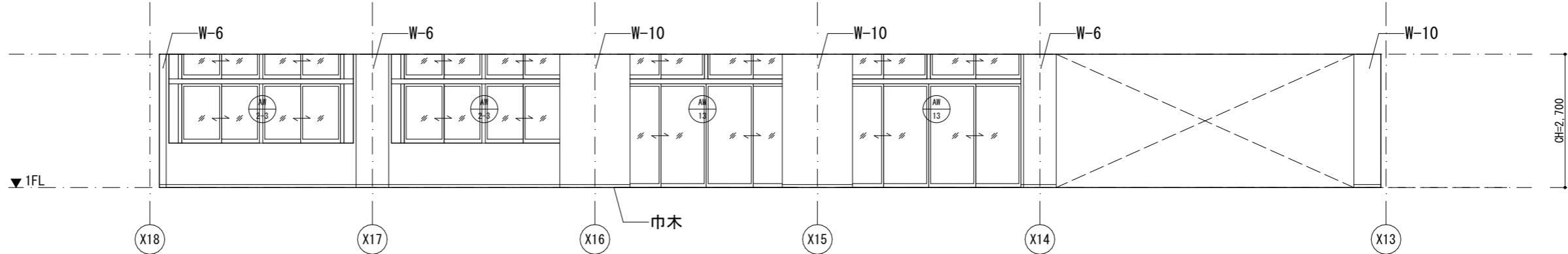
凡例	
壁 (W-1)	仕上げ EP塗装
	下地 RC壁下地調整/硬質ウレタンフォーム t=30 +PBt=9.5/寒冷紗/バテしごき
壁 (W-2)	仕上げ EP塗装
	下地 RC壁下地調整/硬質ウレタンフォーム t=30+PBt=12.5/寒冷紗/バテしごき
壁 (W-3)	仕上げ EP塗装
	下地 軽鉄下地 (S0型)/ウレタンフォーム吹付 t=30/ PBt=12.5+9.5/寒冷紗/バテしごき/
壁 (W-4)	仕上げ EP-G塗装
	下地 RC壁下地調整/硬質ウレタンフォーム t=30+ 耐水PBt=12.5/ケイ酸カルシウム板 t=6.0
壁 (W-5)	仕上げ EP-G塗装
	下地 軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付 t=30/ 耐水PBt=12.5/ケイ酸カルシウム板 t=6.0
壁 (W-6)	仕上げ EP塗装
	下地 既存モルタル下地調整
壁 (W-7)	仕上げ EP-G塗装
	下地 モルタル下地調整
壁 (W-8)	仕上げ 掲示クロス
	下地 軽鉄下地/37mm合板 t=9.0/
壁 (W-9)	仕上げ
	下地
壁 (W-10)	仕上げ EP塗装
	下地 軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/ 寒冷紗/バテしごき
壁 (W-11)	仕上げ EP-G塗装
	下地 軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ ケイ酸カルシウム板 t=6.0
壁 (W-12)	仕上げ EP塗装
	下地 軽鉄下地/耐水PBt=12.5+12.5/ 寒冷紗/バテしごき
壁 (W-13)	仕上げ EP-G塗装
	下地 軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付 t=30/ 耐水PBt=12.5/ケイ酸カルシウム板 t=6.0
壁 (W-14)	仕上げ 有効吸音版 t=9 (シ合板) 目透かし張
	下地 既存モルタル下地調整/ 硬質ウレタンフォーム t=30+PBt=12.5/ 木屑+グラスウール充填 t=21/ 化粧有孔合板 t=9
壁 (W-15)	仕上げ 既存のまま
	下地 既存のまま
壁	仕上げ
	下地
壁	仕上げ
	下地

メディアスペース

A

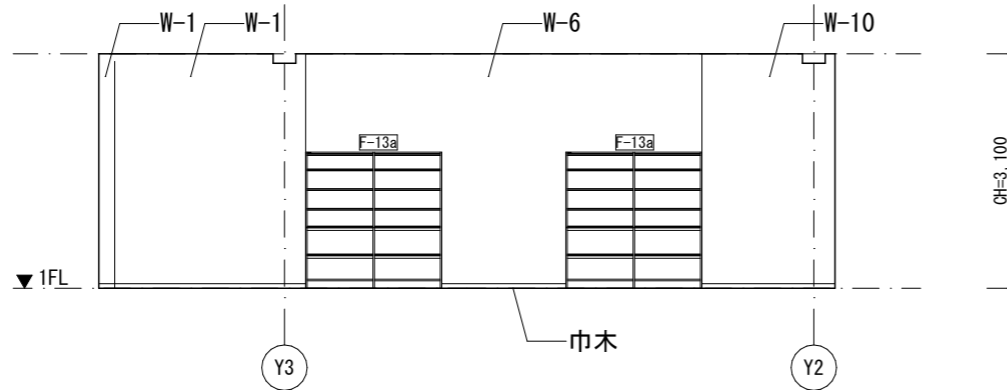


C

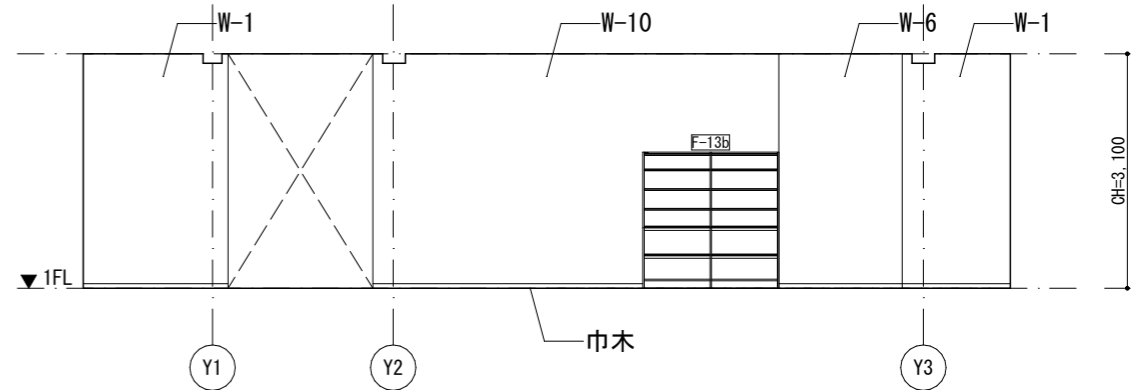


メディアスペース

B

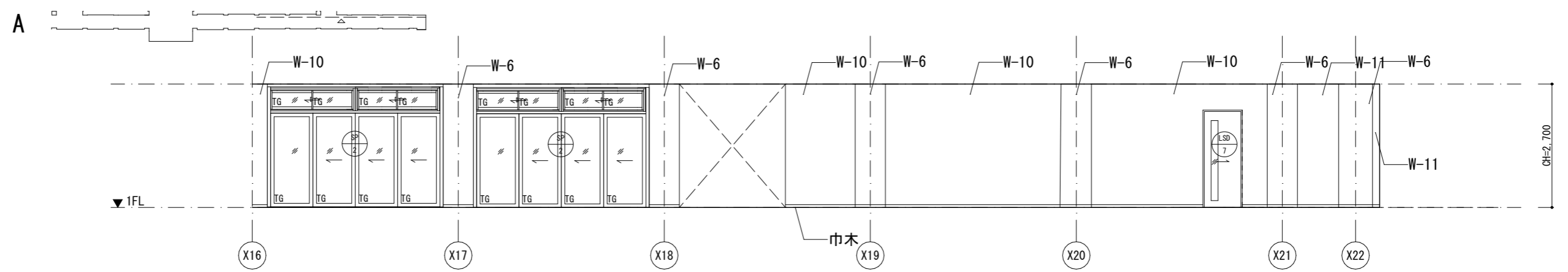
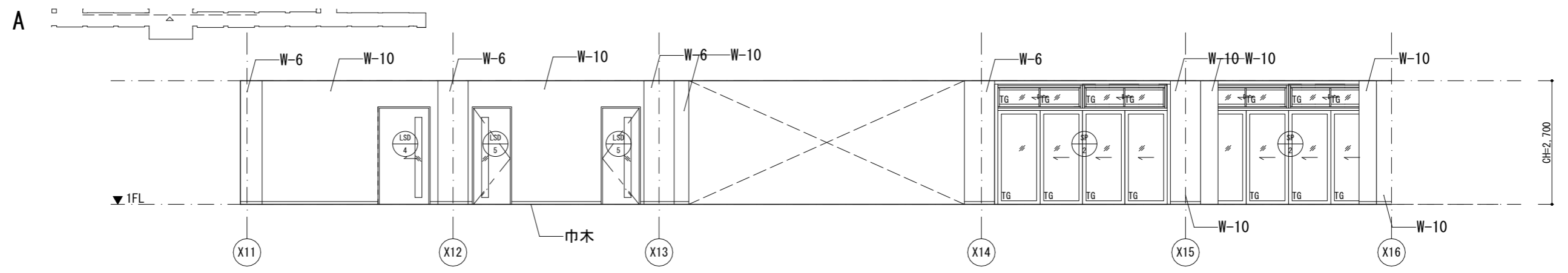


D

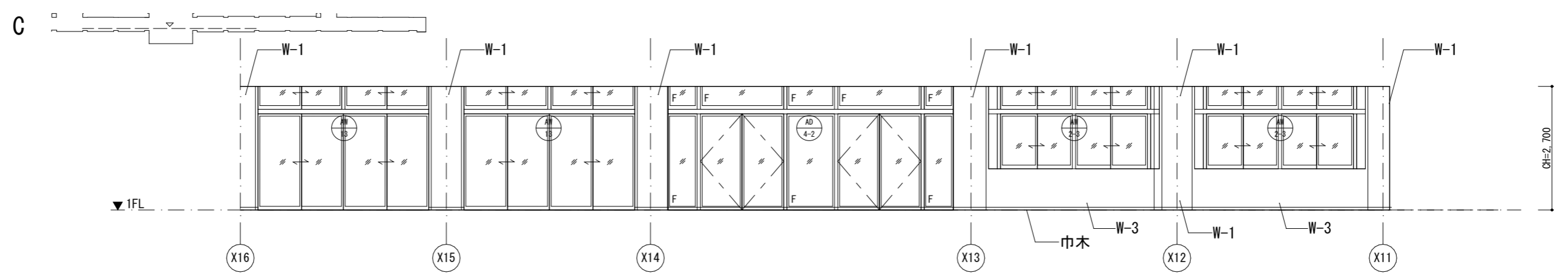
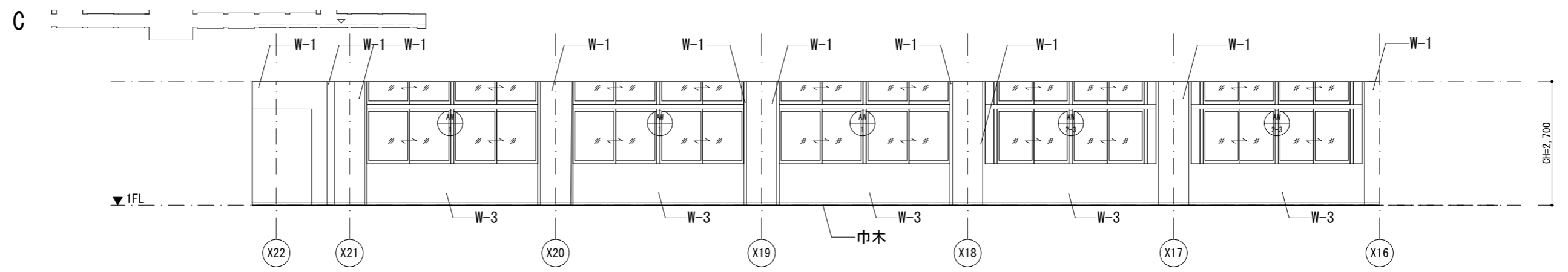


凡例	
壁 (W-1)	仕上げ EP塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -t' t=30+PBt=9.5/寒冷紗/
壁 (W-2)	仕上げ EP塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -t' t=30+PBt=12.5/寒冷紗/パレシごき
壁 (W-3)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地 (S0型)/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷紗/パレシごき/
壁 (W-4)	仕上げ EP-G塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -t' t=30+耐水PBt=12.5/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=6.0
壁 (W-5)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=30/耐水PBt=12.5/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=6.0
壁 (W-6)	仕上げ EP塗装
壁 (W-7)	仕上げ EP-G塗装 下地 モルタル下地調整
壁 (W-8)	仕上げ 掲示クロス 下地 軽鉄下地/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=9.0/
壁 (W-9)	仕上げ 下地
壁 (W-10)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗/パレシごき
壁 (W-11)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=6.0
壁 (W-12)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地/耐水PBt=12.5+12.5/寒冷紗/パレシごき
壁 (W-13)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=30/耐水PBt=12.5/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=6.0
壁 (W-14)	仕上げ 有効吸音版t=9 (枠合板)目透かし張 下地 既存モルタル下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -t' t=30+PBt=12.5/木調練+ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=21/化粧有孔合板t=9
壁 (W-15)	仕上げ 既存のまま 下地 既存のまま
壁	仕上げ
壁	下地
壁	仕上げ
壁	下地

廊下 1-2

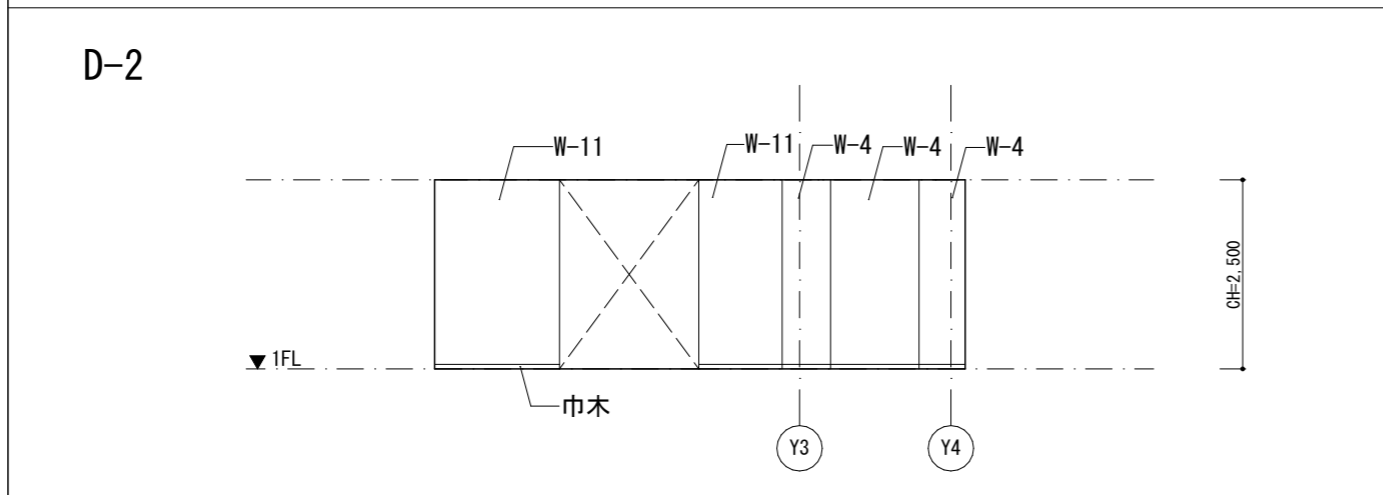
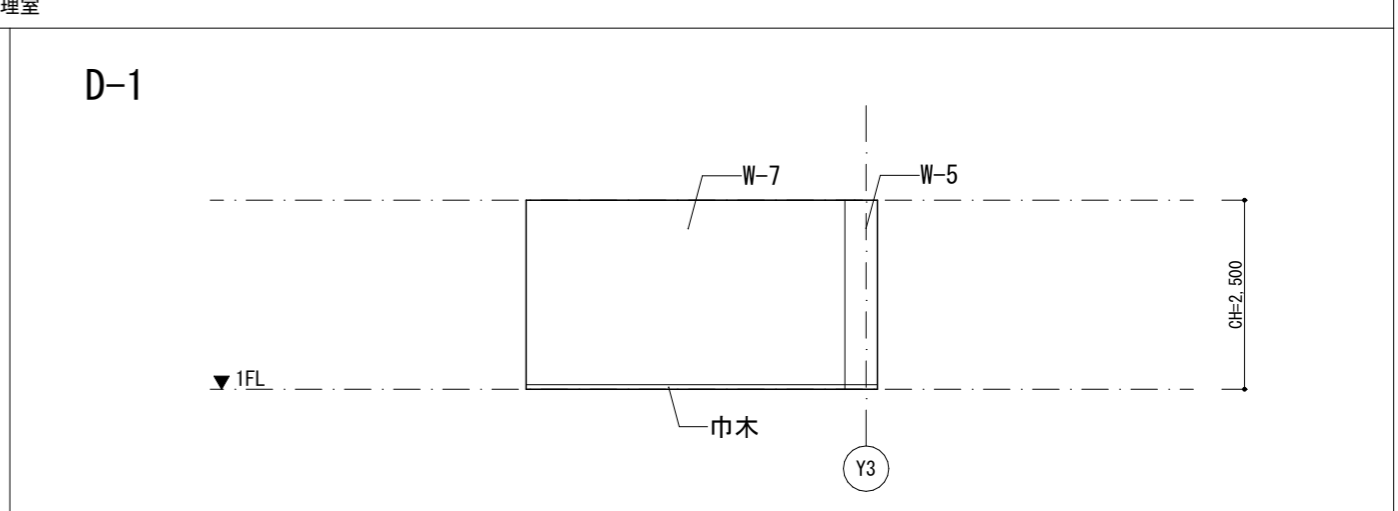
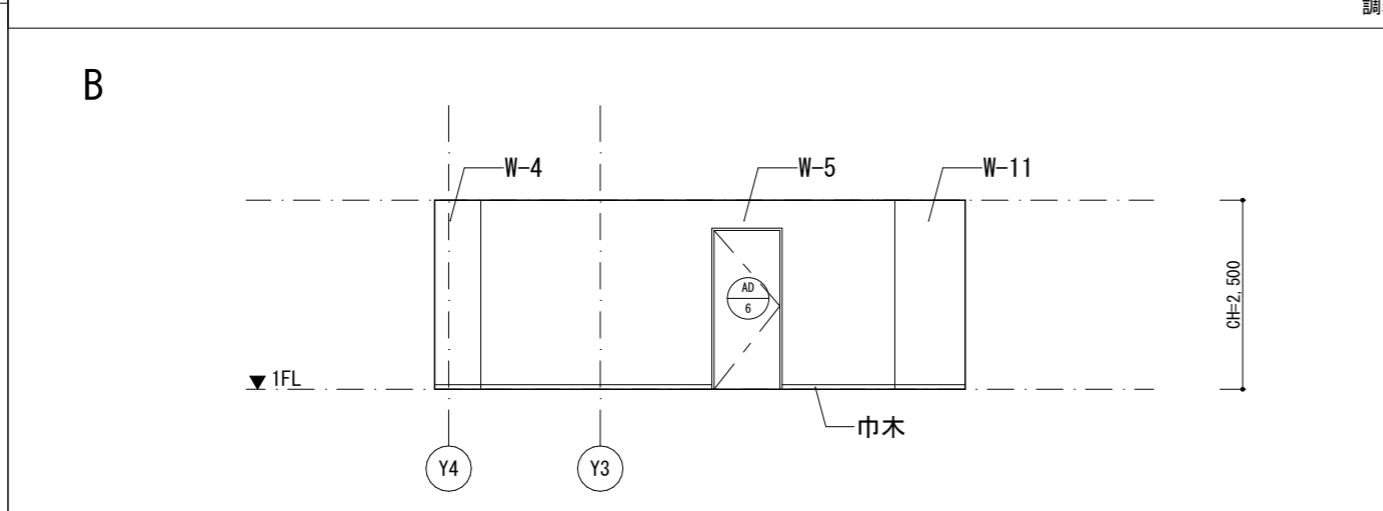
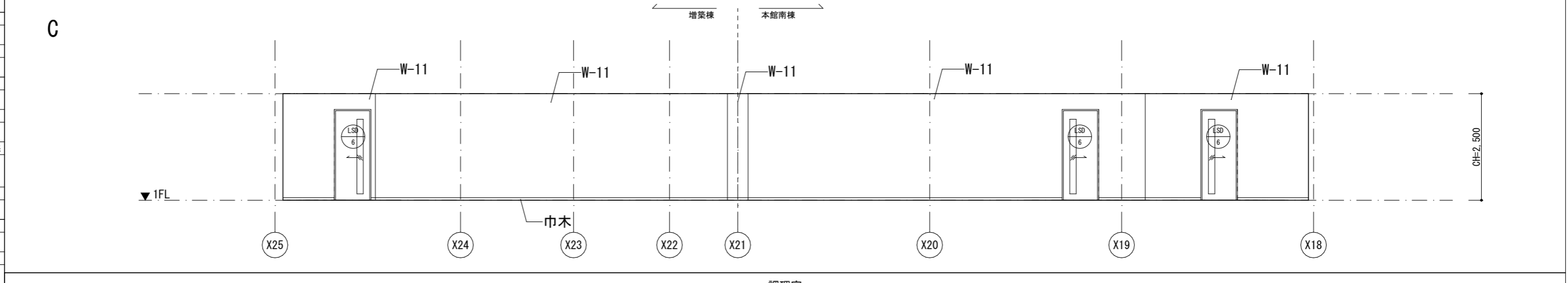
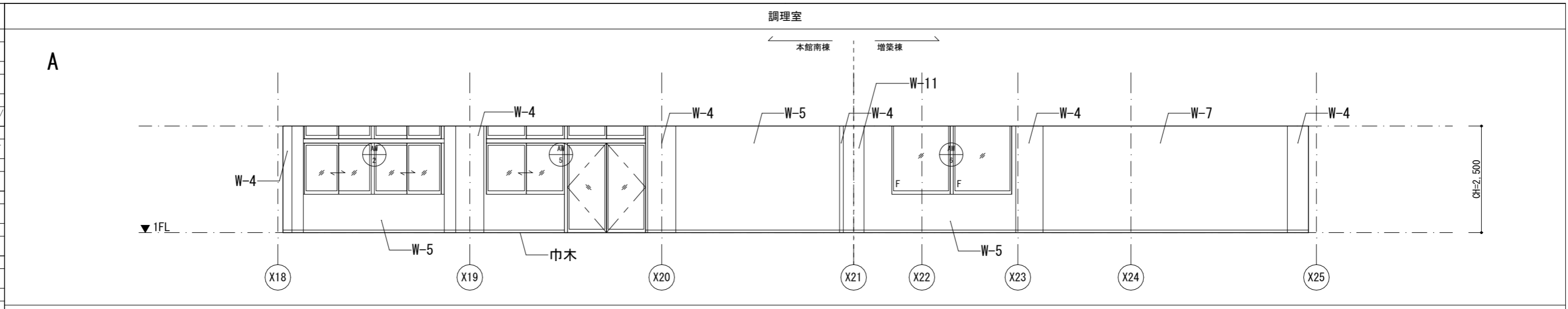


廊下 1-2



備考	月日	月日	月日	月日	株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	2024/11/11	設計 佐藤 信	工事内容	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事 (建築工事)	図番	A	A-098
					1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号		佐藤 信	図面	展開図8	縮尺	1/50 (A1) 1/100 (A3)	

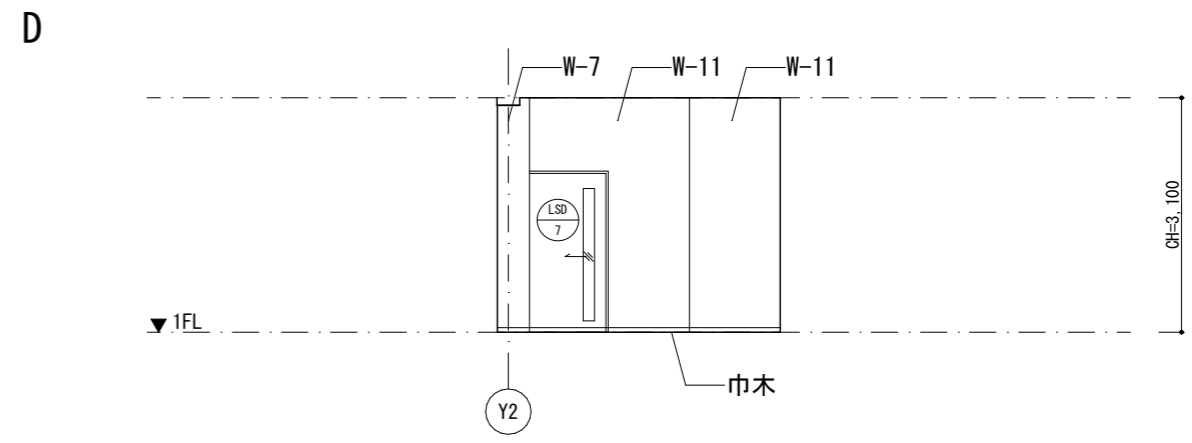
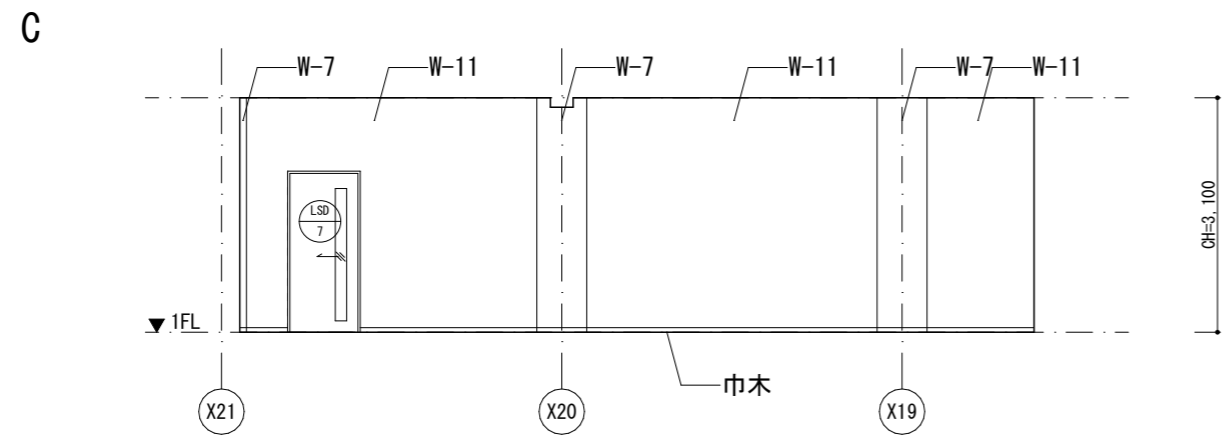
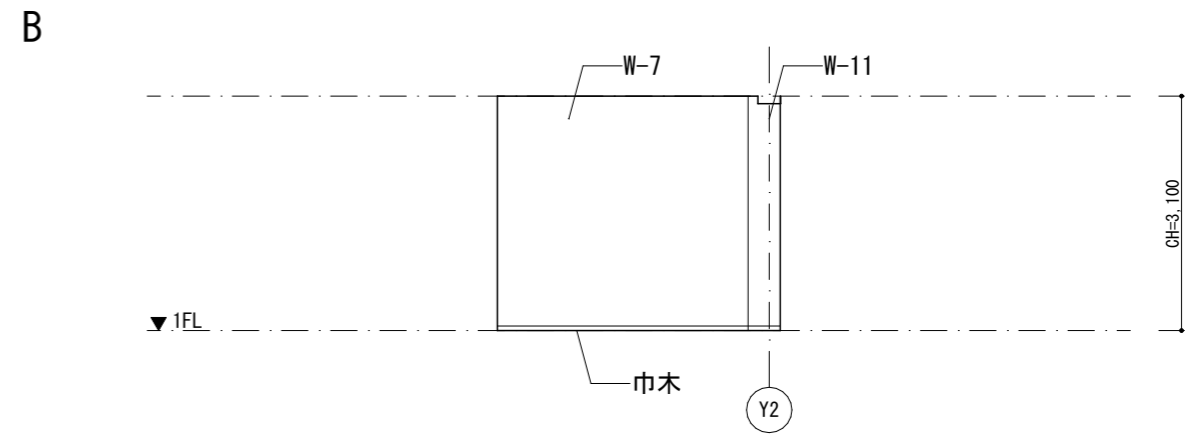
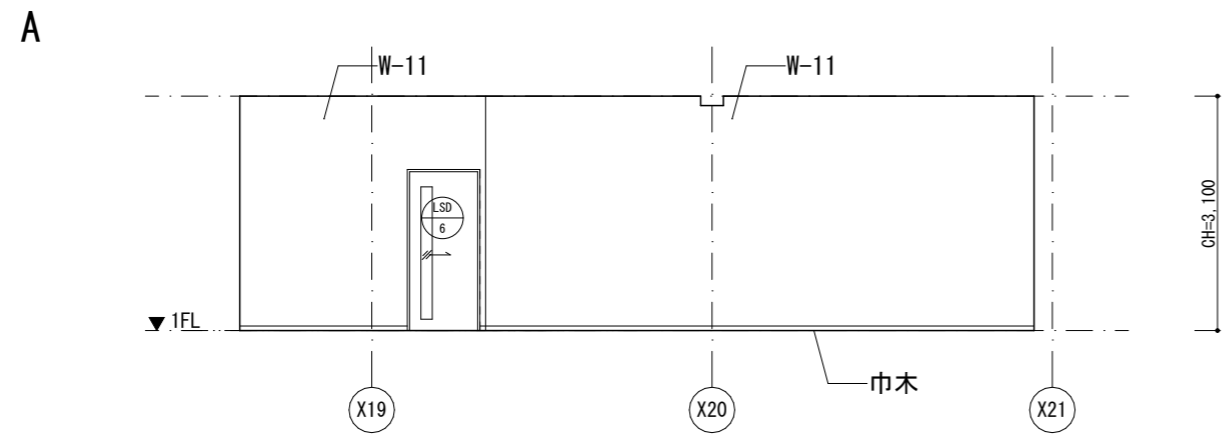
凡例	
壁 (W-1)	仕上げ EP塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -t' t=30+PBt=9.5/寒冷紗 <sup>®</sup> パテしごき
壁 (W-2)	仕上げ EP塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -t' t=30+PBt=12.5/寒冷紗 <sup>®</sup> パテしごき
壁 (W-3)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地 (S0型)/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷紗 <sup>®</sup> パテしごき
壁 (W-4)	仕上げ EP-G塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -t' t=30+耐水PBt=12.5/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=6.0
壁 (W-5)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=30/耐水PBt=12.5/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=6.0
壁 (W-6)	仕上げ EP塗装 下地 既存モルタル下地調整
壁 (W-7)	仕上げ EP-G塗装 下地 モルタル下地調整
壁 (W-8)	仕上げ 掲示クロス 下地 軽鉄下地/3mm合板t=9.0/
壁 (W-9)	仕上げ 下地
壁 (W-10)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗 <sup>®</sup> パテしごき
壁 (W-11)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=6.0
壁 (W-12)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地/耐水PBt=12.5+12.5/寒冷紗 <sup>®</sup> パテしごき
壁 (W-13)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=30/耐水PBt=12.5/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=6.0
壁 (W-14)	仕上げ 既存モルタル下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -t' t=30+PBt=12.5/木屑 <sup>®</sup> 充填t=21/化粧有孔合板t=9
壁 (W-15)	仕上げ 既存のまま 下地 既存のまま
壁	仕上げ
壁	下地
壁	仕上げ
壁	下地



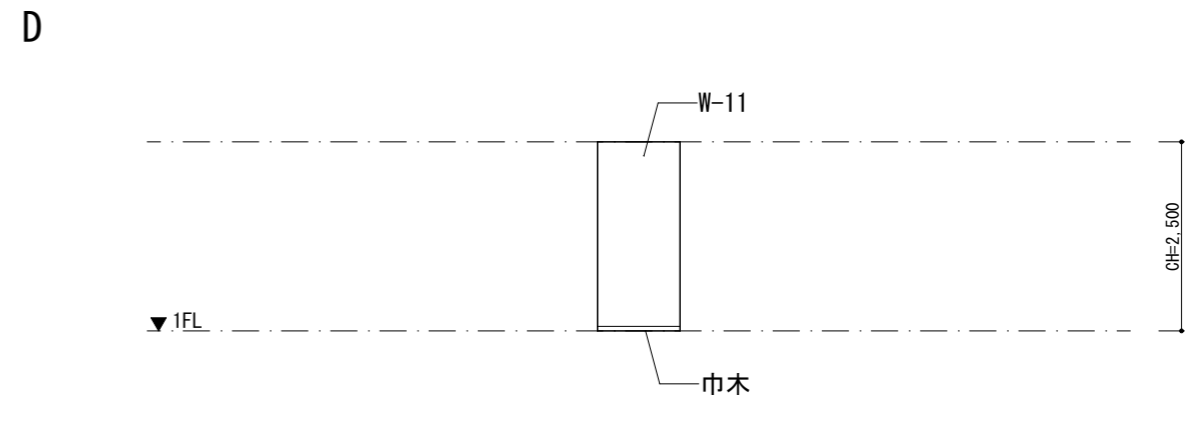
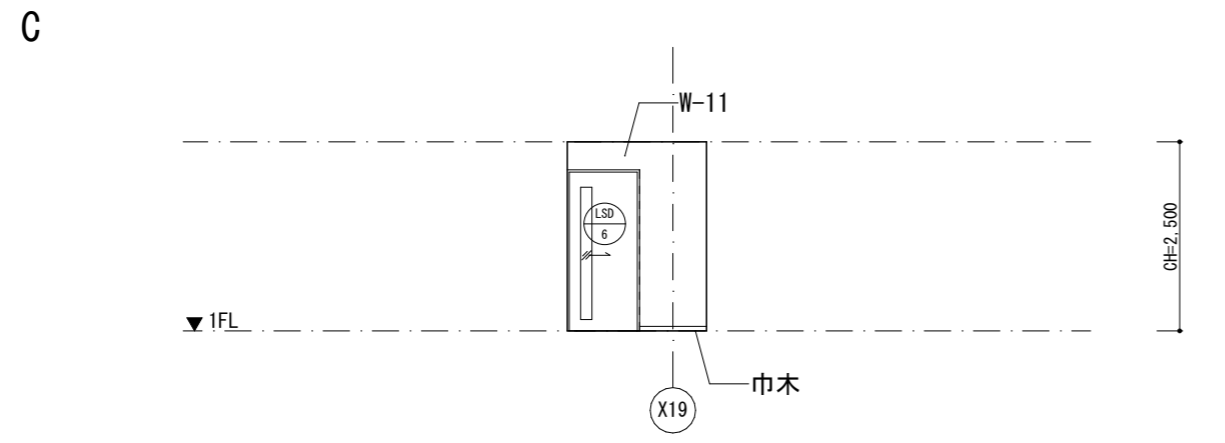
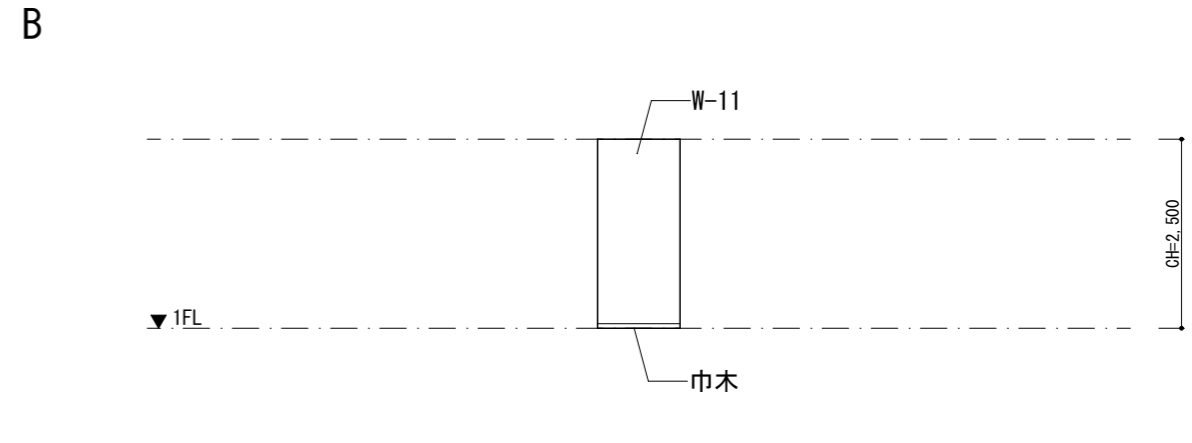
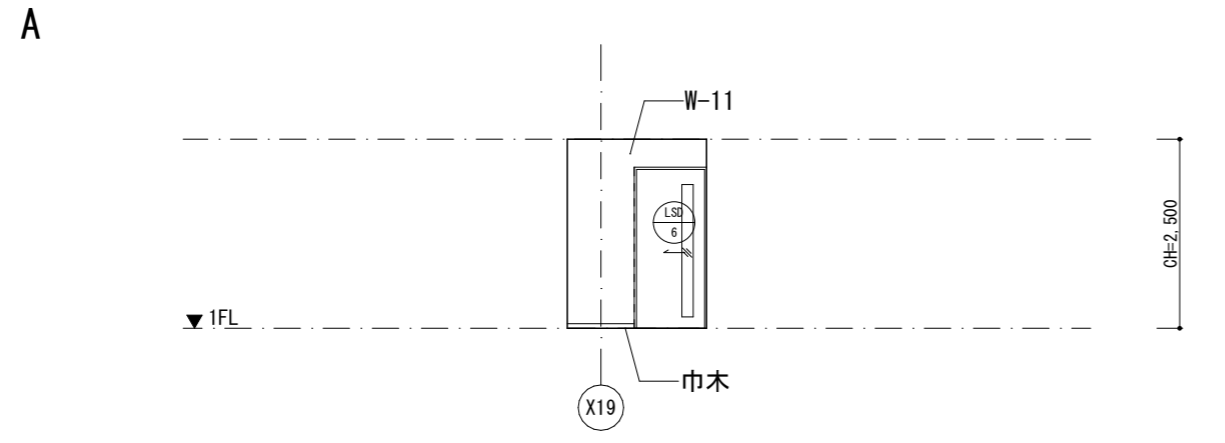
備考	月日	月日	月日	月日	株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤 信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事 (建築工事)	図番	A	A-099
	月日	月日	月日	月日	1級建築士 佐藤 信 第362177号	校	佐藤 信	監	松浦 尚亮	図	展開図9	縮尺	1/50 (A1)	1/100 (A3)
	月日	月日	月日	月日	1級建築士事務所 第1-60097号	校	佐藤 信	監	松浦 尚亮	図		縮尺		

凡例	
壁 (W-1)	仕上げ EP塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -t' t=30+PBt=9.5/寒冷紗/
壁 (W-2)	仕上げ EP塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -t' t=30+PBt=12.5/寒冷紗/なしごき
壁 (W-3)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地 (S0型)/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷紗/なしごき/
壁 (W-4)	仕上げ EP-G塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -t' t=30+耐水PBt=12.5/ケイ酸カルシウム板t=6.0
壁 (W-5)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=30/耐水PBt=12.5/ケイ酸カルシウム板t=6.0
壁 (W-6)	仕上げ EP塗装
壁 (W-7)	仕上げ EP-G塗装 下地 モルタル下地調整
壁 (W-8)	仕上げ 掲示のみ 下地 軽鉄下地/3mm合板t=9.0/
壁 (W-9)	仕上げ 下地
壁 (W-10)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗/なしごき
壁 (W-11)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ケイ酸カルシウム板t=6.0
壁 (W-12)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地/耐火PBt=12.5+12.5/寒冷紗/なしごき
壁 (W-13)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=30/耐水PBt=12.5/ケイ酸カルシウム板t=6.0
壁 (W-14)	仕上げ 有効吸音版t=9 (シ合板) 目透かし張 下地 既存モルタル下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -t' t=30+PBt=12.5/木屑 <sup>®</sup> +グラスウール充填t=21/化粧有孔合板t=9
壁 (W-15)	仕上げ 既存のまま 下地 既存のまま
壁	仕上げ
壁	下地
壁	仕上げ
壁	下地

配膳室



前室

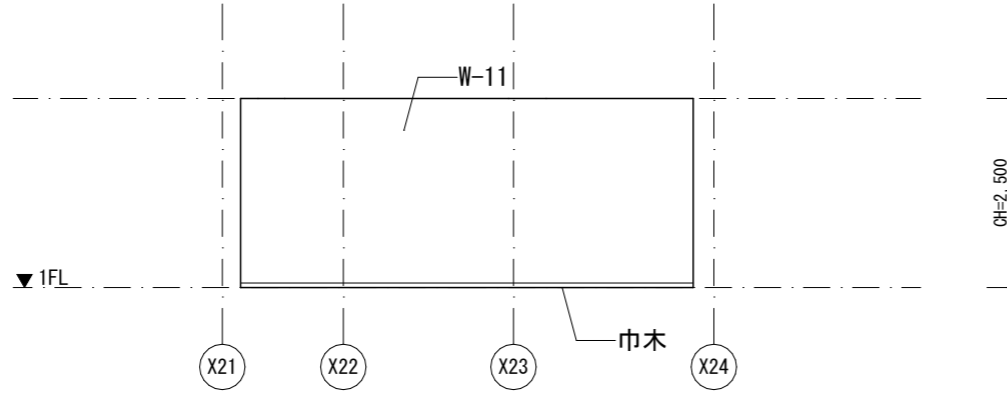


備考	月日	月日	月日	月日	株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤 信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事 (建築工事)	図番	A	A-100
	月日	月日	月日	月日	1級建築士 佐藤 信 第362177号	監修	佐藤 信	監製	松浦 尚亮	図面内容	展開図10	縮尺	1/50 (A1)	1/100 (A3)

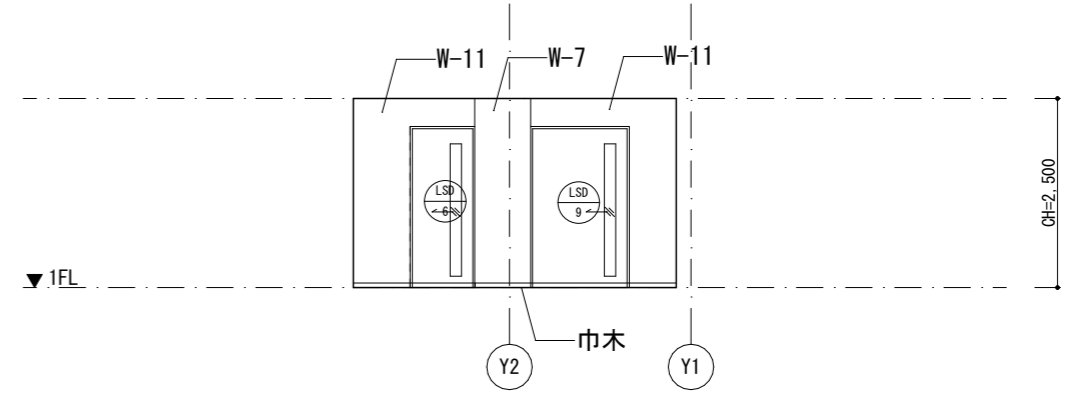
凡例	
壁 (W-1)	仕上げ EP塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -t' t=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき
壁 (W-2)	仕上げ EP塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -t' t=30+PBt=12.5/寒冷紗パテしごき
壁 (W-3)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地 (S0型)/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき
壁 (W-4)	仕上げ EP-G塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -t' t=30+耐水PBt=12.5/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=6.0
壁 (W-5)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=30/耐水PBt=12.5/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=6.0
壁 (W-6)	仕上げ EP塗装 下地 既存モルタル下地調整
壁 (W-7)	仕上げ EP-G塗装 下地 モルタル下地調整
壁 (W-8)	仕上げ 掲示のみ 下地 軽鉄下地/3/72合板t=9.0/
壁 (W-9)	仕上げ 下地
壁 (W-10)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき
壁 (W-11)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=6.0
壁 (W-12)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地/耐水PBt=12.5+12.5/寒冷紗パテしごき
壁 (W-13)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=30/耐水PBt=12.5/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=6.0
壁 (W-14)	仕上げ 有効吸音版t=9 (ウレタン <sup>®</sup> 合板)目透かし張 下地 既存モルタル下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -t' t=30+PBt=12.5/木綿織 <sup>®</sup> グラス <sup>®</sup> -L充填t=21/化粧有孔合板t=9
壁 (W-15)	仕上げ 既存のまま 下地 既存のまま
壁	仕上げ
壁	下地
壁	仕上げ
壁	下地

下処理室

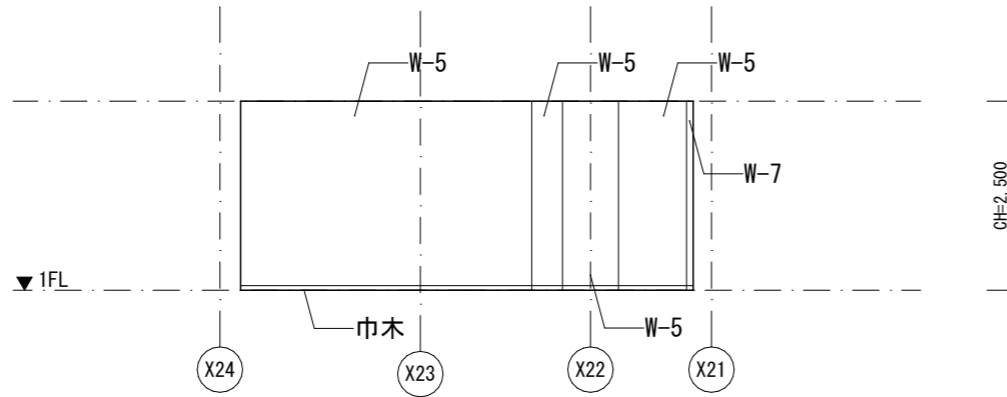
A



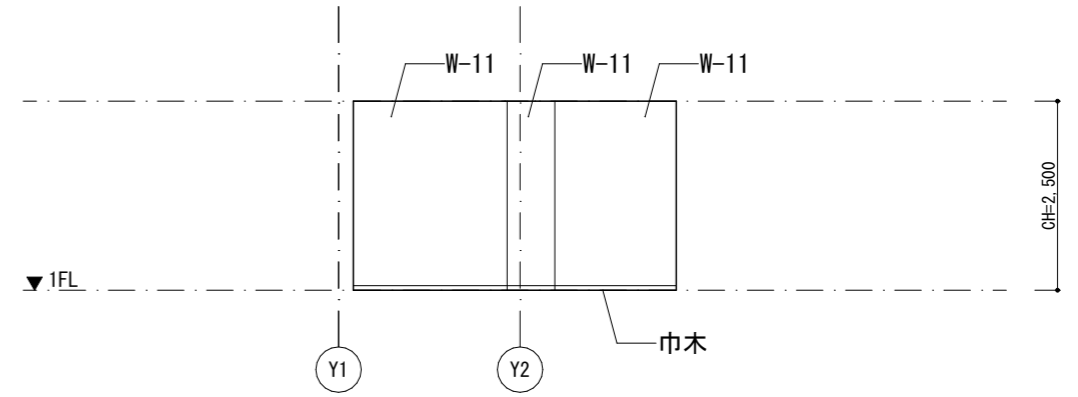
B



C

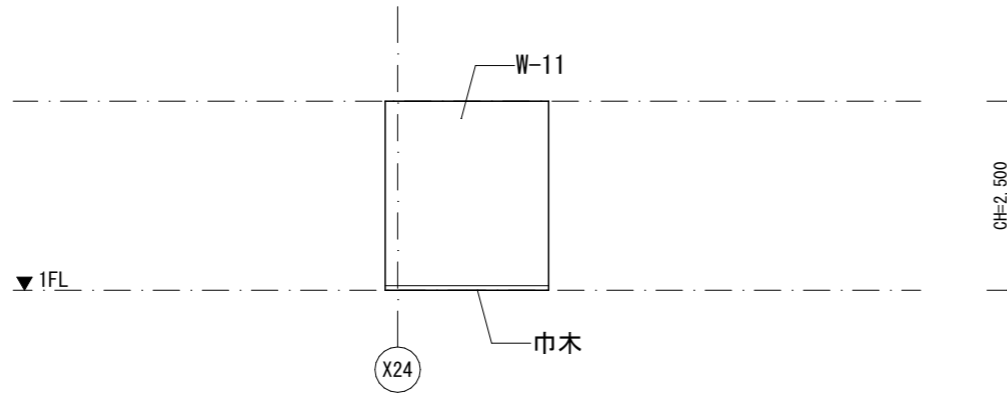


D

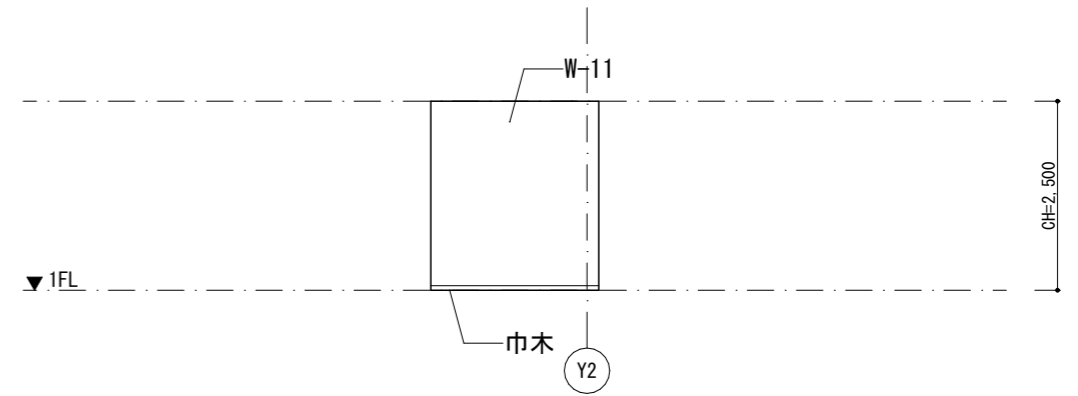


食品庫

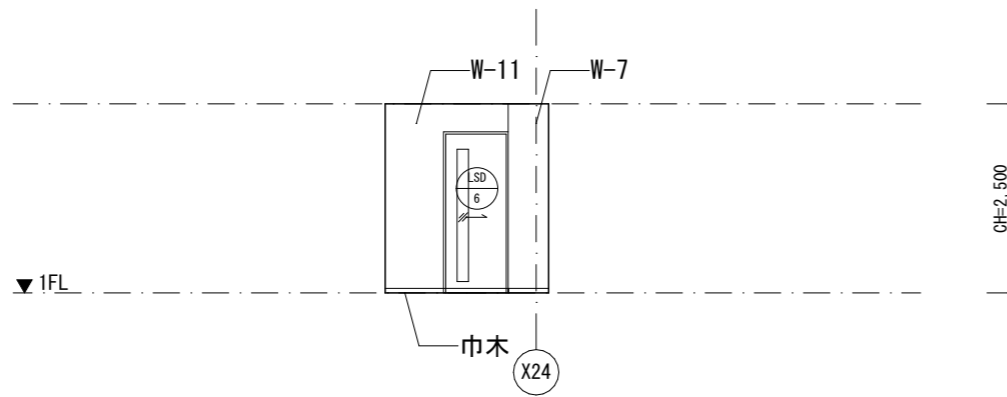
A



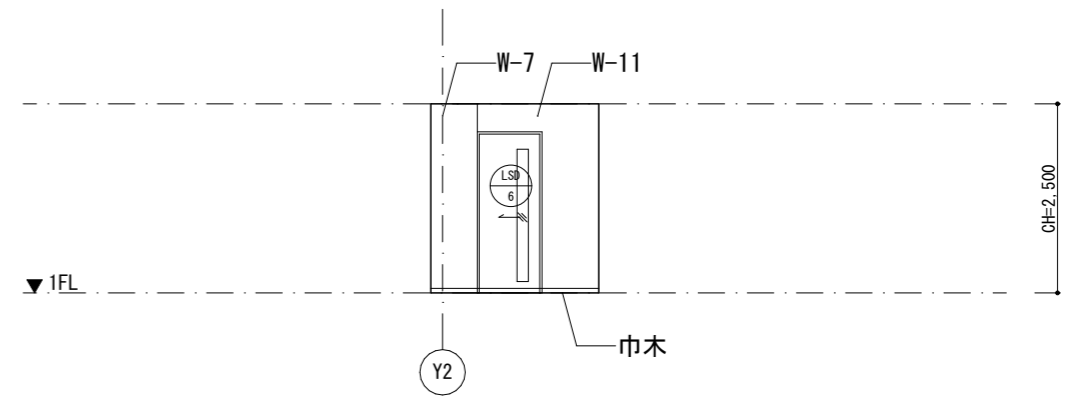
B



C



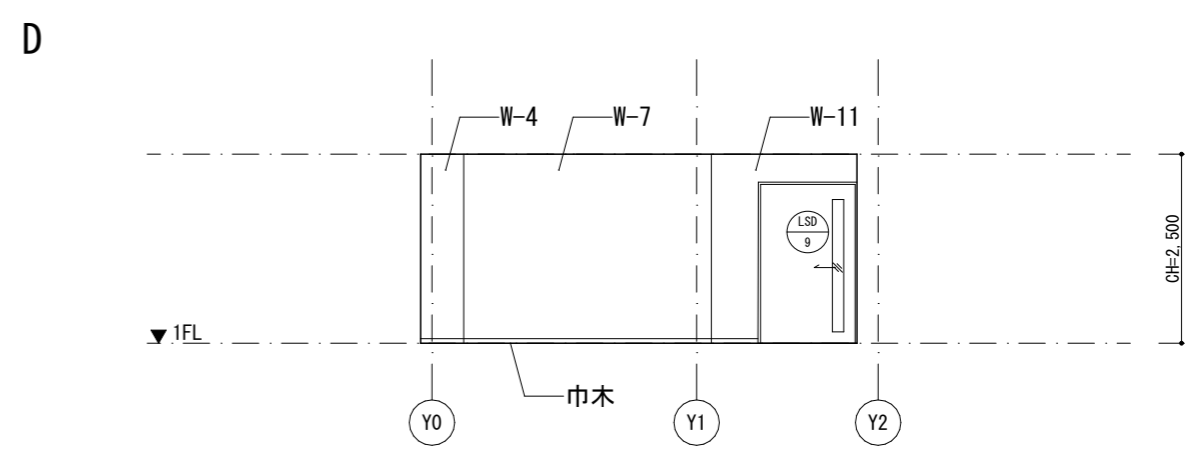
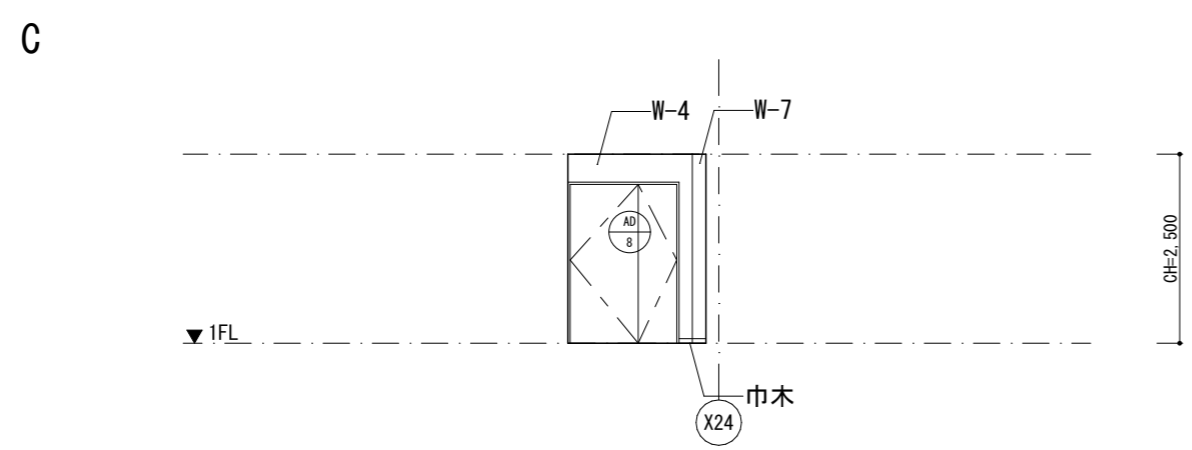
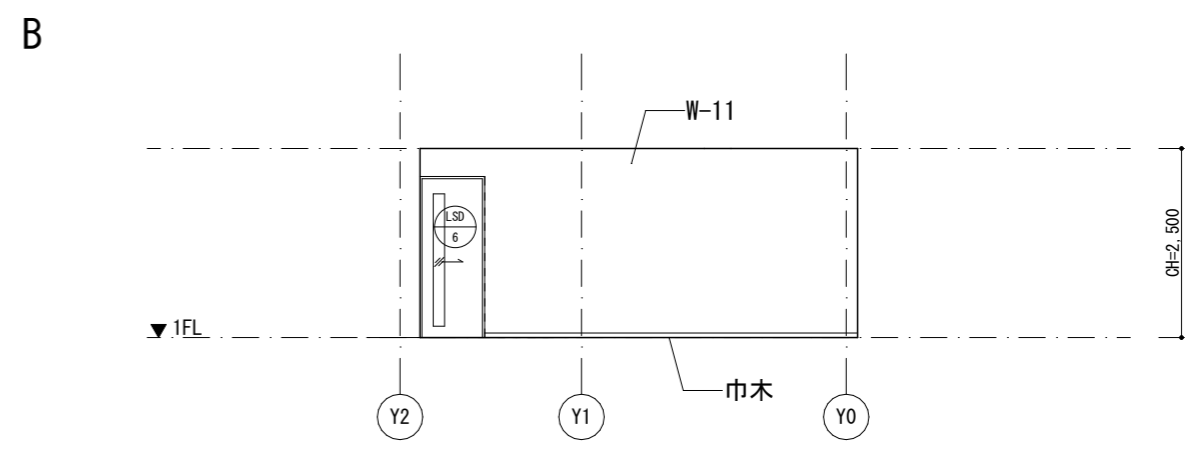
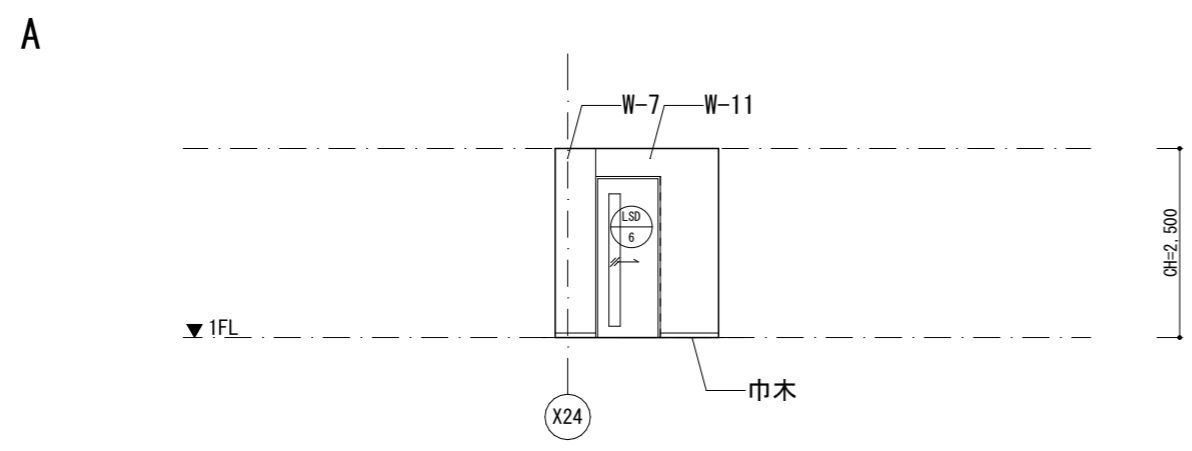
D



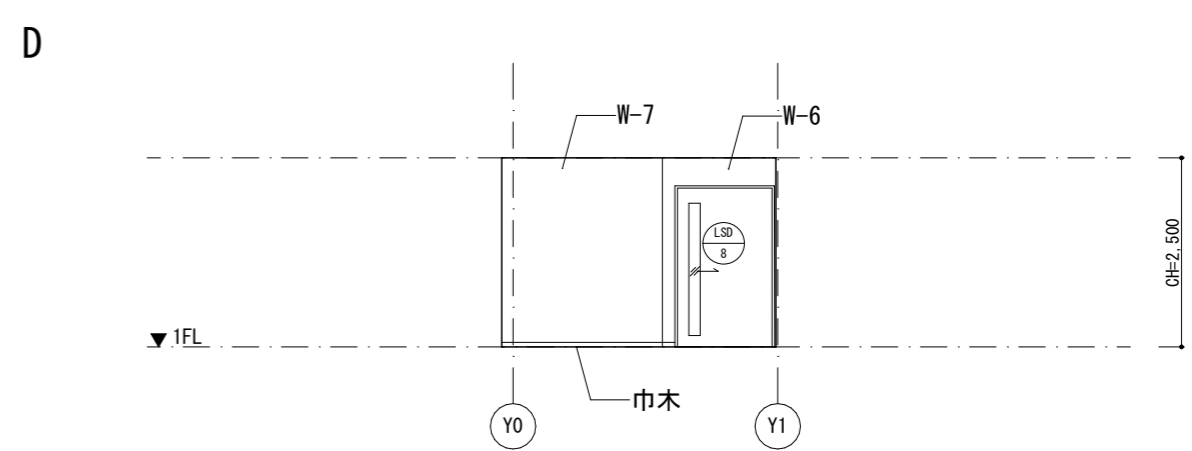
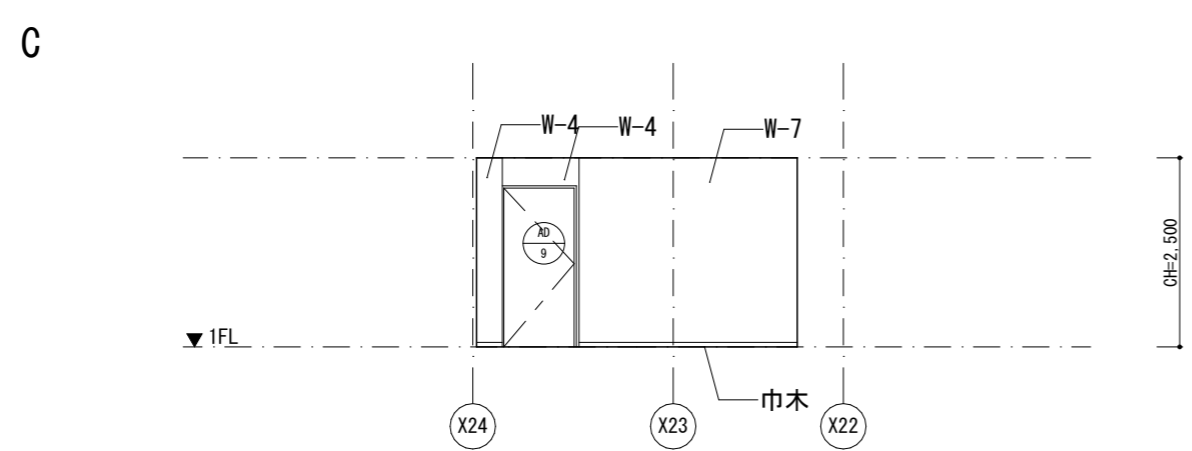
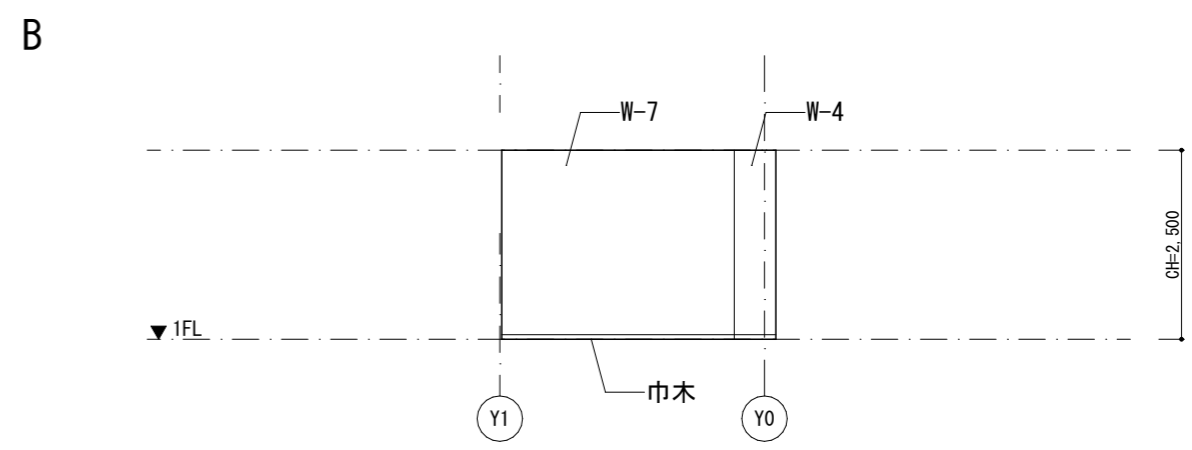
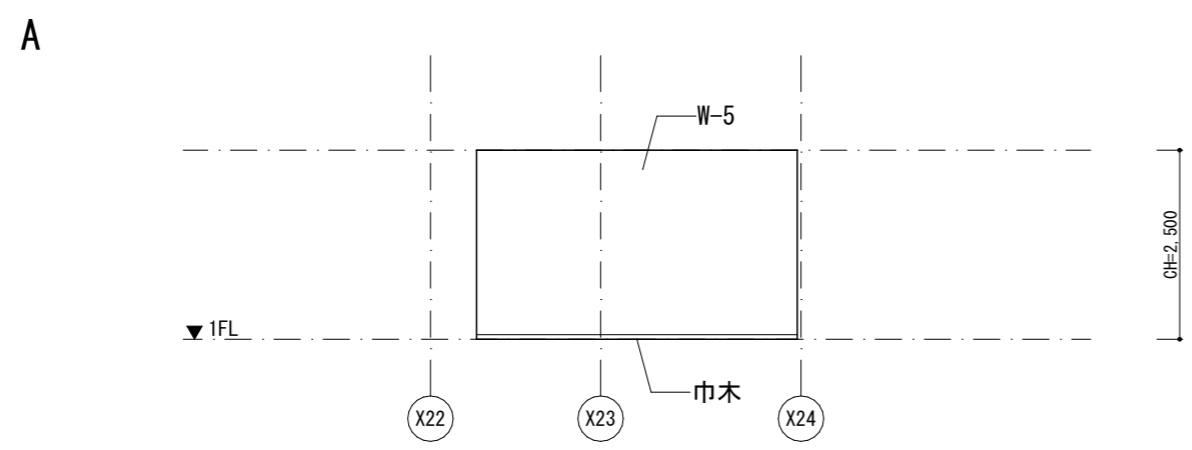
備考	月日	月日	月日	月日	株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤 信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事 (建築工事)	図番	A	A-101
	月日	月日	月日	月日	1級建築士 佐藤 信 第362177号	校	佐藤 信	監	松浦 尚亮	図面内容	展開図11	縮尺	1/50 (A1) 1/100 (A3)	

凡例	
壁 (W-1)	仕上げ EP塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタンボード t=30+PBt=9.5/寒冷紗/
壁 (W-2)	仕上げ EP塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタンボード t=30+PBt=12.5/寒冷紗/なしごき
壁 (W-3)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地 (S0型)/ウレタンフォーム吹付 t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷紗/なしごき/
壁 (W-4)	仕上げ EP-G塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタンボード t=30+耐水PBt=12.5/ケイ酸カルシウム板 t=6.0
壁 (W-5)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付 t=30/耐水PBt=12.5/ケイ酸カルシウム板 t=6.0
壁 (W-6)	仕上げ EP塗装
壁 (W-7)	下地 既存モルタル下地調整
壁 (W-8)	仕上げ 掲示のみ 下地 軽鉄下地/3mm合板 t=9.0/
壁 (W-9)	仕上げ 下地
壁 (W-10)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗/なしごき
壁 (W-11)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ケイ酸カルシウム板 t=6.0
壁 (W-12)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地/耐水PBt=12.5+12.5/寒冷紗/なしごき
壁 (W-13)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付 t=30/耐水PBt=12.5/ケイ酸カルシウム板 t=6.0
壁 (W-14)	仕上げ 有効吸音版 t=9 (シ合板) 目透かし張 下地 既存モルタル下地調整/硬質ウレタンボード t=30+PBt=12.5/木綿繊維ガラスウール充填 t=21/化粧有孔合板 t=9
壁 (W-15)	仕上げ 既存のまま 下地 既存のまま
壁	仕上げ
壁	下地
壁	仕上げ
壁	下地

検収室



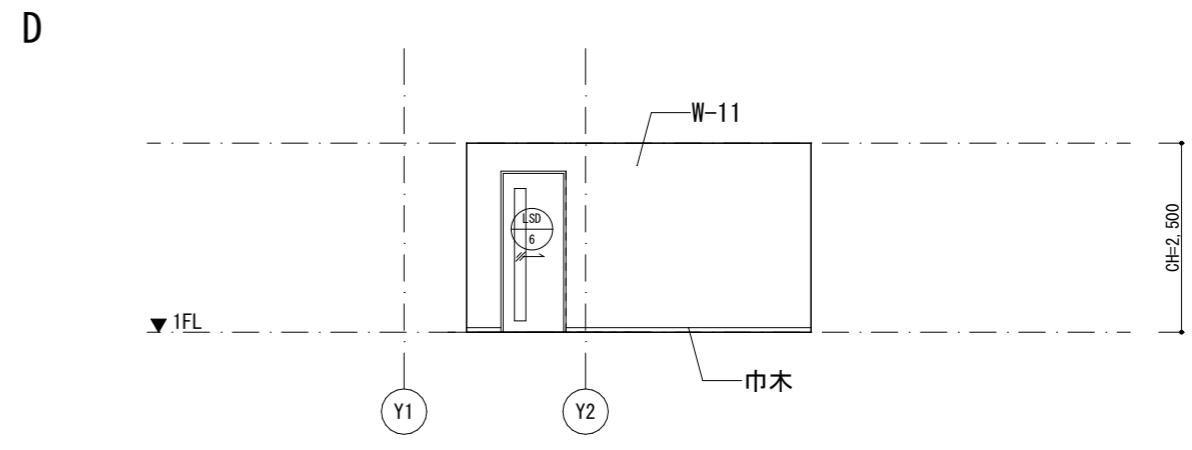
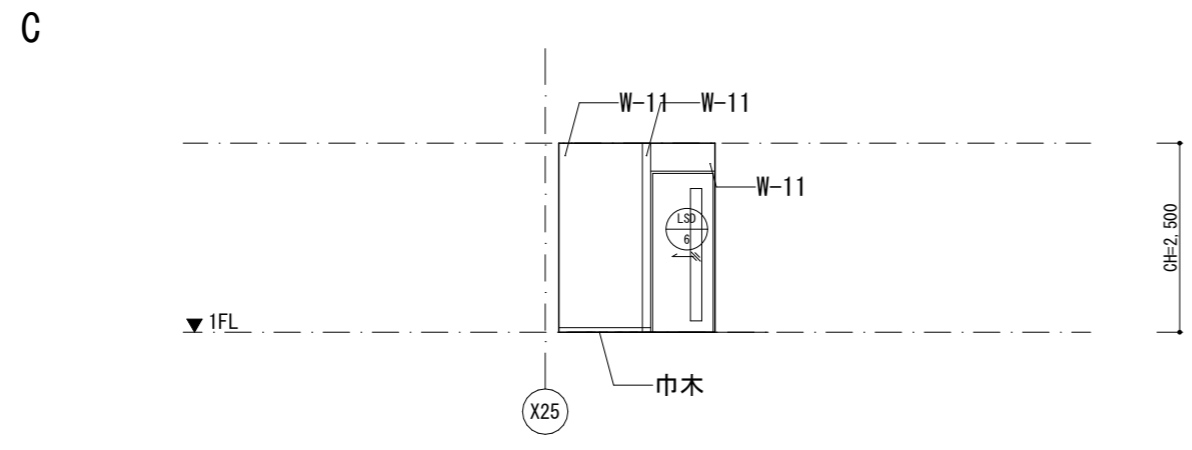
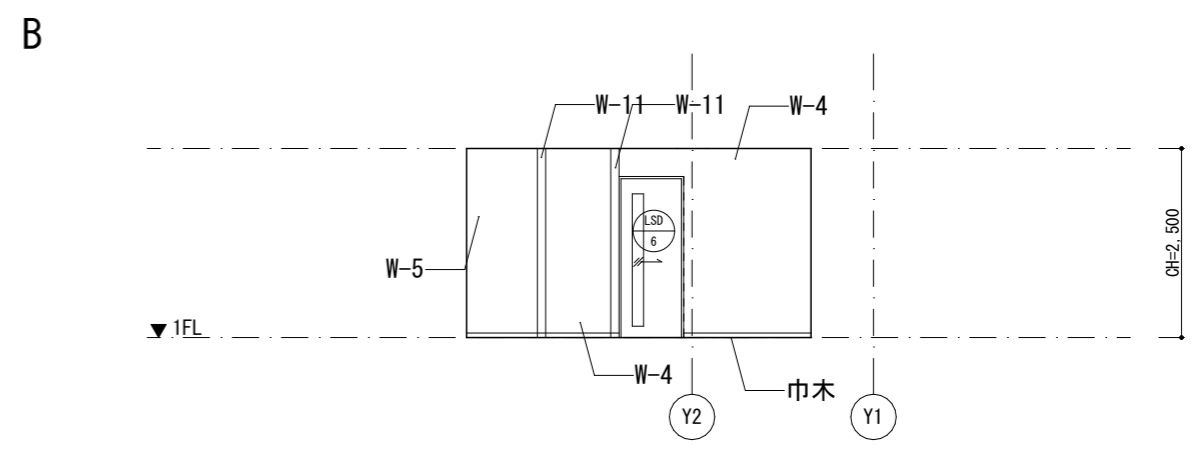
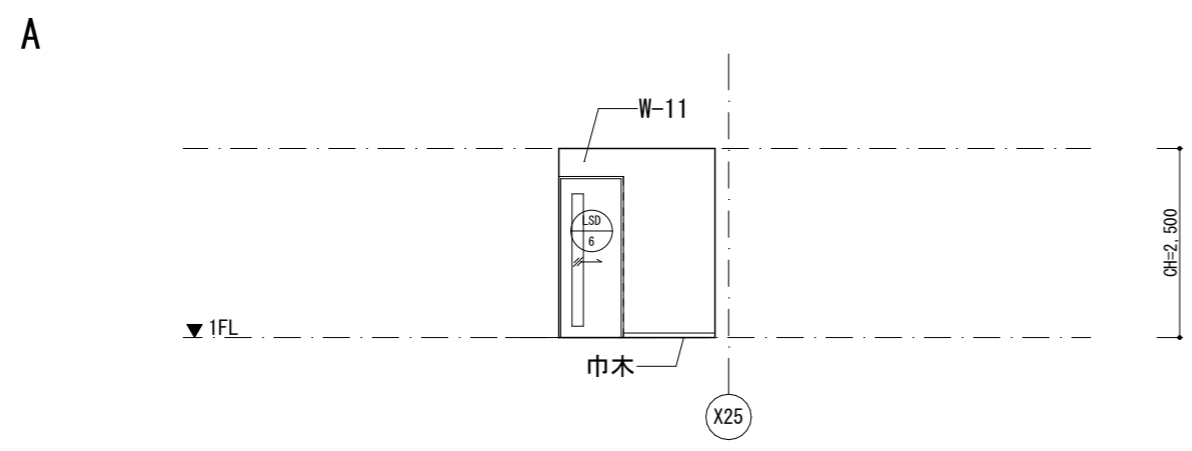
パン・牛乳 仕分室



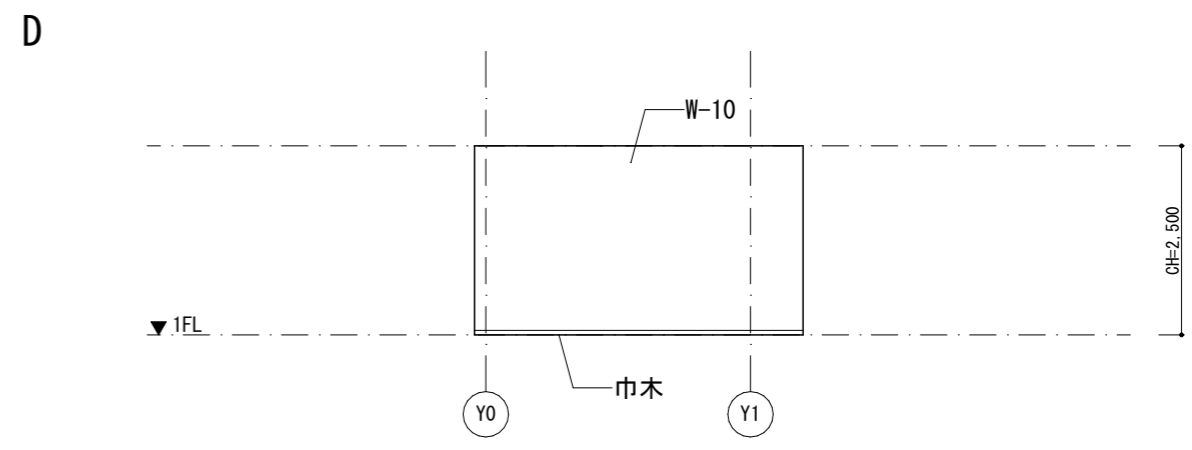
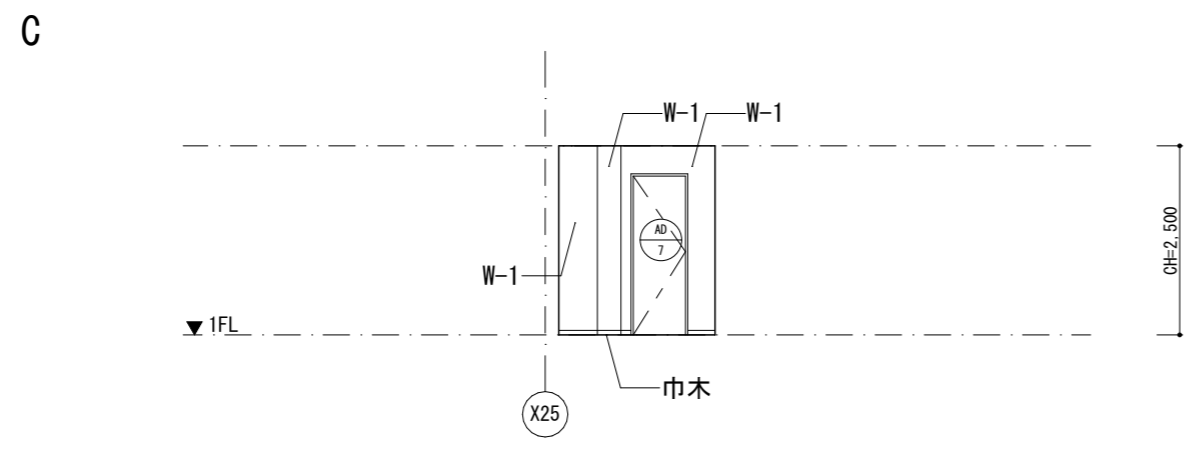
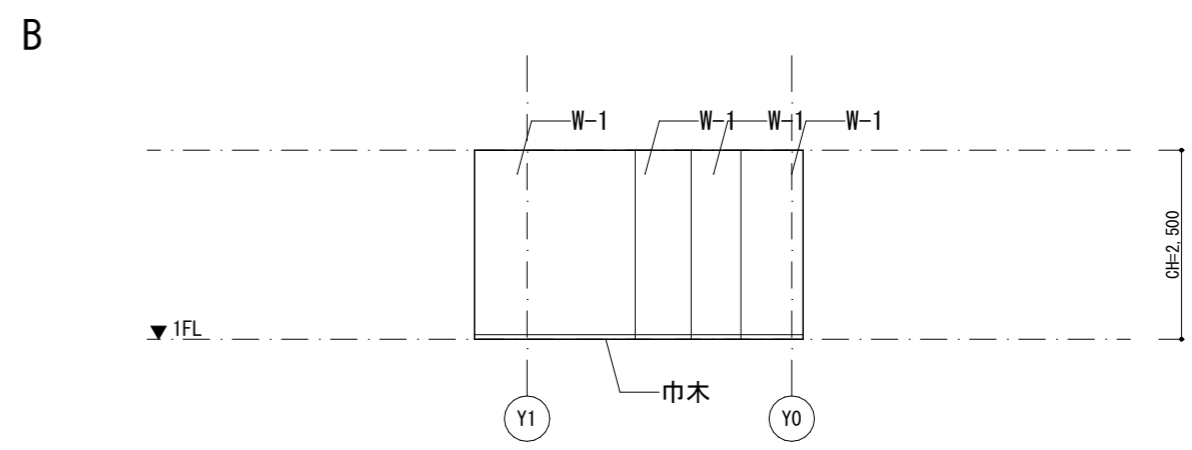
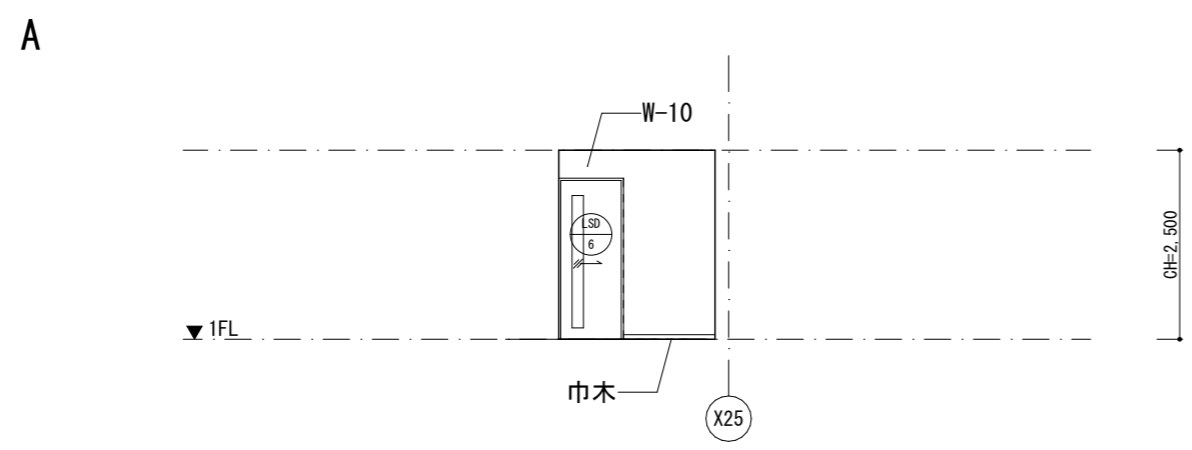
備考	月日	月日	月日	月日	株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤 信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A	A-102
	月日	月日	月日	月日	1級建築士 佐藤 信 第362177号	校	佐藤 信	監	松浦 尚亮			図	1/50 (A1)	1/100 (A3)
	月日	月日	月日	月日	1級建築士事務所 第1-60097号	校	佐藤 信	監	松浦 尚亮			展	展開図12	

凡例	
壁 (W-1)	仕上げ EP塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -t' t=30+PBt=9.5/寒冷砂ハシごき
壁 (W-2)	仕上げ EP塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -t' t=30+PBt=12.5/寒冷砂ハシごき
壁 (W-3)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地 (S0型)/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷砂ハシごき
壁 (W-4)	仕上げ EP-G塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -t' t=30+耐水PBt=12.5/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=6.0
壁 (W-5)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=30/耐水PBt=12.5/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=6.0
壁 (W-6)	仕上げ EP塗装 下地 既存モルタル下地調整
壁 (W-7)	仕上げ EP-G塗装 下地 モルタル下地調整
壁 (W-8)	仕上げ 掲示のみ 下地 軽鉄下地/3mm合板t=9.0/
壁 (W-9)	仕上げ 下地
壁 (W-10)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷砂ハシごき
壁 (W-11)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=6.0
壁 (W-12)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地/耐水PBt=12.5+12.5/寒冷砂ハシごき
壁 (W-13)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=30/耐水PBt=12.5/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=6.0
壁 (W-14)	仕上げ 既存モルタル下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -t' t=30+PBt=12.5/木屑 <sup>®</sup> -G <sup>®</sup> 充填t=21/化粧有孔合板t=9
壁 (W-15)	仕上げ 既存のまま 下地 既存のまま
壁	仕上げ
壁	下地
壁	仕上げ
壁	下地

前室

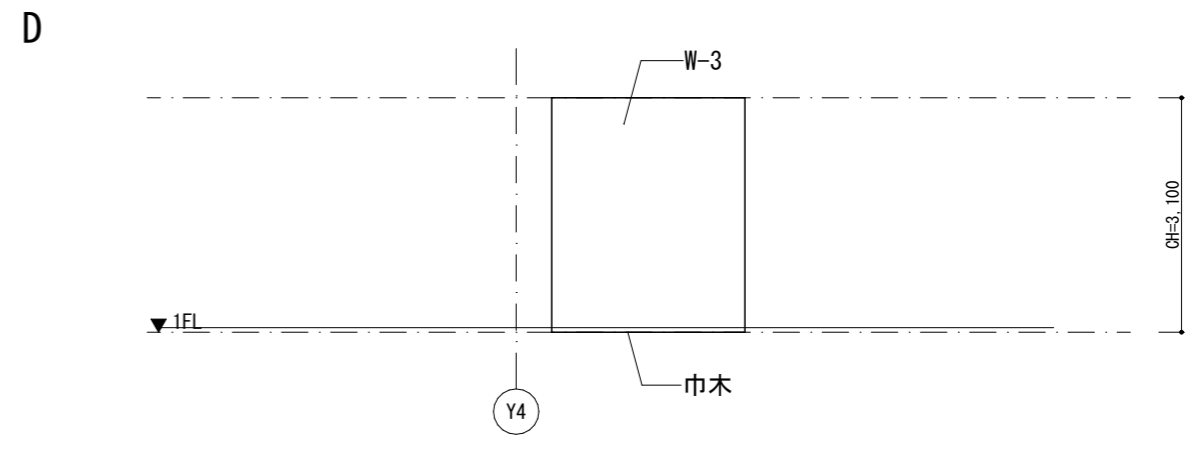
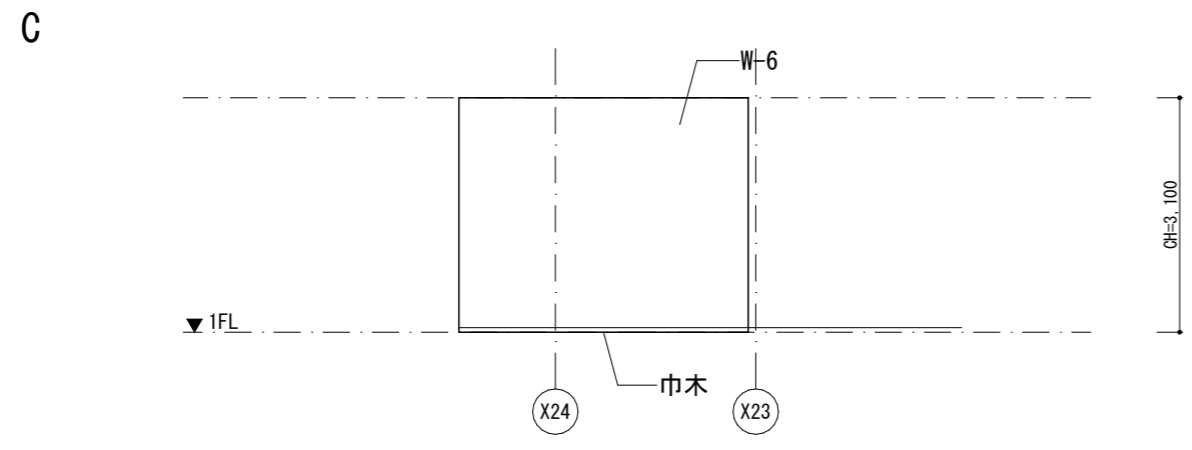
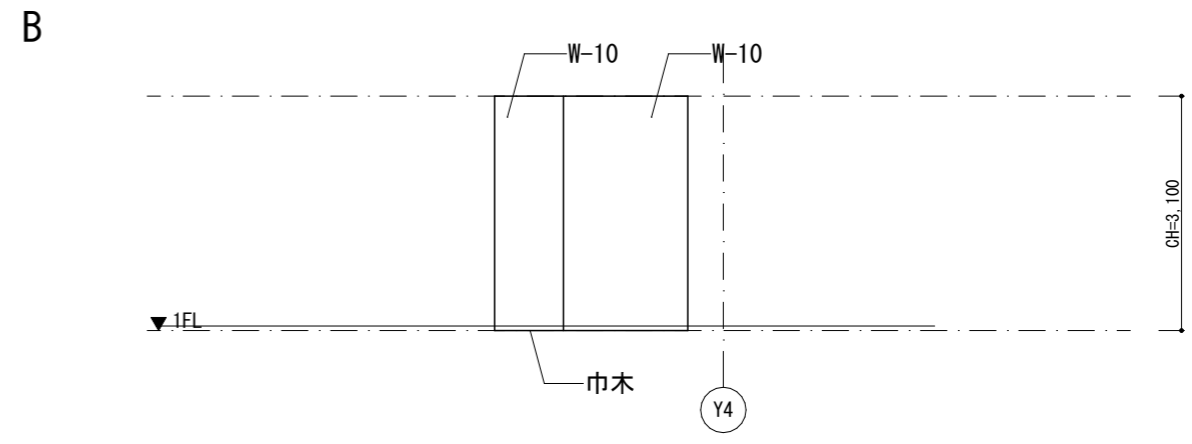
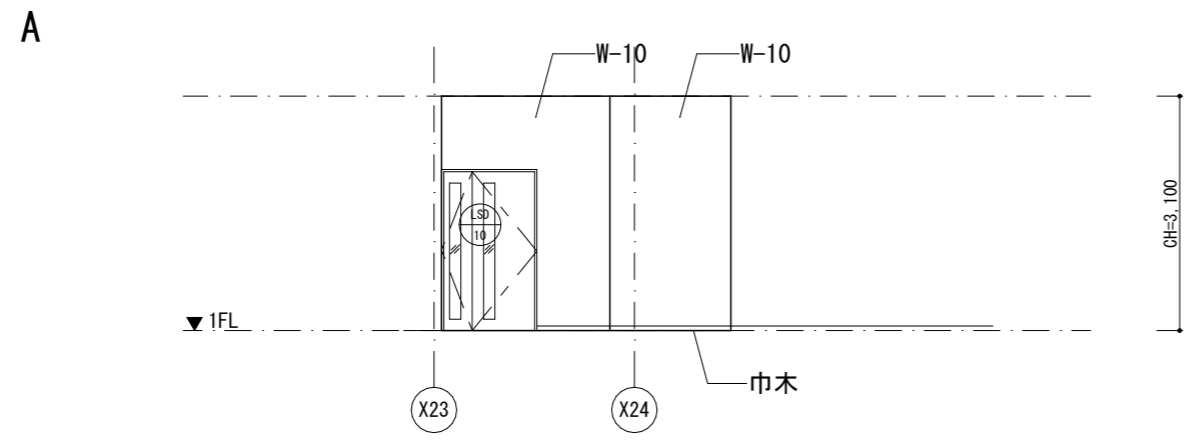


更衣・休憩室



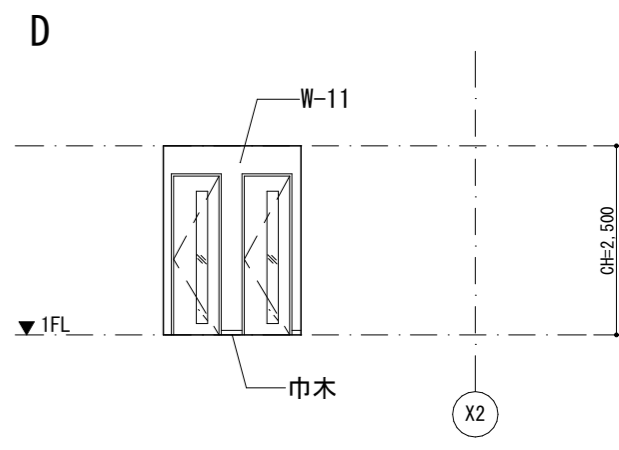
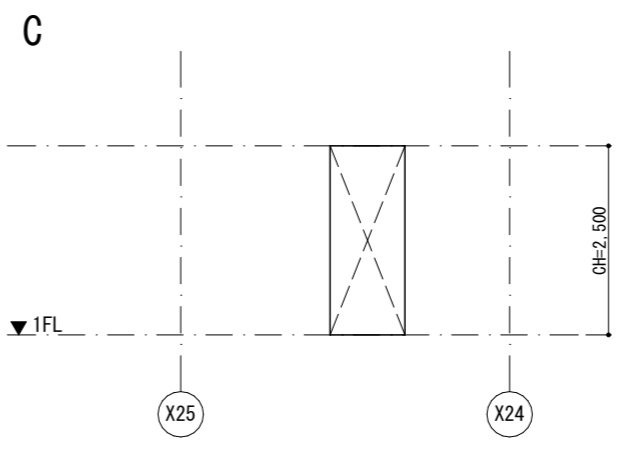
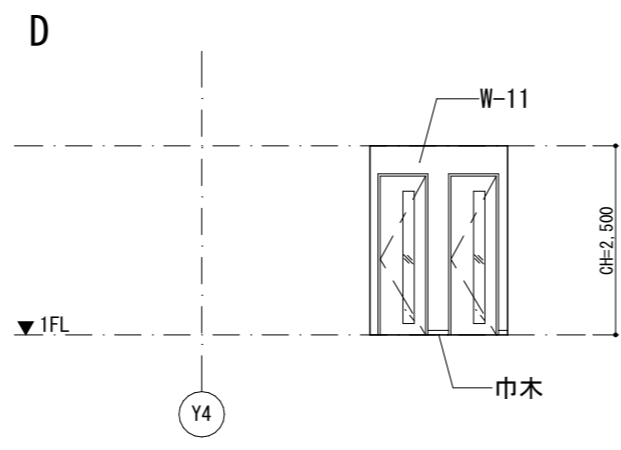
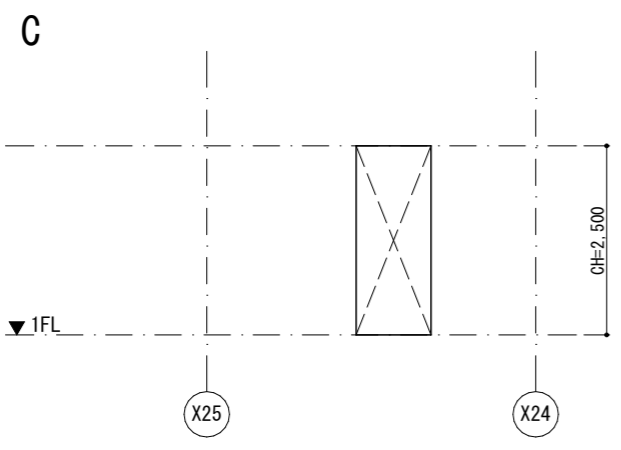
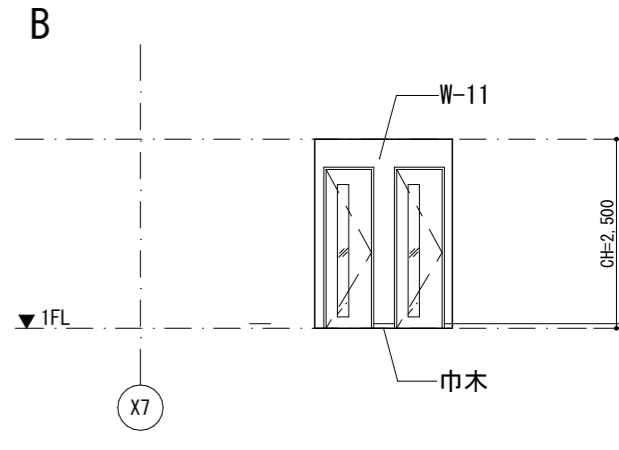
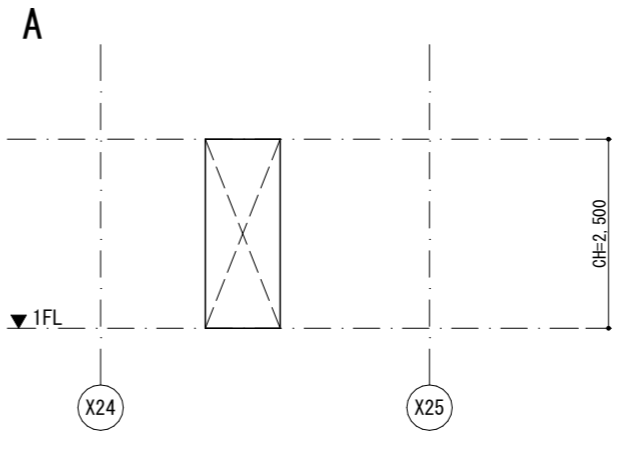
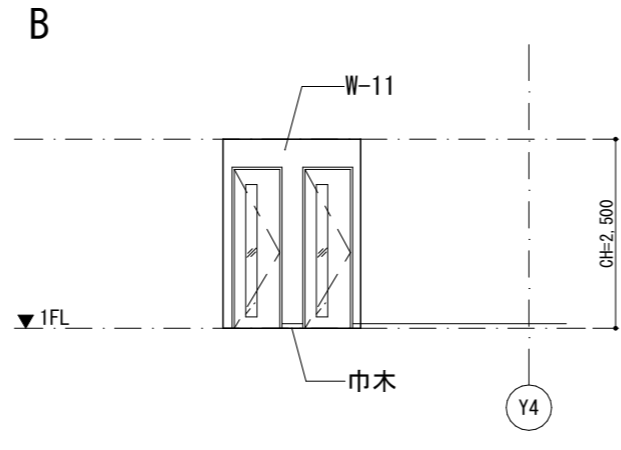
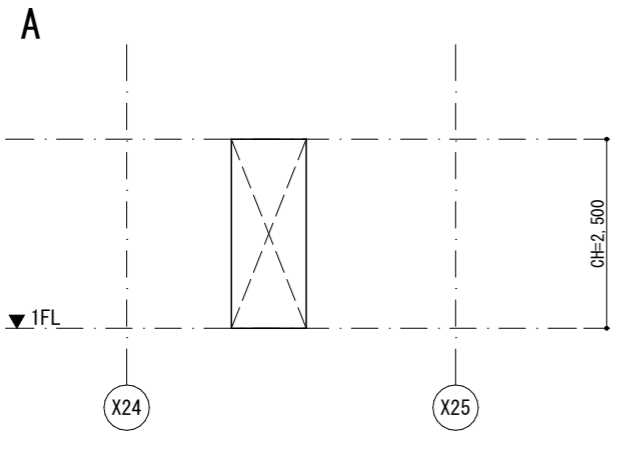
凡例	
壁 (W-1)	仕上げ EP塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -t' t=30+PBt=9.5/寒冷紗/
壁 (W-2)	仕上げ EP塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -t' t=30+PBt=12.5/寒冷紗/ハシごき
壁 (W-3)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地 (S0型)/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷紗/ハシごき/
壁 (W-4)	仕上げ EP-G塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -t' t=30+耐水PBt=12.5/ケイ酸カルシウム板t=6.0
壁 (W-5)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=30/耐水PBt=12.5/ケイ酸カルシウム板t=6.0
壁 (W-6)	仕上げ EP塗装
壁 (W-7)	仕上げ EP-G塗装 下地 モルタル下地調整
壁 (W-8)	仕上げ 掲示のみ 下地 軽鉄下地/3mm合板t=9.0/
壁 (W-9)	仕上げ
壁 (W-10)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗/ハシごき
壁 (W-11)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ケイ酸カルシウム板t=6.0
壁 (W-12)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地/耐火PBt=12.5+12.5/寒冷紗/ハシごき
壁 (W-13)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=30/耐水PBt=12.5/ケイ酸カルシウム板t=6.0
壁 (W-14)	仕上げ 有効吸音版t=9 (シ合板) 目透かし張 下地 既存モルタル下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -t' t=30+PBt=12.5/木屑 <sup>®</sup> +グラスウール充填t=21/化粧有孔合板t=9
壁 (W-15)	仕上げ 既存のまま 下地 既存のまま
壁	仕上げ
壁	下地
壁	仕上げ
壁	下地

収納庫



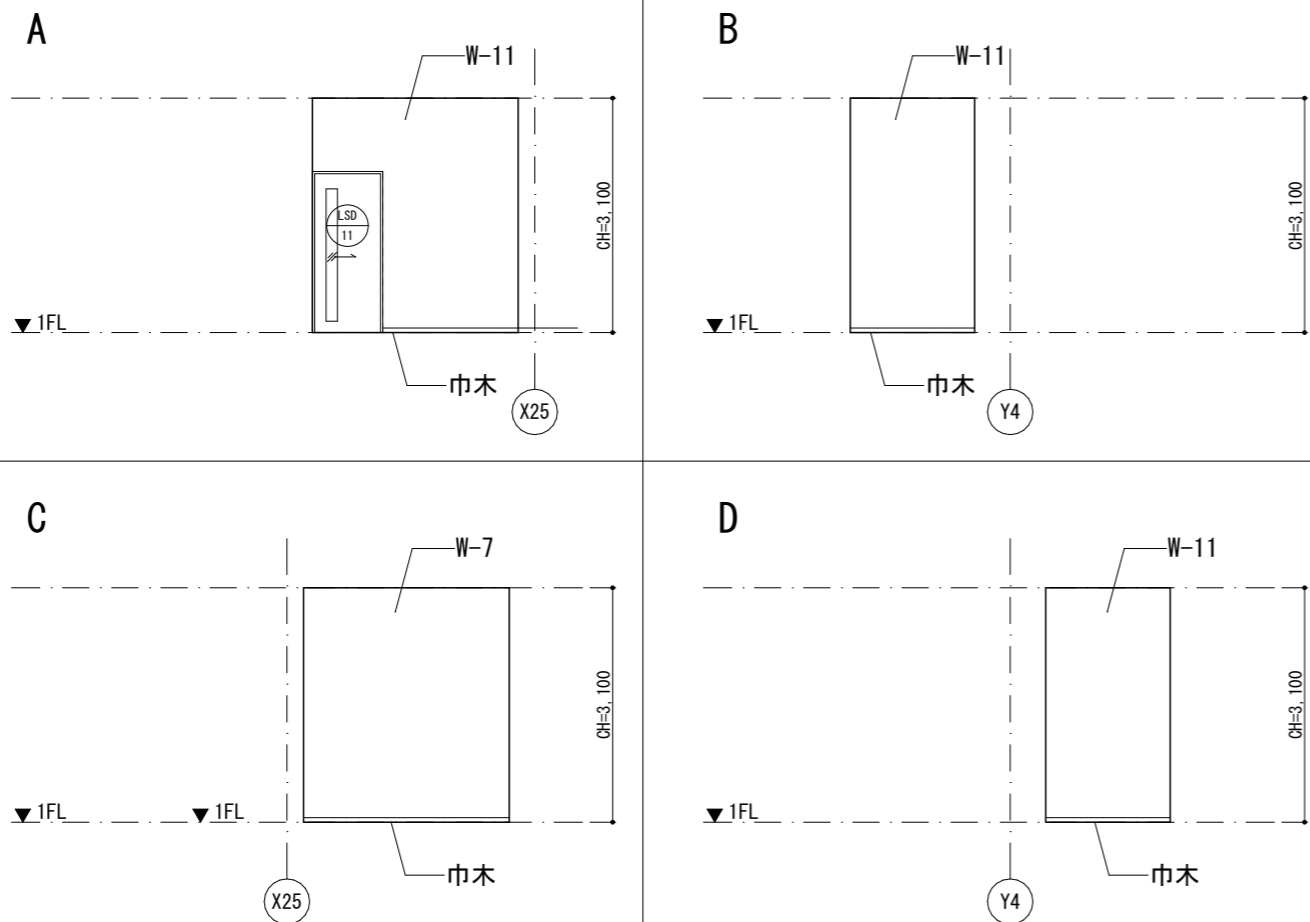
トイレ (児童クラブ1)

トイレ (児童クラブ2)

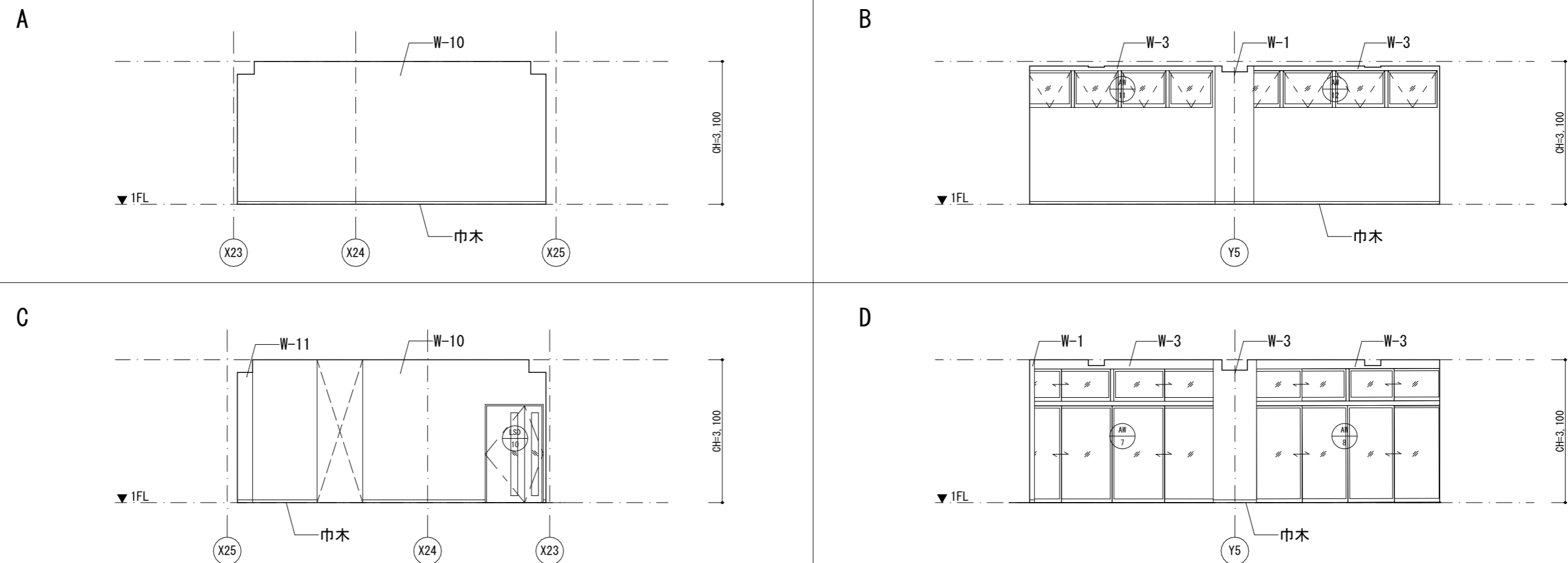


凡例	
壁 (W-1)	仕上げ EP塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタンボード t=30+PBt=9.5/寒冷紗/
壁 (W-2)	仕上げ EP塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタンボード t=30+PBt=12.5/寒冷紗/パテしごき
壁 (W-3)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地 (S0型)/ウレタンフォーム吹付 t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷紗/パテしごき
壁 (W-4)	仕上げ EP-G塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタンボード t=30+耐水PBt=12.5/ケイ酸カルシウム板 t=6.0
壁 (W-5)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付 t=30/耐水PBt=12.5/ケイ酸カルシウム板 t=6.0
壁 (W-6)	仕上げ EP塗装 下地 既存モルタル下地調整
壁 (W-7)	仕上げ EP-G塗装 下地 モルタル下地調整
壁 (W-8)	仕上げ 掲示のみ 下地 軽鉄下地/3mm合板 t=9.0/
壁 (W-9)	仕上げ 下地
壁 (W-10)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗/パテしごき
壁 (W-11)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ケイ酸カルシウム板 t=6.0
壁 (W-12)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地/耐火PBt=12.5+12.5/寒冷紗/パテしごき
壁 (W-13)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付 t=30/耐水PBt=12.5/ケイ酸カルシウム板 t=6.0
壁 (W-14)	仕上げ 有効吸音版 t=9 (シ合板) 目透かし張 下地 既存モルタル下地調整/硬質ウレタンボード t=30+PBt=12.5/木綿織+グラスウール充填 t=21/化粧有孔合板 t=9
壁 (W-15)	仕上げ 既存のまま 下地 既存のまま
壁	仕上げ
壁	下地
壁	仕上げ
壁	下地

多目的トイレ

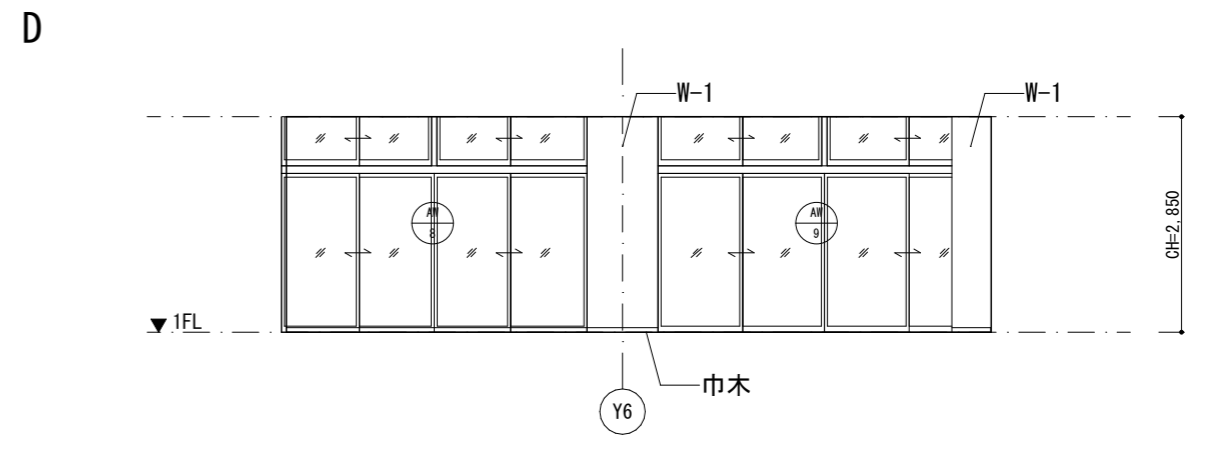
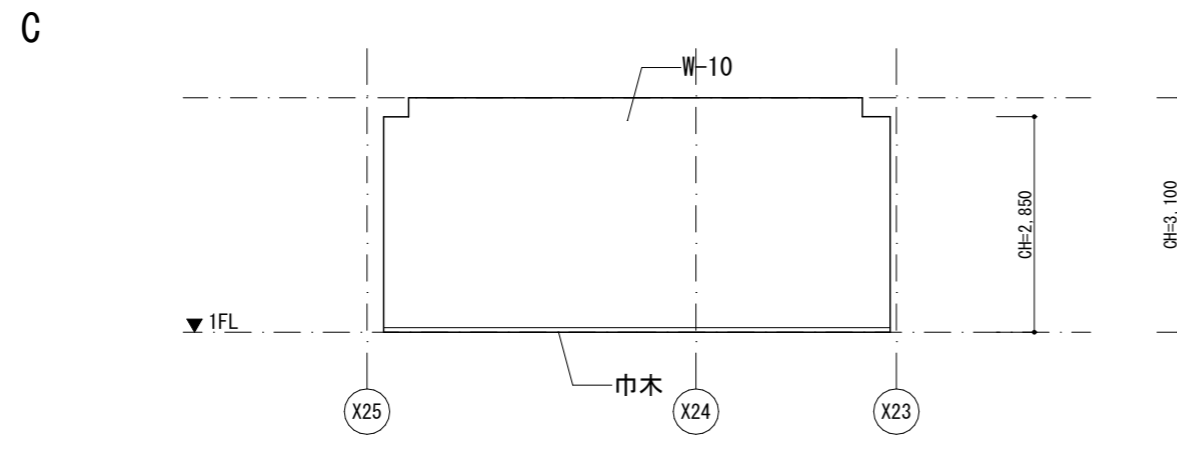
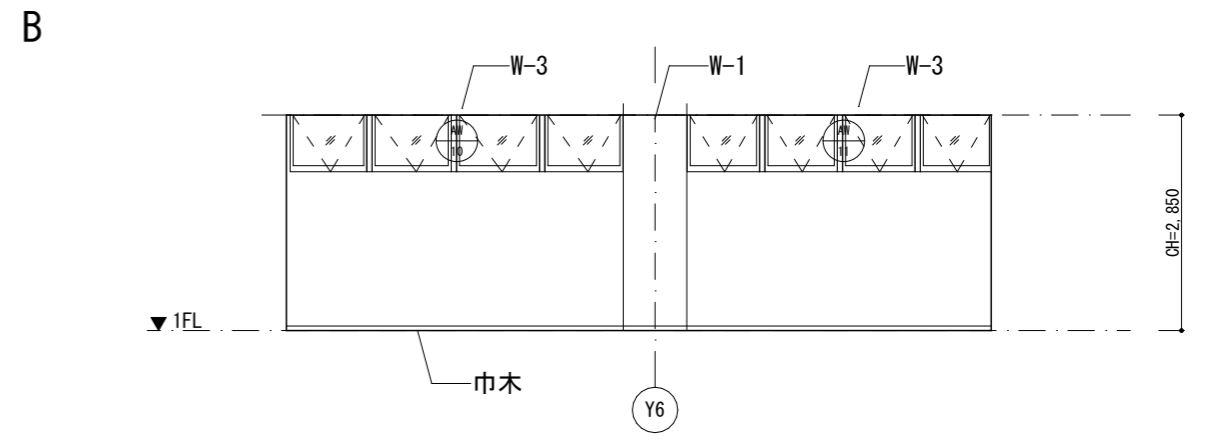
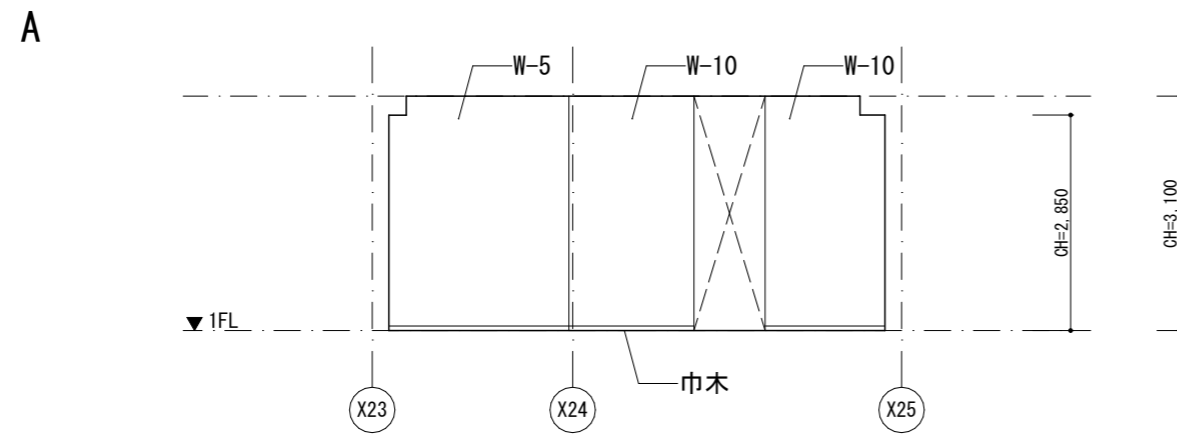


児童クラブ1



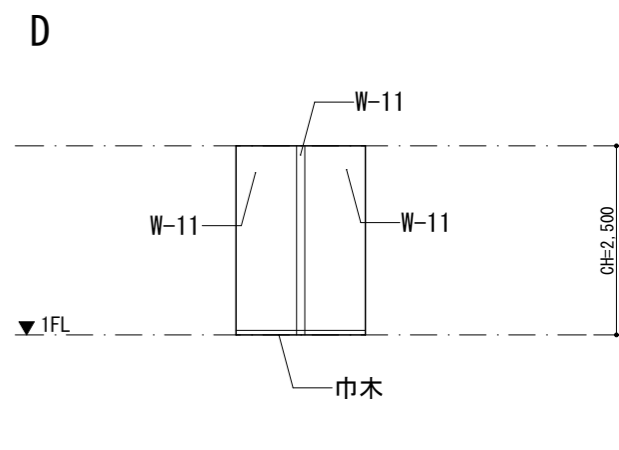
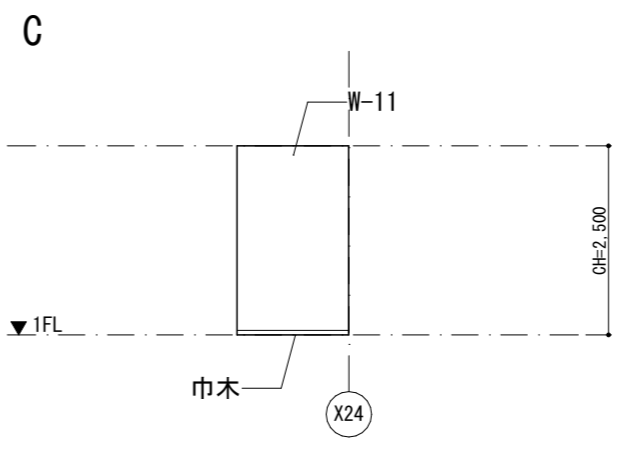
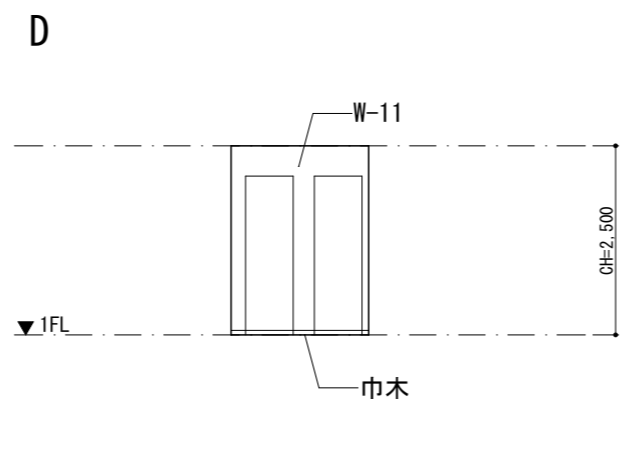
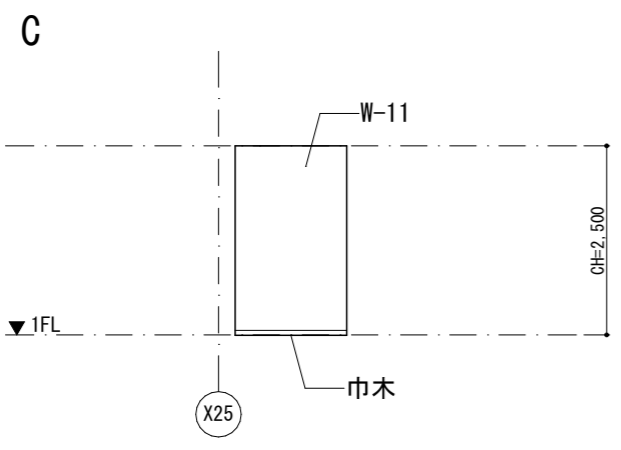
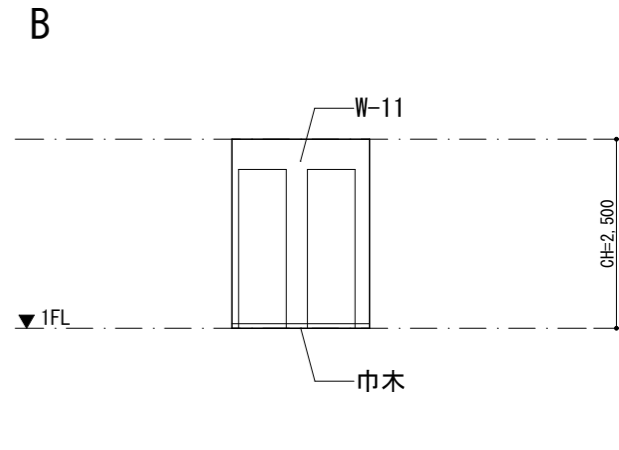
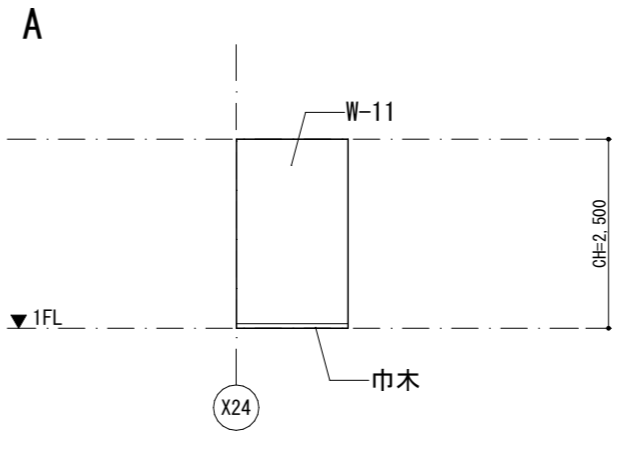
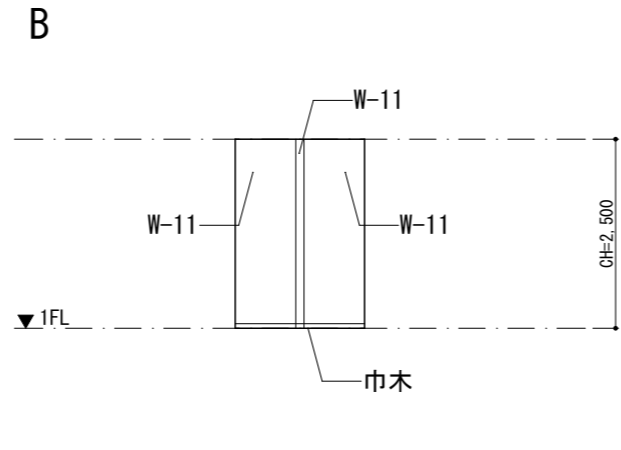
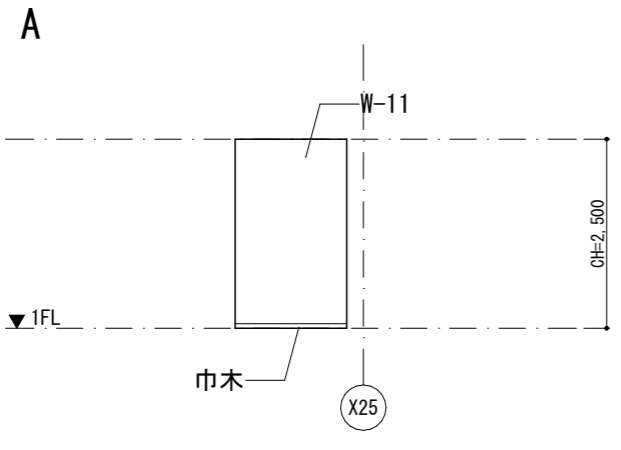
備考	月日	月日	月日	月日	株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤 信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A	A-105
	月日	月日	月日	月日	1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	校務	佐藤 信	監理	松浦 尚亮	図面内容	展開図15	縮尺	1/50 (A1) 1/100 (A3)	

凡例	
壁 (W-1)	仕上げ EP塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタンフォーム t=30 +PBt=9.5/寒冷紗/
壁 (W-2)	仕上げ EP塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタンフォーム t=30+PBt=12.5/寒冷紗/パテしごき
壁 (W-3)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地 (S0型)/ウレタンフォーム吹付 t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷紗/パテしごき/
壁 (W-4)	仕上げ EP-G塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタンフォーム t=30+耐水PBt=12.5/ケイ酸カルシウム板 t=6.0
壁 (W-5)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付 t=30/耐水PBt=12.5/ケイ酸カルシウム板 t=6.0
壁 (W-6)	仕上げ EP塗装
壁 (W-7)	仕上げ EP-G塗装 下地 モルタル下地調整
壁 (W-8)	仕上げ 揭示クロス 下地 軽鉄下地/3mm合板 t=9.0/
壁 (W-9)	仕上げ
壁 (W-10)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗/パテしごき
壁 (W-11)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ケイ酸カルシウム板 t=6.0
壁 (W-12)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地/耐火PBt=12.5+12.5/寒冷紗/パテしごき
壁 (W-13)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付 t=30/耐水PBt=12.5/ケイ酸カルシウム板 t=6.0
壁 (W-14)	仕上げ 有効吸音版 t=9 (シ合板) 目透かし張 下地 既存モルタル下地調整/硬質ウレタンフォーム t=30+PBt=12.5/木屑・グラスウール充填 t=21/化粧有孔合板 t=9
壁 (W-15)	仕上げ 既存のまま 下地 既存のまま
壁 (W-16)	仕上げ
壁 (W-17)	下地
壁 (W-18)	仕上げ
壁 (W-19)	下地



トイレ (内壁)

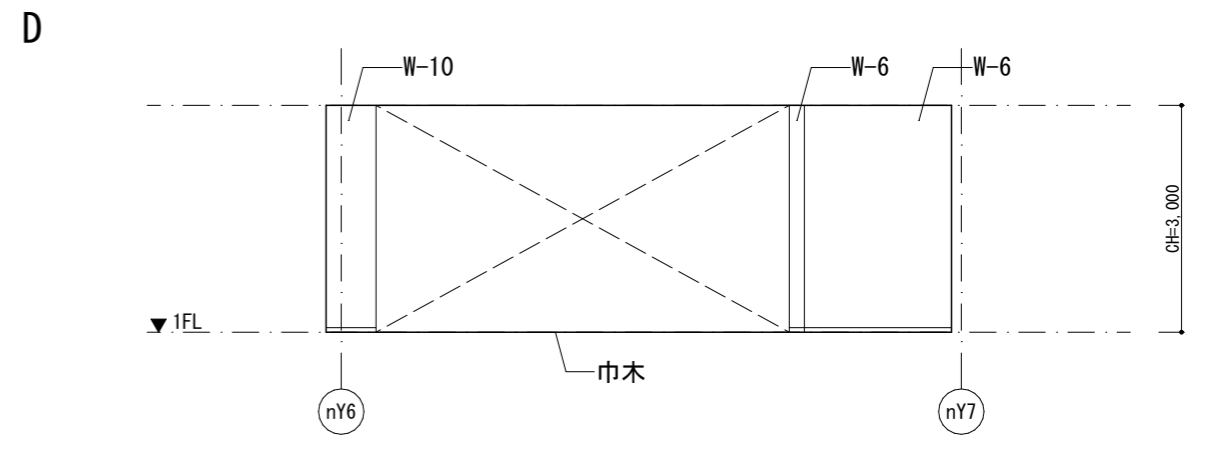
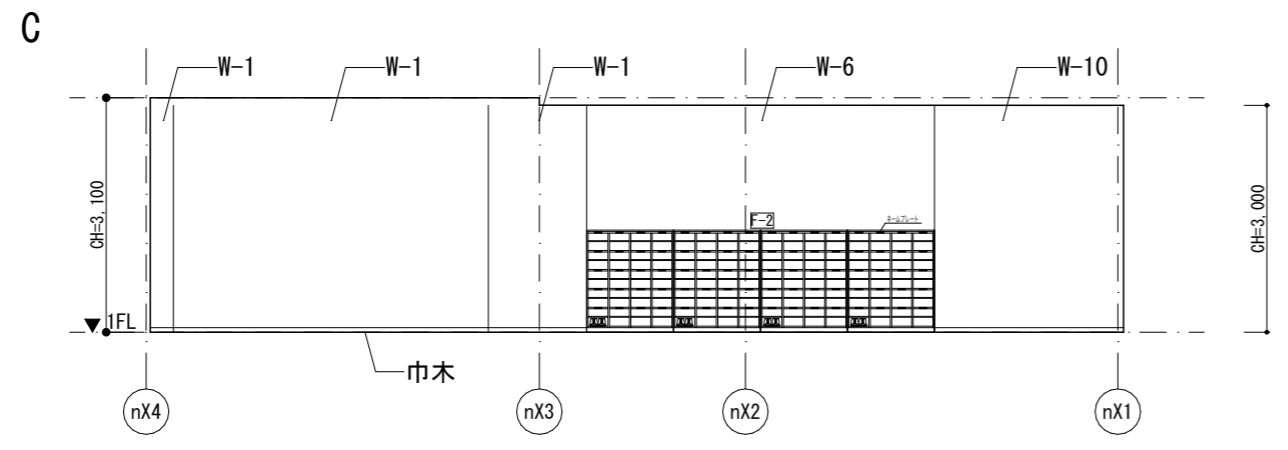
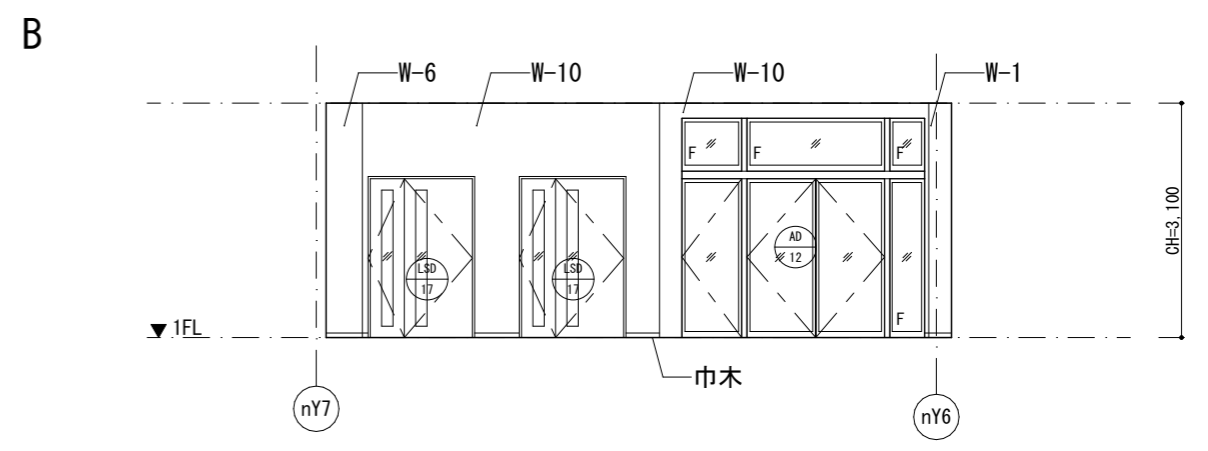
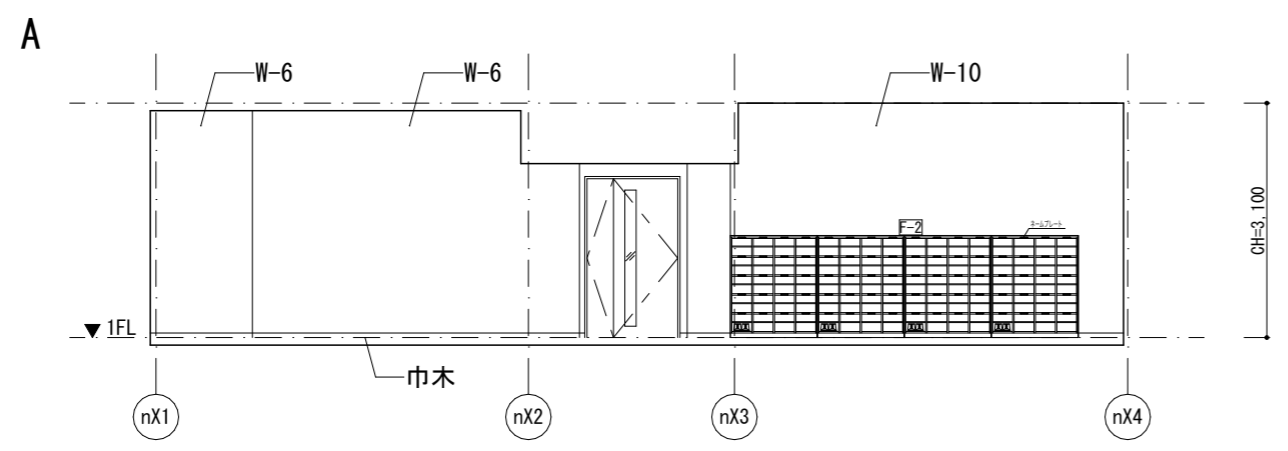
トイレ (内壁)



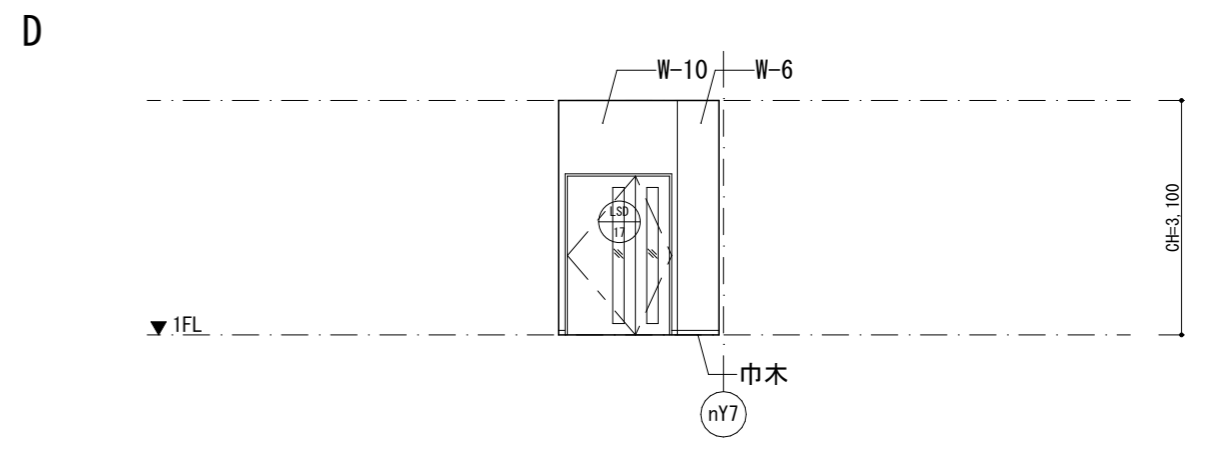
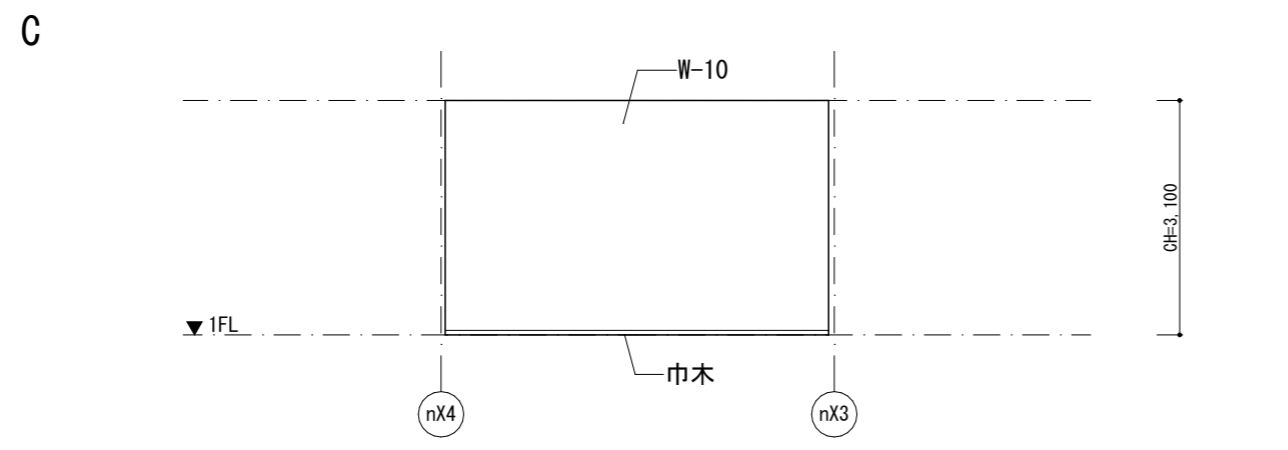
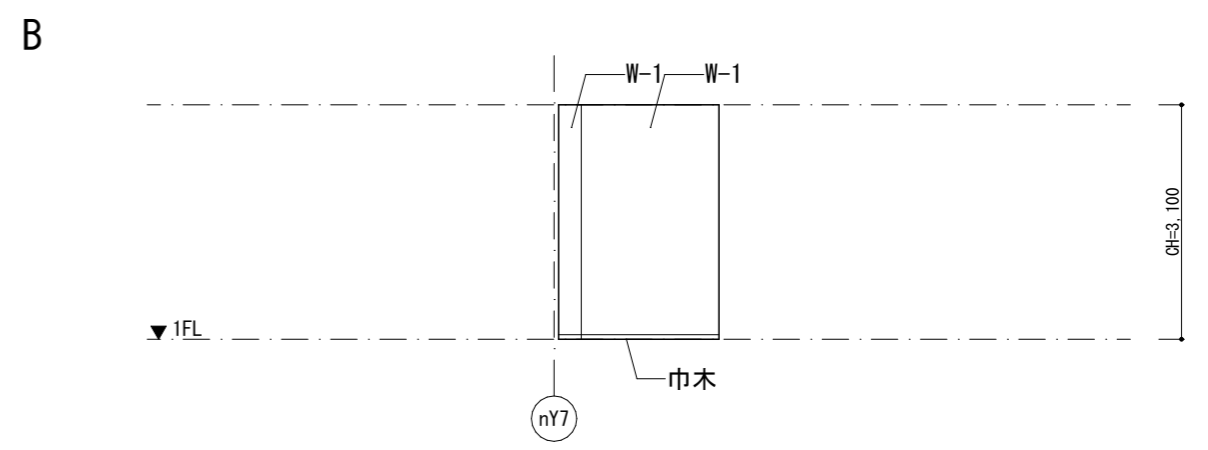
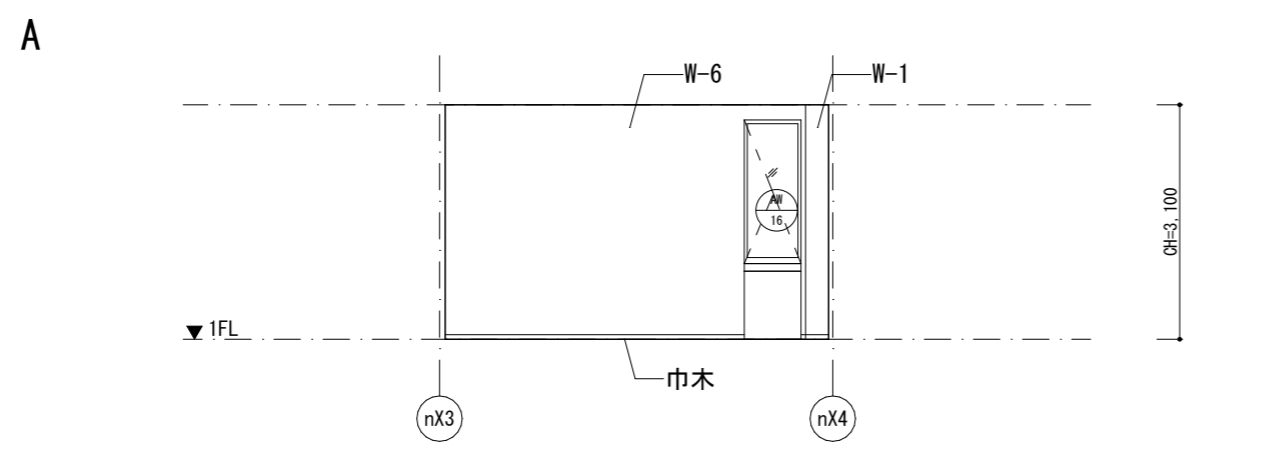


凡例	
壁 (W-1)	仕上げ EP塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -t' t=30+PBt=9.5/寒冷紗/
壁 (W-2)	仕上げ EP塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -t' t=30+PBt=12.5/寒冷紗/パテしごき
壁 (W-3)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地 (S0型)/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷紗/パテしごき/
壁 (W-4)	仕上げ EP-G塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -t' t=30+耐水PBt=12.5/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=6.0
壁 (W-5)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=30/耐水PBt=12.5/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=6.0
壁 (W-6)	仕上げ EP塗装 下地 既存モルタル下地調整
壁 (W-7)	仕上げ EP-G塗装 下地 モルタル下地調整
壁 (W-8)	仕上げ 掲示のみ 下地 軽鉄下地/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=9.0/
壁 (W-9)	仕上げ 下地
壁 (W-10)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗/パテしごき
壁 (W-11)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=6.0
壁 (W-12)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地/耐火PBt=12.5+12.5/寒冷紗/パテしごき
壁 (W-13)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=30/耐水PBt=12.5/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=6.0
壁 (W-14)	仕上げ 有効吸音版t=9 (ウレタン <sup>®</sup> 合板) 目透かし張 下地 既存モルタル下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -t' t=30+PBt=12.5/木屑 <sup>®</sup> -L吹付t=21/化粧有孔合板t=9
壁 (W-15)	仕上げ 既存のまま 下地 既存のまま
壁	仕上げ
壁	下地
壁	仕上げ
壁	下地

昇降口 2



警備員室

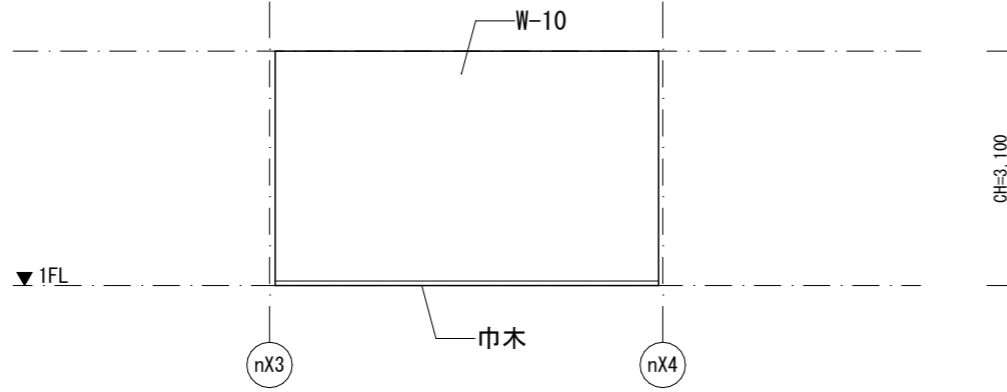


備考	月日	月日	月日	月日	株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤 信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A	A-108
	月日	月日	月日	月日	1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	校	佐藤 信	監	松浦 尚亮	図面内容	展開図18	縮尺	1/50 (A1) 1/100 (A3)	

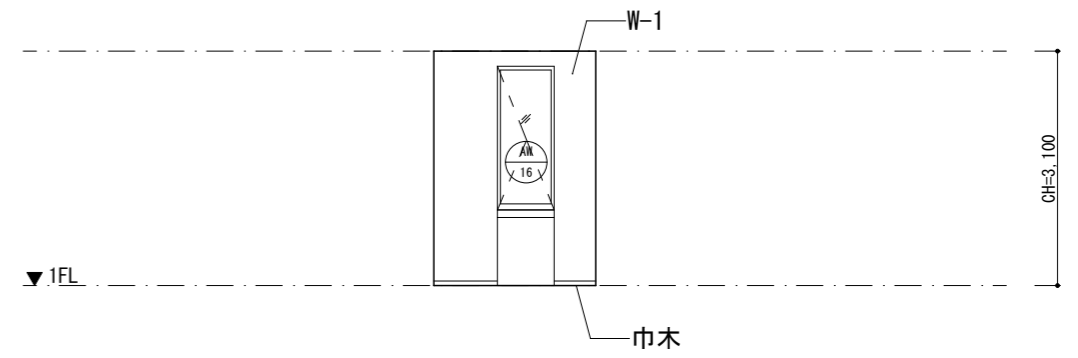
凡例	
壁 (W-1)	仕上げ EP塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -t' t=30+PBt=9.5/寒冷紗/
壁 (W-2)	仕上げ EP塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -t' t=30+PBt=12.5/寒冷紗/パテしごき
壁 (W-3)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地 (S0型)/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷紗/パテしごき/
壁 (W-4)	仕上げ EP-G塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -t' t=30+耐水PBt=12.5/ケイ酸カルシウム板t=6.0
壁 (W-5)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=30/耐水PBt=12.5/ケイ酸カルシウム板t=6.0
壁 (W-6)	仕上げ EP塗装
壁 (W-7)	仕上げ EP-G塗装 下地 モルタル下地調整
壁 (W-8)	仕上げ 掲示のみ 下地 軽鉄下地/3mm合板t=9.0/
壁 (W-9)	仕上げ 下地
壁 (W-10)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗/パテしごき
壁 (W-11)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ケイ酸カルシウム板t=6.0
壁 (W-12)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地/耐火PBt=12.5+12.5/寒冷紗/パテしごき
壁 (W-13)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=30/耐水PBt=12.5/ケイ酸カルシウム板t=6.0
壁 (W-14)	仕上げ 有効吸音版t=9 (ヶ合板) 目透かし張 下地 既存モルタル下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -t' t=30+PBt=12.5/木屑 <sup>®</sup> +グラスウール充填t=21/化粧有孔合板t=9
壁 (W-15)	仕上げ 既存のまま 下地 既存のまま
壁	仕上げ
壁	下地
壁	仕上げ
壁	下地

校務員室

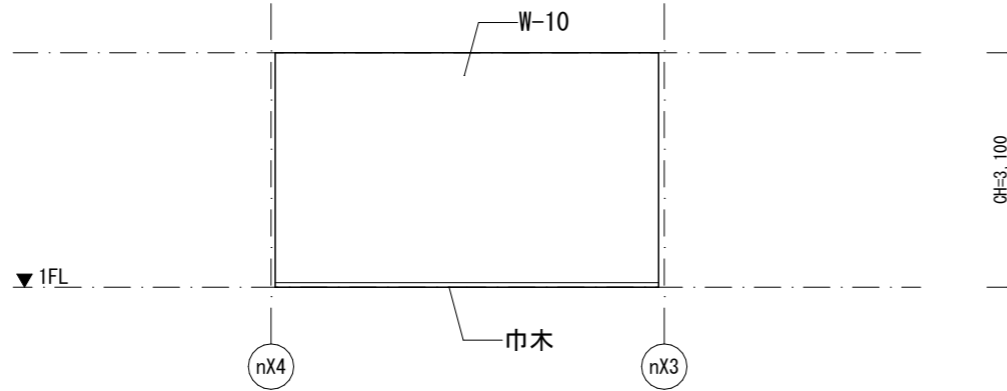
A



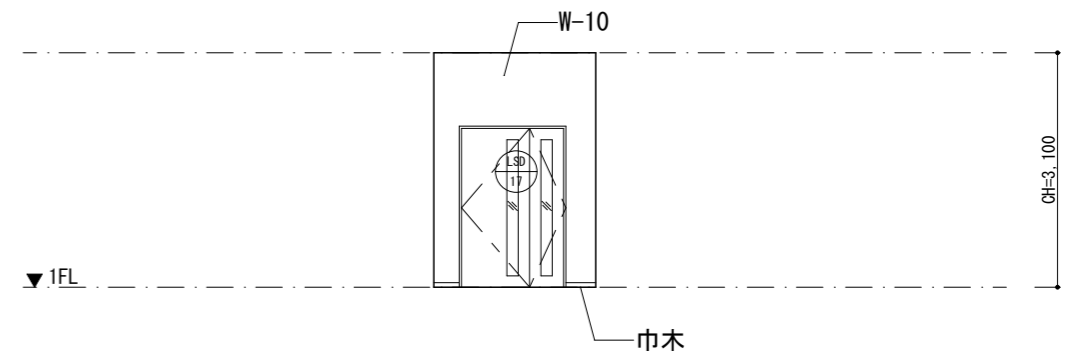
B



C

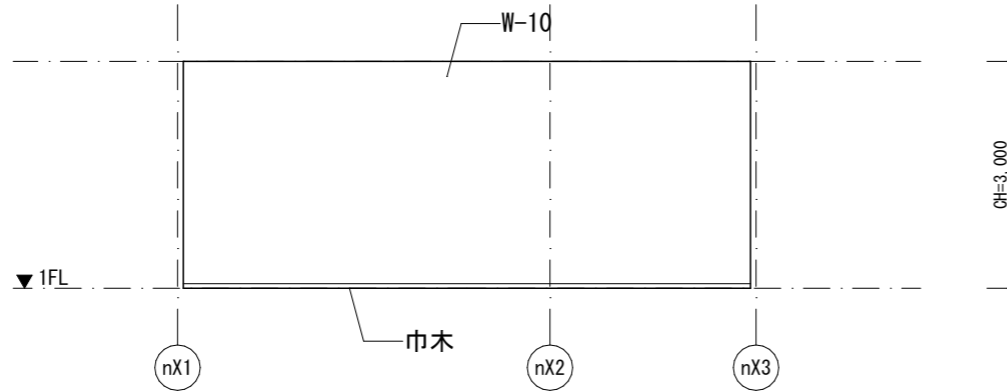


D

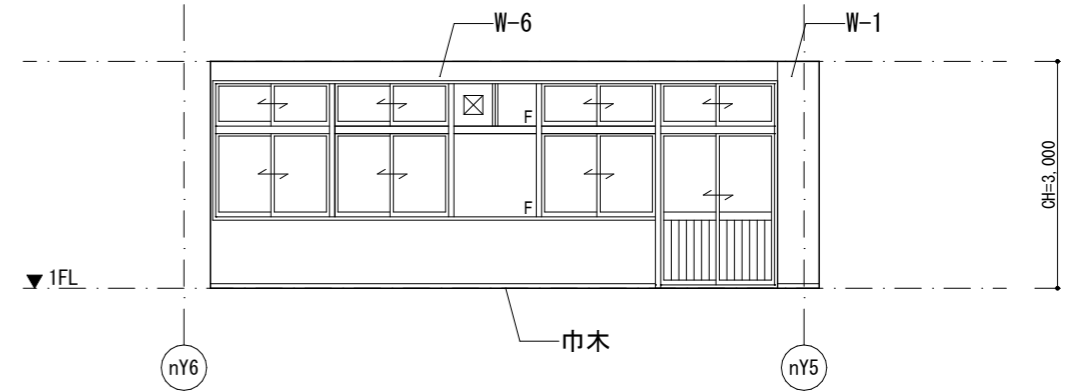


会議室

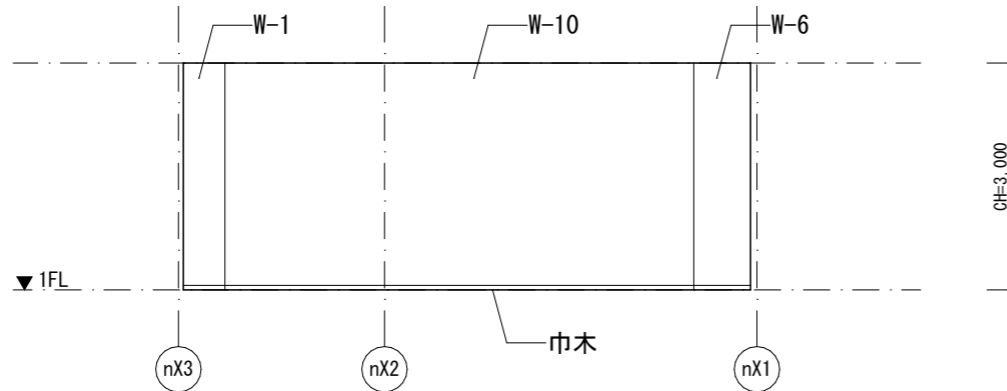
A



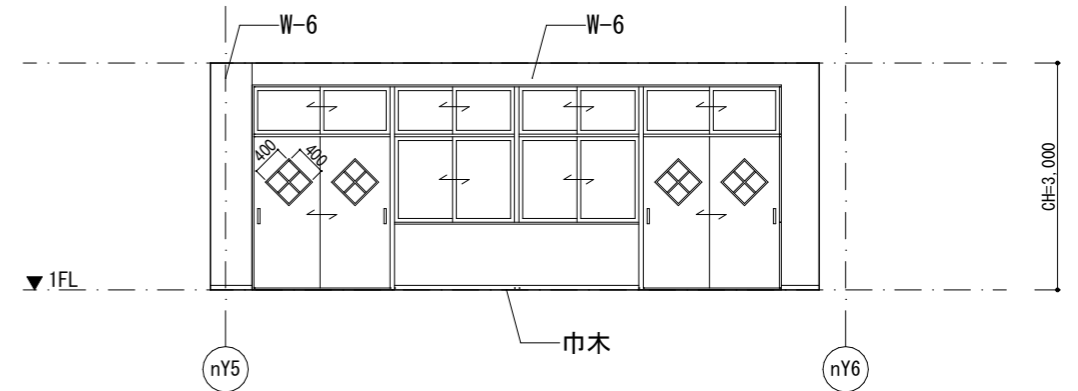
B



C



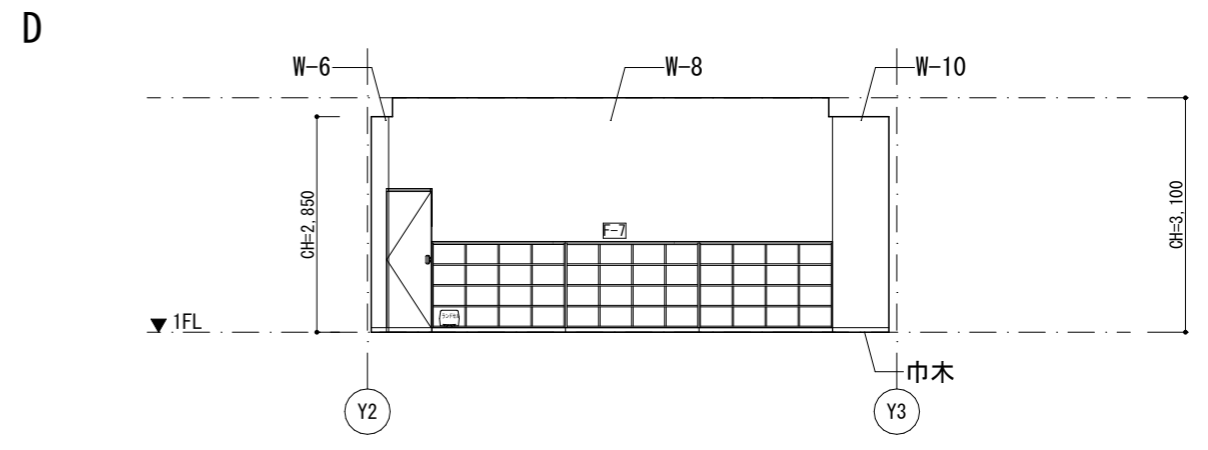
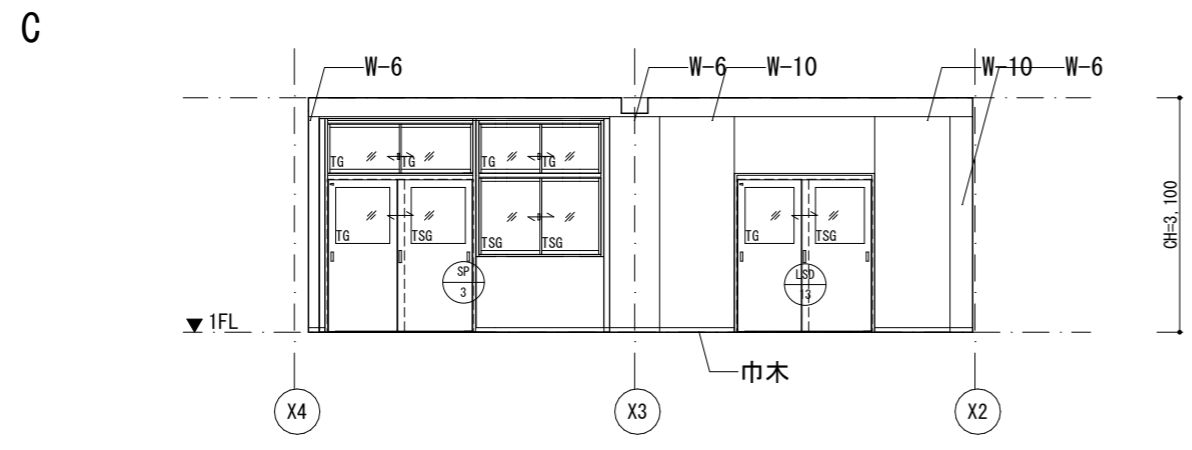
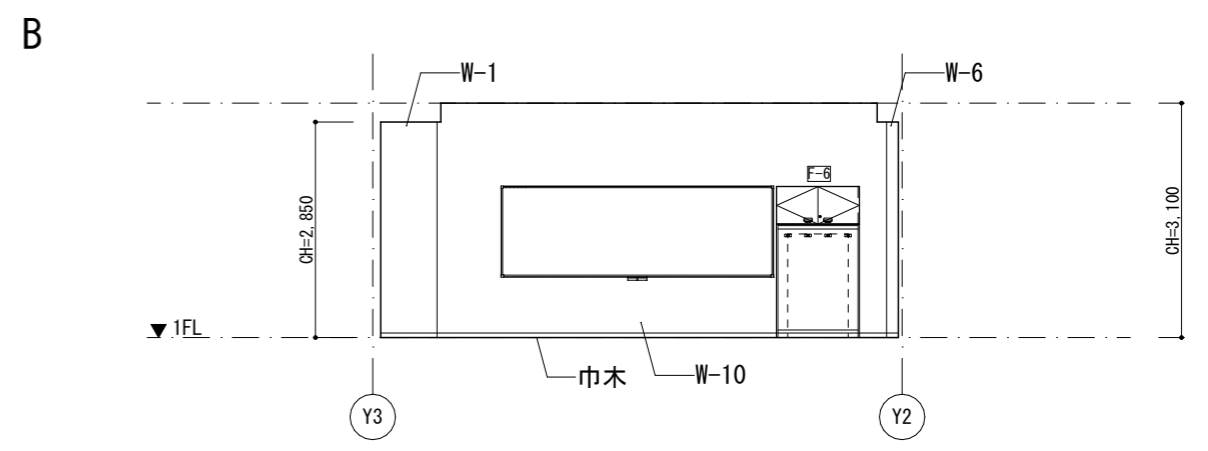
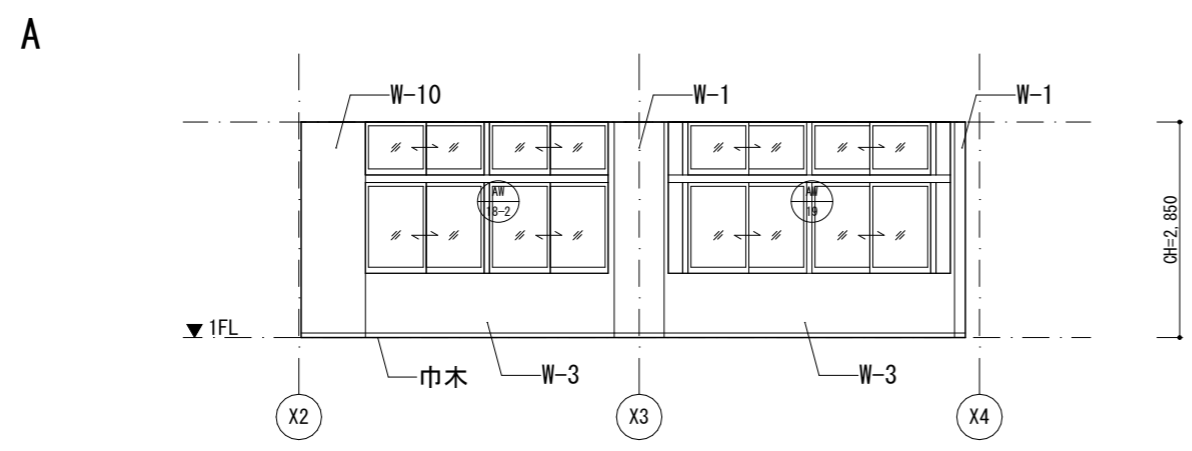
D



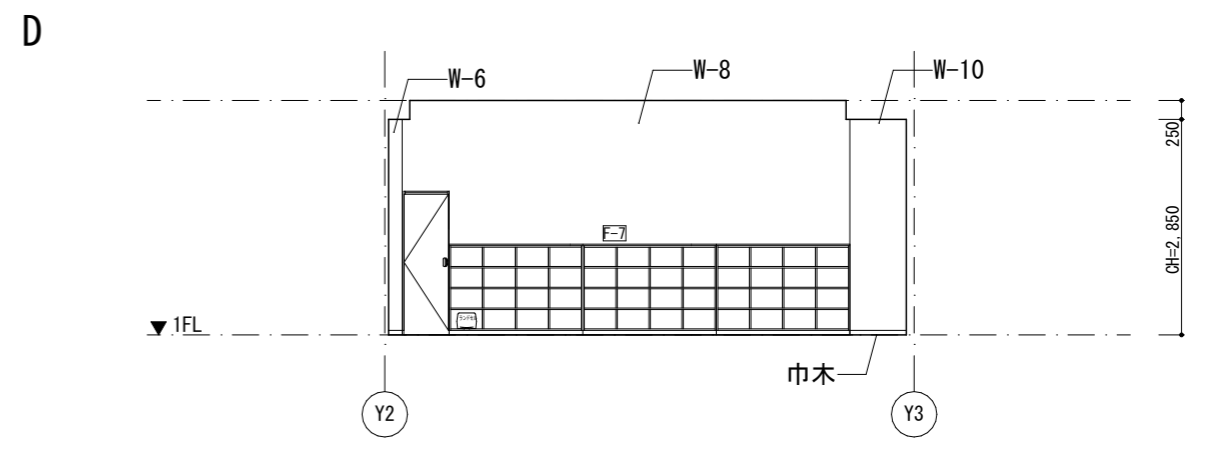
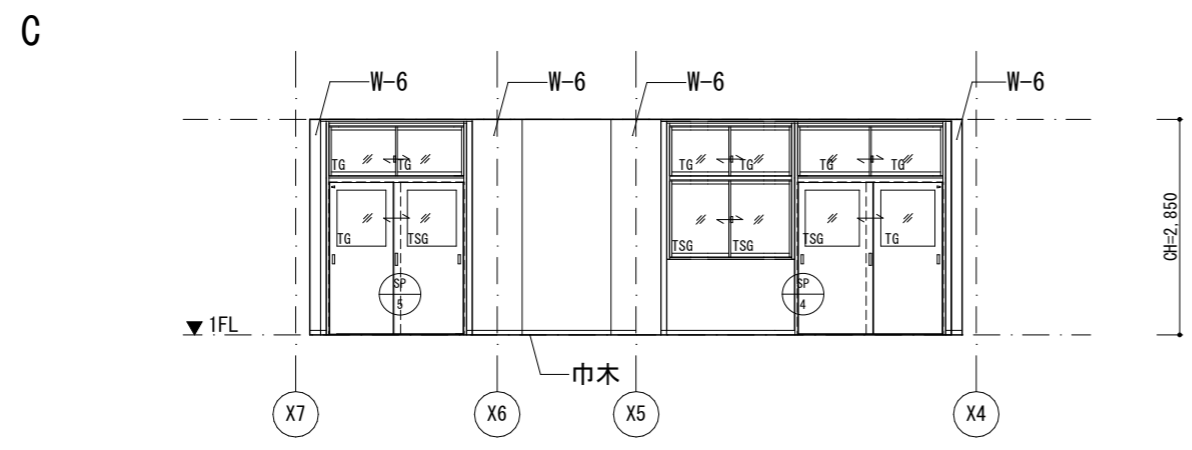
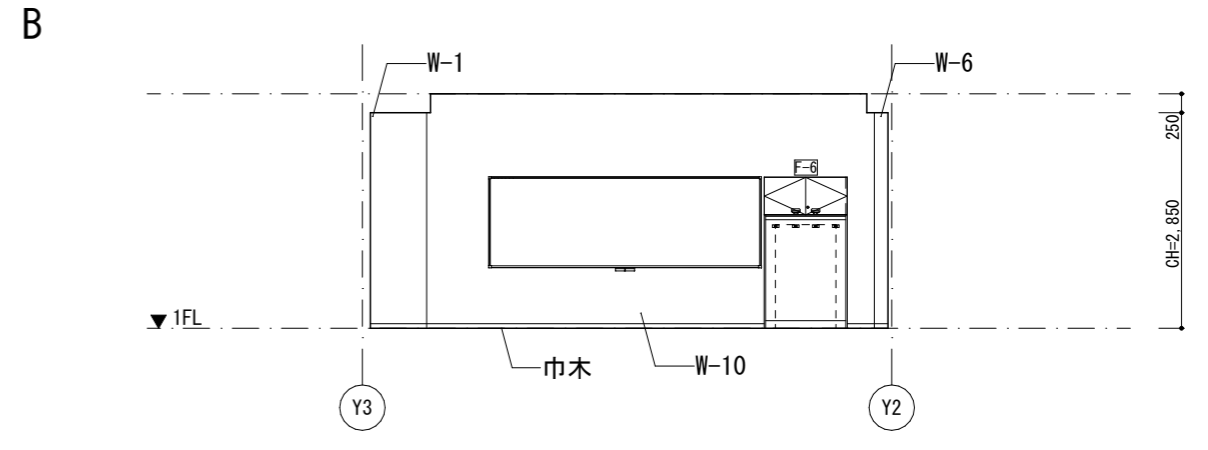
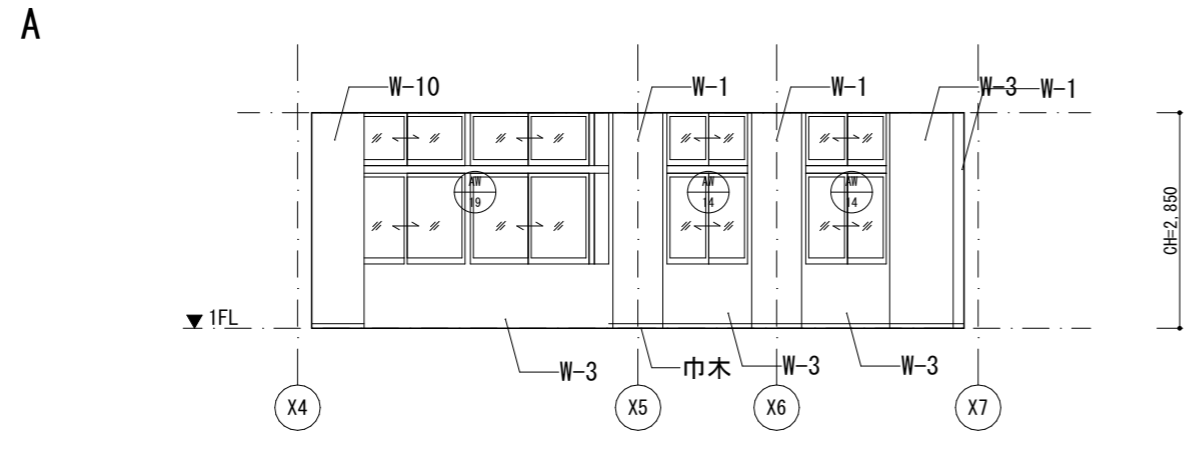


凡例	
壁 (W-1)	仕上げ EP塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタンボード t=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき
壁 (W-2)	仕上げ EP塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタンボード t=30+PBt=12.5/寒冷紗パテしごき
壁 (W-3)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地 (S0型)/ウレタンフォーム吹付 t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき
壁 (W-4)	仕上げ EP-G塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタンボード t=30+耐水PBt=12.5/ケイ酸カルシウム板 t=6.0
壁 (W-5)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付 t=30/耐水PBt=12.5/ケイ酸カルシウム板 t=6.0
壁 (W-6)	仕上げ EP塗装 下地 既存モルタル下地調整
壁 (W-7)	仕上げ EP-G塗装 下地 モルタル下地調整
壁 (W-8)	仕上げ 掲示クロス 下地 軽鉄下地/3mm合板 t=9.0/
壁 (W-9)	仕上げ 下地
壁 (W-10)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき
壁 (W-11)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ケイ酸カルシウム板 t=6.0
壁 (W-12)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地/耐火PBt=12.5+12.5/寒冷紗パテしごき
壁 (W-13)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付 t=30/耐水PBt=12.5/ケイ酸カルシウム板 t=6.0
壁 (W-14)	仕上げ 有効吸音版 t=9 (シ合板) 目透かし張 下地 既存モルタル下地調整/硬質ウレタンボード t=30+PBt=12.5/木綿織+グラスウール充填 t=21/化粧有孔合板 t=9
壁 (W-15)	仕上げ 既存のまま 下地 既存のまま
壁	仕上げ
壁	下地
壁	仕上げ
壁	下地

普通教室 1



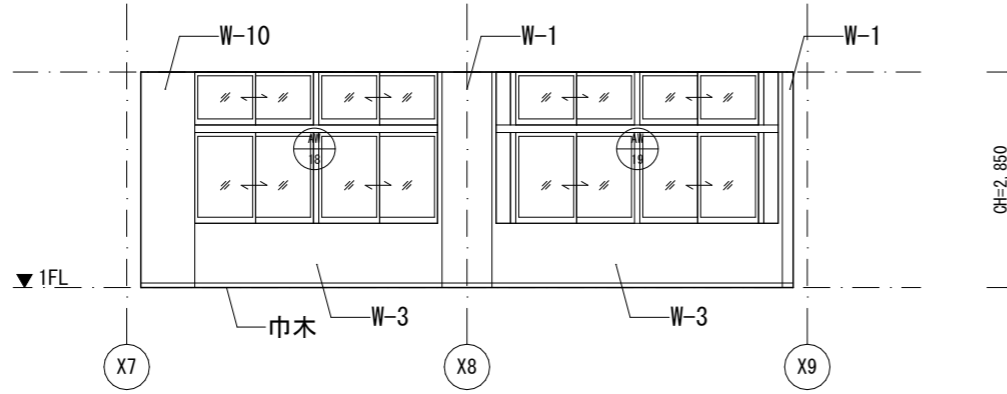
普通教室 2



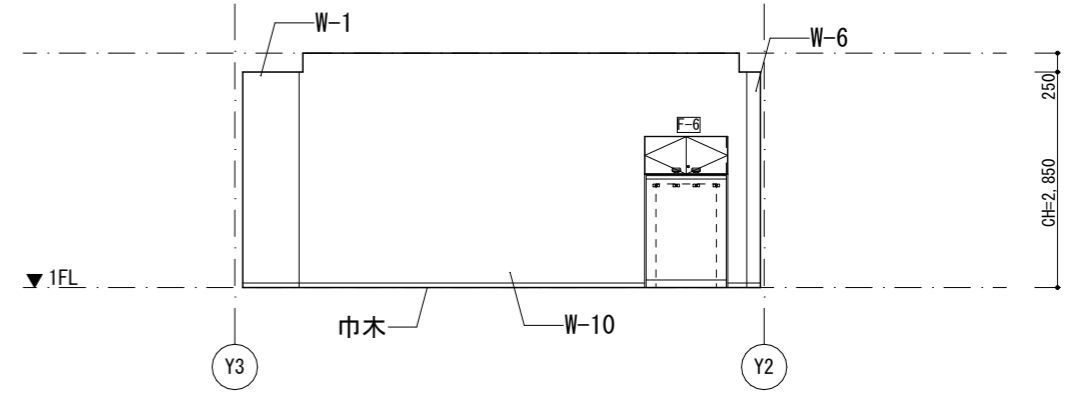
凡例	
壁 (W-1)	仕上げ EP塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -t' t=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき
壁 (W-2)	仕上げ EP塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -t' t=30+PBt=12.5/寒冷紗パテしごき
壁 (W-3)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地 (S0型)/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき
壁 (W-4)	仕上げ EP-G塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -t' t=30+耐水PBt=12.5/ケイ酸カルシウム板t=6.0
壁 (W-5)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=30/耐水PBt=12.5/ケイ酸カルシウム板t=6.0
壁 (W-6)	仕上げ EP塗装 下地 既存モルタル下地調整
壁 (W-7)	仕上げ EP-G塗装 下地 モルタル下地調整
壁 (W-8)	仕上げ 掲示のみ 下地 軽鉄下地/3mm合板t=9.0/
壁 (W-9)	仕上げ 下地
壁 (W-10)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき
壁 (W-11)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ケイ酸カルシウム板t=6.0
壁 (W-12)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地/耐火PBt=12.5+12.5/寒冷紗パテしごき
壁 (W-13)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=30/耐水PBt=12.5/ケイ酸カルシウム板t=6.0
壁 (W-14)	仕上げ 有効吸音版t=9 (合板) 目透かし張 下地 既存モルタル下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -t' t=30+PBt=12.5/木脚縁+3mm合板t=21/化粧有孔合板t=9
壁 (W-15)	仕上げ 既存のまま 下地 既存のまま
壁	仕上げ
壁	下地
壁	仕上げ
壁	下地

オープンスペース 1

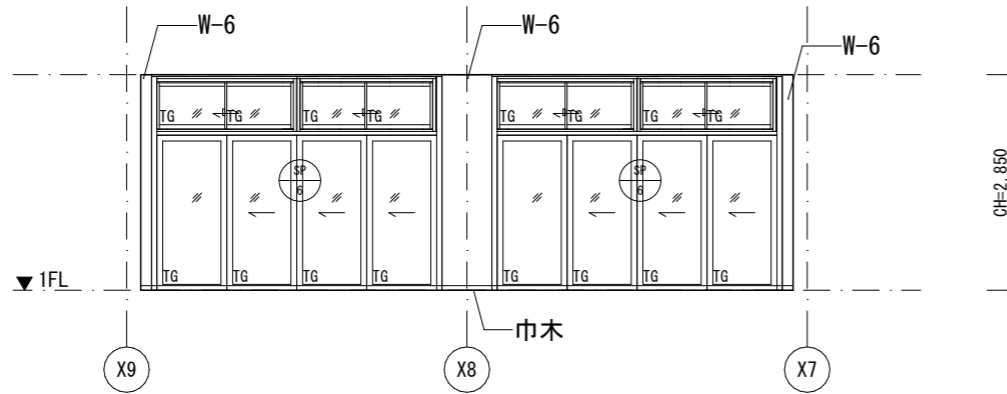
A



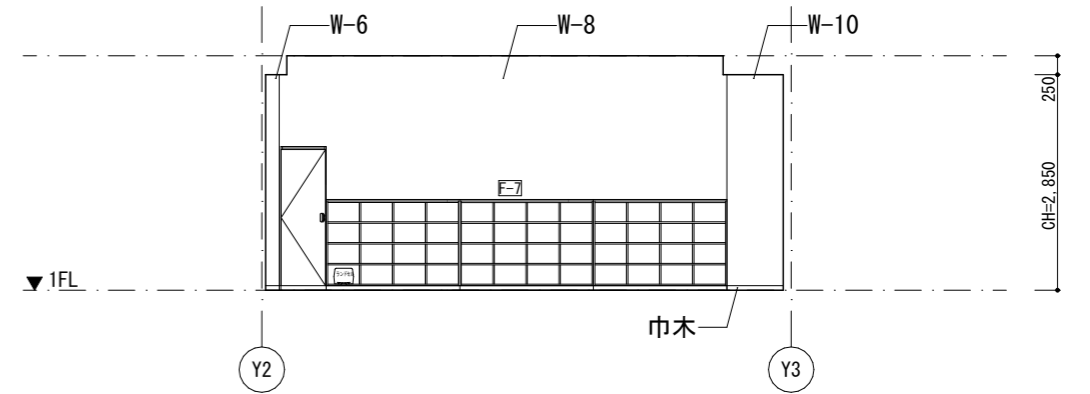
B



C

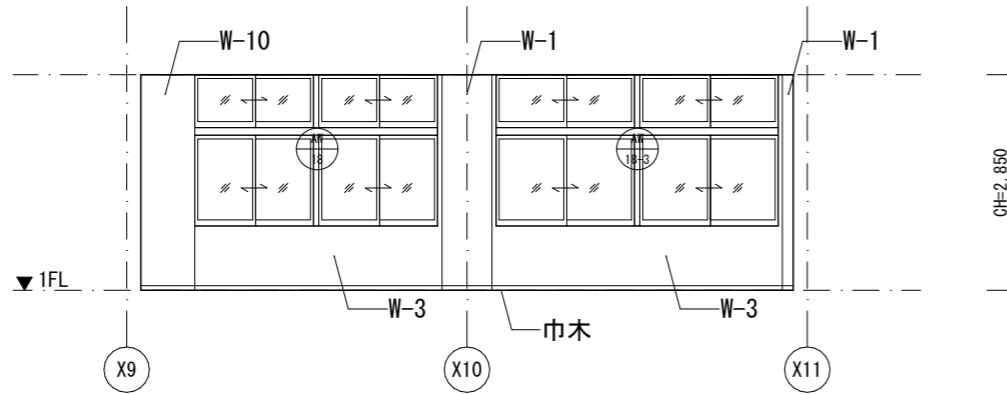


D

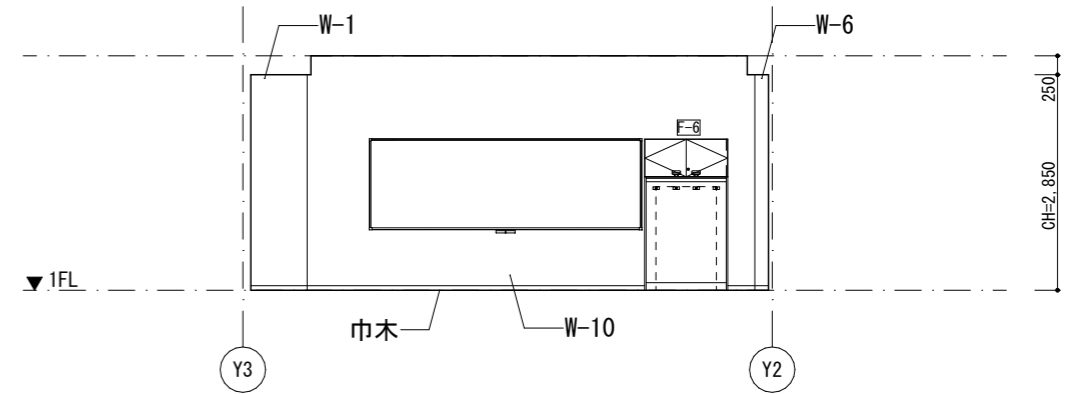


普通教室 3

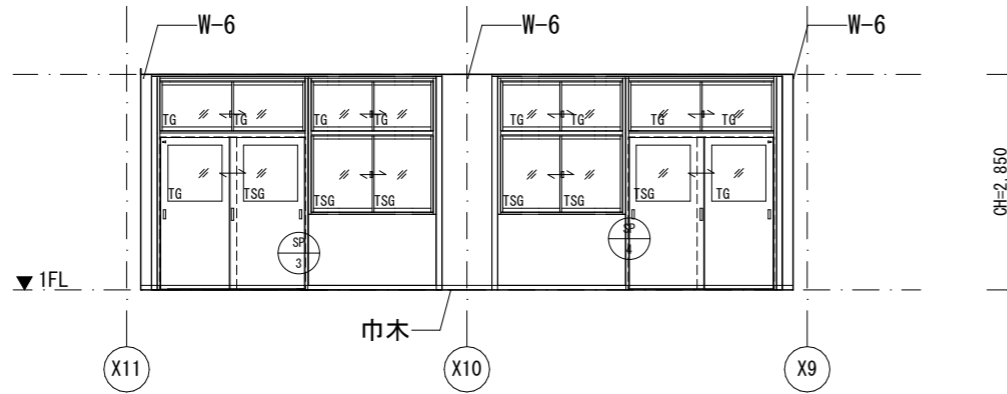
A



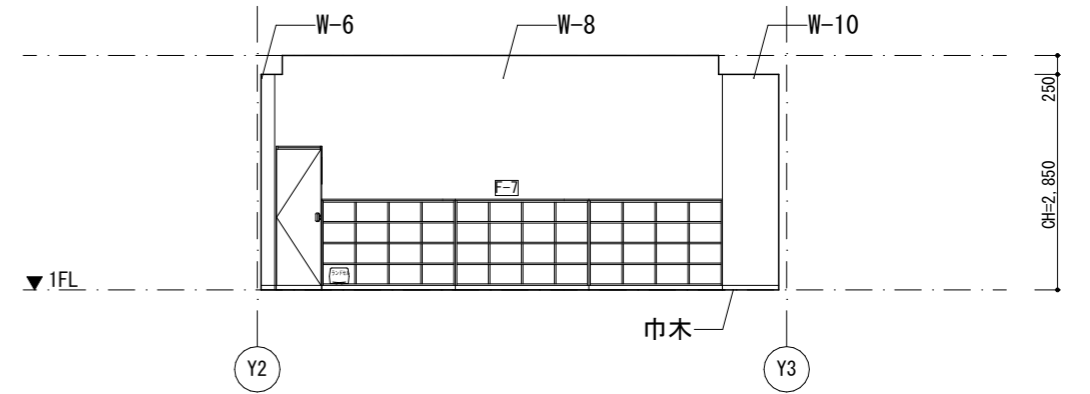
B



C



D

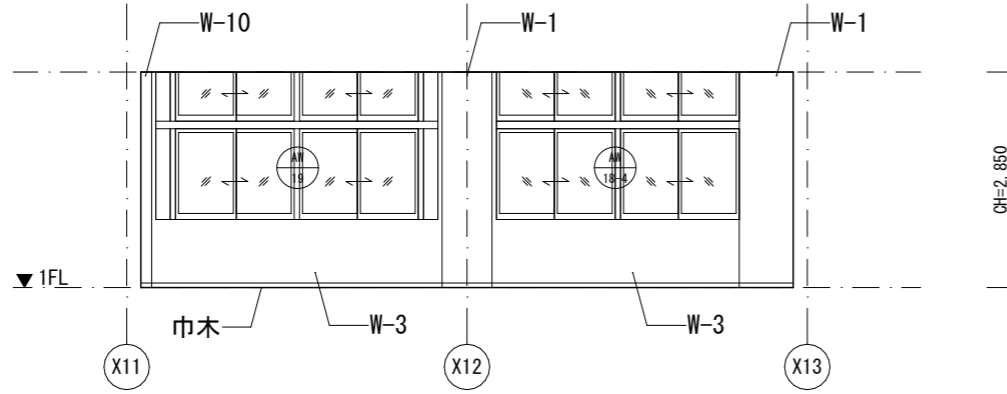


備考	月日	月日	月日	月日	株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤 信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事 (建築工事)	図番	A	A-112
	月日	月日	月日	月日	1級建築士 佐藤 信 第362177号	校	佐藤 信	監	松浦 尚亮	図面	展開図22	縮尺	1/50 (A1)	1/100 (A3)
	月日	月日	月日	月日	1級建築士事務所 第1-80097号	校	佐藤 信	監	松浦 尚亮	図面				

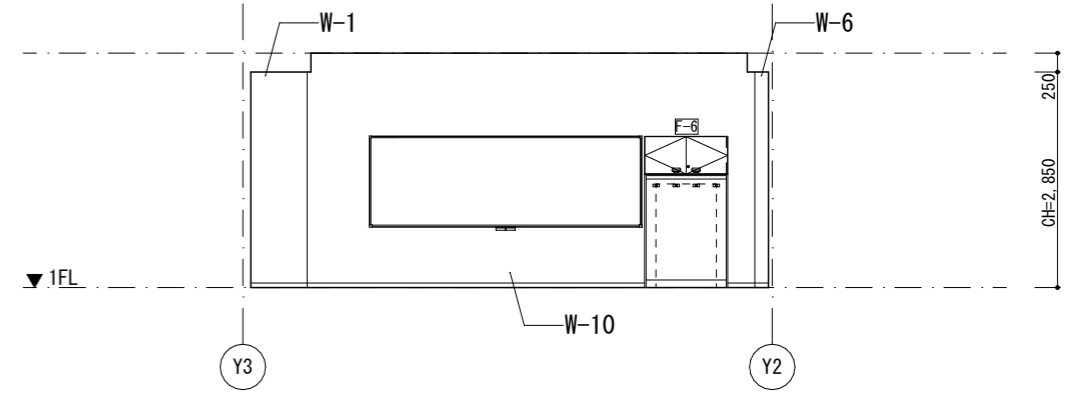
凡例	
壁 (W-1)	仕上げ EP塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタンボード t=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき
壁 (W-2)	仕上げ EP塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタンボード t=30+PBt=12.5/寒冷紗パテしごき
壁 (W-3)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地 (S0型)/ウレタンフォーム吹付 t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき
壁 (W-4)	仕上げ EP-G塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタンボード t=30+耐水PBt=12.5/ケイ酸カルシウム板 t=6.0
壁 (W-5)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付 t=30/耐水PBt=12.5/ケイ酸カルシウム板 t=6.0
壁 (W-6)	仕上げ EP塗装
壁 (W-7)	仕上げ EP-G塗装 下地 モルタル下地調整
壁 (W-8)	仕上げ 掲示のみ 下地 軽鉄下地/3mm合板 t=9.0/
壁 (W-9)	仕上げ 下地
壁 (W-10)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき
壁 (W-11)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ケイ酸カルシウム板 t=6.0
壁 (W-12)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地/耐水PBt=12.5+12.5/寒冷紗パテしごき
壁 (W-13)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付 t=30/耐水PBt=12.5/ケイ酸カルシウム板 t=6.0
壁 (W-14)	仕上げ 有効吸音版 t=9 (ヶ合板) 目透かし張 下地 既存モルタル下地調整/硬質ウレタンボード t=30+PBt=12.5/木屑繊維ガラス繊維充填 t=21/化粧有孔合板 t=9
壁 (W-15)	仕上げ 既存のまま 下地 既存のまま
壁	仕上げ
壁	下地
壁	仕上げ
壁	下地

普通教室 4

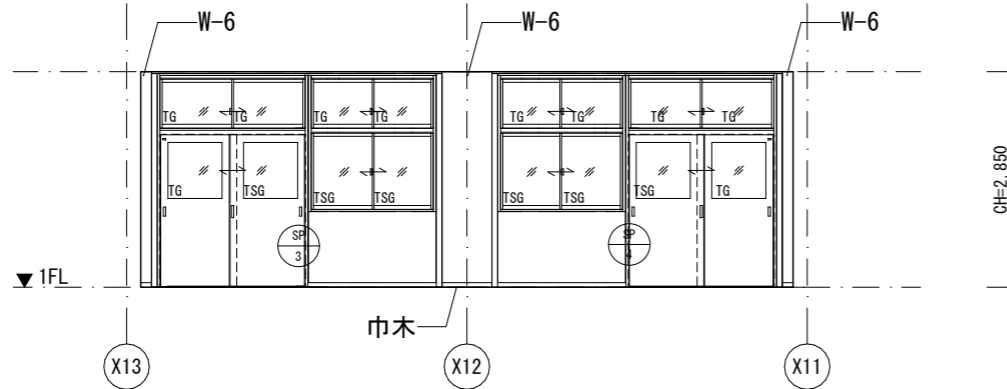
A



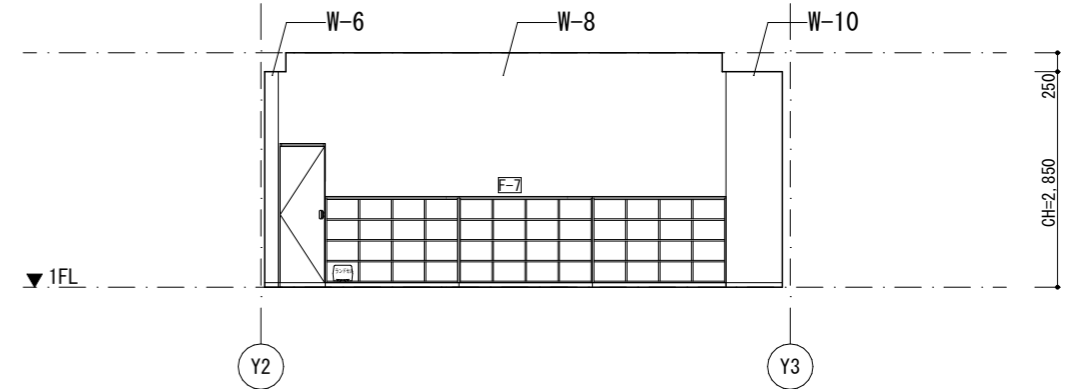
B



C

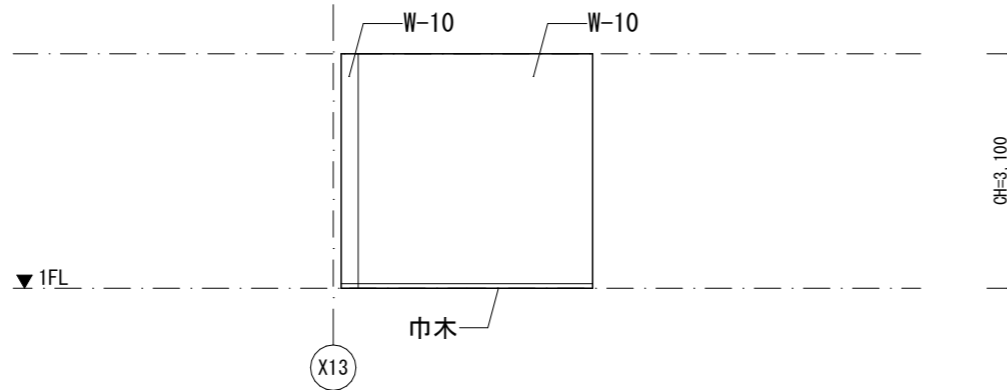


D

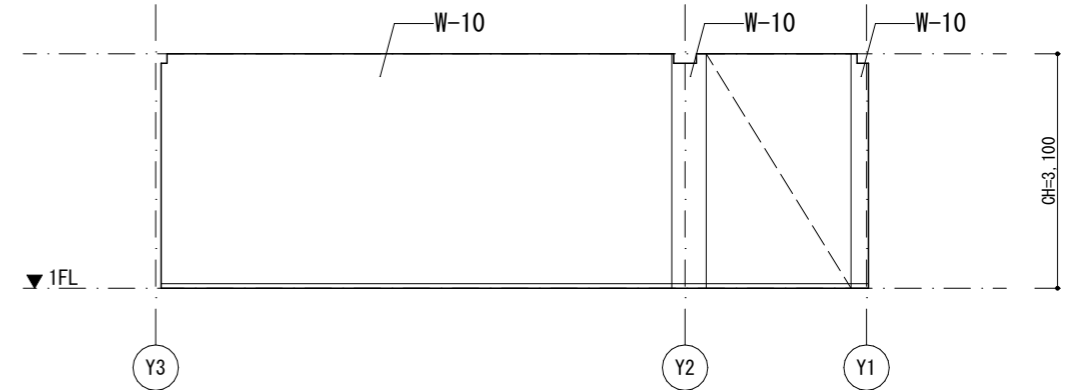


オープンスペース 2

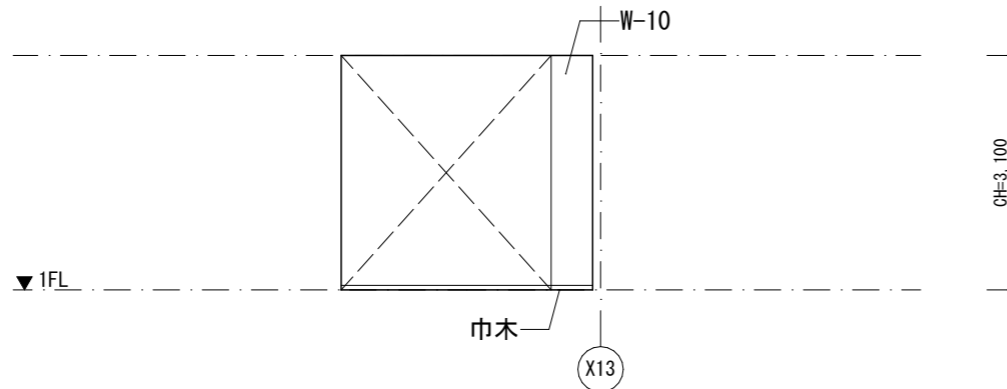
A



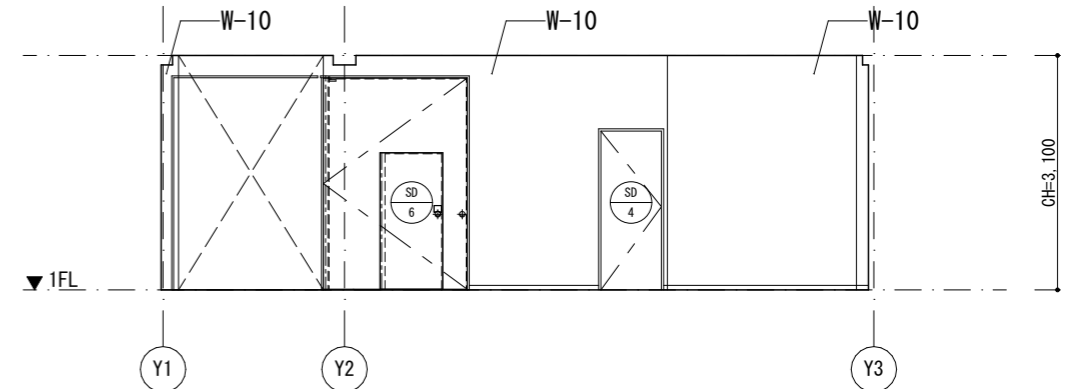
B



C



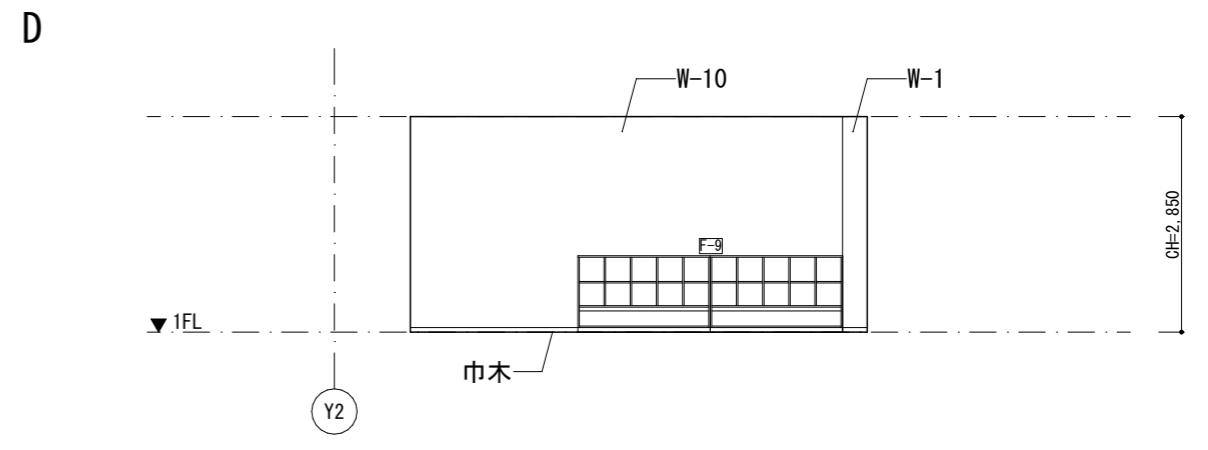
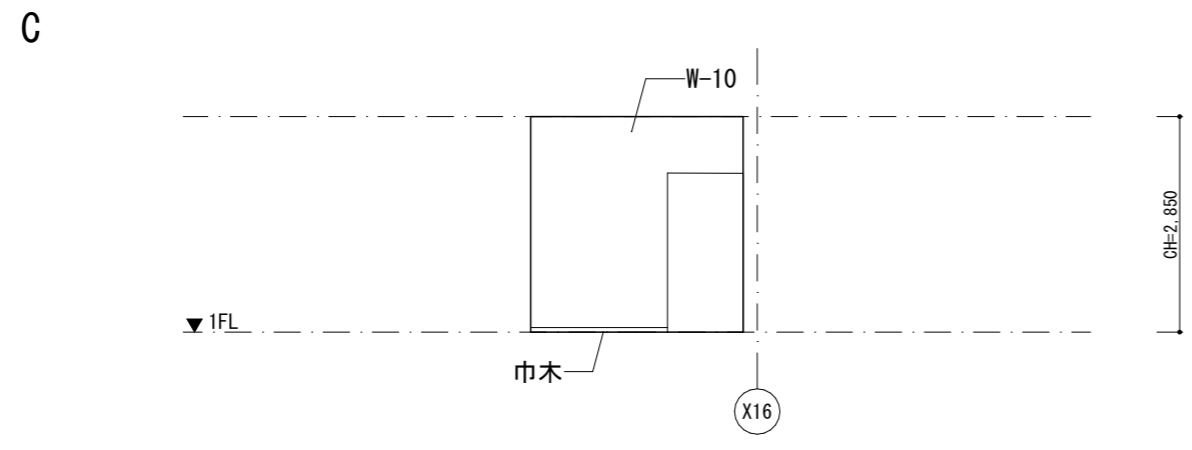
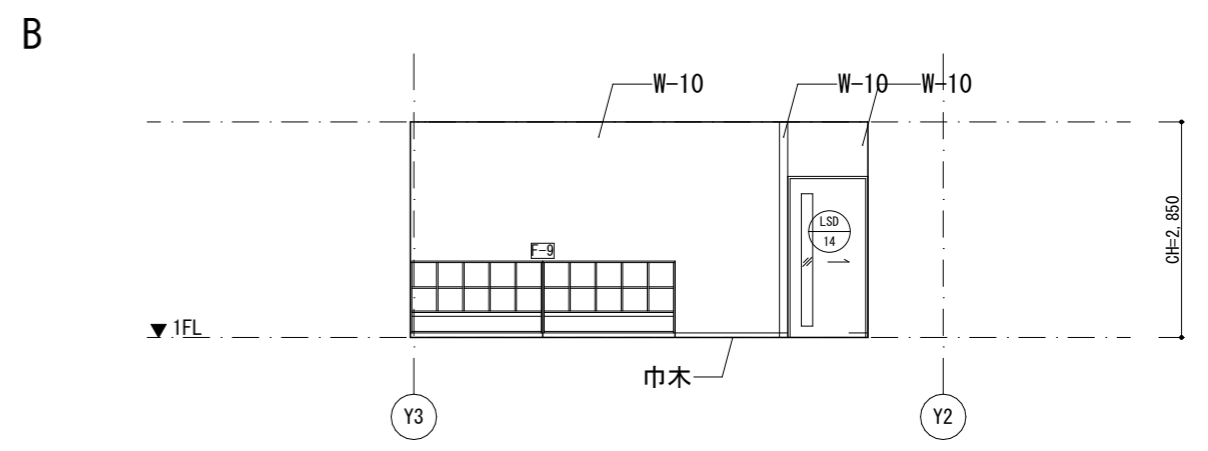
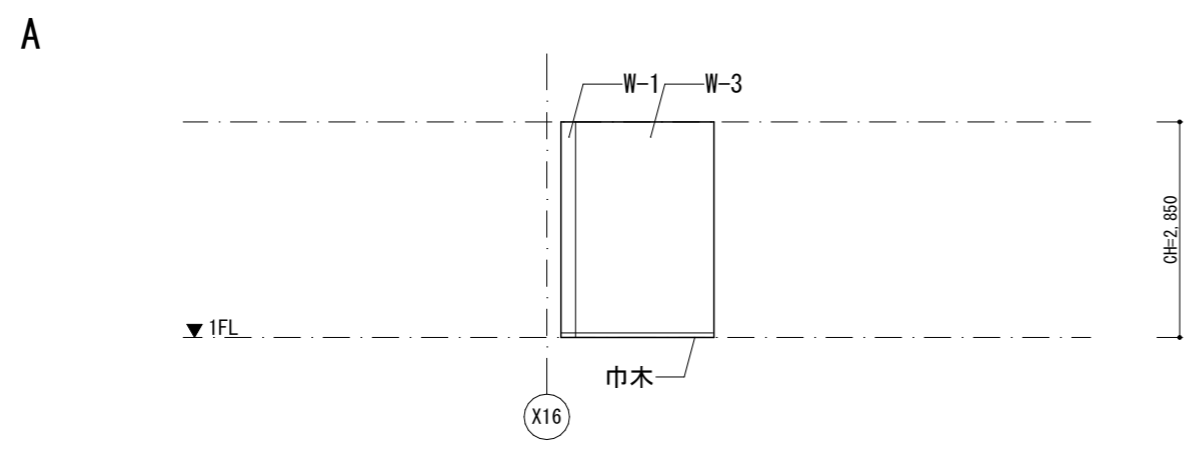
D



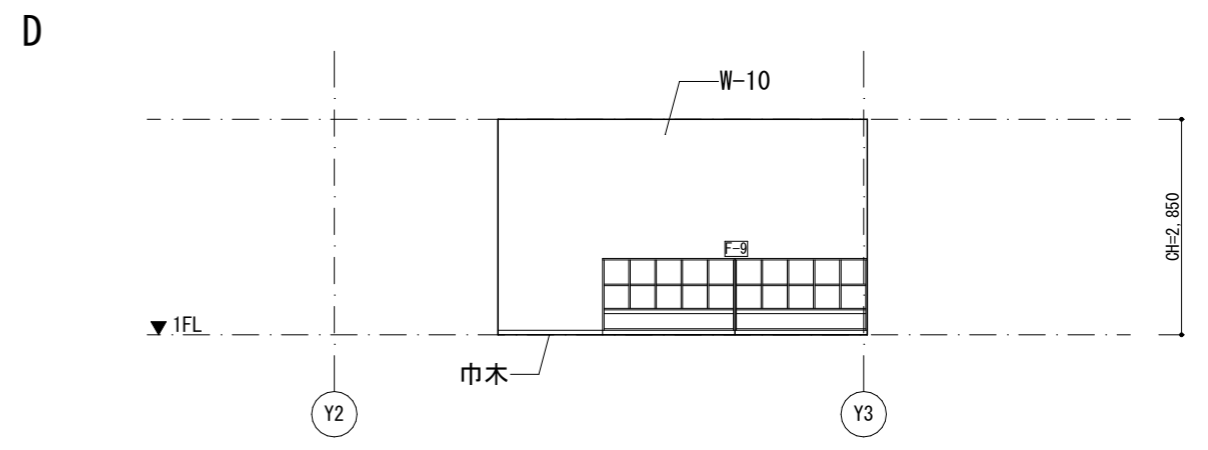
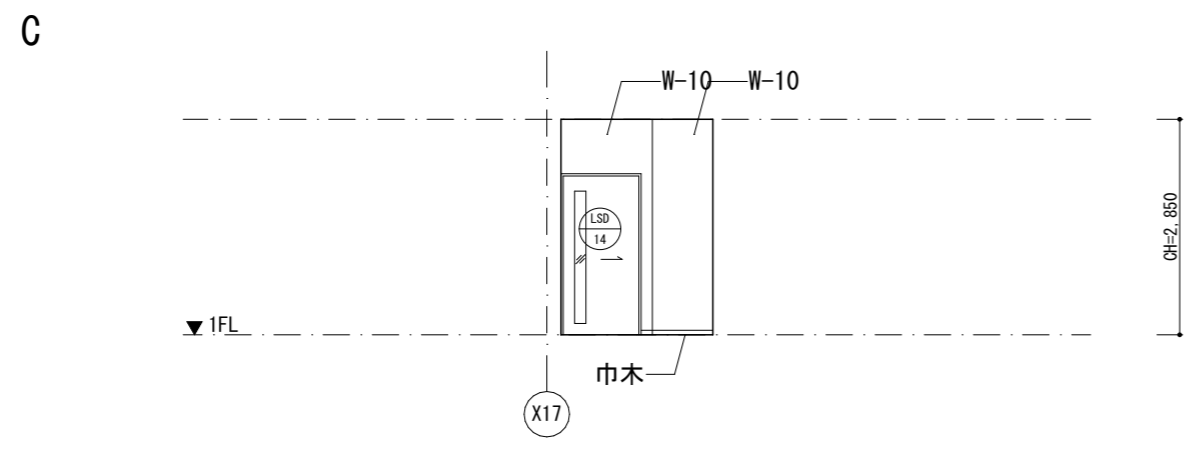
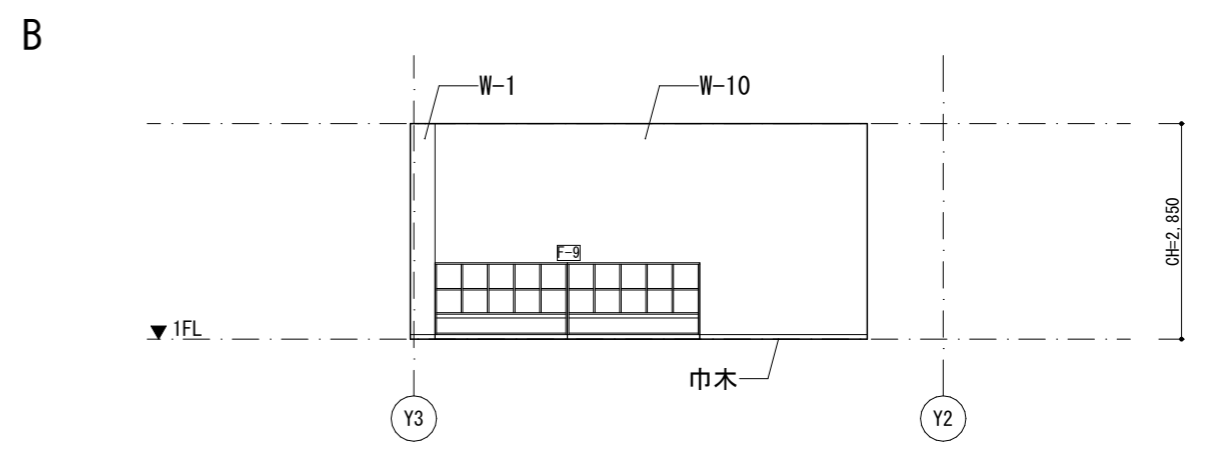
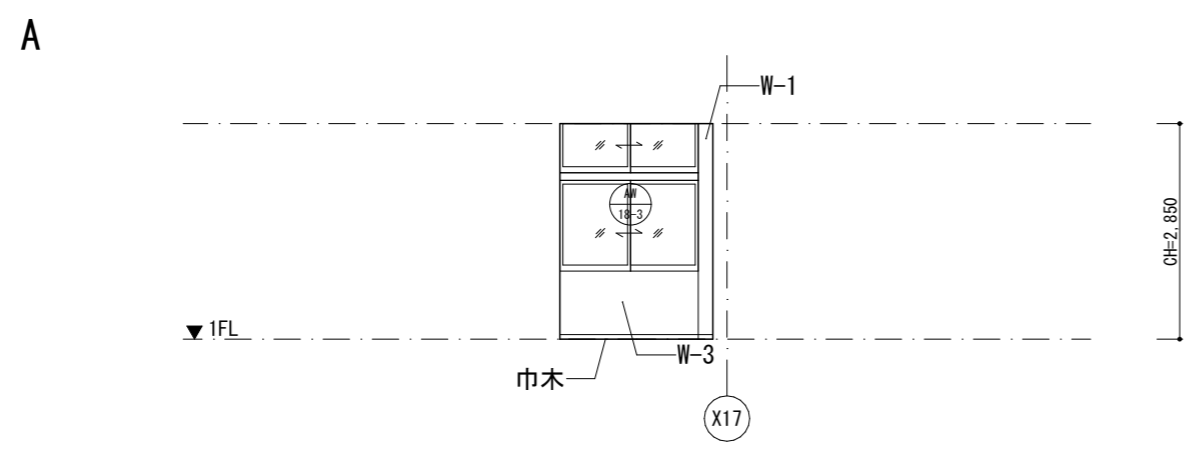


凡例	
壁 (W-1)	仕上げ EP塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -t' t=30+PBt=9.5/寒冷紗/
壁 (W-2)	仕上げ EP塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -t' t=30+PBt=12.5/寒冷紗/パテしごき
壁 (W-3)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地 (S0型)/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷紗/パテしごき/
壁 (W-4)	仕上げ EP-G塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -t' t=30+耐水PBt=12.5/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=6.0
壁 (W-5)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=30/耐水PBt=12.5/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=6.0
壁 (W-6)	仕上げ EP塗装
壁 (W-7)	仕上げ EP-G塗装 下地 モルタル下地調整
壁 (W-8)	仕上げ 掲示のみ 下地 軽鉄下地/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=9.0/
壁 (W-9)	仕上げ 下地
壁 (W-10)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗/パテしごき
壁 (W-11)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=6.0
壁 (W-12)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地/耐水PBt=12.5+12.5/寒冷紗/パテしごき
壁 (W-13)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=30/耐水PBt=12.5/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=6.0
壁 (W-14)	仕上げ 有効吸音版t=9 (ウレタン <sup>®</sup> 目透かし張) 下地 既存モルタル下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -t' t=30+PBt=12.5/木屑 <sup>®</sup> -L吹付t=21/化粧有孔合板t=9
壁 (W-15)	仕上げ 既存のまま 下地 既存のまま
壁	仕上げ
壁	下地
壁	仕上げ
壁	下地

児童更衣室1



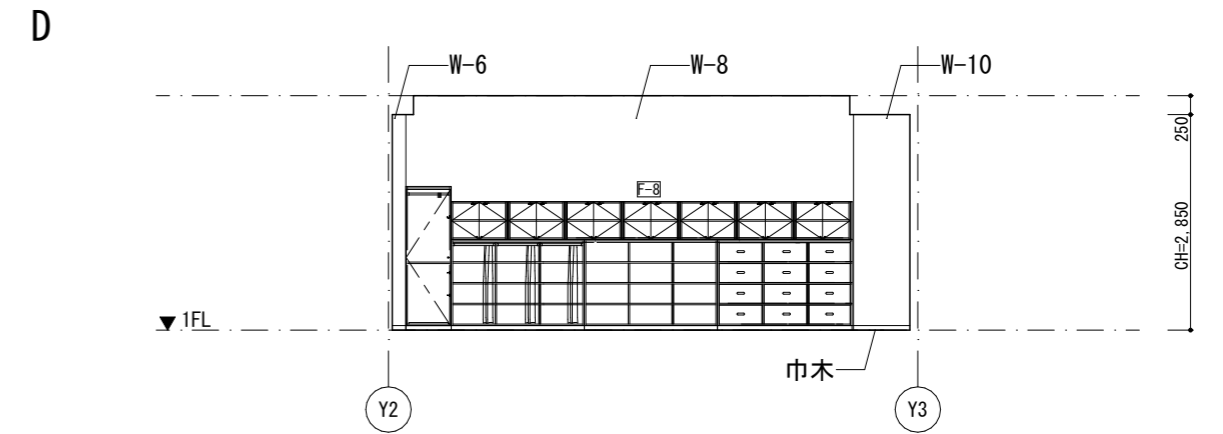
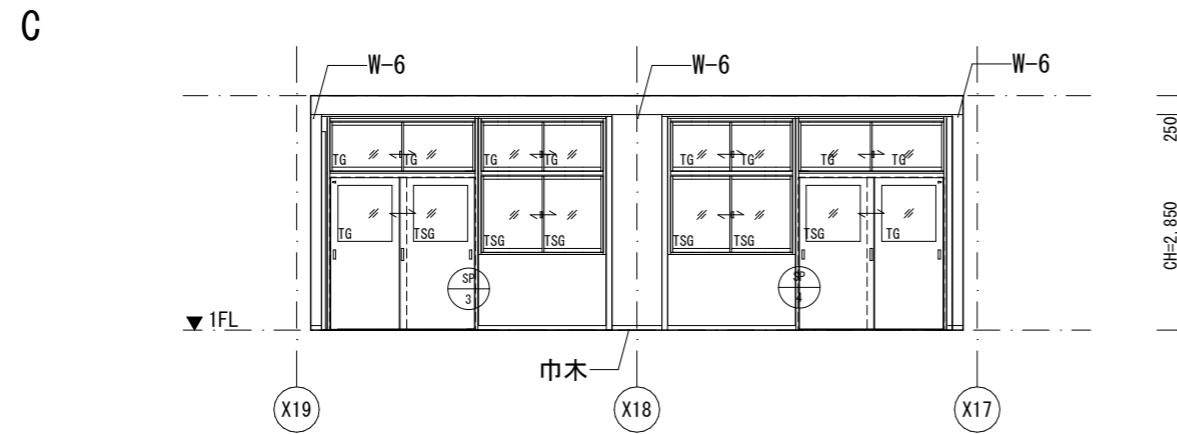
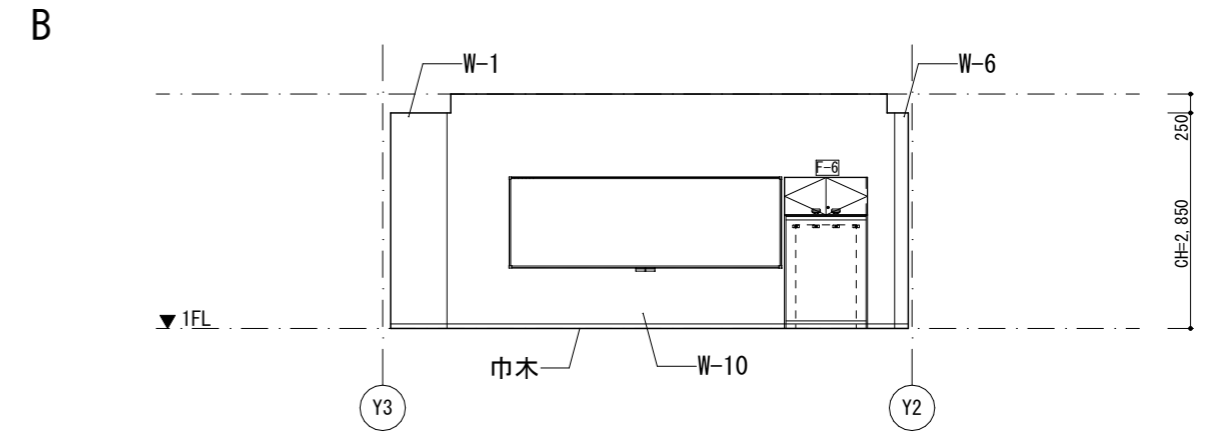
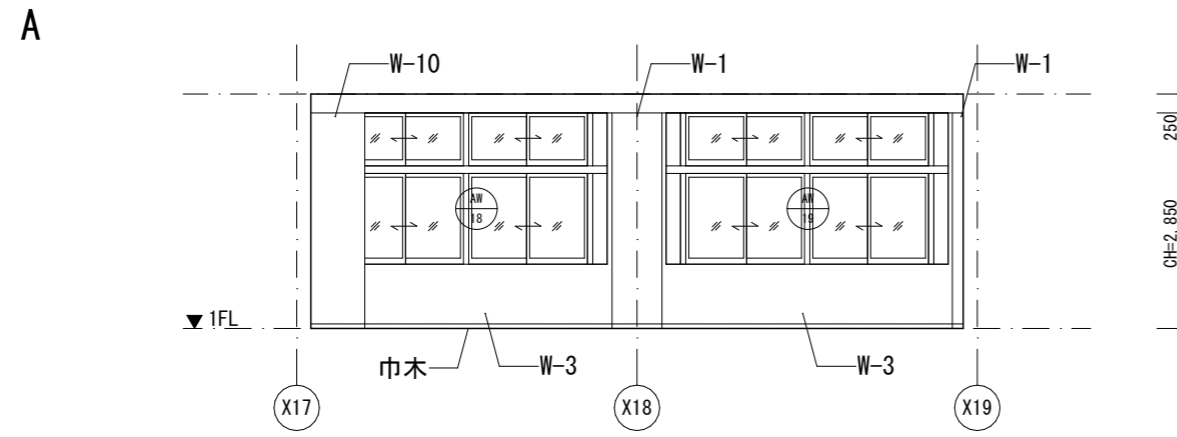
児童更衣室2



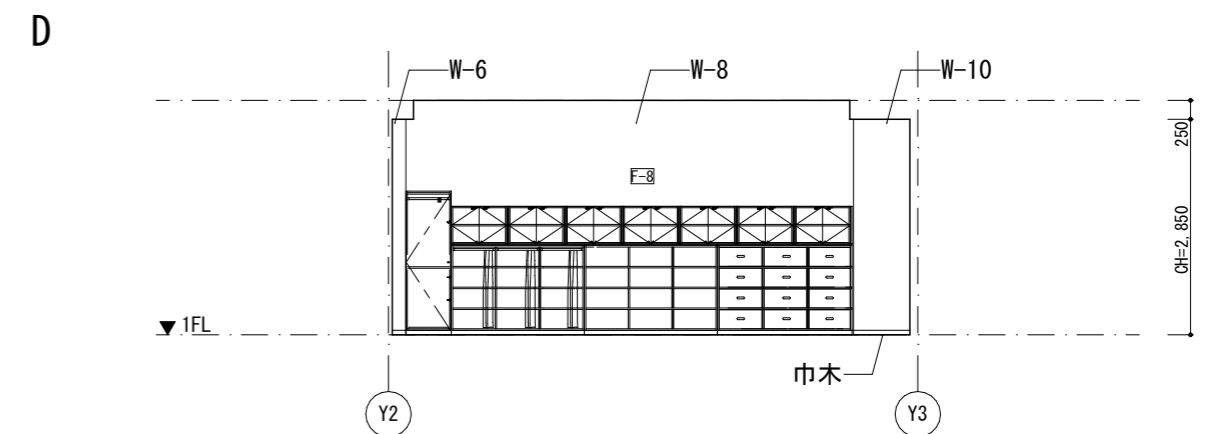
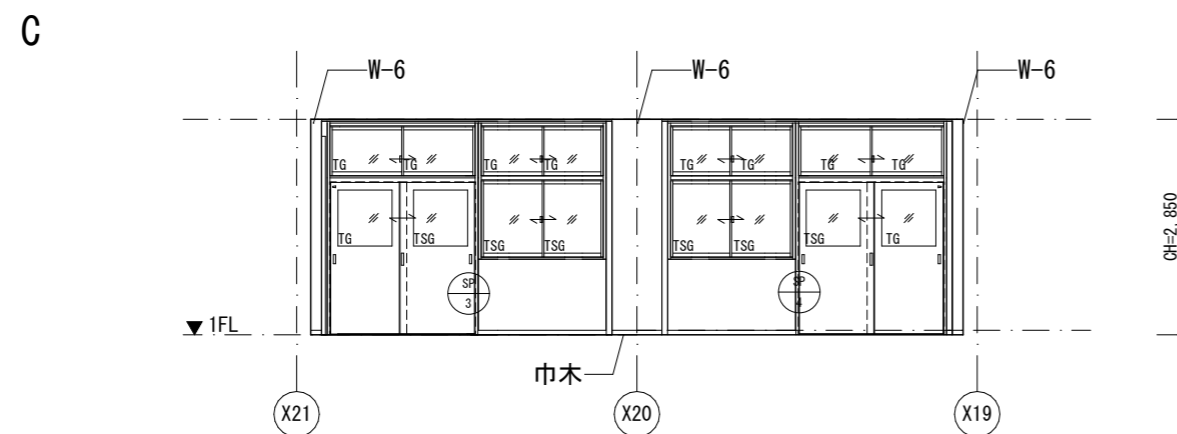
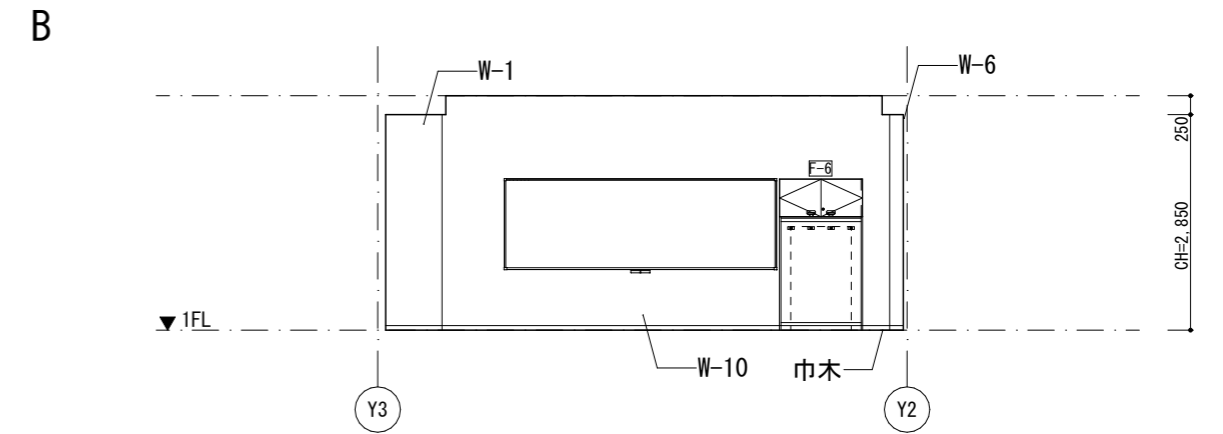
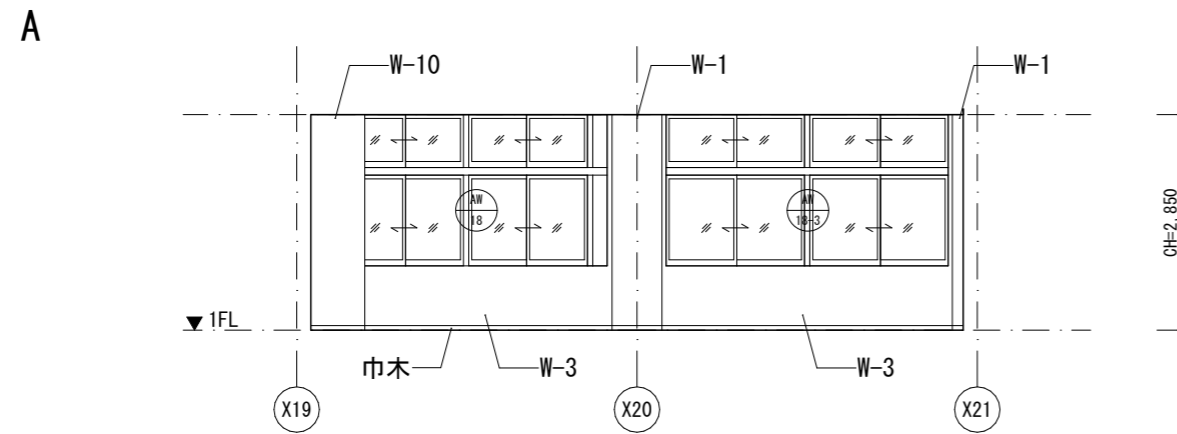
備考	月日	月日	月日	月日	株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤 信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A	A-115
	月日	月日	月日	月日	1級建築士 佐藤 信 第362177号	監修	佐藤 信	監製	松浦 尚亮	図面内容	展開図25	縮尺	1/50 (A1)	1/100 (A3)

凡例	
壁 (W-1)	仕上げ EP塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタンボード t=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき
壁 (W-2)	仕上げ EP塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタンボード t=30+PBt=12.5/寒冷紗パテしごき
壁 (W-3)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地 (S0型)/ウレタンフォーム吹付 t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき
壁 (W-4)	仕上げ EP-G塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタンボード t=30+耐水PBt=12.5/ウレタンフォーム吹付 t=6.0
壁 (W-5)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付 t=30/耐水PBt=12.5/ウレタンフォーム吹付 t=6.0
壁 (W-6)	仕上げ EP塗装 下地 既存モルタル下地調整
壁 (W-7)	仕上げ EP-G塗装 下地 モルタル下地調整
壁 (W-8)	仕上げ 掲示のみ 下地 軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付 t=9.0/
壁 (W-9)	仕上げ 下地
壁 (W-10)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき
壁 (W-11)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ウレタンフォーム吹付 t=6.0
壁 (W-12)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地/耐水PBt=12.5+12.5/寒冷紗パテしごき
壁 (W-13)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付 t=30/耐水PBt=12.5/ウレタンフォーム吹付 t=6.0
壁 (W-14)	仕上げ 有効吸音版 t=9 (合板) 目透かし張 下地 既存モルタル下地調整/硬質ウレタンボード t=30+PBt=12.5/木屑・石膏・3X9-6充填 t=21/化粧有孔合板 t=9
壁 (W-15)	仕上げ 既存のまま 下地 既存のまま
壁	仕上げ
壁	下地
壁	仕上げ
壁	下地

特別支援教室1

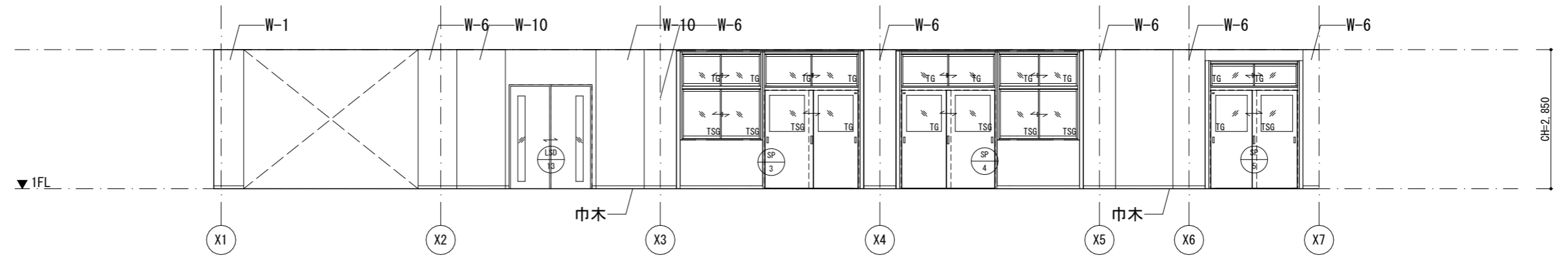


特別支援教室2

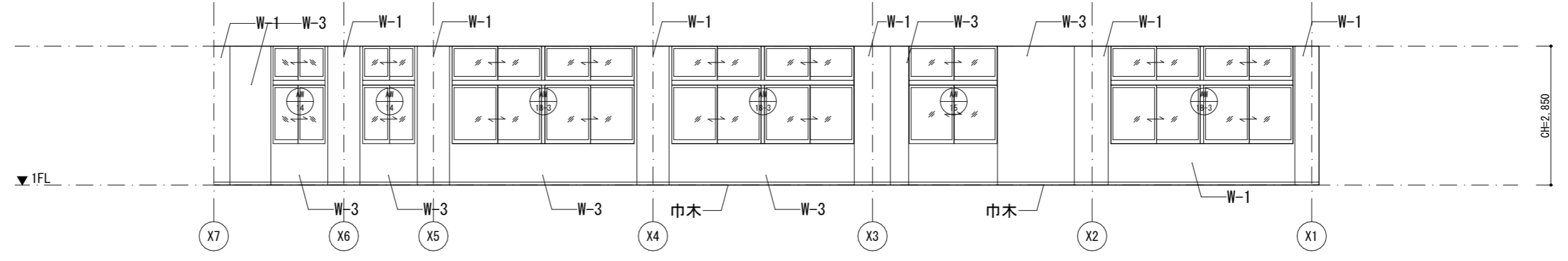


凡例	
壁 (W-1)	仕上げ EP塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタンボード t=30 +PBt=9.5/寒冷紗/
壁 (W-2)	仕上げ EP塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタンボード t=30+PBt=12.5/寒冷紗/なしごき
壁 (W-3)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地 (S0型)/ウレタンフォーム吹付 t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷紗/なしごき/
壁 (W-4)	仕上げ EP-G塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタンボード t=30+耐水PBt=12.5/ウレタンフォーム吹付 t=6.0
壁 (W-5)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付 t=30/耐水PBt=12.5/ウレタンフォーム吹付 t=6.0
壁 (W-6)	仕上げ EP塗装 下地 既存モルタル下地調整
壁 (W-7)	仕上げ EP-G塗装 下地 モルタル下地調整
壁 (W-8)	仕上げ 掲示クロス 下地 軽鉄下地/3mm合板 t=9.0/
壁 (W-9)	仕上げ 下地
壁 (W-10)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗/なしごき
壁 (W-11)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ウレタンフォーム吹付 t=6.0
壁 (W-12)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地/耐火PBt=12.5+12.5/寒冷紗/なしごき
壁 (W-13)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付 t=30/耐水PBt=12.5/ウレタンフォーム吹付 t=6.0
壁 (W-14)	仕上げ 既存モルタル下地調整/硬質ウレタンボード t=30+PBt=12.5/木綿繊維ガラス繊維充填 t=21/化粧有孔合板 t=9
壁 (W-15)	仕上げ 既存のまま 下地 既存のまま
壁	仕上げ
壁	下地
壁	仕上げ
壁	下地

A

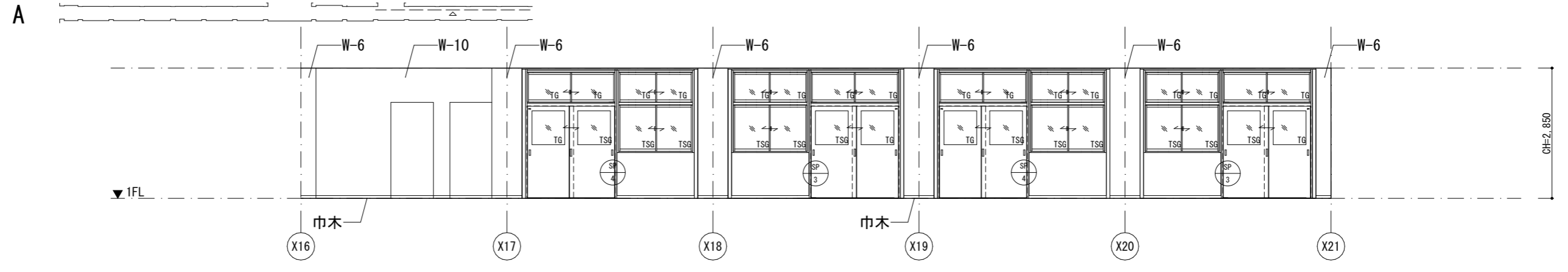
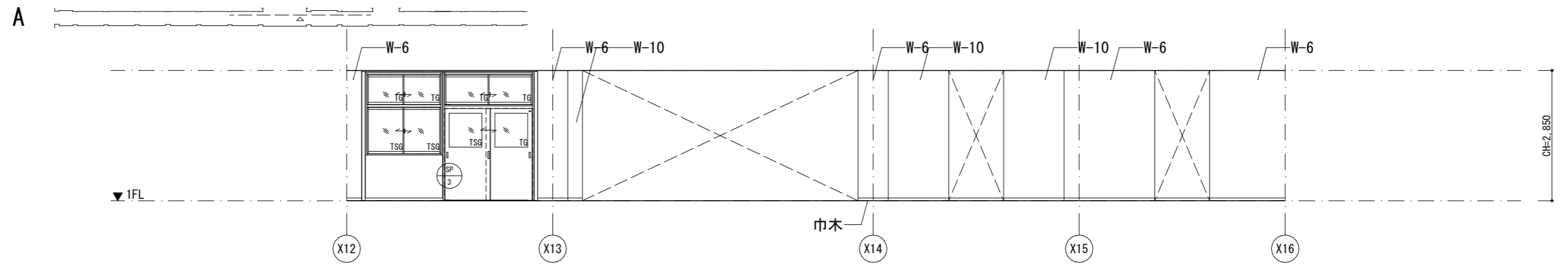
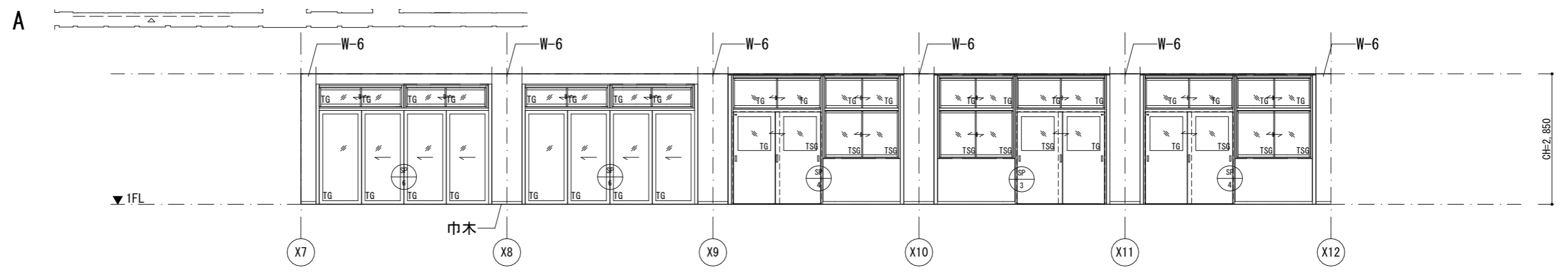


C



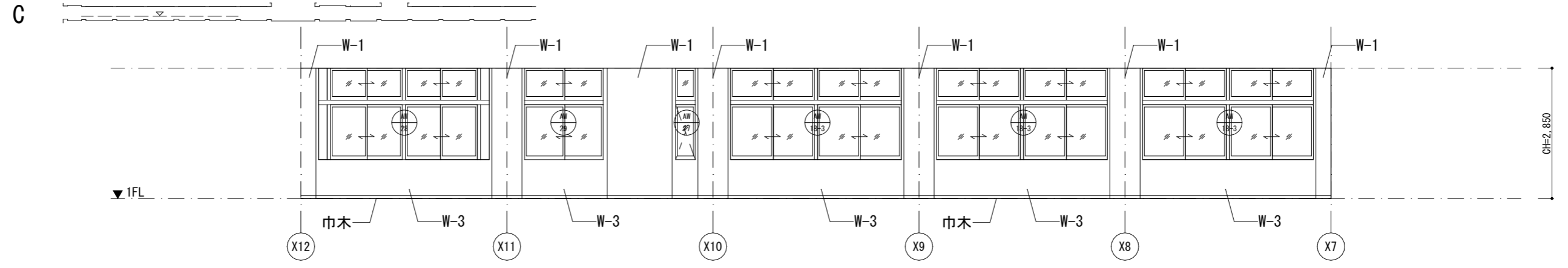
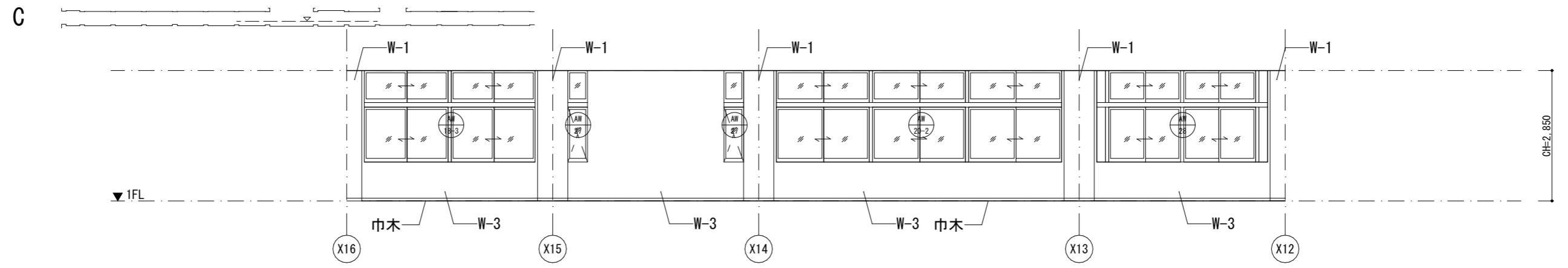
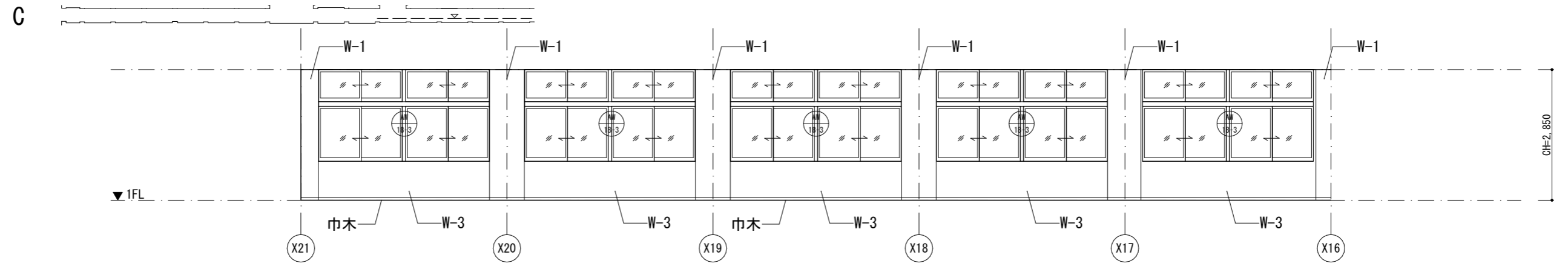
備考	月日	月日	月日	月日	株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤 信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A	A-117
	月日	月日	月日	月日	1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	監修	佐藤 信	監製	松浦 尚亮	展開図	展開図27	縮尺	1/50 (A1) 1/100 (A3)	

凡例	
壁 (W-1)	仕上げ EP塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタンボード t=30 +PBt=9.5/寒冷紗/
壁 (W-2)	仕上げ EP塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタンボード t=30+PBt=12.5/寒冷紗/パテしごき
壁 (W-3)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地 (S0型)/ウレタンフォーム吹付 t=30/ PBt=12.5+9.5/寒冷紗/パテしごき/
壁 (W-4)	仕上げ EP-G塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタンボード t=30+ 耐水PBt=12.5/ケイ酸カルシウム板 t=6.0
壁 (W-5)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付 t=30/ 耐水PBt=12.5/ケイ酸カルシウム板 t=6.0
壁 (W-6)	仕上げ EP塗装 下地 既存モルタル下地調整
壁 (W-7)	仕上げ EP-G塗装 下地 モルタル下地調整
壁 (W-8)	仕上げ 掲示のみ 下地 軽鉄下地/3mm合板 t=9.0/
壁 (W-9)	仕上げ 下地
壁 (W-10)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/ 寒冷紗/パテしごき
壁 (W-11)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ ケイ酸カルシウム板 t=6.0
壁 (W-12)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地/耐水PBt=12.5+12.5/ 寒冷紗/パテしごき
壁 (W-13)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付 t=30/ 耐水PBt=12.5/ケイ酸カルシウム板 t=6.0
壁 (W-14)	仕上げ 有効吸音版 t=9 (シ合板) 目透かし張 下地 既存モルタル下地調整/ 硬質ウレタンボード t=30+PBt=12.5/ 木綿織+グラスウール充填 t=21/ 化粧有孔合板 t=9
壁 (W-15)	仕上げ 既存のまま 下地 既存のまま



備考	月日	月日	月日	月日	株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤 信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A	A-118
	月日	月日	月日	月日	1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	校	佐藤 信	監	松浦 尚亮	図面名称	展開図28	縮尺	1/50 (A1) 1/100 (A3)	

凡例	
壁 (W-1)	仕上げ EP塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタンボード t=30 +PBt=9.5/寒冷紗ハネしごき
壁 (W-2)	仕上げ EP塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタンボード t=30+PBt=12.5/寒冷紗ハネしごき
壁 (W-3)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地 (S0型)/ウレタンフォーム吹付 t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷紗ハネしごき
壁 (W-4)	仕上げ EP-G塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタンボード t=30+耐水PBt=12.5/ケイ酸カルシウム板 t=6.0
壁 (W-5)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付 t=30/耐水PBt=12.5/ケイ酸カルシウム板 t=6.0
壁 (W-6)	仕上げ EP塗装
下地	既存モルタル下地調整
壁 (W-7)	仕上げ EP-G塗装
下地	モルタル下地調整
壁 (W-8)	仕上げ 掲示クロス
下地	軽鉄下地/3mm合板 t=9.0/
壁 (W-9)	仕上げ
下地	
壁 (W-10)	仕上げ EP塗装
下地	軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗ハネしごき
壁 (W-11)	仕上げ EP-G塗装
下地	軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ケイ酸カルシウム板 t=6.0
壁 (W-12)	仕上げ EP塗装
下地	軽鉄下地/耐水PBt=12.5+12.5/寒冷紗ハネしごき
壁 (W-13)	仕上げ EP-G塗装
下地	軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付 t=30/耐水PBt=12.5/ケイ酸カルシウム板 t=6.0
壁 (W-14)	仕上げ 有効吸音版 t=9 (ケイ合板) 目透かし張
下地	既存モルタル下地調整/硬質ウレタンボード t=30+PBt=12.5/木屑+グラスウール充填 t=21/化粧有孔合板 t=9
壁 (W-15)	仕上げ 既存のまま
下地	既存のまま
壁 (W-16)	仕上げ
下地	
壁 (W-17)	仕上げ
下地	



備考	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日

株式会社青木茂建築工房  
Shigeru Aoki Architect & Associates

作成 2024/11/11  
設計 佐藤 信  
1級建築士 佐藤 信 第362177号  
1級建築士事務所 第1-80097号

監理 佐藤 信  
監理 松浦 尚亮

大東市立住道北小学校長寿命化改良工事 (建築工事)

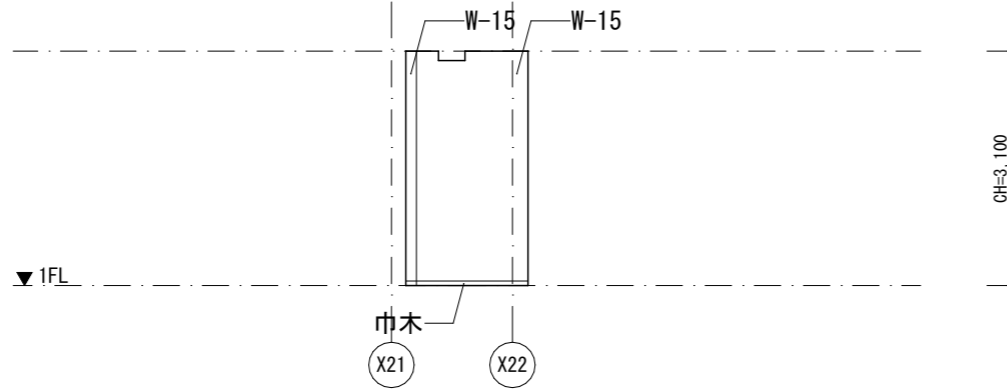
展開図29

図番 A A-119  
縮尺 1/50 (A1)  
1/100 (A3)

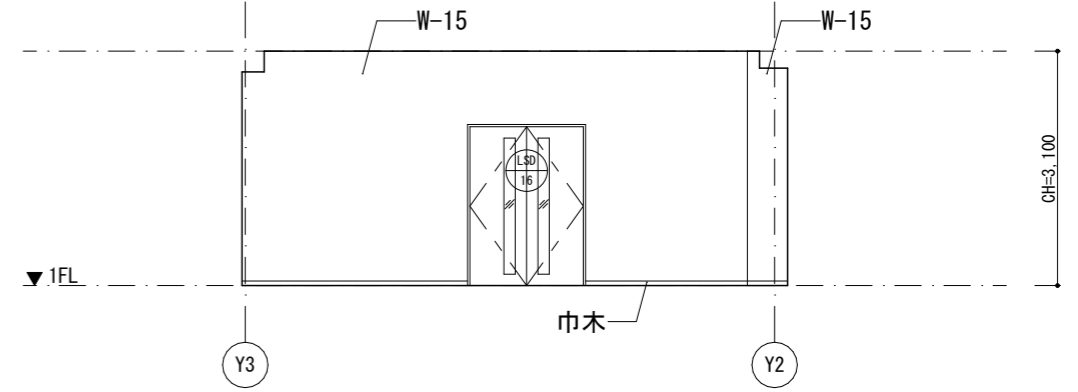
凡例	
壁 (W-1)	仕上げ EP塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタンボード t=30 +PBt=9.5/寒冷紗パテしごき
壁 (W-2)	仕上げ EP塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタンボード t=30+PBt=12.5/寒冷紗パテしごき
壁 (W-3)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地 (S0型)/ウレタンフォーム吹付t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき
壁 (W-4)	仕上げ EP-G塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタンボード t=30+耐水PBt=12.5/ウレタンフォーム吹付t=6.0
壁 (W-5)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/耐水PBt=12.5/ウレタンフォーム吹付t=6.0
壁 (W-6)	仕上げ EP塗装
壁 (W-7)	仕上げ EP-G塗装 下地 モルタル下地調整
壁 (W-8)	仕上げ 掲示のみ 下地 軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=9.0/
壁 (W-9)	仕上げ 下地
壁 (W-10)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき
壁 (W-11)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ウレタンフォーム吹付t=6.0
壁 (W-12)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地/耐火PBt=12.5+12.5/寒冷紗パテしごき
壁 (W-13)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付t=30/耐水PBt=12.5/ウレタンフォーム吹付t=6.0
壁 (W-14)	仕上げ 既存モルタル下地調整/硬質ウレタンボード t=30+PBt=12.5/木屑・石膏・3X9-6充填t=21/化粧有孔合板t=9
壁 (W-15)	仕上げ 既存のまま 下地 既存のまま
壁	仕上げ
壁	下地
壁	仕上げ
壁	下地

倉庫

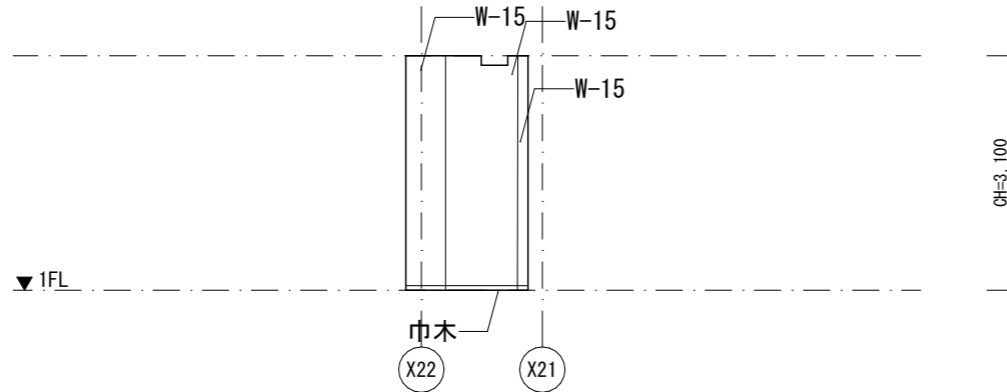
A



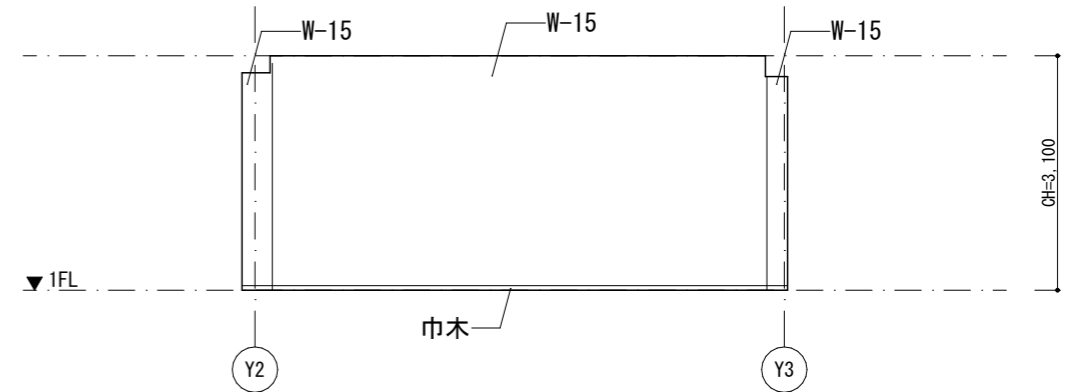
B



C

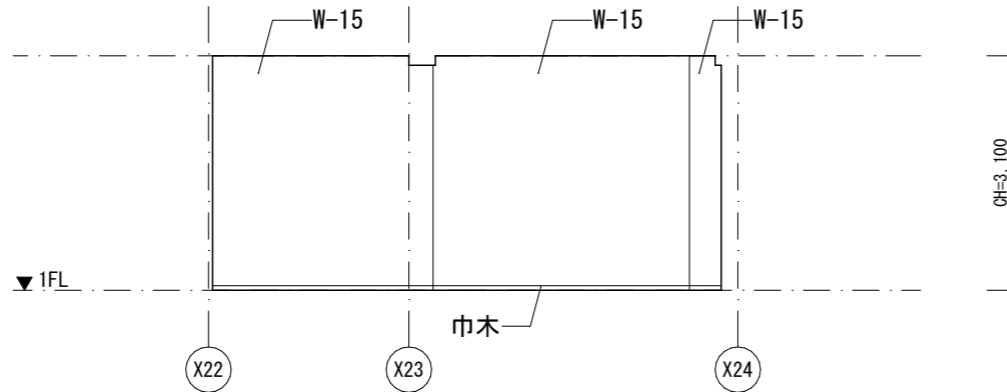


D

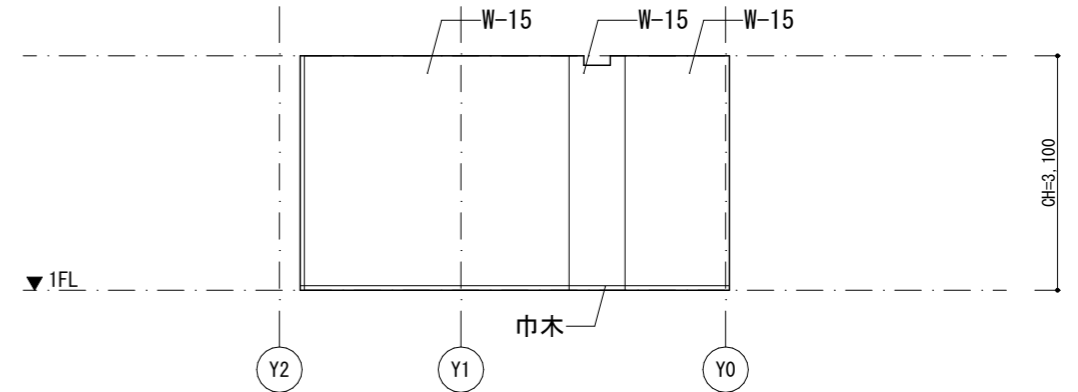


倉庫 1

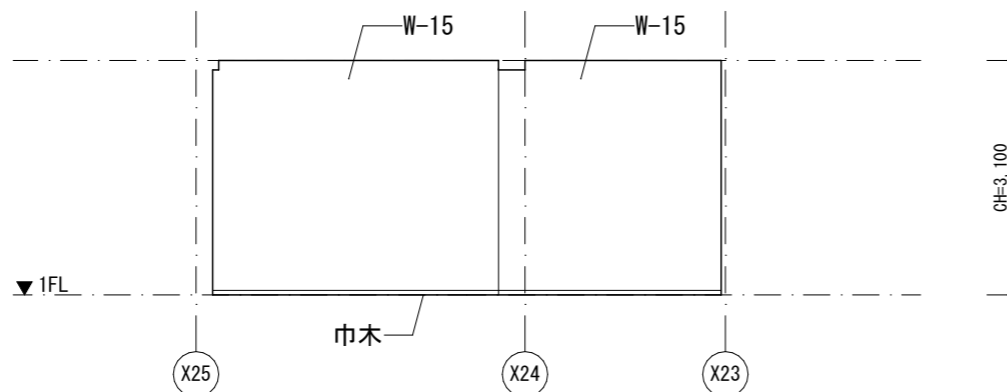
A



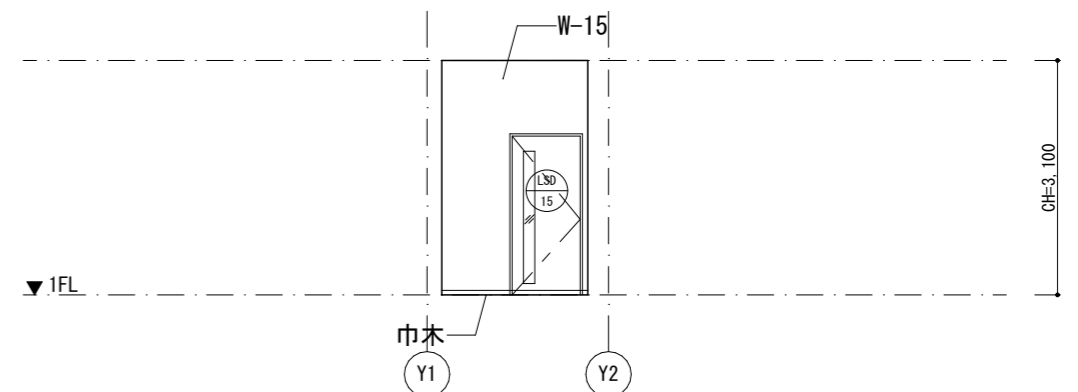
B



C



D

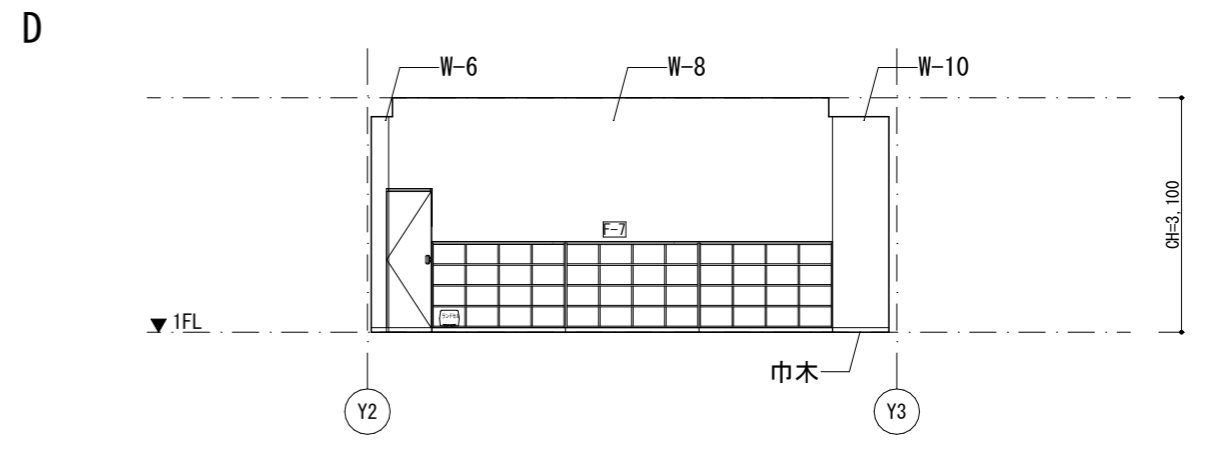
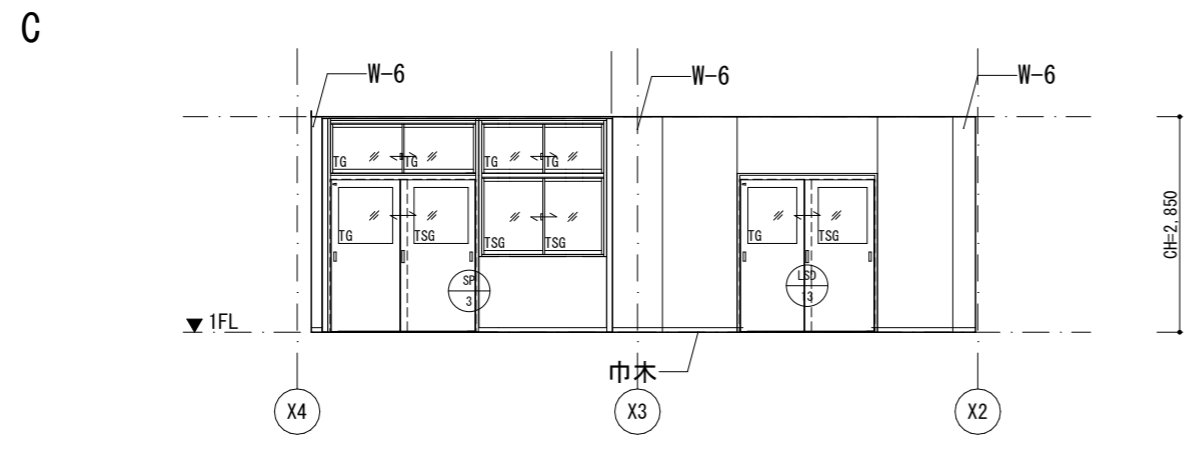
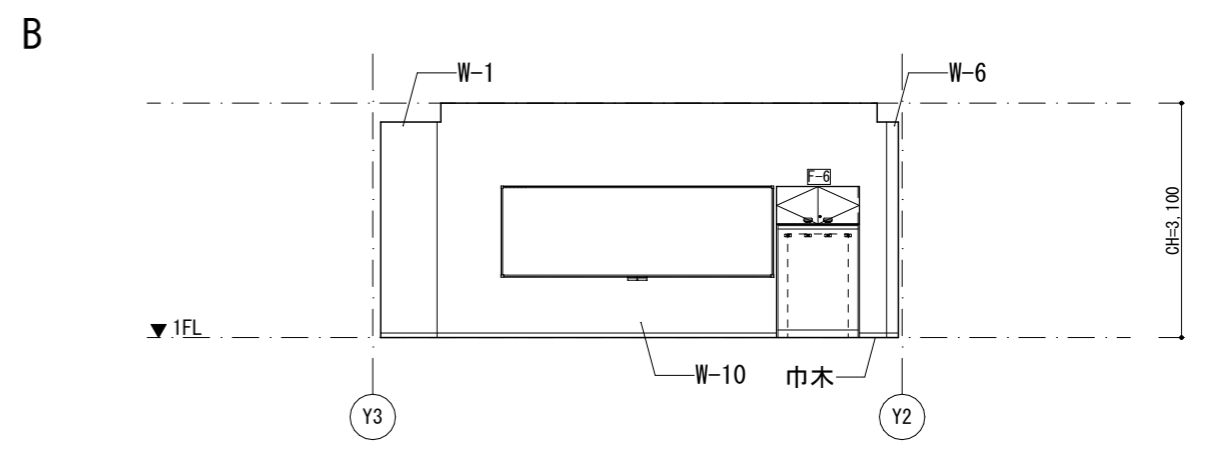
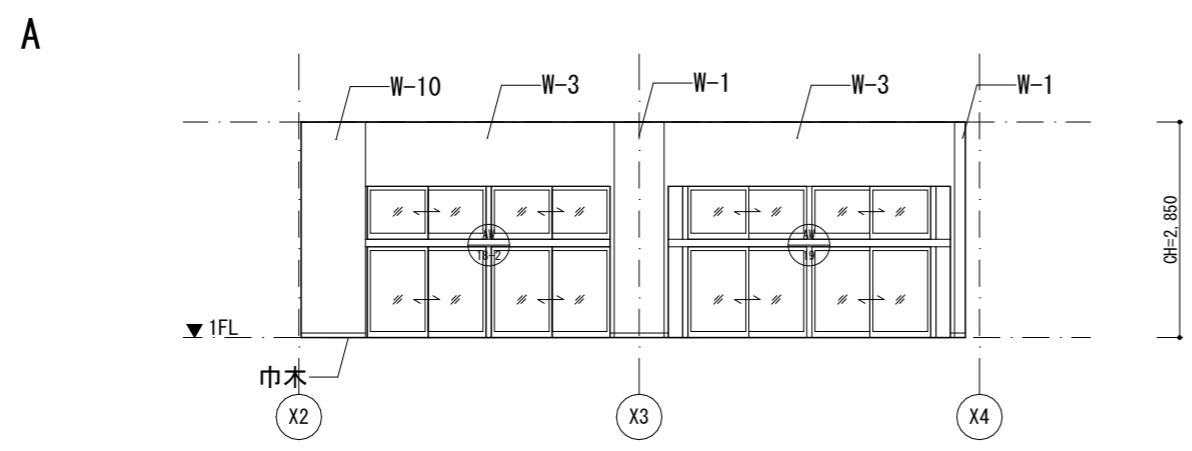




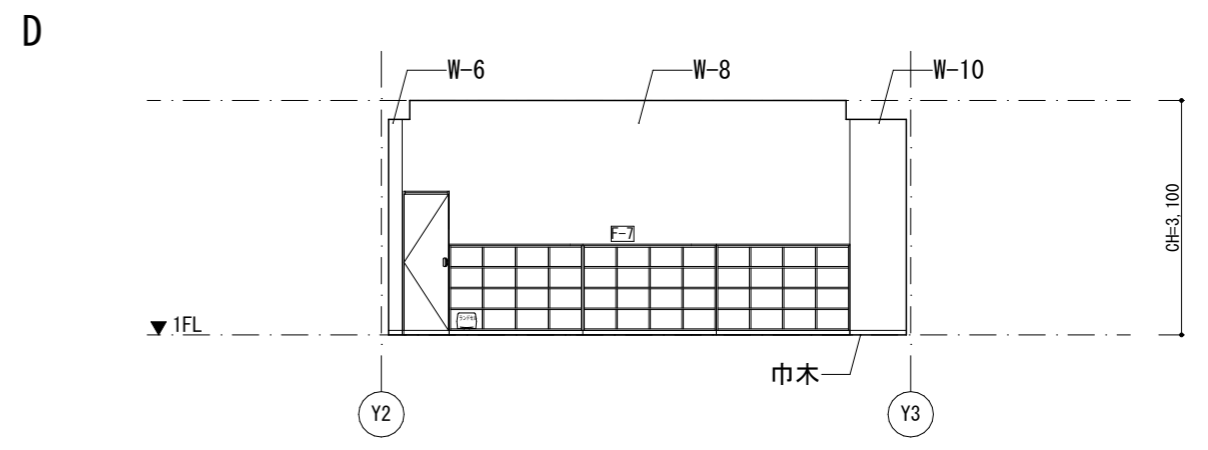
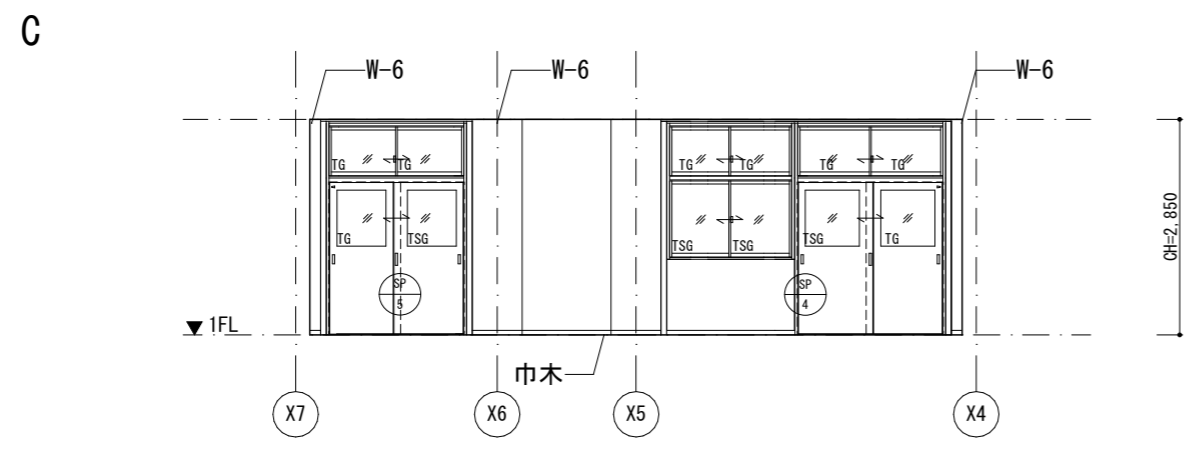
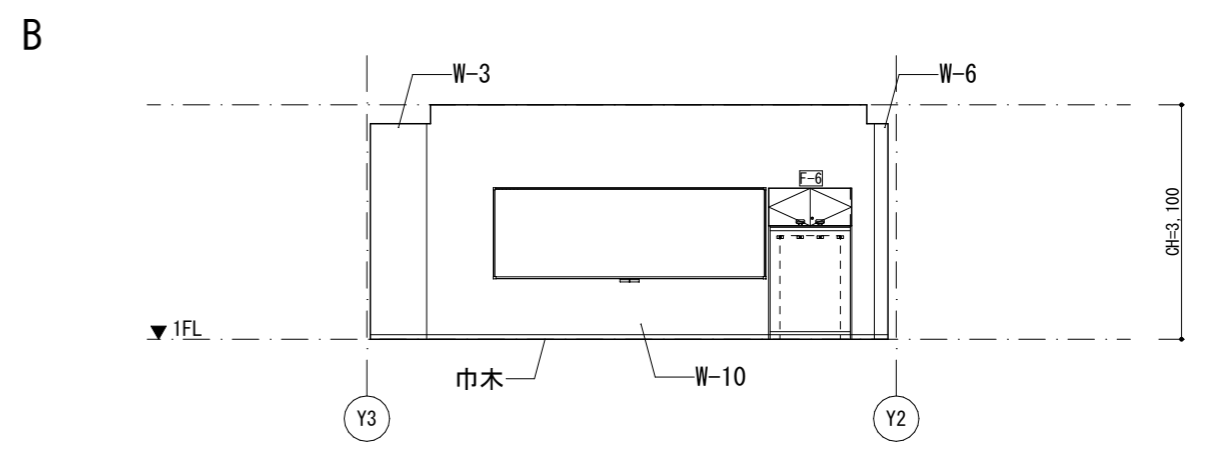
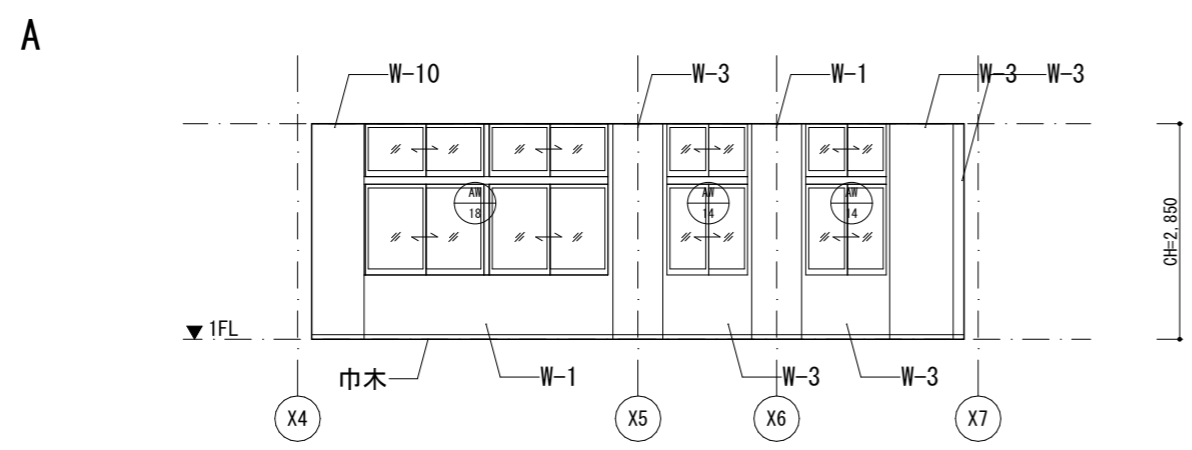


凡例	
壁 (W-1)	仕上げ EP塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -t' t=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき
壁 (W-2)	仕上げ EP塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -t' t=30+PBt=12.5/寒冷紗パテしごき
壁 (W-3)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地 (S0型)/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき
壁 (W-4)	仕上げ EP-G塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -t' t=30+耐水PBt=12.5/ケイ酸カルシウム板t=6.0
壁 (W-5)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=30/耐水PBt=12.5/ケイ酸カルシウム板t=6.0
壁 (W-6)	仕上げ EP塗装 下地 既存モルタル下地調整
壁 (W-7)	仕上げ EP-G塗装 下地 モルタル下地調整
壁 (W-8)	仕上げ 掲示のみ 下地 軽鉄下地/3mm合板t=9.0/
壁 (W-9)	仕上げ 下地
壁 (W-10)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき
壁 (W-11)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ケイ酸カルシウム板t=6.0
壁 (W-12)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地/耐火PBt=12.5+12.5/寒冷紗パテしごき
壁 (W-13)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=30/耐水PBt=12.5/ケイ酸カルシウム板t=6.0
壁 (W-14)	仕上げ 既存モルタル下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -t' t=30+PBt=12.5/木屑 <sup>®</sup> +3mm合板t=21/化粧有孔合板t=9
壁 (W-15)	仕上げ 既存のまま 下地 既存のまま
壁	仕上げ
壁	下地
壁	仕上げ
壁	下地

普通教室 5



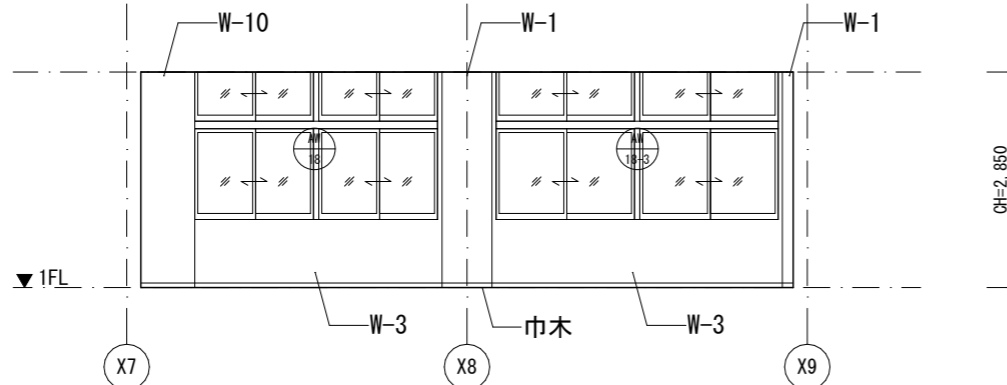
普通教室 6



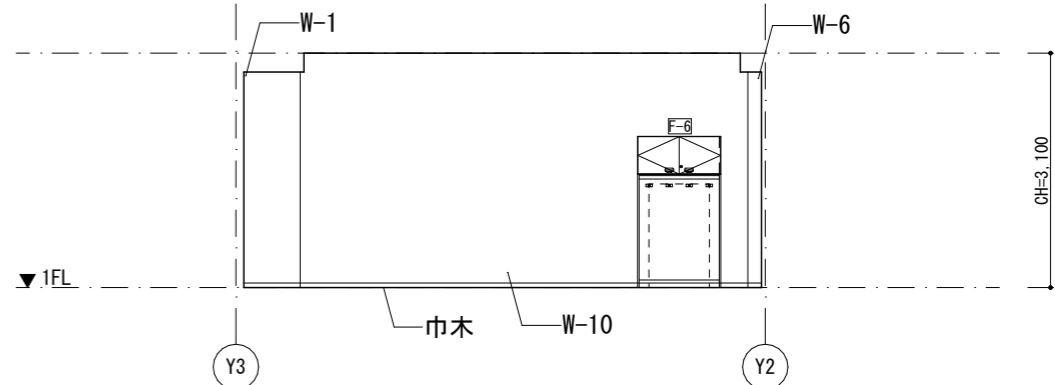
凡例	
壁 (W-1)	仕上げ EP塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタンボード t=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき
壁 (W-2)	仕上げ EP塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタンボード t=30+PBt=12.5/寒冷紗パテしごき
壁 (W-3)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地 (S0型)/ウレタンフォーム吹付 t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき
壁 (W-4)	仕上げ EP-G塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタンボード t=30+耐水PBt=12.5/ケイ酸カルシウム板 t=6.0
壁 (W-5)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付 t=30/耐水PBt=12.5/ケイ酸カルシウム板 t=6.0
壁 (W-6)	仕上げ EP塗装 下地 既存モルタル下地調整
壁 (W-7)	仕上げ EP-G塗装 下地 モルタル下地調整
壁 (W-8)	仕上げ 掲示クロス 下地 軽鉄下地/3mm合板 t=9.0/
壁 (W-9)	仕上げ 下地
壁 (W-10)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき
壁 (W-11)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ケイ酸カルシウム板 t=6.0
壁 (W-12)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地/耐火PBt=12.5+12.5/寒冷紗パテしごき
壁 (W-13)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付 t=30/耐水PBt=12.5/ケイ酸カルシウム板 t=6.0
壁 (W-14)	仕上げ 有効吸音版 t=9 (ヶ合板) 目透かし張 下地 既存モルタル下地調整/硬質ウレタンボード t=30+PBt=12.5/木屑繊維ガラス充填 t=21/化粧有孔合板 t=9
壁 (W-15)	仕上げ 既存のまま 下地 既存のまま
壁	仕上げ
壁	下地
壁	仕上げ
壁	下地

オープンスペース 4

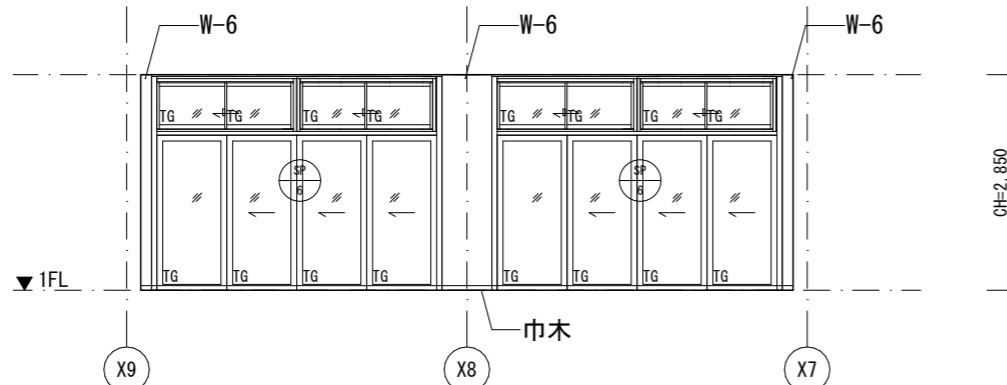
A



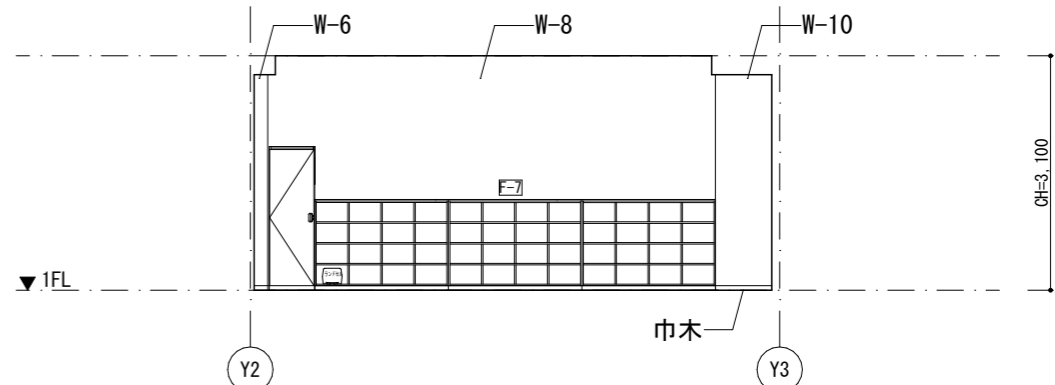
B



C

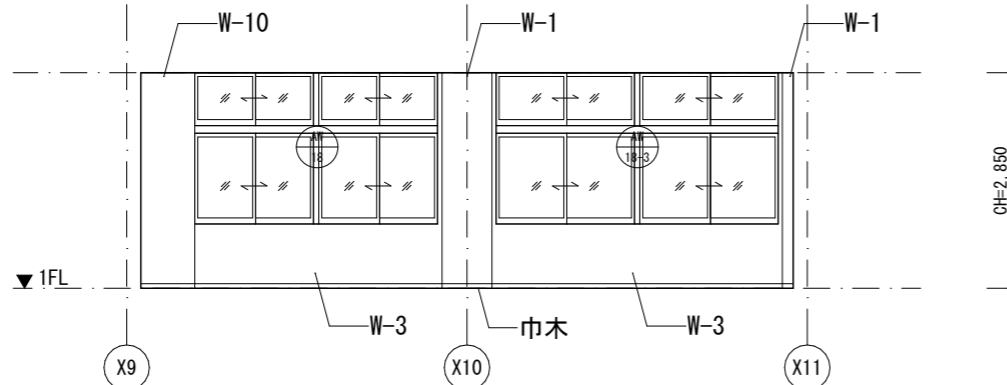


D

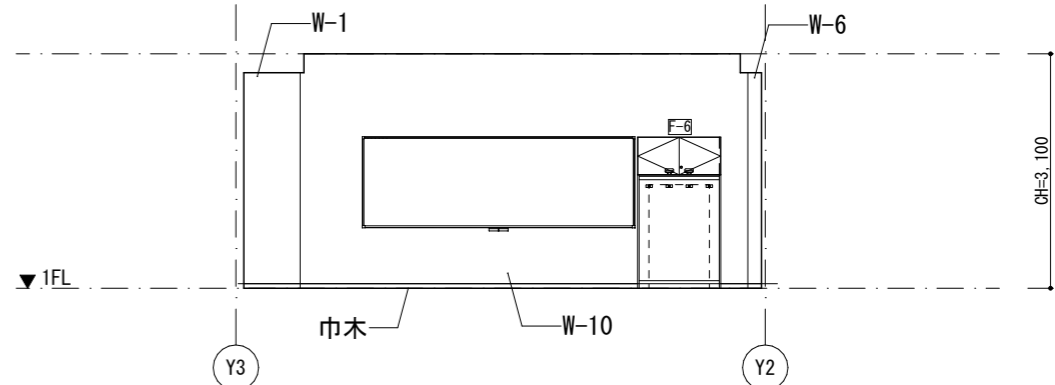


普通教室 7

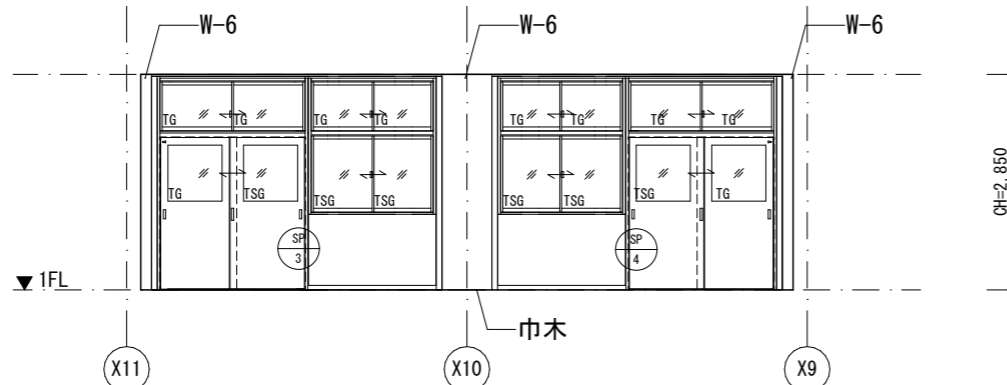
A



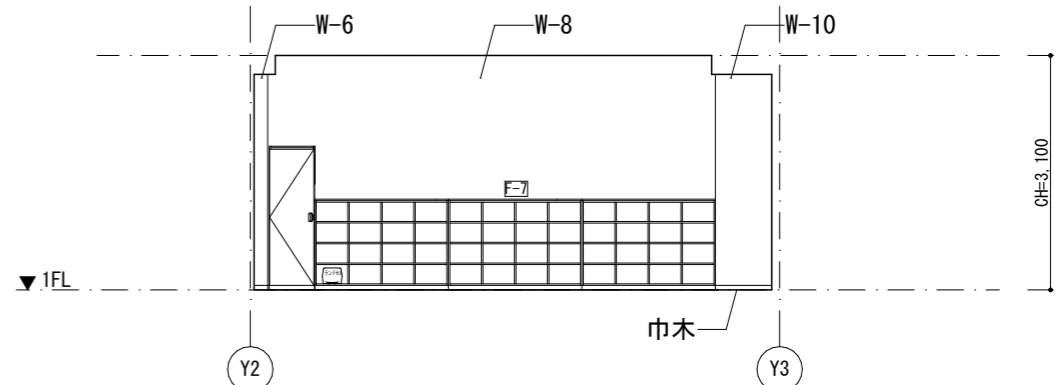
B



C

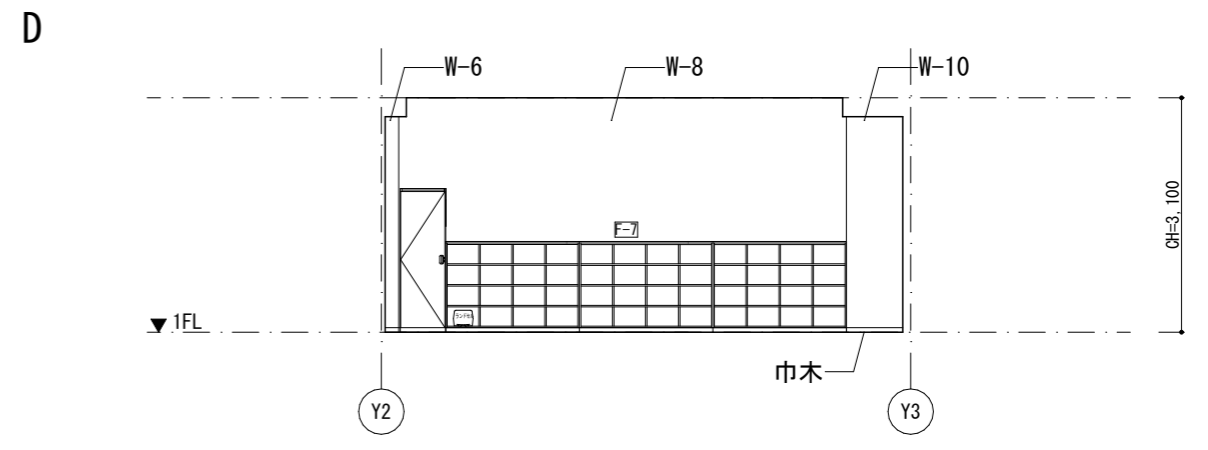
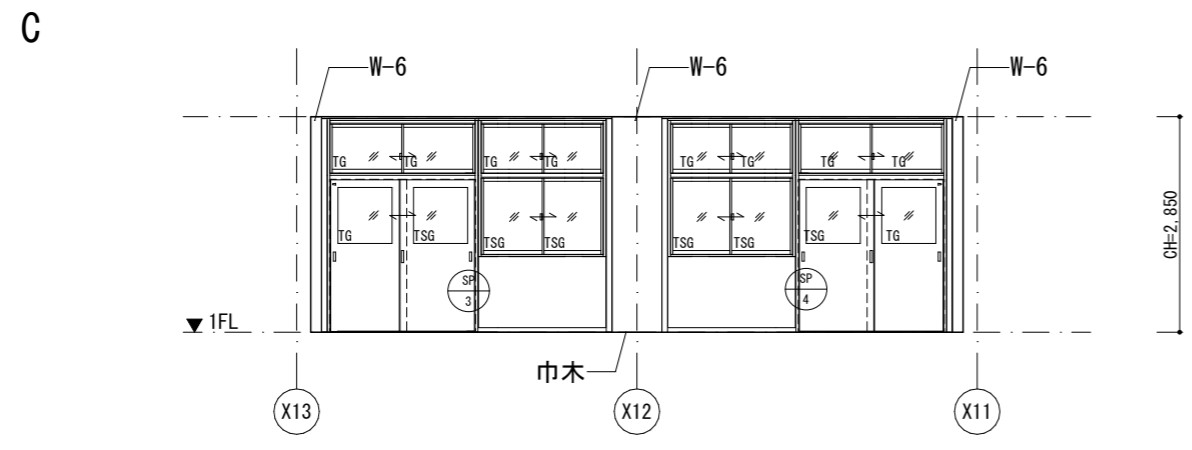
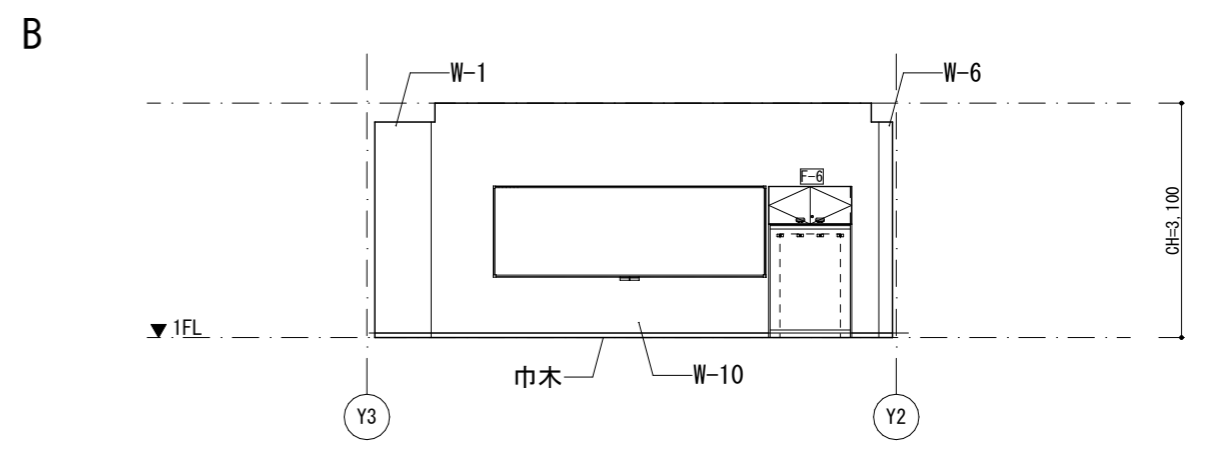
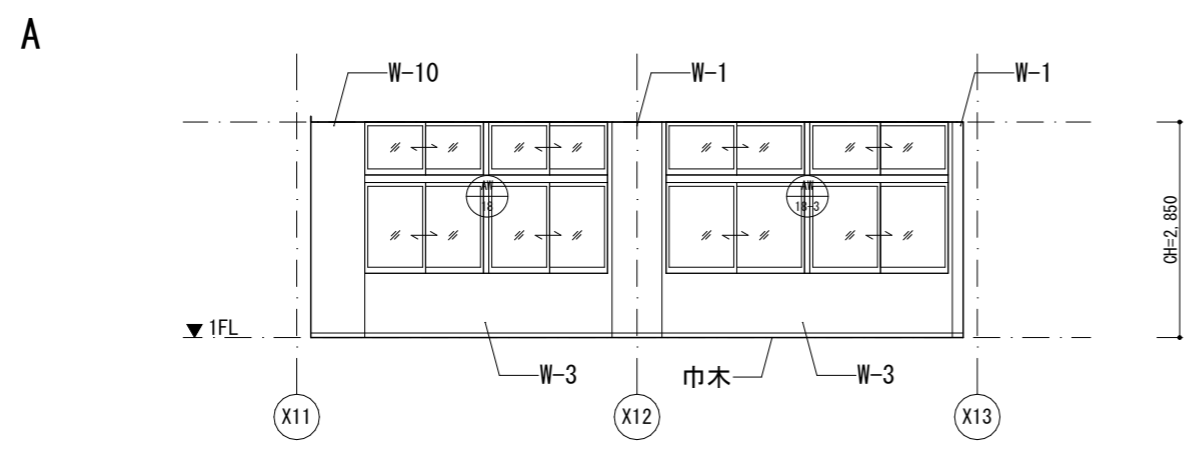


D

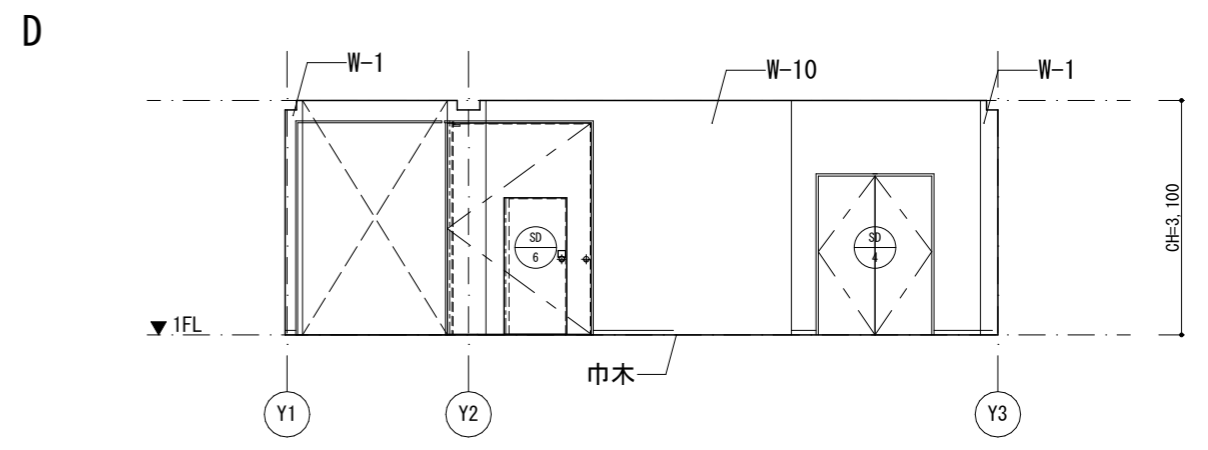
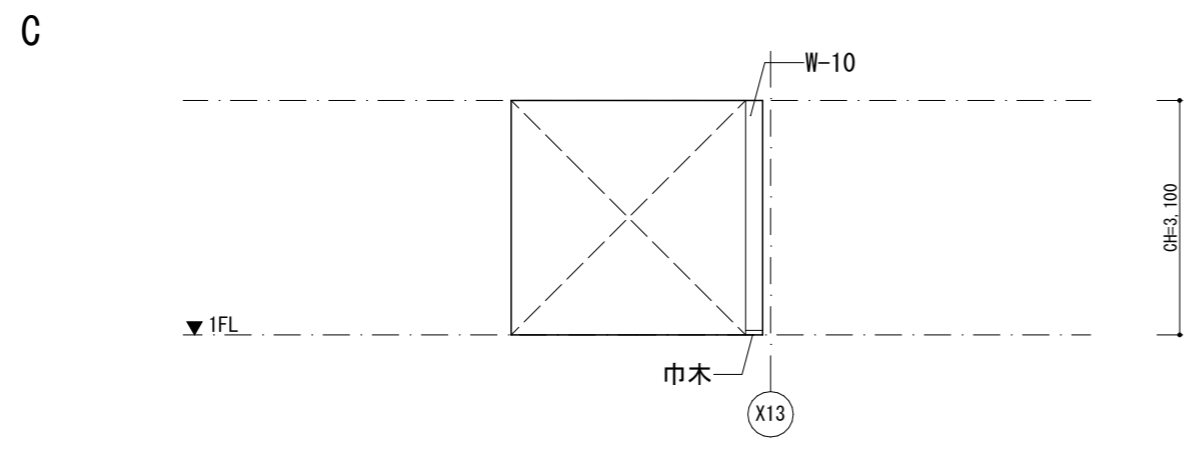
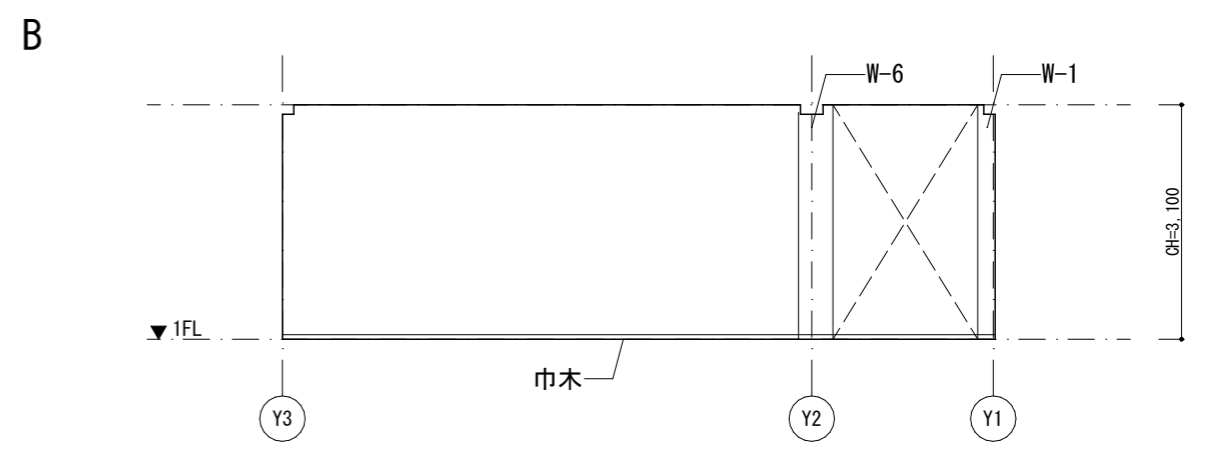
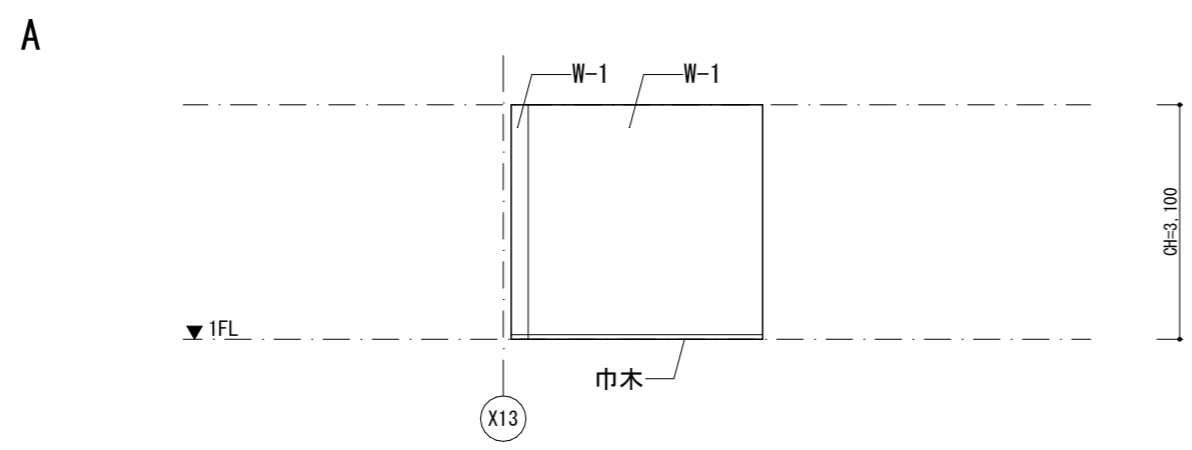


凡例	
壁 (W-1)	仕上げ EP塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -t' t=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき
壁 (W-2)	仕上げ EP塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -t' t=30+PBt=12.5/寒冷紗パテしごき
壁 (W-3)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地 (S0型)/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき
壁 (W-4)	仕上げ EP-G塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -t' t=30+耐水PBt=12.5/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=6.0
壁 (W-5)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=30/耐水PBt=12.5/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=6.0
壁 (W-6)	仕上げ EP塗装 下地 既存モルタル下地調整
壁 (W-7)	仕上げ EP-G塗装 下地 モルタル下地調整
壁 (W-8)	仕上げ 掲示クロス 下地 軽鉄下地/3/7合板t=9.0/
壁 (W-9)	仕上げ 下地
壁 (W-10)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき
壁 (W-11)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=6.0
壁 (W-12)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地/耐水PBt=12.5+12.5/寒冷紗パテしごき
壁 (W-13)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=30/耐水PBt=12.5/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=6.0
壁 (W-14)	仕上げ 有効吸音版t=9 (ウレタン <sup>®</sup> 合板) 目透かし張 下地 既存モルタル下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -t' t=30+PBt=12.5/木屑 <sup>®</sup> -3/3合板 <sup>®</sup> 充填t=21/化粧有孔合板t=9
壁 (W-15)	仕上げ 既存のまま 下地 既存のまま
壁	仕上げ
壁	下地
壁	仕上げ
壁	下地

普通教室 8

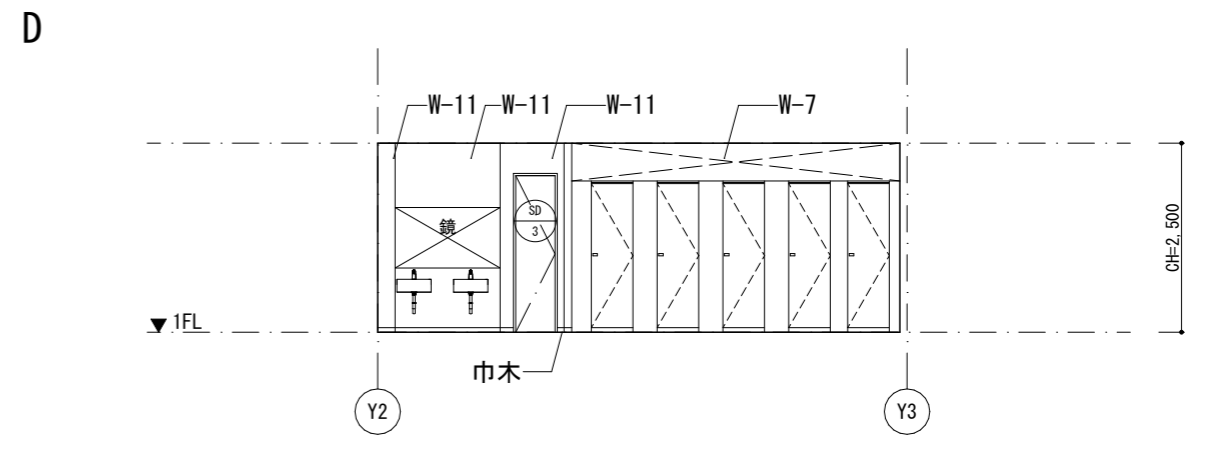
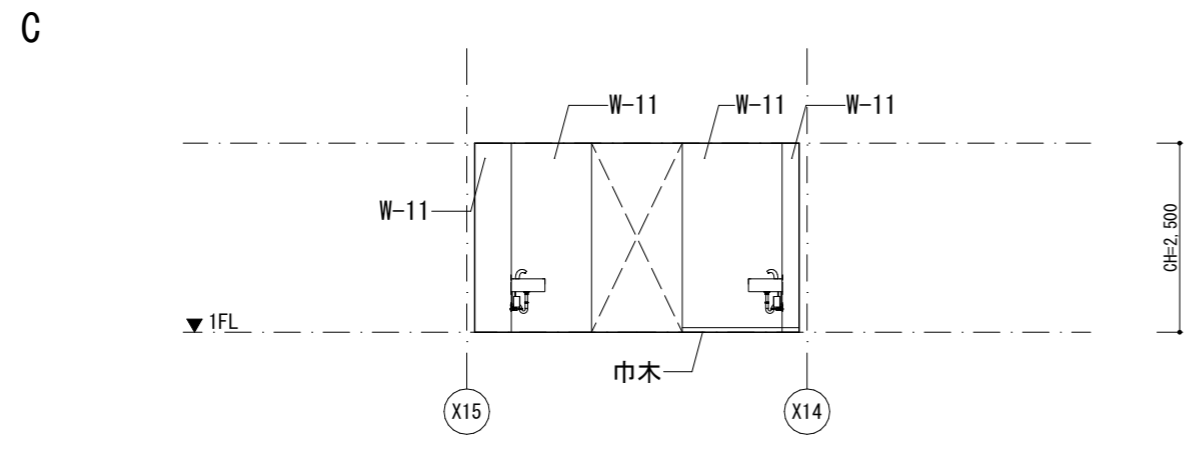
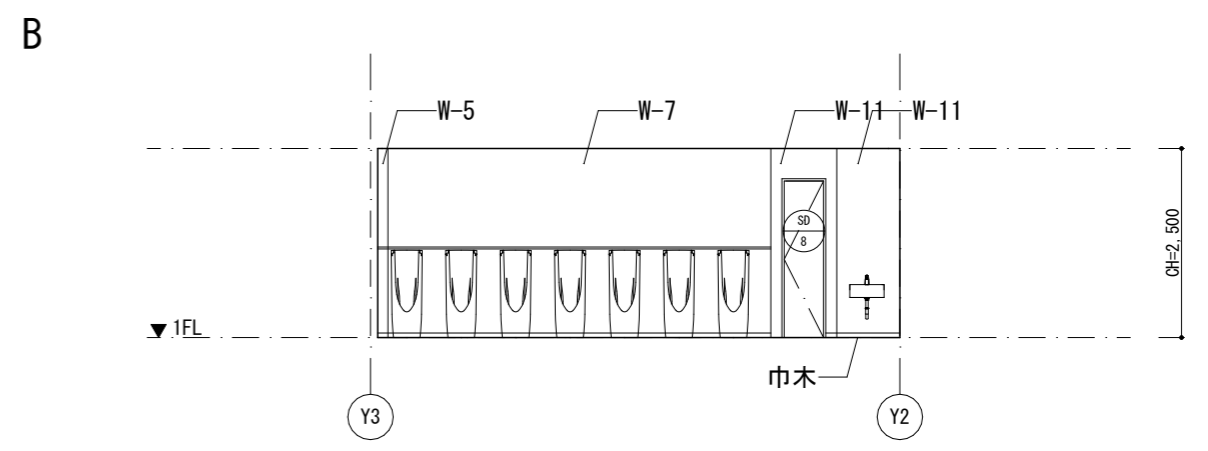
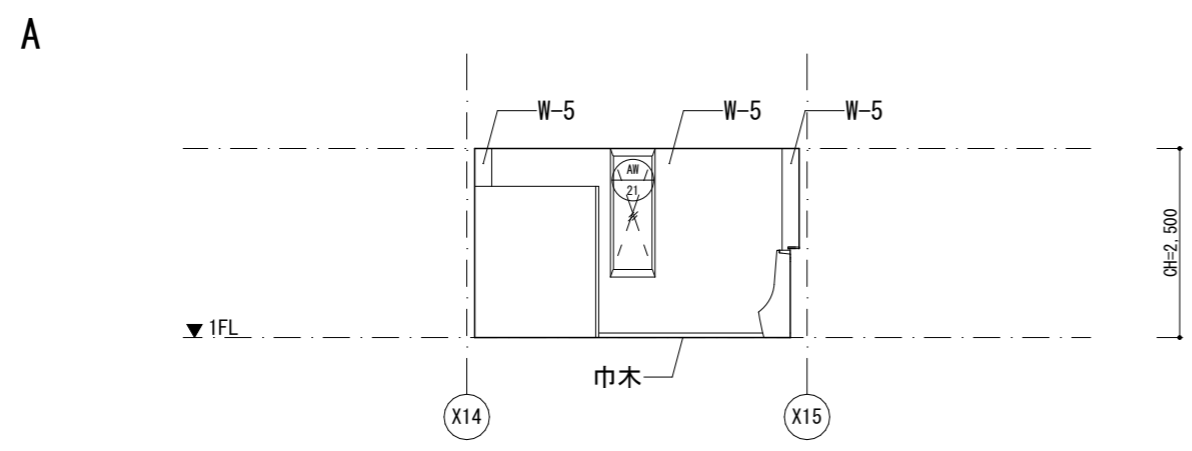


オープンスペース 5

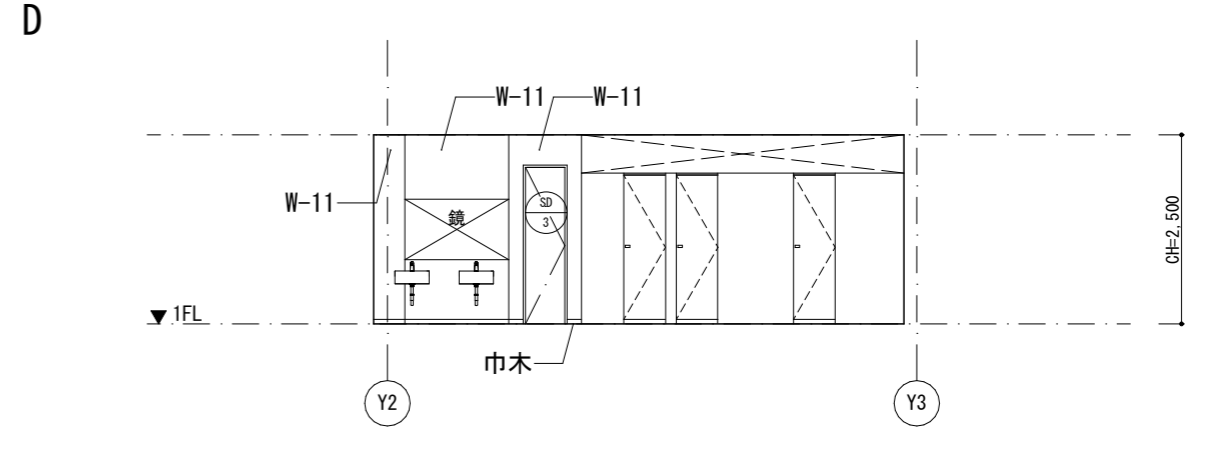
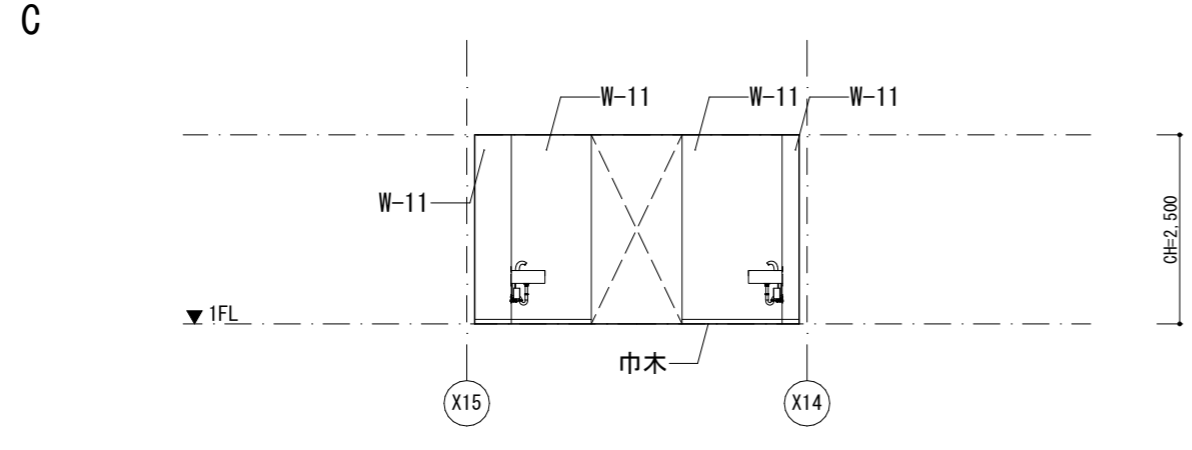
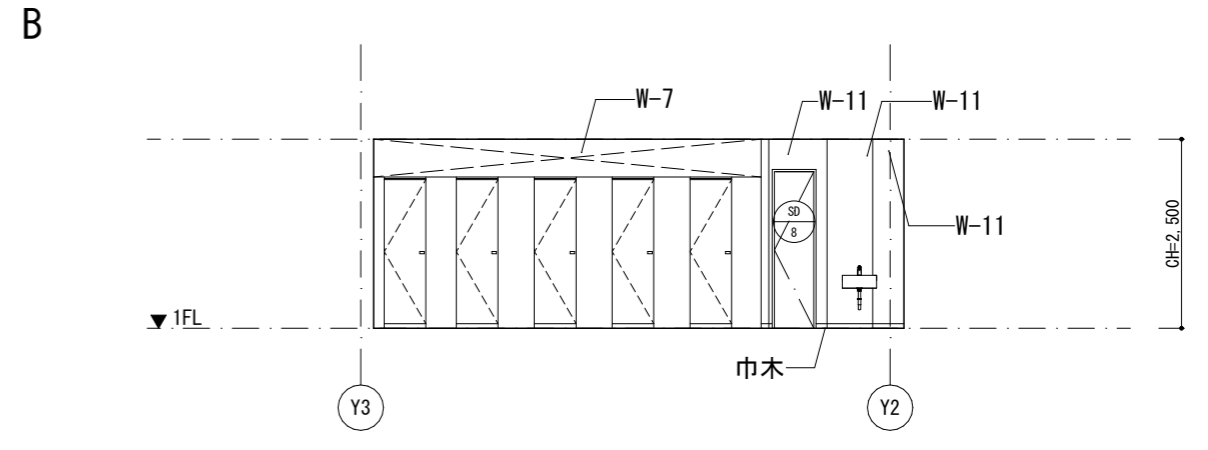
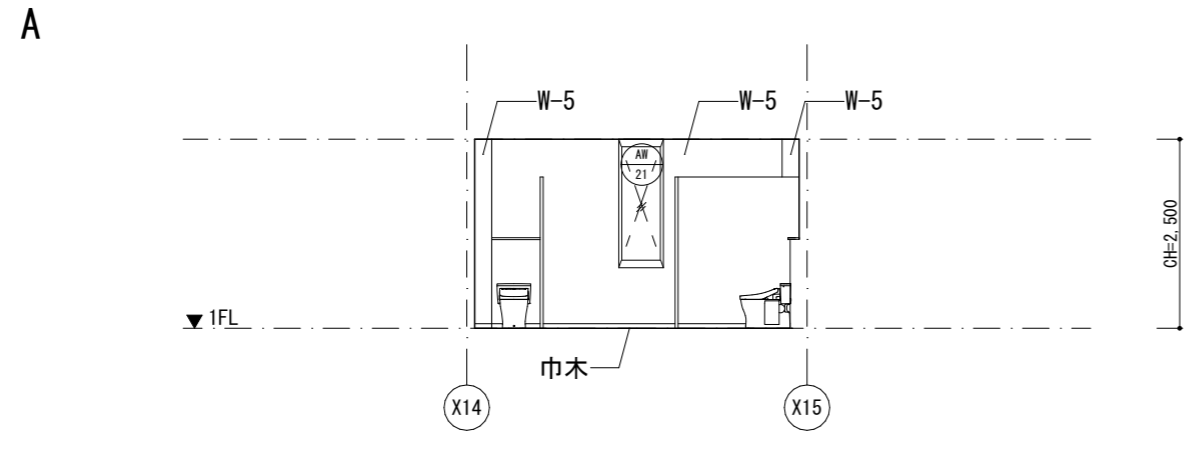


凡例	
壁 (W-1)	仕上げ EP塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -t' t=30+PBt=9.5/寒冷砂ハシごき
壁 (W-2)	仕上げ EP塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -t' t=30+PBt=12.5/寒冷砂ハシごき
壁 (W-3)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地 (S0型)/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷砂ハシごき
壁 (W-4)	仕上げ EP-G塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -t' t=30+耐水PBt=12.5/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=6.0
壁 (W-5)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=30/耐水PBt=12.5/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=6.0
壁 (W-6)	仕上げ EP塗装
壁 (W-7)	仕上げ EP-G塗装
壁 (W-8)	仕上げ 掲示クロス 下地 軽鉄下地/3mm合板t=9.0/
壁 (W-9)	仕上げ 下地
壁 (W-10)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷砂ハシごき
壁 (W-11)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=6.0
壁 (W-12)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地/耐水PBt=12.5+12.5/寒冷砂ハシごき
壁 (W-13)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=30/耐水PBt=12.5/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=6.0
壁 (W-14)	仕上げ 有効吸音版t=9 (メ合板)目透かし張 下地 既存 <sup>®</sup> 下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -t' t=30+PBt=12.5/木脚縁+3mm合板t=21/化粧有孔合板t=9
壁 (W-15)	仕上げ 既存のまま 下地 既存のまま
壁 (W-16)	仕上げ 下地
壁 (W-17)	仕上げ 下地

児童トイレ (男子)



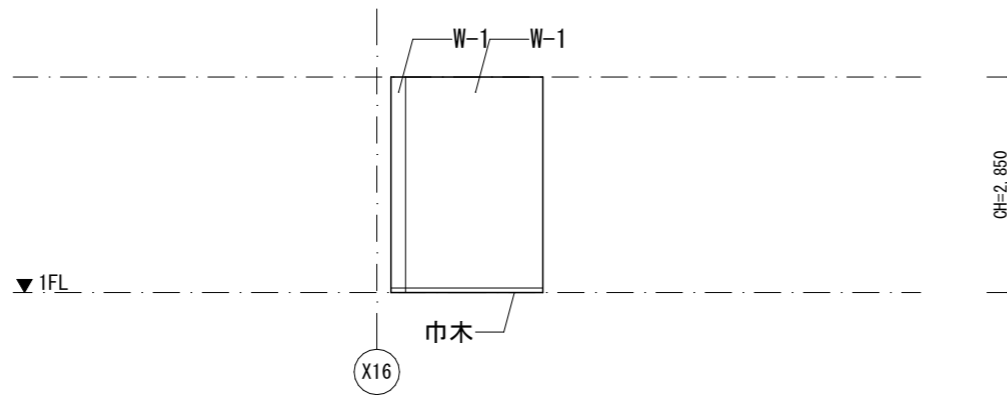
児童トイレ (女子)



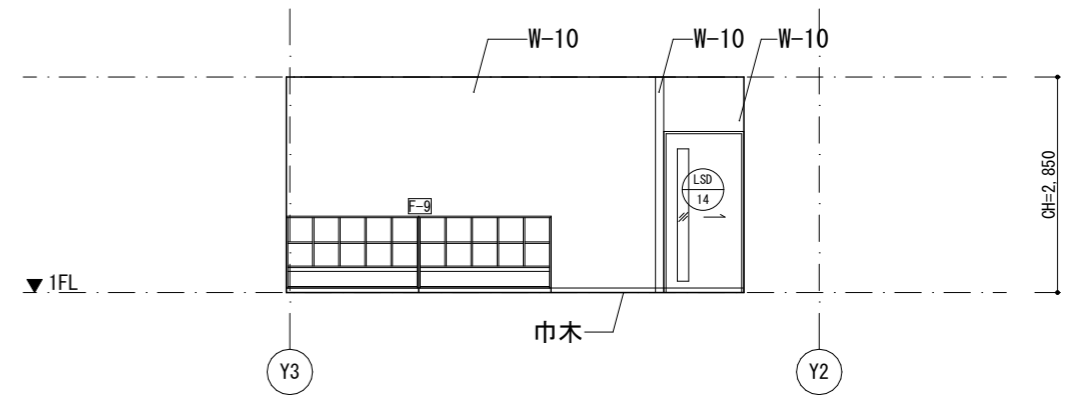
凡例	
壁 (W-1)	仕上げ EP塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -t' t=30+PBt=9.5/寒冷紗 <sup>®</sup> ハシごき
壁 (W-2)	仕上げ EP塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -t' t=30+PBt=12.5/寒冷紗 <sup>®</sup> ハシごき
壁 (W-3)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地 (S0型)/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷紗 <sup>®</sup> ハシごき
壁 (W-4)	仕上げ EP-G塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -t' t=30+耐水PBt=12.5/ケイ酸カルシウム板t=6.0
壁 (W-5)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=30/耐水PBt=12.5/ケイ酸カルシウム板t=6.0
壁 (W-6)	仕上げ EP塗装
壁 (W-7)	仕上げ EP-G塗装 下地 モルタル下地調整
壁 (W-8)	仕上げ 掲示のみ 下地 軽鉄下地/3mm合板t=9.0/
壁 (W-9)	仕上げ 下地
壁 (W-10)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗 <sup>®</sup> ハシごき
壁 (W-11)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ケイ酸カルシウム板t=6.0
壁 (W-12)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地/耐火PBt=12.5+12.5/寒冷紗 <sup>®</sup> ハシごき
壁 (W-13)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=30/耐水PBt=12.5/ケイ酸カルシウム板t=6.0
壁 (W-14)	仕上げ 既存のまま 下地 既存のまま
壁 (W-15)	仕上げ 既存のまま 下地 既存のまま

児童更衣室3

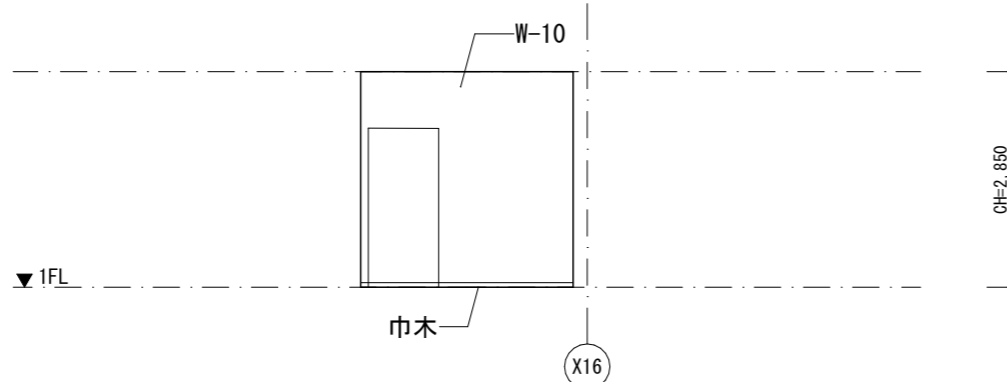
A



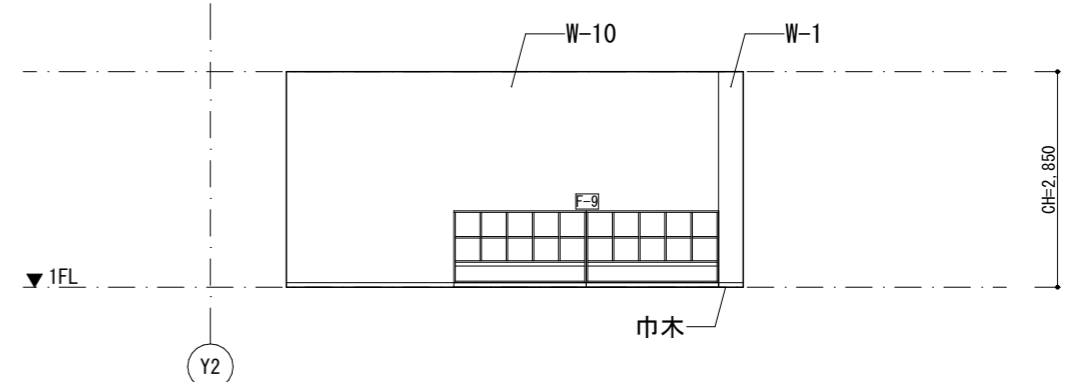
B



C

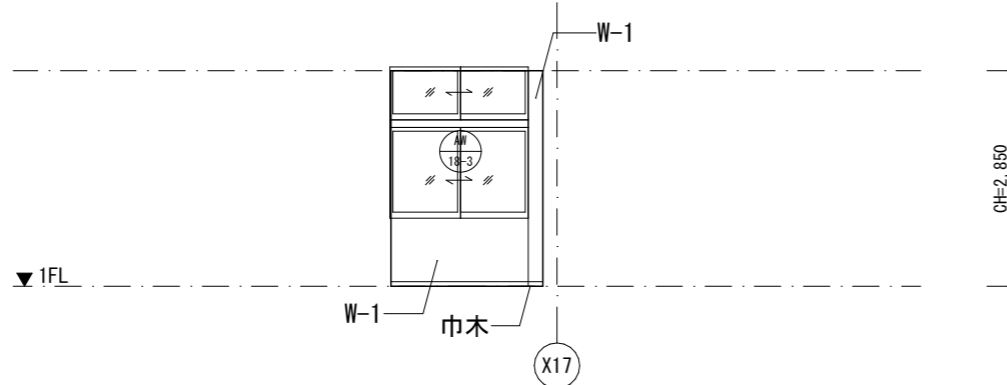


D

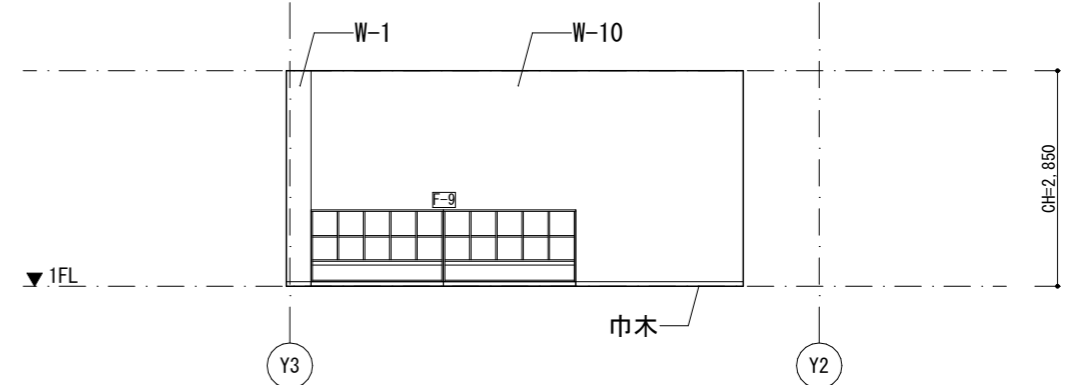


児童更衣室4

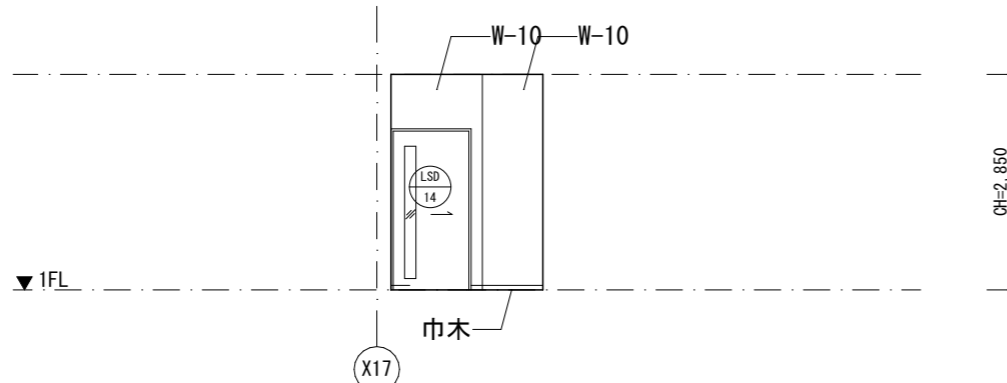
A



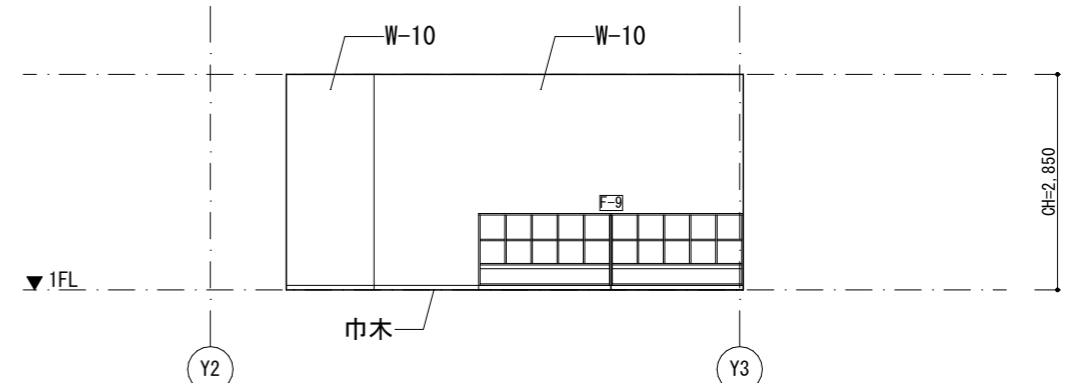
B



C



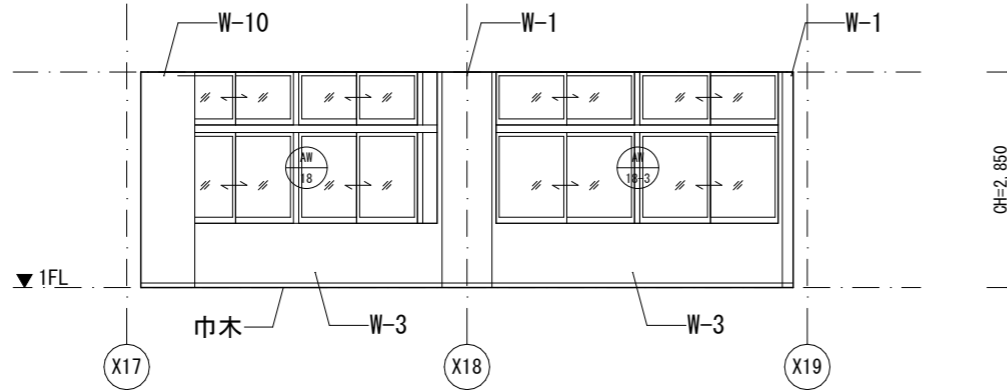
D



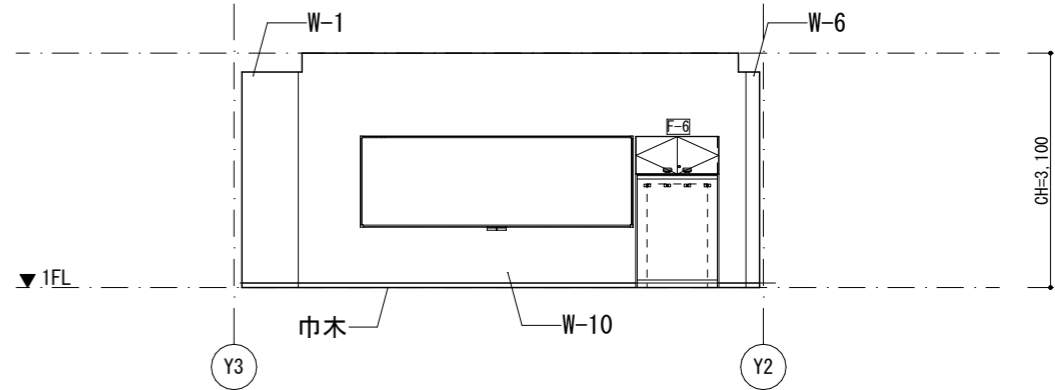
凡例	
壁 (W-1)	仕上げ EP塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -t' t=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき
壁 (W-2)	仕上げ EP塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -t' t=30+PBt=12.5/寒冷紗パテしごき
壁 (W-3)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地 (S0型)/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき
壁 (W-4)	仕上げ EP-G塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -t' t=30+耐水PBt=12.5/ケイ酸加水板t=6.0
壁 (W-5)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=30/耐水PBt=12.5/ケイ酸加水板t=6.0
壁 (W-6)	仕上げ EP塗装
壁 (W-7)	仕上げ EP-G塗装 下地 モルタル下地調整
壁 (W-8)	仕上げ 掲示クロス 下地 軽鉄下地/3mm合板t=9.0/
壁 (W-9)	仕上げ 下地
壁 (W-10)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき
壁 (W-11)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ケイ酸加水板t=6.0
壁 (W-12)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地/耐水PBt=12.5+12.5/寒冷紗パテしごき
壁 (W-13)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=30/耐水PBt=12.5/ケイ酸加水板t=6.0
壁 (W-14)	仕上げ 有効吸音版t=9 (ヶ合板) 目透かし張 下地 既存モルタル下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -t' t=30+PBt=12.5/木綿織+グラスウール充填t=21/化粧有孔合板t=9
壁 (W-15)	仕上げ 既存のまま 下地 既存のまま
壁	仕上げ
壁	下地
壁	仕上げ
壁	下地

少人数教室 1

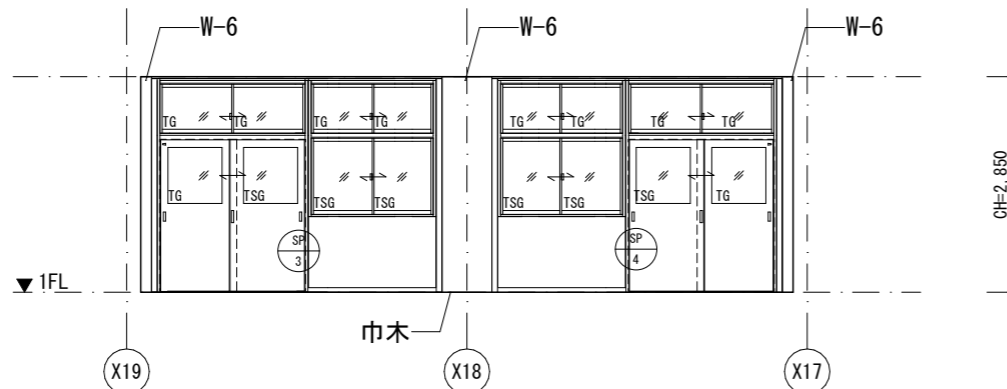
A



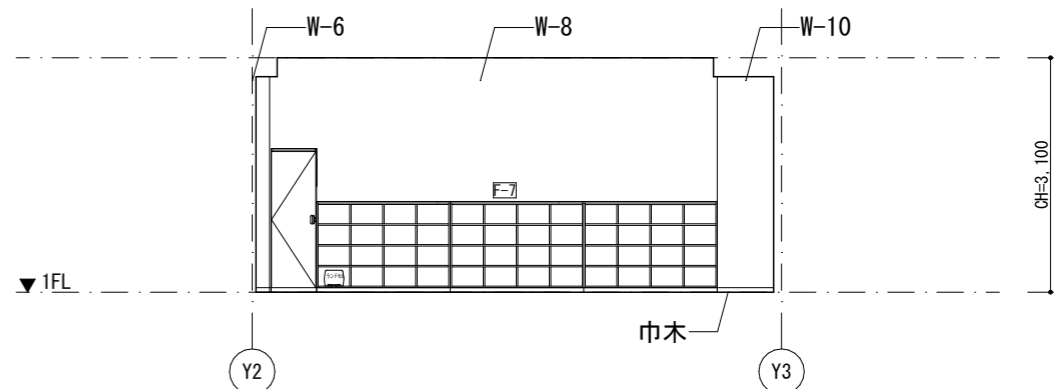
B



C

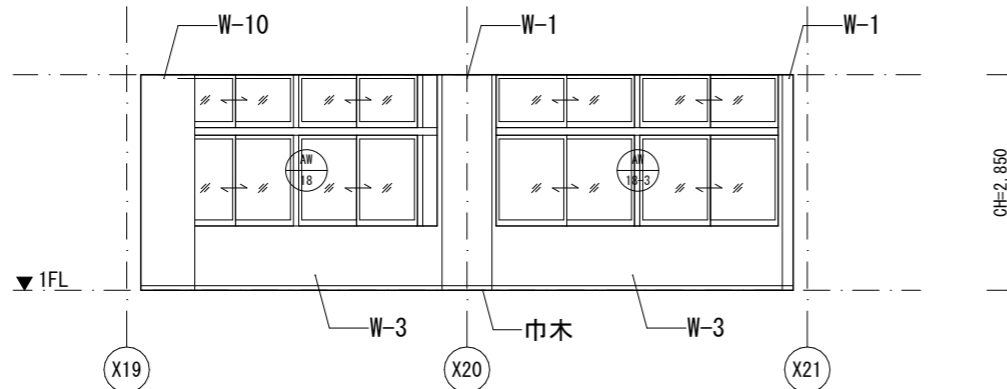


D

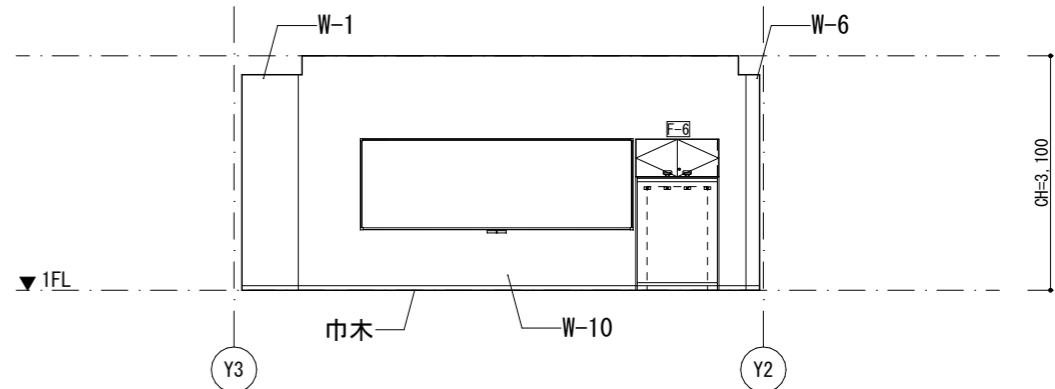


少人数教室 2

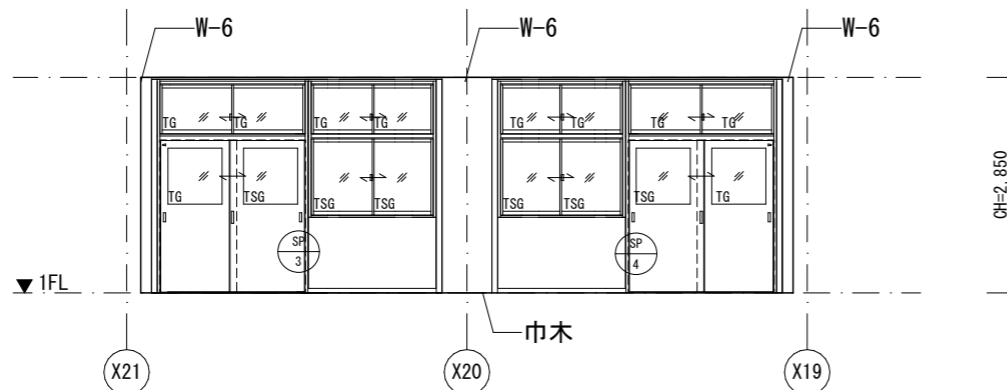
A



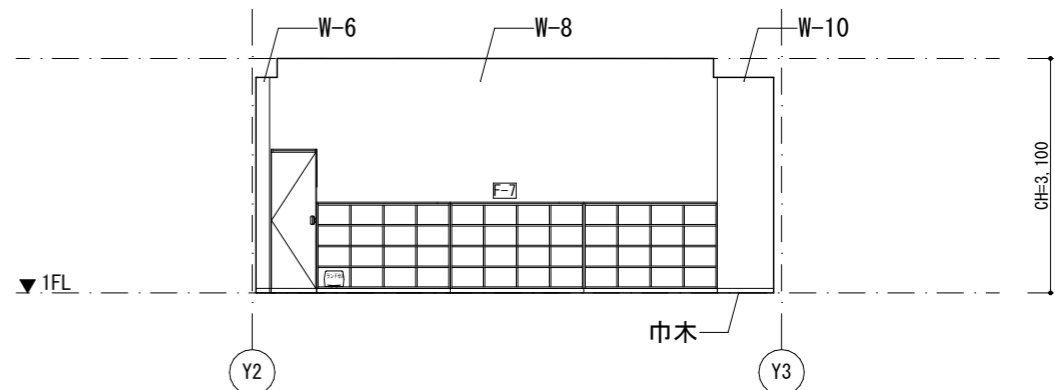
B



C

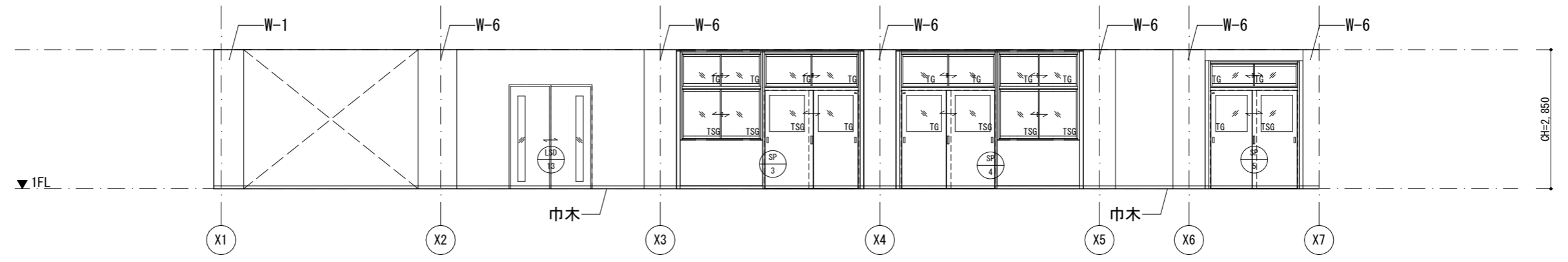


D

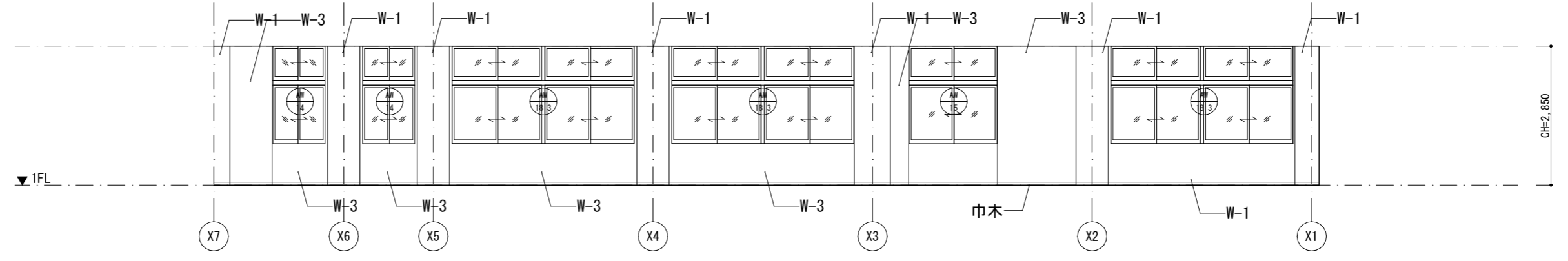


凡例	
壁 (W-1)	仕上げ EP塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタンフォーム t=30 +PBt=9.5/寒冷紗/
壁 (W-2)	仕上げ EP塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタンフォーム t=30+PBt=12.5/寒冷紗/ハシごき
壁 (W-3)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地 (S0型)/ウレタンフォーム吹付 t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷紗/ハシごき/
壁 (W-4)	仕上げ EP-G塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタンフォーム t=30+耐水PBt=12.5/ウレタンフォーム吹付 t=6.0
壁 (W-5)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付 t=30/耐水PBt=12.5/ウレタンフォーム吹付 t=6.0
壁 (W-6)	仕上げ EP塗装 下地 既存モルタル下地調整
壁 (W-7)	仕上げ EP-G塗装 下地 モルタル下地調整
壁 (W-8)	仕上げ 掲示のみ 下地 軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付 t=9.0/
壁 (W-9)	仕上げ 下地
壁 (W-10)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗/ハシごき
壁 (W-11)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ウレタンフォーム吹付 t=6.0
壁 (W-12)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地/耐火PBt=12.5+12.5/寒冷紗/ハシごき
壁 (W-13)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付 t=30/耐水PBt=12.5/ウレタンフォーム吹付 t=6.0
壁 (W-14)	仕上げ 有効吸音版 t=9 (ウレタンフォーム) 目透かし張 下地 既存モルタル下地調整/硬質ウレタンフォーム t=30+PBt=12.5/木綿繊維ガラス繊維充填 t=21/化粧有孔合板 t=9
壁 (W-15)	仕上げ 既存のまま 下地 既存のまま
壁	仕上げ
壁	下地
壁	仕上げ
壁	下地

A

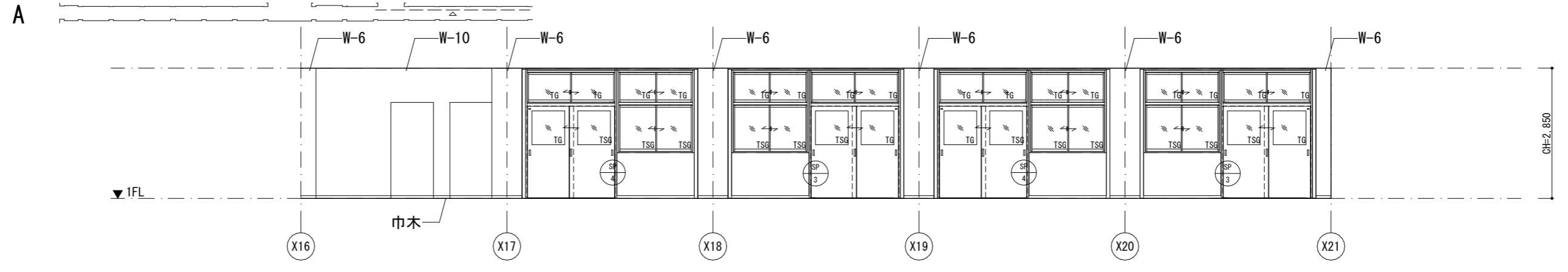
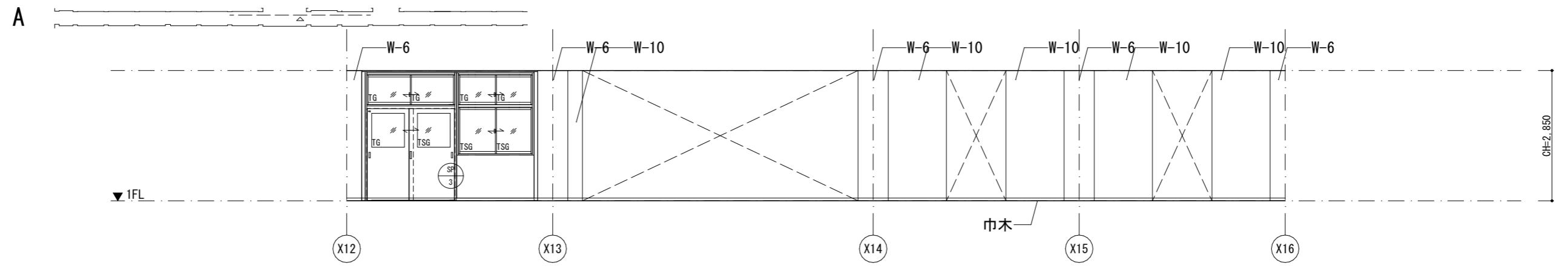
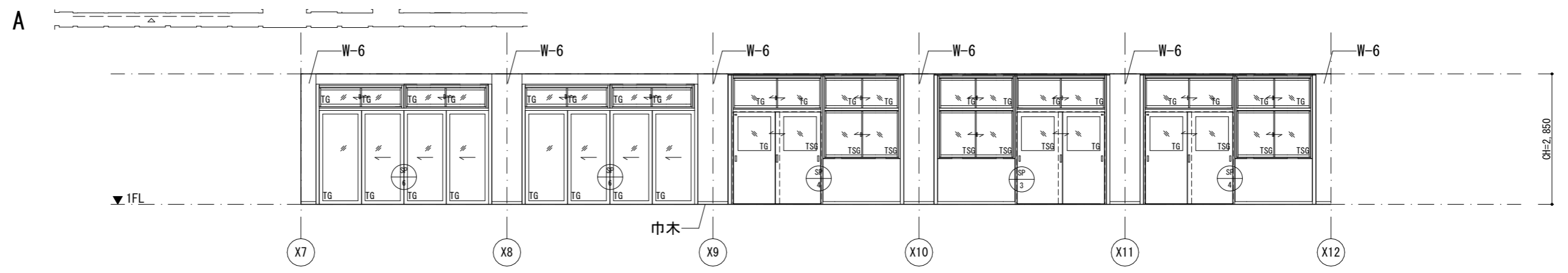


C



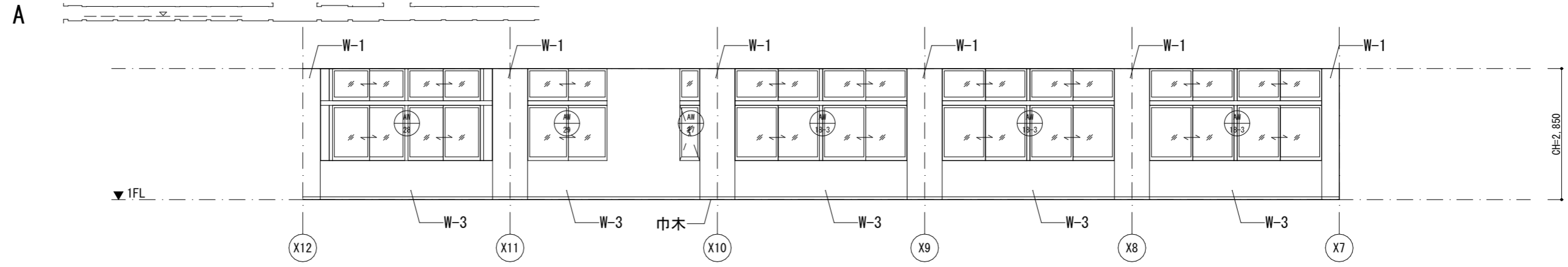
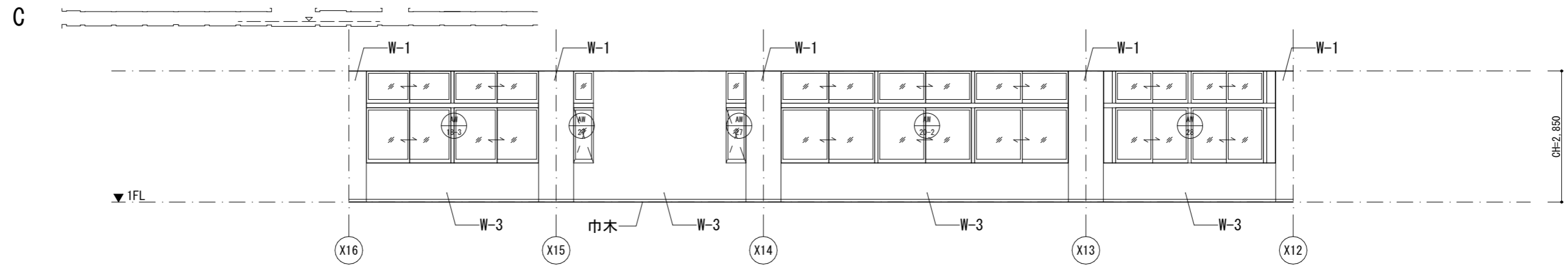
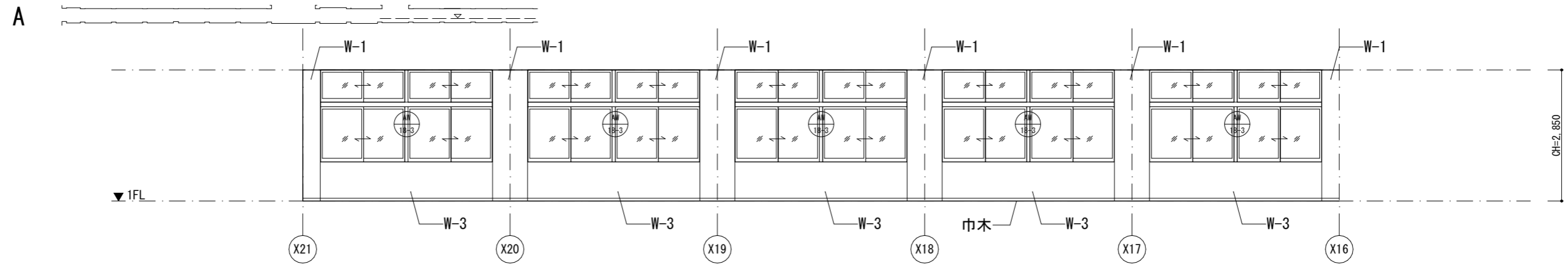
備考	月日	月日	月日	月日	株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤 信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事 (建築工事)	図番	A	A-129
	月日	月日	月日	月日	1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	監修	佐藤 信	監製	松浦 尚亮	展開図	展開図39	縮尺	1/50 (A1) 1/100 (A3)	

凡例	
壁 (W-1)	仕上げ EP塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタンボード t=30 +PBt=9.5/寒冷紗パテしごき
壁 (W-2)	仕上げ EP塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタンボード t=30+PBt=12.5/寒冷紗パテしごき
壁 (W-3)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地 (S0型)/ウレタンフォーム吹付 t=30/ PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき
壁 (W-4)	仕上げ EP-G塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタンボード t=30+ 耐水PBt=12.5/ウレタンフォーム吹付 t=6.0
壁 (W-5)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付 t=30/ 耐水PBt=12.5/ウレタンフォーム吹付 t=6.0
壁 (W-6)	仕上げ EP塗装 下地 既存モルタル下地調整
壁 (W-7)	仕上げ EP-G塗装 下地 モルタル下地調整
壁 (W-8)	仕上げ 掲示のみ 下地 軽鉄下地/3mm合板 t=9.0/
壁 (W-9)	仕上げ 下地
壁 (W-10)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/ 寒冷紗パテしごき
壁 (W-11)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ ウレタンフォーム吹付 t=6.0
壁 (W-12)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地/耐水PBt=12.5+12.5/ 寒冷紗パテしごき
壁 (W-13)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付 t=30/ 耐水PBt=12.5/ウレタンフォーム吹付 t=6.0
壁 (W-14)	仕上げ 有効吸音版 t=9 (シ合板) 目透かし張 下地 既存モルタル下地調整/ 硬質ウレタンボード t=30+PBt=12.5/ 木綿織+グラスウール充填 t=21/ 化粧有孔合板 t=9
壁 (W-15)	仕上げ 既存のまま 下地 既存のまま



備考	月日	月日	月日	月日	株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤 信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A	A-130
	月日	月日	月日	月日	1級建築士 佐藤 信 第362177号 1級建築士事務所 第1-60097号	監修	佐藤 信	監製	松浦 尚亮	図面内容	展開図40	縮尺	1/50 (A1) 1/100 (A3)	

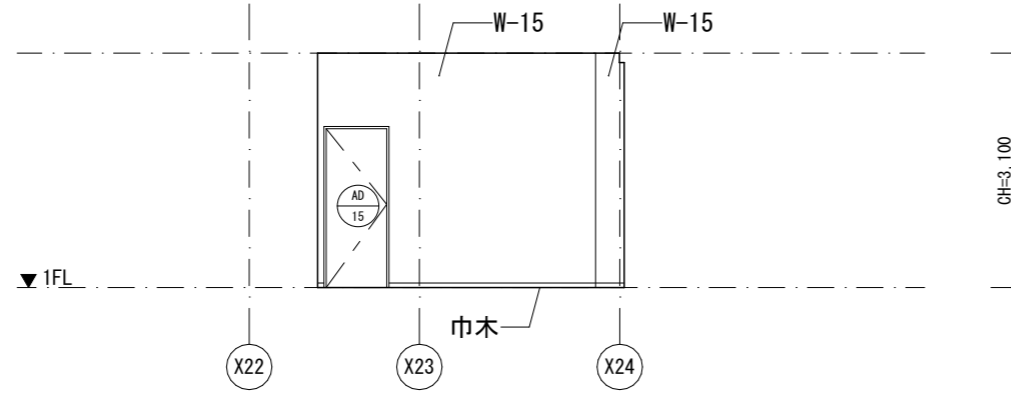
凡例	
壁 (W-1)	仕上げ EP塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタンボード t=30 +PBt=9.5/寒冷紗/
壁 (W-2)	仕上げ EP塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタンボード t=30+PBt=12.5/寒冷紗/ハネしごき
壁 (W-3)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地 (S0型)/ウレタンフォーム吹付 t=30/ PBt=12.5+9.5/寒冷紗/ハネしごき/
壁 (W-4)	仕上げ EP-G塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタンボード t=30+ 耐水PBt=12.5/ウレタンフォーム吹付 t=6.0
壁 (W-5)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付 t=30/ 耐水PBt=12.5/ウレタンフォーム吹付 t=6.0
壁 (W-6)	仕上げ EP塗装
壁 (W-7)	下地 既存モルタル下地調整
壁 (W-8)	仕上げ 掲示あり 下地 軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付 t=9.0/
壁 (W-9)	仕上げ 下地
壁 (W-10)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/ 寒冷紗/ハネしごき
壁 (W-11)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ ウレタンフォーム吹付 t=6.0
壁 (W-12)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地/耐水PBt=12.5+12.5/ 寒冷紗/ハネしごき
壁 (W-13)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付 t=30/ 耐水PBt=12.5/ウレタンフォーム吹付 t=6.0
壁 (W-14)	仕上げ 有効吸音版 t=9 (ウレタンフォーム) 目透かし張 下地 既存モルタル下地調整/ 硬質ウレタンボード t=30+PBt=12.5/ 木綿織布+グラスウール充填 t=21/ 化粧有孔合板 t=9
壁 (W-15)	仕上げ 既存のまま 下地 既存のまま



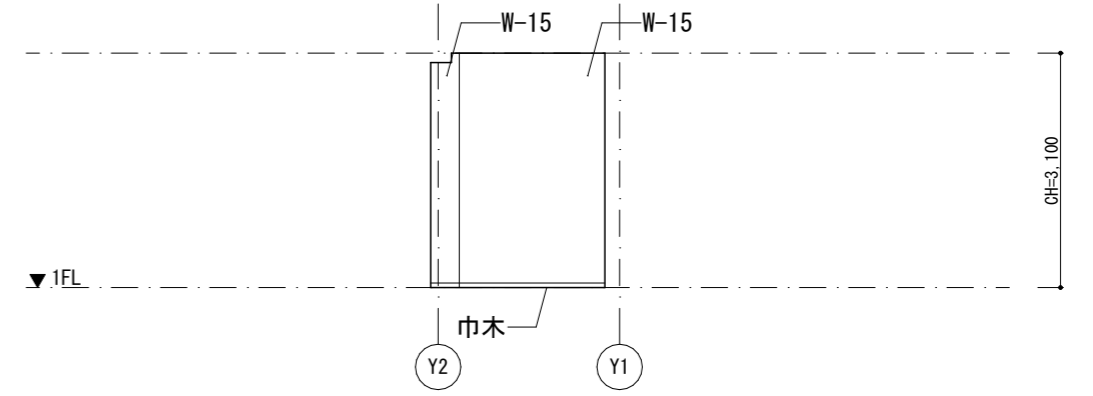
凡例	
壁 (W-1)	仕上げ EP塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタンボード t=30 +PBt=9.5/寒冷紗パテしごき
壁 (W-2)	仕上げ EP塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタンボード t=30+PBt=12.5/寒冷紗パテしごき
壁 (W-3)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地 (S0型)/ウレタンフォーム吹付 t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき
壁 (W-4)	仕上げ EP-G塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタンボード t=30+耐水PBt=12.5/ウレタンフォーム吹付 t=6.0
壁 (W-5)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付 t=30/耐水PBt=12.5/ウレタンフォーム吹付 t=6.0
壁 (W-6)	仕上げ EP塗装
壁 (W-7)	仕上げ EP-G塗装 下地 モルタル下地調整
壁 (W-8)	仕上げ 掲示のみ 下地 軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付 t=9.0/
壁 (W-9)	仕上げ 下地
壁 (W-10)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき
壁 (W-11)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ウレタンフォーム吹付 t=6.0
壁 (W-12)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地/耐火PBt=12.5+12.5/寒冷紗パテしごき
壁 (W-13)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付 t=30/耐水PBt=12.5/ウレタンフォーム吹付 t=6.0
壁 (W-14)	仕上げ 既存モルタル下地調整/硬質ウレタンボード t=30+PBt=12.5/木屑+グラスウール充填 t=21/化粧有孔合板 t=9
壁 (W-15)	仕上げ 既存のまま 下地 既存のまま
壁	仕上げ
壁	下地
壁	仕上げ
壁	下地

倉庫

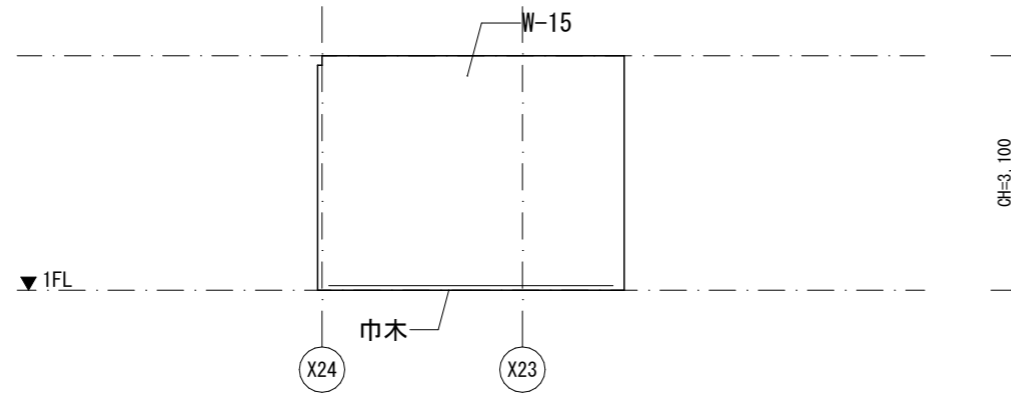
A



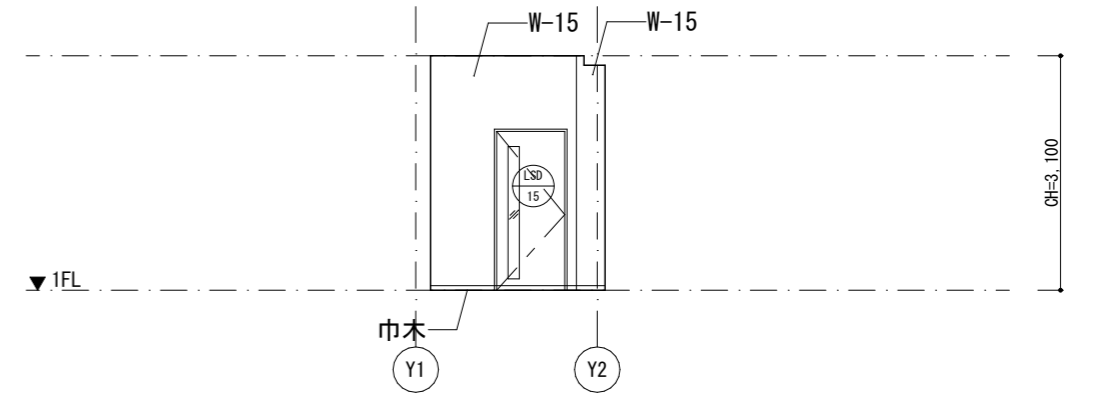
B



C

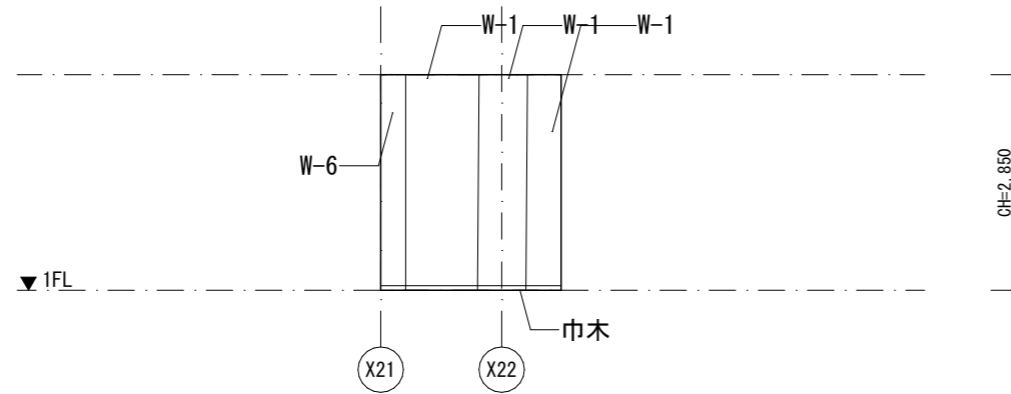


D

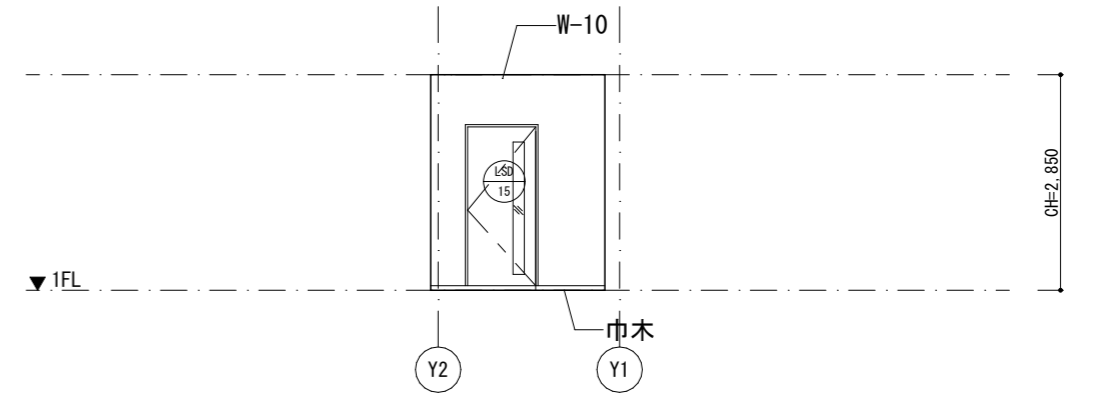


廊下 3-1

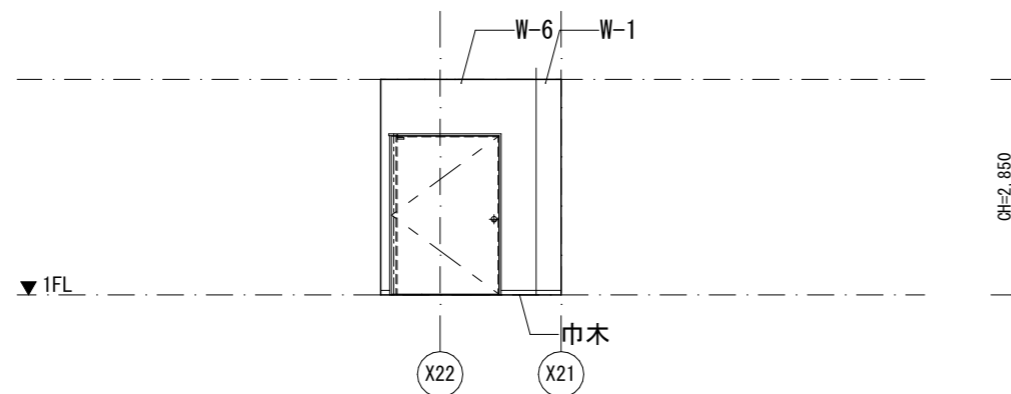
A



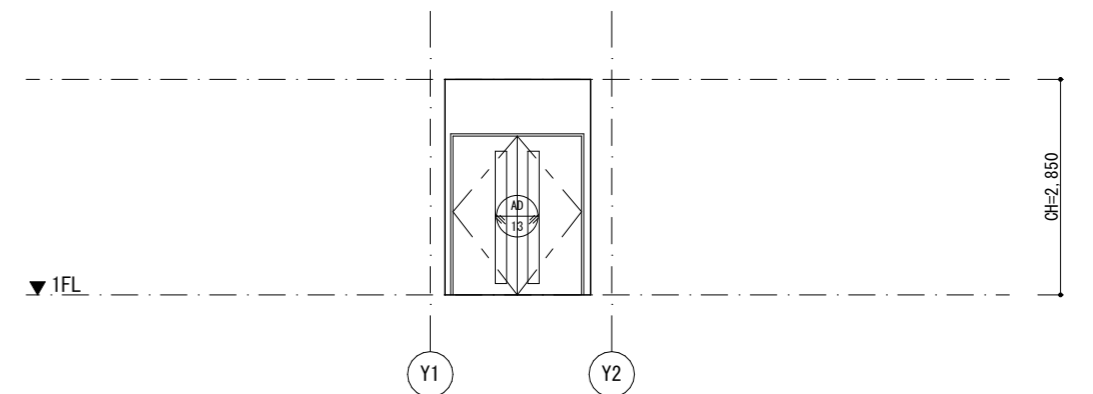
B



C



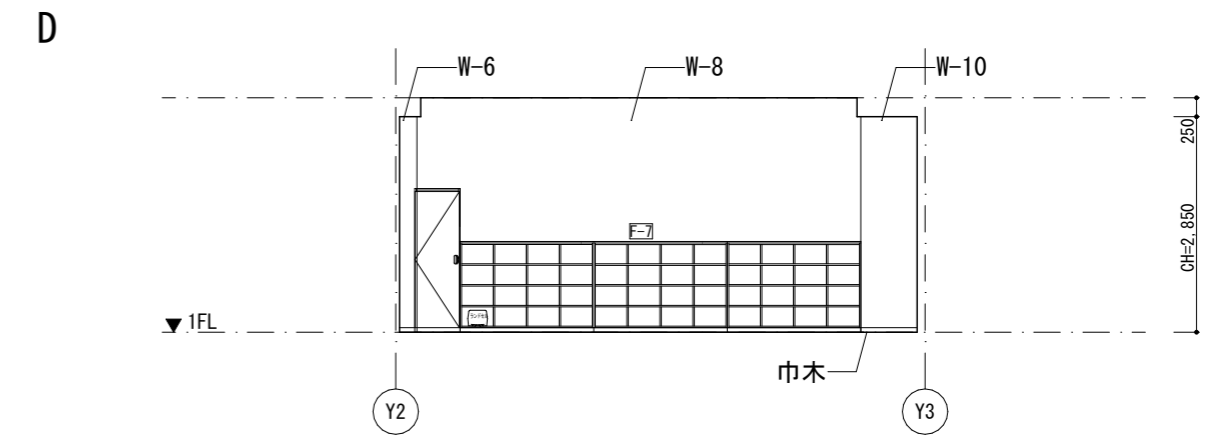
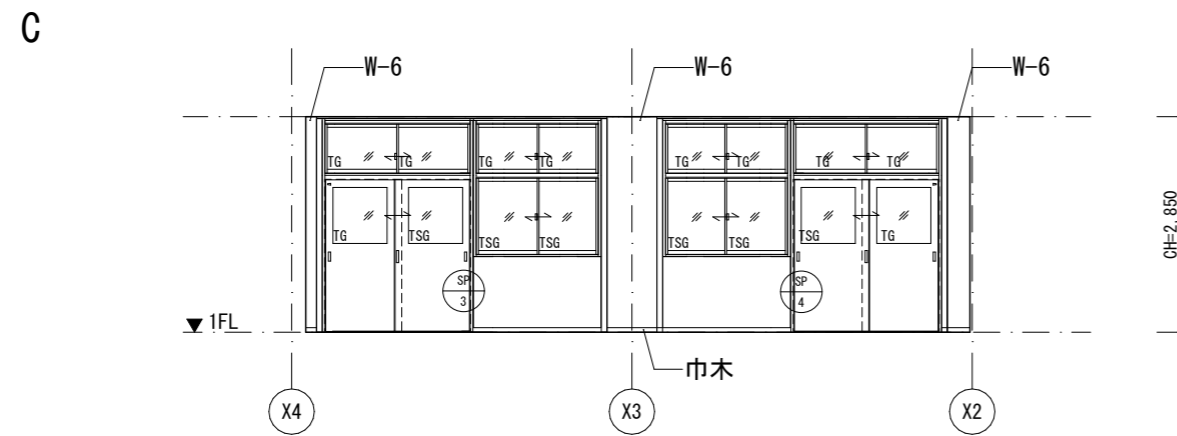
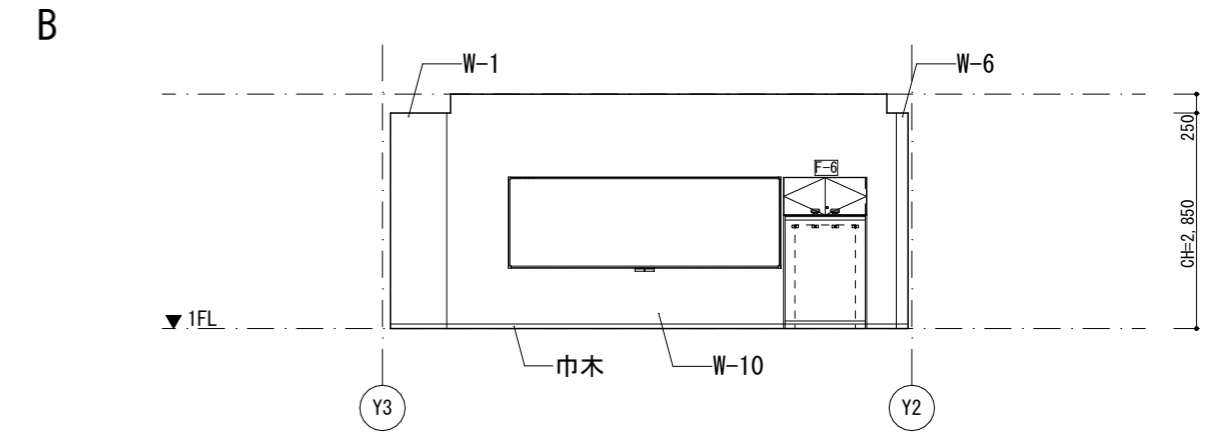
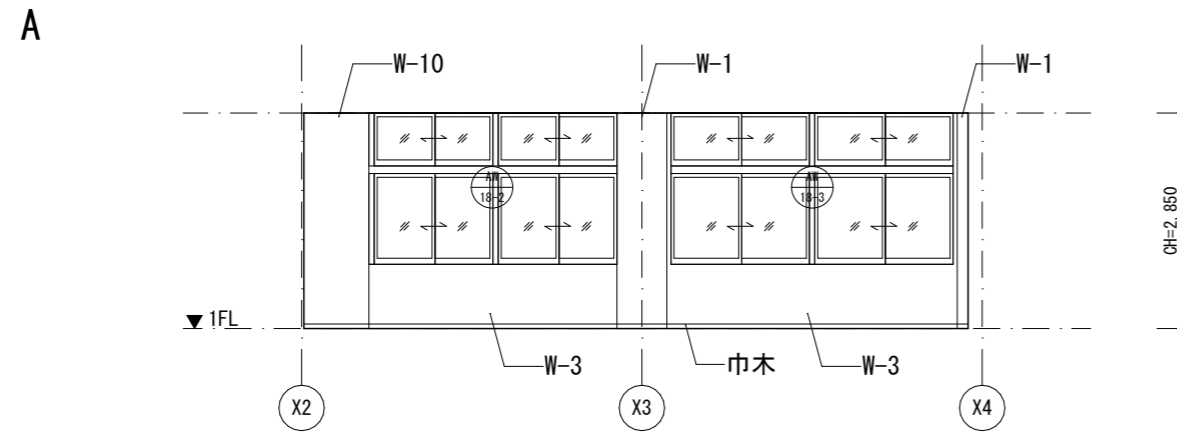
D



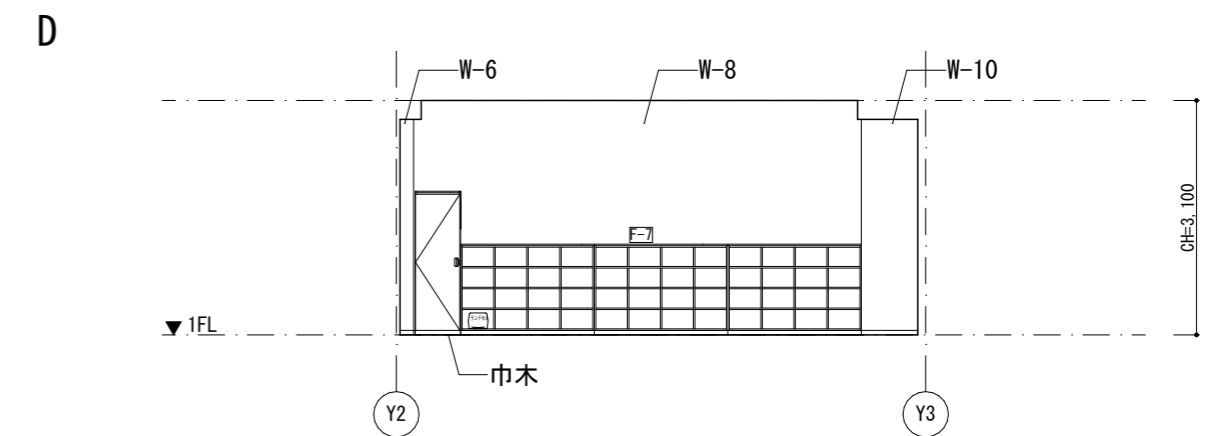
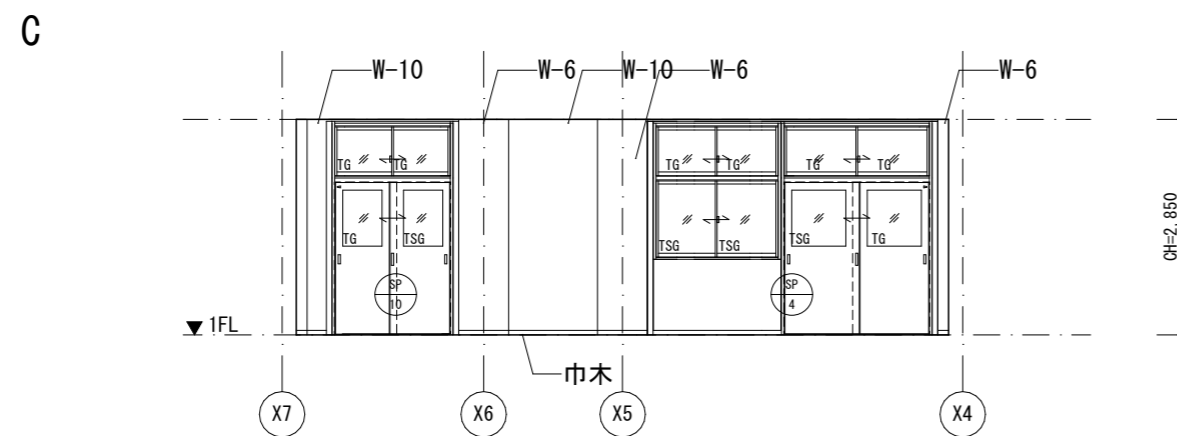
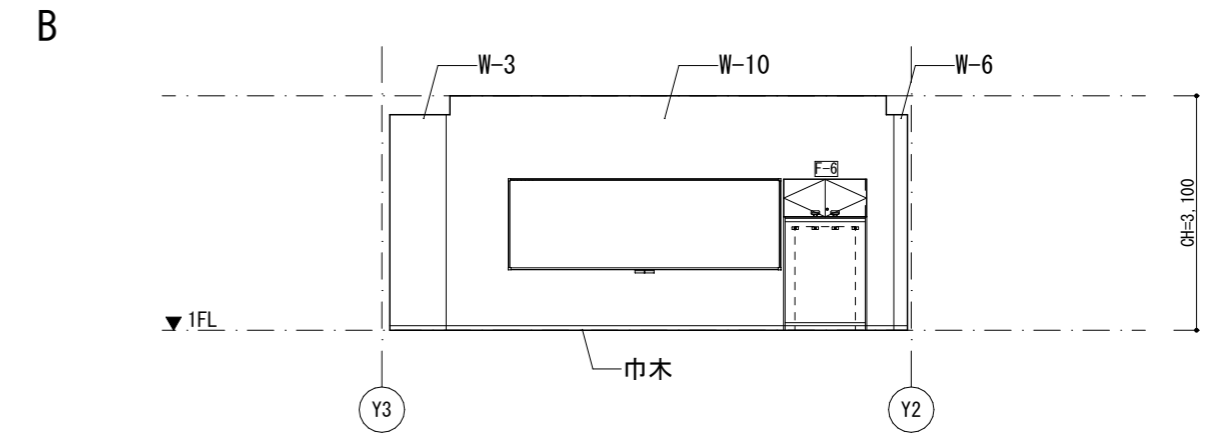
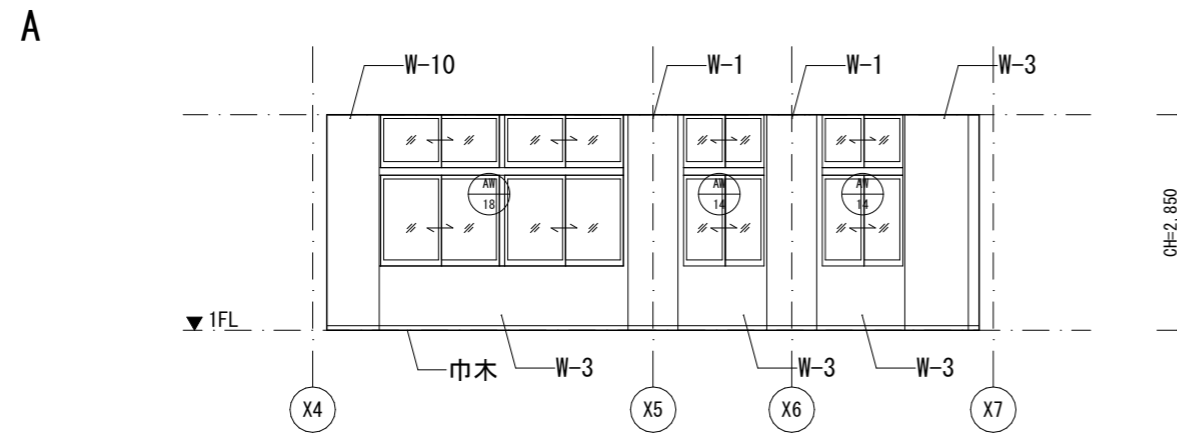
備考	月日	月日	月日	月日	株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤 信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A	A-132
	月日	月日	月日	月日	1級建築士 佐藤 信 第362177号	校 用	佐藤 信	校 用	松浦 尚亮	図面内容	展開図42	縮尺	1/50 (A1)	1/100 (A3)

凡例	
壁 (W-1)	仕上げ EP塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -t' t=30+PBt=9.5/寒冷紗パテしごき
壁 (W-2)	仕上げ EP塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -t' t=30+PBt=12.5/寒冷紗パテしごき
壁 (W-3)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地 (S0型)/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=30/PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき
壁 (W-4)	仕上げ EP-G塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -t' t=30+耐水PBt=12.5/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=6.0
壁 (W-5)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=30/耐水PBt=12.5/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=6.0
壁 (W-6)	仕上げ EP塗装 下地 既存モルタル下地調整
壁 (W-7)	仕上げ EP-G塗装 下地 モルタル下地調整
壁 (W-8)	仕上げ 掲示クロス 下地 軽鉄下地/3/7合板t=9.0/
壁 (W-9)	仕上げ 下地
壁 (W-10)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/寒冷紗パテしごき
壁 (W-11)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=6.0
壁 (W-12)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地/耐水PBt=12.5+12.5/寒冷紗パテしごき
壁 (W-13)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=30/耐水PBt=12.5/ウレタン <sup>®</sup> -L吹付t=6.0
壁 (W-14)	仕上げ 有効吸音版t=9 (合板) 目透かし張 下地 既存モルタル下地調整/硬質ウレタン <sup>®</sup> -t' t=30+PBt=12.5/木屑 <sup>®</sup> -3/3X <sup>®</sup> -L充填t=21/化粧有孔合板t=9
壁 (W-15)	仕上げ 既存のまま 下地 既存のまま
壁	仕上げ
壁	下地
壁	仕上げ
壁	下地

学習室

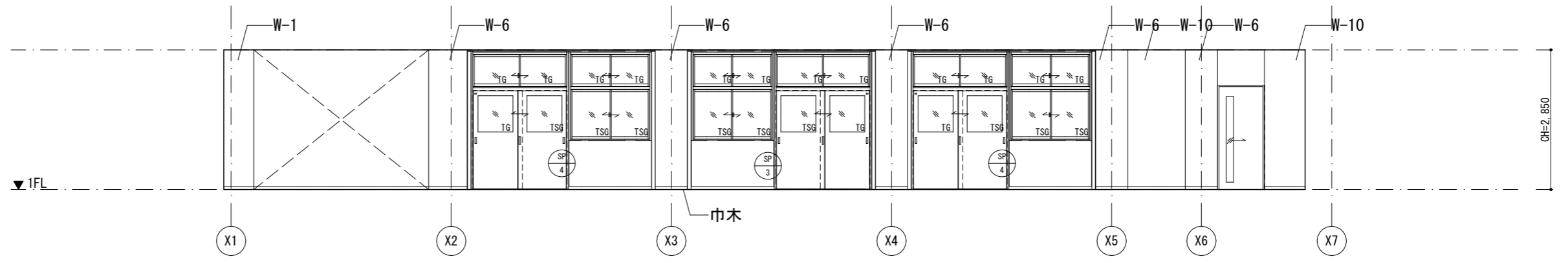


児童会室

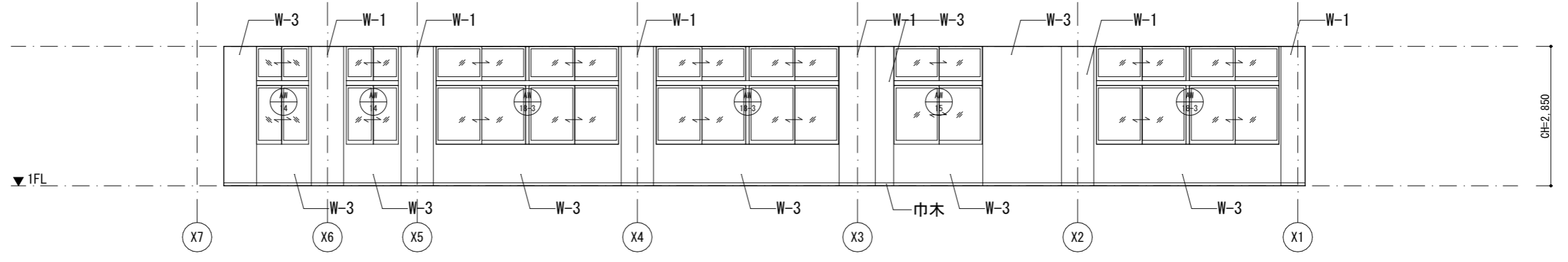


凡例	
壁 (W-1)	仕上げ EP塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタンフォーム t=30 +PBt=9.5/寒冷紗ハネしごき
壁 (W-2)	仕上げ EP塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタンフォーム t=30+PBt=12.5/寒冷紗ハネしごき
壁 (W-3)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地 (S0型)/ウレタンフォーム吹付 t=30/ PBt=12.5+9.5/寒冷紗ハネしごき
壁 (W-4)	仕上げ EP-G塗装 下地 RC壁下地調整/硬質ウレタンフォーム t=30+ 耐水PBt=12.5/ケイ酸カルシウム板 t=6.0
壁 (W-5)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付 t=30/ 耐水PBt=12.5/ケイ酸カルシウム板 t=6.0
壁 (W-6)	仕上げ EP塗装 下地 既存モルタル下地調整
壁 (W-7)	仕上げ EP-G塗装 下地 モルタル下地調整
壁 (W-8)	仕上げ 掲示クロス 下地 軽鉄下地/3mm合板 t=9.0/
壁 (W-9)	仕上げ 下地
壁 (W-10)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地/PBt=12.5+9.5/ 寒冷紗ハネしごき
壁 (W-11)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/耐水PBt=12.5/ ケイ酸カルシウム板 t=6.0
壁 (W-12)	仕上げ EP塗装 下地 軽鉄下地/耐火PBt=12.5+12.5/ 寒冷紗ハネしごき
壁 (W-13)	仕上げ EP-G塗装 下地 軽鉄下地/ウレタンフォーム吹付 t=30/ 耐水PBt=12.5/ケイ酸カルシウム板 t=6.0
壁 (W-14)	仕上げ 有効吸音版 t=9 (ケイ合板) 目透かし張 下地 既存モルタル下地調整/ 硬質ウレタンフォーム t=30+PBt=12.5/ 木綿織+グラスウール充填 t=21/ 化粧有孔合板 t=9
壁 (W-15)	仕上げ 既存のまま 下地 既存のまま

A



C



備考	月日	月日	月日	月日	株式会社青木茂建築工房 Shigeru Aoki Architect & Associates	作成	2024/11/11	設計	佐藤 信	工事名称	大東市立住道北小学校長寿命化改良工事(建築工事)	図番	A	A-134
	月日	月日	月日	月日	1級建築士 佐藤 信 第362177号	監修	佐藤 信	監製	松浦 尚亮	展開図	展開図44	縮尺	1/50 (A1) 1/100 (A3)	